

(略) のはAce —或る  
名無しの風—

Hydrangea

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

数奇なる運命の悪戯に導かれ神をも上回る圧倒的な力と引き換えに魂の牢獄へと繋がれる事となった666の獣たちが己の誇りと信念の下欲望と陰謀渦巻く古の戦場を駆け抜けてゆく物語という訳ではないのであしからず

1 / 18 追記：分かりづらい為蛇足編については前書き部分に凡その時期を記載

5 / 15 追記：運営様による素敵すぎる仕様は今更気づいた為記載しておきますが、本作の表示形式は「掲示板形式」特殊タグによるものではなく、作者による力任せのものです

# 目次

テンプレ	1	【紳士の】赤ロリがお呼ばれされた【社	交場】	302
プロローグ：事の始まり		【哲学者】そろそろ真剣で現状打破【求	む】	382
【緊急】転生したけど質問ある？【速報】	4	【悲しいけどコレ】戦争ハジマタ【Wa	r	475
		なのよね		
Das Kontoeiner		番外1：【救援】模擬戦無理ゲ過ぎワロ		
Hand	117	タ【求む】		563
1章：in古代ベルカ		【リアル】ベルカ終了のお知らせ【世紀	末】	578
【圧倒的】守護騎士御一行様到着【胸囲】	120	Ifルート：それは まぎれもなく		
【汚物は】ヒヤッハー！安価だぜえ！！	220	奴さ		655
【消毒】		2章：流されて次元世界		

Aufzeichnung der

Vergessenheit | 693

【実況】第X次管理局戦【参加自由】

750

【戦つても】生物災害発生【生き残れな

い】 | 823

【絶望的】第X次対管理局戦【戦力差】

876

Falsche Ruhe | 938

番外2：【地震】天使降臨【速

報】 | 967

3章：地球よ 私は帰ってきた

【当選】候補者 八神はやて(9)【確定】

| 993

【紳士よ】聖地攻略作戦【立ちあがれ】

1105

【この料理を】人妻の飯がマズイ【造つ

たのは誰だ】 | 1167

Hund von heute

1215

番外3-1：Bube von Ev

e | 1239

番外3-2：Verurteilun

g von Adam | 1254

番外3-3：【全力で】神話のはじまり

【未完成】 | 1283

番外X：【限界】娘がケツコン（マジ）し

ます【突破】

1335

4章：クダケエヌヤミ

【総員】速報：はやてが倒れた【参加】

1357

Bericht | Der Weg

der Rettung der W

elt

1410

【断罪か】お前の罪を数えろ【贖罪か】

1431

追憶：Lied für morg

n

Entscheidung |

1592

終章：戦場はメリークリスマス

【人生】管制人格の霊圧が消えた…？

∟ ( ^ o ^ ) ∟

1602

【一転】やらまいか【攻

勢】

1705

【復活の】SLB喰らってるけど

1806

質問ある？【白き冥王】

1896

【感謝感激】スレ住人大勝利！

1933

希望の未来よレディ・ゴー！！

【雨あられ】

2051

エピソード：Only my name

Der Wind des Seg

ens

2092

蛇足：作り終えた料理のハチミツ掛け

【NA75春版】有望若手魔導師で打線

組んだった

2125

【悲報】NA75あと少しで終了のお知

らせ

2182

IFエンド（いつか二人が辿り着くみ

らい）——夜明け——

2238

# テンプレ

28：しゃしゃり出る名無し：2012/08/19（日）00：00：00 ID：

Hydrangea

本作は、ゲル甘藍（秋茜）の名義にて「にじファン」様に投稿していたもののリメイク版です。

■タグにも明記しておりますように、基本的には掲示板風の形式にて進めてゆきます。

■掲示板の雰囲気を再現するために名前：日付：ID等を再現している為、実質的な内容を測る際に「文字数カウント」を目安とする事ができません。

■「PC閲覧」「横書き表示」「文字サイズ：中」での閲覧を前提として執筆しています。

■上記以外の閲覧方法ではレイアウト等が大幅に崩れる可能性があります。

■追記：実際やってみたところ大惨事でした。お勧めできません。

■ツール等を導入した場合も同様です（作者はその辺に関して詳しくないのですが恐らく）

■さりげなく紛れ込めば間違いなくハヤル（\*・ω・\*）

■ほぼ1から書き直している為、リメイクであつても更新速度は普通です。

■本作は「原作改変」「捏造設定」「転生」「オリ主」「憑依」「チート」「キャラ崩壊」「TS」「能力クロス」等々、所謂地雷的要素を多数含んでいます。

■能力やネタ等だけではなく、世界観等のすり合わせを含める本格的なクロスオーバーが行われる場合もあります。

■クロスオーバーを行う際には、タグにおいて原作名等を追記します。

■一部において残酷な描写、下品な描写等R-15的な表現が含まれます。

■直接的な描写は無くとも、同性愛的な表現も含まれます。

■長いからって読み飛ばさないでくださいお願いします。

■本作のストーリー・設定は、TV放映版の1〜3期＋コミック版4期をベースとしています。

■ゲーム版、劇場版等のストーリー・設定等は基本的には考慮していません。

■シリアス（ ）な内容が入るかもしれませんが、基本的なスタンスとしてはあくまでもネタです。

■本作は「にじファン」様にて一旦完結しております。感想等でのネタばれはお控えください。



■感想、批判、誤字・脱字の指摘等は随時お待ちしております。

プロローグ：事の始まり

【緊急】 転生したけど質問ある？ 【速報】

2：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 b c d e | n e t I D : a

妄想乙

3：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 b c d e | n e t I D : a

妄想はチラシの裏でやれ

4：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 b c d e | n e t I D : a

画像も貼らずにスレ立てとな

6：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 b c d e | n e t I D : a

こういうの、チラ裏だけにしてくれないかなあ：

8：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a

b c d e | n e t

現実を見ろよニート

9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a

b c d e | n e t

糞スレ立てんなし

13 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

また 随分と辛辣だな

予想通りだが

15 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

そんな事よりスペックはよ

16 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

できれば画像うp希望

18 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t



大体こんな感じ

22 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

abcde | net

俺が居る

23 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

abcde | net

奇遇だな。俺もだ

26 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

abcde | net

某もでござる

28 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

abcde | net

これが : これが夢にまでみた巨乳というものか

29 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

abcde | net

よきかなよきかな

30 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)

00 : 00 : 00

ID :

a b c d e | n e t

(。∇。)(。o。o。o) おっばい!おっばい!

3 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

a b c d e | n e t

>>>28 | >>>30

とりあえずおちつけ

そしてそんな私も同じくです

3 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

a b c d e | n e t

自慢乙と思いきや俺もだったというオチ

3 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

a b c d e | n e t

一体何がどうなってるの?

3 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

a b c d e | n e t

>>>37

ワシにもわからん。突入するぞ

0 0 : 0 0 : 0 0	I D :
0 0 : 0 0 : 0 0	I D :
0 0 : 0 0 : 0 0	I D :
0 0 : 0 0 : 0 0	I D :

40 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

一体誰の黒歴史ノートだよこの厨設定

41 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

鎮まれ… : 鎮まれ、俺の右腕ツ… :

42 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

クソツ、封印した筈の第三の瞳が疼いてやがる… :

44 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

中高生あるある

48 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

つかそもそも此処何処よ

49 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>48

スレだろ

50 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

地獄にも2●hが存在すると申すか

53 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そら地獄として日本の一部ですから

54 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

なんという説得力

55 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

三途リバーにもオートメーションの波が押し寄せるといふのか

56 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

それは困る。こまっちゃんの仕事が無くなるじゃないか



57 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そもそも仕事してないじゃん

58 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

それもそうだな

61 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

時代は変わったな

62 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

しかし天国にしないあたりまだ謙虚とみえる

64 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

で、実際は何処よ

65 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

俺に聞かれても困る

66 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

地獄の六丁目とかその辺じゃね？

69 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そもそもスレ主は把握しとるん？

70 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

把握してなきやスレなんざ立てられんだろ

72 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

わからんぞ。6強直撃してもラーメン啜ってスレ立てする民族だからな

74 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

あの地域がおかしいだけだろ

76 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :



a b c d e | n e t

夢オチとか色々な意味で勘弁

8 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

夢オチと爆発オチは甘え

9 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

>>>89

「とりあえず爆破」なプライムの悪口はそこまでだ

9 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

スレ主さんその辺の情報マダー？

9 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

我々の厨仕様は後でも良いから、とりあえず現状だけでも説明キボン

9 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

できれば猿な俺にも判る様産業でタロム

101:スレ主:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:abcde

— net

了解

・魔導回路とか何とかいうのを拝借して立てた。あくまでもそれっぽいだけで本物じゃない

・この回路とかいうのが何やら廃スペックっぽいので落ちる心配は取りあえず無し

・要するに俺の頭の中

102:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde—net

なるほどわからん

103:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde—net

>>102

正直でよろしい

109:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

一番重要そうな箇所がサラッと流された気がしないでもない

1 1 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

よくわからんが凄そうなのだけは何となくわかった

1 1 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

言う通りならトンでも超人だな。そして究極の暇人

1 1 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

天才の無駄遣い

1 1 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

ニートの鏡やで

1 1 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

俺は仕事あるぞ

119 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 118

自宅警備お疲れ様です

120 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 119

逮捕すんぞ。 国家権力なめんな

121 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 120

免職にすんぞ。 上司なめんな

124 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

なんと醜い内ゲバ

125 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

既に日本警察が終了していた件

1 2 7 : スレ主 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : abcde  
| net

税金泥棒仕事しろ

1 2 8 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 ID :  
abcde | net

>>>127

お前は先に勤労と納税の務めを果たせよ

1 3 2 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 ID :  
abcde | net

で、結局何故我々はこんな格好になってるん？

1 3 3 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 ID :  
abcde | net

それより>>>1さん画像はよ

1 3 5 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 ID :  
abcde | net

つ鏡



1 3 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

把握したサンクス。皆こんなの？

1 3 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

らしい

1 3 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

俺もそうだ

1 4 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

此处に居る全員が同じ姿形という訳か

1 4 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

右も左も美女だらけじゃないか。よかつたな(棒)

1 4 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

全部同じ顔じゃねえ……

144：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

確かに美人だが無気味つつーか愛嬌が欠片も無いのな

148：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

誰か一人ぐらい輝かんばかりのスマイルでもかましてくれよ

149：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

言いだしっぺの法則というものがあつてなだ……

150：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

(U)

151：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

オウ貼りついた笑みやめろや（動揺）

154：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

この調子じゃニチアサどころか夕方にさえ勝てる気がしないな

1 5 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

試してみたが頬がピクリとも動かん

1 5 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

表情固定はデフォっぼいな。確かに原作でも無表情なシーンが大概だったが

1 5 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

真顔でこんなスレに書き込んでるとかシユールすぎるわ

1 5 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

禿同

1 6 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

アニメキャラがそのまま2●hしてる時点で既にシユール

161：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

そんな光景想像したくない

164：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

【ちきゅう】SLBとかいうのを受けてるんですけど…【こわいです】

165：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

abcde—net

相方の運命さんによる実況か。胸熱

166：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

abcde—net

その場合鯖はバルさんになるのか？

167：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

abcde—net

変な略称やめろ

170：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>X<sub>X</sub>／YY<sub>X</sub>／ZZ<sub>X</sub>（水） 00：00：00：00  
 ID：

abcde—net

何れにせよマルチタスクの無駄遣い

171:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

ごもつともで

172:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

いつのまにか自然に魔砲少女の話になつとる件

173:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

これは関係者による誘導工作

175:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

最近はやりのステマとかいう奴か

176:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

似て非なる希ガス

180:名無しの不定形生物:XXX $\backslash$ YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

自然も何もあの世界なんじゃねえの、ここ？

俺には良く解らんが

1 8 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;180

判らんのなら何故首突つ込むのさ

1 8 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

流れを切る っていうのか？ や、別に自然と言えば自然なのかもしれないが

兎に角急な話題転換で申し訳ない

自分、正直アニメとか2 ● hとかは全然と言ってよい程詳しくないんだが

何か自分の中にそういった関連の知識が入り込んでるといふか何と言うか……

1 8 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

?どゆこと

1 8 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

>>>185自分もそんな感じだ

正直生前？はヲタなんて見下してたんだが、今は何か知らんが馴染んでる

190：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

馴染む、実に！ 馴染むぞ：

と、JOJOなんて知らない俺が言ってみる

192：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

にわかとか隠れじゃ無くて、ホントに縁もゆかりも無かった筈なのに：

つて事？

193：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

確かに。燃え専門だった筈の俺にも萌え系知識理解できてる

194：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

サブカル以外もそうだな

俺なんかは、学生時代の専門じゃない分野の知識とかも判る感じ

196：名無しの不定形生物：XXXXXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde | net

なにこれふしぎ

197：名無しの不定形生物：XXXXXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde | net

誰かその辺の詳細キボン

198：名無しの不定形生物：XXXXXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde | net

他にも何人か同じ様な人居るんじゃないやね？

かく言う自分も似たような状況だが

199：名無しの不定形生物：XXXXXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde | net

漏れも

202：名無しの不定形生物：XXXXXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde | net



なんか話が混乱してきたな

203 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

これは予想以上に大事なヨカーン

205 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

一旦どこかでまとめた方が良くね?

206 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

とりあえず皆簡潔に情報を出し合おうず

207 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

了解

208 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

おk

316:スレ主:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:abcde  
 |net

とりあえず皆からの情報とかをまとめてみた

・転生理由は不明。何故こうなったのかも不明。そもそも転生なのかも不明。  
 でも取りあえず転生っぽいから転生という事で

・そもそも我々は死んでいるのかも不明。誰か王大人の鑑定求む

・容姿その他からして、今の我々は某魔砲少女2期のラスボスっぽい

・皆それぞれに人格はあるが行動権？(スレ立て等)はできない。動けるのはスレ主のみ

・但し、時と場合によってはスレ住人も外部の情報がある程度受信できる模様

・知識やら何やらがある程度共有されている模様

・スレ住人(仮称)は老若男女とまでいかずとも多様。但しイメージ的容姿は皆

同じ

・上述の知識共有がある為断定できないが、おおよそ構成しているのは日本人

・なんか凄い魔法とかが使えるような予感

・少なくともスレ落ちの心配は無い

足りないのがあつたら教えてくれ

3 1 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

まとめ乙

3 2 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

乙です。しかしこうして見るとまたなんともはや

3 2 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

箇条書きマジックとかいう奴か

3 2 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

多分全然違う

3 2 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

言いたかったただけだろ

3 2 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

しかしはつきりしない項目ばかりだな

3 2 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0

a b c d e | n e t

そろそろよ。客観的な証拠なんて一つも無い訳だし

3 3 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0

a b c d e | n e t

ソースは全部よくわからん状況下での自己申告だしな

流石に態々悪質な嘘吐くような奴はいないと思うが

3 3 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0

a b c d e | n e t

何にせよ情報が足りなさすぎる

3 3 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0

a b c d e | n e t

単純に我々の理解力不足でした なんてオチはあるまいな

3 3 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0

a b c d e | n e t

どんだけモンキーなんだよ。いい大人だろ

I D :

I D :

I D :

I D :

I D :

336 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 :  
 abcde | net ID :

わたしこどもだからよくわからないの

337 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 :  
 ID :

abcde | net

>>336

おっさんは黙ってる

338 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 :  
 ID :

abcde | net

>>336

引つ込め糞中年

339 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 :  
 ID :

abcde | net

>>336

出しゃばるのは下っ腹だけにしとけよ

341 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 :  
 ID :

abcde | net

酷えwwwwww

342 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

なんとも冷たい社会になったものだな……

343 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

クリーンハンズの原則というものがあつてだな

344 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

無垢なる幼子を装うとか万死

347 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

まあ「老若男女」って表現がそもそも怪しいよな

知識だ何だが溶け合ってる現状では

348 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

でも自分の意識自体は保ってるんだろ？

3 4 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

他人の知識やらなにやらが流入している以上

それが本当に自分のものなのか証明する手段が無いわけで

これだけに限った話じゃないが概ねそんな感じだろ

3 5 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

a b c d e | n e t

流入した数や元の知識量の差なんてのもあるしな

自覚は無くても多かれ少なかれ他所の影響は受けてるだろ

3 5 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

a b c d e | n e t

まあ所詮は自己申告だしな

案外リアル幼女がおっさん化してたり、その逆もあり得る訳で

3 5 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

a b c d e | n e t

まさか、今の俺は無数の幼女達と一つになっている……？

3 5 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;355

お前は天才か

357:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水)

00:00:00

I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;355

いい着眼点だ

358:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水)

00:00:00

I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;355

感動的だな

359:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水)

00:00:00

I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;355

だが通報した

362:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水)

00:00:00

I D :

a b c d e | n e t



まさに外道

3 6 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

一体何処に通報するんだよ w w w w う え う え う え w w w w

3 6 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

>>>363マジレス乙

3 6 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

性癖はさておきとりあえず>>>363は冷静になれ

3 6 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

そもそも住人? ってのは此処に居るのが全員な訳?

3 7 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

そうとも限らんだろ。ROM専もいるだろうし

3 7 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D :

a b c d e | n e t

まあ小難しい事は後にしようぜ

それよりスレ主さんは我々と違い色々と行動もとれるんだよな

外の様子とか判らん？

3 7 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

それは俺も気になるな。単純な好奇心としても

3 7 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

リアルにファンタジック世界なのか

3 7 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

やっぱ古代ベルカの何処かな？

3 7 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

判らん。そもそも今があの世界の歴史上においてどの辺なのかもさっぱりだ

し

380 : スレ主 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID : abcde  
| net

>>>372 了解。配線が色々繋がってるっぽいので、そこ経由で色々情報集めてくる

381 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
abcde | net

いつてらっしやいませ

382 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
abcde | net

何が起きるか判らんから、取りあえず気を付けてな

384 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
abcde | net

どつかのEXEマンみたいなもんか

385 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
abcde | net

あれも元は人間だったからな。そういつた点じゃ良く似てるのかもしれない

386 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :

a b c d e | n e t

やっぱウイルスとかもいるのかな。バステイング方法なんざわからんぞ

3 8 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

オフィシャルにでも通報しとけばおk

3 8 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

安定の丸投げ

3 8 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

投げる為に税金納めてんだろ

3 9 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

むしろ素人が出しゃばる方が現実迷惑な訳で

3 9 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

でも解決してきたのは大抵小学生だぜ？

392 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :

abcde | net

その辺まで同じじゃない事を祈るばかりだな

400 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :

abcde | net

しかし唯待っただけなのもつまらんし、我々の主がどんなのか妄想でもしなイカ?

401 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :

abcde | net

八神さん家のちび狸じゃないの?

404 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :

abcde | net

八神家の長女さんが何代目かは知らんが、他にも沢山候補はいるだろ

こんな状態になつてる以上、そう都合よく現代な可能性も高くないだろうし

405 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :

abcde | net

そも「配線」なんか繋がつてる時点で現代日本じゃなくね?

原作通りなら

406：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

言われてみれば確かに

408：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

そういうや守護騎士達っぽいのも見当たらないな

410：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

此処とは違う場所にいるのか、それともまだ存在すらしていないのか

412：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

やはり古ベルカの線が濃厚か

413：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

まあそれもスレ主さんが持ちかえる情報次第だ

とりあえず俺は如何にもなお嬢様っぽいのを推すな

なんてつたつて「魔法少女」な訳だし

415 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

お前の様な魔法少女がいるものかと

N・Tさんには一度ガツンと言ってやりたい

416 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>415

??? 「ちよつと屋上まで来いな…」

417 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

### 「>>415」このコメントは砲撃されました###

418 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>415

無茶しやがつて……

419 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>415

お前の犠牲は忘れない

4 2 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

別に主が全員女子限定という訳じゃないだろ

ここは無難に立派な騎士を志す少年とかじゃないのか？

4 2 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

野郎とか誰得

4 2 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

普通に俺得なんだが

4 2 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

>>>424

すまない、ホモは帰ってくれないか！

4 2 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :



a b c d e | n e t

何故ばれたし

4 2 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

冗談のつもりがガチだった件

4 2 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

冗談ではすまされない

4 3 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

責任とって>>>425は脱げ

4 3 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

アツ——!!

4 3 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

住人が全部で何人いるかは知らんが、まあガチな方も普通にいるだろうな

リアルじゃ表に出られないだけで

4 3 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

今の日本は特に息苦しいからねえ、そういうのに

4 3 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

サブカルではこうもネタにされているというのにな

4 3 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

ネタの域を出れないんだろ。或いは出させない様にしてるか

4 3 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

見つけて発情して襲いかかるケダモノじゃあるまいし

そもそも好みじゃなきゃ相手にすらしらないだろ

4 4 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

>>>439

そんな簡単な事もわかんねーんだろーうさ

視界が曇っちまってるから

4 4 4 : 名無し の 不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

でも今はみんな同じ姿なんだろう？ そんな諍いも無くなるべ

4 4 5 : 名無し の 不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

幾ら美人でも皆同じ顔ってのは無気味だけどな

4 4 6 : 名無し の 不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

すると中にはTSとやらも含まれる訳か

4 4 7 : 名無し の 不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

まあ当然そうなるわな

4 4 9 : 名無し の 不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

かく言う私もTSでね

450：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

かく言う私も童貞でね

451：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

>>450

俺達がりアル魔法使いになったのはお前の所為かよふざけんな

452：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

>>451よう童貞

453：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

>>451涙拭けよ童貞

454：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

チエリー君が釣れたと聞いて

458：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

a b c d e | n e t

これが社会の荒波という奴か

4 5 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

汚れつちまつた悲しみに :

4 6 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

チ ● ン ヽ バ ヽ ● ヽ ヽ ♪

4 6 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

>> 4 6 0 N ● C 自重

4 6 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

>> 4 6 0 いい加減隠居しとけよじーさん

4 6 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

御老公を差し置いてジャケを独占してる格&助さんは自重するべき

464 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そもOPの殆どがあので二人じゃん

467 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

一体何が (ry

470 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

何やら暴走しはじめたな

471 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

おまいら落ちつけよwww

昔はどうであれ、今は等しくおにやのこで生娘じゃないか。仲良くしてこうぜ

473 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

何時から我々が処女だと錯覚していた?

474 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

なん……だと……？

4 7 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

何……だと……？

4 7 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

人工物なのに態々膜とか付けんの？ つーかそもそもやれんの？

別にお人形さん目的で造られてる訳じゃないんだから

4 7 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

やれるだろ薄い本的に考えて

4 8 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

ご希望とあらば触手プレイもいけますぜ

4 8 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0  
I D :

a b c d e | n e t

変身とかで外見年齢も自由自在だからな。夢が広がりまくりんぐ

485:名無しの不定形生物:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

つくづく日本人に与えてはならない能力の典型だよな

486:スレ主:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:abcde

|net

まだ全部解析できた訳じゃないけど、必ずしも皆の希望通りになるとは限らんの

だが

487:名無しの不定形生物:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

未来は既に見えている

488:名無しの不定形生物:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

未来を創りだすのは今の俺達だ

今見えないならこれから作っていけばよい

489:名無しの不定形生物:XXXXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net



善でも悪でも最後まで貫き通した信念はどうたらつてじつちちゃんと言つてた

491:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

変な方向にポジティブな連中ばつかだな

493:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

流石エロゲ原作は格が違った

494:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

マジで神は死んでしまったんだな

495:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

こんな事態を引き起こしてる時点でいらねーよ>>>神

496:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

>>>495

エロだよ! それは

497：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

何故伏せたし

498：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

で、スレ主さんが無事帰還したようだけどいいの？

499：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

普通にスルーしてたわ

500：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

お帰り。なんか目ぼしい情報とかはみつかった？

502：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

これで漸く主論争にも終止符が打たれるのか

503：名無しの不定形生物：XXX<sub>X</sub>／YY／ZZ（水） 00：00：00：00 ID：

abcde|net

論争自体大分脱線してたけどな

5 0 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

というかいつまでも「スレ主さん」ってのもアレだな

何か良い呼び方ない？

5 1 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

もうひろ●きでよくね

5 1 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

>>> 5 1 1

それは流石にまずいだろ

例えここが治外法権であつたとしてもまずい

色々とまずい

5 1 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

「つく●人」で良いんじゃないかな (適当)

5 1 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

>> 5 1 5

アウト

5 1 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

キャラ名で良いかと思ったが全員同じ姿形なんだよな

5 1 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

他の連中はともかく、実際に動けるスレ主さんには判りやすい呼び方が欲しいよな

何かあった時の為にも

5 2 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

もう「管制人格」さんでよくね？

確か原作でもそんな感じでよばれてたろ

5 2 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D :

a b c d e | n e t

成程

5 2 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

確かに判りやすくはあるな

5 2 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

スレ主さんもそれで良い?

5 2 9 : 管制人格 (旧スレ主) : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I

D : a b c d e | n e t

お。何か皆さん態々ありがとね

で、さつきも言ったけど色々複雑で情報は殆ど集まりませんでした (・ω・)

ただ、良くない知らせと悪い知らせは見つけた。どっち先にする?

5 3 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

おかし、吉報がねえじゃねえか!

5 3 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

どうということなの…

5 3 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

二択が不自由すぎる

5 3 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

つか今更聞くのもなんだが I D とか日付おかしくね？

5 3 8 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a b c d

e | n e t

&gt;&gt;&gt; 5 3 5

単なる雰囲気作りだけで実際は機能してない

日付なんて判らんし、そも全員同じ場所にいるから I D なんて意味内

5 3 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

つまりは唯の飾りか

5 4 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

唯の飾りですな

5 4 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

まあスレを展開してるであろう管制人格さんの負担になってなけりや良いが

5 4 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

何か別の所に負担が掛かってそうな希ガス

5 4 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

こればかりは仕方あるまい

非難も覚悟のうちだ

5 4 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

で、どつちにするんよ

5 4 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

前も後ろも地獄だぜフウハハハーハー！

5 4 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

とりあえず少しでもマシな方から

5 5 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

嫌な事を後回しにするのは良くない癖だな

5 5 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

そんなもん日本人なら小学生時代から刷り込まれた習性じゃないか

5 5 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

うだる暑さと相まって倍率ドン！ 更に倍！

5 5 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

そうして歴史は繰り返される

5 5 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :



a b c d e | n e t

人はなぜ学習しないのか

5 5 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

坊やだからさ……

5 5 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;555

もう許してやれよ

5 5 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

しかし7月の間に全て片づけている俺に死角は無かった

5 5 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

日記系の捏造は基本

5 6 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

休みが始まる前に終わらせるのがプロだろ

561 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そんなもので一体何が身に着くのか

562 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

世の中の渡り方だろ

563 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

嫌な小学生だな

565 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

むしろ一切手を付けずそのまま提出しないのが小学生のあるべき姿だろ

若さゆえの無鉄砲さとかあどけなさとか

566 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>565

流石にそれはない

5 6 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

>> 5 6 5

こういう奴が将来底辺へと墜ちてゆくのか

5 6 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

ママー。あの人いつも公園にいるねー

何のおしごとしてるんだろー？

5 6 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

>> 5 6 8

しつ。見ちゃいけません！

5 7 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

おわかりだろうか

話が脱線してから既に20近くスレが消費されている事に

572 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そんなもんだろ。スレなんて

573 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

脱線とかにちじょうちやめしごと

575 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

予め敷かれたレール通りに事が運べるとでも思うたか

578 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID : abc d

e | net

どうでも良いけど結論マダー? (・∀・) つ / □ ☆

579 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

これは失敬

580 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

流石のスレ住人も泣く子と管制氏には勝てんか

581 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水)      00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

で、結局「良くない方」からで良いの？

582 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水)      00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

おk

583 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)      00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

とりあえずそつちから

585 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水)      00 : 00 : 00 : ID : abc d

e | net

承知

じゃあまず良くない知らせだけど、どうやら此処はあのアルハザードらしい

586 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)      00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

m j d k

587：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

いきなり隠しステージからですか

588：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

つか実在してたんだな。てつきりDVバーさんの戯言かと

590：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

>>>588

プレシアさんをババア呼ばわりとか屋上

591：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

しかしその通りならプレシアさん大勝利じゃないですか

辿り着ければの話だけど

593：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

ん？ でも何でそれが「良くない知らせ」なの？

594 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    I D :  
 abcde | net

確かに

597 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    I D :  
 e | net    a b c d

や、確かにここはリアルなアルハザードなんだが、どうにも実際は

プレシアが望んでたような理想郷なんかじゃなくて、ひじょーに現実的な場所つ

ばい

まあ一言で表すなら「死の商人」のすくつ的な感じかな？

598 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    I D :  
 abcde | net

なにそれこわい

599 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    I D :  
 abcde | net

大変ね (他人事)

600 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    I D :  
 abcde | net

死の商人とかwwwwwwまたまたご冗談をwwwwww

……冗談、だよな？

602：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00 ID：  
abcde—net

確かに科学チックなマジカル世界観ではあったが、幾らなんでも言い過ぎじゃね

？

何でそんな例えすんのよ

603：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00 ID：  
abcde—net

ミサイルは兎も角普通の銃器なんか商品にしても売れんだろあの世界じゃ  
人が生身で空飛ぶんだぜ？

605：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00 ID：  
abcde—net

でも「質量兵器」って区分が無かったつけ？

後半で変な戦車っぽいのも出てたし

607：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00 ID：



a b c d e | n e t

つか普通にマジカル科学を兵器に転用すれば良くね？

カートリッジなんてのがあるんだから、一般人でもビームくらい撃てんだろ

6 0 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

別にアレはエネルギー C A P 的な物じゃなかった気がするんだが

6 1 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

まあおサルさんでも扱えるリリカル爆発物ぐらいは普通に作れるだろうな

6 1 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

ゴーレムとかガジェットみたいなロボ系もいけるしな

6 1 3 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a b c d

e | n e t

まあ大体そんな感じですね。発達した超技術の下

そういう感じのを制作・販売するのが国？を上げての生業みたいですよ

ジュエルシードっぽいのか何とか、所謂原作での元凶達が軒並み

「商品」として登録されてる記録もありましたしね

ついでに、我々「夜天の書」はここしばらくにおける目玉商品だそうです

6 1 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

今の我々はリアルにVIPという訳か

胸糞悪い

6 1 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

VIPとかスレだけにしとけよな

6 1 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

俺達は物じゃねーんだぞ

や、今は物ではあるが

6 1 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

やたら物騒なロストログアが多かったのはその所為か

6 2 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

軍用品ならそりゃ危険だわな

6 2 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

我々は犠牲となつたのだ :

6 2 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

人道のじの字も無さそうな世界だな

こんなのじゃアリシアの遺体運び込んでも実験に使われるがオチだろ

6 2 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

良くても改造は免れられないだろうな

6 2 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

フランケンアリシア誕生ですわわかります

6 2 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

色んな意味でプレシアさん涙目

6 2 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

一時のA・Eみたいだな。双方陣営にMS売りつけたりして

6 3 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

そういやゴーレムやらガジェットはあるらしいけど

リアルガン●ムとかは無いです？

6 3 1 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a b c d

e | n e t

一応有人操作型のゴーレムにそれっぽいのなら

6 3 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

用途が判りきってるだけにあんまり嬉しくないな

6 3 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

確かに

636 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net

そもそもアレらは全部戦争の為の道具やん

637 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net

確かにそうだけどな

まあそれ以外の用途にも色々使われてたじゃん

隕石を押し返したりレーザーかき消したりたり対話したりで

638 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net

二次元とリアルとはまた違うという事だよ

639 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net

形あるものとして顕現した時点でそれは既に夢ではないのさ

640 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net

悲しいけどコレ現実なのよね

ID :

ID :

ID :

ID :

ID :

641：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

なんとということでしょう

645：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 abcdeinet ID：

これで「良くない知らせ」とか悪い方はどれだけ恐ろしいんだ：

646：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

abcdeinet

もういい！ もう沢山だ！

647：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

abcdeinet

バサーカー魂貼ろうとしたのにミスったわスマツ

648：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

abcdeinet

>>647

お前の誤爆でダイノボッツが犠牲になったぞどうしてくれる

649：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00  
 ID：

a b c d e | n e t

ごめんねー(棒)

6 5 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

まあ兎に角続きはよ

6 5 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

ここで足踏みしててもしやーない

とつとと済ましちまおうず

6 5 3 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a b c d

e | n e t

承知

ところで、博士のお子さんはお元気ですか？

6 5 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

んふう

6 5 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

んふう

6 5 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

んふう

6 5 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

何だよこの流れ

6 6 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

管制さんもチャーケニストなのか

6 6 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

かわいそうなお友達が多過ぎる件

6 6 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

実際此処は「こんなところ」同然だろ



6 6 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

幾らなんでもそれは言い過ぎだろ

……多分

6 6 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

そんな事より詳細タロム

6 6 5 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a b c d

e | n e t

サーセン入力ミスったわ

で、皆さん突然だけど「原作」の「闇の書」について覚えてる？

6 6 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

誤爆日和だなしかし

6 6 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D :

a b c d e | n e t

態々「夜天」では無く「闇の書」の方を聞きたいの？

668：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

確か歴代の主が魔改造に次ぐ魔改造した所為でとんでも無い事になったっ

け？

669：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

そんな感じだな。最初は転生やら何やらも付いてない健全な魔導書だった筈

670：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

中身がこんな時点で既に不健全だけどな

671：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

制作者は何を考えてこんなけしからん容姿にしたのか

672：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcdeinet

何って勿論ナニだろ

674：名無しの不定形生物：XXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：



もしかして違ったりするの？

681 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID : a b c d  
e | n e t

“原作”がどうであれ、少なくとも“此処”の現実としての我々は違うっぽい  
具体的に言うところの軍用仕様+転生機能その他が装備済

682 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :  
a b c d e | n e t

なん……だと……？

683 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :  
a b c d e | n e t

どうい……ことだ

685 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :  
a b c d e | n e t

軍用で w w w w 兵器って事？

もうマジカルの欠片もねえな

686 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水)    00 : 00 : 00    ID :  
a b c d e | n e t

所謂「暴走」が最初から約束されているようなモンか

687：名無しの不定形生物：XXXXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcde—net

予め組み込まれてるならそれはもう暴走じゃなくて立派なシステムだぞ

690：名無しの不定形生物：XXXXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcde—net

でもそんな事したら主も死んじゃうし本体もあぼんじやん

それじゃそもそも「蒐集」の意味無くなね？

691：名無しの不定形生物：XXXXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcde—net

>>>690

そこで転生機能の出番ですよ

693：名無しの不定形生物：XXXXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

abcde—net

血気盛んなベルカだからな。一人死んでも変わりなんてそこらじゅうゴロゴロ

してるだろ

694：名無しの不定形生物：XXXXX／YY／ZZ（水） 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

アイツが死んでも変わりはいるもの

6 9 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

酷え話だ

6 9 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

じゃあその都度戦争が起きそうな場所を嗅ぎ分けて転生してくのか

6 9 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

むしろ我々の存在が戦争の引き金となるような気がしないでもない

6 9 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

まあ確かに戦争が起きれば諸々の技術も漏れなく発達はするけどな

随分限定された方向にだけ

7 0 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

主を使い捨てつつそれらを蒐集してくつて事か

発案者は相当な鬼畜だな

703 : 管制人格 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID : a b c d

e | n e t

大体そんな感じ

「大規模な戦乱の中で発達してゆく技術を残らず蒐集する」ってコンセプトの下

1. 対立の気配を含んで二陣営を焚きつけて戦争を起こさせる
2. 他の「商品」を売り捌きつつ一方に夜天を派遣。技術を蒐集させてゆく
3. 双方陣営の伸び白が無くなったら「暴走」名目で纏めて吹き飛ばして証拠隠

滅件リセット

魔法を記録した夜天本体は転生機能があるから安全

4. 独占状態となる技術の確保 + 商品を売りさばいて丸儲けウマー。(。D。)
  5. 頃愛を見計らって1に戻る
- 簡単に言うところこんな感じらしい

まあ、まだ詳細は判らんのだが

704 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :

a b c d e | n e t

なんとというマッチポンプ

705：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

abcdeinet

真の外道を見た

706：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

abcdeinet

いつそ清々しいまでの悪党だな

707：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

abcdeinet

リアル有害図書じゃないですかーやだー

709：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

abcdeinet

やたらと「ロストログア」が存在してたのはその所為か

710：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

abcdeinet

文明滅びまくれば遺物も増えるわなそりゃ

711：名無しの不定形生物：XXXXX/Y/Y/Z/Z（水） 00：00：00

ID：





7 2 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

二次元の世界に行きたいとか

7 2 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

>> 7 2 3

一瞬許しかけたわ

7 2 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

>> 7 2 3

許せ……んふう

7 2 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

気持ちは判らんでも無いが紳士としてのマナーが決定的に欠けているな

7 2 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

むしろお前達が二次元じゃねーかと

730 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

つまり彼らが目指しているのは一次元……？

731 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>>730 行き過ぎだYO

732 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

線の一体どこに萌えろというのか

733 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

幾らなんでもそれは無いだろ

……多分

736 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

流石の我々でも一次元じゃブヒれませんぜ

738 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
 abcde | net

真つ先にそつちの方向が浮かぶ時点で大概だけどな

739 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
 abcde | net

しようがないさ すれだもの

741 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID : abc d  
 e | net

色々推測を並べてもらつてる所悪いですが、どうにも現状では結論を出せないっ  
 ぽいです

各機能を司るプログラムの閲覧自体は可能ですが、難しい言語やら計算式やらが  
 多過ぎて…

742 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :  
 abcde | net

知識の共有とかいうのがあるんじゃないの？

俺自身も今スーパ―天才的な感じの頭脳があるし

743 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 ID :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;&gt;742

いくら文殊の知恵があろうと地球外のものじゃ対応できないだろ

744 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 00 : 00 : 00 : I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;&gt;742

「スーパー天才的」なんて表現してる当たり国語力が窺えるがな

746 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 00 : 00 : 00 : I D :

a b c d e | n e t

スレ住人の総力を以てしても無理という訳か

747 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 00 : 00 : 00 : I D :

a b c d e | n e t

失われた都の名は伊達じゃないのさ

750 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 00 : 00 : 00 : I D : a b c d

e | n e t

とりあえず解析作業事態は今後もB Gで続けていきますので

何か判ったらまた報告します

751 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

乙

752 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

了解。あんまり無茶はしなさんな

761 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

しかし折角転生したというのに何とも前途多難だな

762 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

転生先がやられる為に存在するラスボスだからな

764 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

路地裏のモブよりはマシ……と言いたいがそれでも無いのか

何とも判断に困る

766 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

こういうのは普通銀髪美形オッドアイな主人公になるもんじゃないのか？

7 6 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

半分は満たしているじゃないか

7 6 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

ロングコート+漆黒の翼 なんてのも装備してませ

7 7 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

今のトレンドは黒髪女顔ミサ●スタンスらしいぞ

7 7 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

>>>770

このパーツでそんな顔だったら間違はなく自決するわ

7 7 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

主人公達とか関わりたくないわー(チラッ)

原作とか関係したくないわー(チラッ)

でもむこうから厄介事が飛び込んでくるから仕方なく対処するわー(チラッ)

そしたらなんかヒロインに着き纏われてマジ迷惑だわー(チラッ)

774:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

>>772なにこれうざい

775:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

>>772これに比べりや少しはマシだな

776:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

所詮はどんぐりの背比べだが

778:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ(水) 00:00:00 ID:

abcde|net

しかし実際前途多難だよな

ポジ的に原作の流れに組み込まれる事がほぼ確定な訳だし



779 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :  
 abcde | net

「夜天の書」 自体は消滅エンドだもんなあ……

780 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :  
 abcde | net

むしろそうでなきゃ話が進まんし、失敗すれば地球があぼんするし

782 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :  
 abcde | net

原作通りに進めばバッドエンド確定だが、原作通りでなければ

地球その他が救われる未来が見えないというジレンマ

783 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :  
 abcde | net

奇跡も魔法もあつたもんじゃねえな

784 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :  
 abcde | net

実際物理法則もあつたもんじゃねえ世界だからな

785 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

はいはいゲッターゲッター

786：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

ヤンデレ好きな俺でも流石にドン引きするレベル

787：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

教えてくれ弁慶……武蔵はあと何回自爆特攻すれば良い？

789：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

三番目にはBメカ並みの呪いでも掛かってるんじゃない？

ミチルさんもペシャンコになったし

790：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

そんな事を語っている我々にもゆるやかなる死亡フラグが立てられてる訳だが

791：名無しの不定形生物：X X X X / Y Y / Z Z (水) 00：00：00 ID：

a b c d e | n e t

眼糞鼻糞をなんとやら

792 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

大変ね (他人事)

794 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

もういつそゲッターとかイデで全部無かつた事に……

795 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 794 おいばかやめろ

796 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 794 それは流石にアカンて

797 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 794 大洪水並みの壮大なリセットが行われちまう

798 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

うちゆうの ほうそくが みだれる

799 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

むしろ基盤もろともぶっ壊れるオチ

800 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

この世界ならマジで本物がいそうで怖いな

801 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

あつたら間違はなく此処の連中が目を付けるだろ

802 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

そしてカウンターで滅ぼされるんですねわかります

804 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

アルハザード滅亡の原因は間違はなくジム神様

805：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

これはひた隠したくなるレベル

806：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

聖王のゆりがこが変形して……なんて事はないよね？

807：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

惑星から変形するロボットくらいならいそうだけどな

808：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

そんなのがゴロゴロしてたらそりゃ飽くなき技術革新を求めたくもなるわな

809：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

必死で積み上げてきた物を鼻息で崩す様な連中だからな

810：名無しの不定形生物：XXX $\times$ X $\times$ Y $\times$ Y $\times$ Z $\times$ Z（水） 00：00：00：00 ID：  
 abcde—net

勝てる気がしない

8 1 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

むしろ勝とうとも思わん

8 1 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

しかし冗談はさておき我々のゴールが本当のゴールというのはいかんだろ現状

8 1 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

まだまだ現代社会には未練たらたらだが

辿りついた時には既にお寿司だもんな

8 1 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

つかアルハザードに永住じやいかんの？

確かに現代にくらべりや昔だけど、別に原始時代つて訳でも無いだろ

こんだけの技術力があるんだから

8 1 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt; 815

超ハイテクだからってフォーリナー共と一緒に暮らしたいか？

817:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

謹んで辞退

818:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

お断りします。(。ω。)

820:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

虫野郎は言い過ぎでも、価値観の違いは確実だろうな

どれ程社会の塵と蔑まれようと真性共と一緒にお願い下げだわ

821:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

死の商人(○)とかファンタジーだけにしとけよ

822:名無しの不定形生物:X X X X / Y Y / Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

さつきも言つてたが二次とリアルの違いだよな

非現実の世界だからこそ許され愛好されるジャンルって事だ

8 2 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

「ガン●ムを作ろう！」とは考えても、「本来の用途でガンダムを使おう！」

なんて言わんだろ？つまりはそういう事だ

8 2 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

同じ人間型であつても全くの別種族と考えた方が良いだろ

こんな事を考えて実行するような連中だし

8 2 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

しかし口だけ達者なトーシロばかりでは好転しないのも事実な訳で

8 2 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

誰か一人ぐらいこの理不尽をひっくり返そうという気概のある奴はおらんのか





>>832どうぞどうぞ

835:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

>>832どうぞどうぞ

836:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

なにこの仕打ち

837:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

伝統とお約束

838:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

まあ行動しようにも情報が足りなさすぎるわな現状

そもそもその選択肢が無い訳で

839:名無しの不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcde|net

金も無いしな

8 4 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

恋人も居ない

8 4 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

童貞だけは堅持されてるがな

8 4 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

>>> 8 4 1 こそこそそんな訳なないだらおろろ

8 4 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

もちつけ

8 4 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a b c d e | n e t I D :

今の状態なら間違いないくモテル (\*、ω、\*) と思ったがTSだから意味ないお

8 4 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D :

a b c d e | n e t

>>>846

TSだろうとなんだだろうと流行らないし流行らせない

848:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

>>>846

どれ程クール系美人でナイスバディで俺好みであろうと流行らないし流行らせ

ない

849:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

>>>846

TSだろうとかまわらないで喰つちまうタチだが流行らないし流行らせない

850:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

アツ——!!

852:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

想像してみたが壮絶だな。同じ顔同士で絡み合うとか

853 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 852 絡むとか言うなコラ

854 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

ぬるぼ

855 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

>> 854 ガッ

856 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

間髪いれず貼られたわ

857 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

見事なものですな

859 : 名無しの不定形生物 : XXXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

さつきから何がしたいんだよおまえら

8 6 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

お約束の確認

8 6 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

こんな状況でもいつもものおまえらで少しばかり安心したわ

8 6 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

どれだけ見てくれば良くて中身がコレだからなあ……

8 6 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;&gt;862逆に考えるんだ

「こんな時でも平静を保てる程に、我々は強靱な精神力を持っている」と

8 6 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

流石はHENTAIの国

866:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcdeinet

せて侍の国とかにしとこうぜお世辞でも

867:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcdeinet

(,A,)へサムラアィ

868:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcdeinet

(,A,)へサムラアィ

869:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcdeinet

(,V,)へブシドオーオウ!

870:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

abcdeinet

なんというプレジデント

872:名無し of 不定形生物:XXX/YY/ZZ (水) 00:00:00 ID:

a b c d e | n e t

専用のステルス戦闘機に乗って聖王陛下からの極秘任務をベルカ魂で乗り越えてくのか

胸熱

8 7 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

普通の娯楽としてなら是非とも見てみたいもんだがな

8 7 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

しかしポジティブに考えれば我々がそんな世界を実現させる事も可能なのでは

ないか?

8 7 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

>>> 8 7 4 おまえは天才か

8 7 7 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)      0 0 : 0 0 : 0 0      I D :

a b c d e | n e t

過去逆行からの歴史改変はもはやテンプレだからな



878 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net ID :

改変つてレベルじゃ (ry)

879 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net ID :

世界を思い通りにするとかまんま悪役じゃないですかー

880 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net ID :

だがそれもまた一興

882 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net ID :

過去など所詮は即席。俺の歩いた道こそが未来を拓くロードになる

とかなんとかどっかの社長が言つてた希ガス

883 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00  
 abcde | net ID :

>>>882

それじゃ光の巨人が町を壊すぐらいの歴史しか重ねられてないぞ

884 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

誤字ったわスマソ

886 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

まあでも腐ってるだけじゃどうにもならんからな

結果的に善になろうと悪と評されようと、最後までやってみようじゃないの

887 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

男は度胸。何だって (ry

888 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

つまりクロノどころかクライドさんをNTRことすら可能という事か

889 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

abcde | net

そそられるじゃないの // // //

890 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 00 : 00 : 00 : ID :

a b c d e | n e t

最初のアイディアがNTRかよ

8 9 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

はやくも原作キャラに貞操の危機迫る

8 9 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

モラルの檻から解き放たれた日本人の欲望で次元世界がヤバイ

8 9 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t 4

○へ俺が活躍できる可能性が微レ存…?

8 9 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

&gt;&gt;&gt;894それはない

8 9 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

まあその内我らが故郷にも辿り着けるだろうさ

それまでルールとマナーを守って楽しく生きようぜ

899:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:

abcdeinet

辿りつけたら未完になる前にゲッターの正体を聞いとくか

900:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:

abcdeinet

つかそもそも此処に居るのって日本人オンリー?

902:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:

abcdeinet

俺はイギリス人の父とフランス人の母とのハーフだぜ

903:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:

abcdeinet

>>902虚言乙

904:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:

abcdeinet

田舎モンはずんだでも舐めてろ

905:名無しの不定形生物:XXXXX/Y Y/Z Z (水) 00:00:00 I D:



a b c d e | n e t

&gt;&gt;&gt;909

節子、それザンギちゃうガイルや

9 1 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

ソニックブーム

9 1 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

何やら御当地バトルが勃発してる件

9 1 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

何と……醜い

9 1 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

争いは同じレベルの者同士でしか(略)

9 1 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水)

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

a b c d e | n e t

争え……もつと争え…… (A A略)

9 1 8 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

これから結束を促そうとする時になんという

9 1 9 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

これこそがスレ住人というものよ

9 2 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

いigoもつとやれ

9 2 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

まあいigoという時には団結ぐらいするだろ

なんやかんやで色んな危機を乗り越えてきた民族だし

9 2 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

沈没したり割れたり大怪獣に襲われたり悪の組織に狙われたりと大忙しだもん

な

9 2 3 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID :

abcde | net

危機に陥り過ぎワロス

9 2 4 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID : abcd

e | net

なんか大丈夫な気がしてきたわ

9 2 5 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID :

abcde | net

どうにかなるだろ実際

9 2 6 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID :

abcde | net

随分と樂觀的だなしかし

9 2 7 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID :

abcde | net

大変なのは重々承知だが、今から肩肘張ったってしゃーないもの

9 2 8 : 名無しの不定形生物 : XXXX / YY / ZZ (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 : ID :



a b c d e | n e t

リアルな話蒐集が進めばこの世界の知識も入ってくるだろうし

そうすれば対策なり選択肢なりも自然と増えるだろうさ

9 3 0 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

あくせくしたってどうにもならん

マターリといこうぜ

9 3 1 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

さすが日本人だ。訳も判らず転生しちまったが何ともないぜ!

9 3 2 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

日本人だもの

9 3 3 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

>>>932この一言に尽きるな

9 3 4 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

全く以て

9 3 5 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

何にせよこれからよろしくタロム

9 3 6 : 名無しの不定形生物 : X X X X / Y Y / Z Z (水) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D :

a b c d e | n e t

乙でしたー

## Das Konto einer Hand

XXXX年XX月XX日（暴風、時々雷）

■■■■より、先日遂に『U・D』が完成したとの報告を受けた。

おそらく、材料の確保段階から嚴重な情報統制が敷かれていたのだろう。計画発案の折、誰よりも先に反対の立場を取っていた事と、自身のこれまでの経歴などを考慮すれば、その迅速かつ周到なる対応にも納得がいく。

今回■■■■が情報を得られたのも、計画が既に止められない所にまで進行しているが故だろう。

後手に回ってしまった。という認識は無い。

我々の、延いてはこの国の現状を鑑みれば、遠からずとも同様の結論には至っていた事だろう。今対処するか、それとも後に回すか。その程度の違いでしかない。むしろ、公然と対処する口実を得られた事に感謝していた方が、気持ちとしても幾分か楽になる。

現状の維持は緩やかなる衰退に同義。それ故に、我々に立ち止まる事は許されない。

だが一方で、その全てを自らが意のままに動かさんと欲すれば、そこに綻びが生じるのもまた必然。

如何に強大なる軍事力を誇ろうと、神代の奇跡を操ろうと、我らが我らである限り、決して真理と真実を覆す事など出来はしない。世界とは儘ならぬ程に複雑怪奇であり、それ故に美しいものなのだから。

一体何時からだろうか、同じ姿形をしているにも拘わらず、一見して持たざる者達が軽んじられるようになったのは。その些細な相違だけで、一方は絶対的な権力者となり、もう一方は言葉すら許されぬ家畜と成り果てたのは。その区分が「当たり前」とされるようになったのは。

もはや、我らの心からはあの光も失われてしまったというのだろうか。

いと美しき□□の□が輝きは。

……いや、今は過ぎた事を嘆いている場合では無い。

我々の技術を以てしても、未だ過去そのものを取り戻す事は叶わない。

ならばこそ、我らは前を向かなければならない。その為にも、未来の芽を絶やさない為にも、一刻も早く完成させる必要がある。

希望の灯、この『不屈なる魂』を――

## 1章：in古代ベルカ

## 【圧倒的】守護騎士御一行様到着【胸囲】

2：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06 ID……gILL2

— aZ3

キター（。▽。）——！！

3：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06 ID……gILL2

— aZ3

遂に来たか

4：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06 ID……gILL2

— aZ3

待ちくたびれたZOY

6：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06 ID……gILL2

— aZ3

ヴァイターちゃんハアハア（； 皿、）

8：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06 ID……gILL2

— a Z 3

シグ姐さんはもらった

9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

— a Z 3

ザッフィーもふもふしたいお

1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 — a Z 3

そしてシャマル先生は余るのか

1 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 — a Z 3

安心しろ。シャマル先生なら俺の隣で寝てるから

1 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 — a Z 3

>>> 1 3

それ残像だよ

1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 — a Z 3

&gt;&gt;13

何時からそれが本物だと錯覚していた？

19 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L

2 | a Z 3

何やらシャマルがとんでもない事になってる件

21 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L

2 | a Z 3

先生は少しばかりどんくさい方が可愛いと思うの

26 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L

2 | a Z 3

そんな事より詳細はよ

29 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L 2 |

a Z 3

今日マスターが騎士達のデータを買い付けてきた

これからインストール作業に入るっぽい

31 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L

2 | a Z 3



買い付けてwww

33 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

守護騎士はDLコンテンツか何かかよ

35 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

随分ハイレベルな人身売買だな

36 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

普通にやれば権利やら何やらで恐ろしい手間がかかるだろうな  
勿論できればの話だけど

38 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

つかそもそも何処から買ってくるんだよ

未来のデパートじゃあるまいし

40 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

我々と同じ製造元なんじゃね？

蒐集機能があるとはいえ、規格だ何だは全部アレが管理してんだろ

4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

まーたアルハザードですか

4 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

本当に連中は何でも取り揃えてるんだな

4 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

ゆりかごから墓場まで

4 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

むしろゆりかご型の棺桶を作ってそうな希ガス

4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

まあ実際ゆりかごは棺桶でもある訳だし

4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L  
 2 | a Z 3

そう考えると聖王つてのは非常にレベルの高いヒッキーな気がするんだが

4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

>> 4 8

そんなの嫌過ぎる w w w w

5 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

別に好きで籠ってる訳じゃないだろ

多分

5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

つかあるのなら最初から入れといてくれよ

5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

>> 5 5

それじゃ後々絞り取れないじゃないですかーやだー

5 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

D L C 商法はこの時代から存在していたのか……

5 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

少し違うとは思いますがまあ行き着く場所は同じなんだろうな

6 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

何処の世界でも搾取する側のやることは汚いな

6 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

汚いなさすがアルハザードきたない

6 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

俺達は百姓でも無ければ菜種油でも無いんだが

6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 6 2

小生は由緒正しき蜜柑農家であるのだが

6 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

知らんがな ( ・ ω ・ )

7 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

でも「商品」になるって事はそれだけあの四人は凄いつて事じゃないのか?

7 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

四人……?

7 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

正確には三人と一頭だな。ザファイーラは守護「獣」な訳だし

7 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

な  
態々そういったデータとして残すとアルハザードの連中が認めたくらいだから

価値だけの戦果とか能力はあるんだろうさ

78 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

鯖みたいなもんか

79 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

セイバーとキャスターと……後は何だ？

80 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

ストーム・パンガード  
ガシ・スイーパー  
突撃前衛と強襲掃討あたりか？

ちよつと違うやもしれんが

81 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

>>> 80

そりゃクラスじゃなくてポジションだべ

8 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L  
 2 | a Z 3

ちなみにシャマル以外の三人は全員最前衛フロント・テッターだった筈

8 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

まあだいたいあつてるわな

8 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

随分おおざっぱな区分だな

8 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

まあ別に侵略者どもをムッコロすのがお仕事じゃないし

9 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

その区分だとなのはさんはどうなるん？

9 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

移動砲台

9 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

ビグ●ム

9 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

重光線級  
マッススルックス

9 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

酷え評価だなしかし

9 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

でも納得できるわ

9 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L

2 | a Z 3

??? 「&gt;&gt;&gt;9 2 | &gt;&gt;&gt;9 7 はちょっと射撃場まで来いな の ……」

1 0 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L



L 2 | a Z 3

的にするんですねわかります

1 0 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

塵一つ残りやしねえけどな

1 0 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

おおこわいこわい

1 0 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

つか守護騎士達って全員原作通りの姿なの？

1 0 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そらそうだろ

1 0 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

それ以外に何かあんの？

1 1 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

鯖と同じ様なシステムなら全盛期の状態で保存されてるんじゃないか？

1 1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

まあ「商品」にする以上ヨボヨボな奴を連れてこられても困るしな

1 1 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

流石に役立たずを掴まされる程マヌケじゃないだろ主も

1 1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

つまりヴィータはあのちびっこ状態が全盛期な訳か

1 1 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

或いはそうなる前にデータ化せざるを得なくなっただか

1 2 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

ヴィー太が凄いか周囲がしょぼいのか

1 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ次元世界は就労年齢も低いからいな

才能がある子を遊ばせておく余裕もなかったんじゃないか？

1 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そーいや管理局も万年人手不足だったんだよな

複数の世界を股にかけてりや当然だが

1 2 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

警察と違って鍛えれば誰でもなれる訳じゃないからな

1 2 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

銃器で武装すればええやん

1 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>>128

三下相手ならまだしも一級相手じや的にしかならんぞ

131 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

そんな「死んでこい」同然の方針なんか出せる訳ないだろ

132 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

つか拳銃ぐらいは普通にあるんじゃないやなかつたつけ？

135 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

そもそも自分たちで創設の理念を崩しちやいかんだろ

まあ有名無実になっても困るが

137 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

理想と現実の板挟みのーね

140 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

何にせよ外見通りの年齢であろう子を戦場に出すとか周囲の大人マジ役立たず

141:放課後NNS:AAAAA/BB/CC(月) 1:30:06 ID:::gI

L2|aZ3

>>140

大人が活躍しちやったら少女達の活躍の場が無くなっちゃうじやないですかー

144:放課後NNS:AAAAA/BB/CC(月) 1:30:06 ID:::gI

L2|aZ3

別に加齢と資質が結びついてる訳でもないからな

仕方あるまい

147:放課後NNS:AAAAA/BB/CC(月) 1:30:06 ID:::gI

L2|aZ3

童貞の神秘は幻想だったというのか……

148:放課後NNS:AAAAA/BB/CC(月) 1:30:06 ID:::gI

L2|aZ3

>>147

それ頼みじやどの道人類が衰退しちまうぞ

150:放課後NNS:AAAAA/BB/CC(月) 1:30:06 ID:::gI

L 2 | a Z 3

一部のリア充たちがハッスルすればおk

1 5 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そうして底辺は遺伝子レベルで淘汰されるといふのか

1 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

これが……これが自然の摂理だとしても

1 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3 4

これだからリア充は！

1 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

とりあえずどこへ行ってもリア充は目の仇にされるのな

1 5 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 1 5 5

それがリア充の背負いし宿命よ

1 5 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

叩くのは良いが胸の内では悔しさを噛みしめている中年達の事も考えてやれよお

まいら

1 6 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

自分に出来ない事を娘同然の子達に強いる訳だからな

まともな精神してたら嫌になるさ

1 6 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

俺達は……脚本の都合で戦わされる事を……

1 6 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

強いられているんだ!!

1 6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

(集中線)

166 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

子どもも大人もそれぞれの形で戦っていると言うのにおまいらと来たら

167 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

&gt;&gt; 166

それはそれ これはこれ

168 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

武器持って戦うとかマジ勘弁

170 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

左様左様

171 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L2  
 | a Z 3

そんな事よりヴォルケン導入で平均胸囲がヤバイ



元々凄かったが、平均しても釣りが来るくらいだ  
ザフィーラなんて3ヶタだけ?

173 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

マジかよ

色んな意味でマジかよ……

174 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

うわぁ…… (ドン引き)

175 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

凄く……大きいです

178 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

管制ちゃんは着眼点が少々おかしい

それとも正直なだけなのか

179 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ひんぬー派の俺としては胸が痛む話だ

1 8 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

全くだな同志

1 8 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 1 7 9 &gt;&gt; 1 8 0

まず鏡を見る事だな。お前さんも大層立派なメロンぶら下げてるから

1 8 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

その胸を腕いでやる!

1 8 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

チツ、チチツチ♪

1 8 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

(。∇。)(。∩。) おっばい!おっばい!

186 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

取りあえず皆落ちつけよ

188 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

久しぶりにスレを覗いたらキンクリしてた挙句内容がカオスだった

誰か蚕業でタロム

189 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 188

新

手

のスタンド使い

190 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 188

キ

ン

グクリムゾン

191 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 30 : 06

I D : : : g I

L2 | a Z 3

>> 188

ボ

ス

の正体は……

192 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 30 : 06

I D : : : g I

L2 | a Z 3

>> 189 | >> 191

そういう事じゃねえよ

195 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 30 : 06

I D : : : g I

L2 | a Z 3

しかしそーいやもう三代目なんだよな

時間の流れとはげに早きものよ

196 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

あのよちよち小僧が今ではヒゲ貴族だからな  
 早いもんだ

198 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

そろそろ初代が懐かしくも思えてくる

199 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 198 どんな人だったっけ？

201 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

髭以外覚えてねーわ

202 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

悪人ではなかったがしかし聖人でもなかったからな

凡庸な存在は時間と共に埋もれちまうのさ

203 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

最近物忘れが激しくてのう……

205 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

まあ既に人生一回分以上はゆうに生きてるからな

普通に考えれば爺も良いところだ

206 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

しかし中身は相変わらずという

208 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

良いじゃないか

変わらないからこそ良いものもある

209 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>>>208

進歩が無いって意味だろ

2 1 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まるで成長していない……

2 1 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

引き渡しも事後経過も予想以上にすんなり終わったからな

刺激が無けりや自然とだらけるもんさ

2 1 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

「転生」とやらも未だ体験してないからな

ただ延々と終わらない夏休みを体験してるみたいなものだろ

2 1 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

変に騒動が起きるよりはマシだけどな

2 1 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

流石に気が付いたら売約済み はどうかと思うけど

2 1 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

あ、ありのまま今起こった事を話すぜ

「俺は独自路線満載な物語の序章を読んでいたと思っていたら

いつのまにか原作キャラが登場するシーンに飛んでいた」

な、何を言ってるか (r y

2 2 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 2 1 8

だいたいあってる

2 2 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 2 1 8

まさしくそんな感じだよな

2 2 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3



まあ事件らしい事件も無かったからな今まで

2 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ある意味では平和だよな

「暴走」も未だ起きた事ないし

2 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

軽犯罪は兎も角、大規模な戦乱の気配が微塵も無いからな

まさか痴漢相手に世界滅ぼす訳にもいかんし

2 2 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 2 2 5

実際そうだよな。被害者の心情はさておき

2 2 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

現実なんてそんなもんさ

2 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

事件そのものは大なり小なり起きてるだろ

ただそれが味覚を刺激するに至ってないだけで

2 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

舌自体が馬鹿になつてる可能性も十分にあるが

2 3 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ隣国で戦争やってても（・|・、）フーンぐらいしか感じないもんな

2 3 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

心を痛めたり何なりする奴も世の中にはいるが

少なくとも我々はそれに該当してないわな

2 3 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

大人って冷たいね……

2 3 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

一々心を動かされる余裕もゆとりも無いのさ

日々の仕事に忙殺されちまってな

2 4 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 2 3 8

現在無業な我々が言っても説得力ゼロだが

2 4 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

わ、我々に仕事が無いってのは、それだけで平和な証じゃないですか(震え声)

2 4 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

あつても好き好んで働かんだろ実際

2 4 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあね

2 4 8 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

と、なんやかんやと言いつつもインストール開始

まあ時間かかるのでゆっくり駄弁っててくださいな

2 4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

ゆっくりして行ってね!

2 5 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

つかそんなに時間かかるの?

テラソラスでさえ処理落ちさせない蝶スペックやん

2 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 2 5 0

人間 3 人 + 狼 一頭を丸事入れるんだから時間もかかるだろ

2 5 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

むしろ数秒で済んじまったら悲しいだろ

我々でも時間がかかる程に膨大△濃密という事だ

2 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

らめえええつ!! そんな大きいモノ、入らないいいつ!!

2 5 6 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

で  
 そういや言い忘れてたけど、「商品」としての用途はあくまでも戦闘単位だけなの

原作みたく感情やら何やらは備わってないようです

まあそれぐらいなら此方から弄れるみたいですけど

2 5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

初期状態って事か

2 5 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ確かに「駒」なら感情は不要だろうな

2 6 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

「アルハザード」のブランド名のおかげでその程度じや動じなくなってきたな

2 6 3 : 2 5 5 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2 |

a Z 3

スルーされた(・ω・)

2 6 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 2 6 3

よくある事だ。気にすんな

2 6 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 2 6 3

R | 1 8 関連は専用スレでやってくれ

2 6 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

もうそんなのが立ってるのかよ

2 6 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つくづく業が深いな

2 7 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

で、何の話題が出たんだっけ?

2 7 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 2 7 0

おっばい

2 7 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 2 7 1

すり替えようとすんな

2 7 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

??? 「すり替えておいたのさ!」

2 7 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

ホ! i t ☒ s n o m o n e y !

2 7 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

守護騎士達が真っ白だとかなんとか

2 7 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 2 7 6

そんな感じ

2 8 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあそんな背景があつたのは確かに遺憾だが

無ければ我々が足していけば良いではないか

2 8 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

いよいよ魔改造が始まるのか

2 8 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I



L2—aZ3

良いではないか良いではないか

286 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06

I D : : g I

L2—aZ3

プロジェクトPですわかります

287 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06

I D : : g I

L2—aZ3・

Project President—manか

290 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06

I D : : g I

L2—aZ3

ここまで名が体を表していないのも珍しい

293 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06

I D : : g I

L2—aZ3

つか未だに自分達の事すら良く判っていない我々でも弄れるの？

296 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L 2

—aZ3

取説みたいなのが一緒に付いてきたから無問題

297 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

取説て

300 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

1. 烈火の将は戦闘時以外は働きませんが仕様です

1. 鉄槌の騎士はいつまでたっても成長しませんが仕様です

1. 湖の騎士のうっかりは仕様です

1. 盾の守護獣に玉葱を与えないでください

302 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

>> 300

酷え w w w w w w

304 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

>> 300

いくらなんでも失礼すぎんだろ w w w w w

3 0 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 3 0

なんとというポンコツ共 w w w w

3 0 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

しかしこれらも現実のものにできるのか

胸熱

3 0 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

あんまりやり過ぎてもファンからクレーム来るだろうから程々にな

3 0 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

此処に居るであろうファンとしてはどうなのよ

3 1 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

三次元になってしまった時点でちよつと……

と思ったが、一応テレビで見たまんまなんだよな

3 1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

ここまでくれば流石に夢では無いだろうけど

未だに良く判らんよな

3 1 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

確かに現実ではあるんだろうが、見えている映像はまるつきり二次元だもんな

3 1 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

二次が三次になったのか、それとも我々三次が二次となったのか

3 1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

駄目だ、頭痛くなってきた

3 1 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

三ヶタ以上の計算は受け付けないんだよ

3 1 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 3 1 8

それは流石に無能過ぎだろ

3 2 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そして住人達は考える事を止めた

3 2 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

こういうのは哲学者にでもやらせときゃ良いんだよ

凡人がどれだけ頭振りしぼろうと答え何ぎ出る訳ない

3 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

とつとと切り上げるのが勝ち組さ

いつまでも拘泥しつづけるとか情弱

3 2 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

とりあえず魔改造はルールとマナーを守って楽しくやってくれよな

3 2 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

だな

3 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

まあ少なくとも「二次」ではあるだろうな

「原作」がある以上

3 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 3 3 0

誰が上手い事言えと

3 3 5 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : : g I L 2

| a Z 3

と言う訳で、ネタでもガチでも良いから色々と案を募集します

とりあえず基本ところは既に登録されているみたいなので

各々追加したいものを上げていってくださいな

3 3 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

とりあえずキワミは外せないだろ

3 3 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ガトチュも鉄板だな

3 3 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

この世界ならリアルにヒテンミツルギスタイルも再現できるだろ

3 4 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

お、オニワバンスタイルは……？

3 4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 3 4 1

あれ二刀流じゃなきや映えないだろ

3 4 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

でも鞘使えば擬似的な二刀流もできるんじゃないかね？

3 4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

つかそもそも獲物って何だっけ

3 4 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

西洋剣(片刃)とハンマーと爪・牙とぶっこ抜き

3 4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 3 4 7

明らかにおかしいのが混ざってるだろ

3 4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

気にするな！

3 5 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3



まあ剣・ハンマー・徒手空拳で別ければ結構出そうだけどな

3 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

徒手空拳は全員に入れても問題無いだろ

自衛なり緊急時の迎撃なりで

3 5 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

あの四人が一斉にキワミを放つというのか……

3 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

キワミのバーゲンセールだな

3 5 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

なんというオーバーキル

3 5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

アンジー和尚はきつと草葉の陰で泣いてるに違いない

360 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

まあでも振動破砕とかいう技もある訳だし、それ程浮く事はないだろ

362 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

見える、見えるぞ……

「極めるとはこういう事だ」とか言いながら鼻にキワミする守護騎士の姿が

363 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

頭突き肘打ちは勿論の事、果ては尻尾でさえもキワめる事が可能に

364 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

尻尾とか一人しかいねーじゃねーか

370 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : : g I  
 L 2 | a Z 3

ところで皆好き勝手注文するのは良いけど技術的には術として形にできんの？

後容量とかは大丈夫なん？

374 : 管制人格 : AAAA / BB / CC (月) 1 : 30 : 06 ID : : g I L 2  
 | a Z 3

容量に関しては問題無いです。我々の超技術を以て圧縮すればかなり入れられるので

376 : 放課後 N N S : AAAA / BB / CC (月) 1 : 30 : 06 ID : : g I

L 2 | a Z 3

それでも流石に我々程は入らないだろうけどな

製造コンセプトが違うし

377 : 放課後 N N S : AAAA / BB / CC (月) 1 : 30 : 06 ID : : g I

L 2 | a Z 3

元が元だからほぼ無尽蔵だしな我々

380 : 放課後 N N S : AAAA / BB / CC (月) 1 : 30 : 06 ID : : g I

L 2 | a Z 3

我々のスペックがどれくらい凄いのか正直良く判らんからガンダムで例えてく

れ

381 : 放課後 N N S : AAAA / BB / CC (月) 1 : 30 : 06 ID : : g I

L 2 | a Z 3

## 完全起動の髭

3 8 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

天パが乗ったユニコーン(緑)

3 8 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

悟りを開いたメタルせっさんとクアンタEのコンビ

3 8 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

自重を止めたイデ

3 8 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 3 8 4

さりげなく混ざんなし

3 8 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ三代目までで集めた物もあるからな

そっち方面に関してはだいぶ精通してきてるだろ

390 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

上で上がってたヒテンミツルギスタイルは勿論

バトル物でお約束なトンでも科学さえ再現可能よ

391 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

相変わらず肝心な事は何一つ判ってないけどな

392 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 391

それは言わんといてー

394 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

見事なまでに偏ってるからな実際

397 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L 2

| a Z 3

兎に角そんなこんなで、今や想像しただけで元ネタを再現できるのですよ  
その凄さと言ったら、使っている我々さえ良く判らん程です

398 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

それって駄目じゃね？

399 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

普通に考えればそうなるよな

401 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

自分でも判らんものを使ってるというのか

402 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そんなの現代社会じゃよくある事さ

403 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 401

お前さんだつて製造方法やらプログラミングなんて判らんだろ？

つまりはそういう事だ

405 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

一人で全部賄おうとすれば何百年掛かっても足りんさ

分業は高度な社会の必然よ

406 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

別に千年掛かっても問題無い訳だし

そもそも我々は一応プロフェッショナルに含まれるんじゃないのか？

好きでなつた訳じゃないが

408 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

>> 406

細げえことは (r y

410 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

もう面倒だし「才能の無駄遣い」で片づけとこうぜ

4 1 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

良いのかよそんなので

4 1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

態々文句を言いに来る奴もおるまいて

4 1 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つー事で追加再開だが、他に何かあったつけ？

4 1 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

考えれば幾らでも湧いて出てくるだろうが

いざ上げようとする中々出ないもんだな

4 2 0 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

ネタ奥義に関しては後からでもこつそりインストールしておく事は可能なので



また何か思いついた時でもよかです

4 2 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3 ▪

了解

4 2 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

承知した

4 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そういや主が使う物にも既にネタ技仕込まれてんだよな

4 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

もう既に何度か使われてるし

4 2 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

マジか w w w w 知らなかったわ

4 2 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3 ▪

そういう事だけは素早いのだ

4 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

良い年こいたおっさんが真顔で……

4 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

これは酷い

4 3 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

当人は勿論、周囲もいたって真面目だからな

その反応が一々面白いわ

4 3 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まさか自分のデバイスの中がこんな事になっているとは夢にも思うまい……

4 3 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

エエーッ!?

4 3 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 4 3 6

聞いたなコイツ!

4 3 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 4 3 6

聞いたなコイツ!

4 4 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ退屈な世の中の清涼剤という事で一つ

4 4 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そもそも主は我々の存在を認知しているのか?

4 4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

確か自主的には具現化できないんだよな我々

4 4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

な  
主人が要請した時か、それこそユニゾンした時ぐらいしか外界には出られんもの

4 5 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3 ▪

>>> 4 4 8

でもユニゾンした時って主ベースやん

4 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つまりあのヒゲ貴族がノースリーブミニスカを……

4 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

オエーツ (A A 略)

4 5 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>452>>453

さすがに専用の甲冑はデザインされてるぞ

456：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06

ID……gI

L2—aZ3

まあ少なくとも機能と存在は把握してらるだろうな

中身がこうなってるのは知らないだろうが

457：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06

ID……gI

L2—aZ3・

顕現してもボロなんざ出さないしそもそも呼ばれて無いからな

458：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06

ID……gI

L2—aZ3

もったいないなーこんなにびじんなのになー（棒）

461：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06

ID……gI

L2—aZ3

どうせリア充な主には関係無い話だろ

今こうしている間にも奥方と晚餐会だろうさ

462：放課後NNS：AAAAA／BB／CC（月） 1：30：06

ID……gI

L 2 | a Z 3

呑気に話していただけるのも放置の賜物という訳か

4 6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

なんとという格差社会

4 6 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

勝ち組の余裕とでも言うのか……

4 6 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

それに比べ我々ときたら

4 6 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

「美人なら何をしても人生イージーモード」

そう考えていた時期が、私にもありました……

4 7 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

出会いどころか外に出る事そのままならんからな現状

4 7 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

これは嫉妬せざるをえない

4 7 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

うらみはらさでおくべきか

4 7 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ここで更なるネタ奥義の投入だあーっ!!

4 7 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

尻から出る砲撃とか、勝手に全部ページする爆発反応装甲とかか

4 7 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

クロス・アウツ  
脱衣完了!!

4 7 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

やり方が陰湿すぎる

4 8 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

荒ぶる気持ちもわかるがもちつけおまいら

4 8 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

荒ぶる繋がりで思い出したが、荒事ばつかじゃなくて他のも考えようぜ

このまんまじゃネタ技をばら撒く戦闘マシーンにしかならんぞ

4 8 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

それもそれで見てみたい気もするが流石に自重するわ

4 8 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

遺憾な、つついそつち方面ばかり偏つちまう

4 8 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3



何でそっちにばっかり行ってたんやろ

4 8 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

少年の夢が実現できてテンション上がったたんだろ皆

4 8 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

誰だつてスペシムには憧れるものさ

4 8 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

せやな

4 9 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

じゃあ早速だけど性格とかはどうするん?

4 9 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

この場で全部ガチガチに固めても不自然になるだろうから

方向性だけ定めて後は育ててゆく感じじゃね?

494 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

プログラムじゃなくて生物としての完成度を高めるならそうなるよなやつば

496 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

でも現状じゃ戦闘以外に使われなくね？

主はそんな事知らないだろうし

497 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

そも真つ白じや単なるサンドバックで吸収も何も無いだろ

498 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

唯のカカシ (ry

500 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

それはアレだよ、我々が噛んで含めていけば

502 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2—aZ3

字じや何ともないが絵にすると非常にアレだな

&gt;&gt; 嘸んで含める

503: 放課後 NNS : AAAA / BB / CC (月)

1 : 30 : 06

ID : : gI

L2—aZ3

ヴィータはギリギリだとしても大人三人にそれか

しかも内二人は同性だし

504: 放課後 NNS : AAAA / BB / CC (月)

1 : 30 : 06

ID : : gI

L2—aZ3

百合厨歓喜

506: 放課後 NNS : AAAA / BB / CC (月)

1 : 30 : 06

ID : : gI

L2—aZ3

あくまでも例えだろ&gt;&gt; 嘸んで含める

507: 放課後 NNS : AAAA / BB / CC (月)

1 : 30 : 06

ID : : gI

L2—aZ3

それぐらいわかつとるわ

508: 放課後 NNS : AAAA / BB / CC (月)

1 : 30 : 06

ID : : gI

L 2 | a Z 3

夢ぐらい見させろよ畜生

5 1 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあプログラム弄る要領で少しずつ加算してけばよくね

5 1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

その方が融通も利くだろうしな

5 1 4 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

了解

性格やら気質に関しては、今後皆さんと一緒に育ててゆく事にしますですはい

5 1 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

承知

5 1 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ子持ちぐらいいるだろうから

これから皆で育ててこうぜ

5 1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

随分とデカイ子どもだなしかし

5 1 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

単純な身長にしても三番目くらいだからな我々

5 2 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

とりあえず性格はそれで良いとして

騎士甲冑とかも最終的にはやてがデザインするから後でも良いよな

5 2 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

今使えるかは判らんが、服繋がりて非戦闘時用の私服のデザインも考えとこうぜ

5 2 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

騎士甲冑の有効活用だな

魔力切れにさえ気を付けければ着せ替えし放題だし

5 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

とりあえずヴィータ用に兎付きのフリフリゴスゴスでも用意しておくか

5 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

何語だよ>>フリフリゴスゴス

5 2 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

シグナムはセクシー路線で行くか

5 2 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

既にセクハラ親父な氣質が滲み出とるがな

5 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

いやここは敢えてシグナムにゴスロリを……

5 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

つまりシヤマル先生は女王様風味か

5 3 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 5 3 1

この流れで何故そうなる

5 3 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 5 3 1

単なるお前の趣味だろ豚野郎

5 3 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあまあそういうのも候補の一つという事で

5 3 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

女性陣はともかくザッファイーはどうするん？

5 3 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 5 3 7

僧衣でも着させとけ

5 4 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

そしてキャストオフするんですねわかります

5 4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

そも獣形態が本体な訳だから服なんざいらなくね？

5 4 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

つまりフルにフロンタールか

5 4 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

ぶら下げたままじゃ落ち着けんだろ

5 4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I



L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 5 4 4

主に周囲がな

5 4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

ここは敢えてフルの状態にする事により敵の戦意を削ぐとか

5 4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 5 4 8

一体何と戦ってるんだよ

5 5 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 5 4 8

間違いなく後ろから撃たれるだろ

5 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

極限状態においては恥じらいなぞ不要さ

5 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

あえて肌を晒す事によって感覚を敏感にしてうんたら

5 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

恥じらうシグナムさんとか萌えるジャマイカ

5 5 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

ヴィータは何かイケナイ雰囲気になりそう

5 5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 5 5 6

普通にアウトだよ

5 5 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 5 5 6

情け無用に通報

5 5 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

国家権力仕事しろ

5 6 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

そういやリアルな戦争じゃ色々放出しながら戦ってたらしいけど  
 流石に此処でそれは無いよな

5 6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

アイドルは●●しないんだよ

5 6 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

専用の術式とかで抑制とかしてるんじゃないかね？

5 6 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

低ランク魔導師でもそんな事にリソース割く余裕あんの？

5 6 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

我々はそもどうなってるっけ？

5 6 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そもそも物食ってないですしおすし

5 7 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

出すもんも何も無いな

5 7 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

じゃあこのメロンには一体何が詰まってるんだよ

5 7 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 5 7 2 ロマン

5 7 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 5 7 2 夢

575 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>> 572 希望

576 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 572 脂肪

577 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 576 屋上

578 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

巨と貧の戦争とかマジ不毛

581 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ服装も今この場で全部決める必要も無いだろう

どうせ現代まで使われないだろうし

583 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

我々の常識に則った「良い主人」に巡り合う可能性は無いん？

5 8 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

原作通りに進むのであれば居ないだろうな

この世界がどうなるかは知らんが

5 8 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つまりはやての下へ辿り着かない可能性もある訳か

5 8 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ選択肢としては存在してるわな普通に

5 9 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そういう原作云々で思い出したが、守護騎士達の名前ってどうなつとんのよ

5 9 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

原作通りじゃねーの？

593 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

いやしかし原作のアレは魔導生命体としての名前であつて

元ネタさんの名前とは限らんだろ

594 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

仮に同じだったとしても、フルネームなり何なりあるだろ

595 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

成歩堂

597 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

貧しい発想でスマンが、やっぱあの四人？つて貴族だとか何とかなのかね

598 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

家柄はともかく爵位ぐらゐは持ってそうだけどな。武勲侯とか

600 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

そも古ベルカがどういったシステムなのかさっぱりだから何とも言えんが

601 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

今がその「古代ベルカ」な訳だから元ネタさんは更にその前じゃね？

605 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I L 2  
 | a Z 3

一応元ネタさん達にもそれぞれ普通の名前が付いてたつぽいけど

「商品」としては烈火のくみたいなラベルしな無いですたい

606 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

まあ呼び分ける事ができれば済むからな。唯の駒なら

607 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

異名なら番号よかはマシだろ

610 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I



L 2 | a Z 3

しかし何ともドライな世界やな

6 1 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そら現代日本とは常識からして別物だからな

奴隷制度もごく当たり前だし

6 1 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 6 1 1

奴隷なら現代日本にもいるじゃないですか

社畜という名の奴隷が

6 1 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 6 1 1

権力の犬なんてのもおりますぜ

6 1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

名前だけ挿げ替えられて結局どの時代でも根本は変わらないのな

6 2 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つまりそれらの束縛をふりほどいたニートこそが至高という結論に至るのが必

然

6 2 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 6 2 0

それはない

6 2 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 6 2 0

J ( , ' , | , ) し たかし……

6 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 6 2 2

止めてくれ、それは俺に効く

6 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

で、結局どうするんよ

6 3 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

とりあえずそれも原作通りで良くね？

他にじっくり来るのも思いつかんし

6 3 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

散々頭を絞ってもどうせ D Q N ネームもどきしか生まれんだろうからな

6 3 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

奇をてらい過ぎた拳句浸透しなくて早々に廃れるというオチが付く

6 3 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

苗字はどうするん？

6 3 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 6 3 6

最終的には「八神」で落ち着く事になるだろ

6 4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 6 3 8

上の流れ全く無視する事になるが俺も同意

6 4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

姓名判断師でもいれば楽に片付くんだけどな

6 4 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そしてバグるんですねわかります

6 4 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

あれが世に出てもう15年以上経つのか

6 4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

もうそんなネタも通じない時代が来るんだろうな

6 4 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

かみなりバツジ

6 4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

けつばん

6 4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

あね<sup>ゞ</sup>デパみ<sup>ゞ</sup>

6 5 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

何もかも皆懐かしい……

6 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

そもそも我々の存在自体がバグみたいなものじゃないの？

6 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

バグがバグを語るとな

6 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

しかしこれで我々も名付け親か

何やら不思議な感じだな

6 5 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

そういや原作でも似たようなシチュ無かったっけ

6 5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>>>6 5 6 そりゃ付けられる側だべ

6 5 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

惜しむらくはそれほど感動的でも無いという事か

6 5 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6  
 I D : : g I

L 2 | a Z 3

いいシチュエーションだ

6 6 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

しかし続かない

6 6 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

むしろ続けさせない

6 6 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

ピキピキ (# ^ U ^ ) 「後悔するぞ……」

6 6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

Don't 来い!

6 6 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

それなりの感動を起こすには道中の下積みが大事なんだろう

667 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

しかしそうなると此処での我々の通称ははやてさんのセンスに掛かっているという事か

668 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

よくもまああんな単語がとつきに出たもんだ

670 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

小学三年生相当の語彙力とは思えませんぜ

671 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

まあ一歩間違えればとんでもない D Q N ネームになってたろうけどな

672 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

流石にそれは……無いとも言いきれないな

674 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I



L 2 | a Z 3

クーゲルシュライバーとか付けられたらどんな顔すりや良いのさ

6 7 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 6 7 4 笑えば良いと思うよ

6 7 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ベルカというかドイツ系ならまだマシだろ

柿木次郎佐衛門六介とか付けられたらどうすんだよ

6 7 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

八神柿木次郎佐衛門六介か

随分と地に足付いた名前じゃないか

6 8 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 6 7 8

地に付くどころか沈んでるよ

6 8 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

>>> 6 7 8

そもそも明らかに女性名じゃねーじゃん

6 8 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

つくづく原作者のセンスには頭が下がる

6 8 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

しかしこの世界で我々が騎士に付けた名前はその元ネタがそもそも彼女達自身

な訳で

6 8 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

何かややこしくなってきたな

6 8 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

アレだよ、卵が先か鶏が先かって奴

690 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I  
 L2 | a Z 3

>> 689 卵から孵るのは雛だろ J K

691 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

>> 690 それ言ったらアカンて

693 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

来が  
 我々がソースとしたのはそも「原作」な訳だが、その原作世界における名前の由

そも一体何なのかという

694 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

名の由来を追う事で無限ループに突入する可能性が微レ存…?

695 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 30 : 06 I D : : g I

L2 | a Z 3

>> 694 これ以上ドジリスを虐めてやるなよ

698 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

まあ普通に考えてそんな事ありえんだろーうな

699 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
 L 2 | a Z 3

ですよねー

700 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ所詮は名前エディットだしな

702 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

とりあえず呼ぶに困らなくて似合ってるやそれで良いよ

それと「ああああ」とかにしなけりゃ

703 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

原作通りにしとけば似合わないなんて事はありえんものな

705 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

そも「似合っている」という認識も原作という存在による (r y

7 0 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

また堂々巡りが始まるお……

7 1 0 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

などと他愛無いお喋りに興じている間に4騎の完全DL完了しました

7 1 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

乙

7 1 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

おっー

7 1 5 : 管制人格 : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I L 2

| a Z 3

言い忘れてたけど、保存領域やら権限やらの問題で直接対面はまだ難しいっぽい

です

なので、陰ながら見守ってやってください

7 1 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

了解

7 1 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

お喋りとかはできないのか

7 1 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

無念………(・ω・)

7 2 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 7 1 7 &gt;&gt;&gt; 7 1 8

まあその辺も追々できるようになるだろ

7 2 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

つかこれって主とか制作者のコンセプトをガン無視する事になるよな

7 2 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

ささやかな反抗心

7 2 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

反発したくなるお年頃なのさ

7 2 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

＼(O)／

7 2 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>>726

ちよつと遅咲きじゃありませんか……？

7 2 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>>727

言うてやるな

7 3 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

か  
しかしこの世界が原作と同じ歴史なら、彼女達もまた苦難の道を歩む事になるの

7 3 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

言われてみりやそうだな確かに

7 3 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

その発想は無かったなんてのは口が裂けても (ry

7 3 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3

まあ騎士さん達も我々と同じく二度目の人生なんだろ？

折角なら楽しまねば損

7 3 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I  
L 2 | a Z 3



二週目チートかと思ったが成長しないんじゃないや意味無いなそもそも

7 3 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 7 3 6

精神面ではまだまだ成長の余地在りですぜ

7 3 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

今更ながら元ネタな人達が魔改造についてどう感じるか心配になってきた

7 4 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ少なくとも良い顔はしないだろうな

7 4 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

自覚有りやってんのかよ

7 4 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>> 7 4 1

何を今更

7 4 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあ普通に死者を弄りまわしてるに同義だからな

7 4 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

エキセントリック☆不謹慎

7 4 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

死人はさておき不謹慎とか日本ではよくあること

7 4 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

これも日本の成せる技よ

7 4 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

どんな国だ

7 4 9 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月) 1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt;&gt; 7 4 8

おまえの故郷

7 5 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

評価はさておき、何れ彼女達も我らが故郷の土を踏む事になるんだ

予行演習にやり過ぎはあるまい

7 5 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

いわゆる洗礼という奴か

7 5 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

まあその前に「夜天」の一部になる訳だがな

7 5 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

ようこそ夜天の書へ。我々は君達を歓迎する

7 5 6 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6

I D : : g I

L 2 | a Z 3

.....wel<sup>よ</sup>com<sup>こ</sup>me<sup>そ</sup>!

7 5 7 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 7 5 6

悪意は無いのかもしれないが色々台無しだ

7 5 8 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 7 5 7

多分俺も同じ奴を想像したわ

7 6 0 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

それは私の(自主規制)

7 6 1 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

>>> 7 6 0 そこまでよ! (A A 略)

7 6 2 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

相変わらずの g d g d つぶり

7 6 3 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

誇りのほの字もねえのな

7 6 4 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

&gt;&gt; 7 6 3 プライドで飯が (r y)

7 6 5 : 放課後 N N S : A A A A / B B / C C (月)

1 : 3 0 : 0 6 I D : : g I

L 2 | a Z 3

何はともあれおいでませヴォルケンリッター



—— 戦いが 終わった

これまで幾度となく夢見てきた光景であるが、今度こそ現実ほんものなのだろう。周囲から響き渡る戦友達の歓声も、流される涙も、幻覚と切り捨てるにはあまりにも迫真性があり

過ぎる。

自身と同じ年頃の子さえ持つ大の男が咽び泣くなど、平時であれば可笑しな光景以外の何物でも無いかもしれない。だが今この場に限れば、それさえも極自然な振る舞いとなる。それ程までの惨禍だったのだ。

妥協点も無ければ捕虜も要らない。最後に立てるのは勝者のみであり、敗者は須らく地へ還る。やらねばやられる世界であるとは理解していても、皆心の何処かではそんな事に疲れ切っていたのかもしれない。

勿論、私自身もまたこの勝利を喜んではいない。「勝者」として最後まで立ち続けていた事は、その果てに「平和」が有る事は、私もまた彼らと何ら変わりはない。それでも尚、この心が随分と落ち着き、波風一つ無く澄み切っているのは、或いはもう長く無い事を本能が受け入れている為だろうか。

既にこの身は満身創痍。甲冑の色は生地か血かも判らず、共に戦場を駆け抜けてきた相棒は原型さえ留めていない。尤も、人がヒトとして死ぬ事さえ許されない現実を鑑みれば、こうして五体満足で居られる事さえも奇跡的なのかもしれないが。

——どれ程医の術が発達しようと、*“生命”*には越えてはならぬ限界りんりがある。一度その禁忌を犯せば、騎士どころか生命としての尊厳さえも立ち所に失われてしまう——

所詮は受け売りであり、また自身も学がある方ではないが、姉同然でもあった人から教えられたその言葉は、不思議と記憶に残るものであった。『だからこそ医者は全力を尽くす。医者として、医者である限り』という、その信念と共に。

この先訪れるであろう「平和な時代」というものを直接見られないのは、確かに心残りではある。戦火の下で生まれ、物心付いた時には既に武器を握っていた身であるだけに、その想いは一入だ。

しかし、だからとて理不尽な現実に対して喚き散らし、晩節を汚す愚行をしでかすつもりも無い。若輩以下ではあるものの、この身は既に騎士。半身同然である愛機と、賜った……もとい、「迎え入れてくれた」名前とに誓って、その誇りに自ら傷を付けるような行いはしない。騎士として人として。最後までその尊厳を貫き通してみせよう。

何より、自分はもう一人では無い。この先で待つは永遠の闇ではなく、「家族」達なのだから。

結局、多くの礎も僅かばかり運命さだめの履行を先送りにしただけなのかもしれない。だが、その間に自身は戦い続けられた。戦いが終わった。その節目に立ち会う事が出来た。そう考えれば、決して長くは無いこの生もまた意味のあるものだったのだろう。

親も、きょうだいも、名前さえ無かった浮浪児が、資質に恵まれ、家族同然の仲間を得て、最高の戦友ともと巡り合う事ができた。孤独と失意の中で朽ち果てる事があたりまえ

な世界の中で、その幸福をどうして無碍にできるだろうか。不平不満を漏らせるだろうか。

だが、もし叶うのなら。もし許されるのなら。

最後に一つ、一つだけ願ひがある。

返り血で染まりきっているこの身が、今更無垢な存在としてやり直す事なぞ望める筈も無い。そんな事はとうの昔、初めてこの手で武器を掴んだ時から既に覚悟の内だ。

だがせめて、「少女の姿をした兵士」ではなく「自らの意思で戦う少女」として生きてみたい。滅ぼされんが為に滅ぼす戦いでも、その敵を滅さんとする鉄槌でも無く、愛する者を、掛替えの無いモノを「守る為の」力になりたい。そんな信念ねがいを抱ける存在で在りたいのだ。

視界がぼやける

血も魔力も、およそ生命の燃料足りうるものを全てこの世界へと捧げてしまったのだから、それも今更だろう。もう何も見えない、聞こえない、感じられない。

ああ 待たせて すまない

今 わたし も そちら へ 逝く——



— 668  
 ・ S i g r u n A l e x i a A h l e r s m e y e r ( G r a f ) P . A 6 4 8

歴史的大敗を喫した撤退戦にて殿を務める。

地形さえも変わり果てたと言われるその戦火の中、最後まで一人立ち続けた。

・ S o f i a R o s a l i n d e R i c h t e r ( B a r o n e t ) P . A 6  
 4 5 — 6 6 9

帝都防衛戦にて、逃げ遅れた者達が居た病棟を守る為前線へと赴く。

当時その病棟へ入っていた者達が、後に戦局を変えた要因になっていたと言われている。

・ G e o r g ( R i t t e r ) P . A 6 5 6 — 6 6 9

同じく帝都防衛線にて、最後まで主の傍らに立ちつづける。

その名に恥じぬ奮戦により、守り続ける主を守護し続けた。

・ V e r o n i k a A l m a A h l e r s m e y e r ( R i t t e r ) P . A  
 6 5 7 ? — 6 6 9

最後の戦場において獅子奮迅の活躍を見せ、終戦へと貢献する。

その最期には、久しく見せていなかった笑顔を浮かべたと言われる。

## 【汚物は】ヒヤッハー!安価だぜえ!!【消毒】

「悪魔」

そう、アレはまさしく現世へと蘇ったそれそのものだ。

例えその身に天使が如き三対の翼を戴こうと。立つ次元の差を感じさせる程までに圧倒的な魔力を迸らせようと。奇跡としか形容する他無い暴力を掌一つで行使し、その果てに天地を覆そうと。私にはそれ以上の適切な詞なぞ思いつかないし、それ以外の尊称なぞ断じて認めはしない。

「彼」の事であれば、私も良く知っている。

四騎の従者を従え、剣林弾雨の中を駆け抜けていた「彼」ならば、それこそ親友同然の間柄であつた。敢えて記すような点など、精々が言葉よりも先に剣を交え合い、数十の戦火を越えて尚顔を突き合わせるような腐れ縁だつた事ぐらいだろう。袈裟を憎むまでに敵対してきた仲であつたが、不思議と剣を交える瞬間は充実したものだつた。

だが、今骸の山の頂きへと立っているのは「彼」であつたもの。

純粹な戦闘能力は言うには及ばず、その雰囲気や戦闘スタイル。果ては個々人特有で

ある魔力反応までもが別人同然。嫌という程見知った顔の面影が残されていなければ、  
気付く事さえできなかつただろう。

その理由、もとい要因げんいんは判っている。

奴の持つ魔導書……あの古代遺物に良くない噂が付きまどつてゐるのは知つていたし、それが強大な力を秘めているという情報も掴んではいた。しかし、その秘めたる威力の真髄までは測りきる事ができなかった。

……いや、その認識の甘さもまた私の力不足まんしんなのだろう。

何れにせよ、最早今の私に打てる手など残されてはいない。

かの地アルハザードの技術を以てしても、未だ完全なる死者の蘇生・時間の逆行には至らないと聞く。義肢再生程度であれば既に我々の国でも実用化されているが、それとて大規模な設備と少なく無い時間を要してのもの。一步さえこの場より動く事の叶わぬ現状では、自動で働いている延命措置も直に無駄なものとなるだろう。

今更「人生に悔いなし」などと架空無稽な戯言つよがりを吹くつもりは無い。ごく真つ当な一人間として、未練も悔恨も人並みには有している。愛する故国の命運と、そこに残した妻子達。共に闘い続けた戦友達と、こんな自分を慕ってくれた教え子達。順に数え上げれば、それこそ際限が無い。

だが、それらを抑えてまでも「ソレ」が一番目へと拳がるあたり、存外私とアイツとの仲は悪くなかったのかもしれない。或いは、不倶戴天の宿敵だからこそ知りたいのか。問わねばならないのか。

—— ■■■よ。貴様は満足か？

誇りも魂も。何もかもを捨て、そのような力<sup>まもの</sup>へ飲み込まれて——

◇◇◇

2 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : a

ve | 4 t 2 a

スレタイから迸るこの世紀末臭

3 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : a

ve | 4 t 2 a

ヒヤッハー!

5 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : a

ve | 4 t 2 a

( 。 ∇。 ) 〇シ たっぽいたっぽい!

7 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : a  
 ve | 4 t 2 a

トキは正に世紀末ってか

8 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : a  
 ve | 4 t 2 a

セツカツコー

10 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
 a ve | 4 t 2 a

>>>8お前じゃねえ座つてろ

11 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
 a ve | 4 t 2 a

<<< ( . ω . ) <>

12 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
 a ve | 4 t 2 a

あべし!!

13 : その名は ジョンドオ : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
 a ve | 4 t 2 a

ちにあ!!

14 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

座らせた結果がこれだよ!

15 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

正直すまんかった

16 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

むしろお前のせいで世紀末なんじゃないかと小一時間 (ry

17 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>>> 16

ごく一部の界限においては間違ってもないな

20 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

で、いきなりどうしたん?

21:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

気付いたら戦争の真っ只中だった。何を言っているのか(ry)

22:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

何を今更

23:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

ここ最近じゃもはや日常だろ

26:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

結局飛び火してきたもんな

27:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

そのうえここまで劣勢続きだもんな

28:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

自分達には無関係だといつまでも本腰据え無かつたからな

自業自得だべ

30 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

しかし駆りだされているのは我々という現状

31 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

一応は我々も此方側の一員なんだから仕方あるまいて

33 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

撃ちたくないんだ!撃たせないで!!

34 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>> 33 KIRAさんチーッス

35 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

簡単に捨てるような軟派野郎じゃこの先生きのこれないぜ



36 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>> 35

そりや中の人違いだ

37 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

当人も簡単に捨ててるけどな。色々

40 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

まあ今更忌避するのも馬鹿らしいよな

41 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

もう初体験も済ませちゃったもんな

随分と昔に

42 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

抵抗さえ許されなかったもんなその時は

4 3 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

仮面の下で必死に抗う我々の意思を踏みにじり

厭らしい笑みを浮かべた主は無理矢理……

4 4 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

文面にするると色々とアレだなしかし

4 5 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

おおひわいひわい

4 7 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

まあ確かに血は流れたけどな

4 8 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

別の方向にR—18だぜ

5 0 : その名は ジョンドオ : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

あの時代じゃ切り捨て御免も試し切りも合法なんだぜ？

5 1 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

ついでにロリも合法だな

そもそも「違法」という認識が無い訳なんだが

5 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

おまいらにとっては夢の様な場所じゃないか

よかつたな(ゲス顔)

5 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

ド底辺な我々は間違いなく切られる側なのでNG

5 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

鞭とか蠟燭ぐらいなら良いんだけどなあ……

死んじまったら楽しめんし

58 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>>57この豚野郎!

59 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

ありがとうございます!!

63 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

良い人っぽかったのになあ

あの件で一気に暴落したわ

64 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

実際「良い人」なんだろ。少なくともあの時代では

65 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

これもジェネレーションギャップという奴か

66 : その名はジョンDO : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave|4t2a

そら俺達の言う常識ってのはあくまでも俺達の常識でしかない訳で

67:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

まあ中には明らかにアウトなケースもあつたけどな

69:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

>>67

それは言わない約束だ

75:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

まあ兎に角状況説明はよ

78:管制人格:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:ave|4

t2a

了解

まあとりあえずここ最近ではもはや御馴染な状況です

例によって我々の陣営が不利ですが、まあ本気だせば軽くひっくり返せるかと

79 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

なんと自信

80 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

むしろ慢心

81 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

事実に基づいてるとはいえこの物言いは流石だよな

83 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

慢心せずして何が王か!!

84 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>> 83

別に我々自身が王な訳じゃないだろ

85 : その名は ジョンドオ : 19 XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

a v e | 4 t 2 a

そういやそうだったな

8 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

にしても当代を「王」として戴くのもどうかと

8 9 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

随分な評価だなしかし

9 1 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

まあ力に吞まれてる時点で王も糞も無いわけだが

9 2 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

>> 9 1

見事なまでのブーメランだな

9 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

2 0 : 1 2 : 1 2 : I D :

2 0 : 1 2 : 1 2 : I D :

2 0 : 1 2 : 1 2 : I D :

2 0 : 1 2 : 1 2 : I D :

2 0 : 1 2 : 1 2 : I D :

しかし何故安価?

98:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

そんな呑気な事をしていて良いのかと

101:管制人格:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:ave|  
4t2a

まあ一応考えはあるのですよハイ

理由はともかくとして、こういう戦闘状態に瀕した際には回避できないのは  
もう皆さんご存じですよ?

102:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

その辺はもう知つとる

105:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

誰かが「守備封じ」なんて言ってたなそういや

107:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a



誘惑のシャドウ（原作効果）でも良い希ガス

1 0 8 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

ホイホイ釣られちまうって訳か

1 0 9 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

イイ男の眼力は流石だな

1 1 6 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

で、避けられないのであればいつそ盛大にやろうかと

抱え込むよりは精神衛生上よろしいかと

1 1 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

盛大にやろうぜ！

1 1 9 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

いつそ冗談で流して少しでもダメージを軽減するってか

120:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

まさに外道

122:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

>>120

何時から我々が聖人君子であると錯覚していた？

124:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

私は、わが身を守る為なら何だってやる！

125:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

この天秤野郎めが

126:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

最終的に「無茶しやがって…」な展開にならなきや良いが

127:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

a v e | 4 t 2 a

敵でも味方でも伝説になるなんて、やっぱ立花さんは流石だよなあ

1 3 0 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

まあ確かに現状打てる手なんて無いもんな

潔くばつさりやつちまった方が相手もスツキりするかもしれん

1 3 2 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

それも自己満足だろ

1 3 4 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

何やっても所詮は自己満足の自己防衛にしかならんさ

それでもやれる事をやるべきだろう？

1 3 6 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

一体誰が為にするのやら

1 3 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

どの道を辿ろうと最終的には「自分の為」に行き着くべ

1 4 2 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

にしても随分ドライになったもんだな

最初は泣き喚いてたというのに

1 4 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

ネットの匿名というシステムが人間の攻撃性をどうたら

1 4 4 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

もう慣れちゃったんだろ、皆

1 4 6 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

お前は変わったな

1 4 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

昔はそんなんじゃ無かった

148:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

……目覚めたんだよ

149:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

ウホッ! イイ男……

150:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

現実にな

151:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

>>149おい

152:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

>>149割り込むなし

153:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;149 空気読め

154:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ (火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;149 そっちじゃねえ

156:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ (火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

でも今の我々なら普通に問題無いのか?

157:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ (火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;156

何が問題なのかはさておきイメージは崩れるだろ普通に

163:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ (火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

まあ冗談はともかくとして、確かに最近は何かおかしいよな

164:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ (火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

別に元から清くも正しくも無かったと思うけどな

165:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

>>164

んな事は判つとるがな(・ω・)

168:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

やっぱ転生が原因なんかね?

171:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

どつかのどこでもドア的理論というかなんというか

転生はその実精巧な複製みたいなもので、その度に少しずつ劣化してるとか

172:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

なんという手落ち

173:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

これは制作元を訴えざるをえない

175:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

流石にそこまで間抜けじゃないとは思うけどなあ>>>制作元

179:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

或いは既に改造されてるとか?

戦闘とかに抵抗が無くなるように

180:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

脳改造を最後に回すほど阿呆では無いって事かい

181:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

やめろう、シヨツ●ー!

183:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

流石に改造されてりや気付くだろ



いくら未だにシステムの殆どが判っていないとはいえ

186:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

転生そのもよか、それに付随する「死」に触れ過ぎたからじゃね？

187:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

直死の魔眼みたいなもんか

189:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

まんま直死と同じならもつと盛大におかしくなってると思うけどな

192:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

悪魔の様に黒く

193:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

地獄の様に熱く

194:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

接吻の様に甘い

195:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

何度も死に臨んではきたが、別にそんな事はなかったな

197:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

まあ実際は事務的にプロセスをこなしてくみたいなもんだし

200:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;192-194

そもそもそれは死じゃなくて人間のだべ

208:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

何れにせよ一番怪しいのは転生機能だよな

現状最も厄介な機能でもあるし

210:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave-4t2a

主の方は変わっても我々は交代できんからな

無限ループ同然だ

211:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave-4t2a

改造やら性格改変を抜きにしても面倒な事になり無し

213:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave-4t2a

つまり現在主がトンでも状態になつてるのも転生機能が悪いと

214:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave-4t2a

>>213

それは無い

215:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave-4t2a

>>213

ありや唯の融合事故だ

216:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

でも融合事故つて要は吸収みたいなモンだから

容姿は我々ベースになるんじゃないの?

217:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

現状髭おっさん(狂)のままだなそういえば

220:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

別の方向に事故つてんじやね?

221:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

事故とか手札だけにしてくれよ

223:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まあ適合率が軒並みビツクリするほど低かったし

そもそも我々としてもあんなの取り込みたくない訳で

2 2 5 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

髭おっさんベースで統一されてるならまだ良いじゃないか

中途半端なコスプレと化すよか

2 2 6 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

ミニスカノースリーブな主(男性、中年、髭)か

2 2 7 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

オエーッ! (A A 略)

2 3 1 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

相変わらず酷え物言いだな

2 3 2 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

不敬罪で首切られても文句言えないレベル

2 3 3 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

つくづく此処での遣り取りが外部から見れない構造で良かったな

2 3 4 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

この容姿でこんな事吐いてるとか黒歴史ではすまされない

2 4 3 : 管制人格 : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D : a v e |

4 t 2 a

まあ転生云々は今考えてもどうせ結論なんて出ないと思うので

とりあえず安価を先にやっちゃうけどおk?

2 4 4 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

おk

2 4 5 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

了解

2 5 0 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

つか安価は良いけど何を決めるん？

252 : 管制人格 : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID : ave |  
4 t 2 a

現在この戦域に接近中なミサイルを迎撃する方法

253 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
ave | 4 t 2 a

ちよwwwwマジかwwwwww

254 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
ave | 4 t 2 a

やべえwwww本当に何か近づいとるwwwwww

255 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
ave | 4 t 2 a

しかも戦術レベルな大きさじゃねーかwwww

256 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :  
ave | 4 t 2 a

何故それを今更wwwwww

257 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

a v e | 4 t 2 a

そういう事は早く言えよ w w w w

2 6 0 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

J e s u s ! テポドンだあつ!!

2 6 1 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

麻雀で負けた腹いせか何か

2 6 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

将軍様自重

2 6 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

我々としては終わってくれれば何だって構わんのだがな正直

どうせ死なんし

2 6 6 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a



まあ母体である主がそういう訳にもいかんだろ

腐つてもこの国の騎士な訳だし

267:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

理性を無くしても国の為か

大した忠誠心だよ全く

269:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

その忠誠心の所為で我々を起動させた訳なんだがな

271:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

主が死力を尽くしても、国の方は死力を尽くしてはくれないんだろ

272:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

そんなもんだろ。一人間間の関係とは訳も規模も違う訳だし

278:管制人格:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:ave|

4t2a

皆様が感傷に浸っている空気も読まず安価実施

とりあえず>>291の手段でミサイルを撃ち落とす

279:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

承知。何か適当に上げてくか

281:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ロケットパンチ

282:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ルストハリケーン

283:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ブレストファイヤー

286:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まともに迎撃する気が微塵も感じられない件

287:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火)  
 ave|4t2a ID:

お前ら真面目にやれwww

グレートブーメランで

288:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火)  
 ave|4t2a ID:

今更術式面での不安を言うつもりはないが

人間として色々無理がある技多過ぎじゃね？

289:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火)  
 ave|4t2a ID:

まあどうせ使うのは主な訳だからな

口から酸吐こうと腕飛ばそうと一向に構わない訳で

とりあえず安価は光子カビームで

290:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火)  
 ave|4t2a ID:

どうやって回収するつもりだよ

291:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

サンダーブレーク

293:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

>>291これはまた

295:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

>>291なんともイカスのに当たったなしかし

296:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

7km対150kmか

比べるまでも無いな

297:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

その他に比べりゃいくぶんかマシか

298:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

a v e | 4 t 2 a

とりあえずやってみようず

2 9 9 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

さ、サンダー!!

3 0 0 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

>> 2 9 9

言うと思ったわ

3 0 1 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

やってみた

3 0 2 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

S U G E E E E E !!

3 0 4 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

よもや本当に放てるとは

3 0 6 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
a v e | 4 t 2 a

庄巻の必殺パワー

3 0 7 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
a v e | 4 t 2 a

戦闘のプロ御用達は伊達じゃないな

3 1 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
a v e | 4 t 2 a

周囲の連中も驚きまくりんぐ

3 1 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
a v e | 4 t 2 a

そりや自分達が戦ってる場所にミサイルブチこまれりやな

3 1 8 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |  
4 t 2 a

サンダーブレイクが好評なところでまだまだ続くよ安価その2

次はこの戦況をひっくり返すべく敵さんを一掃します

安価は>>325で

3 1 9 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

一発でこの状況をひっくり返せと申すか

3 2 0 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

管制さんは無茶を言いなさる

とりあえずマダンテあたりで

3 2 1 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

メテオスオーム

3 2 3 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

ここぞとばかりの大技連打だな

ファイナルマスタースパーク

3 2 4 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

グセフラツシユ

3 2 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

バ ル ス

3 2 7 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt; 3 2 5 ちよ w w w w w

3 2 8 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

バ w w w ル w w w w ス w w w w w

3 2 9 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt; 3 2 5 ふざけんなし w w w w w w w w w

3 3 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

アレ攻撃じゃなくて自爆のようなモンだろ

3 3 2 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :



a v e | 4 t 2 a

雷の方と混ざって無いか？

3 3 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

これは発動と同時に鯖が落ちる予感

3 3 6 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

難攻不落なこの鯖にも遂に陥落の時が訪れるのか

3 3 8 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

一体どうなっちゃうのやら

3 4 6 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D : a v e |

4 t 2 a

誰かが言ってた通りバルス自体は攻撃用じゃないけど

とりあえずそれっぽいのを再現してみるわ

3 4 7 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

了解

3 4 8 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 a v e | 4 t 2 a 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ラピユタ王の前にひれ伏すが良い!

3 5 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 a v e | 4 t 2 a 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

バルス

3 5 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 a v e | 4 t 2 a 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

バルス!

3 5 9 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 a v e | 4 t 2 a 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

バルス(AA略)

3 7 2 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 a v e | 4 t 2 a 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

見ろ! 人がゴミの様だ!

3 7 4 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)  
 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave|4t2a

流石のバルス

376:その名はジョンDO:l9XX/07/ZZ(火)

20:l2:l2 ID:

ave|4t2a

これは間違いなく禁術レベル

378:その名はジョンDO:l9XX/07/ZZ(火)

20:l2:l2 ID:

ave|4t2a

一瞬で何もかも消し飛んだな

380:その名はジョンDO:l9XX/07/ZZ(火)

20:l2:l2 ID:

ave|4t2a

酷えwwww更地やんwwww

382:その名はジョンDO:l9XX/07/ZZ(火)

20:l2:l2 ID:

ave|4t2a

流石に鯖落ちはしなかったか

383:その名はジョンDO:l9XX/07/ZZ(火)

20:l2:l2 ID:

ave|4t2a

住人も自重したんだろきつと

386:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

阿鼻叫喚の地獄絵図だというのにこんなお気楽で良いのだろうか

387:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

間違いなく恨まれる

391:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

文句を言う口もないだろうから無問題

393:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

なんという畜生外道

だがそれが良い

395:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

いつそ「俺達が地獄だ」ぐらい突っ走れば問題無くね?

398:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave | 4 t 2 a

>>> 3 9 5

状況的にあながち間違いでも無いな

4 0 0 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 : I D :

ave | 4 t 2 a

>>> 3 9 5

問題にする気も失せるわなそりゃ

4 0 6 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 : I D :

ave | 4 t 2 a

しかし我ながら圧倒的だな、この力

4 0 8 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 : I D :

ave | 4 t 2 a

ネタ技一発で更地だからな

冗談でも笑えないレベル

4 0 9 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 : I D :

ave | 4 t 2 a

冗談ではすまされない威力だけどな

4 1 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

まあこの時代で既に古代遺物呼ばわりだもんな

4 1 2 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

トンデモ超兵器が蹂躞跋扈する世界でロストロギア認定とかどんだけ

4 1 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

アルハザードの目玉商品は伊達じゃないのさ

4 2 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

しかし処理能力は兎も角、このアホみたいなエネルギーは一体どこから調達して

るのやら

4 2 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

言われてみれば確かに

4 2 4 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

これだけ派手にやってもまだ余力が有り余つてるとか謎過ぎる

4 2 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

明らかに主の最大保有量を上回つてるだろ

4 2 8 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

コアも一緒にぶっこ抜いて集めてるが、それにしたって異常だよな

4 3 0 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

主を骨の髄までしゃぶり尽くしてるんじゃないの？

4 3 1 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

これだけ派手にやると齧る脛も残ってねーだろ

4 3 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)      2 0 : 1 2 : 1 2      I D :

a v e | 4 t 2 a

まあ死体の骨ならいくらでも舐めまわせるしな

用途的には問題無いんだろ

4 3 4 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

死体性愛の趣味はありませんぜ

4 3 6 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

そんなんだから軒並み廃人になるんだよ

4 3 9 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

どこまでも利用者にやさしくないシステムだなしかし

4 4 1 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

ついでに環境にもやさしくないぜ

4 4 3 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

そりゃこれだけ地図を書き換えればなあ

4 4 5 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2 I D :



ave|4t2a

二酸化炭素の放出量とか温暖化だとかが可愛く思えるレベル

446:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

オゾン層にダイレクトアタックとか前代未聞

450:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

そして友軍にもやさしくないという

451:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まあ特に照準絞っていなかったからな

452:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

魔王さま! むしろ味方の被害の方が大きい気がするのですが

453:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

>>452気にするな!!

4 5 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

>> 4 5 2 気にするな!!

4 6 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

どこまでも鬼畜外道だなしかし

4 6 2 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

>> 4 6 0

それがこの世界でのスタンダードなのさ

4 6 3 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

さすがにここまで酷くはないだろ

4 6 9 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

盛り上がっているとスマンが生体反応ハケーン

4 7 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

誰ぞ？

4 7 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

あの状況で生き残ったのか

4 7 3 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

既に虫の息っぽいけどな

4 7 4 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

誰だっけコイツ

4 7 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

何となく見覚えがある気がするんだが

なにぶんどいつもこいつも髭おっさんばかりで……

4 7 6 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

a v e | 4 t 2 a

2 0 : 1 2 : 1 2  
I D :

2 0 : 1 2 : 1 2  
I D :

2 0 : 1 2 : 1 2  
I D :

2 0 : 1 2 : 1 2  
I D :

2 0 : 1 2 : 1 2  
I D :

まあこの時代のトレンドなんだろ。ヒゲ

478:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ヒゲ早見表を制作しようとしたけどな

すぐ飽きたけど

482:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

この人主のライバルさんじゃね?

483:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

言われてみればそれっぽいな

485:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

結局名前は判らないという

486:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

当人同士も把握してるか判らんぞ

487:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

顔を合わせれば即殺し愛の仲だったからな

488:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

誤字ったわスマソ

489:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

ヒゲなおっさん同士の絡み合いとか誰得

490:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

みなまでいなし

491:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

目が! 目があゝ!!

494:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

まあ絡み合いはさておき縁が濃かったのは確かだよな

496:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

あの頃はまだ平和……でも無いのか

498:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まあ楽しかったんじゃねえの?

本人的には

499:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

それも今となつては過ぎ去りし過去か

503:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

取りあえず止めも安価にする?

504:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

放つておいても野たれ死ぬだけだろうからな

せめて派手におくってやろうず

5 0 7 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

了解。では強敵へ送る安価を<>>525

5 1 0 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

北斗有情破顔拳

5 1 1 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

有情断迅拳

5 1 3 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

天将雷撃

5 1 4 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

天破活殺

5 1 6 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;5 1 3 &gt;&gt;5 1 4 くら

5 1 7 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

&gt;&gt;5 1 3 &gt;&gt;5 1 4

明らかに方向性が全然違うやんけ

5 2 2 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

いやむしろ半端な情など逆に煩わしいだけなのは?

という事で飛燕流舞

5 2 3 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

う、美しい……ハッ!

伝衝裂波

5 2 5 : その名はジョンDO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

天翔十字鳳 (A C)



5 2 6 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

>> 5 2 5

5 2 7 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

>> 5 2 5

5 2 8 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

>> 5 2 5 エ ……

5 3 0 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

遠慮しないとは言ったがこれは流石に……

5 3 1 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

オーバーキルってレベルじゃ (ry

5 3 3 : その名はジョン DO : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

ave | 4 t 2 a

安価は絶対なんだろう? (ゲス顔)

5 3 5 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

蜘蛛男もドン引きする情け無用さ

5 3 6 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

まあいつまでも待たせるのもアレなんで

ズバツとやっちゃってくださいな

5 3 9 : 管制人格 : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D : a v e |

4 t 2 a

了解。派手に逝くか

5 4 1 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

>>5 2 5をとった者だが今更ながら可哀そうに思えてきた

5 4 3 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

これもまた戦争よ

5 4 5 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

受け取るが良い……これが我々の送る沈魂曲だ

5 4 6 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

間違ひなく御近所さんから訴えられるレベル

5 4 7 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

ジャイアン級は確実だろうな

5 4 9 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

どうでも良いが「レクイエム」自体に「鎮魂」の意味は無いぞ

5 5 1 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :  
 a v e | 4 t 2 a

>>> 5 4 9

とりあえず少しだけ利口になったわサンクス

5 6 0 : その名は ジョンドオ : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

これで完全に流れは此方側だな

5 6 1 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

敵さんも逃げ出しとるがな

5 6 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

まああんな光景見せつけられちゃねえ

5 6 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

むしろ今まで逃げなかったのを褒めたい気分

5 6 7 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

しかし主殿は敗残兵達の処理までをお望みなようで

5 6 8 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

容赦ねえのな

570:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

つか主はまだ理性残ってんの？

571:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

もう本能だけで動いてるようなもんだろ

見目的にも色々アレだし

572:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

色々と吹き出しの垂れ流しだからな

そろそろ引導渡したくなる

573:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

本能にまで愛国心は刷り込まれとるのか

574:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

自分達以外を滅ぼす事が愛国に繋がるのかねえ……

580:管制人格:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:ave|  
4t2a

という訳で敗残兵処理を安価>>596で

正直皆さんお疲れだとは思いますが、最後の仕事なので頼みますです

583:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

広範囲に届く奴にしようぜ

じしん(ポケモン)

588:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

>>583

空飛んでたら効かないじゃないですかーやだー

ほしのふるよる

590:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

>>588

また懐かしいの上げたな

## イオナズン

592 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

## グラントダッシャー!

596 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

## ウル●ラ水流

599 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>> 596

( °。D ) ……

( つ D C ) ゴシゴシ

( ; °。D ) ……!?

600 : その名はジョンDO : 19XX / 07 / ZZ (火) 20 : 12 : 12 ID :

ave | 4 t 2 a

>> 596 技 ……?

601:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

確かに作中じゃ殺人的な効果を見せはしたが……

603:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

しかも規制喰らつとるし

608:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まあとりあえずやってみようか

609:管制人格:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:ave|

4t2a

承知。やってみるです

613:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ホントに有効なのかよ……

614:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a



——そう考えていた時期が、僕にもありました

615:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

なんというか……うん……

616:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

まあ少なくとも綺麗にはなつたな

618:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

空想科学的な威力だったな

620:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

容赦の無さに関してはある意味本家譲り

621:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

ave|4t2a

ペンペン草も残らんなこれは

622:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:

a v e | 4 t 2 a

兵どもが何とやら

6 2 4 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2

I D :

a v e | 4 t 2 a

全部夢にしちまったのは我々だけだな

6 2 5 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2

I D :

a v e | 4 t 2 a

これも夢だったらどれだけ良い事か

6 2 9 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2

I D :

a v e | 4 t 2 a

酷い戦いだった。色々な意味で

6 3 1 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2

I D :

a v e | 4 t 2 a

もう血と魔力の残り香しかねえじゃねえか

6 3 2 : その名はジョン D O : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火)

2 0 : i 2 : i 2

I D :

a v e | 4 t 2 a

これ本当にリリカルでマジカルな物語なのかよ

634:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

まあ最近のトレンドは3話目ぐらいに首から上を無くす事ですし

635:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

>>634 マミさんの事かー!!

637:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

深夜どころか地上波じゃまず放映できないな

638:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

教育上よろしくないって範疇をとくに超えとるがな

640:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

むしろ一周回って教科書に載せたくなるレベルだな

悪い例として

645:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave | 4 t 2 a

まあなんだかんだ理由つけて守護騎士を早々に回収したのは正解だったな

6 4 6 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

ave | 4 t 2 a

人格とか設定してからまだ一度もまともに出してない件

6 4 8 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

ave | 4 t 2 a

そういやずっとロック掛けてるんだっけ

6 4 9 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

ave | 4 t 2 a

結局設定してそれきりだからな

6 5 0 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

ave | 4 t 2 a

こんな状況じゃ出すに出せまいて

6 5 2 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

ave | 4 t 2 a

いくら慣れてるからとて、いらん記憶を態々加算する必要も無いだろ

654:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

彼女達を安心して送り出せる日は来るのだろうか……

655:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

残念ながら現状難しいよな

この国がこの国である限り

656:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

日本のだらけきった平和のありがたさを改めて噛み締めるな

661:管制人格:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:ave|  
4t2a

何やら感慨に浸っているとところ申し訳ないが

そろそろ主も限界なので最後に自爆技を安価する

663:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:  
ave|4t2a

m j d k

664:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

自爆はできないんじゃないの?

666:管制人格:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:ave|

4t2a

自爆というか「結果的に自分も巻き込む」技だな

もう主自体が敵味方の区別もできない状態なので、それくらいならできるか

668:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

まあこのままだと暴走してあぼんだからな

670:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

限界まで手綱を握り続けるって訳かい

671:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

どうせ自爆するなら可能な限り周囲も巻き込もう

672:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

a v e | 4 t 2 a

E W とはまるで逆だな

6 7 3 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

一応此方は勝者であるけどな

6 7 4 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

こんなのに勝者も何もないだろ

6 7 5 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

むしろ敗者になりたいでござる

6 7 6 : その名はジョン D O : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

>>> 6 7 5 閣下乙

6 7 9 : 管制人格 : 1 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : 1 2 : 1 2 I D : a v e |

4 t 2 a

という訳で最期のメを安価>>> 6 9 4

681:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

メガンテ

683:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

自爆(高町家長男ボイスで)

686:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

サタデーナイトファイ⑧ー

687:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

誤爆ったわスルーしてくれ

688:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

何と間違えたのかスゲー気になる

リヴァヴィウサー

690:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:





700:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

ここ come てまさかのオサレwww

701:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

しかも完全詠唱版かよwwwワロスwww

702:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

王道的な葱間が来ると思ったのにこの超展開www

704:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

>>694何故あげたしwww

705:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

詠唱破棄ならまだしもなんと敗北フラグ

707:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

なのはさんに使ったら間違いなく破られるな

708:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

つかそもそも詠唱文全部覚えてんの？

709:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

どうにかなるだろ雰囲気で

710:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

オサレ度が高ければ成功する筈

712:その名はジョンDO:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:

ave|4t2a

随分な愛され方だなホント

718:管制人格:i9XX/07/ZZ(火) 20:i2:i2 ID:ave|

4t2a

とりあえず安価は>>694のを受け付けたので術式が完成次第ぶっ放します

皆さん乙でしたー

7 2 0 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

乙

7 2 1 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

また転生かいね

7 2 2 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

どうせ次も戦争の真っ只中なんだろうな

7 2 4 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

そういう場所を狙って転生する訳だしな

7 2 5 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

まあ少しでもマシな所を望みたくなる訳ですよ

7 2 6 : その名はジョンDO : i 9 X X / 0 7 / Z Z (火) 2 0 : i 2 : i 2 I D :

a v e | 4 t 2 a

人間だもの やてん

728:その名はジョンDO:19XX/07/ZZ(火) 20:12:12 ID:  
ave|4t2a

何はともあれサラダバー



圧倒的

眼前で繰り広げられていた光景は、唯々そう形容する他なかった。その存在は、敵やつらにしてみれば悪魔以外の何物でも無く、そして我らにとってはまさしく神か救世主なのだろう。

——少なくとも、その剣が自分達以外へと向けられている限り。

戦局は互角。否、大勢で見れば此方が不利であった。確かに、戦果だけを見れば拮抗してはいたのだろう。だが、その敗北は決まって凄惨であり、勝利は須らく辛酸の末。戦術も戦略も、常に敵の方が一歩先に立っていたのだ。この戦いまでは。

『ストライカー』

嘗ては誰しもが憧れ、また心の抛り所にもしていたその言葉も、超兵器の発達した昨今においては最早幻想と成り果てていた。あまつさえ、最近では騎士という存在そのものの価値さえ疑問視されていた程だ。流れを変える為だけに、兵達を捨て駒とした先の一射が良い例だろう。

戦局を覆すのは一人の英雄ではなく、誇りも魂も無い無機質な道具。

そんな常識が浸透してしまつたが故に、兵達の心に諦めとも達観ともつかぬ思いが蔓延していたのは間違いないだろう。自分達がどれ程足掻こうと、所詮一個人で成せる事など何も無いと。

けれど、一度彼の姿と力とを目にすれば、兵も上層部も直にその考えを覆す事だろう。良くも悪くも。

あれは、一個人が持つべき力では無い。例え彼の活躍により“騎士”の価値が再び認められようと、当の本人は決して良い目で見られる事は無いだろう。そもそも、果たしてあれを騎士の戦いと呼んで良いものだろうか。

それは、言うなれば“処刑”。揺ぎ無い立場にある強者が、抵抗さえまならぬ弱者を一方的に翫るが如き所業。勿論、敵は罪人でも無ければ、戦場において絶対的なモノなど有りはしない。いかな強者であつても、一瞬の油断が即座に死へと繋がる。それが本来あるべき戦場なのだ。

しかし、現実はずれた。万象を意のままとする「絶対強者」は、此処に存在した。

天を支配し 破壊の雷を以て愚かなる玩具を撃ち落とす

大地を支配し 神話が如き洪水を以て哀れなる逃亡者達を飲みこむ

光を支配し 瞬く間に世界を無へと帰す

何れも規格外中の規格外であり、仮に敵対しようものなら、反抗の意思さえ許されず根絶やしにされる事はまず間違いないだろう。

だが、幸いにも彼は此方側であり、その標的は我々ではない。不運にも巻き込まれた者達も確かにいたが、彼がこの戦況をひっくり返したのは紛れも無く事実なのだ。今回の戦果を献上すれば、数字でしか物事を測れぬ連中も満足せざるを得ないだろう。

……個人的な考えを言えば、全員とまではいかずとも、犠牲となつた者達の事を記憶してほしいのが本音ではある。だが、そんな愚痴をこぼしても仕方の無い事であるし、例えばそんな都合の良い存在が居たとしても、好き好んでこの薄汚れた戦場<sup>せかい</sup>へ首を突っ込んでくる事も無いだろう。

何にせよ戦いは終わった。今回の事が広まれば、終戦への道も開かれる事だろう。故郷に帰ったら、久しぶりに妻の手料理でも味わいたいものだ。

——そんな事を考えていた時だった。彼の様子がおかしくなったのは。

確かに、融合騎を起動させた時には既に容姿も魔力質も豹変はしていたが、巻き込む事はあれど敵自体を見誤る事はなく、「国の為」という意思に揺らぎは無かった。

だが今は違う。既に戦いは終わっているにも拘わらず、戦場を震わせる程の雄たけびを上げたかと思うと、臨戦時と同等かそれ以上の魔力を解放し始めたのだ。滅ぼす相手もないというのに。

違う。そうでは無い。その真実はもう判っている。ただ、それを私が認めたくないだけだ。

例え「敵」がいなくとも、その暴力を振るえる対象あいてならば未だ存在している

——友軍われわれと、そして彼自身が。

気付けば、ありつたけの魔力を振り絞って離脱を始めていた。

勿論、自らの立場故の勧告を出しはしたが、既にのろまの尻を叩いている余裕など無かった。人間として、生物としての本能が、一刻も早くこの場から離れる事を欲していたのだ。



「Ein i r r s i m m i g e r B e h - l t e r n a n n t e d e  
n H a u b e n h o c h m u t v o m d u e m u d d i n e s s ,  
d e r a n f - n g t v e r w i s c h t z u w e r d e n —」

同一人物のものとは思えぬおどろおどろしい声と共に紡がれてゆく詠唱。

<sup>デバイス</sup>魔導器により口頭で呪を構築する手間が大幅に削減されたとはいえ、「詠唱」という<sup>ステツ</sup>段階を要する術技は今なお存在している。秘奥中の秘奥。人の身には余る強大なる厄災。天地さえ逆転させ得る力を秘めた最上級呪文として。

或いは、詠唱という手間を踏ませる事で。自らの口で紡がせる事によつて。少しでもその力を振う事を思いとどまらせようとしているのかもしれない。躊躇うよう願っているのかもしれない。

「Eine Puppe vom Schlamm, der ohne eine  
Prinzessin des Eisens zerfällt,  
die macht, welcher es quillt auf und  
izbestreitet es,  
und starrt Taubheit / ein blinzeln Sie

Schlaf, der daraus stirbt——」

逃げるにげるニゲル

少しでも遠くへ。その脅威から逃れるべく、傷だらけの四肢に鞭打ち飛び続ける。恥も見聞も誇りさえも捨てて、まるで敗者が如く逃避し続ける。

砲撃か、それとも広域殲滅型か。何にせよ防げるとは思っていない。不発で終わってくれるのであればこの上無いが、そんな事は方に一つもあり得ないだろう。

精度など言わずもがな。引き金を引く指はあれど、躊躇う心はとうに失われているのだから。

「Wird in Verbundung gesetzt und rebelliert, und der Boden ist voll ruidavon, und weil sein Mangel an Geldmitteln Lubusion  
 Eine geheime Kunst Der neunzehnten



「生死の境」とは、まさしくこの事を言うのだろう。本来の意味とは少々違うかもしれないが、少なくとも「境」という点で見ればこの上無い具体例だ。

遙か後方、逃げ出す事さえできなかった者達は塵一つ遺さず消滅した。すぐ傍ら、若干出遅れた部下の一人は、何かを求めるかのようにして伸ばした手を残して消えた。殆ど地面と平行して駆けていた自分は、必然として後方に当たる部位……両足は膝から下を丸々消失した。

青と黒。生セーフと死アウト。

これほどまでに判り易い境界線など、そうお目にかかる事は無いだろう。文字通りの胴体着陸を強行し、瀕死の重傷を負っているにも拘わらずそんな呑気な考えを抱けるのは、重過ぎて麻痺しているのか、既に諦めてしまっている為か。血と共に活力が失われてゆく今の脳では、それさえ判断する事ができない。どれ程優れた演算能力を持つ頭脳があつたとしても、結局は只人となんら変わり無い。或いは、越えてはならない枠組みの境目にでも立っているのか。

光量を落としてゆくその視界へ最後に映し出されたのは、抉れた大地、死体さえ残らぬその惨禍の中、仄暗い光を放ちつつ消えた一冊の魔導書の影であつた。

## 【紳士の】赤ロリがお呼ばれされた【社交場】

旦那様は変わられてしまった。

確かに、元より少々変わった方であるとの評価は受けてはいたし、事実としてその通りであるとは私自身も思っている。

しかし、それはあくまでも歴代の、良くも悪くも伝統に則った当主像と比較しての事であり、旦那様のそれは個々人の趣味嗜好の範疇に収まるものでしかなかった。以前の……本来の旦那様は、(多少の逸脱はあれど)何時だって国を、そして民を思い続けている方であった。

だが、それも今となつては過去むかしのもの。現在のその姿からは、在りし日の名残なぞ微塵も感じられはしない。

平時は見えざるものに怯えつつ酒と薬物に溺れ、一度町で諍いが起きれば、それがどれ程些細なものであつても自ら繰り出し、暴力を以て両者を圧する。戦が始まれば、まるで獣か吸血鬼かのように血を求めて殺戮を繰り返し、果ては奥方への操も忘れ、夜毎あの使い魔共を連れ込んで――

何時いつからこうなつてしまったのか 何故なぜこんな事になつてしまったのか

時代が動乱へと差し掛かり、心を休める間も無く戦争が続くようになったから？ 深く愛されていた奥方が、流行り病で為す術も無く亡くなられてしまったから？ それとも、あの魔導書が流れ着き、旦那様がその力に魅入られてしまったから？

何れにせよ手遅れである事に変わりはない。進んだ針が戻せないように、土くれが動かないように。失われたあの幸福<sup>ひととき</sup>は、もう二度とは帰ってこないのだから。

ならばせめて、私とその勤めを果たそう。何よりも忠実で、誰よりも愛するが故に。私自身の手で幕を下ろそう。

その罪科によってこの身が地獄へ落ちる事になろうとも構わない。これ以上汚さぬ為にも。そして、長き歴史においては刹那<sup>とき</sup>でしかないこの瞬間<sup>とき</sup>を永遠とする為にも――



2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8 6

ID : sn9 | fl @ i t

スレ立て乙

3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

立て乙

つか何度目だよこの手のスレが立つの

5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

まあ俺達的にはアウトでも時代的にはセーフなんだろう

7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

立場故に喜べもしいないな

8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>7

立場なんか無くても普通に嬉しくもなんともないんだが

1 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

好みはさておき「原作」の知識があるから余計にだよな

そんな事よりスネークはよ

11 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl1 @ it

報告キボン

13 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl1 @ it

ハリーハリーハリー

16 : 管制代理 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86 ID : sn9 | f

l @ it

既に出撃済みどすえ

17 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl1 @ it

流石。仕事が早いな

18 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl1 @ it

もう慣れたもんだからな

20 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : s n 9 | f l l @ i t

潜入ミツシヨンにおいても既にプロ顔負け

2 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

そもそも亜空間からの一方的な観測をどう防げというのか

2 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

セキユリテイのしようがないものな

2 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

その辺はアレだよ、我々の良心に期待するとか

2 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

濡れた和紙よりも頼りねーな

2 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

随分な評価だ



30 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6  
 ID : s n 9 | f l l @ i t

まあでも有効活用してるんだから良いじゃないか

31 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6  
 ID : s n 9 | f l l @ i t

必要無いのがベストなんだが

32 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6  
 ID : s n 9 | f l l @ i t

そりやそうだ

35 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6  
 ID : s n 9 | f l l @ i t

あれ程嫌悪していたのに今やこの体たらく

36 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6  
 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>35

別に下心だけで動いてる訳じゃないだろ

必要が為にやむを得ず行っているのさ

37 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

そうだと

その家庭で偶々偶然仕方なく見えちゃうだけさ

39 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

>>>37

動揺すんなし

41 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

よくもまあ息を吐くように言い訳が並べられるものだな

43 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

そら釈明と逃げ口上なんてのはなんてのはお家芸ですから

44 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

最終兵器「遺憾の意」

45 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

まったく不覚の至りです (無能)

50 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

まあ実際は今の守護騎士達はガワだけのパチモン同然なんだけどな

52 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

結局本体は手元に置きっぱなしだもんな

54 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

>>52

何を「本体」とするのかにもよるが

58 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : sn9 | fl | it

その方向性も制作者と管理者とで180°違うもんな

64 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86

ID : s n 9 | f l l @ i t

まあ主殿はそんな事微塵も考えて無いだろうけど

6 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

どの道お人形さんしか必要としないだろ

6 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

随分とハイスペックなおままごとだこと

6 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

羨ましくもなんともないふしぎ!

7 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

にしても皆随分と余裕だな

8 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

もう慣れちまったんだろ

8 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

I D : s n 9 | f l l @ i t

いつまでも喚いてたつて現実が変わらんものな

8 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

I D : s n 9 | f l l @ i t

初めての時は大変だったな。色々

8 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

I D : s n 9 | f l l @ i t

処女厨達が発狂したアレか

8 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

I D : s n 9 | f l l @ i t

>>> 8 7

フェミニストとリアリストとブディストその他も発狂してましたぜ

9 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

I D : s n 9 | f l l @ i t

結局全員発狂してたというオチ

9 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

皆が等しく狂っているというならばそれこそが正気ではないのか

9 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

ごもつとも

9 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

守護騎士もそうだが我々の時も大概だったけどな

9 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8 6

ID : s n 9 | f l l @ i t

スレが落ちたのなんて初めてだろ

1 0 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>97

アレって意図的に落とされてたんじゃないの？

1 0 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

それでも不快感はビン♂ビンに伝わってきたけどな

106 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

>>104

気持ちは判るがその言い方止めろ

109 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

汚されちゃった……グスン……

110 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

>>109

とりあえずおっさんは黙ってるや

111 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

>>109

誰もお前の心配なんざしてねーよ

112 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

>>>109

これ以上どうやって汚せと言うのか

117 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

ここまでテンプレ

118 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

相変わらずの集中砲火

120 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

住人の容赦の無さにワロタwww

129 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

おっさんはさておきこの中に居るであろうリアル♀の立場的にはどうなのよ

130 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t



まあダンディズムな主中にはいたがな

見た目だけは

134 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

6 ID : sn9 | fl1 @ it

やつば何だかんだ言いつつも満足しちゃう訳？

135 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

6 ID : sn9 | fl1 @ it

俺達の満足はこれからだ！

136 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>135

やめろ

141 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

6 ID : sn9 | fl1 @ it

私前世じゃ3ケタ以上の男と付き合った経験あるけど

遊びでも愛の無い関係とか論外だわ

143 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

うわあ……

うわあ……

1 4 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

&gt;&gt; 1 4 1

正直に伝えてくれた事には感謝するがもうちよい言葉を選んでくれ

1 4 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

真顔でビッチ発言すんなし

1 4 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

すこしはオブラートに包んでくれ頼むから

1 5 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

つか初めて召喚された理由があればとかマジないわー

1 5 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>> 1 5 1

別に初めてでも無くね？ユニゾンとかなら何度もしてたし

1 5 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

まあ確かにこの姿で外に出た経験は無かったけどな

1 5 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

外界に出る時はいつもユニゾンという名の融合事故でわけわかめな状態だから

な

1 5 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

少しはブラシドさんを見習って欲しいもんだ

1 5 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

無駄に洗練された無駄の無い無駄な変形がどうしたって？

1 6 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

もうDホイールとでも合体してろよ

164 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

しかしこの容姿のままならワルキューレみたいな格好良い異名が付いてたかも  
しれんのかな

166 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>164格好良い……？

168 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>164

高望みしすぎだろいくらなんでも

170 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

異名なら既にあるじゃないか

172 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>170

どれもこれも胃もたれしそうなばかりだけどな

174 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

もう少しあつさりしたのは考えられんのか全く

175 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

どうしてこうも厨二ネーミングに拘るかこの世界は

176 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

みんな拗らせてるんだろ

177 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

それでもなきややってられん世の中なのさ

180 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

しかし待ってくれ。我々はこの姿でも戦場に出てるのではないか？

寝床という名の夜の戦場に

181 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>> 180

口を閉じろ。ついでにその粗末なモノもしまっとけ

182 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>> 180

今度余計な事言うとその口縫い合わせるぞ

183 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>> 180

冗談は顔だけにしとけよ

186 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

これはひどい

187 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

申し訳ないが弁護のしようが無い

192 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

まあ歴代には当たり前のようにハニートラップに引っかかった間抜けもいたけ

どな

194 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

気付いていても知らせないという鬼畜さ

195 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

あんな浮気野郎なんざとととくたばつちまえばよいのさ

198 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

ああいつた輩には腹上死がお似合いさ

実際は普通にグサリだったけど

200 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

腹上死とかある意味男のロマンの一つじゃないの？

205 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>200

遺族やら相手にとつちや迷惑この上無い

208 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

そっぴや昔いたよな。実際に腹上死した主

211 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>208

アレはむしろ腹下死じゃないのか？

ポジ的に「上」だったのはむしろ……

212 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8



6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>> 2 1 1

そこまでよ!! (A A 略)

2 1 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>> 2 1 1

それいじょういけない

2 1 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>> 2 1 1

続きは専用スレでやろうか

2 1 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

まあ実際はポジションに関係なく「腹上死」な訳だし

それ自体が俗っぽいものな訳だし

2 1 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そもそもあの時は元々身体壊してたからな

そんな状態で強行した主が全部悪いべ

2 2 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

つか鯖が一体どうやって逝かせるんだよ

2 2 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

御自慢の竿を噛み切っちゃうとか

2 2 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

それなんてボールカッター

2 3 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

優秀なアサシンはベッドをぶっ壊せるだとかなんとか

2 3 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

なにそれこわい

2 3 2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

そこまでいくなら普通にやっちまえよ

2 3 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

別にそのまんま振動破砕する訳じゃないだろ

2 3 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

チン動☆破砕

2 3 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl | it  
 >> 2 3 6 言うと思っただわ

2 4 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

部屋もろとも爆破された経験ならあるけどな

2 4 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

まあ何れにせよ腹上死でヤツちまおうなんて邪な考え抱いてる奴は

大抵碌でもない末路が待ってるものさ

244 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

あわよくば頂こうとした金がこども銀行券だったりか

246 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

アレは確かに悲惨すぎるよな

そこに至るまでの過程も含めて

247 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

「止める事もできた筈」なんてのは無茶な言い分だとして

変な欲を出しちまったのは言い逃れできんからな

結局は自業自得さね

248 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

禿デブおっさんで腹上死とかむごすぎる

250 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : sn9 | fl1 @ it

〔レス抽出〕

キーワード : 腹上死

抽出レス数 : 13

なんだこれ

252 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

未だかつてここまで腹上死が連呼されたスレが存在しただろうか

254 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

腹上死がゲシュタルト崩壊してきたわ

256 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

相変わらずとはいえカオスだな

257 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

皆スネークからの報告町で暇なんだろ

2 5 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

呑気なもんだな

2 6 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

そういうや何故我々はこの容姿つか女性型なん？

元ネタがある守護騎士達はまだしも

2 6 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

制作者の趣味なんじゃねーの？

2 6 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

誰だつて侍らせるならおっさんよか美女だろ

2 6 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

&gt;&gt;265

女になんざ欠片も興味無い人種だったらどうすんだ

268 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

個人の嗜好というよりも社会的なアレなんじゃね

男が上で女が下っていうテンプレがあるとか

270 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

じゃあ申し訳程度の男性1はなんなのさ

271 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

&gt;&gt;270

ペット枠

272 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

守護獣の誇りとは……

276 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

つか主要面子の大半が女性な次元世界でも男尊女卑なのか

2 7 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

むしろ女尊男卑になるんじゃないの普通

2 8 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

>>>278

どこのラノベだよ

2 8 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

うわああああ鈴ちゃんだあああああつ!!

2 8 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

>>>281落ち着け。黙って酢豚でも食ってろ

2 8 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t



>>282メシマズ貴族の嫉妬とか見苦しいぞ

284 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

あのチヨロさが良いんじゃないか

285 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

チヨロく無いチヨロインさんなんてチヨロインさんじゃないじゃない

286 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>285とりあえず読みにくいことだけは判った

289 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

ラウラ様に踏まれ隊

291 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

シャルはわが嫁

292 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

むしろシャルルが嫁に欲しい

2 9 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

&gt;&gt;292

オッサン趣味にしても随分な好みだな

2 9 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

&gt;&gt;293 若○じゃねえフランスのほうだ

2 9 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

シャルルが男だったらとつくの昔にICK兄貴が喰ってるだろ

2 9 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

ワンサマさんは姉専じゃないの？

3 0 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t



307 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>305

【審議拒否】(・ω・)(ω・)(・ω・)(・ω・)(・ω・)  
 308 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>305

【解散】

340 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 ID : sn9 | fl1 @ it  
 だいぶ脱線してたな

341 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 ID : sn9 | fl1 @ it  
 誰かさんの所為で人がいなくなってたからな

342 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 ID : sn9 | fl1 @ it

だから嫁論議は余所でやれとあれ程 (ry

3 4 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

後世というか原作時間じゃ均等でも昔(というか今)は違ったんじゃないの?  
 それかもつと昔は男だけのものだったとか

3 4 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

最初に空飛び始めたのが男だったとかそんな感じなのかね

3 4 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

美少女やシヨタならまだしも

腹の出た中年が飛翔してもアドバルーンの出来損ないにしか見えんだろ

3 5 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

飛べない豚は唯の ( r y

3 5 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

>>>350

皿に上げちまえば等しく肉だろうに

3 5 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

皿の上の豚

3 5 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

次回作のタイトルか

3 5 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

苦情殺到は必至だな

3 6 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

結局デザイナーの趣味か何かじゃないの？

そいつの脳内で描いた妄想が元とか

3 6 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

モナリザみたいなものか

3 6 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

我々の肖像画とか唯の版權絵やん

3 6 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

関係者が生まれてすらいなのに何処へ使用料払うんだよ

3 6 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

むしろ貰う側じゃねーの？

3 6 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

がめつい云々の前にいや過ぎるわそんな光景

3 6 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

確かに

3 7 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

話は変わるが強制回収する時の理由どうする？

今回もするとは限らんが一応

372 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

前は何にしたんだっけ？

376 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>372

腹壊した

377 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

そんなので通用するのかよ

379 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

まあその時の主にまともな判断力なんて無かったからな

380 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it



いくらなんでもアホ過ぎる

383 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

そもそも本当に賢い奴は我々なんか使わない

384 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

おっしやるとおりで

385 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

まあ今回つか現状も大概だけど

387 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

一目見て判る程に葉中だもんな

389 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

まあ別に最初からジャンキーだった訳じゃないだろ

390 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

つかそもそも回収する必要あんの？

フィルタリングだつてしてるし、肉体はその都度再構築してるから傷とかも残らん訳だし

3 9 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

見目的に不愉快

3 9 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

いくらリアルお人形さんでも見てて気分良いものじゃないしな

3 9 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

むしろ抵抗も何も無いだけに余計痛々しい

3 9 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

感情こころは無くとも反応反射は備わってるからな

3 9 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

見せつけられる我々の精神がマッハ

3 9 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

謝罪と賠償を要求せざるをえない

3 9 9 : 管制代理 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8 6

ID : s n 9 |

f l l @ i t

そんな所でスネークより報告北

見る?

4 0 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

はよ

4 0 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

キボン

4 0 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

全裸待機中

405 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

&gt;&gt;404

風邪ひくから服着ろ

406 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

&gt;&gt;405

なんという冷静で的確な (ry

410 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

散々扱き下ろしてきた癖に掌返しすぎだろ

411 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

怖いもの見たさというやつか

413 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

今回は一体どんな事をしでかしたのやら

414 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

見たくない気もするがそれでもやはり気になる

416 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

ネコさんの二の舞にならなきゃ良いが

417 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>>416過去形かよ

418 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

ぬこは犠牲となったのだ……

420 : 管制代理 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86 ID : sn9 |

fl1 @ it

とりあえず例によって内容がアレな為所々ぼかすそうだけどおk?

421 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l @ i t

お k

4 2 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l @ i t

問題無い

4 2 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l @ i t

いいからはよ

4 2 7 : 管制代理 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8 6 ID : s n 9 |

f l @ i t

了解。心して聞くが良い

主のガーベラスタンドにアイゼンの石突がプラグイン

そこへスピンとピストンがドッキングしてインパクトが8倍くらい

4 2 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l @ i t

は？

4 3 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

( 。 凵 ) ポカーン

4 3 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

これは……なんという……

4 3 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

アツ——!!

4 3 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

何時にも増してハツスルしてんな

4 3 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

セルフバインドなら経験あるがこれは……

4 3 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

いくらなんでもやり過ぎだろ

4 4 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

流石にこれは許されざる

4 4 2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

聖王も笑顔でラグナロクぶつ放すレベル

4 4 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そのままシュワルベフリーゲンぶちこんだれ

4 4 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>443

主が更なる高みへ昇るだけだぞ

4 4 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ヘブン状態!! (A A 略)



4 4 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

そのまま逝つちまえよ

4 4 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

アイゼンは泣いても良い

4 5 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

今回ばかりは訴訟も辞さない

4 5 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>> 4 5 1

何処で受け付けてくれるんだよ

4 5 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

マジレス乙

4 5 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

とりあえず事がすんだらアイゼンの消毒だな

4 5 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

いつそオーバーホールした方が良い気がしてきた

4 6 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

新品に変えたって足りないくらいだよ

4 6 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

どうしてこうなった

4 6 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

昔はここまで酷く無かったよな

4 6 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

精々が日中も服の下でバンド掛けてるぐらいで

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>465

その時点で既に大分アレだけどな

468 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

言われてみればたしかに

471 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

まあでもこれ程の凶行には及ばなかった筈だよな

472 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

やはり一番の要因は奥さん亡くした事かいね

474 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

これが飼い主を失った豚野郎の末路とでも言うのか

475 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深)

42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

>>474

誰もそこまでは云ってないだろ

476 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

哀れなもんだな

479 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

これ以上あの凶行の介助をさせられなくなるのは助かるけどな

481 : 管制代理 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86 ID : sn9 |

fl | it

といいつつ続報きたがどうする？

482 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

続報キタコレ

483 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

当然聞かせてもらおう

484 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t  
 続報はよはよ

4 9 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

おまえらは学習というものを知らんのか

4 9 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

好奇心に比べれば些細なこと

4 9 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

必要故仕方のない犠牲だ

4 9 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そのままお星さまになっちまわないか心配だが

4 9 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

この流れは前にも……

500:Mr. ジェントリ:匿名希望:TTTT/AA/SS (深) 42:30:8  
 6 ID:sn9|fl@it

>>499イザナミだ

501:Mr. ジェントリ:匿名希望:TTTT/AA/SS (深) 42:30:8  
 6 ID:sn9|fl@it

汚いさすが忍者きたない

502:Mr. ジェントリ:匿名希望:TTTT/AA/SS (深) 42:30:8

6 ID:sn9|fl@it

あれ本当に忍者なのかよ

504:Mr. ジェントリ:匿名希望:TTTT/AA/SS (深) 42:30:8

6 ID:sn9|fl@it

NINJAなら合ってるんだろ

507:Mr. ジェントリ:匿名希望:TTTT/AA/SS (深) 42:30:8

6 ID:sn9|fl@it

忍ばない忍者はどうでも良いので続報はよ

510:管制代理:TTTT/AA/SS (深) 42:30:86 ID:sn9|

fl@it

現在第三ラウンド

アイゼンのヘッドでヒップをスパンキング中

主のアへ顔画像が添付されてきたけど見る？

5 1 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

燃やせ

5 1 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

即刻処分

5 1 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

焼き払え

5 1 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

まさに誰得

5 1 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

我々の業界でも拷問です

5 1 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

重ねて言うがどうしてこうなった

5 1 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

戦争が人を狂わせるんだろ

5 2 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

主の性癖は戦争どころか我々が来る前から変わらないと聞くが

5 2 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

究極の悲しみを背負ったが故にどうたら

5 2 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

愛故に人は苦しまねばならないのさ

5 2 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8



6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ならば俺は愛など要らぬ!!

5 2 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

これが歴史に名を残した童帝誕生の瞬間である

5 2 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

変な歴史捏造すんな

5 2 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

嫌な暴君だな

5 2 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ある意味悲しみを背負った存在ではあるよな

5 3 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

どう考えてもベルカ史有数の黒歴史

5 3 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

むしろ汚点……は流石に言い過ぎか

5 3 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

主自体は清いままだけどな

5 3 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>>>533もうその辺にしといてやれよ

5 3 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

今代は珍しくさわやか系だというのに残念すぎる

5 3 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

人望もあつたらしいな

5 3 8 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

まさにイケメンの無駄遣い

540 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

人望どころか明らかに一線越えた感情を抱いてる方も多数いらっしやる訳で

541 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

最初に戦った奴とか明らかにケツ狙ってただろ

543 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>541戦場ではよくある事

545 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

まあその気持ちを汲んで最高のもてなしをしてやったじゃないか

Z団流の

546 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

アキラアツ!

5 4 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

専門的な事はともかく

本来の用途とは大きく異なっている事がわかるだろう?

5 4 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

どうせ本家でもまともにやれた試しがないから無問題

5 5 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

まあ数々の誘惑やらを振り切つて唯一人ようし、よな奥方への思いを貫いたの

は

男らしいと言えばらしいけどな

5 5 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

御報告の時の両親のなんともいえない顔は今でも覚えてるぞ

5 5 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

一度もぶれなかった点に関しては素晴らしい

5 5 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ある意味純愛モノなのか……？

5 5 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

従者にも美人さんは沢山いるのにな

5 5 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

むしろ平均して美形が多い気がする

5 6 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

その中で奥方の奥底に眠っていた女王の魂を見出したんだろ

5 6 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

さでずむ的なか

565 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

只の暴力をSMと勘違いしている輩が多すぎて困る

569 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

相互に通じる感情があつてこそそのSMだからな

一方通行なのは唯の暴力だ

570 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

その点主と奥方の関係は良好だったな

571 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

主がよく訓練されてたんだろ

572 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

むしろ調教 (ry

577 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

しかしそれも今となつては昔の事か

5 7 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

寂しいものだな

5 8 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

相変わらず畜生ライフを満喫してはいるがな

5 8 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

美人さん達そつちのけで毎晩とつかえひつかえとか

や、騎士達も美人揃いだが

5 8 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

安定のザファイラスル

5 8 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

むしろ重用されてたら嫌過ぎる

584 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

歴代にはそういうのも居たけどな

585 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

まあ普通に考えて主が全員野郎おっさんという訳じゃないですし

586 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

そういうや未亡人な主も居たな

588 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it

>>>586

あれ自演だったじゃないですかー

処分したの我々じゃないですかー

592 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | it



つかその内後ろから刺されるんじゃね今代

593 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

キチつても尚人気は衰えていないからな

十分にあり得るだろ

594 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

痴情の纏れな果てに転生とか嫌過ぎる

595 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

「騎士」にとつちや腹上死並みに不名誉だろ

596 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

しかしそれらも余すことなく記録されてゆくという

597 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl | @ | it

なんという恥晒し

598 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

まさに黒歴史だな

599 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

もういつそ大規模な騒乱で纏めて吹き飛ばしまえば良いのに

600 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

早く戦争になくれ♪

601 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

>>599>>600

やめんか馬鹿www

602 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

これが後に起きる戦争の引き金になるとは

>>599>>600は未だ知る由も無かった……

6 0 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

戦争なんて何が理由で起きるか判らんものね

6 0 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

一番新しいのは何が原因だっけ？

6 0 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

田舎貴族の一人が外出先で町娘に恥かかされた腹いせ

それが拡大した

6 0 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

くだらなさすぎる

6 0 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 I D : s n 9 | f l l @ i t

知らずの内に傾国の美女という訳か

気の毒に

6 1 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

その子つて男だったんじゃないの？

6 1 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

マジか w w w w w w

6 1 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

なんともはや酷いオチだ

6 1 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

ついでにその子を嚇けたのは敵方の高官だつて噂だつたな

向こうも切欠が欲しかったんだろ

6 1 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

田舎貴族もまた男の娘に運命を玩ばれた犠牲者という訳か

6 1 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

あゝ無情

6 1 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

それらも全部まとめて蒸発させたのは我々だけだな

6 1 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

爆発オチは甘え

6 1 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

つかその子もそうだが真っ先に子どもを最前線に送る奴とかなんなの？馬鹿な

の？

6 2 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

弾よけか時間稼ぎか口減らしじゃね？

6 2 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

子どもは世界の宝じゃないのか？

いや真面目な話

6 2 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

全部の国がそんな余裕ある程豊かな訳じゃないからなあ

「子ども」扱いされてない処もあるし

6 2 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

資質がある奴は教育せんのうして奴隷にしろ！

資質の無い奴は炭鉱にぶち込んで奴隷にしろ！

ホント古代は地獄だぜフウハハハアア！

6 2 8 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>>>6 2 7 ホントにこの通りだから困る

6 3 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

そもそも始めに子どもに杖持たせた奴誰だよ

何考えてんだか

6 3 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>> 6 3 1

「健全なる精神と肉体を育む為」とかいふ名目だった筈

6 3 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

魔力汚染でボロボロなトリガーハッピーが健全ですかそうですか

6 3 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

まあ形骸化するなんて判り切ってた事だろ j k

6 3 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

普通に考えれば判るよな

6 4 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

そのリスクを押ししても無し遂げるべきものがあつたんじゃね？

6 4 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

小さい頃から慣れ親んでもらい正しい扱いを学んでもらう為とか？

それでも平和な時に限定されると思うが

6 4 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

良い生まれと育ちを兼ね備えた紳士ですら既にこの有様な件

6 4 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

我々が言うのも何だが根本からして人を狂わせるようなプログラムだろ

むしろコレ持って正気でいられる方が少数派

6 4 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

一体どんなレアスキルだよって話だよな

6 5 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

主として選定してないにも関わらず狂う連中もいるけどな



6 5 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

まあ資質以外で一番期待したくなるのは血縁だもんな  
 遺産相続と同じさね

6 5 2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8  
 6 ID : s n 9 | f l l @ i t

その「宝」の前じゃ血だけの繋がりなんざ壁になりえないからな

6 5 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t  
 みんなやめて！ 私のために争わないで!!

6 5 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t  
 >>>653 なんとというウザさ

6 5 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>>>653

これ程までに不愉快な存在があっただろうか

6 5 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>>> 6 5 3

諸悪の根源はそもそもお前だと小一時間 (r y)

6 5 9 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

荒みすぎだろこの世界

6 6 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

荒んだ惑星

6 6 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

ホアアアアツ!!

6 6 2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

それも世の常さ

6 6 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)  
 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t  
刻が見えるな

6 6 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

C・Uは結局失敗したけどな

6 6 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

だからあれほど劣化R・Gで満足しておくと……

6 6 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

もう唯のスピードじゃ満足できなかったのさ

6 6 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

行き過ぎた欲望は身を滅ぼすだけだぜ？

6 7 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

アルハザードの連中でも不可能だった事に挑戦する気合だけは認めたいがな

6 7 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

それも命あつてのものだろうに

6 7 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

世の中成長しない奴ほど身の丈を知らないからな

6 7 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そんな中で尚栗饅頭が如き速度で拡大を続けている我々はどうなるのか

6 7 8 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

その内虚数空間にでも放逐されるんじゃないやね？

6 7 9 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そして何事もなかったかのように帰還してEND

6 8 1 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ここにR・G〈C・U〈栗饅頭という図式が成り立った

6 8 2 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>> 6 8 1

そのりくつはおかしい

6 8 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

最終的に誰にも抱えられなくなるでFA

6 8 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

ユーザーの声に耳を傾けない製品の末路としては妥当

6 8 6 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

>> 6 8 5

そのユーザーのものと思われる雄叫びが聞こえてきた訳だが

6 8 9 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : 3 0 : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

試合終了のゴングか

6 9 0 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

随分と汚い花火だ

6 9 3 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

また聞こえてきたな

6 9 4 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

刺さたりする前に死ぬんじゃね主

6 9 5 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

どちらにせよ本人としては幸せな死に方なんだろうな

6 9 7 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

後に残される者の事を考えられない奴は屑

6 9 8 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

つまり雇われな掃除のおばちゃんこそが頂点か

6 9 9 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

自らの手を汚そうとしない卑怯者が！

7 0 0 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

そんなに人殺しが偉いのかよ！

7 0 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

一人殺せば人殺し

7 0 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

十人殺せば殺人鬼

7 0 4 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深)

4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l l @ i t

千人殺せば英雄

705 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

全滅させれば神

706 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

そしてヒーローは一人も殺さない

707 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

じゃあ我々は何なのよのさ

708 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8  
 6 ID : sn9 | fl | it

少なくともガンダムでは無いな

712 : 管制代理 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 86 ID : sn9 | fl | it

スネークより報告

流石の主も遂に力尽きた模様。とりあえず先にアイゼンだけでも回収するとの

事



皆さんお疲れさまでした

713 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

乙。今回は随分と長丁場だったな

714 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

そのタフさを別のところで生かして欲しいもんだ

715 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

変な場所で発揮されても困るけどな

716 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

これ以上に奇天烈な発散方法があるってのかい

717 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : sn9 | fl1 @ it

欲望に対してはこの上なく素直ではあるけどな

720 : Mr. ジェントリ : 匿名希望 : TTTT / AA / SS (深) 42 : 30 : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

理性の無い人間なんざ猿と同じだぞ

7 2 1 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

そりやメト□ンも見限るわな

7 2 2 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

いつまでも いると思うな 光の巨人

7 2 3 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

もう主の体面とかどうでも良いから3分で済ませてくれよ

7 2 5 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

いつそ勃たなきやよくね?

7 2 6 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S (深) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 ID : s n 9 | f l 1 @ i t

そんな感じの呪いでも作ってみるか

7 2 7 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8  
 6 I D : s n 9 | f l l @ i t

悪質すぎる w w w w w

7 2 8 : M r . ジェントリ : 匿名希望 : T T T T / A A / S S ( 深 ) 4 2 : : 3 0 : : 8

6 I D : s n 9 | f l l @ i t

>>1000 なら次の主人は E D

## 【哲学者】そろそろ真剣で現状打破【求む】

2 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@s

O | w l n e

>>1乙

とは言ってもこの手のスレも初めてじゃないだろ

4 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@s

O | w l n e

>>1乙

実際何度目なんだろうね

5 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@s

O | w l n e

テンプレができてる時点でお察し

6 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@s

O | w l n e

そして毎回脱線しては自然消滅してくという

8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @ s  
 o | w l n e

その厳しさこそ自然の摂理よ

1 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @

s o | w l n e

>>> 8

不要なものは淘汰されるのも摂理じゃないん？

1 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @

s o | w l n e

ぐうの音も出ない

1 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @

s o | w l n e

ぐう

1 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @

s o | w l n e

>>> 1 2

少なくとも俺は笑ったから誇ってよい

16 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

この荒んだ世界で真に必要なのは >> 12 みたいな奴なんだろうな

19 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

まあ志を保つのは立派な事じゃないか

21 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

>>> 19

志「だけ」はね

22 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

看板が綺麗すぎれば中身を知った時に打ちのめされる落差も大きくなるという

のに

23 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

そーいや誰が考えたんだろうね

「明日やろうは馬鹿野郎」って

25 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR @

s o | w l n e

>>>23

知らんな

26 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR @

s o | w l n e

>>>23

あたしや知りませんよ

27 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR @

s o | w l n e

明日できる事を明日やって何が悪い

29 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR @

s o | w l n e

>>>27

どっかの熊並みの開き直りだな

30 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR @

S O | w l n e

&gt;&gt;&gt;27

いっそ清々しい

33 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S O | w l n e

でも既にかんりの数集めてきたよな

何に使うのかも判らない一芸技も含めて

34 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S O | w l n e

&gt;&gt;&gt;33

その一芸技も大元を辿れば我々に行き着くと思うけどな

35 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S O | w l n e

過去に制作したネタ技が何時の間にか奥義扱いされてたりもするからな

36 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S O | w l n e

ベルカはワシが育てた



38 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @  
 s o | w l n e

まあでも見た目の頁には出て無いが蒐集物はとづくに666越えてるよな確かに

39 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @  
 s o | w l n e

外側の頁はあくまでも完全起動までの目安ぐらいの使い道しか無いからな

41 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @  
 s o | w l n e

正直な話もうそろそろ落ち着いても良い頃愛なんじゃね？

42 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @  
 s o | w l n e

しかし貪欲なる蒐集癖はとどまる所を知らないものであった

44 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @  
 s o | w l n e

まだ足りないかと申すか

45 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

S o | w l n e

このいやしんぼめ

48 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S o | w l n e

まあ一つの星ならまだしも、次元世界規模で見ればそれこそ星の数だからな

それこそゴールなんて無いも同然なんだろ

49 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S o | w l n e

そんなものをあその連中はコンプしろつていうのかい

50 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S o | w l n e

なんとという無理ゲ

51 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S o | w l n e

どんだけ欲張りなんだよ

52 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

I D : f R @

S o | w l n e

まさしく無限の欲望だな

55 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

>> 52

そんな感じの二つ名持つてる人いなかったっけ？

56 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

スカリーだっけか

58 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

我々の存在こそXファイルだろうに

形状的にも

59 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

モルダーも驚きの憑かれ具合

61 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

死神と疫病神にか

62 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

むしろ我々自体がそれ同然ですし

64 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

地球の常識的なUFOなら何度も見てきたんだけどな

65 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

そりやまあ人間自体が空飛ぶ世界だし

68 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

そんな事を言う我々自体がまた良く解らない飛行物体だからな傍目には

69 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @

s o | w l n e

AMF下でも普通に浮く原理も判らなきや中身の出自も判らんからな

まさしくアンノウンのかまたり

70 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@  
 s o | w l n e

>> 69 お前さんは教科書にまで載ってるだろ

73 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@  
 s o | w l n e

でも解析作業はまだ続けてるんでしょ？

どれくらい進んでるのさ

74 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@  
 s o | w l n e

1つ解析してる間に追加で10個ぶっこまれる現状じゃ終わらなくね？

76 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@  
 s o | w l n e

>> 74

蒐集物は雪だるま式に増えてるが根本のシステムは何一つ弄られて無いだろ

そつちに関しては何時か必ず追いつける筈

77 : 管制人格 : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR@s o  
 | w l n e

その根本が複雑怪奇だから手こずっているというのに（・ω・）

78 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    ID : f R @

S o | w l n e

そんなに難しいん？

81 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    ID : f R @

S o | w l n e

過信も過小評価もするつもりはないがそんななのか

こんな状態になった時からずっと続けてるんだろ？

83 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    ID : f R @

S o | w l n e

もう計ってないから判らんが時間だけで見ればかなりのもんだよな

86 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    ID : f R @

S o | w l n e

主の数で言おうとしたが変わり過ぎてアテにならないな

87 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    ID : f R @

S o | w l n e

酷い時には日替わりだったからな

89 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @  
 s o | w l n e

某ゼロカスさん並みのビッチだな

90 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @  
 s o | w l n e

信頼を築く事が何よりも大事な自我保有型デバイスとは思えん所業だ

92 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @  
 s o | w l n e

>>>90

別に我々自身が悪い訳じゃないだろ

確かに信頼なんて築いた試しがないが

95 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @  
 s o | w l n e

全部手探りなのもあるが、一番のネックは「アルハザードの目玉商品」て事かやつ

ば

96 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @  
 s o | w l n e

根本的なレベルの違いに追加で強固なセキュリティか

むしろ無限に近い時間がなきや攻略なんざ不可能だわな

98 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR @

s o | w l n e

連中が最終的に蒐集物の回収を目論むなら下手に改造される訳にはいかんもの  
な

部外者のアクセス制限くらい当然か

100 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@ s o | w l n e

でも歴代主が改造というか改悪したって設定なかったつけ？

101 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@ s o | w l n e

そんな設定はなかったんや

102 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@ s o | w l n e

その改悪によって生まれたとされる転生やら暴走やらがデフォで備わってるか

らな現状



原作通りじゃないとしか言いようがない

105:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

改造した「つもり」になってたんじゃないの？

実際適当に弄りまわして御満悦な主もいらつしやつたし

106:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

ベルカ史始まって以来( )の技量を誇るスーパーハカーさんか

107:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

いつそ称えなくなるぐらいに見事なフラグだったなあれは

110:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

彼は結局どうなったんだっけ？

111:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

特に吸収するものも無かったから団子にして虚数空間にポイ

@ s o | w l n e  
 1 1 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

虚数空間は生ごみも引き取ってくれるのか

@ s o | w l n e  
 1 1 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

虚数空間マジ万能

@ s o | w l n e  
 1 1 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

しかしそうなると結局全てはアルハ連中の掌の上という事か

@ s o | w l n e  
 1 1 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

そんな事も知らず海賊版やパチモンでその気になつてる奴はざまあだが

@ s o | w l n e  
 1 1 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

八つ当たりとか見苦しい

@ s o | w l n e  
 1 2 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

でも部外者どころか我々自身が構成物の一つなんだし内側じゃないのかね

1 2 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

そーういやそーうだ

1 2 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

一応我々が中の人だからな

1 2 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

中の人などいない!

1 2 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

となるとやっぱ普通に構造が複雑なだけかね

1 2 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

今はどれくらい進んでるんだっけ?

1 3 1 : 管制人格 : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R @ s

o—wline

現在までに判明している事は

- ・ 主のリンカーコアとは別の動力源（詳細不明）が存在している事
- ・ 守護騎士と蒐集物の保存領域は別の場所である事（詳細不明）
- ・ 守護騎士はあくまでもオプシヨン扱い
- ・ 上記動力源と蒐集物の保管庫、ついでにそれを動かしている演算装置とかはシステムの最奥部にあるっぽい（詳細不明）
- ・ ついでにこのスレもその「最奥部」にくつついてるっぽい

133：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so—wline

半分以上が詳細不明な件

135：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so—wline

最低でも100年以上掛けて判ったのは「何処に何があるのか」だけか

136：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so—wline

分野としては理系っぽい事は言ってたがまんま異世界テクノロジーの塊だから

な

住人のステイタスがどうあれ皆等しく素人同然か

137:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

レイハさんやユーノ君みたいにレクチャーしてくれる存在もないしな

140:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

名称と機能は判っても「どうしてそうなっているのか」が判らなきや弄りようが

無い

142:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

まあ制作者からしておつむの構造がまるつきり違うからな

色々な意味で

143:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

同列になんざなりたくもないが理解する為にはやはり対話が不可欠という事か

144:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o | w l n e

誰かせつさん呼んでこい

145 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 I D : f R

@ s o | w l n e

脳量子波じゃないが念話か何かで呼びかければ駆け付けてくれるかね

147 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 I D : f R

@ s o | w l n e

>> 145 それより先にELSTアソが押し寄せてくる

148 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 I D : f R

@ s o | w l n e

リアル未知との遭遇

150 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 I D : f R

@ s o | w l n e

「対話」とは言うが実際都合よく使い捨てる気満々だろ

151 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 I D : f R

@ s o | w l n e

そりゃ向こうも同じじゃ

152 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

少なくとも労いの一つも無いだろうな

155 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

むしろ最初に仕掛けてきたのって向こうじゃね？

156 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

連中が我々みたいなのを知って見過ごすとは思えんが

157 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

この上ないバグの塊だからな

159 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

つか今のままのこのこと出て行ったら即アンインストールされんじゃね我々

160 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

アンインストール

163 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

転生機能あってもプログラム削除されたら終わりだよな流石に

164 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

そりゃ転生機能自体がそもそもプログラムによつて成り立つてるものだからな

166 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

リアルに「無限」なんてのは存在しないのさ

169 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

でも我々自身では改竄も削除もできないという

170 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

意を決して試みた後のあの気まずさ

171 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R



@so|wline

まさにお通夜状態

174 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so|wline

誰を吊つてるのやら

175 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so|wline

アレだよ、三日ぐらいして引退宣言取り消しちやつた救世主的なノリ

177 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so|wline

あの空気は二度と味わいたくないわな

178 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so|wline

禿同

183 : 管制人格 : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR@s

o|wline

まあとりあえず今後も地道に解析自体は続けてゆく予定なので

184: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

了解。あんまり無理しないでね

185: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

最低でも西暦2000年代にまで間に合えば良い訳だしな

188: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

随分と気長だなしかし

189: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

後何年掛かるんだよ

190: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

一万年と

191: 考える名無し: 1840 / 11 / 12 (葦) 11: 17: 77 ID: fR  
 @so|w|l|n|e

二千年前から

192:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so—wline

平身低頭覇

\OrZ/

193:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so—wline

&gt;&gt;191おいwww

196:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so—wline

&gt;&gt;191これはひどいwww

198:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so—wline

創星のドゲザリオン

199:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so—wline

## LOVEドゲザリオン

200：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so-wlne

遂にDOGEZAの文化は次元世界へ羽ばたいてゆくのか

202：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so-wlne

折角だしベルカ最大の秘奥義としてでも伝承してこうず

203：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so-wlne

「コマンド」

たたかう

まほう

アイテム

⇒土下座

205：考える名無し：1840／11／12（葦） 11：17：77 ID：fR

@so-wlne

悲しさのあまり最終的には相手が謝りたくなるアレか

206 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @so|w|l|n|e

土下座で許されるなら賠償なんていらねえんだよ

207 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|l|n|e

>>206

お前俺の土下座<sup>ゲ</sup>を見た後でもそんな事言えんのかよ

210 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|l|n|e

>>207

土下座<sup>ゲ</sup>より先に仕事をしろと小一時間<sup>ザ</sup> (ry)

211 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|l|n|e

>>210

まだ気付いていなかったのか……

今このフロア内で俺だけが (ry)

213 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

仕事しない無能&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;仕事してる(つもりな)無能

2 1 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

まあ世の中には土下座<sup>ゲ</sup>つて許しを乞うた皇帝もいらつしやる訳だし

2 1 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

&gt;&gt; 2 1 6

あれは別に土下座<sup>ゲ</sup>つた訳じゃないだろ

……多分

2 2 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

今更だが猛虎地落勢にしないあたり世代の差を感じる

2 2 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

&gt;&gt;&gt; 2 2 1

ようおっさん

223 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

>>221

なにそれくえるの

224 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

>>221あまり気にするな同志よ

225 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

「最近の若い者は」という言葉は古代ベルカから存在していた

226 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

土下座の起源は古代ベルカ

228 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

こうして次元世界は日本文化に汚染されてしまいましたとさ まる

229 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@ s o — w l n e

平和への代償と考えれば安いもんさ

2 3 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

全人類総土下座で世界に平和が齎される

2 3 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

地球が笑窪だらけになっちまう

2 3 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

そろそろムーンレイスは本格的に抗議しても許されると思うの

2 3 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

月が直接お仕置きよ

2 3 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

>>> 2 3 7



それなんてムジユラ

241:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wline

だが今や星一つ程度なら容易に消し飛ばせるようになってしまった

242:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wline

たかが衛星一つ、ロストロギアの力で打ち砕いてやる!

245:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wline

宇宙規模での破壊活動とかマジ迷惑の塊

247:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wline

このスレはユニクロン様に監視されています

248:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wline

>>247

こっちみんな

249 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o - w l n e

>>247

マトリクスぶつけんぞ

250 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o - w l n e

次元世界中をくまなく探せばセイバートロンも見つけられるかね

251 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o - w l n e

超ロボット生命体とまで行かずとも巨人族ぐらいは居ても良い気がするけどな

252 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o - w l n e

逆ピクミンか

253 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o - w l n e

どう考えても食われるフラグ

256 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

>>>253

吞まれても腹の中からぶち抜くだけだから無問題

261 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

完全な人間型で無くとも古典宇宙人な容姿で存在するかもよ?

262 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

作画崩壊するから遠慮しとくわ

263 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

>>>262

チル●レン・プレイの事かー!!

266 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

アレは作画云々の前にそもそもその話としてカオスな気が……

267 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

宇宙の心と比べれば些細な事

2 6 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

そもそも作画崩壊自体があの世界じゃ日常茶飯事だし

2 7 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

いや、我々の世界でも或いは……

2 7 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>> 2 7 0

やめろ

2 7 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>> 2 7 0

あれだよ、スピンしてるフィギュア的な感じなんだろ

2 7 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@so-wlne

それでも説明しきれないものは有りそうで怖いな

276:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77

ID:fR

@so-wlne

椰子蟹とか甘藍の域に達しなけりやどうでもいいよ

277:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77

ID:fR

@so-wlne

>>276

アレは越えちゃいけないボーダーギリギリだと思いが

279:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77

ID:fR

@so-wlne

何か考えれば考える程鬱ってきた

280:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77

ID:fR

@so-wlne

……わかった、この話はやめよう

ハイ! やめやめ(AA略)

281:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77  
ID:fR

@ s o | w l n e

>>>280

それを言う本人もまた巨人で宇宙人というオチ

285 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

たかが40mがどうした

フォートレスマキシマスなんか3kmだぜ

286 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

天元突破をお忘れか

素グレンの10倍だぞ

287 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

その大きさが果たしてどれくらいのものか理解できる頭が恐ろしいわ

288 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

らんしやまもビックリの升頭脳

290 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @so|w|n|e

大きけりや良いつてもんじやないぞ

291 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|n|e

つか身体の大きさは兎も角として器の大きさはどうなのよ

292 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|n|e

そら当然はやてさん一択ですよ

293 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|n|e

禿同

294 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|n|e

これは考えるまでも無い

300 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so|w|n|e

幼くして親を亡くしさらには自身も足に障害を抱えているにも拘わらず

世話してくれる人に迷惑をかけまいと頑張って一人暮らしを続け

そんな状況でも古本から湧いて出てきた不審者4人を受け入れられる

はやてさんマジ天使

301:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

>>300改めて文面にしてみるとスゲーのな

302:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

それに比べ我々の情けなさつつたら

303:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

まあ原作通りならリアルにヒモだからな

305:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

戸籍もへつたくれも無いから仕方ないと言えば仕方ないが……

306:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR



@ s o — w l n e

あつてもどうせ働かないだろ

3 0 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

幼女のアヒムとかマジ人間としての最底辺

3 1 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

だがそれがいい

3 1 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

つか原作はさておき我々も最終的にはやての処に辿り着くのか？

普通に違う道を進む可能性もあると思うが

3 1 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

細けえ事は ( r y

3 1 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

まあ普通に考えれば当然>>316の発想に辿り着くよな

319:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

でもなんやかんやで原作通りに進みそうな希ガス

320:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

細かい点はさておき大局は概ね同じになりそうだな

321:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

なんでさ

322:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

知らんがな

328:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@so-wlne

やはり最終的な希望ははやてだけなのか

329:考える名無し:1840/11/12 (葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o — w l n e

グレアムさんとかはどうなん

3 3 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

確かに同じ世界の出身ではあるがベルカ系の資質あつたつけ？

3 3 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

>> 3 3 1

主としてではなく討ち滅ぼす敵としてではないの？

3 3 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

それなりの身分と力とを両立させた時には既に重役だからな

望まずともお役所仕事の一員となつては身動きも取れないだろうな

3 3 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

権力と責任は一心同体だからな

乱用なんてしなさそうだし

336 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so|wine

原作のアレは乱用では無いと申すか

337 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so|wine

アレは最終手段なんじゃないの？

年齢的に考えても

340 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so|wine

クライドさんと協力して捕縛した実績があるんじゃないやなかつたつけ？

341 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so|wine

当事者が我々である以上現実的にはその時の戦力差によるな

342 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so|wine

今の状態じゃ使い魔とリンデイさん合わせたS+が5人でもキツイぞ

344 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@ s o | w l n e

つか當時つてばリンデイさん身重じやないの？

3 4 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

>>> 3 4 4

既にクロノは生まれていた筈。最前線からは退いているかもしれないが

3 4 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

人が駄目なら機械でどうだ

3 4 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

アルカンシエル含めたミッド側の技術革新に期待

3 5 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

ちなみに今の我々にアルカンさんは効くの？

3 5 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

片手持ちのバットでホームラン狙えるレベル

353 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

>> 351

アレはそういう系統のものじゃねーから

空間もろとも潰すやつだから

354 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

まあそのまんま反射ぐらいならやろうと思えばできるが

355 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

どう考えても逆転フラグな気がするんだがな

>> 353 空間もろとも潰す

356 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

まあ過去に似たようなのから普通に生還しちまったからな

357 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

艦長さんが「やったか!？」とか言わなければ……

3 5 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

なぜこの世界の住人達はあもフラグを建てにいきたがるのか

3 5 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

役者精神が遺伝子レベルで刻み込まれてるとしか思えん

3 6 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

まあ仮にこの時代で有用な兵器もろもろが発展したとしても

後世にまで伝わらないような使い方戦い方してるからなあ

3 6 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

良くてロストロギアだからな現状

3 6 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

つまりスクライアが頼みの綱という訳か

364 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

ユーノ君のハイスpekぶりに期待が高まる

368 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

つかベルカ側には何か期待できないの？

369 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

原作通りなら後々滅亡だからな

それだけでなくとも活躍を期待できる人材が見当たらん

370 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

狙い澄ましたかのごとく碌でもない主に当たってばかりだもんな

371 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

(A)



( < ≡ ≡ ≡ ≡ スイー

372 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so-wlne

>>371

スナイパー自重

375 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so-wlne

>>371

オマエノシワザ ダタノカ……

380 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so-wlne

聖王陛下ならいけるんじゃないか?

381 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@so-wlne

とりあえず渡り合う事は可能だよな

決め手が無いから千日手だけど

382 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : fR

@ s o | w l n e

>>>381

人間対マシンじゃ耐久力で限界があるだろ

384 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

インヴァルトのぼつちゃんはどんなのよ?

個人じゃ無理だとしても力を合わせれば

385 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

確かにあの二人が協力すれば撃退くらいできるかもしれないが

なにぶん両家の仲がたいそう悪いからなあ……

386 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

個人的にあれはツンデレ的なものだと考えているんだが

389 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

デレ期来る前に国が無くなっちゃうぞ

相思相愛なのは確定的に明らかなんだからとつとと結婚しちまえよ

390 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

あの二人の子どもとかマジ才能の塊

391 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

少なくとも美形である事は約束されているからな

395 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

おまいらあの二人には優しいのな

396 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

>>>395

一応我々の価値観でも「良い人」に近いからな

若干脳筋気味ではあるが

398 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

いつも少年漫画的なノリだからな

とりあえず親交は拳から始まるみたいな感じで

399 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

そのくせ恋文一つ書くのに熱を出すヘタレっぷり

400 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

良いじゃないか初々しくて

まあ残念ながら我々の攻略には役に立たないかもしれんが

401 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

流星に馬に蹴られて死ぬ訳にもいかんだろうて

406 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

そういや昔ECウイルスとかいうのなかったっけ？

あれ何かに使えないのか

407 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
ID : f R

@ s o | w l n e

あつたなそういえば

4 1 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

>> 4 0 6

確かバイオハザードが発生しそうだったから捨てちまったんじゃないかなかつたつけ

?

まだサンプルは捨てた一つしかなかった筈

4 1 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

今更ウィルスが効くとは思えんがせめてデータくらい採取しとけばよかつたな

4 1 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

A M Fとかじゃ駄目なの？

4 1 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

>> 4 1 5

あんなもん物理で殴れば一発だろ

それでなくとも表面的な効果しか無い訳だし

4 2 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

もつとこう根本的な所から攻略しないと駄目じゃね？

いくら瞬間的には破壊できても無限に再生する訳だし

4 2 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

「再生を上回る破壊」ならとか思ったがそのまえに転移しちまうか

4 2 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

そもそも4番さんも驚きの超速度な再生をどうやって越えろと

4 2 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

それを支えるシステムもG並みにしぶといからな

それこそ神か何かの力じゃなか無理ゲーだろ

4 2 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o — w l n e

残念ながらこの世界に神はいない

4 2 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 )

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

ついでにガンダムもないな

4 2 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 )

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

どう足掻いても絶望

4 2 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 )

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

それでもゲッターなら…ゲッターならなんとかしてくれる筈……

4 2 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 )

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

俺達<sup>ゲ</sup>がどれ程土下座<sup>ザ</sup>つても助けてくれる未来が見えないんだが

>>>ゲッター

4 3 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 )

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o — w l n e

そら流さん並みに愛されてなきやそもそも門前払いだからな

431: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

選ばれちゃってる人がそもそも神頼みなんか縁のなさそうな人種なんだが

432: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

最早人間じゃねえ

433: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

それに比べ我々ときたら

435: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

戦闘能力だけで言えば間違はなくチート級なのにな

436: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

むしろそのチート級スペックの所為でこんな事になつてる件

438: 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R



@ s o | w l n e

死なない↓死ねない

常勝不敗↓倒してくれぬ人が居ない

だもんな

4 4 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

何事もほどほどが一番なのさ

4 4 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

ところで現状打破について私に良い考えがあるのだが

4 4 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>>> 4 4 6

なんというフラグ

4 4 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>>> 4 4 6

その言葉だけで明るい未来が軒並み潰えたわ

453 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o - w l n e

>> 446

全く期待してやらないから取りあえず逝つてみ?

454 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o - w l n e

我々と同じアルハザードの技術を使ってみるといふのはどうだろうか

製造元なら万が一に備えて所謂解毒剤的なものがあるかもしれないし

それでなくとも「願いを叶える」ジュエルシードとかあるやん

460 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o - w l n e

>> 454

まずは今も腹の中で消化中のNo. 22と27をどうにかしてからだな

462 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o - w l n e

>> 454

遠まわしに「ごめん無理」と言われたのを忘れたのか

465 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

ギャルのパンティでさえもかき消されたからな

467 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

>>>465

本物を前にして本当にそれを願う奴がいるとは思わなかったぞ俺は

468 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

>>>465

世界を救うには残念ながら今一步及ばなかったがな

471 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

いつそアルハザードそのものに助けを求めるとかはどうよ

473 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

&gt;&gt;471

だから使い捨てられてポイされるだけだと (ry

474 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

もうそれでもええやん

476 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

捨て鉢になるなよ

477 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

まだまだ我々は強いられ続けにやならんのかね

478 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

自分達の意味で肯定できる日なんてくるのかよ

479 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR

@so-wline

三世代どころか1000年経っても怪しいもんだがな今のままじゃ

486 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

そーいやベルカに流れてから一度もアルハザードの連中と会ってないな  
 蒐集が目的なら一度くらい接触を測るなり何なりするとは思うのだが

487 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

言われてみれば確かに

489 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

もの自体は結構集まった筈なのにな

490 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

未だ全然足りないのか、それとも接触を測れない理由でもあるのか

491 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @ s o | w l n e

その気になれば主連中に気付かれずに接触ぐらいできそうなものだが

493 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o — w l n e

まだ足りないにしても途中経過ぐらい確認するだろ

499 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

I D : f R

@ s o — w l n e

案外もう滅亡してたりな

500 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

I D : f R

@ s o — w l n e

まさか、いやそんなまさか

501 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

I D : f R

@ s o — w l n e

こやつめ、ハハハ

503 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

I D : f R

@ s o — w l n e

只でさえベルカとミッドは仲悪いからな

この緊張状態で二股掛けてたとか知られたら袋叩きだろ

504 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77

I D : f R

@ s o — w l n e

双方が力を合わせたところで返り討ちは必至だろうけどな

508 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    I D : f R

@ s o | w l n e

つか何でここまでベルカとミッドは仲が悪いんかね

最近また雰囲気悪くなってきてるし

510 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    I D : f R

@ s o | w l n e

そもそも人間ってのが同じ星の中でも手を取り合えない様な種族だからな

次元世界規模なんてまず無理だろ

512 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    I D : f R

@ s o | w l n e

数が多けりや当然それだけ種類も多くなるのよ

分母がでかけりや過敏かつ過激な奴の絶対数も多くなる

513 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    I D : f R

@ s o | w l n e

ホントにくだらな事でも対立したりするもんな

516 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)    11 : 17 : 77    I D : f R

@ s o | w l n e

なまじ巨大な力を持つもの同士だからな

我慢弱い奴はついつい引き金に手が伸びちまうんだろ

5 1 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

豆鉄砲であろうと一度口実ができちまえば後は雪崩式だからな

5 2 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

扱い切れない力に振りまわされるのは人間の性さ

我々なんか最たる例だろ

5 2 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

否定できない悲しさ

5 2 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

まあいつまでも愚痴並べても仕方ないさ

それより他の事考えようぜ



526 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @so-wlne

悪口は心を荒ませるだけだ

529 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so-wlne

そういやヴォルケンは最近どうよ?

何か問題とか起きてないの

530 : 管制人格 : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R @s

o-wlne

マスタープログラムへのフィードバックは最小限に抑えてるし

定期的なクリーニングもしてるから今のところ大丈夫

最近は特に大規模戦闘も無かったし

まあ、あんまり雑な扱いされるとその分摩耗も酷くなるけど

532 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so-wlne

訳判らん横文字が並んでいても納得できるふしぎ

533 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

お前は俺で俺はお前だからな

それぐらい当然よ

5 3 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>> 5 3 3

さりげなく自慢すんなし

5 3 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

俺がお前でお前がアイツで

5 3 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

アイツがソイツでコイツがドイツで

5 3 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

なんかビール飲みたくなってきたお

5 4 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>>539

止めてくれ。色々思い出しちゃうジャマイカ

542:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

ベルカ料理ってビールに合いそうだよな

543:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

その分太るだろうけどな

544:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

我々は太らないからええやん

545:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

そもそも飲み食いできませんですし

550:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

とりあえず騎士達の食の好みとかも設定しといたほうが良くね  
まだ作ってなかったろその辺

552 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

そもそも騎士達が食事してるの見た事無いしな

魔力だけでも動く事はできるし

554 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

ヴィータも酒飲むんだっけ?

556 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

絵的にはアウトだけどな

557 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

大人の付き合いだつてあるだろうさ

その時は変身なり何なりしてもらう必要があるが

560 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@ s o | w l n e

アルコール耐性はあつて損は無い

下戸だった俺には判る

5 6 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

調子にのつて羽目を外し満員電車を地獄に変えた私が通りますよつと

5 6 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

毒物耐性は最初から付いてるだろ

あとは精神面での話だ

5 6 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

シグナムとか意外に弱そう

5 6 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

俺は大ジョッキ抱えてるイメージあるけどな

5 6 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

とりあえずザフィーラの消化器諸々は人間ベースにしとこうぜ

玉葱が入ってるから食べられませんでしたとか可哀そうだ

5 6 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

草食系狼

5 7 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

肉食系ロリ

5 7 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

燃烧系お姉さん

5 7 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>> 5 7 1

言わんとしている事はなんとなくわかった

5 7 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@so|wine

本気の火力だと灰も残らんだろうけどな

575:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77 ID:fR

@so|wine

そらそうよ

576:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77 ID:fR

@so|wine

そういやシャマル先生の料理下手な設定とかどうするよ

577:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77 ID:fR

@so|wine

そんな設定あつたつけ?

579:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77 ID:fR

@so|wine

無いのなら作ればいいのよ

581:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77 ID:fR

@so|wine

キャラ的に美味しいからそのまま実装しまおうぜ

582 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R

殺人的な味付けだっ……!

583 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R

ペロツ……これは青酸カリ!

585 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R

普通に毒じゃん

586 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R

殺意があつたと認めざるを得ない

587 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R

殺人的ドジっ子

589 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @ s o | w l n e I D : f R



余計な属性を付けない方が世界平和の為になる気がしてきた

590 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)      11 : 17 : 77      I D : f R

@ s o | w l n e

でもベルカの伝統料理を絶やすのも勿体無いだろ

食文化は万国共通の宝だべ

592 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)      11 : 17 : 77      I D : f R

@ s o | w l n e

ザフィーラにでもインスタールしとくか

593 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)      11 : 17 : 77      I D : f R

@ s o | w l n e

意外性は十分だが獣を厨房に立たせるのはちよつと……

595 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)      11 : 17 : 77      I D : f R

@ s o | w l n e

となると必然的にヴィータしかいないか

596 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)      11 : 17 : 77      I D : f R

@ s o | w l n e

当然のごとくシグナムが候補から弾かれる事に違和感を覚えな

597 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

シグナムは新聞広げて待つてるお父さんポジだからな

598 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

なんというダメ亭主

599 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

でも凜とした女剣士が家庭的な料理をするのも素敵じゃね？

600 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

刃物を持つ者として人を幸せにさせる術は知つといってもらいたいな

602 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

じゃあもうレバ剣にでも入れとこうぜ

刃物+炎で最強じゃん

603 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 ID : f R

@ s o | w l n e

騎士の誇りにそんな事して良いのかよ

6 0 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

間違いなく後々恨み事を言われる

6 0 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

紫電一閃弱火でじっくり

6 0 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

紅蓮腕入れてあるのに今更

6 0 8 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

それもそうだな

6 1 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>>608

納得すんなし

612 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

また脱線してきたお

613 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

スレではよくあること

614 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

暇なんだろ皆

617 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

どうせ暇なら大局将棋でも指そうぜ

618 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@so-wlne

テンプレだけで200も消費するやつなんかできるかよ

620 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77

ID : f R

@ s o | w l n e

これだけ頭が良ければ面白そうではあるけどな

6 2 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

極端に高速化するか考え過ぎてリリースするかのどちらかだな

6 2 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

ソリティアされるよかマシだろ

6 2 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

初手クエーサー出されたあの絶望

6 2 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

カードを引こうとした手が自然とデッキに置かれてるもんな

6 2 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦) 1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

もうリアルダイレクトアタックするしかねえ

628 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

>>627

おい、デュエルしろよ

629 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : f R

>>628

お前が言うな

630 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 ID : f R

@so-wlne

昇☆蟹☆拳

631 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 ID : f R

@so-wlne

満足ワツパー!!

632 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 ID : f R

@so-wlne

とんでもない黒歴史だなしかし

634 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

今の我々がプレイしたら間違ひなくじゃんけんゲーになるからな  
 頭が良すぎるのも考えものだ

635 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

じゃあテンプレもソリティアも無いしりとりでもしようぜ  
 最初は「コアラ」で

636 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

ライオン

637 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

ンジャメナ

638 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : fR  
 @so-wlne

ナン

639 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR

ソ・カイ

@so|wline  
 640 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR

印いん

@so|wline  
 641 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR

ソガウイヒ

@so|wline  
 642 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR

品ひん

@so|wline  
 643 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR

ソ・モウ族

@so|wline  
 644 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 11 : 17 : 77  
 ID : fR



## クローン

645 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

@so|wline

## ンカタベイ

646 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

@so|wline

韻いん

647 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

@so|wline

## ンドウリ自然保護区

648 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

@so|wline

訓くん

649 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

@so|wline

## ンガパン

650 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77  
ID : fR11 : 17 : 77  
ID : fR11 : 17 : 77  
ID : fR11 : 17 : 77  
ID : fR11 : 17 : 77  
ID : fR11 : 17 : 77  
ID : fR

@ s o | w l n e

>>>649

こら w w w w w w

651 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77  
I D : f R

@ s o | w l n e

>>>649

パーフェクトなハーモニーが……

653 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77  
I D : f R

@ s o | w l n e

つかそもそも何だよこの流れは

654 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77  
I D : f R

@ s o | w l n e

どいつもこいつも根性ねじ曲がり過ぎだろ

656 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)

11 : 17 : 77  
I D : f R

@ s o | w l n e

一体何処からそんな言葉が出てくるんだよ

日常生活じゃまず見ないのばかりじゃねーか

657 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R  
 @so—wline

全員常時google先生実装してるようなもんだからな

658 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so—wline

不毛すぎワロス

661 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so—wline

でもそのデータ元は何処にあるんだよ

ここベルカだしまだ地球にだってそれが生まれてないかもしれないんだぞ

662 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so—wline

細げえことは(ry

665 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77 ID : f R

@so—wline

この中に地質学者やら文化人類学者やらが混じってるだろ

そういう事にでもしとけ

667 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : fR

>>665

面倒臭くなってきたという感情がありありと伝わってくるレスだな  
 668 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : fR

そして結局妙案は見つからないという

669 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : fR

むしろ素で本題を忘れてた

670 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : fR

いつもの事さ

671 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 @so-wlne ID : fR

だからこういうのは専門家に任せときゃ良いんだよ

672 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦) 11 : 17 : 77  
 ID : fR

@ s o | w l n e

その専門家がなかったらどうするんだよ

6 7 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

専門的な事はともかく

6 7 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

専門家だろうと何だろうと本当に頭の良い奴はそもそもスレなんて使わない

6 7 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

安定の掃き溜め

6 7 7 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

掃き溜めのプリティ

6 8 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7 I D : f R

@ s o | w l n e

まあ我々だけでなく世間も暗黒時代まっさかりだからな

誰もこの先どう転ぶかなんて判らないのさ

681:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so-wline

何もできない以上流れに身を任せる他あるまい

682:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so-wline

任せた結果首が回らなくなきや良いが

683:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so-wline

激流に身を任せどうかしている

684:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so-wline

>>683お前はむしろ首を飛ばす側だろうて

687:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@so-wline

とりあえずは管制さんの解析作業が進む事に期待

688:考える名無し:1840/11/12 (葦)

11:17:77

ID:fR

@ s o | w l n e

2万と4千年後の未来に希望を託そうかね

6 8 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

普通に増えてる件

6 9 1 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

まあそれまでごろごろするか

酒もつまみの無いのが残念ではあるが

6 9 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

>>691

発想がおやじ臭いな

6 9 3 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

見た目美人なのに中身おっさんとか

6 9 4 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 (葦)

1 1 : 1 7 : 7 7

I D : f R

@ s o | w l n e

美少女が所々おやじ臭い所作をするのであればまだマシだが

6 9 5 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

@ s o | w l n e

中身は中年を通り越して爺だろうに

6 9 6 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

@ s o | w l n e

むしろBBA ( r y

6 9 9 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

@ s o | w l n e

精神的な成長が伴わなきやいくら年齢重ねてもガキのままさ

7 0 0 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

@ s o | w l n e

中々に耳の痛いお言葉で

7 0 2 : 考える名無し : 1 8 4 0 / 1 1 / 1 2 ( 葦 ) 1 1 : 1 7 : 7 7

@ s o | w l n e

坊やだからさ……

I D : f R

I D : f R

I D : f R

I D : f R

I D : f R



703 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 @so|w|n|e I D : f R

少女だからさ……

704 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 I D : f R

@so|w|n|e

>>>703

何やら危険な香りがブンブンしやがる

705 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 I D : f R

@so|w|n|e

見た目と相まって通報されても可笑しくない

706 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 I D : f R

@so|w|n|e

ロリコンである事なんざ既に周知の事実だろ

707 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 I D : f R

@so|w|n|e

情けない奴!!

709 : 考える名無し : 1840 / 11 / 12 (葦)  
 I D : f R

@ s o | w l n e

&gt;&gt;691

今更だがせめて紅茶とケーキとかにしとこうぜ見目的にも

710:考える名無し:1840/11/12(葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o | w l n e

個人的には団子と玉露を所望したいのだがな

711:考える名無し:1840/11/12(葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o | w l n e

贅沢言いなさんな

712:考える名無し:1840/11/12(葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o | w l n e

有り合せのもので満足するしかねえ(、㊦) ㄋ!

713:考える名無し:1840/11/12(葦) 11:17:77 ID:fR

@ s o | w l n e

ゆっくりしていつてね!!



この記録を綴っている最中であっても、常に頭の片隅から離れなかった一つの懸念がある。

——こうして形あるものとした所で、果たして記された通りに読み解いてくれる存在の下へと辿り着けるのか。そも、仮にそうなたとして、その時まで記録が読み解ける状態であるのかと。

嘗ては次元世界の頂点へと立った技術の、更に粹を集めた業を以てして保護するつもりではある。だが、それであっても盤石には遠く、あまつさえ不足以外の評価を下しよ  
うが無いのが、残念ながらも現実なのである。なまじ自分達が優秀であるだけに、歴然たるその力の差を理解できてしまう事もあるのだろう。いつそ抗う事さえ止めてしまえば、或いは直にでも楽になれたかもしれない。

だが、それでも私はこの記録を止めるつもりは無い。こうして、99%の確率で意味の無い行為へと、持てる全てを、残っている全てを賭し、尽くしてゆく。

生まれてこのかた体験した事の無かった「挑戦」。1%の可能性に意味があると思  
じて。

これは、この地で起きた事実を伝える為の記録であり、「観測者」としての私の初めての務めであり——そして、罪深き一人の人間が綴る「懺悔」の記録である。

どのような形で後世へと伝わっているのかは知りようも無いが、我々の故国・アルハザードは、嘗て……少なくとも私が知る限りでは、無限の宇宙が如き広がりを見せている次元世界の中でも頂点に立つ国力と技術力、そして軍事力を有していた地であった。全盛期の力は、それこそアルハザードを除いた次元世界全てのそれを束ねたものでさえ容易に跳ねのけられる程であつただろう。

まさしく「次元が違う」その暴力と、決して本心を覗かせず、しかし八方に賛同者を作りだす強かさとを以て我々は発展と繁栄を重ね続け、どこまでもどこまでも、周囲の事など一縷たりとも顧みず、あまつさえ知りながらも踏み台とし、唯々只管に——それこそ、まるで何かに取りつかれでもしたかのように、一心不乱に前へと進み続けてきた。追い求め続けた。

否、事実として「取り憑かれていた」のだろう。決して目には見えぬ、しかし確かに存在しているその事象。生物が生物である限り逃れられないその宿命。「終わり」という名の恐怖に。

進めば進む程、積み上げれば積み上げる程に、唯一つの光明すくひは遠のき、反面押し掛かる重責は肥大化してゆくばかり。もし「彼ら」に我々と似た思考と嗜好があれば、それは大層滑稽に見えた事だろう。何よりも恵まれているように見える立場にある者達が、

その実誰よりも満たされる事の無い欠乏に苛まれていたその光景<sup>すがた</sup>は。

それも今となつては過ぎ去りし日の栄光であり、過去の遺物以外の何物でもない。嘗ての栄華は見る影もなく、今この地にあるのは灼熱と閃光。それらを彩る悲鳴と怒号のみ。おそらく、この記録が「記録」として読まれている頃には、国のみならずアルハザードの大地そのものが砕け散っている事だろう。それ程までに、今この国を滅ぼさんとしてる存在は強大であり、また我々が重ねてきた罪は大きく重いのだ。それこそ、一つの世代だけでは背負いきれない程までに。

地を砕くは鋼の剛腕であり、天を割くは破滅の光条。

慈悲も躊躇いも無く、そも感情というものが宿っているのかも判らぬ両の瞳に光を灯し、紅の巨人達は町を大地を、世界を焼き尽くしてゆく。

無論、此処の住人達とて一方的な蹂躪劇を見過ごせるような者である筈も無い。むしろ、これまで常に上に立ち続ける立場であったプライドもあるのだろう。これまで一度も経験した事の無い防衛戦にも拘わらず、十全かそれ以上の力を發揮しているのがその証拠だ。

しかし、どれ程持てる力を出しつくそうと、自分の殻を破ろうと、それだけで全てをひっくり返せる程世界は甘くも単純でも無い。或いは、単純であるが為に残酷なのか。

“最強の鉾”は薄皮一枚さえ貫く事叶わず、“最強の盾”は吐息一つで成す術も無く吹き散らされる。故にその力の前に抵抗は無意味であり、ただ骸無き死者の山と名も刻めぬ墓標だけが重ねられてゆく。

考えてみれば当然の事だ。力を以て覇を唱えていた者は、やがてそれを上回る力によつて押しつぶされるのみ。それが自然の連鎖であり、歴史の必然であり、世界の理。他でも無い我々自身が、嘗てそれを為してきたのだ。どれ程の奇跡を積み重ねようと、今更逃れられる筈も無い。何より、我々が「奇跡」と呼ぶそれ自体、我々の常識という狭き器の中でしか威光を発せぬ脆弱なものなのだ。それが“彼ら”にとつての常識である可能性は決してゼロでは無いのだから。

「抵抗している」といった旨を記したものの、実際の所はこの記録を綴っている時点で組織だった反抗は軒並み崩壊しており、既に首脳部も戦線維持を放棄。その殆どが2元世界への脱出を試みている。残っているのは逃げるができない立場の者か、その判断もできない者、或いは私達のような異端者ものずきぐらいのものだろう。

だが、この現状においてそのような身分や立場の差など何ら意味の無い事である。“彼ら”の前では皆平等に、誰もが等しく磨り潰されるだけの塵芥でしかないのだ。どれ程距離を置こうと、また次元を離そうと、その努力は決して実りはしない。例え星の数ほどの世界を渡り、刹那の隙間へと逃げ込んだとしても、“彼ら”は決して我々を逃し

はしないだろう。我々にさえ為し得られた事が、どうして「彼ら」にはできないと思えるのか。永きに渡つて井の中で頂点へ立ち続けていた頭脳では、最早その程度の事さえも考え付かなくなつてしまつたのだらう。

——揺れが大きくなつてきた。もうじき、この場所にも限界が訪れるだろう。

恐怖心が全く無い訳ではない。大勢とは異なる立場をとつているとはいへ、その根本は他の者達と何も変わりはない。私もまた、一人の人間として真つ当な「恐れ」は有している。

だがそれでも。あの方と一緒になら、私はどこまでも羽ばたいてゆける。例えその先が奈落の底であろうと、あの方と共にならどこまでも堕ちてゆける。だからこそ、私は自身への罪と向き合い、この務めへと臨む事ができるのだ。

今日この日この瞬間とき、アルハザードは一つの節目を迎える事となる。極限まで肥大化した執念ともとれるその理想は、大きく削がれ砕け散る事はあれど、断片一つに至るまでが全て消え去る訳ではない。散り散りとなつたその先で、或いは更なる厄災を齎す事になるかもしれない。第二のアルハザードを生み出す事に繋がるのかもしれない。

しかし、それで良い。それでも良いのだ。

善でも悪でも、万象には須らく存在する意味が有り、果たすべき役割がある。それを只一人の意思で決めつけてしまうのはエゴに他ならず、それこそ真の「悪」へより近きものであると私は思う。

そして、穢れなき光の中から魔物が生まれ出でるように、永遠とじこえの闇の中からもまた、万象が望んだ救世主セイツアが産声を上げる。ならばこそ、散っていった心や魂は未来の種となりて、広大なる次元世界中へと播かれいったのだろう。

願わくば、今度こそ我々の……「悪」の手の届かぬ地で、その「悪」さえも包み込める存在と成ってもらいたい。それが未来へ、我々が為し得なかつた可能性に届く術であると信じて。

命ある全てのモノに 輝ける「翼」を持つもの達に この身が与えられる最大限の祝福を――



## 【悲しいけどコレ】戦争ハジマタ【Warなのよね】

広大なる次元世界へと二極化を強いるベルカ・ミッドチルダ二つの超巨大国家による戦争は泥沼の様相を呈し、最早開戦の理由さえも定かでない星間規模の戦いを数百年に渡って続けていた。

瞬く閃光 轟く轟音

人間の命が銃弾一つよりも安い価値しかない混沌の坩堝の中では、男も女も、老いも若いも、誰もが皆その手へ一本の杖を握り締めるより他に、荒廃した地上を生き延びる術は無かった。

全ては今日を乗り越え、明日の朝日を拝む為に。明後日の事さえも判らぬこの世界において、己の命を繋ぐのは金でも人脈でもなく、刹那的かつ退廃的な「暴力」という名の剣のみ。

宇宙を覆う暗雲が晴れる兆しは無く 終戦の鐘が響く気配は 未だ無い――



2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

硝煙の匂いにむせる

3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

魔力の残照に咽る

4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

臓腑より湧き上がる己の濁血でむせる

5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

その惨禍で煌めく一筋の友情に咽び泣く

6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

スパ●ダーマツ!!

8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

## 二極化を強いる

9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G X

7 m 5 | 4 t

## 終わりになき戦いを強いられる

1 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

## 俺達は…主の道具として戦う事を…

1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

## いよかん

1 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

## 強いられているんだ!!

1 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

## (集中線)

1 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt;11 空気嫁

1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt;11 KISS☆SUMMER

1 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt;11 オレンジじゃなきやばれないとも思ってたか

1 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt;11 柑橘系から逃れられなかったのが運の尽きよ

2 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

一体皆誰と戦って (ry)

2 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

自分以外の全てとき

2 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 X 7 m 5 | 4 t I D : r G

宮中か世紀末かよ

2 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

荒廃つてレベルじゃねーぞ

2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

この荒んだ世界でなら間違はなくハヤレル (\*、ω、\*)

2 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

>> 2 5 例えおまえが一時の癒しになればようと流行らないし流行らせない

2 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

>> 2 5 仮に天地が許そうと流行らないし流行らせない

2 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

>>>25このまま世界が滅亡しようとする流行らないし (ry

3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

みんなテンション高いな

3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

深夜のノリみたいなもんだろ

3 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

ヒヤッハー!!

3 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

>>>34良い子じゃなくても早く寝なさいな

3 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

けっこうな切り返しで

3 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

真面目な話何故こうまでテンション高いんかね

仮に一人二人は真性が混じっていたとしても住人全員がリアルキラいな訳  
じゃないだろ

4 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

>>>39 一人でも混ざってる時点でだいぶおつかないけどな

4 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

まあこれだけ居れば前科者ぐらいは居ても可笑しく無いだろ

4 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

立ちションぐらいなら可愛いもんさ

4 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

つ猥褻物陳列罪

4 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

バナナをおやつに含めないで持っていったのは罪に含まれますか？

4 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 7

G U I L T Y

4 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 7

I n n o c e n c e

5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

ざわ : : : : : ざわ : : : : :

5 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

見事に真つ二つだな

5 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G



X 7 m 5 | 4 t

これは戦争の予感

5 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

たけのこときのこの悲劇がまた繰り返されるといのか……

5 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

待て、なぜたけのこが先になっている

5 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

どうやら貴様も平地の猿共の手先らしいな

5 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 5 5 &gt;&gt; 5 6

流石、山の蛮人共は器量が狭いな

所詮はお山の大将という事か

5 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

I D : r G

I D : r G

I D : r G

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt; 5 5 &gt;&gt;&gt; 5 6

茸厨は生まれてきて申し訳ないと思わないの？

6 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt; 5 5 | 6 0

精々潰し合つてくれたまえ。そして後々思い知るだろう

真の勝者は我々パイの実であるという事をな……

6 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

大統領さえ認めたコアラのマーチとの力の差をまだ理解できないのか

俗人共は精々頬膨らませて吠え面かいてろよ

6 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

これはひどい

6 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

なんと……醜い

6 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

いつぞやのスレで散々判り合う云々ぬかしてた連中とは思えんな

6 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

こんな連中が外の戦争を嘆くとか

6 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

争いは同じレベルの (r y

7 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

まあその辺の論争はさておき実際何でだろうね

やっぱ戦闘用に脳改造とかされちゃってるのかな

7 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

前もそんな事を言ってた気がしないでもないが

そもそも在るかも判らないものを改造なんてできないんじゃないやね？

7 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

いくら連中として認知してないものは弄りようが無いよな考えてみりや  
把握してりや改造よか先に削除するだろうし

7 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

百害あつて一利なしだものな

自分で言うのも悲しいが

7 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

我々程非効率な存在なんてそうそうないよな

ついさつきも内部分裂してたぐらいだし

7 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

その非効率性こそ人間がマシンで無いなによりの証拠さ

8 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;79だからとて内ゲバが許される訳でもないだろうて

8 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

まあ何であれ改造つて線は薄そうだなこれは

しかしそうなるらと一体何が原因なのやら

8 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

薬か何かがキマってるってのが一番しっくりくるんだけどな

8 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

データの塊な我々にお注射しても意味無いだろ

そもそも大抵の毒物は効かないし

8 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

改造は改造でも主用のやつが悪影響及ぼしてるとかは？

非好戦的な主を無理矢理戦わせるシステムあつたら確か

9 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 X 7 m 5 | 4 t I D : r G

>> 8 9

そんなのもあったなそういや

9 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 X 7 m 5 | 4 t I D : r G

ステータスが底上げされる代わりに遠くない将来確実に廃人になるあれか

9 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 X 7 m 5 | 4 t I D : r G

テンプレの塊のようなシステムだったな

今も絶賛稼働中だが

9 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 X 7 m 5 | 4 t I D : r G

>> 8 9

マジレスすると暴走の原動力はアレ自体じゃなくて使用者の欲望だな

どれ程ちっぽけでも心の片隅にあれば漏れなく反応するシステムだった筈

9 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

まあこんな時代じゃ欠片も野心が無い方がむしろマイノリティだろ

それを引いても欲深い連中が多すぎるのも事実だが

9 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

騎士道を謳うくせに一物抱えてなきやイ●ポ野郎と罵られる世界とか

9 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G

X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt; 9 7 なかなか哲学的なレスだな

1 0 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つかあつさり流されてるがそれって構造上の欠陥じゃね？

1 0 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

確かに

1 0 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

あまりにも非道な扱いが日常化しすぎてスルーしちゃったわ

1 0 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

何かと手抜きというか手落ちが酷い気がするなアルハザード

1 0 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

我々のような存在を住まわせてる時点で既に重大なミスだろ

1 1 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

むしろ我々の所為でバグが起きてんじゃね？

1 1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

それが一番妥当だよな

まさかアルハザードの科学者もこんな連中が入り込むとは思わないだろうし

1 1 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つまりアルハザードの技術力を以てしても測り知れない程我々の存在は強大と



いう事か

1 1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

>> 1 1 4 こういう奴はきつと人生楽しいんだろうな

1 1 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

だな

1 1 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>> 1 1 5 >> 1 1 6 どういう意味だよそれ

1 1 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

言った通りさ

1 2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

もうこれ言うの三ヶタ目に届きそうな気もするがやっぱりアルハの価値観は判

らんな

1 2 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

社会の根幹からして色々違うからな

1 2 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

露骨に持つ者と持たざる者の違いがあるからな

至上主義な分差別とかも厳しそう

1 3 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

仮に我々の存在が認識されたとしても

満足に空も飛べないようじゃクズ扱いは確実だろうな

1 3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

初期牛尾さんをもつと悪くした感じか

1 3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

>> 1 3 1 守銭奴な所もぴったりだな

134 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

そもそも人間もDホイールも普通は生身じや空飛べないんだが

135 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

この世界にいるとついつい忘れそうになるよな

137 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

百歩譲って陳情する機会があったとしても

「社会と噛み合う歯車で居られるだけ光栄に思え」

とかリアルに言われそう

138 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

噛み合ってる言うても末端の末端だろどうせ

139 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なんともありがたいお言葉だな

141 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

どうせ元の世界でも弾かれた日蔭者ですよーだ

142 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

>> 141

そういうつもりで言った訳じゃないがとりあえずスマソ

143 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

まあ現状我々が破壊を生むだけの装置なのは事実だけどな

147 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

つか色々と嘆く割には主を乗っ取って好き放題やってたじゃん我々

148 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t I D : r

知らんな

149 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

記憶にございません

1 5 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

証拠はあるのかね証拠は

1 5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ここにあるが

つログ

1 5 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

正直すまんかった

1 5 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ずいぶんな変わり身の早さだな

1 5 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

物証を出されちゃどうにもなるまい

156 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

別にこんな事の為に記録してる訳じゃないけどな

自動で勝手に保存されてるだけだし

159 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つかどの道暴走以外の選択肢なんて無いんだから

我々が手綱を握り続ける方が遥かにマシだろ

それとも脳みそが蕩けちゃった獣の好きにさせるとでも？

160 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

同じ破壊行為でも方向性の安定とセーブが掛けられるってのは大きいぞ多分

163 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

その割には非人道的なオーバーキルも度々あったけどな

164 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つかつとなつてやったはんせいしている

1 6 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 1 6 4

これ程までに誠意の無い謝罪があつただろうか

1 6 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

日本ではよくある事

1 6 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まったく不覚の至りです (無能)

1 7 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあ確かに我々も悪いかもしれんがそれ以上に

まともな主候補を一人も用意できなかったベルカ側にも少なからず落ち度はあ

る訳で

174 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4 t I D : r

どんな勇者でも大抵の奴は我々を手にした時点でダークサイドまっしぐらだけ  
 どな

175 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4 t I D : r

責任転嫁は住人の常さ

181 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4 t I D : r

つか今の主ってマジで何人目?

通算とは言わないからせめてこの国に流れ着いてからの数判らん?  
 182 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

GX7m5 | 4 t I D : r

残念ながらそれでも総理大臣並みに交代が激しいから判らん

正式な引き渡しができなかったケースもかなりあつたし

184 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

GX7m5 | 4 t I D : r



それどころかそもそもこの戦争が始まってから何年経ったのかも判らんからな  
 何で開戦したのかも忘れちまったし

185 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

どこのアストラギウスだよ

186 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

一応記録は我々の中漁れば見つかるとは思うが

態々探すのが面倒なのが本音だよな

188 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

まだエセ百科事典としての仕事は続いているのな

189 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

蒐集も記録もはや本能だからな

勝手に動いてるから態々止める理由も無いし

191 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;182でふと思ったがこの世界の日本の政局は安定しているのだろうか

192 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

異世界に来てまで政治の心配とか悲しいな

193 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

これだけ住人がいれば総理とまで行かずとも政治家の一人ぐらい混ざってるん

じゃね？

194 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

それも何か嫌だな

195 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

もう戦争も政争もお腹一杯でつ(、p、)

197 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

世界の覇権とか戦争じゃ無くて麻雀で賭けてろよ

198 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

国士無双十三面ならこの間開発したけどな

199 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まさかの空間広域殲滅型でデアポリック・エミッション涙目

200 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

完全に上位互換になっちゃったからな

201 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ベルカの叡智が結晶とは一体……

203 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

破壊力だけ見ればライジング・サンの名には恥じてないがな

それ以外が絶望的にあれだが

204 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4t ID : r

発動する度に内部でいちいち我々が役揃えなきやいかん事以外は優秀やん  
 防御もろとも灰にできるし

206 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4t ID : r

>>204

それにしたってどうせ全員積み込み上等なんだから実質ノーリスク  
 207 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7m5 | 4t

某カイザーもびっくりの積み込みっぷりだからな

208 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4t ID : r

初手で全員揃ってるとかどう考えてもインチキだろ

209 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7m5 | 4t ID : r

ヨンレンダアツ!!

2 1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

ばれなきやイカサマじゃないのよ

2 1 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

例えばそれでも反論させなきやイカサマとして受理されないから無問題

2 1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

これが勝負の世界よ

2 1 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

酷え世界だ

2 1 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

外からは見えないとはいえシユールな光景だよなしかし

2 2 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>219術式が曼荼羅なアレよかマシ

222 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

あれは術式自体が投合兵器だからしょうがないだろ

224 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

情けも容赦も無しに蹴散らしてくのは曼荼羅としてどうなのよ実際

225 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

スタイリツシュ罰あたり

227 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

そんなのでやられた連中はさぞ浮かばれんだろうな

228 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

一周回って成仏する可能性が微レ存

229 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

むしろそのまま解脱しちまいそうだ

2 3 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

昇☆天

2 3 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

何でもありな今のベルカじやもう曼荼羅一つで驚く事もないだろ

2 3 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

騎士と並んでSAMURAIやNINJAが普通に存在してるからな

2 3 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

手裏剣一つで戦闘機墜とした時は流石にワロタ

2 4 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

その大元を辿れば間違はなく原因は我々だけだな

2 4 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

ベルカはワシが育てた

2 4 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

全人類総プレジデント化は着々と進行してるな

2 4 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

そーいやそんなのもあつたな

2 4 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

むしろもう手がつけられない件

2 4 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

気が付いたら拡散と進化を繰り返しまくってるからな

しかもその方向が大概あれだし

2 4 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r



G X 7 m 5 | 4 t

なまじ初志が守られてるだけに尚更悲惨な結果となっちまったのか

2 5 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

今や科学兵器の数々もどっかで見た事あるようなデザインとなつてしまった

2 5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

幾らなんでも毒され過ぎだろ次元世界

2 5 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

どうしてこうなった

2 5 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

そーいや今はミッド側も質量兵器使つてるんだな

てつきりこの時代からアレルギーがあるのかと思つてたわ

2 5 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

銃器どころか巨大ロボットまで普通に持ち出してるからな双方

256 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

個人的にはそれよりも無人兵器の方が目につくんだが

257 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

エレガントさの欠片も無いあれか

258 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

合理性を突き詰めた結果だから仕方ない

259 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

その代わりに色々捨てちまってる気もするけどな

260 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

そんな事を考えてる余裕も無いのさ

264 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
I D : r

GX7 m5 | 4 t

両陣営とも黙認同然だからな

積極的で無いだけまだマシかもしれないが

265 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

GX7 m5 | 4 t

だからって条約無視は流石にどうなのよ

267 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

GX7 m5 | 4 t

もう完全に殲滅戦だからな

一欠けらのプライドで互いに何とか踏ん張ってはいるが

268 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

GX7 m5 | 4 t

まさに世紀末

270 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

GX7 m5 | 4 t

まあ管理局だつてまだ生まれてないしな

271 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

GX 7 m 5 | 4 t

だ  
 そもそもベルカもミッドも大きいだけで次元世界の一勢力でしかないじゃん未

2 7 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

GX 7 m 5 | 4 t

この戦争で今後が決まるとは思うけどな

2 7 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

GX 7 m 5 | 4 t

この状況じゃ使える物は何でも使うしか無いんだろ

自分達だけ規制して滅ぼされたらそれこそ洒落にならんし

2 7 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

GX 7 m 5 | 4 t

むしろ今こうして自分達も使った経験があるからこそその規制じゃね？

2 7 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

GX 7 m 5 | 4 t

身を以て痛みを知るが為にか

2 7 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

FランだろうがオーバーSだろが弾丸一発で死ぬ世界だからな

2 8 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

Sランの力を良く知ってるから尚更その恐ろしさが判るんだろ

2 8 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

だからといって戦艦がパンチ一発で沈むのは流石にどうなのよ

2 8 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ベニヤだろうがベルカニウムだろうが我々の前では紙同然よ

2 8 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なんとというパワー厨

2 8 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

A・Tの中にスーパー系で飛び込んで無双( ) しちやう人つて……

284 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まさに最低野郎

285 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

異論を挟む余地も無い

287 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

地獄にばかり行き着くんじゃない

我々自身が地獄なのさ

288 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

某ガイストさん並みの迷惑っぷりだな

289 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

どんだけコーヒーを苦くしたいんだか

295 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

　　そういうやこの間の戦場でガンダムもどきと遭遇したよな

2 9 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

　　問答無用で光にしてやったけどな

2 9 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

　　非人道的ってレベルじゃ (r y

2 9 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

　　どうせ無人機だからええやん

3 0 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

　　超A I搭載型である可能性は無いのか

3 0 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

>>>3 0 0 彼らがこんなところでそんな事してるとでも？

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

3 0 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

だよなあ

3 0 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

エレガントさの欠片も無いくせに戦闘力だけは一人前だからなあ

3 0 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

不意を突かれたとはいえ半身消し炭にされたものな

3 0 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

これは慰謝料と治療費を請求せざるを得ない

3 0 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

振込先は春日部の某サラリーマンかい

3 1 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r



つかあんなの何時から出てきたんだよ

そんなのが生まれた気配無かった筈だろ

3 1 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

まあ昔から居るとはいえ我々も転生期間でのラグがあるからな

四六時中戦場へ張り付いてる訳でもないし

3 1 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

それにしたって不明瞭な点が多すぎるけどな

3 1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

ブラックボックスの塊である我々が言えたことか

3 1 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

どつかから流れてきたブラックな技術でもあるんじゃないの

流石にそうでもなきやあのハッテン速度は異常だろ

3 1 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

変換ミス

3 1 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

何をハッテンさせるんですかねえ……

3 1 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 3 1 6 が常日頃どのスレを住みかとしているのか判りそうな誤変換だな

3 2 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

こんな情勢の中でも自然とそれぞれの板が生まれる当たり流石の住人といえる

3 2 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

あくまでもメインはここだけだな

3 2 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つかそんな事して管制さんの負担が増えないの？

3 2 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

少なくともB L版を立てたのは管制氏の筈だが

3 2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なん……だと……

3 2 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

あの魔窟が公認だとしても言うのか……

3 2 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

腐ってやがる……遅すぎたんだ

3 2 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なんともフリーダムだな皆

3 3 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

つかMSもどきの話はもう良いのかよ

3 3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

どうせまたアルハザードの連中だろ

新技術のお披露目か何かぐらいにしか思って無いんだろうなどうせ

3 3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

安定の黒幕

3 3 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

CBによる武力介入マダー?

3 3 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

この流れもはやテンプレだな

3 3 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

トンデモ兵器とかは大抵アルハ産かそれ由来だからな

3 3 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

今更期待するのも無駄かもしれんが連中には人の心つてモンが無いのか

3 3 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあそもそも人間なのかどうかも判らんけどな

一応見た目は人間と同じではあったが

3 4 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

直接言葉を交わした訳じゃ無いモンな

見れたのだってごく一部の人間だけだし

3 4 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

見目が同じでも中身はまるつきり別物なのか

3 4 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

やっぱ根本的に連中とは相容れないのかね

3 4 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

理想論でも個人的にはそんな事無いとは信じたんだけどな

3 4 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

地球外なロマンである事には変わりはないものな

3 4 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

ここまで来るともう何か別の要因でもあるんじゃないやね？

どっかのSFみたく機械に管理・支配されてる世界とか

3 4 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

極限まで効率化を突き詰めた代償か

3 5 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

そんなのは漫画かアニメの中だけにしといてくれよ

3 5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

インテリデバイスに支配される人間か

恐ろしいもんだな

3 5 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

デバイスの方が優秀すぎて逆に人間の方が使われるのか

なんとも情けない話だ

3 5 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

どっちが本体なのか判ったもんじゃねえな

3 5 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

この流れの一体どこから突っ込めばよいのか

3 5 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

巨大なブーメランが大量に飛び交ってるな

3 5 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まさにお前が言うな

3 6 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあ仮にその通りだったとしてもアルハの所業が全部許される訳じゃないけど

な

許す気も無いし

3 6 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

絶対許早苗

3 6 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ならこの憤りを何処にぶつければ良いのか

3 6 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

もうアブドウル氏にでも訴訟起こしてもらおうぜ

名誉棄損とか風評被害で



3 6 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

いあいあはすたあ

3 6 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

訴訟が絡めば間違いなく我々も訴えられそうだが

3 6 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

勝てる気しない筈

3 6 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

そらそうよ

3 7 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

普通にMSもどきにでもぶつけてやれば?

3 7 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

また安価か何かで八つ当たり方法でも決めるか

3 7 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

管制さんもそれで良い？

3 7 4 : 管制人格 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G X

7 m 5 | 4 t

お k

3 7 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

B L の下りがあったから何か変な気分だな……

3 7 6 : 管制人格 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r G X

7 m 5 | 4 t

とりあえず触れないでもらえると助かるわ

3 7 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

色々と承知した

とりあえず出会いがしらの一撃を安価 >> 3 8 7

3 7 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

八極拳

3 7 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

一撃で終わらせる気満々だな

3 8 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

忠義の嵐 (忠義抜き)

3 8 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

何だよそのチャーハン飯抜きみたいなのは

3 8 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

超電磁式榴散弾重砲

3 8 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

何かと思えばギアス繋がりが

じやあ電磁繋がりで超電磁スピンをば

3 8 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ネオアームストロングサイクロンジェットアームストロング砲

3 8 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>>3 8 7 おい w w w w w

3 8 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>>3 8 7 これは w w w w 懐かしいな w w w w w

3 9 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>>3 8 7 完成度高けーなオイ w w w w w

3 9 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

我々の容姿でそれぶつ放すのは色々和不味いだろ w w w w

いや主ベースならいけるか？

3 9 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ふた●りという文化があるから無問題

3 9 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

そもそも今の主のはアームストロングどころかゴム鉄砲ですし……

3 9 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>3 9 4 それは言ってみるな

3 9 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

じゃあとりあえず最初の一発はネオアームストロング (r y で

なんかこれだけで決着付きそうだな

次砲>>4 1 0 で

3 9 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

何故略たし

399 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

GX7m5 | 4 t

スペースの都合だよ

400 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

GX7m5 | 4 t

何の話だ

401 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

GX7m5 | 4 t

とりあえずレオパルドン

403 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

GX7m5 | 4 t

ソード●ツカー

404 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

GX7m5 | 4 t

KYM

407 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽)

41 : 25 : 88

I  
D  
:  
r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 0 4

騎士達が装備してるのに今更

つーことで金閣

4 0 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 0 7 何気に鬼畜だな

じゃあマスパあたりをば

4 1 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

フリーフォールグラッチェ

4 1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 1 0

マジかよ w w w w w

4 1 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

自由落下wwwありがとうwww

413:名もなき歯車:0079/12/25 (咽) 41:25:88

G X 7 m 5 | 4 t

碌なのがねえwww

415:名もなき歯車:0079/12/25 (咽) 41:25:88

G X 7 m 5 | 4 t

でも実行しちゃうんだろ?

416:名もなき歯車:0079/12/25 (咽) 41:25:88

G X 7 m 5 | 4 t

当然

417:名もなき歯車:0079/12/25 (咽) 41:25:88

G X 7 m 5 | 4 t

安価は絶対なもの

420:名もなき歯車:0079/12/25 (咽) 41:25:88

G X 7 m 5 | 4 t

とりあえず現在までのまとめ

初撃:ネオアームストロングサイクロンジェットアームストロング砲

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r



次砲：フリーフォールグラッチェ

そろそろベとくか。とどめは>>430で

4 2 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

初撃の時点で全部終わっちゃまいそんな気もするけどな

4 2 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

最後までいい格好良く締めようぜ

というわけで約束された勝利の剣

4 2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

天地乖離す開闢の星

4 2 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

またえらい厨二度が上がったな

じゃあ轟く五星

4 2 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt;426ブリューナクだっけかそれ

じゃあ俺はロンギヌスあたりを。当て字は適当にたのむ

4 3 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

無限波動絶対零度  
エターナルフォースブリザード

4 3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

振り切れちまった件

4 3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

適当な当て字つけんなし

4 3 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあでも案外我々の容姿ならびったりかもな

4 3 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

実際に使うのは主だがな

4 3 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

効果 : 相手はしぬ

4 3 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

鎮まれ : : : 墮天せし我が黒翼よッ : : : !

4 3 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

墮ちる以前に祝福さえ受けてないけどな

4 4 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

最終案

初撃 : ネオアームストロングサイクロンジェットアームストロング砲

次砲 : フリーフォルグラツチエ

止め : エターナルフォースブリザード

で決定となりました

441 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

カタカナ語が多すぎて目が滑る

442 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

これ全部ベルカ語に直すとどうなるんだ？

444 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

Zuerst : Neo | Armstrong | Zyklon D · sen A r

mstrong | Pistole

Danach : Danke f · r freien Fall

Das Ende : Ach, es ist Tahnichtiger

Machtschneesturm

445 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

エキサイト乙

446 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

直訳かよ

4 4 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

判つてるとは思うがこれをそのまま信じるなよ？

4 4 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

むしろ信用できる要素が見当たらない

4 5 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

勝てる気がしないな

色々な意味で

4 5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

むしろ勝とうとも (r y)

4 5 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

この面子なら神コーンだろうと髭だろうと負ける気がしねえ

456 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

まあどうせガワとスペックだけ似せたパチモンだろうしな

458 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

そういや神コーンで思い出したが一機妙に浮いてる機体無かった？

浮いてるってか実際に他のMSもどきをを蹴散らしてたし

459 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

真ゲッターばりの変態機動で桃色ビームぶっ放してたアレか

そういや一機だけ純白だったな

460 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

まあだからといって味方である保証は無いけどな

462 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

つか色合いといい戦闘力といいなのはさんと何か関係あるんかね

4 6 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

中になのはさんが乗ってるとか？

4 6 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

流石にそりゃ無いだろ

4 6 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

我々どころかアルハザードの連中だって時間操作は無理だったみたいだしな

4 6 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

そもそもご先祖様ですら生まれてるのかも定かじやないし

4 6 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

じゃあなのはさん本人じゃなくてレイハさん搭載とか？

4 7 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

それもありえ……ないこともないのか？

4 7 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

デバイスに寿命とかあるのか知らんが

とりあえず生身の人間よりは可能性としてありえるだろうな

4 7 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

そーいやレイハさんの出身ってどこよ

バルディツシュはリニスが作ったってのは判るけど

4 7 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

そもそも原作でそれについて触れられたっけ？

4 7 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

前の持ち主はユーノ君だが、製造元だ何だは言っってなかった筈

4 7 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r



G X 7 m 5 | 4 t

あれもどっかの遺跡から発掘したんじゃないの？

4 7 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

案外あれもロストログアでアルハザード製だったりしてな

4 7 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

まさか

4 7 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

まさかまさか

4 8 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

そんなまさか

4 8 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

まさかの時の

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

4 8 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

スペイン宗教裁判

4 8 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

＼ジャーン！／

4 8 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

また何か変なフラグが建った希ガス

4 8 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

>> 4 8 4

何処からともなく変な3人組が現れるとか？

4 8 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

そっちじゃねえ

4 8 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なのはさんに砲撃されるとかか

4 8 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 4 8 8 それはもう未来での決定事項だろ

4 9 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

いや或いはもしかしたら回避できる未来がありえるのかもしれない気がしない

ことも無い

4 9 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

もう少し頑張つて否定しろよ

4 9 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

とりあえず今後 S L B 喰らつたら &gt;&gt; 4 7 7 の責任な

4 9 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

そんなバナナ

496 : 管制人格 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : rGX  
7m5 | 4t

ご歓談のところ申し訳ないがまた出撃要請かったよー

497 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : r

GX7m5 | 4t

また？

498 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : r

GX7m5 | 4t

もう休憩は良いの？

500 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : r

GX7m5 | 4t

我々はともかくあんまり連続使用してると主の精神が燃え尽きちまうぞ

501 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : r

GX7m5 | 4t

まさにDEATH☆GAME

502 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88 ID : r

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt; 5 0 2

冗談でもなんでもなくこんなだから困る

5 0 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあどの道既に手遅れだとは思うけどな

5 0 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

でも可哀想でも何でもない不思議

5 0 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

既に流されて仕方なくってレベルをとくに超えてるからな

5 0 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

あのシヨタがこうも歪んでしまうとは……

5 0 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

有名子役ほど後々悪いニュースとなる法則

5 1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

日本人の意志もだが上の方も此方の戦力をだいぶ当てにしてるからな

5 1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあ何にせよ我々に拒否権なんて存在しないからな

求められたら応じる他ない

5 1 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあ住人の意志というか気持ちはシンクロ率の方で如実になってるけどな

5 1 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

現在までで記録されてる最高値が一桁とかもうねアボガド

5 1 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

基本的にはマイナス一直線だからな

5 2 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

そりや乗つ取られるわな

むしろ事故以外の選択肢を見つけようが無い

5 2 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

誰か一人ぐらい主の方で気づけよ

自分達が拒否されてることに

5 2 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

>>> 5 2 1

一応表向きの数値は融合可能な数値を出してるからな

何か尋ねられても適当な事しか返してないし

5 2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

とりあえず良い数値出しとかないと八つ当たりが酷いからな

5 2 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

人になんて貰う前に自分達が変わろうって発想は無いのか

5 3 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

&gt;&gt;&gt; 5 2 6

人間の方が道具に合わせるってのも可笑しな話だけどな

5 3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

まあ実際シンクロ率の上げ方なんて我々にもわからんし

5 3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

合う人には合う何かがあるんだろ

5 3 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

そもそも推定 6 6 6 人に合わせてるって前提の時点で無理ゲ

5 3 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r



どうでも良いがシンクロじゃなくて融合係数とか何かじゃなかったっけ？

5 4 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

細けえ事は (r y)

5 3 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

今や時代は融合じゃなくてシンクロなのさ

5 4 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

集いし願いが

5 4 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

今ここに列をなす

5 4 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

漆黒の華よ

5 4 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

舞い上がれ!

5 4 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

ワンハンドレッドウ・アイ←・ドウオラゴオン→

5 4 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

何召喚してんだよ

5 4 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

満足龍自重

5 4 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

つかもうシンクロじゃなくてエクシーズじゃないの?

販促方針的にも

5 4 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

>>>548

俺の心の中じゃ何時までも環境トップはシンクロナンだよ

551 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

俺のDDBを規制した運営は絶対許早苗

552 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

>>>551

テメーはエクシーズ云々関係ないだろ

553 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

>>>551

二度と帰ってくんない最速禁止野郎

554 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88

G X 7 m 5 | 4 t

>>>551

烏共々永久追放されてろ

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

5 5 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

この体たらくじやシンクロなんぎ夢のまた夢だろうな

5 5 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

如何にシンクロといえど調律<sup>チューニング</sup>してくれる存在がいなけりや紙切れ同然よ

5 5 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

むしろ場に出せなきや神であらうと紙切れ (r y

5 6 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

出せたとしても産廃な神もいらつしやいますか何か

5 6 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

>> 5 6 0

だからアレはライフちゅつちゅギガントだと何度言えば

562 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r  
 G X 7 m 5 | 4 t

太陽の神なんてなかったんや

568 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあもしこの先シンクロでもユニゾンでも決まることがあれば

格好良い口上とか言ってみたいもんだがな

569 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>> 568

プラス数値が出るだけマシな現状では果てしなく険しい道のりではあるけどな

570 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

なんという底辺

571 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

我々にはこの地獄こそがふさわしいのさ

5 7 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

パーフェクトなハーモニーなんざ眩しすぎる

5 7 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

それでも……それでも俺達は光が欲しいんだっ……

5 7 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

と言いつつ飛び立つのは漆黒の夜空

5 7 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

照らす明かりは飛び散る火の粉だけか

5 7 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

もう咽る喉もつぶれちゃったけどな

5 7 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ちよ w w w w w 何か出てきた w w w w w

5 8 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ビ w w w w w グ w w w w w ザ w w w w w ム w w w w w

5 8 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

あのふざけたシルエットは間違いない w w w w w

5 8 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

前に諜報部が言ってた「大型兵器」ってアレの事かよ w w w w

5 8 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

開発者は何考えて設計したんだよ w w w w

5 8 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

腕なんて飾りです。偉い人には (r y

5 8 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ええい、ミツドの技術者は化け物か！

5 8 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

もしかしてあれにこそなのはさんが乗ってるとか

5 8 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

G X 7 m 5 | 4 t

違和感を感じないから困る

5 9 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

遠い未来から態々我々にありがたいOHANASIを授けに来てくれたわけか

5 9 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

お話(メガ粒子)

5 9 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

とか暢気な事を言っている間に此方側の部隊が壊滅状態な訳だが



597 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 GX7 m5 | 4 t ID : r

一撃かよ。マジでパネエのな

598 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7 m5 | 4 t

つか態々AMFでIフィールドまで再現してるのか

599 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7 m5 | 4 t

製作者絶対元ネタ知ってるだろこれ

600 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7 m5 | 4 t

本当に何でもありの無法地帯だな

602 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7 m5 | 4 t

さつきまで欠片でもあったシリーズ(○)は一体何処へ行ったのか

603 : 名もなき歯車 : 0079 / 12 / 25 (咽) 41 : 25 : 88  
 ID : r

GX7 m5 | 4 t

ビグザムのインパクトに比べれば些細なこと

6 0 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まさか一機で戦況をひっくり返されるとは思いもしないよな流石に

6 0 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

量産化の暁には ( r y

6 1 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあ冗談はさておき流石にそろそろやばくないか

6 1 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

ベルカ側の勝利云々はどうしても良いが今後のためにもここで破壊しとくべきだ

よな

6 1 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

やつばスレタイにあやかって我々が自爆特攻する他無いのか

6 1 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

まあ現状まともな戦力は我々しか残ってないものな

6 1 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

これも後の兵士のためさ

6 1 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

華麗に K A M I K A Z E と洒落込もうじやないの

6 1 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t I D : r

これ以上うだうだして被害増やすのも何だし

決まったのならとつとやっちまおうぜ

6 2 1 : 管制人格 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 7 m 5 | 4 t I D : r G X

此方としても賛成なんだが、さつきから主が

「嫌でござる。絶対に逝きたくないでござる(意識)」的な事を喚いてるんだが

6 2 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

>>> 6 2 1

よく聞こえない、もう一度言え!

6 2 3 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

>>> 6 2 1

聞こえないぞ、繰り返し返せ!

6 2 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

>>> 6 2 1

くそっ、通信妨害か!

6 2 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

通信妨害なら仕方ない

6 2 7 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8  
 G X 7 m 5 | 4 t

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

I D : r

散々好き放題しといて逃げたいとか今更

6 2 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>> 6 2 7

撤退は許可できない。最後まで戦え

6 2 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>> 6 2 8

聞こえてんじやねーか

6 3 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

本部ではよくある事

6 3 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

罠です！ 後ろからも敵が！

6 3 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽)

4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

## 安定の本部の罨

6 3 4 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

## 獅子身中の虫とはまさにこの事か

6 3 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

## 最大の敵が腹の中にいる状況だからな

6 3 8 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

まあとりあえずそろそろ特攻ぶっこみと逝きますか

6 3 9 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

申し訳ないが主殿には不運ハードラックと踊ダンスつちまつたという事で納得してもらおう他あるま

い

6 4 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

## 融合事故を起こすような奴は安全確認が足りないんですよ

6 4 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

>>> 6 4 0 コラの方かよ

6 4 4 : 管制人格 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r G X

7 m 5 | 4 t

という訳でいざ神風

皆さん乙でした

6 4 5 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

おつ

6 4 6 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

おつー

6 5 0 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

何だこれは……：蟻の体液……？

6 5 1 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8 I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

酸……

6 5 2 : 名もなき歯車 : 0 0 7 9 / 1 2 / 2 5 (咽) 4 1 : 2 5 : 8 8

I D : r

G X 7 m 5 | 4 t

さ、サンダー!!

◇◇◇

熱線のシャワーを辛くも逃れた住人達を待ちうけていたのは、その下無き更なる地獄であつた。

絶望の上を跋扈する絶望。愚かなる道化達が積み上げしバベルの塔。

裁きの雷を受け止める聖女は一人、失意の泥へと沈みゆく。

ここは最果て。全てを受け入れ、全てを壊す世紀の終点。

次回「終焉」

その願い 一万と二千年の彼方へ



## 番外1：【救援】 模擬戦無理ゲ過ぎワロタ 【求む】

『本当に大丈夫なんでしようね？』

『だいたいじよーぶー！ 私を信じて！』

自身のそれと同色の魔力光で輝く路を駆け抜けつつ、並列して相棒パティと思念通話にてコ  
ンタクトを取る少女が見据えるは、かつて自身も嫌という程その恐怖を味わった。災害  
“に類するものでは無く、長剣型デバイスを構えた一人の女剣士……否、「騎士”。

管理局員としての高みの一つ・執務官を目指している相棒とは異なり、少女が志して  
いるのはあくまでも災害救助を主任務とするレスキュー部隊。故に、彼女が本来立ち向  
かうべき相手は人ではなくモノであり、一見するとこの現状は聊か不合理に思えるかも  
しれない。事実、人一倍暴力を嫌い、それ故に災害救助という道を志した過去を持つ少  
女自身もまた、訓練の話を受けた際はそう考えていた。

しかし、そんな彼女に対し、師であり親代わりでもある人物は、厳しく、しかし優し  
く、ある一つの教えを論じた。

—— お前がこの先立ち向かわんとする相手は、ちつぽけな人間の思考など歯牙にもか  
けぬ強大なる大自然が一部。たかが人間一人にさえ正面から立ち向かえない弱虫が、そ

んな大きな存在を相手取り一体何ができるのか。

今のお前が恐れているのは、その力で誰かを傷つけてしまう事ではない。「力」を振う者が背負わなければならない責務によつて、お前自身が傷ついてしまう事なのだ——と。

その言葉は、泣き虫であつた少女の心へと確かに響いたのだろう。あれ程までに己の力から目を背けていた少女が、今こうしてその「力」と正面から向き合えているのが何よりの証拠だろう。

さて、そうして己が二本の足で戦場へ立てるまでなつた少女ではあるが、己の興味があつた事以外には中々関心が向かない……というより、ある一つへのめり込むと聊か視野が狭くなる性分の所為だろうか。首席卒業という輝かしい経歴を持つにも拘わらず少々情報に疎い彼女は、相方とは違い今回の「教官」について殆ど予備知識を持っていなかった。それは、精々が「とんでもなく強いらしい」という子どもじみた内容ぐらいの物だろう。

とはいえ、模擬とはいえ戦場の空気とは恐ろしいもの。或いは「百聞は一見にしかず」という、ある管理外世界に伝わる故事の通りとでも言うべきだろうか。初めて顔を合わせて未だ十数分と経っていないにも拘わらず、少女は昨晚相方が散々騒いでいた理由を

既に十二分に理解していた。

天地程はあろう、圧倒的なまでの実力の差として。

いくら少女の性格が非好戦的とはいえ、そこは訓練の場。師の教えによる影響もあつたのであろう今の彼女は、自身も驚く程に一切の迷い無く全力を賭す事ができていた。首席卒業だからとて、何も座学一辺倒な頭でつかちである筈も無し。むしろ其方が意外に思える第一印象そのままの澆刺さと勢いを余す事無く両の拳へと乗せ、相棒の繰り出す援護射撃と共に模擬戦開始から攻めの一手。怖いもの知らずの若さに溢れたその力は、生半可な壁であれば乗り越える前に木端微塵にされ、例え逃げ続けても忽ち追いつかれてしまう事だろう。

だが、そんな彼女達へと充てられる「壁」が生半可な物でないのもまた必然。鋼鉄を砕く拳は容易に往なされ、飛ぶ鳥をも捉える弾丸は瞬く間に斬り捨てられる。既に火蓋が落とされてから十数分は経過しているにも関わらず、有効打は勿論、かすり傷どころか一歩でさえ教官役たる騎士を開始時の位置から動かせていなかった。

無論、その戦況を「攻めに転じさせていない」等と樂觀視できる筈もないだろう。多忙の身ながら教官役を引き受けた彼女が勤労意欲を著しく欠いた怠け者であるなんてのは以ての外。つまりは、足を使わず、攻めに転じずとも十分事足りる。それだけの力があり、またそれだけの差があるという事なのである。

そして、仮に彼女が最初から全力を以て「倒しに」かかっていれば、今の挑戦者二人では十数分どころか数分でさえ持ちこたえられるかどうかも疑わしい。それは。今戦いの場へと立っている少女二人が誰よりも理解していた。全力で振った拳を易々と掻い潜り、あまつさえ自身の隙を見つけ出しては、死力を尽くせばなんとか交わしきれるギリギリの力による反撃。それらを両立させる技量を肌で感じ取れば、どれ程頭が能天気であつても否応なしに理解させられる事だろう。

守勢に入れば水も漏らさぬ盾となり、攻勢に出れば万象を断ち切る刃となる。それが彼女の……古よる伝えられる業と魂とをその劍へ宿した、誇り高きベルカの騎士が力なのである。

そもそも、片や訓練校を出たばかりの凡百の新米であり、片や管理局全体を見回しても一握りしか存在しないとされる珠玉ニアスの、名実ともに歴戦の勇士なのだ。そんな組み合わせでは、例え二対一であつても数分持つ事さえ奇跡的。というのが管理世界における常識的な判断であり、また模範的な回答でもある。文字通り次元の違うその相手に、（相手が攻めに入っていないとはいえ）十数分も持ちこたえられたのであれば、試験としては十分に及第点を付けても構わないであろうし、また普通の教官であれば満点とまではいかずとも判の一つぐらいいは押したくなる所であろう。大抵の者は空回りした渾身の一撃を容易に返されて沈むか、極度の緊張と緊迫に精神の方が先に根を上げてしまう

かの二つに一つなのだ。そんな中で、若輩ながらも己を律し続けた少女二人に、どうして低評価を下げようか。

だが、今少女達を捌いている教官たる騎士は、そんな妥協で満足できる程甘くはない。這えば両腕を払い、立ち上がれば尻を叩く。それこそが教え子達の為になると信じ、鬼教官は今日も今日とて鞭を振う。実践において可を出す事こそが本懐であるのに、どうして訓練で良を求められない事があるのか。

何より、少女達自身がその常識あたりまえでは決して満足しない。守るのなら皆を、乗り越えるのであれば全てを。誠心誠意全力を尽くしてゆくその若さの辞書に、妥協という二文字は存在せず、故にその瞳へ宿る光は決して消えない。

超エース級を相手にしても堪え切る力量でも、苦境においても己を律し続けられる精神力でもない。その力の差を知り、それでも尚挫けぬ——否、挫け、折れ、砕かれ。それでも立ち上がる不死鳥が如き意志。曲がり、傷つき、それでも尚「折れない」「不屈の心」。それこそ、未だ若葉ながらも彼女達が有する最大の武器であり、この訓練を見守る者たちが期待する「強さ」なのである。

(必ず勝機はある。例え一人では届かなくても、私達二人なら……！)

そして、決して絶える事なき執念にも似たそれが見つけ出した「希望」。長引けば長

引くだけ不利となつてゆく少女達に残された「勝利」への道標。それを今、彼女は手に掴みつつあった。

未熟ながらも、同じベルカ系の技を使用する彼女だからこそ判る。こと人間同士の戦いにおいて最も重要となるのは、魔力量や演算能力ではなく「間合い」なのだ。

### 剣対魔導杖

単純なリーチなどで考えれば、一見すると後者の方が有利に見えるかもしれない。実際、何も考えず機械的に処<sup>シミュレーション</sup>理してみれば、「遠距離からの一方的な殲滅」という結果が当然の様に導き出される事だろう。

だが、良くも悪くも柔らかな思考を持つ人間同士の戦いは当然ながら計算通りに行く筈も無く、それらを踏まえた上で行われるものこそが「間合いの食い合い」であり、真なる戦い。達人の前において機械的な魔力弾などは豆鉄砲にも劣る玩具であり、無思慮に空けられた距離を「間合い」などとは決して呼びはしない。それらの要素を鑑みただ上で弾きだされる計算は、その全てが機械の能力を大幅に上回る結果なのである。

勿論、ミッド系においても近接戦闘の使い手は多々存在するが、生憎と今戦場に立つ少女達はそれに該当する者ではなく、また逆に相手は近接戦闘においてはプロ中のプロ。真正面からぶつかりあつたところで、普通ならばまず勝ち目はないだろう。

そう、「普通」ならば。

しかし、繰り返すにはなるが、人間同士の戦いの勝敗を決するのは「間合い」であり、それは何も物理的な距離の問題だけでは無いのだ。意識の水面下に張り巡らされた「心の間合い」も又、それに含まれるのである。

もう一つの相棒であるローラーズスケート型デバイスのエンジンを吹かし、一端距離を開けつつ改めて現状を確認する。

現在、仮想敵騎<sup>アグレッシブ</sup>は相棒が遠隔操作する誘導型魔力弾をあしらっている最中だが、圧倒的な力の差により生まれた慢心なのだろうか、完全に足を止めて。棒立ちにも近い状態となっている。勿論、彼女の技量を以てすればその状態であつても返しの一手ぐらい訳無く、またそれ自体が必殺の一撃にも劣らない威力を秘めている以上、決して隙だらけという訳でも無い。

だが生憎、少女の持ち味は速度と破壊力とを合わせた後の先を許さぬ「突撃力」であり、例えば剣の間合いにおいて勝負にならなくとも、その更に内側、「拳」の間合いであれば、彼女の方に一日の利がある。何より、それらの要素を組み合わせてゆけば、低ランクの若造相手と油断しきっている相手の「心の間合い」は完全に封じる事ができる。少女が見出した勝機とは、その「心の間合い」を一足に飛び越え、剣の振るえぬ懐にまで飛び込む事であつた。

『と、言う訳だから。お願い、私を信じて！』

『……まあ、いいわ。どうせこのままじゃジリ貧だし、

何よりアンタと私とは一蓮托生って約束だからね。

オツケー。今回はアンタの策に付き合っただけあげるわ』

『サンキュー！ 愛してる！』

『はいはいわたしもよ』

表情にこそ出していないものの、兩名とも既に体力・魔力は限界に近い。故に、頼れる相方の了承も取り付けた少女達はすぐさま最後の反撃へと打って出た。

攪乱の為に張り巡らせていた魔力路を解除し、真つ直ぐに騎士の下へと続く路を形成。その上を、恐れも迷いも無く、最大出力で駆け抜けてゆく。当然、そうもあからさまであれば相手も気付く筈ではあるが、最初からカウンターを狙っていたのか、それとも未だに慢心しているのか。残る魔力弾を片手間で捌きつつも、騎士は相変わらず一歩としてその場から動こうとはしない。

『——けど、その油断が命取りよ』

40、30、20、15、10、9、8……

瞬く間にゼロへと近づいてゆく二人の距離。この状況において、どうやら勝利の女神は「勢い」よりも「経験」を選んだらしい。纏わり付いていた羽虫の大半を斬り捨て終え、自身目がけ呐喊してくる敵を正面に剣を構えた騎士は、それ自体が如何なる凶悪な



質量兵器をも上回る最強の罠<sup>カウンター</sup>。力任せの単騎突撃では、成す術も無く返り討ちに遭う事は火を見るよりも明らかだろう。

だが、しつこいかもしれないがもう一度言おう。彼女は一人ではないのだ。

「つー！ 目くらましだと!?!」

『決まった！ オツケーそのまま……思いつ切りブチかませ!!』

その種は、なんという事は無い。騎士も気付かなかった（気付けなかつた）その一発。誘導弾の中に紛れ込ませていた、閃光の術式が組み込まれた魔力弾。遮光グラスさえ容易に貫くそれは、敵味方問わず一切の視界を容赦なく奪い去る、使いどころを誤れば間違ひ無く味方にさえ危機を齎す代物であり、同時に何よりも単純で初歩的で、この上無く高い威力を誇る最良の罠。

だが、例えば己の目が利かずとも、サーチャーを展開していなくとも、彼女には背中を預けられる相棒<sup>パートナー</sup>という最高の「眼」がある。仮にも首席を勝ち得た身。予め行つていた計算と相棒への信頼とがあれば、一切の視界が失われた状況下においても決して目標を見失う事はない。

「はあああああつっつ!!」

剣の内側、拳の間合い。裂帛の気合と共に全力の拳、必殺の一撃が振り抜かれ――

「——連携、発想、勢い、どれをとっても中々のものだ。

……が、一つお前達は大きな勘違いをしているようだな」

『嘘……あの状況でどうやって……？』

華奢な胴体へとめり込む拳。しかしそれは、同じ金属の手甲に包まれてはいても、騎士のものではなく騎士のソレ。

視覚を奪われた状態であっても、やはり勝利の女神による見立てに狂いは無かったらしい。二人が交錯したその瞬間、経験と直感だけを頼りに半身となって紙一重で鉄拳を躲した騎士は、その勢いさえも利用して、逆の拳による見事なカウンターを決めたのである。なまじ反撃の存在を考慮せず攻撃に全て注いでいただけに、平時であればただの拳にすぎないそれも、少女にとっては巨人の一撃に匹敵する凶器と化していた。

そして、生来の頑丈さ故に未だなんとか意識を保っていた少女であったが、時には容易に落ちていた方が良い場合もある。少なくとも、この教官は何よりも少女達の未来を案ずるが故に、一縷たりとも容赦はしないのだから。

「油断等では無い。これは余裕と……」

（ああ、ゴメンね●●……また、ドジっちゃって……）

「言うものだ!!」

『■■■■——!!』

轟く爆音。

薄れゆく意識の中で少女が最後に見たのは、何時もの気の強そうな霧囲気を微塵にも感じさせない、まるで嘗ての自分の様に今にも泣き出しそうな相棒の顔であった。

◇◇◇◇

「えつと………ヴィ、ヴィータちゃん。一ついいかな?」

「ん、何だ?」

防護用結界を隔てた先、訓練場の横に設営された管制室にて、目の前の「惨状」に己が目を疑いつつ少女……高町なのはは、小柄な自分から見ても更に小さい戦友へと恐る恐る疑問を投げかけた。

嘗ては悲しきすれ違い故に刃を交えた経験もある彼女達ではあるが、それも昔の事。今や掛替えの無い親友として背中を預けられる様にまでなった彼女達は……否、だから

こそ、この先も変わらぬ友情を交わしてゆく為にも、不要な悩みの種は決して残しておくべきでは無いのだ。

「あの、その……今の技って？」

そう例えば、先程烈火の将・八神シグナムが放った技——どう見ても故郷のとある漫画でみたまんまのそれに関する真相。なんていうものも、だ。

勿論、彼女達の過去にあった事は外野ながらも一番近い者として耳にはいるし、それに関して過度の詮索をするつもりも無い。

だが、よもや彼女が、専ら夕飯時は居間のソファにて夕刊を広げている彼女が。しかし時たま気まぐれを起こしてはデバイスを持ちだしベルカの伝統料理をふるまってくれる彼女が。その本性をして激動の時代の闇を生きた非道なる修羅……例えばCCOみたいな人物だったりするのでは？ という疑問に関しては、どうしても彼女自身の手で引導を渡しておきたくなったのである。

どう考えてもお世辞にも明らかにその容姿と釣り合っていないだろと言いたくなる程に可愛らしい私服のセンスをなさっている皆のお姉さんが、そんな弱肉強食の修羅である筈が無い という微妙か、しかしはつきりとした希望を抱いて。

「ああ、確かに珍しいかもな。あいつが徒手空拳を使うのは。

けど、あれは『Ein brennender roter Arm』って言う、

れつきとした古代ベルカから伝わる奥義の一つなんだぜ？」

「そ、そうなんだ……」

エキサイト直訳かよ

真剣な顔によるあまりにもアレなマジ解答に、流石のなのはさんも苦笑いを浮かべざるを得ない。

確かに、剣を主体とする彼女シッナムにしてみれば、徒手空拳で放てる技は保険として有効であるかもしれないし、その威力に関してもご覧の有様……もとい、今自分の目で確かめた通り、なんら心配する事は無いだろう。

だが、「とある事情」を知る極一部の者からしてみれば、それが悪質なまでに凶悪なギャグにしか見えないのもまた事実。少なくとも、もしなのはが実践においてあの技を使わようものなら、防衛も回避もかなぐりすてて、思わずその場のノリで喰らってしまいう事請け合ひであった。

「す、凄いなだね、古代ベルカって（色んな意味で）」

「……まあ、昔は戦争ばっかしやってたからな。」

そういつた面はドンドン発達していつたんだろ」

引き攣る頬を誤魔化しつつ、若干の皮肉を込めてそう返すのはであったが、そんな邪な考えは、決して誇らしげでは無いヴィータの横顔により一片に吹き飛んでしまっ

た。

——彼女の言う通りだ。あれもまた、平和な世界で生まれ過ぎてきた自分には想像もつかない戦乱の最中、それでも守りたいモノの為に苦難の末編み出された業の一つなのだろう。

だから、例え見目も中身も全くの同一で、自身にとつては非常に滑稽な光景であろうと、そこに込められた願いは紛れも無く本物で——

「二重の……極みっ!!」

——そう考えていた時期が、私にもありました。

次いで行われた第二戦、親友の家の狼さんがしでかしたソレを見て、とうとうなのの中で何かが弾けた。

見た目いい年した筋骨隆々の大の大人が、大真面目な顔して一体何をやっているのか。剩、結界破壊属性など一欠けらも付与されていない唯の強パンチが何故AAAランクのシールドを文字通り「粉微塵」にしているのか。どうして誰もその点に突っ込まないのか。

そういえば今隣で平然としてる赤ロリは以前金びかのハンマーを振りまわしていな

かっただろうか。いや、それだけじゃない——

めくるめく迷走を続ける思考。ゆらぐ常識と、脳の奥底より溢れだす秘密フタちしきとの狭間を流離う間に、やがて少女は考えるのを止めた——

## 【リアル】ベルカ終了のお知らせ【世紀末】

2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2  
 ID : 0 m  
 a @ 8 s | d

遂に来たか

3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2  
 ID : 0 m  
 a @ 8 s | d

きたか……!!

ガダツ (。 ㄩ )

4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2  
 ID : 0 m  
 a @ 8 s | d

とうとうこの日が来てしまったのか

6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2  
 ID : 0 m  
 a @ 8 s | d

ヒヤッハー!!

7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2  
 ID : 0 m



a@8s—d

むしろどうして今まで来なかったのか不思議なくらいなんだが

8：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0m

a@8s—d

ラッパを失くしてもしてたんじゃね

11：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

まあ「世界の滅亡」なんてのは四六時中設定されてるけどな

12：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

何かあるたび取りあえず人類滅亡だもの

13：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

話は聞かせてもらった！ 人類は（ry

14：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

ナ、ナンダッテー!! Ω Ω Ω

15 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

しかし漸くノストラダムスさんも面目躍如か

16 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

悪の組織も大勝利だな

18 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

どれだけ滅亡が望まれてんだよ

19 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

宇宙的に見ればどの道人間だっけいつか滅びるだろうに

20 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

それもまた必然よ

22 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0  
 ma@8s|d

人類がアマタ持つ予言のうんたら

23 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

>>22イケメンは爆ぜろ

24 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

>>22リア充捻転してろ

25 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

>>22モロイ……モロイ……

27 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

皆が其処まで言うなら仕方ない。代わりに私が頂こう

28 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

>>27

すまないがホモは (r y

29 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0  
 ma@8s|d

サザンカさんも大勝利

32 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0  
 ma@8s|d

世紀末だというのにこのお気楽さ

33 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0  
 ma@8s|d

言うても判り切ってた事じゃん

ベルカの滅亡なんて

34 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0  
 ma@8s|d

199X年、ベルカは核の炎に包まれた

世界は混沌に包まれ、力だけが正義となる古代の密林さながらの様相を呈してい

た

だが！ 人類は滅亡……しそうだなこの調子じゃ

35 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s—d

>>34 少しでもだけクスツときた

37 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72

ID : 0

ma@8s—d

言い方は悪いが此処がミッドだったらこうはならなかつたんだろうな

38 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72

ID : 0

ma@8s—d

心苦しいが事実である

39 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72

ID : 0

ma@8s—d

世界を挙げての対ミッド戦がいつのまにか内部分裂だからなあ

こればかりは流石に弁護できない

40 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72

ID : 0

ma@8s—d

そして最後は自分達で開発した技術であぼんだからな

41 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72

ID : 0

ma@8s—d

まるで人間の歴史の縮図ではないか

4 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

自ら育てた闇に食われるってか

4 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

ホントにその通りになっちまったな

4 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

なんともはや情けない話だ

4 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

世紀末なんてどこもそんなもんだろ

そもそもあれだって発端は核兵器な訳だし

4 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0

ma@8s|d

まあ侵略だなんだで滅んだならモヒカンなんてやっつてられないからな

50 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0  
 ma@8s|d

バイオハザード的なもので滅んだならどうなるのよ

51 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

モヒカンがゾンビになるだけだろ

52 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

モヒカンゾンビか。なんかモンスターとして登場しそうだな

53 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

脳みそ腐った連中にバイクの運転なんてできないだろ

56 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

そもそもモヒカンにするだけの頭髪が残るのかさえ疑わしい

仮にあつてもセツトするだけの技術が無い

57 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

m a @ 8 s | d

そう考えると何かモヒカン達が凄い奴に思えてくる

58 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

m a @ 8 s | d

皮ジャンがパツンになる程の筋肉の鎧を纏い

モンスター級の改造バイクを難無く操り

しかし隊列を崩さない統率と従う存在を見定められる慧眼を兼ね備えた

世紀末の異能生存体

59 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

m a @ 8 s | d

&gt;&gt;&gt;58

そこで180超の長身を女と見間違える視力と明らかにヤバそうな相手でも

構わずヒヤッハーかますお粗末な危機察知能力か

60 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

m a @ 8 s | d

見間違いは勘弁してやれよ

61 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0



ma@8s—d

2mを越える身長のお婆がいる世界なんだから問題ない

62：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

>>>61

お前のようなババアがいるか

63：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

つかこの世界の無法者たちが何故か全員改造バイクで荒野を走って

おそろいの棘付きジャケットにモヒカンなのは別に我々の所為じゃないよな？

64：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

そんな文化を流布した記憶は無い……筈

67：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

ma@8s—d

正直自分達でも把握しきれない程にやんちゃしてきたからな

68：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：0

m a @ 8 s | d

当時はどうかしていた

今も十分どうかしているが

69 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72

I D : 0

m a @ 8 s | d

認めたくないものだな……自分自身の ( r y

70 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72

I D : 0

m a @ 8 s | d

そんな連中を更生させつつ政治もなさってるオリヴィエたんの胃がマツハ

71 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72

I D : 0

m a @ 8 s | d

過労死の土俵際で踏ん張ってなさるからな

本人は至って充実していそうだったが

73 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72

I D : 0

m a @ 8 s | d

まあ更生といっても基本物理だし

74 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72

I D : 0

ma@8s—d

やる方もやる方だがそれで修正されちゃう方も大概だろ

円満になるから文句は無いが

75:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:0

ma@8s—d

どいつもこいつも少年誌的というか脳筋というか

77:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:0

ma@8s—d

やる方が美少女だからじゃね?

強面筋肉質の大男に同じ事されるのとはまた違うんだろ

78:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:0

ma@8s—d

>>>77

更生どころか昇天しちまう

79:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:0

ma@8s—d

むしろ地獄行き

80 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ma@8s|d ID : 0

地獄さえも生温いあの所業

81 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ma@8s|d ID : 0

細胞一つたりともこの世に残さん!!が基本だからな

85 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ma@8s|d ID : 0

つくづくこの世界のモヒは幸せ者だな

86 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ma@8s|d ID : 0

共通点といえばご立派な胸囲ぐらいだもんな

87 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ma@8s|d ID : 0

>>86

88 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID : 0

お前のせいで漢女な陛下を想像しちまったじゃねーかどうしてくれる

ma@8s—d

>>>87

いやそのりくつはおかしい

89：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎）

88：91：72 ID：0

ma@8s—d

>>>87

何故そつちに進むのか

90：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎）

88：91：72 ID：0

ma@8s—d

>>>87

これだけ間近で見えてきたんだからそれは無いだろ

91：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎）

88：91：72 ID：0

ma@8s—d

だよなあ

93：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎）

88：91：72 ID：0

ma@8s—d

合理化というか戦い以外の殆どを斬り捨ててきた家系の割には随分栄養回って

るよな

94 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

歴代も中々のものだったしな

むしろソツチで選んでるんじゃないかと勘繰りたくなる

96 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

別に前線で拳振るうだけが仕事じゃないからな

政治云々の場面で見えた目が大事なんじゃないの？

99 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0

ma@8s|d

>>96

別に四六時中身体にびつたり of 服着てる訳じゃないだろ

むしろ政務用のあれじゃラインなんて全く判らんぞ

100 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

だからこそギャップが映えるんだろ

101:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d  
秃同

109:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

相変わらず敬意ってモンを知らない場所だなかし

110:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

君とてその一つだろうが!

111:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

>>110 開き直んな

114:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

巨貧問わずおっぱいへ賭ける情熱は万国共通なのさ

115:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

(。▽。 ) oシ おっばい!おっばい!

118 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s-d

つくづく此処の記録が外部から見えない事に救われてるなしかし

119 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s-d

こんな記録を見せられた日には流石の陛下も助走付けて殴りにかかるだろ

120 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s-d

普通に即死級

121 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s-d

我々の業界ではご褒美です

125 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s-d

そんな事になる前にイングヴァルト家から宣戦布告されるだろうけどな

126 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :



0 m a @ 8 s | d

これ以上内紛を増やしてどうすんだ

1 2 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

陛下の可愛さが悪いのだよ

1 3 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

で、渦中の陛下は今どうしてんのよ

1 3 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

ゆりかごで民間人が避難する時間を稼ぐとかなんとか

1 3 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

流石はリアル聖母

1 3 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

真っ先に逃げ出した貴族連中とはえらい違いだな

136 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

しかしこれで聖王家もお終いか

いざこうしてみると中々にくる物があるというかなんというか

137 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

なんかんやで結構な付き合いだからなあ

文字通り影から見守ってきた訳でもあるし

138 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

折角あの二人の血を引いてたというのに甚だ残念だ

141 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

でもって言うアレでもないけど後々クローンか何かが生まれるんじゃないか

たっけ?

142 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

聖王不敗マスターベルカ

実力で言えば違和感無い

143 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

間違えたクローンだ

145 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

ウイットだっけか、クローンの名前

146 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

ビットじゃなかったか？

147 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

ここであえてファンネル

148 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎)

88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

漏斗とかマジDQNネーム

150 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

>>145 | >>149

マジレスするとヴィヴィオ (Vivio) だ

151 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

o m a @ 8 s | d  
 おおそれぞれ

154 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

o m a @ 8 s | d  
 つかヴィヴィ夫ってオリヴィエたんの直系クローンなんだっけ？

155 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

o m a @ 8 s | d  
 変な呼び方すんなし

157 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

o m a @ 8 s | d  
 確かその筈だったろ。何処から遺伝子情報入手するのは知らんが

158 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 I D :

0 m a @ 8 s | d

聖骸布だか何だかじゃなかったっけ？

1 5 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

&gt;&gt; 1 5 8

こんな状況の中で誰が包んでくれるんだよ

1 6 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

狐か何かだろ

1 6 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

(A A 略)

1 6 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

&gt;&gt; 1 6 1

そりゃつままれるだ。激しく違う

1 6 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

何であれ生まれたのならとりあえず美人さんになるのは明らかだな

1 6 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

美人で強くて頭も良くておまけに優しい

ほんとに陛下は生まれてくる時代を間違えたと思えん

1 6 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

むしろこの混乱続く世界にこそ必要な人材じゃね？

1 6 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

人柱としてか

1 6 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

&gt;&gt;&gt; 1 6 8

もう少し言い方つてものをだな……

確かに事実として間違っではないが

171 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

まあ(元) 本家の変な連中に継がれるよか遥かにマシですよん

172 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

あのマジキチ連中が曲がりなりにも正当なる血族つてのが未だに信じられんわ

175 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

>>172

そう言いなさんな。あれとて彼らなりに平和を求めた結果だろうて

176 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

DESTRON的な平和か

177 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

だいたいあつてる

178 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0 m a @ 8 s | d

この愚か者 MEGA!

1 7 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

全くこのスタースクリームめ!

1 8 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

全くこの ( r y

1 8 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

まあ確かに陛下の思想より達成自体は現実的だよな

それが成功した後の世界がどうなるかはさておき

1 8 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

世紀末⇒救世主出現の無限ループ突入に10万ペリカ

1 8 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d



極端な理想論を非難する気持ちも判るが

夢も希望も抱けないような奴が壮志を成せるのかと聞かれたらちよつと……

187：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

でも目に見える結果を出せなきや意味無いですやん

皆が皆理想だけで飯食つていける訳じゃないし

188：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

癪に障るが尤もなのが更に腹立たしい

190：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

陛下もそれは判ってるんだらうけどな

それでも非情になれないからこそその理想論な訳で

191：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

斬り捨てられる程非情になれないが

かといって全部を掬いきる程の力は無いと

192：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72  
ID：  
0ma@8s|d

いくら陛下といえど一人でやれる事には流石に限界があるだろ

より多くを望むのであれば誰かの手は絶対必要になるだろ

195：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72  
ID：  
0ma@8s|d

不可抗力なのは判ってるが今回ばかりは主の状態を恨まざるを得ない

196：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72  
ID：  
0ma@8s|d

>>195

元を辿れば間違いなく我々が原因だけだな

197：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72  
ID：  
0ma@8s|d

守護騎士の召喚どころか自発的な運用さえままならないとか前代未聞

198：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72  
ID：  
0ma@8s|d

いくら資質があっても赤ん坊に管制なんてできる筈ないだろ

200 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

でも一応年齢的には10代いつてるんだぜ？

成長してないだけで

201 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

ピノ子みたいなもんか

202 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

残念ながらこの世界に神の手はいないけどな

203 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

まあ普通に考えれば負荷に耐えられる筈もないからな

204 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

むしろ陛下のアレさえも我々の所為ではないかと心配してしまう

205 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0 m a @ 8 s | d

流石にそこまでいくと冗談でも笑えん

2 0 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

完全に否定しきれないから余計にな

2 0 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

早すぎたんだ……色々と……

2 1 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

まあいつまでもそう暗い話ばかりしてもしやーないべ

我々が愚痴れば世界が好転する訳じゃないんだから

2 1 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

そりやそうだが

2 1 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

つか外は実際のところどうなったんのよ

213 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

世紀末

214 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

>>213

まさしくこの一言に尽きるな

215 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

世紀どころか世界そのものが終わっちゃまいそうだけどな

218 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

まあとりあえずゆりかごからの撤退命令が出たつばい

219 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

もう崩壊は止められないって事か

220 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

そもそもゆりかごだって封印に特化してた訳じゃないし

221 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

仮に専門家を連れてきた所で、あの規模じゃ匙投げられるだけだとは思うが

224 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

我々が出張って何とかできんの？

この際非難を覚悟で主を犠牲にしても良いから

225 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

今回ばかりは良心が痛むが、最悪何かしらの犠牲は必要なんだよな

229 : 管制人格 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0ma@  
 8s|d

何やらKAKUGOなさっているようですが残念ながら無理です

我々が有する現状打開の手段はなんてのは

「ベルカもろとも無かった事にする」ぐらいのもので

230 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

それはアカンテ

231 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

本末転倒じゃないですかーやだー

233 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

まあそもそも元凶が星の中心に寄生しちまつてるからな

我々じゃなくても無理ゲだろ

234 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

元々は某悪魔ガンダムみたいな用途だったんだよなアレ

235 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

だからといってこの末路を納得する理由にはならんけどな

239 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

結局打つ手は何も無いのね

240 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

それこそゆりかごでを盾にするぐらいしか無いだろ実際

241 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

次元世界最強の戦艦も最後は時間稼ぎの捨て石か

悲しいものだな

242 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

まあ仮に戦艦そのものが原型留めていても中の人がねえ……

243 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

熱々の茶碗蒸し+吸えば一瞬でお陀仏な濃度の魔力+ダイソン級の竜巻だから

な



これで生き残ったらそれこそ人間じゃねえ

244 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

そらそうだろうて

どれ程強かろうとあくまでも陛下は女の子なんだから

245 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

そんな簡単な事も判っていない連中が多すぎて困る

248 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

それでなくとも帰る気は最初から無かったんだらうけどな

鎧に仕込んでた術式的にも

249 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

命運は祖国と共につてか

250 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

残される者はたまったもんじやない

251：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

結局止める事ができなかったクラウド君の無念は推して測るべし

252：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

あれも愛故の行いだろ。時代が悪かったとしか言いようがない

253：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

すれ違つてる訳じやないもんな。何よりも深いが為のジレンマか

254：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

言い方は悪いが一生ものの傷にはなるんだろうな残念だけど

255：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

「生きててもしょうがない」ってなつちやうよなやつぱり

例えそれが最期の願いであつたとしても

256 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

全力を尽くした結果だけに余計悔しいだろ

それこそ自分を呪っても可笑しくない

258 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

まああの二人なら来世かどっかで結ばれそうな気もするけどな

259 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

来世どころか輪廻さえもぶつちぎつちまいそうだが

260 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

>>259

そういうのなら大歓迎さね

262 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

国とは人。彼が志と共に生き残れば、いつか必ずベルカは再建される

263 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

とりあえずベルカの争乱は終結するだろうな

その点で考えりや陛下の願いは叶ったと言えなくもないが

264 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

>>>263

「聖王」としての願いはな。「オリヴィエ」としての願いは叶わなかったが

265 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

こんな時代じゃしようがないさ

266 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

随分と息苦しい時代だこと

270 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

ともあれ今後はやっぱミッドが次元世界の中心になっていくんかね

271:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:  
 0ma@8s|d

それが妥当だろうな

272:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

こんな有様のベルカと違って早々に国を纏め始めてたからな

まあ向こうは向こうでひと悶着あったみたいだが

273:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

そもそも纏まろうとする動きが殆ど見られなかったベルカに死角はなかった

276:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

結局は悶着起こせる人材が居るか居ないかの差か

277:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

つか今更だがあの革新派のリーダー三人が後々脳みそになるのか?

280:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎) 88:91:72 ID:

0 m a @ 8 s | d

&gt;&gt;&gt;277

考えもしなかったが辻褄は合いそうな気がしないでもないな

2 8 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

ベルカの崩壊もミッドの反映も史実というか原作の設定に忠実なものな

2 8 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

全ては脚本通りという訳か

2 8 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

計画通りつ……!! (A A 略)

2 8 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

むしろ今の現実があつてこそその歴史だろ

2 9 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

鶏と卵談義はもういいよ

少なくともミッド主導なのはほぼ確実な訳だし

292：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

まあだからといって円滑に進むとは思えんけどな

一部不満に思う奴も出てくるだろ。残党とか残党とか残党とか

293：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

>>>292

全部ベルカじゃねーか

294：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

まあベルカ以外の国で特に反発する理由も無いだろうからな

疲弊しきつてる小国にとっては特に

295：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

そのベルカも今はそれどころじゃないしな

反発だって小規模にならざるを得まい

299：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

何にせよベルカはここで全部リセットされるがな

300：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

次の主はどうなるのやら

301：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

それ以前にベルカがどうなっちまうのやら

302：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

一応細々とは生き残るんだよな

そうでもなきや聖王教会なんてのは生まれない訳だし

303：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

国民総難民だがな



305：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

生きてるだけましだろ

それでもなきやあんまりだ

306：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

が  
 原作時間軸で王族だ何だが表立っていないのはこういう事だったんだな今更だ

307：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

まあ見方を変えりや立派という訳なのか？

308：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

上に立つ者の責務ってか

一部納得してない連中もいたけどな

312：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

>>308

まあ彼らの言い分も判らない事はないですよん

いくら「国は人」とは言っても血だなんだは社会的には重い訳だし

313:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

着の身着のままじゃ持ち出せるのにも限りがあるしな

真面目に失伝させるには惜しいのもあるし

314:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

何も命が惜しいだけじゃないだろ

あつちもあつちで非情な決断を強いられてる筈

315:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

つまりはリアリストか

316:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

6t

317 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

>>316

そりやテロリストだ

322 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

まあ彼らの努力がどれだけ実るのかも判らんけどな

どの道今後世界の中心になるのは血統じゃなくてゼーレもどきな訳だし

323 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

板つきれじゃなくて脳みそそのまんまだけどな

324 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

その内大泥棒か誰かに爆破されちまいそうだな

328 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

俺にはそこまで執念燃やす気持ちもいまいち判らんな

肉体が無きや人生楽しく無いだろ

3 2 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

世界の為に尽くしてゆく事が何よりの楽しみなんじゃないの？

3 3 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

脳みそになつてまで つて一見凄そうに思えるけど

実際は後を託せる人間を見つけられなかったつて事なんだよね

3 3 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

或いは只の独りよがりだもんな

そう考えるとやっぱ支持できんわ

3 3 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

何の使命も仕事も無い我々が言っても虚しいだけだな

3 3 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

気付いたら新入りが上司になってた件

335：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎）

88：91：72 ID：

0ma@8s|d

>>334

君には土下座という最高の仕事があるじゃないか

336：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎）

88：91：72 ID：

0ma@8s|d

でもあれって結局自分の尻ぬぐいだけですやん

337：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎）

88：91：72 ID：

0ma@8s|d

マジで何のために会社に来てるのか判らん

338：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎）

88：91：72 ID：

0ma@8s|d

明日を生きる為に今日喰わなきゃならないんだよ！

339：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎）

88：91：72 ID：

0ma@8s|d

>>338

脳みそだけになればその必要も無くなるよやったね

340：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

意識：ゆつくりタヒね

341：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

むしろ今すぐ（ry

344：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

こ、この世に必要な存在カードなんて無いんだぞ……（震え声）

345：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

>>>344

お前モリンフェン見てもそんな事言えんの？

346：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s—d

>>>345

貴様こそ我らがモリンフエン様による圧倒的ビートダウンを前にそんな戯言を吐けるのか

347：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
0ma@8s|d

モリンフエン抜けばデツキ圧縮に繋がるんじゃないかな？（提案）

348：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
0ma@8s|d

何のすれだよこれ

350：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
0ma@8s|d

つか脳みそ云々の前に我々の肉体って何で構成されてんのよ

351：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
0ma@8s|d

>>350

子どもの小遣いで賄える素材

354：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：  
0ma@8s|d

>>>350

こしあん

355：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

奴の中身は粒あんだぞ

356：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

マジでか。初めて知ったわ

357：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

一度くらい職人達が本気の一品を再現してくれないものか

358：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

誰一人として不味いと言った事の無い絶品らしいからな

359：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

今の世の中じゃバイク乗り並みにロンリーになっちまいそうだけどな



360 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 0ma@8s|d ID :

愛と勇気だけじゃ生きてゆけない世の中か

361 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

何のために生まれてきたのやら

362 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

>>>350

確か魔力を物質化してどうたらじゃなかったっけ？

だから我々だけならリアル無限拳も再現可能だった筈

363 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

非常にキモイ光景にはなるだろうけどな

364 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

無限拳とか陛下の疑似再現だけで十分だろ

368：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

まあそんなだから調整しなけりや老化も起きないんだよな  
 常に新品に更新されてるようなもんだし

369：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

全部計算してプログラミングしなけりや経年劣化も起きないとか面倒だな  
 それだって守護騎士限定だし

370：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

造られた目的を考えりや当然だろ  
 むしろ騎士達だけでも疑似的に歳取らせられるなら幸いだ

371：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

それこそが自然の摂理よ

まあ一時期は不死兵士上等な感じだったけど

375：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：

0 m a @ 8 s | d

不死武士と言えばイクスタんはどうしたんよ

3 7 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

K O M A G I R E にして封印して恒星にシウウウーツ!! したから今度こそ大

丈夫だろ

3 7 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

文面にすると色々アレだな

実際はもつと酷かったが

3 7 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

モザイクどころじゃ済まされない

3 8 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

つかあれだけやって無駄だったらもう何しても無理だろ

3 8 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

本当にいい加減アルハザードの連中は自重を覚えるべき

3 8 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

いつそ笑えるぐらい冗談じゃないロマン兵器ばかり出してくるからな

もしかして連中も我々と同じような奴なんじゃね？

3 8 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

つまりこのカオスを観測してm9(ハハ)してる訳か

3 8 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

なにそれうざい

3 8 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

馬鹿どもに力を与えた結果がこれかよ

3 9 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

少なくとも一線を越えていないだけ我々の方がまし

……と言いたいのがこつちもこつちで大概なものな

392 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

見捨てた命は数知れず

393 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

見捨てるだけならまだしも進んで手を掛けた事だつてあるものな

幸いにもそれで喜んだ事は一度も無いが

394 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

まあある意味必要に迫られての事だしな

それでも自分達を優先させた事に変わりないが

396 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

我々に限った事じゃないが人間は神じゃねーんだ

自分の事も満足にできない奴が他者なんて救えるかよ

397 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 0ma@8s|d ID :

我々が言っても言い訳にしか聞こえんのが悲しいかな

398 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 0ma@8s|d ID :

実際言い訳ですしおすし

400 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

かといつてここまで来ちまった以上後戻りなんてできないさ

不確定でも未来に賭ける他無い

401 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

今の我々が一体何をベットできるといふのか

402 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

まがいものな命の炎に賭け金の価値無し

405 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0 m a @ 8 s | d

つか今更だがこんな状態になっても我々はまだ「人間」なのかね？

4 0 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

そろそっだろ

つか逆にどんな状態になっても人間は人間以外の何物にはなれんのさ

4 0 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

神も光も人間だもの

だからこそ人間を助けてくれるし、最後まで諦めないでいてくれる

4 1 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

なら我々は何を信じれば良いのやら

4 1 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

処女厨の馬野郎でも信じてみるか？

4 1 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

別に間違つてはいないんだよな

言い方がこの上無く悪意に満ちてるだけで

4 1 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

やべえエピソード7のDVD予約すんの忘れてた

4 1 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

何を今更

4 1 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

本当に今更だな

4 1 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

とりあえず現代まで辿りつけたら予約でもしとけ

俺は劇場で見たから良いけど

4 1 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :



0 m a @ 8 s | d

その金は一体何処から出るんだよ

4 1 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

髭ダンディなおじさまのポケットからじゃね?

4 2 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

清々しいまでのパラサイトっぷりだな

4 2 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

まあ現在進行形で寄生してる連中ですし

4 2 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

皆案外呑気なんだな

4 2 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2

I D :

0 m a @ 8 s | d

まあ基本蚊帳の外だもんな。主があんなだし

428：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

そういうや戦況の方はどうなのよ

戦況って呼べる程のものじゃないとは思うが

430：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

ゆりかごが蓋になつてるような感じなんかね

少なくとも住人の避難はまだ終わって無いと思われ

431：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

このペースだと確実に避難が終わる前に陛下が力尽きるだろ

432：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

俺達にも何かできないものか

433：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

もう何度目かも判らんが主の状態をお忘れか？

435 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

仮に我々が単独で叩き起こしてもそれってつまり暴走だからな

余計に陛下の時間を増やすだけだ

436 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

手間じゃ済まないだろこの状況じゃ

437 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

今の我々にできる最大の貢献はこのまま大人しくしてる事なんだろうな

438 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

もうどうにもできんのは判ったからせめてどうにかなってくれんか

439 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0ma@8s|d

安定の人任せ

440 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72  
 ID :

0 m a @ 8 s | d

ん？何か動きあった？

4 4 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

やにわに通信回線が混雑しはじめたな

4 4 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

アレって離脱してた戦艦とかじゃね？

今更何があつたんだ

4 4 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

なんか他にもちらほら見た事あるやつが出てきたな

ゆりかごの方に向かつてるっぽいし

4 4 7 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

おいおい何か騎士達が生身でゆりかごに取り付き始めたぞ

4 4 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

何のアニメだよこれ

4 4 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

あれか、逆シヤア的なノリか

4 5 0 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

一つ違うのはMSより遥かに脆いって事だけだな

4 5 1 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

この魔力じゃゴレムだって数分と持たないだろ

4 5 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

既に何人かミンチよりも酷え状態になってるが

4 5 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

それでも一人として離れようとしないな

456：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

連中正気か？

何の為に陛下が単騎掛けしたと思ってるんだよ

457：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

ある意味最高の反逆ではあるけどな

458：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

これがベルカの騎士の意地か

460：管制人格：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：0ma@  
 8s|d

速報

真流ベルカ連合の戦艦が来た。しかも戦艦そのものでゆりかごを抑えようとし  
 てるっばい

461：世紀末名無し伝説：3891/13/53（炎） 88：91：72 ID：  
 0ma@8s|d

m j d k

4 6 2 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

ブライトさんのあれを実行する輩がいるとは……

4 6 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

連中確か散々陛下の事軟弱者だなんだで罵ってなかつたつけ？

4 6 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

まだ国が安定してる時から早々に袂を分けてたしな

4 6 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

それなのにこの状況で救援に来るのか

4 6 6 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

かつての敵が助けに来るとかますます少年誌っぽい展開だな

4 7 0 : 管制人格 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎) 8 8 : 9 1 : 7 2 I D : 0 m a @

8  
s  
|  
d

通信傍受。中々に愉快な事になってるけど聞く？

471:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎)

88:91:72  
I  
D  
:0  
m  
a  
@  
8  
s  
|  
d

キボン

472:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎)

88:91:72  
I  
D  
:0  
m  
a  
@  
8  
s  
|  
d

はよ

473:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎)

88:91:72  
I  
D  
:0  
m  
a  
@  
8  
s  
|  
d

繋いでくれやす

480:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎)

88:91:72  
I  
D  
:0  
m  
a  
@  
8  
s  
|  
d

こwwwれwwwはwww

481:世紀末名無し伝説:3891/13/53(炎)

88:91:72  
I  
D  
:0  
m  
a  
@  
8  
s  
|  
d

なんというツンデレwww



482:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

まさかのデレ期到来www

484:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

あの厳ついおっさんのデレとかwww

485:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

ツンデレの極みを見た

486:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

これ自分で言ってる恥ずかしくないのかね

487:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

でも少しだけ連中の事見直したくなるわ

488:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎) 88:91:72 ID:

0ma@8s|d

おうおう陛下を泣かせやがって畜生

489 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

これが人の心のどうたらかね

490 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

しかし悪くない

492 : 管制人格 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0ma@

8s|d

悲報

シユベルトベルカ轟沈

493 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

Oh.....

494 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

マジか.....

495 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

確かにゆりかごと比べりや脆いのかもしれないが真つ二つとか……

497 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

断末魔がえげつねえ

499 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

流石に耐えきれなかったのか

500 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :  
 0ma@8s|d

そろそろ本格的にヤバくなってきたな

避難状況はどんな感じよ

501 : 管制人格 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID : 0ma@  
 8s|d

既に殆どかんry

502 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0 m a @ 8 s | d

今巻き込まれたの避難船か

5 0 3 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

むごすぎる……

5 0 4 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

なんとという地獄絵図

5 0 5 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

答え③ 現実是非情である

5 0 8 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

魔力嵐が酷くなってきたな

なんかブラックホールみたいなのもできてるし

5 0 9 : 世紀末名無し伝説 : 3 8 9 1 / 1 3 / 5 3 (炎)

8 8 : 9 1 : 7 2 I D :

0 m a @ 8 s | d

いよいよ永遠にGOOD☆NIGHTって訳か

511:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎)

88:91:72 ID:

0ma@8s|d

折角だし最期まで見届けようぜ

どの道もう離脱もできない訳だし

512:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎)

88:91:72 ID:

0ma@8s|d

だな

513:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎)

88:91:72 ID:

0ma@8s|d

こんなのを後何回繰り返し返せば良いのやら

514:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎)

88:91:72 ID:

0ma@8s|d

流石に辟易してきたよな

515:世紀末名無し伝説:3891/13/53 (炎)

88:91:72 ID:

0ma@8s|d

とりあえず大規模な戦乱はもう暫く無いだろうな

それをやる人間がいなくなっちゃった訳だし

516：世紀末名無し伝説：3891/13/53 (炎) 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

>>>515

残念だが人類が滅びでもしない限り戦争の歴史は何度だって繰り返されるんだ  
ぜ？

517：世紀末名無し伝説：3891/13/53 (炎) 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

人類が滅びるか、戦いを止めるか

518：世紀末名無し伝説：3891/13/53 (炎) 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

戦いによって人類が滅びるに一票

519：世紀末名無し伝説：3891/13/53 (炎) 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

こんなの賭けとして成り立たないだろ

520：世紀末名無し伝説：3891/13/53 (炎) 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

全くだ

522 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

まあそういうつまでも腐っていてもしょうがないさ

少なくとも陛下の願いは最後に一つ叶ったんだし、もしかしたら

この先何か良い事があるかもしれん

523 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

そうとも。もし無くても我々が盛り上げてゆけば良いだけだ

525 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

随分と元気だなおまいら

526 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

空元気だろ

527 : 世紀末名無し伝説 : 3891 / 13 / 53 (炎) 88 : 91 : 72 ID :

0ma@8s|d

それでも我々にできる事から始めていこうではないか

例えばそれがどれ程ちっぽけでもいつかきつと実を結ぶと信じて

528：世紀末名無し伝説：3891／13／53（炎） 88：91：72 ID：

0ma@8s|d

だと良いけどな

◇◇◇

——声が消えてゆく

怒号が、悲鳴が、断末魔が。老若男女多種多様の、ありとあらゆる「声」が、その最期の瞬きさえ許されずに、暗黒の世界へと散ってゆく。そして、その全てが自身の耳へと飛び込んでくる。

耳を塞いでも、例え削ぎ落したとしても変わらないだろう。およそ考え得るこの世の全ての絶望を混ぜ合わせたそれは、私の頭の中で直接鳴り響いているのだから。

嘗ては自身の誇りでもあった二つの能力ちからが一角も、今この場においては比類なき拷問器具にも同義。もしこれを「罰」と言うのなら、あまりにも惨すぎる。身勝手であるとは判つていても、そう思わずにはいられない程の苦痛なのだ。



もしあの方の事が無ければ、それこそ自刃して逃避でもしていた事だろう。この様な物言いをする事自体が何よりも不敬であるのは十分承知してはいるが、それが楔であり、同時に抛り所であつたのもまた事実。あの方の、陛下の背負われているものと比べれば、頭蓋を貫くこの痛みさえも可愛いものとなる程に、この国は悲惨な状況に置かれていたのだから。

果たして、明確な契機などあつたのだろうか。思うに、そんなものは始めから存在しなかつたとさえ感じられる。自身もまたその一員であるにも関わらずの言い方は奇妙であり滑稽でもあるが、自らが鍛え上げた刃によつて滅びるといふのは、如何にもなべルカらしい最期ではないだろうか。

元来知よりも武を好むような民族であり、陛下のように平穩を望むような性質の方が少数派であつたのだ。そんな血氣溢れる者達が、いくら眼前に共通の敵が存在していたとはいえ、そういつまでも手を取り合つていられる筈も無い。戦士としての闘争心、王としての野心は、戦いを本分とする騎士にとつては誉れにも等しい角であつても、力無き者にとつては何よりも恐ろしい棘に同じ。それでなくとも、劍を握る腕で人は抱きしめられないのだ。一度武器を取つてしまえば、もうその手を掴む事はできないのだ。ならばこそ、戦乱の果てに反発しあい、同胞の血で故国を濡らす事になつたのもまた必然

なのかもしれない。

確かに、その様な状況においても民を想い、また自らにさえ刃を向けてくる嘗ての……否、あの方にとっては永遠に変わり無き同胞達さえも慈しみ、愚直にも平和を望むその姿は尊く美しいものであるだろう。だからこそ、それに心打たれた自分達はこうして付き従っているのだから。

だが、冷淡な言い方にはなるが、例えそれがどれ程美德であろうとも、実らなければ人々の心は掴めない。心の内で満足しているだけでは、身勝手なる独りよがりとなんら変わり無い。そして、如何に陛下が武と人格に優れていようと、彼女一人きりで国は成り立たず、それだけでは“理想”は“現実”に成り得ない。理想は幻想と消え、被った紅はそのまま自身を縛る鎖となる。

勿論、その程度の事も判らない陛下では無い。だが、それでも戦うしかないのだ。自身を慕う者が、守るべき／守らなくてはならない者が居る限り、その手を血で染め続けるしかないのだ。

嗚呼、どうして世界はこうも矛盾に満ちているのか。どうして、誰よりも優しき心を持った人間が苦しまねばならないのか。どうして、それを知る我々には何もできないのか。それとも、これこそが運命だとも言うのだろうか。血で大河を潤し、骸で大地を

肥やしてきた我々ベルカが背負うべき罪だとも言うのか。

だとしたら、そうであるのなら——あまりにも理不尽すぎる。

何故あの方が……あの子がそれを全て背負わねばならないのか。一人の子として語らう事も、一人の姉として妹に微笑む事も、一人の少女として恋し愛する事も許されず、剩生まれながらに背負う枷に加え、更なる重責を強いられなければならないのか。

いつそ捨ててしまえば、全てを投げ出してしまえば楽になれただろう。だが、そんな事は所詮夢物語だ。それは、自分自身が何よりも理解している。あの子は全てを背負いこもうとする性格であるし、生まれながらに王である彼女が、例え望まずして負ったものであっても、途中で投げ出す筈も無い。そんな事は、私が誰よりも理解している。理解していても、そう思わずにはいられない。

しかし、それも全て終わる。終わってしまった。皆が尽くしてきた努力も、積み上げられてきた犠牲も、その全てが水泡に帰す。今日この日、ベルカは終焉を迎えるのだ。今となつては嫌悪と憎悪しか湧かないこの身最大の能力が、確固たるその終幕<sup>フィナーレ</sup>を映し出しているのだから。

正直に言おう、もし許されるのなら、衝動に任せられるのであれば……私は全てを呪いたかった。誉れを受けたばかりに絶望へと沈められる子と、呪いを受けたが為に絶望

さえ理解できぬままに消えゆく子。そんな中で、一体何を信じれば良いのか。誰に祈るというのだろうか。

——だが、私はそれを選ばない。自身に残された理性が、人間としての心が、絶望へ沈む事を拒み、最後の瞬間まで「信じ続けたい」と願っている。この能力が最後に垣間見みせ、しかし今の自分ではもうその意味を理解する事さえできなくなってしまうたその未来を。

だから、せめて最期に祈ろう。立場も役割も、その全てを投げ打ち、唯純粹にその幸福を願おう。永き輪廻の果てに、愛する者達が天空へ羽ばたいてゆける事を夢見よう。

確かに、全てを負いながらも一方的に捨てるのは身勝手かもしれない。だが、親が子の幸せを願って何が悪いのか。人が未来を求めて何が可笑しいというのか——

## I f f ルート：それは まぎれもなく 奴さ

“最期”を迎えるその瞬間において、果たして人は何を思うのだろうか。

命の灯が渾身の輝きを見せる刹那に、その胸へと湧き上がるのは一体何なのか。その瞳は、何を映すのか。

本能が見せる「死」への恐怖か、理性が描き出す走馬灯か。はたまた、一切が無へと帰す事への嘆きか、受け継がれるであろう次代へと託す祈りか。

億の人間に対し兆の可能性。無限大にも近い解答を有するその問いを、主観に塗れた一個人の感性だけで導き出そうとするのはあまりにも無謀であるし、あまつさえその不完全な足場のみを頼りに“真実”へ辿り着かんとするなど、到底叶わぬ夢物語だろう。有史以来数えきれぬ程の求道者達が挑み、同じ数だけ敗者を積み重ねてきた理の壁は、それ程までに高く険しいのである。

だが少なくとも、今この場において正にその瞬間を迎えんとしていた当事者たる少女——バマミの心を占めていたのは、前例の何れにも当てはまらないものであった。

牙を剥いて迫りくる死への怖れでも、それを招く事となった自身の油断・詰め甘さ

に對する悔恨でも、はたまたこの場に残される事になるであろう後輩達を氣遣う心でもない。

ならば、断末のその瞬間、彼女は一体何を思ったというのか。

——何ということはない、その解は「無」という、何よりも難かんたんいものであった。

より詳しく正確に述べるとすれば、「何も抱けない」という言い方が近いだろうか。どこまでも残酷で無慈悲なこの世界においては、無知なる弱者には走馬灯さえ許されないのだ。

弱肉強食 食物連鎖 自然の摂理

遍く世界へ確立しているそのピラミッドにおいて、一見して頂点へと君臨しているように見えていた人間も、今この場——歪んだ法だけが世界を回す結界の内においては、「魔女」という強者へと捧げられた餌以外の価値を有さない。その欲望ほらを満たす為だけに存在する弱者えものに、どうして思考などという贅肉が必要だろうか。

人外の業を行使する魔女と渡り合う彼女達は生身の人間ではないが、かといって不死不滅の戦士という訳でもなし。魂を宿す核たるソウルジェムが失われてしまえば、後に残るのは中身を亡くした物言わぬ軀のみ。そして、髪飾りとして配されていた彼女のそれは、今更に本性を露わとした化物の顎門によって碎かれんとしていた。

そして繰り返しにはなるが、世界はどこまでも残酷であり、誰よりも冷酷なのである。

これまで多くの命を擲つてきた彼女を、救い手であつた少女を救える者は此処にはおらず、そも彼女達に戦う力を与えた張本人さえもが、その滅びを是としている。ならば、それこそが必然であり、世界が弾きだした答えなのだろう。たかが一人間では抗う事さえ許されぬ真理であり、この世の全てが欲した運命さだめなのだろう。

何より、その「悲劇」という形こそが、造物主つくりてが意図し、演出を凝らし、聴衆から寄せられる期待へと応えるべく用意したあるべき姿なのだ。

無残なる最期によつて物語は次の段階へと進み、観衆は一瞬の感情に興奮を覚える。彼女に与えられた役割は土台であり贅、それこそが脚本。始めから死すべき存在に對し、何故同情心を抱ける事があるうか。一時の戯れに對し、何を真剣になる事があるだろうか。ハンカチを濡らしながらも次への期待に胸を膨らませるのが紳士の嗜みであり、この場における「正しい」対応なのである。

だが、それを良しとしない者達がいた。同じ神の視点を有しながらも、たかが一創造物にんぎょうでしかない彼女達に魅せられ、悲劇という名の台本を嘆き、その身を捧げても運命を打ち破らんと願う愚か者達が、確かに存在していた。

そして、その想いは。執念にさえ引けを取らぬ純情は、時に次元を、境界を、世界さえも越えて運ばれる。否、運び届けられる。

もう幻想なのではないのだ。壁を隔てた、しかし確かに存在している世界なのだ。助けられる力と、届けられる想いとが結実した今、どうしてそれを躊躇う必要があるだろうか。

「アミン……さん……？」

「え、何？ 何が起きたの？」

然らば、迷い込んだその異邦者も。どこからともなく颯爽と現れた黒衣の騎士もまた、この場においては在るべくして在る者なのだろう。

稲津の様に激しく 嵐の雄々しく 一迅の疾風となりて その剣を振わん

一閃、また一閃、更に一閃。

虚空に描かれた軌跡が「Z」となって闇を切り裂き、幼気な少女へその牙を尽きたてんとしていた不作家者を地に沈める。

その瞬間に立ち会った誰もが、鮮やかなる剣劇に、華麗なる身のこなしに、思わず目を奪われた。その存在感たるや、未だ魔女討伐という荒事に耐性／経験も無い二人の見物人は勿論の事、ある程度の、そして一通りの絶望を乗り越えてきた当事者たる少女でさえも呆気にとられる程に圧倒的であり——どこまでも頼もしく見えるものであった。



夜よりも深き漆のマントが内で煌めくは、真なる「悪」を断つ銀の剣。雪のような長髪に鍔広の帽子をあしらひ、紅玉の瞳を闇色の覆面マスクでひた隠す。

絵本の中よりそのまま飛び出してきたかのようなその姿は、しかし容姿だけでなく、まるでこの世界が本当にお伽噺の舞台であるかのように、あらゆる危機を、困難を、絶望を打ち砕いてくれるという期待、言葉では言い表せぬ「安心」を纏っていた。

例え無数の悪意が押し寄せ、底無しの深淵が引きずり込まんと襲いかかつてきたとしても、その全てを蹴散らし、必ず助けしてくれる。そう確信させる程の「何か」を、黒の麗人は有していた。

事情も状況も呑み込めぬまま、唯々最前列の更にその前で観た救出劇の余韻こうふんに酔いしれる少女二人であったが、劇的なまでのそれを成し得た当の本人はというと、戦果を誇るでもひけらかすでもなく、懐より取り出した古めかしい短銃を物言わぬ残骸へと一撃。いつそ無慈悲にさえ思えるその引導により、お菓子の魔女・Charlotteは今度こそ完全に沈黙した。

主たる魔女を失った偽りの楽園かに残されている末路は、脆く儂く崩れ去るのみ。空間が歪み、非日常が日常へと回帰してゆく中で残されるのは、確かなる奇跡の残照と、魔女を討伐した証たる濁色の宝玉。そして、斜陽を受けて鈍く輝くそれこそ、うら若き少

女達が苛烈な戦いに身を投じてまで求める／求めざるを得ないもの。一時の救済を約束する恵みであり、同時に諸悪の根源とも言える禁断の果実——グリーンフシード。

奇跡の売り人たるキュウベエとの契約により、その道へと進んだ者であれば通らざるを得ない苦難であり、魂を縛られた少女達が抛り所とする最後の希望。彼女達と同じ神秘を操る者であれば、望まざるに因わらず巻き込まれる因果の中心。

だが、黒衣の騎士は自身が成したその戦果には目もくれず、あまつさえ強大な力を有していた難敵まじよの討伐さえもが「ついで」であるかのように感慨もなく、宝物の横をただより力無く座りこんでいた少女の下へ膝を突くと、何時の間にか外れていた可愛らしい帽子をかぶせ直しながら微笑みかけた。

かつては冷たき光を灯していたその瞳に、何よりも温かい優しさを湛えて。

「怪我はありませんか？ セニヨリータ お嬢さん」



何故にと問う 理由わけなど要らぬと告げる

誰が為にと問う 君が為と嘯く

眼前にて振るわれた剣は何よりも苛烈であり、しかし差し込まれたその手は誰よりも温かい。

その姿に、強さと優しさを兼ね備えた存在に、もしかしたら、今は亡き両親の姿を重ねていたのかもしれない。

気付けば、少女の目には涙が滲んでいた。これまで意図せずして封じてきたそれが、今になって解けた理由。それは、生命の危機に、そして未知なる存在に対して抱く根源的な「恐怖」に近いものだろうか。これまで数多の戦いを潜り抜けてきたとはいえ、彼女も未だ子ども。自身の生命を後一步の所まで脅かした存在に對し恐れを抱く事も、別段可笑しな話という訳ではないだろう。が、一応は覚悟を決めていた道ではあるし、何より人間とは現金なもの。ひとまずの安全が確保されたとあっては、彼女のように「恥」の意識が先行し、思わず顔を伏せてしまうのもまた自然な事かもしれない。

しかし、そんな彼女に対して騎士は、嘲笑う事も呆れる事もなく、黙したまま純白のハンカチをそつと差し出した。

「……怖かっただろう、辛かっただろう。

一人で全て背負ってきたのだ。その感情も当然の事のものだ。

——けど、もう大丈夫だ。もう、何も怖くは無いから」

その言葉に、一押しに、最後の鎖が解かれてゆく。

決壊した少女の涙を、騎士はそっと受け止めた。大樹の様に、慈母の様に。少女が吐き出す悲しみを、溜めこんできたその痛みの全てを出しつくすまで。



「……すみません、初対面にも関わらずあんな事をしてしまつて」

「構わないさ。むしろ、私みたいな人間が胸を貸せるというのなら、それだけでも光栄な事だよ」

ひとしきり泣きやんだ後、初対面の相手、かつ後輩の前でそのような姿を晒した事との羞恥で再び顔を赤らめる少女であつたが、返された騎士の言葉に社交辞令など感じられない。

「だ、大丈夫ですかママさん。それと、え〜つと……」

「えつと、助けてくれてありがとうございます。」

その、さっきのからして貴女も……？」

そんな二人の下へと駆け付ける後輩組二人。この様な状況においても真つ先に心配を、そして謝辞を忘れないのは、ひとえに彼女達の人柄、もしくは性格に拠るものだろうか。

が、どうにもその言葉の歯切れはよろしくない。そんな少女達の思惑を察したのか、騎士は苦笑いしつつその質問へと応じた。

「似たようなものではあるが、生憎同業者という訳でもないかな。

見ての通り、「少女」と言うには少々厳しい年齢でもあるからね」

二人が抱いた疑問も、ある意味では自然なものと言えよう。覆面により仔細が判らないとはいえ、騎士の纏う雰囲気は既に完成された大人のそれであり、「頼れる先輩」の更に三步は先を行くもの。この様な言い方では良い風に聞こえるかもしれないが、要するに極一般的な常識としての「少女」へ含めるには疑問が残る。という事である。『上限』についての説明は受けていないとはいえ、「卒業」の言葉が脳裏の片隅をちらついて離れないのは、彼女達もまた一端の女性であるが故の事だろうか。

呑気とも、また危機感の欠如ともとれる彼女達の考えに対し、ともすれば義憤を抱く人も当然いるだろう。確かに、少女達のそれは自身の立場を、『当事者』の一步手前まで差し迫っている自覚というものにまるで欠けているのも事実である。

が、その危機感の無さ……或いは「罪」にさえ思える無知こそ、彼女達が未だ「普通の世界」に生きている何よりの証。確かに、戦いの世界——世の中の「裏」たるそれらを知っていれば、視野も考え方も広がる事だろう。その瞳で常人には見えぬものを捉え、決して至らぬ境地へと辿り着く事も可能となるだろう。

しかし、それは決して個人の偉へ直結する事ではないだろう。穢れなき純粹さが、尊きものである事に変わりはないのだから。

ともあれ、半ば冗談めかしたその返答によつて、少女達の内は無意識に生じていた緊張も解れたのだろう。つい先程まで心を占めていた恐怖心は一体何処へ吹き飛んだのか、やれ何処から来たのか、何時からこの様な事を始めたのか、普段は何をしているのか、等々、湧き上がる好奇心を押さえようとせず、強大なる魔獣を打ち破った騎士さえも圧倒する若さと勢いとを以て、問いにもならない質問を雨霰と浴びせ始めた。もはや、先程負いかけた心の傷の心配など無用だろう。

「……………」

だが、後輩達が織り成す喧騒の中においても唯一人、彼女——バママミだけは、未だ沈黙を保ったままであつた。

無論、死の淵に瀕するような体験をして間も無ければ、人間誰しも口の一つぐらいは重くもなるだろう。どれ程それが現実味の無い経験に扱るものであったとしても、五感に刻み込まれた感触は容易に拭えるものではない。何かと敏感な彼女達程の年頃であれば、極些細な事で一生ものの傷が残ってしまったも何ら不思議ではないだろう。

しかし、今の彼女にとってはそれも単なる杞憂でしかないのかもしれない。言葉には出ずとも、熱に浮かされた少女の瞳は、笑みを湛えた騎士を捉えて離れないのだから。

「さて、すまないがそろそろ私は行かせてもらおうよ。

名残惜しいが、まだやるべき事があるのでね」

「おー、正義の味方は多忙って事ですか」

「まあ、そういう事にさせてもらおうよ」

陽も傾き、白壁が橙に染まり始めた頃、別れの言葉を切り出した騎士。それ程長い時間が経っている訳でもないが、その前に起きた救出劇も含め、少女達にとってはこの上無く濃密な一時であつたように思えた。

「また会えるでしょうか？」

「おいおい、それじゃあもう一度危ない目に遭う事になるのだが？」

「う……それは流石に勘弁かな」

「だろ？ 正義の味方なんてのは、必要無いのが一番良いのさ」

頼れる先輩との出会いといい、不信感しかない転校生との遭遇といい、魔女に関しては何かと出会いの付き纏う二人ではあるが、だからとて何度も恐怖体験を味わいたがる程に物好きでもない。

そんな情景を想像し思わず身震いする二人を見て安心した様子の騎士は、やにわに指笛を一吹き。

すると、何処からともなく軽快な音を引き連れて一頭の馬が現れた。この時代、この場所において現実の馬、と驚く二人を尻目に颯爽と跨る騎士の姿は、先程の活躍といい随分と絵になるものであった。

と、いよいよ騎士が去り支度を済ませたところで、これまで口を噤んできたママがおずおずと声を掛けた。

「あ、あの……さ、先程は助けてくれ……助けて戴きありがとうございます」

「なに、当然の事をしたまでさ」

「そ、それで……その……どういった立場であるかは存じませんが、

よろしければお名前だけでも聞かせて戴けないでしょうか」



名前を聞く　ただそれだけの事であれば、別に驚くべき事もなかつただろう。広い世の中には、その為に相手へ光線をぶつ放すような人種も稀にいるようではあるが、この場におけるそれは、恩人に対しての礼と共にある自然な流れの一部。なんら問題もない。

だが、強大な魔物を相手取つて尚優雅に立ち回る度胸と優雅さを兼ね備えていた先輩が、未だ合つて間もないとはいえ、何時でも頼りになるお姉さん　といった印象の強かつた少女が、まるで恋する乙女のように姿を見せつけてくれば、度重なる非日常で耐性が付いたと考えていた少女達の度肝とて容易に貫かれるものだろう。

平時であれば（先輩でも容赦せず）冷やかしの一つでも入れたくなるものだが、もはやそんな気さえも起こさせぬ程に彼女の瞳は真つ直ぐであり、いつそ外野の存在を忘れてしまつていふ切つ切つても問題無いぐらいに、今のマミは乙女ヒロインであつた。

「名乗るほどの者でもないが……」

……そうだな、火消しの風——ウインドとでも呼んでくれば良いさ。

では、そろそろ失礼させてもらうよ。アディオス！」

帽子を目深に被り直しつゝ、果たして少女の求めに応じたのかも判らぬ騎士は、そうして少女達の前から去つていつた。

「行っちゃった……なんというか、最初から最後まで風みたいな人でしたね」  
「……」

驚きと感謝と、その他諸々の感情を浮かべながらも、少女達はその地平の先を眺め続ける。できるのならばもう少し言葉を交わし、親交を深めてゆきたかった彼女達ではあるが、立場故にそれが叶わぬ身である事は、この世界を知って間もない二人にも良く判っていた。それは、今日の様な事に遭えば尚更だろう。少なくとも、この世の中には未だ「正義の味方」の助けを必要としている人間が、自分達以外にも存在しているのだから。

とはいえ、頭では理解していても寂しいものに変わりはない。特に、助けられた本人が抱いているそれが一人である事は、傍観者であった二人でさえ容易に察せるもの。なまじ「二度と逢えない」という事が感じ取れてしまったのも、それに拍車を掛けていた。

「あー！ 見てください、マミさん。あれ！」

「え……!?!」

だが、例え二度とは相見える事がなくとも、今日という日の思い出が枯れ果てぬように、少女達を助けた「ヒーロー」という存在が、彼女達の心から忘れ去られる事はない

だろう。

その想いは、志は、魂は。受け継ぎ、繋いでゆく者がいる限り、決して途絶えはしない。かつて救われた者が救う者となるように、少女が親となり、その子が再び少女となり、数多の奇跡と出会いに包まれるように。

——そして、深き夜天の先に朝日が煌めくように。

「火消しの風……ウインド様……」

こうして夢のような一夜は幕を下ろし、少女は再び自分達の世界へと戻っていった。

しかし、少女達の瞳の奥へ焼きついた最後の光景——沈みゆく夕陽を背景に高々と剣を掲げた騎士の姿は、決して色あせる事はなかった。

その先の……未来の話は判らない。

だが、見滝原の町に覆面黒マントの少女の姿が見られるようになったのは、また別の話である。



時間を変えて、場所を変え。町の片隅路地の裏。光差す道の下、順風満帆に発展して

きた見滝原の街並みを一切感じさせぬ、しかし確かにその一部である暗がり。その一角を、腰程はあろう黒髪を流した少女——暁美ほむらは歩いていた。

先の騒動において、真っ先に深奥へ巻き込まれた少女・美樹さやかだけは知らなかったが、彼女もまた、病院にて発生したお菓子魔女が結界の中へと侵入していた。いたのだが、道中にて遭遇したバمامィにより足止めを受けてしまい、彼女がその拘束から逃れられたのは結界が崩壊するのとほぼ同時。結局、この戦いにおいては最後まで蚊帳の外でしかなかったのである。

「……何があったのかしらね、一体」

その後、気配を押し殺しつつバمامィの無事と未だ契約が成されていない事とを確認はした彼女ではあったが、それなりの労苦の割に得られた収穫しゅうほつはそれだけ。一応、三人の中で唯一魔女と戦う力を有しているバمامィの様子から、先の戦闘——結界の内、「何か」があったという事だけは推察できたものの、当然ながらその全てを把握できる筈も無い。

とある事情から「未来」とでも言うべきものを知る彼女ではあるが、それとて世界という大河から見ればほんの一滴でしかなく、それが真実であるという保証さえもない。まして、彼女の悲願はその未来を打ち破る事。従う気など無く、当てにできるものでも

ない。結局のところ、これ以上彼女一人で得られるものなど無いのである。

今後の計画を立てる為にも、彼女としても情報は欲しい。が、だからといって直接居合わせた3人へ尋ねる訳にもいかないのが現状。未遂に終わったからといって、好き好んで傷を抉るような趣味は無いし、何より「この世界」における彼女達への印象はお世辞にも良いものとはいえない。下手に手を出せば、最悪関係の悪化にも繋がりがねない。他の目撃者なんてものが期待できない以上、残されているのは「その場に居合わせた者の方から接触を計ってくる」という、何とも都合の良い話だけ。

「知りたいかい？ あの時、結界の奥で起きた事を」

「……!?!」

だから、本来であればその申し出——まさしくその場に居合わせたであろう「もう一人」から齎される情報は、願ってもみない事の筈なのである。

とはいえ、数えきれぬ程の戦火を潜り抜けてきた彼女の本質が、未だ女子中学生のままで止まっている以上、「諸悪の根源」を相手に感情が先走るのも自然な話なのかもしれない。

「何をしに来たのかしら、インキューバーター 孵卵器。また撃たれたいの?」

西部劇さながらの早撃ちと、容赦なく額を撃ち抜く精密さとを兼ね備えた中学生らしからぬ所業はさておき、大層な「ご挨拶」も早々、澄ました顔に嫌悪の情を隠そうともしせず、少女は「目撃者」——キウウベえへと声を掛けた。当然、未だ硝煙を吐き続ける拳銃が下される筈もない。

「……それは、撃つてから言う言葉じゃないだろうに」

哀れにも犠牲となった個体<sup>も</sup>を食みつつ、再度暗がりから現れた二体目が事もなさげにそうぼやく。本来であれば愚痴に聞こえる筈のそれも、その本性を知る少女にとっては不快極まるノイズとしか感じられない。

が、勿論彼？ とてただ的になる為に姿を現した訳ではない。あらかた残骸の処理を終えたキウウベえは、見目相応の可愛らしいげつぶと終えて漸く本題へと入った。

「僕だって、無駄な損耗をするつもりはないさ。まあ、現実はこの通りだけどね。

ただ、「彼女」がどうしても と言うから、それに応じただけさ」

「彼女……？」

と、そこへまたしても影より出でる影。驚くべきは、キウウベえの出現により警戒の度合を引き上げていたほむらの感覚でさえその出現を捉えられなかった事だろうか。

綺麗事では済まされない荒事へと身を投じている以上、そんな事をされれば誰だつて身を強張らせる。にも関わらずその影は、指一本で容易に命を奪えるその凶器を前にしても、なんら動じる様子を見せなかつた。

「彼……で良いのかな？ とにかく、キュウベえの言う通り、案内を頼んだのは私だよ」

「貴女は……」

「初めまして、お嬢さん」

未だ臨戦態勢を解かないほむらとは対称的に、その人物——火消しの風・ウインドは、笑みを湛えたまま優雅に挨拶をした。



「それを下ろして……と言うのは流石に厳しいかな？」

なら、せめて話だけでも聞いてくれるとありがたいのだが」

「……」

その手に武器を持つ少女が研ぎ澄まされたナイフならば、彼女の姿は果たして何なのだろうか。

鈍い鉄と、それ以上に冷たい視線……常人でなくとも身を竦ませたくなるそれを一身に浴びて尚、黒の騎士は柳の体を崩さず、廃材へと腰かけると、そのまま近くにいたキウウベえをひよいとつまみ上げ、そのまま膝の上で愛玩動物かのように撫で始めた。

何も知らなければ微笑ましくも見えるその光景も、唯一の見物人たる少女の目と銃口にあつては一層温度を下げるばかり。それでも平然としている騎士は、金剛石の心臓でも宿しているのか、460m/sをもものともしない剣の技量を有しているのか、はたまた鉛玉など意味が無いのか。

「……それで、どちら様かしら？」

生憎、貴女の様な知人は記憶に無いのだけれど」

何にせよ、このままでは埒が明かない。

そう判断したほむらは、ひとまずの妥協案として銃を下ろした。尤も、下ろしたのはあくまでも外見上だけの話であり、心の中の引き金へと掛けられた指は離れておらず、常に最悪の事態を想定し続ける頭脳は未だ休まる時がない。

少女が抱く「悲願」の難易度は、一分のミスも、また一時の安寧さえも許してはくれないのだ。



「先程助けたお嬢さん達にも言ったが、単なる通りすがりの『正義の味方』さ。

ああ、先に言っておくけど、君達の同業 という訳ではないよ？

御覧の通り、『少女』って年齢では無いものでね」

「そう……貴女が彼女を」

冗談が通じなかった事に残念そうな騎士はさておき、「先程の」という言葉で、ほむらは概ねの事情を飲みこんだ。

「どうやって」魔女を倒したのかは未だ判らないが、はつきり言っただけで彼女にとって手段は然程重要な事ではない。彼女自身、その能力を戦闘力へ還元すべく少なからず非合法な行い（その相手自体も灰だったり真つ黒だったりするのだが）を重ねている事もあるし、何より相手が相手なのだ。今更誰がどの様な手段を使って如何に屠ろうとも、彼女にとっては大した問題ではない。

それよりも何よりも重要なのは『結果』……終わり無き負の輪廻から、たった一人の少女を救いだすという結果のみ。その為ならば、文字通り過程や方法なぞ、少女にとつてはどうでもよいのだ。

ひとまずの疑問が解けた事により、水面下にて早速今後の……目の前の『自称』正義の味方が自身にとって益か否かの判断も含めた計画を練り始めたほむらであったが、そ

の思考はすぐさま中断されてしまった。

と言つても、それは相対する相手からの不服があつた訳ではない。むしろ、其方の方は「質問があれば好きにどうぞ」といった様子でさえある。ならば何故か？

「……先程から気になつていただけけれど、貴女はそいつが何なのか知つて居るのかしら？

確かに見た目は愛玩動物みたいかもしれないけれど、そいつはマスコットでも何でもないのでよ」

その理由は、先程の問答から片手間で続けられていた行為……手元のそれを小動物のようにあやし続ける騎士と、何の意図故かされるがままとなつていたキュウベえとのやりとりにあつた。

ほむら自身が言つてるように、キュウベえを単なるマスコットとして見れば、その姿に対し「少し変わつている」という感想を抱く以外、疑問に思う事なぞ殆ど無いだろう。

だが、彼の存在の本性と本質とを知るほむらにとっては、何にも勝つて癪に障る光景にしか映らないのだ。冷淡にさえ感じられる程に冷静な佇まいを、何時だつて崩した事の無い彼女が、露骨に感情を滲ませている事からも、その嫌悪の度合が窺えるだろう。

氷柱のような言葉に、見目不相応の威圧感。突きつけられた物も相まって、普通でなくとも鈍くとも、自身を檢め、口を噤みたくなる状態。にも関わらず騎士の手は止まらず、態度も改まらず、あまつさえ更なる爆弾を投下してみせる。

「知っているよ。彼が担っている役割も、それを取り巻く機構システムについてもね。

……勿論、と言うのは変かもしれないが、君についても一通り把握してはいるつもりだよ？

「曉美ほむら君」

「!?!」

自信に満ちた口調に、教えた覚えの無い名前。

驚きよりも早く銃口が上がったほむらではあったが、先にも増して絞られた指は、ともすれば誤って引かれてしまいそうであり、握られた銃やいばは、決して面には出されぬ担い手の心情を仔細に至るまで掬い取っていた。

「……私の事を知っている　というのには後にしましょう。

けれど、それなら尚の事、そんな扱いをする理由が判らないわ。

先程貴女が助けた子。彼女達があの場所へ迷い込んだのは、大元を辿ればそいつの所

為なのよ？

「正義の味方」なんてものを自称するのなら、尚更放つてはおけない存在でしょうに」

敵か味方か。その真意さえ判らぬ未知の存在。

正義の味方云々の件はさておき、冷静に考えれば、そんな相手が「自身を知る」とあつては、捨て置く訳にはいかない筈であろう。無論、名前だけであれば幾らでも方法はあつるし、先程の発言自体が単なる出まかせである可能性もある。が、そうであるならば尚の事、感情的になるのは悪手以外の何物でも無い。

それを理解し、尚彼女が——普段の姿を見ていればらしからぬ程にキュウベエの処遇に拘るのは、それだけ彼に向ける感情が強いのか、或いはその源泉たる少女へ抱く想いが大きいのか。

「正義の味方というのは、対立する悪役そんざいがいなければ成り立てない難儀なものなのだよ。

本気で根絶やしにしてしまえば、後々になつて困るのは自分達の方さ」

何れにせよ、水面下で徐々にその温度を上げてゆくほむらに対し、騎士の方とは言葉は務めて冷静。むしろ、落ち着いているというより「冷めきつている」とさえ感じられてしまうかもしれない。少なくとも、今この場面だけを切りぬいて並べてみれば、颯爽

と少女を助けたのと同じ人物には見えないだろう。

「それに、今この場で血祭りにあげようと、引きずり降ろして細切れにしようとも、先程のように別の個体が来るだけさ。

確かに、駐在する個体がない間は君の言う「被害」も出ないだろう。

が、所詮そんなのは時間稼ぎにしかないだろう？

……尤も、この程度の事、こんな変な通りすがりに言われる理由も必要も無いだろうけどね」

しかし、そんな影も一瞬。再び諭すように、或いは小馬鹿にするような態度で、弁舌をふるい始める騎士。そんな姿を見て、逆に頭も冷えたのだろう。少女が思い返すのは、これまでの日々……撃つても撃つても湧き出てくる怨敵の様に、抗えども抗えどもままならぬ自身の行い。決して逃れられぬ負の螺旋。

もう何度目かも定かでない「やりなおし」。悲劇に塗られた結末を覆すべく戦えども、その度に助けたかったものは小さな掌より零れ落ちる。守り守り守りぬいた果てに救い切れず、最終最悪の敵となって牙をむく。共に戦場へ立てども、結局は一周目の悪夢を焼き直すばかり。

否、単なる「繰り返し」では済まされない。抗う程に因果は連なり、守りたかった者

へと押し掛かる重石は増してゆくばかり。底無しの泥沼が如き現状でもかくその姿は、正しく「無駄な足掻き」と呼ぶに相応しいものなのかもしれない。

だが、それでも彼女は繰り返し続ける。繰り返し続けなければならぬ。今の彼女にはそれしかないから。それ以外に、前へと進む術を知らないから。

「それでも……」「なら」……？」

「なら彼らに、この宇宙の秩序を司つているとのたまう連中に、見せてやるしかないじゃないか。

『そんな事をしなくても、世界はやっていける』という事を。

その根拠たる人間の力——可能性という名の希望の力をね」

だが、感情こゑを荒げて反論せんとしたほむらのそれを遮つた言葉はしかし、彼女の行為を、その人生を否定するようなものではなかった。

その言葉が何を意味し、何を表しているのかまでは、今の彼女には判らない。しかし同時に、紡がれた言霊に否定の意志はなく、向けられる眼差しから敵意を汲みとる事もできない。

些細な、しかし確かに見えたその色合いを訝しむ少女を他所に、尚も騎士は言葉を続ける。

それが対面する少女に当てられたものなのか、騎士自身に向けてのものなのかは定かではない。それでも騎士は言葉を重ね続けた。まるで、何処か懐かしむかのように。

「別に自慢するような事でも無いが、私も昔は君達と同じ様に……

いや、それ以上に荒れていた時期があつたものさ。

二次性徴期故の悩みなぞ比較じゃない。自分では何もしない癖に、他者にばかり非を押し付ける。

何も知らないのに、世を知り尽くしたかのように斜に構えては、事ある毎に否定したがる。

全く、今でも思い出したくない黒歴史だよ。若さゆえのなんとやら　という奴さ」

「けど、ある時ちよつとした出会いがあつてね。その時に大層お叱りを戴いたんだよ。

『お前が考える程人間は愚かでもなければ、そう簡単に挫けるような軟弱者でも無い。何より、私達が為さずして、一体誰が人を信じるのか』つてね。

笑えないのは、それを言ったのが10年も生きていない女の子だつて所かな」

「確かに、人並み以上の苦労を経験していたとはいえ、

あの子の苦労だつて君の抱えるそれと比べれば大した事とは言えないだろう。

まして、彼女は極ちつぽけな世界の中でしか生きてこなかつた小娘だ。

歳の甲の分、納得よりも反感の方が先走るのが普通だろう」

「けれど、その言葉に真実が含まれていたのも確かだ。

彼女の言う通り、人間はそう簡単に折れる程弱くは無いし、それを輝かせるのもまた人間だ。

——少なくとも、無為に億の歳月を過ごしてきた馬鹿者の目を覚まさせるには十分過ぎる」

「……それで、結局何が言いたかったのかしら」

教えにも、訓戒にもならぬその言葉。一個人の、一個人による、一個人にしか当てはまらぬであろう思い出話。故に少女は問う。目の前の相手が何を考え、何を思い、何故語ったのかを。

しかし、返される言葉は予想通りと**言うべきか**、予定調和を、積み重ねられてきた流れを、全てをひっくり返してしまうものであった。——まるで、その存在ありかたそのもの様に。

「ああ、君をそんな奴と一緒にするのは失礼だったね。

何、行き詰っている中で清涼剤代わり……という名の、ただの自己満足さ。



つまらない過去語りに、それ以外の意味なんてありはしないよ。

聞き流すも勝手な想像を膨らますのも、全ては君次第さ」

「……さつきから随分と好き勝手言っているけれど、ならどうすれば良いのかしら。

貴女のように口先だけを回すのであれば、誰にだってできるのよ」

長々と、一方的に語り続けた挙句、自身で纏める事もなく、全てを他者へ投げ渡す。そんな騎士の態度に、流石の少女も腹に据えかねたのか——それとも、騎士の言葉に何かを突かれでもしたのか、先のものとは比べ物にならぬ程の棘を籠もった言葉を返す。もはや、隠すつもりなど毛頭無いだろう。

そして、これもまた当然とでも言うべきか、相変わらずな騎士が態度を改める素振りは見えない。

「それは君達が考える事さ。

おっと、丸投げだなんて人聞きの悪い事は言わないでくれよ？

確かに派手に暴れはしたが、所詮私は脇役。この世界の主役はあくまでも君達なのだからね」

「……そう。なら、言いたい事はそれで終わりかしら？」

その言葉を最後に、銃を納めたほむらは踵を返す。もう語る言葉も尽きたという事だ

ろう。そして騎士もまた、そんな彼女を引きとめようとはしなかった。

然らば、ほむらが足を止め、再度騎士に言葉を投げかけたのは、他ならぬ彼女自身の意志なのだろう。少なくとも、騎士はその言葉を去りゆく背中に向けて語ったに過ぎないのだから。

「ただまあ、脇役なりの手助けぐらいなら吝かでもないがね。

——そうだな、とりあえずまだ見ぬ明後日の朝日の為にも、

少々ネジの緩んだ『舞台装置』を治しにでもいくとしようか」



振り向かざるを得なかった。問わずにはいられなかった。

自身を知ると言う者が、態々「舞台装置」という言い回しを用いて表す存在……：それ即ち、円環の果てに待ち受ける最後の難関。連綿と続くその歴史に照らし合わせても尚「最凶」と言い切れる程の化物。全てを戯曲へと帰す「舞台装置の魔女」——通称をWalpurgisnachtワッパルプギスナハクトに他ならない。

それを「治しに行く」と言い切ったのだ。これを驚かすしていられようか。

「貴女、自分が言った事を理解しているの？」

思考よりも先に出るのは疑問の皮を被った否定。当然だろう。それを安易に認めてしまえば、今までの自身の行いが——或る少女が払った犠牲が、全て無意味なものへと成り下がってしまうからだ。そう簡単に認められる筈が無い。

にも関わらず、彼女の心へ湧き上がってきたのは呆れよりも驚き。そして、そんな自身に対する戸惑いの感情。

妄言と切り捨てる事もできた。聞き流して立ち去ると言う選択肢もあった。それでも彼女は立ち止まり、その言葉に耳を傾け、真意を問うた。彼の存在の力は、瞳の奥にまで焼き付いている彼女自身が誰よりも理解している。何の代償も無く、唯一人で打倒するなど、笑い話にすらなりはしない筈。

ならば、何故彼女は足を止めたのか。どうして、一瞬でもその言葉を信じてしまったのか。

「無謀は承知さ。あれが一個人でどうにかなるようなものでは無い事も理解している。

だが、有史以来人間は幾度となく「不可能」の壁にぶちあたっては、それを難無く……  
……という訳でもないが、とにかく乗り越えてきたのだ。できない道理はない」

「そんな事……」

その否定は、疑問は、果たして誰に向けられたものだったのか。

目の前の騎士か、それとも、自分自身の中にある常識という名の鎖なのか。今の少女には、その胸の内ですく葛藤しか判別する事はできない。

だが、その常識の垣根を、黒衣の騎士は苦も無く乗り越えてゆく。非常なる現実を、抱く想い一つだけでひっくり返してゆく。

それも当然。それもまた必然。何故なら騎士はそうあるべき存在だから。「そうあってほしい」という願いの結晶なのだから。

「人間がその脳みそで描ける事などたかが知れている。

そして、その程度の空想もであれば、ヒトは必ず現実にできる。

確かに勝つ為の具体案がある訳ではないが、かといって負けてやる理由も無い。なに、たかが吊るされ女の一つ、奇跡の力で押し返してみせるさ。

それぐらいの事がやれなければ、偉大な先人達へ合わせる顔が無い」

何時の間にか腰を上げていた騎士は、そのまま少女の傍らへと歩み寄る。そして、そつと銃を下ろさせると、何処からともなく取り出した一輪の花をその手に握らせながら、優しく囁きかけた。

「だからせめて、この世界だけでも友との語らいを楽しんでゆきたまえ。

嫌な事は全てこの変人へと押し付けて、思うがままに学生としての本分を満喫してゆきたまえ。

全てを君一人で背負う事はない、抱え込む必要はない。

少しぐらい寄り道をしたところで、誰も文句など言いはしない。

助けを乞おうと、不満を持つ者が居る筈もない。

諦めない事も確かにそうだが、遠慮せずに助けを求められるのもまた子どもの特権だ。

——君には、そんなものよりも此方の方がずっと相応しい」

親か、教師か、先人か。

その言葉は、まるで全てを包みこむように、抱きとめるように。どこまでも遅しく、頼もしい。

「判っているさ。君が真に望むのが、そんなものじゃない事も。

君が負ってきたものが、この程度の言葉で言い表しきれるものではない事も。

だが、例え偽物でも、幻想であつても。長らく触れていなければ、自ら遠ざけていて

は、

いつか本当に忘れてしまう。そうなってしまつてからでは遅いんだ」

出会つたばかり。信頼も何もない状態。それでも、少女の胸に反発する言葉も意志も湧き起こりはしなかつた。肯定する要素なぞ何処にも無い筈なのに、否定する事ができなかった。

「だから、愛する人へ抱いた気持ちを、愛してくれる人の想いを、そこで結ばれた縁を、どうか忘れないで欲しい。

例え取り繕われたまやかしでも、中身の無い偽物あつても、

君が願ひ続ける限り、信じ続ける限り、いつかきつと本物になるから」

気付けば、受け取つたそれを確りと握りしめていた。既に武器を取る意志は無く、警戒心などは言わずもがな。隙だらけなその姿は、戦闘者でもなんでもない「普通の少女」の様であり、彼女がどうの昔に捨て去つたと思つていた、弱く見えていた嘗ての己であり——紛れも無い「暁美ほむら」そのものであつた。

「これは……？」

「遠いようで近い世界ばしよに居る 同業者おともだちからの、ささやかな贈り物プレゼントさ。

どんな形であれ、何が相手であれ、戦っているのは決して君達だけじゃない。

それに、彼女達は求められれば……むしろ、そうでなくとも助けずにはられない程に

皆お人よし揃いさ。こんな私も含めてね。

——だから、困った時は遠慮せずに助けを求めたまえ。その時は、私が必ず助けにくく。

世界の全てを敵に回そうと構わない。百億年の螺旋ループの果てにいようと関係ない。

必ず君の下へと辿り着き、その剣となり、盾となつてみせよう」

そう告げ終えた騎士は、マントを翻し、少女の横を通り過ぎる。

「——何処へ行くの?」

今度は、彼女が引き止める。他ならぬ、少女自身の意志で問いかける。

「風とは常に動き続けるもの……」

どうにも、一つの場所に留まっていられない性分でね」

吹かれた指笛に、ほどなくして姿を見せるその愛馬。

成すべき事は終えた。今後どの様に世界が転がってゆくのかは、騎士にさえも判らな

い。何故なら、世界はもうあるべき場所に、真なる担い手の下へと確かに渡ったのだから。

「なら最後に教えて。」

……貴女は一体何なの？ 何故ここまでするの？」

「私の正体かい？ 先程の彼女達にも言ったが……」

私は、ただの通りすがりで、正義の味方で、火消しで……

……そうだな、少々偏屈な「星の王子様」さ。

それなら、君達を助けるのに難解な理由など必要無いだろう？」



「話は済んだのかい？」

現れるのも、そして立ち去るのも一瞬。時間操作の一端を有するほむらでも捉えきれぬその姿は、まさしく「風」と呼ぶのに相応しいのかもしれない。

そして、去り際に手渡された物を抱きしめるほむらへと、今まで沈黙を保ち続けてい



たキユウベえが漸く声を掛けた。

彼がどの程度二人の遣り取りを理解し、どう受け止めたのかは、相変わらずの能面故に判らない。その途中で口を挟んでこなかったのは、益も害も無いと判断した為か、興味を抱かなかつた為か、或いはそれ以外の理由があつての事か。

だが、その何れであつても、今のほむらにはさしたる違いも無いのだろう。声を掛けられ、その存在を思い出しても尚、少女の手に握られていたのは一輪の花だったのだから。

その姿を、害も無く、今までの事を考えればむしろ益となり——そして奇妙に思える光景を目の当たりにして、キユウベえは自然と首を傾げていた。

彼が何故そのような行動を取り、何故ほむらへと問いかけたのかは判らない。そして、二度とそれを疑問に思う事もないだろう。生き物の行動とは、得てしてそういうものなのだから。

「そういうえば、君達人間はそれの一つ一つに態々凝つた言葉を意味づけているそうだね。そんなもの、赤の他人同士の理解と教養とが成り立たなければ何の役に立たないのに」

「そうね。とても面倒で、手間のかかる……」

……でも、とても素敵なお事だわ」

手渡されたその一輪 記憶の底に眠っていた 遠き日の思い出 “夢” を抱いてい  
たあの頃

美しく染まった青い薔薇 その花言葉はたしか――

## 2章：流されて次元世界

Aufzeichnung der Vergess  
enheit

「久しぶり……いや、ここは「はじめまして」と言うべきかな？」

「少なくとも、〃今の〃私とこうして言葉を交わすのは初めてだろうからね」

「……何も、何も変わっておらんな。」

「歪んだ性根も、濁りきった瞳も」

「そう言う君の方は随分と老いさらばえたようだがね、カールソン」

何処までも乾き切った空と、果てなく続く不毛の大地。

有用な資源は一つとして見つからず、かといってそれ以外の用途に耐えうる訳でも無く、発見以来手つかず同然であった準管理世界の辺境。「人手不足」という永遠の悩みと同居する時空管理局の方針に則せば、年に一度かそれ以下の頻度しかない定期巡回以外では人影は元より、生物の痕跡さえ見られない世界の最果て。

だが、そんな場所に今、時空管理局が誇る戦力の一個小隊。それも、狭き門たる武装局員の更に取りすぎりで構成された、言わば精鋭中の精鋭達が集っていた。……そう、集つて「いた」のだ。

それがどれ程「異常」な事であるかは、少しでも実態を知る者であれば容易に察せるだろう。

“持つ者”が秘める力の大きさは、“持たざる者”のそれと比べまさしく別次元のものであり、その絶対数が決して多くはないという事情を引いても尚、管理局の職務は少数による運用で十分に機能している。また、そうでなければ“抑止力”としては過剰な存在となつてしまうのだ。

それがどれ程「足りない」かは、此度の“敵”をれば知る程骨身にまで沁み渡る事だろう。

「敵を知り 己を知らば百戦危うからず」という故事の通り、敵を、そして己を深く知るといふ事は、本来であれば勝利への大きな一歩へと繋がるものである。だが、敵と己を遍く知り、そこに決して覆せぬ程の「壁」があると知つた時、勝利への道筋はその闘志と共に消え失せてゆく。通常であれば過剰だ偏頗だと非難されるであろうこの戦力も、実際には十分どころかその倍を以ても尚足りないと言ひ切れる。それだけの力の差が、対峙する“敵”との間に存在しているのだ。

灰の大地へと力無く伏すは、抜きん出た力量と、それに見劣らぬ意志とを兼ね備える管理局有数の魔導師・己の部下達。

白き大空にてそれらを見下ろす優男は、この場には不釣り合いに思える温和な面持ちをし、しかしその本質は吐き気を催す程に悪辣なる稀代の畜生外道——シウトロゼック・テックアート。

彼奴こそ、次元世界全土を騒がせている一連のテロ事件の黒幕であり、この惨禍を生み出した元凶であり——自身の怨敵たる、“闇の書の主”である。

### 『闇の書』

知らない者はおよそミッドチルダにおいて存在しないと切り切れる程に有名であり、同時に並び立つ物も存在しないと断言できるまでに悪名高き存在。数多の世界を食い荒らしては、賢人達が積み上げてきた叡智を貪り玩ぶ悪魔。古代ベルカが生みだし破滅と厄災の象徴にして、躊躇いも戸惑いもなく、唯々己が欲望のままにその力を振う史上最低の“悪”。

遙か古より伝えられ、数えきれぬ程の血肉を啜り生き永らえてきた名と力は、狂気と暴力の下にならず者達を集めては、内包する四人の騎士達と共に歴史の所々で暴虐の限りを重ねてきた。その因縁たるや、未だ管理局が組織として生まれて間もない時分より

続く程に長く深いものである。

無数の次元世界中へ刻まれた数多の悲劇を押しつけて尚「ロストロギア災害」の頂点へと君臨し、一度顕在化すればその都度数えきれぬ涙を流させている彼の存在は、管理局員として、力無き人々の安寧と平穩を祈る者として、是が非でも打倒しなければならぬ存在であると言えよう。

「しかし……正直、再び会えて嬉しいよ。」

てつきり、前回のあれでとうとうくたばってしまったとばかり思っていたからね」

「儂も同じじやよ。」

自分の足で立てる内に、貴様の最期へと立ち会えるとはな」

「フン……相変わらず、口だけは良く回るようだな」

「言う相手を間違えてはおらぬか？ 儂は、鏡などではないぞ」

また同時に、その因縁は管理局員としてではない「個人」としての自分——カールソン・V・アーレルスマイヤーにとっても浅からぬものでもある。

「闇の書」としては、それこそ自身が生まれて間もない頃からのものであるし、シユトロゼツ今代としてであつても、まだ互いに若造以前の幼子であつた時からの付き合いとなつていゝる。例え彼奴が見目だけ若々しさを保とうと、この全身へ刻みこまれた無数の皺と傷と

が、否が応にも自分達の間にある歴史を形とする。決して風化などしない記憶して存在しつづける。

非常に不本意だが、ある意味では自分は「闇の書」という存在を、その凶行を記録する生きた媒体と言えなくもないのかもしれない。

そして、そんな自身が抱いている闇の書への感情は、目に見える傷では比較できない程に深く大きい。そんな事は、自分自身が何よりも理解している。この胸の奥底で滾る炎は、それこそ負う使命が無くとも追いたくなる程であり、使命を捨ててまでも凶行へ走りたくなる程のもの。如何に取り繕おうと、それは紛れもない事実であり、それこそがこの老骨を動かす原動力となっているのだから否定する気にもならない。

無論、復讐が決して許されぬものである事は、正義を掲げる管理局員としても、剣を取り他者を守る道を選んだ個人としても理解はしている。それが、理性に生きる人間と獣との境界線なのだ。感情を感情で押し返さない事は、人の上へと立ち叱咤激励を飛ばす身として、最低限かつ必要不可欠な戒めである。

だが、例え理解していたとしても、どうにもならぬ事があるのもまた事実。理性によつて動くのが人間という生物の在り方であるのならば、本能に支配されるのは生物としての人間の性。時として人間はその境目を犯し、ヒトという名の獣となってしまうのだ。どれ程の綺麗事を並べようと、その必要性だけは決して無視できるものではなく、

してはならないものである。

畜生を相手とするのならば、自身もまた畜生へ堕ちなければならぬように。悪鬼を滅さんと欲するのなら、己がそれを越える修羅とならねばならぬように。

「……最後に、今一度聞こう」

「……？」

「今までの罪科を認め、自ら裁きを受けるつもりはないか？」

無論、それでも相応の罰は免れられないだろう。

だが、もしそうするのであれば、必ず法の下に公正な裁きを行わせる。

そして、それを不当に害する者がいるのであれば、……儂が、全力を以て取り除く「管理局員としての、「守る者」としての最後通牒。

判っている、その問いに「問い」としての意味など始めから含まれていない事を。それが、真に自身が望む答を引き出す為の隠れ蓑でしか無い事を。

所詮は自己満足、始めから結果の判り切っている出来レース。そんな事は、問いかけた己自身が誰よりも理解している。既に回答を得ている問答に何の意味があるのか。この程度の温い優しさで引きとめられる人間に、世界など壊せるものか。



「ふ……クク………フハハハハハハッ!!」

沈黙の後、張り詰めていたそれが高笑いへと姿を変える。判り切った反応に、判り切った回答。

恐らく、ここまでの遣り取りは闇シユトロゼツクの書の主の方でさえ承知の事なのだろう。そして、知つて尚彼奴は高笑いという形で答えを露わした。どこまでも他者を見下し、神経を逆撫でるその笑みで。

それを聞く度、頭の中で木霊する度に、己が心の内にあつた“枷”が緩み、炎が燃え上がる。

悪魔の様に黒く、地獄の様に熱く。万象一切を……守るべきもの、愛するもの、己自身さえも灰塵と帰す灼熱。人間が有する最凶の鋒にして、正義が唾棄する最悪の剣——「憎悪」の焰が、人間としての理性を、築き上げてきた誇りを、その魂までもを焼き尽くしてゆく。

「可笑しなことを言う、遂に耄碌もろろくしたかカールソン。

いや、所詮常人の枠組みを抜け出せぬ君であれば、それも致し方の無い事か」

「……その理由を、貴様の言い分を聞こうか」

勿論、本来なら“そんな事”を今一度問いなおす必要も無い。半生以上にも渡る長き

付き合いが、望まずとも互いの意図をそこいらの親しき間柄以上に通じ合わせているのだ。ある意味では、友人とも恋人とも違う別の形で、鎖よりも硬く、大樹よりも太い縁が結ばれているとも言えるだろう。この場におけるやりとりも、態々言葉にする必要性は無い。

ならば、何故問い直すのか。何故、己が良心をすり減らしてまで言の葉とするのか。改めてそう問われた時、果たして今の自分は正直にその理由を言えるだろうか。〃待つている〃のだと、正直に告白する事はできるだろうか。だが、例え形には表さずとも、表せずとも。己の心情は決して変わらないし、変わる事も無い。

ああそうだ。自分は待つているのだ。目の前の怨敵が、その口から〃言い訳〃を漏らす事を。

最後の枷を、未練を、後悔を、躊躇いを、誇りを、栄誉を、尊厳を、その全てを捨て去るに足る口実を——限界まで高まった、胸の内の煉獄ほのおを解き放つ為の「鍵」を。

「簡単な事さ。ああそうとも、実に単純明快、幼子でも容易に理解できる事だ。

——この私に、〃裁かれる〃云われなぞ無い。只、それだけの事だ」  
その返答が、紡がれた言霊が、最後の鎖を熔解させる。

堰を切つて溢れだしたこの感情は、もはや何者であろうと止めるは事叶わないだろ

う。一度坂を転がり始めた石が、そのものが砕け散るまで「止まらない」様に、何処までも何処までも、際限なく墮ちてゆく。

「……承知した。ならば、これ以上貴様には何も求めるまい」

「ほう。ならば、一体どうしようと言うのかな？」

「知れた事を——」

精神の撃鉄を引き起こし、愛刀を封印ねむりから呼び覚ます。今やミッドチルダ式では珍しくなってしまった「武器そのもの」の形をしたそれは、己が肉体同様に年代物と化しつつも、しかし刃に一片の曇りも無く、自らの手足同然に阿吽の呼吸で目覚めてゆく。

砕けるまで止まれないというのならば、砕けるまでの事。自らの意志で止まれないのならば、止まらなければ良いだけの事。ただ、それだけだ。

しかし、徒で砕けはしない。例え一ミリであつても、大地へと傷跡を付けてみせる。それが、後に続く者達へと成せる、己が最期の務めと信じて。怨念の連鎖を断ち切る為の術であると信じて。

「法で裁けぬというのなら、儂自らの手で引導を渡すまで。

——覚悟しろ、例え魂の一片であろうと、この世へ焼き漏らしはせん」

愛も 情も 優しさも要らない

仏の慈愛で救えぬのなら、修羅の怒りを以て焼き尽くすまで。

それで力無き人々を守れるというのならば、この身は喜んで悪魔となろう——



「どうした、息が上がっているぞ？」

後方で大人しく踏ん反り返っている方が、老いぼれの身の丈には合っているぞ」

「フン……今の内に、精々粋がついているが良い」

遂に切つて落とされた戦いの火蓋。だが、「長きに渡る因縁の戦い」といった題目でも掲げられそうな絶好の舞シチュエーション。台とは裏腹に、その戦況は面白味も何も無い圧倒的かつ一方的なものであり、そして絶望的なまでに彼……「闇の書」討伐部隊を率いる管理局歴戦の勇士・カールソンにとつて不利なものであった。

これまで如何なる障害をも断ち斬つてきたその刃。飽くなき挑戦と研磨により鍛え上げられてきた必殺必中の一閃は、闇の書が主・シウトロゼックが張る障壁によつて悉くが容易に受け止められ、しかもそれは複雑な構成の術式でも、また付与された特殊な属性でもなく、只単純かつ絶対的なる「出力差」に依るもの。シウトロゼック当人もま

た、振るわれる渾身の一撃一撃を玩んでいる自覚があるのだろう。彼にとっては回避する事もそう難しくない剣撃の悉くを、敢えて障壁を張り受け止め続けている姿勢からそれが窺える。

そして、それだけの余裕を支える力の差は、何も一方的な防御に留まるものではない。時折振るわれる剣十字の杖は、氣迫も魂も込められていないにも関わらず、如何なる障壁をも容易く粉碎するだけの破壊力と、軀の芯にまで刻み込まれた筈の反射を嘲笑う速さとを兼ね備えた凶悪な「兵器」として、カールソンの身と精神とをジリジリとすり減らし続けていた。既にその姿は、大規模犯罪組織の壊滅を単騎引き受けてきたと言わんばかりの有様であり、とてもではないが未だに一発たりとも直撃を受けていないとは思えぬ様相である。

何より、都市一つを容易に壊滅させる戦闘力ちからを秘めたオーバーSランカーを片手間であしらっている今の状況でさえ、闇の書が主にとっては余興にさえ足り得ていないのだ。管理局トップクラスの力量を有した者が並々ならぬ気概を負い立ち向かおうと、「雲の上の存在」を自称するシュトロゼックにとっては、そも視界にさえ入っていないのである。果たして、これを一体誰が「戦い」と、一方的な蹂躪劇では無いと言えるだろうか。

「やれやれ、どうやら本当に『命を削っている』ようだな。

いくら老い先短いとはいえ、捨て鉢な姿勢は感心できるものではないぞ?」

「……………」

加えて、唯でさえ劣勢であるカールソンの肉体は、その身へ掛けられた極限までの自己ブースト……越えてはならぬ一線を犯したそれによって、内側からもじわりじわりと蝕まれていた。

見下しきつた言葉への返答とばかりに終始無言で剣を振り続けるカールソンであったが、例え言葉に出さずとも、その身体は否応無しに悲鳴を挙げはじめた。当然だろう。何せ、彼は既に子どもか孫がいても可笑しくは無い年齢であり、本来であればシユトロゼツクの言う通り、第一戦からは退くべき身なのだ。

また、それだけでなくともその戦い<sup>スタイル</sup>方は縦横無尽に飛び回りつつ渾身の一撃を連打するのではなく、相手のそれを柳の様に受け流し、大樹のように不動なるままに、数多の歴史を内包した一閃を以て戦いを終わらせるのが身の丈に適しており、事実として平時はカールソンもその様なスタンスであった。今の様に、どこまでも激しく——暴力的に剣撃を乱打するなどらしくない。

そも、ブーストとて無尽蔵に力を齎してくれるようなものではなく、あくまでも本人が秘めている力へ発破をかけて引き出すものでしかない。当然ながら無い袖は振れな

いし、出し尽くせば打ち止めにもなる。また、例え引き出せるだけのものが残されていようと、その出力を上げれば比例して掛かる負担も増加する。魔導師達が戦歴を重ねるにつれカートリッジシステム等の使用を控えるようになるのは、何も技術の向上により頼る必要性が薄れるためだけでは無いのだ。

ならばこそ、今カールソンが振るっているそれは、本来であればそれこそ払戻が許されぬものを燃料としなければあり得ない。若さが宿す活力いきおいと、年月に裏打ちされた知恵けいけん。反比例する二つはそれ故に、同時に並べる事ができれば単なる1＋1以上の大きな力を生みだす源泉となる。まして、カールソンのそれはどちらに關しても一級品であり、禁忌を犯してまでも両立させている現状のそれは、まさしく「最強」と呼ぶに相応しいもの。その筈なのである。

しかし悲しいかな、それも所詮は「人間」という枠組みの内での事。既にその枠組みじょうしきより逸し始めている闇の書の主人・シウトロゼツクの前においては、カールソンのそれも無為に命をすり減らすだけの愚策へ成り下がってしまう。当初の勢いと攻め手を失い、徐々に守りきれぬ守勢となり始めたその様子からも容易に窺える。

「最強」とは、それを更に上回る力の前においては「最強」足り得ない。それが現実なのだ。

「カ……ハツ……」

「死にかけの身で良く頑張ったものだ……が、これでお終いだ」

そして、訪れたその瞬間。決して避けられぬ「終わり」の時。

振るわれる杖撃を受け流しきれず、とうとう弾かれる剣。シュトロゼツクはそれをすかさずバインドの応用で手繰り寄せると、無情にもその「主人」へと突き立てた。

先祖の代より伝えられてきたその名剣は、元々が命を刈り取る形をしているが故に、特別な術式などを施さずとも十分に凶器として働きのうる。そして、単なる「道具」として振るわれるそれに、長きに渡って共に歩んできたという歴史が介在する余地など無い。化外の膂力を以て突けば、只それだけであらゆる防壁を無に帰す破城槍となる。

何より、カールソンには既にそれを防ぐ手立てよりよくなど残されてはいない。然らば、その結末もまた避けられぬものなのだろう。

「気が済んだだろう。いい加減、年寄りには大人しくしていたまえ。」

まあ、これでも長い付き合いだ。幕引きぐらいであれば、私が務めてやる」

「仕方なく」といった体の物言いではあるが、そう放ったシュトロゼツクの表情はこの上無い嗜虐心に満ちており、心の底から今の状況を楽しんでいた。その気になれば一瞬で



終わらせられるというのに、態々甚振るかのようにゆつくりと刃を進めてゆく姿からもそれが窺える。事実、彼は長年の宿敵……「敵」というよりはむしろ、煩わしかった目の下の瘤の命が、その濁血と共に零れ落ちてゆくのを最高の「娯楽」として味わっていた。

そして、カールソンの方もいよいよ限界が来ているのだろう。膨れ上がった際と同等かそれ以上の速度で萎んでゆくその魔力反応が、老戦士の「終焉」を物語っていた。

もはや、勝敗は完全に決した。否、そんな事は始めから判り切っていたのだ。

如何にカールソンが管理局指折りの実力者とはいえ、只一人で万人の軍を蹂躪するだけの力を有した闇の書の主へ単騎挑むなど無謀極まる事。これ程までに粘りを見せたその奮闘を湛える言葉はあれど、打倒しえなかつた彼へぶつける非難などありはしない。

最初から「あきらめ」を前提としていれば、損じた際の気落ちも少なくて済む。今回の悲劇も、「また」何時もどおりの結果が繰り返されただけに過ぎないのだ。

しかし、その命が風前の灯になろうとも、カールソンの目は死んではいなかった。

槍が折れ矢も尽きた状況に立たされながらも、彼の胸へ秘められた魂の刃は未だに輝きを有しており、あまつさえその脈動は更なる昂りを見せているようにさえ感じてとれ

た。あたかも、主君の血肉を啜る事で研ぎ澄まされる妖刀が如く。

所詮は燃え尽きる間際の蠟燭が見せる、苦し紛れの最後の煌めきに過ぎない。

そう鼻で笑う事は容易く、またこの戦況を見れば、誰しもがそう思いはするだろう。事実、最も近い位置でそれを見届けていたシュトロゼックもまた、カールソンの目に宿るものがそうであると信じて疑っていなかった。

——だが、その判断は本当に正しいのだろうか

もしそれが、今にも消え入りそうな火が、万象を焼き尽くす程に苛烈なる煉獄の種だとしたら

「ん……？」

ある意味では当然の話ではあるが、真つ先のその「異変」へと気付いたのは、他ならぬシュトロゼック本人であった。

己が身へ突きたてられた刃を、研ぎ澄まされた愛剣のそれを、カールソンが固く握りしてめいたのだ。それも、魔力による保護も何もない、文字通りの素手である。

これ以上刃を進められまいと押しとどめるのでも、奪われた半身を取り戻さんとするのでも無い。それはむしろ、今の状態を……シュトロゼックの足が止まっているその状

態を、少しでも長く保たんとするかの様な様子であった。

(成程……どうやら、本当に此処を死に場所とする気のようなな)

シュトロゼックとて、ただ無闇矢鱈と力を振りまわすだけの馬鹿ではない。そんなあからさまな様子と、カールソンの内で再び高まり始めた魔力。そして、先程までの後先考えぬ猛攻とを合わせれば、その思惑……自身をその道連れにせんとするカールソンの策にも容易に気付ける。

成程確かに、始めからそれだけに狙いを絞っていけば、後の事など考えずに文字通りの全力を叩きつける事も可能だろう。或いは、この状況を作り出す為にわざと剣を弾かれたのかもしれない。より屈辱を与えんとしたシュトロゼックがこういった形での決着を付けようとする事も、長い付き合い故に予測できたのかもしれないし、今まさにその通りの展開となっているのだ。

その「読み」に関しては、正しく「歴戦の勇士」の名に恥じぬだけのものと言えるだろう。

(だが、残念ながらその計画には一つ致命的な欠点がある。

——この私が、態々その様な戯言へと付き合う必要が無い という事だ)

しかし、その計画も所詮はこの状態を維持する事が叶えばの話。そして、今現在シュトロゼツクの行動を縛っている「鎖」は、拘束と呼ぶにはあまりにも心もとないものであった。

幾重もの結界に閉じ込められているのでも、或いは強固なバインドによつて繋ぎとめられている訳でも無い。天に立つ強者と地に這う敗者。その二人を結びつけているのは唯一つ、枯れ果てた身へ突きたてられた刃だけであり、それを支えている一端は他でも無い、シュトロゼツク自身の手。

何も難しい話ではない。ただ、シュトロゼツクがその手を、指の力を解きさえすれば、己の命をも賭したカールソンの悲願は驚くほどあっけなく崩れ去る。

無論、「闇の書の主」たるシュトロゼツクとしては、たかが管理局の魔導師風情のバインドや結界程度に捕縛されるつもりなど全く無いし、例え超至近距離でミサイルが爆ぜようともかすり傷一つ負わない自信もある。そして二度目の許されぬこの作戦を強行するにまで至ったカールソンの執念は、その「宿敵」であるシュトロゼツク自身が誰よりも理解しているという自負もある。

だが、そんなカールソンの思慮も、そこへ掛けられた想いも、「宿敵」であるシュトロゼツクにとってはどうでも良い事であるのもまた事実。むしろ、それを知つて尚踏みこじらんとするのが彼という人間であり、その様な悲壮な覚悟を抱かれると、どうしても

「最高の絶望を彩つて」やりたくなるのが闇の書の主なのである。そこに、人間らしい情など欠片たりとも存在はしない。あるのは只、悪魔の如き非道のみ。

(さらばだカールソン。我が生涯へと纏わり付いた、哀れなる道化よ)

そうして止めの一手、ある一人の男の生涯と共に紡がれてきた悲願を突き崩す最後の  
一押しが

——放たれなかった。否、「離れなかった」というのがより適当か。

「……何？」

思わず零れた小さな、しかし全知を公言して憚らない「闇の書の主」にとつてはあまりにも「らしくない」一言。

手が離れない 離せない

文字にすればただそれだけ。そうでなくとも「それがどうした」の一言で済まされてしまいそうな些細なそれはしかし、今この場においては何よりも不可思議極まる事態で

あつた。

先程も少々触れたが、現在シュトロゼックをカールソンの下へと繋ぎとめているのは、言つてしまえば剣を握るシュトロゼックの右手のみだ。もしそれが、長年シュトロゼックと共に戦い抜いてきた相棒にも等しき存在であれば、まだ手放す事への躊躇いが生じたかもしれない。だが、彼の手にあるのはむしろ正反対のそれであり、いつそ怨敵共々消えてしまった方が清々とさえするもの。まして、*「繋がり」*を失う事で活路が閉ざされてしまうのはカールソンのみであり、シュトロゼックとしては何らデメリットなど無い。そこに、*「躊躇う」*理由なぞ欠片も無い筈なのだ。そんな事は、当事者であるシュトロゼックが誰よりも理解している。

にも関わらず、離せない。五指の力を抜き指を開く。そんな簡単な事が、何故かできない。

そうしている間にも、昂つていたカールソンの魔力は徐々に秩序を失いはじめ、全身より湧き上がる迸りはその量と圧とを増してゆく。目や口、更には全身へ刻まれた傷という傷の古今を問わずより血が滲みだすその様相からも、瘦身の内で荒れ狂う力の尋常ならざるが想像できるだろう。

「貴様……一体何をした」

そんな様子を見れば、素人であろうとカールソンが何か、例え仔細までは判らずとも、警戒心を強めるには十分過ぎる「何か」を目論んでいる事なぞ容易に察せられるし、当然ながらシウトロゼックも判つてはいる。だが、依然として手を離す事は叶わず、その場より動く事さえできない。

それはまるで——それこそ“常識”で考えれば万に一つもあり得ない話ではあるが、シウトロゼックの四肢へと繰り糸が付けられ、見えざる何者かによりその自由が奪われているかのようにさえ思える。己以外の何者にも縛られず、また律せられる事の無い「闇の書の主」が“動けない”となれば、そんな荒唐無稽な話ぐらいしかありえないのだ。

平静を取り繕う外見とは真反対の、その内より動揺が滲み出ているシウトロゼックの声色もまた、そんな妄言の信憑性を際立たせているのかもしれない。

「取り立てて挙げるような事はしておらんよ。」

まあ、敢えて言うのであれば、少しばかり「後押し」をしただけの事。

後は只、こうして貴様を討つ支度を整えているだけに過ぎん」

「そんな……そんな、馬鹿な事が」

既に語る余力すら残されていないのか、今にも消え入りそうな声でゆつくりと呟く

カールソン。ここまでの経緯を鑑みればそれも当然であるし、むしろ喋る事ができるだけましにさえ思えるだろう。その筈なのに、彼の言葉はシュトロゼックにとつては不思議と良く通るものであつた。聴覚を越え、思念通話さえも追い越し、直接脳内へ届けられているとも錯覚してしまう程に。

負っている傷は言わずもがな、そもその土台である地力の差も歴然。その上下など、態々考えるまでもない事。にも関わらず、今の二人の立場は「あるべき姿」とはまるで逆であつた。追われるべき者が振りまわされ、追うべきものが優位に立つ。見目に釣り合わないその事実が、更にシュトロゼックを追い詰めてゆく。

徐々に焦燥を募らせてゆくシュトロゼックとは対称的に、相も変わらずカールソンの言葉はゆるりゆるり。会話へ割く力も無い為か。それとも、紡がれる言葉の一言一句が、あたかも判決文の一文一文、或いは絞首台の一段一段の如き重さを有しているが故か。

「簡単な事だ。

人を「縛る」のは、何も捕縛術や結界術に限った話ではない。ただそれだけだ」

「なん……だと……？」

シュトロゼックにとつて、その言葉は全く以て意味の判らぬ、理解の及ばない事で



あった。

にも関わらず、その言葉を聞いた瞬間、確かにその内で「何か」が自身を締め上げる感触が。あらゆる技術の粋を集めた鉄の鎖でも、遍く歴史を束ねた神秘の塊たる魔紐でも捉えられない筈の自分が、がっちりと捕まった感触。そんな「未知」の感覚が、シユトロゼツクの内で牙を剥いた。

「確かなる意志を以て紡がれた言霊、その者の本質を映し出す心<sup>かがみ</sup>。

それらは無双の力を与える激励となり、時には目に見えぬ鎖となつて術者を縛る。

当人でさえ判らぬ内にな。

——まだ判らんのか。貴様を縛っているのは他でも無い、貴様自身であるという事が」

「どういう……ことだ……？」

張り詰める灼熱の魔力。物理的な力さえ生みだすそれは、間近へ立つシユトロゼツクにとつてはそれこそ肌を刺す感触と共に体感できるもの。どれ程鉄壁の甲冑があり、それに依る自信<sup>まんしん</sup>があろうと、彼の危機察知能力そのものが消失した訳ではない。決して風化しない「本能」として、魂の奥底にまで刻み込まれているそれは、今確かな警告を——微弱ながらも、しかし久しく鳴らされていながつたそれを発し続けている。

それでも、離れられない。一步たりとも、その呪縛ことばから逃れる事ができない。

「決して退かぬ……否、「退けぬ」貴様の心が。逃げる。勇氣を持ってぬお前の心ありかたそのものが、

上辺だけであつても手を離す事を拒み、やがて目に見えぬ鎖となつてその自由を奪う。

儂は只、それを少しばかり見えやすくしただけに過ぎんよ。

退く事のできぬ傲慢さ。「受け入れる」事のできぬ狭量さ。

それが貴様の弱さであり、貴様という人間の限界だ」

遂に臨界点を超える軀。全身から噴き出す魔力が、実体ある焰となりその身を焼き始める。

だが、神経の隅々までもを焼き尽くす激痛の中においても、カールソンは尚悠然とした態度を崩す事はなかった。既に痛覚が死んでいるのか、痛みを凌駕する程の感情がその身体を突き動しているのか。その源動力が何にせよ、相対するシュトロゼックにとつてそれは、まさしく人の皮を被った悪鬼か何かに見えた事だろう。

そこで漸く、シュトロゼックは自身が抱いていた「未知」が「恐怖」である事を自覚した。その行いに、カールソンの氣迫に、自身が「恐れを抱いている」事を自覚せざる

を得なかつた。

「く……血迷つたかカールソン」

ようやくと絞りだせた出せた言葉は、最早「王」としての誇りも外聞も無い弱音。

常人の感性であれば、未だ不遜さを残しているとも感じられる物言いであるし、勿論、シウトロゼック本人としても命乞いのつもりなど露ともないそれはしかし、聞く者が聞けば、実質的な敗北宣言にも等しいものであつた。

そして、その言葉を前に、カールソンの口元からは思わず笑みが零れた。

「人間われわれがその気になれば、例えその肉体うつつわを砕けずとも、

人一人の精神を焼き尽くす事なぞ訳の無い話。

——安心しろ、貴様一人で逝かせなぞせん。先に地獄で待つていてやる」

数十年ぶりと言つても良い、久方ぶりに浮かべられたその笑顔は、どこまでも人間らしく、そしてヒトらしからぬ程にどす黒いもの。

そうして、歓喜と絶望、憎悪を渴望とをない交ぜにした獣けだものの笑みと共に、限界を越えた戦士の身は白光と共に爆ぜ、大空へ咲く一丸の焰となつた。



視覚を焼く光の柱。やや遅れて聴覚を破裂させる轟音。大地へと墜ちる雷をそのままひっくり返したかのように、紅蓮の炎が一直線に天を衝く。

そんな、天を地をこの世の万象を焼滅せんとする焰の中より、黒煙を引いて伸びる一つの影があつた。言うまでもなく、怨敵の「自爆」を逃れた闇の書が主・シウトロゼツクである。

「ちいつ……あの死に損ないめ、最期にとんだ汚点を残してくれたものだ」

忌々しげな表情と共に悪態を吐くその姿はしかし、「爆心地」に居たとは思えない程にびんびんとしていた。規格外の出力に依る騎士甲冑の防御があつた為か、多少の焦げつきや煤けこそあるものの、外傷らしい傷は全くと言つて良いほど見当たらない。その点に関しては、伊達に古代遺物を統べる者ではないという事だろうか。

しかし、その見目に反して、彼の内心やプライドは傷だらけであつた。例え一瞬一時であつても、確かな「恐怖心」を抱いてしまった事が余程堪えたのだろう。平時であれば決して絶やさぬうすら笑みの仮面をかなぐり捨て、物言えぬ死人へと暴言を浴びせる始末である。とてもではないが、人々の上に立つ「王」たる者の器には見えないだろう。

そして、そんな調子であつたからこそ、目まぐるしく移り変わる戦況に——自身が置かれてある立ち位置への対応にも遅れが生じたのかもしれない。

「……!?」

気付けば、シュトロゼツクの周囲は管理局所属の魔導師達——この戦闘が始まった早々に彼自身の手で退場させていた、彼にとつては路肩の石にも劣る有象無象達により完全に包囲されていた。

無論、依然として歴然たる地力の差が存在している以上、只それだけの事であればここまでシュトロゼツクが驚く事もなかっただろう。だが、彼を取り囲む管理局員達の雰囲気は明らかに「異常」であつた。

確かに、局員達が纏っている感情が怒りや憎しみだといったものである事に違いは無いのだが、その性質は激しさというよりも鋭さ。熱さよりも冷たさといった表現がより適当であり……簡潔に述べれば、同胞の弔い合戦にしてはあまりにも「落ち着き過ぎている」のだ。それこそ、まるでこうなる事が始めから判つていたかのように。

その徒ならぬ雰囲気を前に、思わず息を飲む闇シュトロゼツクの書の主。

だが、物珍しくも思えるそんな光景に対しても、局員達は何の反応を見せる事は無い。やがて、包囲網の一人……今この場における最も階級の高い者であり、現在の指揮官であり——隊長カールソンの右腕であつた人物は、淡々と言葉を発した。

「まさか、この期に及んで「捕縛」だなんて、そんな甘い事を言うつもりはないよね」  
果たしてその言葉は、一体誰に当ててのものであったのか。

未だ「理性的」な解決を求め続ける本国の上層部に宛ててのものか、母艦にて戦況を見守る「甘ちゃん」な新米艦長へ向けてのものか。或いは傷だらけの部下達か、その言葉を紡ぐ彼自身へか。

それとも、未だ現状を飲みこめていない「敵」へ向けてのものか。

「――総員、非殺傷設定解除」

放たれた命令に返答は無く、空に響くのは只各々の獲物が牙を剥く音のみ。

理性も規制も。何もかもを投げ捨て、沈黙の中ここに最後の殺し合いが幕を開けた。

◇◇

まず口火を切ったのは、管理局側の魔導師による砲撃。一見せずとも平々凡々でしかないそれは、時空管理局の基準で見ればこそ上位クラスには入るものの、次元世界中の叡智を一手に握る闇の書の主にとっては何の面白味も無い、そよ風程度の一射。

だが、それに対するシウトロゼックの反応は防御ではなく回避。それも、紙一重と  
いったものではない、大きく距離を空けた全力のものであった。というよりも、最初から「回避」以外の選択肢が浮かびずらしなかつたのだ。

(氣圧されているとでも、臆しているとも言うのか。闇の書の主たる、この私が)

怒りと屈辱と困惑とに揺れるシュトロゼックであったが、周囲はそんな事に一切構いはしない。そんな事を考えていた時には既に、避けた先にて背後へと回り込んでいた局員の一人が杖先に刃を展開、何の躊躇いも無く振りかぶっていた。

後ろを取られた事に対する感想を抱く間もなく、シュトロゼックは半ば反射的に十字杖で迎撃する。だが、山一つ容易に消し飛ばせるだけの一振りはしかし、今この場では殺しきれぬ衝撃で何とか距離を空けるのが精一杯であった。そして、息を吐く間もなく全方位から押し寄せる無数の誘導弾。数えるのも馬鹿らしいそれらは、自動的に張られた結界の前に全て粒子となって描き消えるも、目の前で爆ぜる一撃一撃は確実にその精神を疲弊させ、「押されている」という現実を嫌が応にも見せつける。

「羽虫風情が……あまり凶に乗るなよっ……!？」

度重なる屈辱。「王」を称する彼にとってはこの上ない侮蔑。湧き上がり、そして弾けた感情の赴くまま急上昇したシュトロゼックは、見栄えも余裕も無い、只周囲を纏めて吹き飛ばす為だけの起動、その内に眠る膨大な魔力を一挙に高まらせてゆく。

しかし、そこへ「チャージなどさせるものか」といわんばかりに、四方からバインド

が押し寄せる。えも言われぬ悪寒を感じたシュトロゼックは、止むなく術式をキャンセルして緊急回避。その軌跡を、刹那の後に殺到した第二波のバインドと、明確な殺意を含んだ貫通重視の砲撃とがなぞる。

もし捕まっていれば、そうでなくとも発動を優先し足を止めていれば、今頃その身体には風穴の一つでも開いていたかもしれない。超至近距離での爆発さえ防ぎきった自慢の騎士甲冑も、今のシュトロゼックにとつては信頼しきれるものではなかった。

そうして包囲網を何とか潜り抜けたシュトロゼックであったが、彼には人並みのそれを安堵する暇さえ許されないのだろう。砲撃、誘導弾、バインド e t c. 次から次へと多種多様な、しかし「殺意」という一点において共通しているそれらが一切の容赦なく襲いかかる。遙か格下の存在であった筈の者達が振るう剣によって、絶対強者である筈の「闇の書の主」が滑稽にも踊らされ続ける。

言わずもがな、これ程までに「都合の良い」状態が偶発的に引き起こる筈も無い。どれ程その人間性が劣悪であろうと、管理局の魔導師達が今相手にしているのは「次元世界最強」と呼ぶに相応しいだけの戦闘能力を有した闇の書の主なのだ。あらゆる物理法則を平然と捻じ曲げる程に圧倒的なるその力の前では、生半可な幸運や偶然といったものは存在しないにも等しい。真つ当な方法では、如何な正統精鋭な彼らといえでも次元以前の問題である。



しかし、例えどれ程「闇の書」が強大な力を有し、また如何なるハッキングをも受け付けない複雑怪奇・堅牢強固なシステムを有してしようと、人間の常識が通用しない存在であつても、それを操る「主」は間違ひなく人間の——その位置がどうであれ、同じカテゴリーに属する者。ならば、そちらから攻めればよい。カールソンが、そして管理局員達が思い至つたのはそんな考えであつた。

情を捨て誇りを捨てて、同じ獣の域にまで堕ちようと、共に地獄への道ずれとする。人道に則せば決して許されぬ外法。一言で完結に纏めるとすれば、「呪い」とでも言うべき代物。

「科学が著しい発展を遂げた今日日何を前時代的な」と笑う者も当然いるだろう。しかし、リンカーコアの根源しかり、インテリジェント・デバイスブラックボックスの中核部しかり。解き明かせぬものなどないと思える昨今においても尚、「未知」と呼べるものはこの世の中に確かにあり、呪いの様な非科学的なものの存在も決して否定しきれないのである。加えて、カールソンの用いた策は別に非科学的でも何でもなく、説明だけであれば誰にだつてできる程明快なものでしかない。

長きに渡つて魔力を流してきた自身の軀を回路に、生まれてより以来脈動を続けてきたリンカーコアそのものを燃料に。怒りと怨念、自身が溜めこんできた全ての感情を一つのベクトルへと束ね、思念通話等に用いられる技術の応用を以て「直接」相手に叩き

つける。大規模儀式術もかくやの巨大な爆発<sup>エネルギー</sup>など所詮はおまけに過ぎず、その真髄は対象の精神<sup>こころ</sup>を文字通り焼き尽くす事。そして、その目論見は見事に功を奏しており、一撃で廃する事こそ叶わなかったものの、既にその心をぐらりぐらりと揺さぶり、じわりじわりと蝕みつつある。

これは、「闇の書」の根幹が、主と同化する性質を持つ融合機だからこそその発想と言えよう。どれ程サポートやバックアップ等のシステムが整えられていようと、それを操る主自体に「誤作動」が生じていれば意味は無い。常識的に考えれば、あくまでも闇の書自体は道具であり従属する存在であり、その本体は人間である主のみ。それを狙ったのがこの作戦であり、その結果が今の戦況なのである。長らく感じていなかった、また闇の書に選ばれてからは無縁だと思っていた「恐怖」を刺激された主——シウトロゼツクは、迫りくる格下の者の殺意やそれを防ぎきれない自分等、身の回りのもの全てに対して「恐れ」を抱き、その足を竦ませているのだ。

当然、人道に則しても、またそれを守るべき立場である管理局としても、この様な作戦が許される筈は無い。命を粗末にも使い捨て、あまつさえその犠牲を必要条件とする作戦。非殺傷設定の解除などは言わずもがな、どれをとつても懲戒程度で済まされるものでは無く、縦しんば勝利を得たとしても、非難と反発が四方から浴びせられるのは必至。最悪、彼ら自身が次なる咎人となってしまう事も十分に考えられるだろう。

しかし、そんな事は「礎」となった隊長カイルンは勿論、下手人たんとする局員達も承知の上。それで力無き人々の平和が、未来が守れるのであれば、喜んで畜生へと墜ちる。そして、悪鬼羅刹として「闇の書」の輪廻を根絶やしとする。それが、人々の平和と安息を祈る「管理局員」としての、彼らなりの覚悟なのである。

「いい加減……いい加減しつこいぞ！ この虫けら共があつ!!」

回す猿回しに 回される猿

そんな、この場にそぐわない例えさえ想像できそうな戦況を崩したのは、怒りに吠えるシュトロゼックであった。「王」としての、強者としてのプライドが、屈辱極まるその扱いにとうとう我慢の限界を超えさせたのである。

シュトロゼックの身体を中心として閃光が迸り、纏わり付いていたバインドも魔力弾も、その源たる局員達をもまとめて吹き飛ばす。

ミッドチルダ式で言えばジャケットパージに当たるそれは、本来の用途は同じく緊急用であるのにも関わらず、担い手の地力故かその破壊力は正しく「破壊力」と呼ぶに相応しい代物。回避や防御により直撃した者こそいかなかったが、決して途切れる事のなかった——途絶えさせまいとしていた攻め手を止ませるには十分過ぎるものであった。

そして、何とか仕切り直しを成功させた為か、纏っていた騎士甲冑を炸裂させた故に見目こそ良くないものの、シュトロゼックは漸く当初の冷静さを取り戻し始めた。勢いを挫き流れさえ取り戻せば、後は力の差でどうにでもできるといふ自信もあるのだろう。つい先程まで忌々しげに歪められ続けていたその口元にも、再びうすら笑みが戻ってきた。

「やれやれ、随分と手間取らせてくれたじゃないか。

さて、この代償をどう清算させてくれよう……か……?」

いよいよ反撃——否、正しい上下関係の下「身の程」を再教育してやる、と意気込めたその言葉はしかし、シュトロゼック自身によつて中断された。ようやつと行き場を見つけたその激情を押しとどめたのは、ほんの僅かばかりの違和感。再び天へと立ち、見下ろす形となつた管理局の凡骨達。見慣れた筈のその光景に、言いようの無い不安を感じたのだ。

「!？」

だが、例え一瞬であつても彼の足を止めたその疑問は、それを疑問と認識する間もなく砕け散つた。——シュトロゼックの胸より飛び出た、朱濡れの刃によつて。

「馬鹿な……こんな、事が……」

痙攣する体を何とか振り向かせたその視線の先に居たのは、管理局員の一人であり、前衛要員の中では最も若く未熟だと思っていた一人の少年であった。以前遭遇した時には、その無力さ故に刃を交えるまでもなく捨て置いた者。シュトロゼツクにとつてはその程度の価値しかなかった筈の若造。しかし、その彼は今一人の戦士となつて、憤怒と決意の眼差しと刃とを以て、闇の書の主を深々と貫いていたのだ。

これこそが『違和感』の正体。居た筈の人間が、何時の間にか姿を消していた。だが、そんな至極判り易い変化も、自身の力に絶対の自身を持つシュトロゼツクにとつては路肩の石にも劣るものでしなく——それ故に見落とした。

おそらくはこの瞬間。シュトロゼツクが冷静な判断力を失い、かつ防御が手薄となる千載一遇の瞬間の為に、戦いが始まった時よりずっと息を潜めていたのだろう。かつて己を歯牙にもかけなかつた闇の書の主なら、そんな自身の事など意にもしない筈。そこに、必ず付け入る隙が生まれる筈。そう信じ、それを成す為、今まで耐え忍んできたのだ。慕つてきた師が自ら命を断つた時も、戦友達に死に物狂いで追い縋らんとしている時も、共に戦場へ立つ恋人が傷だらけになろうとも、ずっとずっと、この瞬間の為に、必死に歯を食いしばつてきた。そしてその果てに、少年は遂に勝利を得たのだ。あまりに

も苦く、あまりにも虚しいその勝利を。

「アンタお得意の幻術でも、まして錯覚でもない。

——これが現実なんだよ、闇の書の王」

◇◇

支えを失い、突き立てられた楔と共に力無く堕ちてゆく怨敵の姿を眺めながら、少年は一人、何とも言えぬ余韻に浸っていた。

苦難の果てに、遂に管理局始まって以来の凶悪犯を打倒したのだ、後引くものが残るのも当然と言えよう。勿論、未だ封印などの事後処理は残ってはいるものの、それに關する専属のチームも後方には既に控えているし、何より本体たる闇の書は「物」に過ぎないのだ。世界を我が物にせんという欲望も、全てを破壊し尽くさんとする暴虐の意志も其処には無く、只々担い手の望むがままに秘められた力を解放するだけの存在。そう考えれば、或いは「闇の書」自身もまた被害者なのかもしれない。

にも関わらず、全てを終えたにも関わらず、少年の胸にこみ上げるのは喜びでも達成感でもなく、果てなき虚しさで悲しさだけであった。無論、今しがた虚構の翼を失い地へ伏した闇の書の主が悪人である事に変わりは無い。強大過ぎるその力へ飲み込まれてしまった面は少なからずあるのかもしれないが、幾度となく制止を振り切り、何度も

あつた対話の機会を蹴り続けてきたのもまた彼なのだ。遺族だ何だといった被害者達  
は言うまでも無く、直接その手に掛けた少年もまた、管理局員として、また一人間とし  
て相応に主に対する怒りの感情はある。

それでも、その巨悪を打ち果たした現実を喜ぶ事ができない。未だ若輩者である彼の  
立場を鑑みれば大金屋とも言えるそれを、素直に受け取る事ができなかった。彼とて管  
理局員。この作戦に参加した時に、延いては管理局の門を叩いた際に一通りの「覚悟」は  
済ませているし、それは彼以外にも同じ事。だが、例えそうであつても、この「勝利」の  
為に払った代償はあまりにも大きすぎたのだ。名も顔も知らぬ人達の正義の為に、強き  
縁で結ばれた人を犠牲とし、それでもなお平然としていられる程、少年の心は固くはな  
い。

そして、その吉凶を見定めるのは他ならぬ少年自身。部外者がどれ程口を挟もうと、  
最後の一押しは彼に委ねられている。選ぶのも、その責を負うのも全ては少年自身。こ  
の戦いを契機とし、その果てに壊れてしまうのもまた有り得る一つの未来なのである。

だが、例え何を選択肢どの様な道を辿ろうと、一度結ばれた縁はそう容易く解けはし  
ない。隊長と主カイルソン、シュトロゼックがその良い例だろう。“人間関係”とは良くも悪くもその人生を掻  
き回すものであり、纏れて絡まり固まった縁が首を絞めるといふのも珍しい話ではな

い。金が切れても縁は切れず、地獄の果てまで憑いて回る。

——だからこそ、そこに「何か」が生まれる。決して解けぬ人とヒト。その間に、神と呼ばれた存在にさえ干渉を許されぬものが芽吹く。

少年もまた一人では無い。結ばれた縁が、決して彼を独りにはさせない。そして、独りでないかぎり、人は決して孤独になどなりはしない。

「フオードっ!!」

陰鬱としていたその背中へ軽い衝撃。少年が振り返つたその先には、あらん限りの力で命一杯抱きつく一人の少女の姿があつた。

平時は可愛らしいその顔も、今となつては煤や泥、鼻水等で酷い有様である。尤も、先の奇襲作戦において少年が負つていた責任と危険性とを鑑みれば、その心配も喜びも自然なものと言えるだろう。彼女が少年へと寄せる想いは、それだけ大きいのだから。

「クラ……失礼しました、ベルトーネ曹長。どうなされたので

「心配……したんだから。」

「ずつと……ずつと、心配してたんだから」

「クラリーチエ……」



自らの手で触れ、無事である事を実感した事でとうとう限界を越えたのか、少女の目には大粒の涙が浮かんでいた。少年があやしてなければ、今にも声を挙げて泣いていた事だろう。

だがその涙は、乾き始めていた少年の心へと、確かなる一滴の光をもたらすものでもあつた。

得られた物など無く、失った物はあまりにも大きい。だがそれでも、「守りぬいたもの」は此処にある。この広い世界と比べればあまりにもちつぽけかもしれないが、少年にとっては宇宙よりも重いものが、只その存在だけで、自身の行いが間違いではなかつたと断言できる程のものが、今此処にはあるのだ。

言葉にはせず、しかし万感の思いを乗せて、少年は小さな身体をそつと抱きしめる。思わぬ返答に一瞬驚く少女であつたが、やがて彼女もまたそれを受け入れた。周囲にてそんな光景を眺める隊員おと達はと言えば、大胆な行動に口元を緩ませたり、或いは顔を赤らめたり等様々な反応を見せつつも、しかし誰一人として邪魔をしようとする者はいない。皆等しく満身創痍の身ながらも、その幼いカッブルにささやかなエールを送り続けた。

—— そうだ、守りたいものは此処に在る。

そしてその想いは、隊長の志は、今もこうして自分達の中で息づいているのだ。

嗚呼、もしここで、このまま幕を下ろす事ができたのならば、どれ程良かった事だろうか。例え陳腐<sup>ハッ</sup>で有り触れた結末<sup>ド</sup>であろうと、誰もが笑顔で居られた事だろう。

しかし世界は、現実はどこまでも非情である。数えきれぬ程の幸福をもたらす大団円であろうと、それが二流品の域を越えられぬのであれば、断じて認めてはしない。破滅、絶望、終末。数多の歴史を食し舌の肥えた「世界」という名の美食家は、その程度では決して満足してはくれない。

彼の者が欲するのは唯一つ。至高にして究極なる、その舌を震わせる刺激に満ちた一流品のみ。

例え、それが救いの無い結末であろうとも。

始めに、そして一人その「違和感」に気付いたのは少年であった。怨敵の遺体へと突き立てたままであった愛剣を思い出し、ふと下を見たのがその切欠である。

既に決着は付いた。遙か眼下にあるのは、次元世界へ広く災禍をもたらし、しかし今や物言えぬ亡きがらとなった闇の書の主のみ。それが現実であり、こうして目に映るも

のこそが事実の筈。にも関わらず、その光景に、自身の視覚が捉えるそれに、形容し難い違和感を覚えたのだ。

昂った感情による錯覚か。はたまた、未だその手へ残る感触が見せる幻か。

取り留めも無く浮かぶ思考の泡粒。しかしそれらは治まる事もなく、直に飛沫となつて消え果てた。——少女共々その身体を貫いた一筋の刃……少年の愛剣によつて。

「……中々、氣迫の籠つた一撃だったよ。正直に楽しめたと賞賛しよう。

その返礼という訳ではないが……せめてもの情けだ、二人仲良く送つてやる事としよう」

少年の耳へと最期に聞こえてきたその声は、ある筈の無い——こうしている瞬間においても尚、眼下にて軀となつて居る筈の者のそれであった。しかし時すでに遅く、その理由を考える間もなく少年達は嘗て人間であつた物体へと姿を変えた。

人間二人程度の重量を有した物体が大地へと叩きつけられる音の後静寂。悲鳴の一つも上がらなかつたのは、目撃者達の胆力が特段優れていたという訳では無く、単に彼らの思考が目の前の出来事に追いついていなかつたが為の事だろう。

その「惨劇」の中心において、下手人たるその男……死んだ筈の闇の書の主は、血濡

れの剣——つい先程まで自身を貫いていた少年の剣を無造作に投げ捨てると、静かに、しかし勝ち誇るかのように宣言した。あたかも「王」か何かの様な尊大なる態度で。

「ああ、先程の言葉。そつくりそのままお返ししよう。

——理解したかな？ 幻術ゆめでも錯覚まぼろしでもない。これが現実だ」

◇◇

「いやはや、まいったね。

今更何をされても驚くつもりはなかつたんが……一体、何をしたんだい？」

沈黙を崩したのは、口火を切つた時と同じく副隊長の言葉。しかし、口調こそ何時も通りの飄々とした体ながらも、その瞳にはらしからぬ明らかな動揺の色が浮かんでいった。

だが、それも当然と言えよう。単なる視覚情報だけならばまだしも、「主の死亡」は魔力反応等でも確かに確認し、それも一人二人だけではなく局員の全て、更には後方で控える支援部隊においても確認していたのだ。何より、此処にいるのは何れも精鋭——単なる学校での成績ではなく、相応の修羅場を乗り越えてきた実績や、それに匹敵するだけの才能・気迫を有している者達ばかり。小手先だけの幻術程度で欺ける相手ではないのだ。にも関わらず、誰一人として今日の前にある事実へ気付く事ができなかつた。

それこそ、主自身がこうして自ら姿を表さなければ、一生「真実」を知らぬままであったかもしれない程に。

未知とは即ち恐怖。今この場にいる局員達は、間違い無く闇の書が主に「恐れ」を抱いていた。

「ほう、ならば君達は、あの程度の策で本当に倒せると信じていたのかな？」

闇の書の王たる、この私を」

「……答えに、なっていないよ」

獲物を狙う蛇よろしく、局員達が抱いた恐怖心を敏感に嗅ぎ取ったのだろう。実に嬉しそうな表情と共に、言葉の槍を以て追い打ちをかけるシュトロゼック。思わず漏れ出した副隊長の返答も、今の彼にとつては何よりの口実えさでしかない。その言葉を待つていたと言わんばかりに、シュトロゼックは局員達へと語り始めた。

「やれやれ……どうやら、私は君達を買いかぶっていたらしいな。

——何も。そう、何も特別な事などしていない。

私は只、無知なる君達へと「世界の真理」を垣間見せてやっただけに過ぎない」

「絆、結束、信頼。大いに結構。

しかし、そんなものは所詮、力無き者達が弄する小細工でしかない。

「本物」の力の前では、藁にも等しい脆弱な繋がり<sup>も</sup>でしかないのだよ。

この結果が何よりの証拠だろう？

私の力は、君達が盲信して止まない「絆」さえも容易に欺けるのだからね。

だが、何も恥じる事は無い。こうなる事もまた必然なのだよ」

「考えてもみたまえ。君達の絆とは、その土台となる五感とは、

紐解いてゆけば所詮只の電気信号が生みだす虚像であり、空虚なる幻覚だ。

そこにある信頼性など、君達が後から勝手に付与した意味<sup>おし</sup>付け<sup>け</sup>でしかない。

その実態は今しがた見せた様に、容易に操れる程に軽いものでしかない。

世界とは、須らくそういうものなのだよ」

困惑というよりも茫然。あまりにも突飛過ぎるその話へ着いてゆけず、茫然とする局

員達。しかし、それでもシウトロゼツクは構わずに言葉を続ける。口調こそ諭す様な形

ではあるが、そこに教え与える意志などは欠片たりとも存在してはいない。

反応を求めていないのは、元よりそんなものを期待していないが故。無知な存在とし

て見下し、一方的に語るという行為自体を愉しんでいるが為の事。

「常識という小さな枠へ囚われるな、神の視点を持ちたまえ。

この世の全ては必然であり、あたかも台本の定められた物語の様に、万事がその役割をこなしているだけに過ぎないのだよ。

君達がそうやって力を合わせ、そして破れるのもまた必然、なるべくしてなっただけの事。

この世界そのものが、気まぐれなる神々が用意した劇てあぐでは無いと、誰が断言できるのかね？」

「納得するつもりなんてのは更々無いけど、君が言いたい事は概ね把握したつもりだよ。

……でもそうになると、君自身もまた劇上に立つ『役者』の一人でしかないんじゃないかな？」

だから、お前も分をわきまえろ。

そんな意味合いが込められた副隊長の返答を契機とし、それまで呆けていた局員達が再び武器を構える。勝算など関係ない。何であれ生きていたのであれば、もう一度黙らせるまでの事。消えかけていた灯が再度猛り始めていた局員達の頭にあるのは、極めて単純なるそんな考えのみ。

しかし、それに対するシウトロゼックの反応は、己が言葉を理解できない者達への

呆れ“でさえもなかった。呪文を紡ぐのでもなければ、杖を構える事さえしない。只、笑みを浮かべるのみ。

それを、うすら寒いその表情を認識したその瞬間、臨戦態勢であった局員達は、全神経を張り巡らせていた精鋭の魔導師達は、まるで練り糸が切れた操り人形かのように、四肢の力を失い舞台の下へと堕ちていった。

何故 どうして 何が

思考するという思考さえ思い浮かばず、只々物の様に、自然の法則のままに流されてゆく。

全てを喪失した彼らが「死んでいる」事に漸く気付けたのは、大地と引力とにより自らの軀が潰れる感触を味わった時であった。

「分をわきまえるのは君達の方だ。

君達は舞台上で踊る道化であり、私はそれに意味を吹き込む脚本家だ。

——私にはあるのだよ、君達の全てを意のままにする権利がね」





「……マクラレーン三佐以下11名、反応消失しました」

淡々と、しかし微かに震える声で紡がれた報告に続く言葉は無い。モニター越しに繰り広げられた「惨劇」を目の当たりとすれば、その沈黙も致し方ないだろう。

彼・彼女達としてその道の第一人者。闇の書と、その主が有する戦闘能力等は重々承知している。だからこそ、こんな作戦を立てた。不退転の覚悟で、文字通り全てを投げ打ってきたのだ。だが現実には、その行いの全てを、彼らの想いさえも嘲笑うかのような結果であった。どれ程強い意志で身を固めようと、彼らもまた人間。全てを捨てても尚人間は辞められないが故に、突き付けられた現実（そ）に対し「絶望」という感情が湧き起る。身を苛まれる絶望を絶望と認識できる事もまた、ある意味では人間の証明であると言えなくもないのかもしれない。

しかし、それも一瞬。漏れ出そうになる嗚咽を堪えながら、局員達は自身次の工程へと取り掛かる。喪に服す事さえしないそれを非情と捉える事もできるのかもしれないが、今はそんな暇さえ惜しいのもまた事実。強いられた「犠牲」を無駄にしない事こそ、残された者達の役目なのである。

「全セーフティロック解放、問題無し」

「制御システム回路接続、問題無し」

「出力安定、エネルギー充填開始」

惨状の上へ君臨するその元凶を横目に捉えつつ、一心不乱にコンソールを叩き続ける局員達。悲願は依然変わらず、その目的は唯一つ。最後の切札、公には「開発中」となっている試作型の艦載兵器——この戦いを終わらせる為の「鍵」を起動させるべく、各々がその役割を進めてゆく。

元より期待はしていない交渉と、持てる全てを注いだ討伐との全てが失敗に終わった際の為に用意された、正しく最後の手段であるそれは、IV級巡航艦でようやくと積めるだけの規模と、艦の動力の殆どを食う膨大なエネルギー消費、更には解かせるつもりが感じられない程に難解なセキュリティ等のデメリットに違わぬだけの絶大な、絶大と形容する他無いだけの威力を有している「兵器」。弾体自体に攻撃能力を持たせるのではなく、付与されたシステムにより対象範囲の空間そのものに働きかけ、「破壊」ではなく「消滅させる」という、従来までの基本であるエネルギー系兵器とは根本から異なるものである。管理局として現在唯一闇の書へと有効打を与えられると目算されているものであり、旧暦以来長らく「歴史」として眠りについていた遺物。同じく古き時代より続く因縁へと終止符を打つべく、此の度それを歴史の片隅から引つ張り出してきたのである。

勿論、それを使うに当たっての「保証」など何も無い。理論上は成立しているとはい

え、「時空管理局」としては一度たりとも実際に運用した記録など無いし、兵器の性質上、万が一にでも失敗すれば即ち大惨事へと繋がるのだ。

加えて、仮に「成功」したとしても、その引き金を引いた者が、GOサインを出した者達が社会的に無事で居られる可能性は極めて低い。事が事だけに、帰還すれば当然公にせざるを得ないのだが、そうなればその「手段」を問われるのは自明の理。乱世における悪魔の兵器を呼び覚ました者達として、或いは直接刃を以て幕を引いた場合以上の糾弾を受ける事も想像に難くない。

そんな現実に対し「身勝手」という感情も当然湧くだろう。だが、喉元を過ぎた恐怖の温かさを保つのは、それを口にする事より遥かに難しいのだ。闇の書が引き起こす事案は何れも「根絶やし」同然の凶悪さであり、かつ発生する周期にはかなりの隔たりがある。今こうして相對する者の中においても、「実際に」闇の書が脅威と対面した経験があつたのはそれこそ老齡の隊長ぐらいのものであり、例え管理局全体を見回したとしても、それこそ数える程も居ないのだ。お伽噺同然の脅威そんざいへ警鐘を鳴らすなど、大衆にとっては道化以外の何者でも無いだろう。

幾ら警察的機構とはいえ、縁もゆかりも無いような事件ものの為に命を賭け神経をすり減らし、しかし一切の賞賛も無くあるのは安全圏からの一方的な非難のみ。管理世界は元より、そういったものと未だ縁のない管理外世界であつても真つ向から異を唱えたくな

る、そんな理不尽。だが、そんな事はこの場にいる皆が承知の上であり、その事実を知りながらも、誰一人としてその作業の手を止める事は無い。

例え剣を持たず、戦場を翔けずとも、彼らもまた散つていった者達と同じく戦士。その内へ宿す闘志に貴賤は無く、その道を志した原初の信念に嘘偽りは無い。その魂は、彼ら人間の持つ「輝き」は、如何なる恐怖や理不尽にさえも打ち勝てるだけの可能性を秘めているのだから。

そうして黙々と、しかし確固たる意志を以て進められてゆく「詰め」の一手。だが、滞りなく事が運ばれる中において唯一人、その女性——時空管理局・巡航VI級9番艦「ルクレツィア」の長を任せられている人物だけが、自席にて顔を伏し沈黙していた。

その理由はと云えば、彼女——若き艦長が、この場にいる者達とは多少ばかり毛色が違う為であろう。他の面々が少なからず「打倒」の言葉で取り繕った負の感情により動いている中で、彼女だけは唯一人、最後まで闇の書の主との交渉、和解の余地を信じていたのである。彼女自身、その為にこの役目を引き受けた節がある程である。だからこそ、自身の信じていたものが容易く蹴散らされ、あまつさえ慕っていた人物が無残にも散つていった事が大きなショックだったのである。

彼女の持つ「甘さ」と態度は、張り詰めたこの場せんじょうにおいては不適切と思える程に違和

感があるのもまた事実。しかし、誰一人としてそれを咎めたり、或いは陰口叩くような事はしなかった。

確かに、彼女の姿勢は戦闘者としては「温い」ものなのかもしれない。だがそれは、「管理局員」として、また「正義の味方」としては正しき姿でもある。唯でさえ修羅の道へ堕ちつつある他の局員達は、それこそ彼女の存在が無ければ「唯の人殺し」にまで身を棄していた事だろう。彼女の甘い、人間を信じ続けるその心こそ、ある意味では局員達を「人間」に留まらせていたともいえる。

「……全工程、間もなく完了します。

艦長、承認キーのご用意を」

故に、内心において感謝こそすれ、本心としては決して軽んじたり、蔑んだりはしない。それは、平時では冷たい程にそっけない態度を取るこのオペレーターも同じ事。決断を要する場面において愚図ついたり、非情さが求められる時に綺麗事ばかりを言う艦長へ厳しい事を何度も言いはしたものの、その内心では隊長とは別ベクトルで、同じくらいに尊敬しているのである。

だからこそ、その「引き金」を引かせる事も、内心では非常に心苦しい。

その規模と威力故に、ハイ／ローの両面において嚴重なセキュリティが掛けられてい

るのは当然の事。そして、最後の「鍵」はこの場において最も地位の高い者……つまりは、誰よりも優しい艦長へと委ねられる。そんな彼女が、闇の書の主を仲間の遺体諸共焼き払わねばならないのである。促す立場であれば、心苦しくもなるだろう。

「……艦長？」

だがそれでも、引き金を引かなければならない。そうしなければ、本当に犠牲が無駄となつてしまうから。また、同じ悲劇が繰り返されてしまうから。

故に、彼女は今一度問いなおす。もしかしたら、何時も異常に厳しい物言いとなるかもしれない。けれど、それでもやってもらわなければならぬのだ。だからせめて、それだけの「覚悟」を有していると信じて、これに乗れ越えて尚、彼女が彼女で居られる強さを持っていると信じて問いかけた。

「ああ、済まないがソレの使用は認証しかねるな。

無知な存在が振るう武器ほど、この世で危険な物は無いからね」

しかし、返された答えは、そんな祈りを纏めて凍てつかせるだけの絶望に満ちたものであった。



放たれた声に、いる筈の無いその人物の発言に、局員達の手が止まる。しかし、注目を集めた当人はと言うと、乱れ一つ無い騎士甲冑の上から提督用コートを羽織り、艦長席において自然体。どこから持ってきたのか、片手では管理局の正装用の帽子を遊び、まるでそこが最初から自分の居場所であると 言わんばかりの態度であった。

そんな馬鹿な ありえない

各々が様々な表情でその光景を目撃しつつ、抱く感情は共通しており、また彼らにしてみればそれこそが当然の感想でもある。

モニターには依然としてシフトロゼツクの姿が映し出されており、それは単なる映像のみならず、種々の観測機器が導き出している結果でも同じ。間違いなく、闇の書の主は彼らの足元より遙かに下、管理外世界の地表に「居る」のだ。人間や各々が携帯するデバイスといった、比較的外的要因の影響を受けやすいものとは訳が違う。どれ程外面を取り繕い、またその感覚を欺こうと、全てを等しく、まるで其方こそが真実であるかのように演出するなど到底考えられないし、それは最早「欺く」という次元を遥かに超えている。

加えて、場所が場所である。現在彼らがいるのは、武装局員達が戦っていた管理外世界の衛星軌道上に位置する次元航行艦の、様々なセキュリティが施されたそれらの中で

も一際厳しい「頭脳」に当たる場所。単純な飛行は言わずもがな、転移などを以てしてもそう容易に入り込める場所ではないし、何よりシュトロゼツクはつい先程まで眼下で戦闘を行っていたのだ。如何に闇の書の主とはいえ、大規模な転移術を準備する暇は無かった筈であるし、仮に予め用意していたとしても、文字通り「一瞬で」場所を移すなど到底考えられないのだ。それこそ、始めからそこに居ない限り。

「そんな……どうして。」

一体、何で……」

無論、そんな事は例え普通ではなくとも「あり得ない」。綴り手の望むがままにできる御伽噺の中ならばまだしも、ここは条理や法則で律せられ、それによって成立している現実の世界。どれ程膨大な魔力を有していようと、人知を超えた高い制御能力を有していようと、単なる力押しだけでは決して叶えられないものが、この世の中には確かに存在しているのだ。

しかし、それを闇の書の主は成し遂げた。時間や空間といった神聖不可侵なる「壁」を、局員達の目の前で越えて見せたのだ。オペレーターの口から、思わずそんな疑問よわねが漏れ出たのも仕方の無い事だろう。己の理解が及ばぬ存在に対して、人間という生き物はどこまでも無力なのだから。



「どうして、か……中々に面白い事を言ってくれ。」

いや、君達にとってはそれが普通であり、限界でもあるか」

懇願にも似たその問いかけに対し、嘲りと満足の表情を浮かべるシウトロゼック。その姿は、一瞬でも隊長へ「恐れ」の色を見せた事が、その全てが演技であつたのだと、そんな確信を抱かせるには十分過ぎるものであつた。

怒り 恐怖 憎悪 e t c .

様々な感情が渦巻きつつ、しかし律儀にも大人しく回答を待つ局員達。それはまるで、良く訓練された……頭を垂れるべき相手が持つ「恐怖」を、骨の髄にまで染み込まされた動物の様にさえ見える。

そんな光景を見届けたシウトロゼックは、一頻りその優越感を愉しんだ後、哀れな子羊達が求めてやまない「解」<sup>こたえ</sup>を口にした。どす黒い腹の底より湧き出た、この上無く邪悪なる笑みと共に。

「ならば、逆に尋ねよう。」

——何時から、此処にいるのが「本物の」艦長であると錯覚していた？」

その言葉で、彼女達の心は完全に折れた。

虚ろなる身と成り果てた局員達は、最早自らで思考をする事も儘ならぬ人形にも同じ。全工程を終え、引き金を引くのみとなった艦載兵器がGOサインを出そうと、艦のレーダーに味方のものではない影が映ろうと、シュトロゼツクが虚空より十字杖を取りだそうと、ぼんやりと目の前の視覚情報を瞳で受容するのみ。

彼女達が抱き、信じ続けてきたその「信念」は、単純かつ絶対的なる「力」の差を前に、只々沈黙し続ける事しかできなかつた。

『あり得ない』という事象それ自体が「あり得ない」。

幼稚な言葉遊びではあるが、私の世界にとつてはそれこそが絶対なる法則ことわりなのだよ。尤も、君達では理解の及ばぬ事ではあろうし、もう関係も無くなる事だろうがね」

そうして、次元世界の片隅で一つの部隊が姿を消した。

しかし、その事実は歴史はおろか、管理局の記録にさえ残る事はなかつた。そもそも「最初からいなかつた」者達であつたのだから、或いはそれも必然なのかもしれない。後に残る「真実」は、只試作型の「何か」を搭載する「予定」であつたVI級の次元航行艦が一隻、「諸事情」により廃棄されたという事実のみ。

戦いの歴史とは敗者の歴史。戦場に散つていったその魂が礎となり、勝者の手により

紡がれるものこそが“歴史”となる。だが、物言えぬ敗者は勿論、勝者となった者達にその心得が無くては、歴史は歴史として成り立ちほしくない。今回のそれもまた同じ事。悲しき信念を背負い戦った者達の存在は、歴史の闇となる事さえ叶わず、永劫なる刻の狭間を彷徨い続けるのである。

——唯一つの“例外”を除いて

## 【実況】第X次管理局戦【参加自由】

5 2 4 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 I D : k y 0 c . j u n e

(A A 略)

5 2 5 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 I D : k y 0 c . j u n e

&gt;&gt;524

職人w w w w w

5 2 6 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 I D : k y 0 c . j u n e

くそこんなのでw w w w w

5 2 7 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 I D : k y 0 c . j u n e

&gt;&gt;524

ワロタw w w w w w w w

5 2 8 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

腹痛え w w w w w

5 2 9 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>> 5 2 4

こんな時ばかり仕事早すぎだろ w w w

5 3 0 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

『あり得ない』という事象それ自体が「あり得ない」。

幼稚な言葉遊びではあるが、私の世界にとってはそれこそが絶対なる法則なのだ

「9」

(A A略)

5 3 1 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>> 5 3 0 や w w w め w w w ろ w w w w

5 3 3 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

これ程までに（キリツつてのが似合うのもそう無いよな

5 3 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

『あり得ない』という事象自体があり得ない」

だっておwwwwww

(AA略)

5 3 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

ホンマ当代は名言の宝庫やでえ

5 3 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

ああも自然に口から出るとか才能だよまじで

5 3 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

黒歴史では済まされない

5 4 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

しかも言っている内容がまたね

5 4 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

勘違いし過ぎワロス

5 4 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

思わず「お前がそう思うんなら」と返したくなる発言だな

5 4 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

凄いなー格好良いなー憧れちゃうなー(棒)

5 4 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

つかそこまで言うなら我々の力抜きで戦ってみろよ。ん?

5 4 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

不可能は無いと断言される主殿ならお一人でもきつと大丈夫ですよ

5 4 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>5 4 4 >>5 4 5

そんな事は『あり得ない』(キリッ)

5 4 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>5 4 6 ワロタｗｗｗｗｗｗ

5 4 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあ当代の実際の実力なんてセコイ幻術ぐらいのものだからな

5 4 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

それだって良くて中堅程度だろ

我々を使う事に慣れちまった今となつてはその地力もどれだけのものか

5 5 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

もう何処まで自分本来の力なのかも判つてないんだろうな



5 5 1 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

我々を行使できるつてのは本来ならそれだけでも十分凄い訳なんだが

当代の場合本当に「それだけ」だからなあ……

5 5 3 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

なお実力に反比例し口だけはよく回る模様

5 5 4 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

口だけは達者なトーシロとはこの事か

5 5 5 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

只の力カシですな

5 5 6 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

普通ならそれも「強さ」にできる筈なんだがな

当代の場合そんな気も起きないという

557:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

勘違いした挙句身の丈に合わない力を振りかざしてるからだろ

自分の弱さを認めた上での手段の一つならまだしも

558:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

本人だけの戦闘能力じゃシャマル先生にさえ負ける体たらくなのにな

隊長さんの手前「実年齢」を言い訳にもできないし

559:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

まあそんなシャマル先生も無強化で棧瓦10枚を粉碎できる剛の者なんですけ

どね

560:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

怖すぎワロタ

561:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

守護騎士の例に漏れずキワミも装備してるしな

5 6 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そもそもがマッポー的時代で武勲を残したであろう人物だからな

そらモヤシの現代人とはレベルが違いますわ

5 6 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

精神的な根本で別次元って事か

5 6 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

流石古代ベルカの英雄は格が違った

5 6 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

それに比べ当代ときたら……

5 6 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

でも根回しとか何とかって間違いない当代の実力じゃないですか(震え声)

567：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

計算と演出による奇跡がどうたらという奴か

確かにその辺りの用意だけは周到だよな

568：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

丁寧にも階段の下へポルポルを戻すDIO様みたいなもんか

569：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

違うのは絶望的なまでに実が伴っていない事だな

570：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

確かにあれも実力なのかもしれないが姑息というか何というか……

571：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

「正々堂々一騎打ち」しか認められないとか大概ベルカ脳に染まってるな

まあそれでも当代が姑息である事に変わりは無いが

572 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

>>>571

その考え方もミッド系の偏見というか冗談の一つだけだな

実際には不意打ち袋叩き上等だったし

573 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

むしろそれを超えてこそ一人前的な風潮だったぐらいだしな

まあこれ以上は話が逸れるが

574 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

別に幻術とかをデイスるつもりは全く無いんだが、何か当代のは違うんだよなあ

…

575 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

計画というか思いつくだけ思いついて後は我々の力任せだからじゃね?

576 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

言われてみれば確かに。当代が何か努力したつてのは無いよな

577 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

まあ大抵の事であれば実際我々の力押しでどうにでもできるからな

努力しようとする土壌は生まれんさ

578 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

「勝利を得るための唯一の道」じゃなくて

「数ある中でも特段下賤な道」だからな当代の場合

579 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

姿勢というか何とと言うか、兎に角当代つて人間そのものが姑息な感じなんだよ

580 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

随分な言われようだな。否定も擁護もしないが

581 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y o c . j u n e

先の戦闘の戦果も殆ど我々のものだしな

局員達仕留めたのも分身という名の我々な訳だし

5 8 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

艦長席でネタばらしの時までずっと待っていたのも我々です

5 8 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

じゃあドヤ顔で語っていたのは?

5 8 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>> 5 8 3

それも我々だ

まあ言葉自体は当代の意志に依るものだけど

5 8 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

ちなみに本体は今も地表で全力ステルス張って悶えているアレです

588：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

改めて聞くと酷いとか情けないとか

589：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

隊長さんのアレに心底ビビってたのは覆しようの無い事実だからな

マジで機能不全に陥ってたし

590：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

まあ不全だったのは100%主の側だった訳だが

592：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

言うても隊長さん実際チート級だろ

いくら歴戦の勇士だからって守護騎士四人を一人で倒しきるとか

593：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

アレは確かにビビったな



その上で尚主とドンパチやらかすだけの余力残してたって事だもんな

594 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

これまでそんな事あつたつけ?

595 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

騎士を倒したのはいたけど、一人で四人を相手にして尚且つ勝つちまうのは初め

ての筈

596 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

本来指揮を執るべき人物がこの上無く糞つてのもあるがそれでも十分凄いよな

597 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc. june

「格が違う」ってのは正しくああいうのを言うんだらうな

肉体の衰えと実力のそれが比例してないっていう

598 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

成長と言つてよいのか判らんが、兎角隊長さんに関してはりアル右肩上がりだからな

まさかあのもやしつ子が最強クラスの兵になるなんて誰も想像できないだろ

599 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

負の感情ではあるがその怨念というか執念こそがあれだけの力の根源なんだろ

うな

601 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

そんな人相手にあんな事言つちやう当代つて…

602 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

まあ主の勘違いは今に始まった事じゃありません

604 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

何でもできるくらい大きな力が手に入れば人間誰しも増長するさ

それで困る人がいるのもまた事実だが

605：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

当代の人間性が屑である事に変わりは無いけどな！

606：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

相変わらずポロポロの評価だなしかし

607：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

いいぞもつとやれ（あんまり虐めてやるなよ）

608：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

>>607

本音と建前が逆になってんぞ

609：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

でもそんな当代でも一応一組織のトップなんだよなあ

610:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

あれを“組織”と認めるのであればな

611:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

精々が不良厨房達のヘッド程度やん

612:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

まあ騙しきるだけの口は達者ですしおすし

613:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

何より部下達も粒ぞろいのお馬鹿さん揃いという

614:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

いい年こいてお山の大将ですかそうですか

615:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

本当に良い所が無いんだな当代

616 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

主が糞つてのは今に始まった事じゃないが

617 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

マジで何か良い点とか何か無いの?

こんなのに使役されてる事が悲しくなってくるんだが

618 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

>>617

そんなものはない

619 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

艦長ちゃんを薄い本的展開にしなかった事だけは評価してる

620 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

俺はむしろ期待してたんだが

6 2 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

テロリスト達の船へと連れ去れてならず者達相手にひぎいか。胸熱

6 2 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>6 2 0 | >>>6 2 3

気持ちは判らんでも無いが別スレでやれ

6 2 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあ外見は兎も角中身の方は既にじーさんだからな>>>当代

今更“そんな気”も起きないんだろ

6 2 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

つまりこつそり掛けておいたED術式は関係無いと

6 2 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

&gt;&gt;627

そんな事してたのかよ

629:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

よもやいつぞやのアレを本当に実行するとは

630:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

これは酷い

634:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

つか連中が管理局の艦に積んでたアルカンっぽいものを回収しちゃった訳だが

その辺は良いのかよ

635:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

まあアルカン程度なら我々だけでも再現できるんだけどな

636:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

しかし現物が手に渡るのはまた別だろうて

6 3 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

どうせ連中に解析できるだけの頭脳なんてないだろ

量産なんてまず無理だし、精々1が2に増えた程度だ

6 3 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

管理局にしてみればこの上無い打撃であると思うんだがな

6 3 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

我々が野放しな時点で対して変わらんがな

6 4 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

それもそうだな

6 4 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

一応こっさりセーブしてるとはいえその気になれば惑星破壊も目じやないです



し

643:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

まあ艦長ちゃんから頂戴した制御キーも「うっかり」失くしちゃったから暫くは大丈夫だろ

644:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

「うっかり」で修復不能なまでに粉碎するとか流石です

648:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

流石に時間をかければ修理なり合いカギ製造なりできるだろうけどな

649:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

果たしてそれまで主は主でいられるだろうか

651:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

そういや一つ当代の長所見つけた

この年まで主やつてる事だ

652:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

何気に最長記録なのか?

654:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

言われてみれば確かに。歴代は早々に暴走して乙つてたからな

655:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

ぶつちやけ暴走にさえ至れない程貧弱な資質とチキンハートの所為で(ry

656:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

>>655

シート

657:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

>>655

それだけは言わないであげて

660 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

とことん世俗的な下衆さがある意味では延命に繋がってるんだよな

世界をぶっ壊すよかちまちま盗みを働く道を選ぶ輩だし

661 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

堅実というか臆病というか

662 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

どうしてそれを真つ当な道で活用しないと思わないのか

663 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

上でも拳がってたが何でもできちまうだけの力が手に入ったからだろ

誰だつてそーなる。俺だつてそーなる

664 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

当代を認めるつもりは欠片もねーがそれだけは否定できねーよな

665:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

所詮我々も人間だもの

666:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

もう暴走でもして皆タヒねば良いんだよ

667:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

まあ何れはそうなりそうだけどな

668:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

インガオホーという奴か

669:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

シヨツギヨムジヨ!

670:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID : kyoc . june

にしても最近どこかで見た事あるようなもの多過ぎるとおもうの

671 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

確蟹

673 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

人間だけじゃなく物事の運びもそんな感じだからな

細かい所挙げれば違うのかもしれないが

674 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

ぱつと見同じようなもんだろ

675 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

こいつら元ネタ知ってるんじゃないのか? ってぐらいまんまなのも多々ある

しな

676 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y o c . j u n e

これ以上は権利者が黙っておりませんぜ

6 7 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

悲しいかな現在では申し立てる相手もないけどな

6 7 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

今回戦った隊長さんもまんま総隊長だったしな

ローブに西洋剣と装備は見事に正反対だったけど

6 7 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>678

そんな事言つてたらキリがないさね

6 8 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

となるとやっぱ当代は愛染か

6 8 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあそうなるよな

狙つてるとしか思えないような要素が露骨に見られるし

6 8 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地)

5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

アイゼン違いならもう間に合ってるんだが

6 8 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地)

5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そういやそうだな

6 8 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地)

5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

言われてみれば確かに

6 8 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地)

5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

でも当代も正しく相然だろ

自分こそが世界の全てって感じだし

6 8 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地)

5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

「I全」ってか

解説が必要なネタ程寒いものは無いな

6 8 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

なお>>687以外は全員理解していた模様

6 8 9 : 6 8 7 : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3 ID : k y o c .

j u n e

なん…だと…??

6 9 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

これは恥ずかしい

6 9 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>687

一体何時から「解説が必要である」と錯覚していた?

6 9 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3



ID : ky0c . j u n e

>>>687

あまり強い言葉を (ry

694 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

ちなみにどうでも良い事だがアレの本名は「藍」色に「染」めるだ

695 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

ついでに我々のはGra<sup>鉄</sup>fのEi<sup>伯</sup>se<sup>爵</sup>ena

696 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

後当代のフルネームはStrosek Techart

隊長さんの方はCarlsson Vemac Ahler smeyerだ

697 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

>>>696

本当にどうでもよい知識をドーモ

698：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

>>696

これもまたどつかで見た事あるような名前だな

699：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

どうせ自動車メーカーか何かだろ

701：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

まあどこかで見た事あるようなのは今回に限った話じゃないけどな

今回ののは特にあからさまだが

702：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

大抵のは突き詰めると我々に原因があつたりするんだが

703：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

認めたくないものだな、若さゆえのなんとやら

704 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13  
 ID : kyoc . june

ろ  
 しかし待ってくれ。一時期異常発達したNINJAもとい忍者は関係ない筈だ

SAMURAIやBUSSHIDOは我々が流布したアレだが

705 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

あれは酷かったな

706 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

我々が言うのもなんだがあれ程の理不尽はそう類を見ないよな

707 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

理不尽が服着たような連中だったしな

708 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

一部じゃ神格化されてるとかなんとか

709: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

この時代でさえそうなるのか現代じゃどうなっちゃうんだよ

710: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

出会っただけで失禁するとか?

711: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

何それ裏山けしからん

712: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

アイエエエエツ!?

715: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

しかし実際の所なんでまたこうも「見たことある」ものになるのか

716: 住人の名前が…消えた…?: 5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

知らんがな

7 1 7 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

改めてそう言われても困る

7 1 8 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

別に全部我々が命名したり開発してる訳じゃないしな

仮にそうだとしても全部そうなるなんてそれこそ『あり得ない』し

7 1 8 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

「あり得ない」強調で草不可避

7 1 9 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

この世界の住人達が二次元脳過ぎるんだろ

7 2 0 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

元々二次元な世界の住人に二次元脳言われても

7 2 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 ID : k y o c . j u n e

案外当代の言う「脚本」だとか何とかが本当だったりしてな

7 2 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 ID : k y o c . j u n e

この世界もまた筋書きのある二次元世界ってか

7 2 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 ID : k y o c . j u n e

そんな事を言っていた当代も結局は道化に過ぎなかったけどな

7 2 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 ID : k y o c . j u n e

リイボンズウウツ!!

7 2 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3  
 ID : k y o c . j u n e

>>>725

お帰り下さいませ大使

7 2 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

まあ多分そこまで深く考えて発言した訳じゃないと思うけどな

7 2 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

その場のノリとふいんきだけであんな事言えるとか流石です

7 3 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

なんか昔そんなアニメがあつたような希ガス

7 3 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

パワーアップしてゆくだけの殺し合いはもう沢山だ!

7 3 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

>>731

それはまた別物だ

7 3 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

>>>731

際限なくパワーアップはしてるが殺し「合い」にはなっていないよな

736：住人の名前が…消えた…?…5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

つまりこんな我々の発言もそれを管理する脚本家に依るものなのか

737：住人の名前が…消えた…?…5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

なら我々が底辺に甘んじている理由も納得だな

「登場人物」の頭脳は作者の頭に比例するって言うし

738：住人の名前が…消えた…?…5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

お、おう

739：住人の名前が…消えた…?…5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

せやな

740：住人の名前が…消えた…?…5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june



何とも反応に困るレスだなしかし

7 4 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあこんなところで小難しい話してもしゃーないだろ

どうせ結論なんて出ないんだし

7 4 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

だな、どうせならもつと判り易い話題にしようや

7 4 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

となると最近ますます磨きが掛かっている敵無しな状態についてか

7 4 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

No. 22と27が完全に消化吸収されたのもあるのかもしれないが

それでも最近の戦力差の広がりっぷりは著しいよな

7 4 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

我々が強化されてるのもあるがそれ以上に周りが弱体化してないか？

隊長さんクラスとまではいかずとも、昔はそれなりに猛者もごろごろしてただろ

749：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

弱くなったというか大人しくなった感じだな

一昔前まであつた情け無用・命無用な風潮も見られなくなったし

750：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

>>>749

どこのレッドシヨルダーだ

751：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

この首、金30億ミツドル也

752：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

変な貨幣単位捏造すんな

753：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID : k y o c . j u n e

実質的な「謝礼」みたいなのはあるけど、今の管理局は懸賞金制度設けてないだ  
ろ

7 5 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そら犯罪者の首に金掛けるなんて管理しきれない世紀末のシステムだからな  
基本「逮捕」がスタンスな管理局としてはそんなの設けられないだろ

7 5 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

必要最低限治安が維持できれば過剰な戦力は要らんからな

維持費だつて馬鹿にならんし

7 5 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

危ないモンはとつとと封印しちまうに越したことは無いしな

7 5 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

時代は獅子ではなく河馬を求めているのさ

7 5 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

世間が平和に向かっていいる中で我々だけが戦争に取り残されてるんだよな

7 6 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>758

まさしくこんな感じだよな。残党( )さん達に關しても

7 6 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

一体みんな誰と戦つて( r y

7 6 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

やっぱミッドチルダ系国家なんじゃねーの

相手にはされてないが

7 6 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

どう考えても敵対国家じゃなくて一部の面倒な連中ぐらゐの認識しかないよな

7 6 5 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

実際その通りですしおすし

7 6 6 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

確かにベルカとミッドとじや因縁があるのかもしれないが

別にあいつら自身が直接関わっている訳でも無いだろ

7 6 7 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

全面戦争やってたのも随分昔なものな

7 6 8 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

共存って道は無いのかい

7 6 9 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

無いからこうして馬鹿やってんだろ

7 7 1 : 住人の名前が…消えた…? …5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

結局連中が嫌なのってミッド系が幅を利かせている事じゃなくて

自分達为中心じゃない事なんだろうな

7 7 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

&gt;&gt;&gt;771

だな。融和路線だった陛下の事も「偽善に塗れた王女」とか散々けなししてるし

7 7 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

お前それ本人の前でもそんな事言えんの? って感じだよな

7 7 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

陛下が許しても周囲が許さないだろうけどな

7 7 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そもそもおまいらのご先祖様が生き延びれたのもその「偽善」のおかげだと小一

時間 ( r y

777 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13  
 ID : kyoc . june

>>>775

これを判つて無い奴が多すぎてマジで困る

778 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

現在の「夜天」の力だつて昔からの積み重ねによるものだしなあ

当代は全部自分一人のものだと思つてるみたいだけど

779 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

他人の力で偉そうにしちゃう男の人つて……

781 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

まあベルカの名士とかは殆ど音沙汰無いしな

現状一番判り易い記号を持つてる当代が音頭を取り易いんだろ

782 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

「血筋」なんてのは判りにくい最たる例だからな

一応それ以外でも伝承方法はある筈なんだが

783：住人の名前が…消えた…？…55555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

でも虹色発現した人なんて確認してないぜ？

785：住人の名前が…消えた…？…55555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

イングヴァルト家もあれつきりだもんなあ

本家は言わずもがな分家も散り散りで血も薄まつてるだろうし

786：住人の名前が…消えた…？…55555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

となるとやっぱ一番大きな勢力なのはこの阿呆共になるのか

787：住人の名前が…消えた…？…55555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

まあ当代が纏められてるのはお世辞にも「騎士」とは言い難い連中ばかりだけど

な

788：住人の名前が…消えた…？…55555／13／10（地） 51：01：13



ID : k y o c . j u n e

どんなに鼻負しても古ベルカのモヒカン以下だる連中なんて

7 8 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

実際難民の中でも最底辺の集まりだからな

名前だけはご立派だけど

7 9 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

明らかに看板負けてるだろ j k

7 9 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあどれだけ当人達が正統性を主張しようと

管理局にとっては国どころか軍隊ですらないテロリスト認定ですし

7 9 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

テロリストだ (キリッ)

7 9 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

>>793

お前は大人しくゴウウされてろ

795 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y 0 c . j u n e

6tさんは決闘者としての腕前もかなりのものだろいい加減にしろ!

796 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y 0 c . j u n e

初期手札を倍要求しちゃうくらいのリアリストだけどな

797 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y 0 c . j u n e

そして自分諸共爆破しちゃうドジっ子でもある

798 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y 0 c . j u n e

爆弾で脅迫されるとかどうすりや良いんだよ

799 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y 0 c . j u n e

&gt;&gt;798

投ゲイル

800:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

&gt;&gt;798

元キン張り手

801:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

&gt;&gt;798

満足ガンアクション

802:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

&gt;&gt;798

蟹の一本釣り

803:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

&gt;&gt;802

釣られんな

804：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

>>>802

嘘みたいだろ…？…こいつ、主人公なんだぜ…

805：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

素直にジャツジ呼んどけ

806：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

ジャツジ

807：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

話を戻すが言い訳付けて略奪してる時点で軍隊も糞も無いわな

トップである当代がそれをほったらかしにしてるし

808：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

そら犯罪者認定されませわ

809 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc · june

むしろされない要素が欠片も見当たらない件

811 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc · june

とりあえず当代は屑つて事でおk?

812 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc · june

当代「も」だろ

813 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc · june

遊星さんですら弁護できない程の屑つぷり

814 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc · june

どうしてこうなった

我々による汚染以外の理由で何か

815:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

>>814で終わつた

816:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

>>814

そんなものは(ry

817:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

幼少の折から「ベルカの武勇伝」聞かされて育つたからじゃね

問題はその内容が著しく偏っている^捏造されてる事だが

819:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

あんなのを子守り歌にされりやそらコンプレックスの塊にもなりますわ

820:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

どうしてあんな裏付けも何も無いご都合主義塗れな話を信じるのやら

8 2 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

誰か一人ぐらい疑えよって話だよな

8 2 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

最早国と言ってよいのかってぐらいベルカ自体が悲惨な状態だからな

妄想に縋りつきたくもなるんだろ

8 2 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

異を唱えられる人もいないし、連中が白と言えば白になるからな

8 2 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

一方ミッドは順調に繁栄を続けていた

8 2 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

ベルカの「残党」以外は目立った問題無いしな

表立ってはいないが難民も少しずつ受け入れ姿勢を見せ始めてるみたいだし

8 2 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

一時は存在そのものが畜生外道みたいな言われ方してたのにな

8 2 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

向こうもまた世代が移り変わったって事だろ

8 2 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

時代の流れで敵対感情が薄れたのもあるが

受け入れる余裕が生まれたって事が一番なんだろうなやつぱり

8 3 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあ立場が逆でも同じ事してただろ多分

根本的には同じ人間な訳だし

8 3 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

だな、本来のトップが実際そんな人だったし



832: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

豊かさが心の余裕に繋がる良い例なのーね

834: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

ミッドとベルカ、どうしてここまで差が付いたのか…: 慢心、環境の違い

835: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

昔の人達はさておき今じゃどっちも当てはまりそうだから困る

836: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

これだからゆとりは

837: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID: kyoc. june

>>836

世代で括るには少々範囲が広すぎますぜ

838: 住人の名前が…消えた…?…5555 / 13 / 10 (地) 51:01:13

ID : k y o c . j u n e

ジジイになつてもなお “お子様” な輩が身近にいるしな

8 4 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

つかそもそも今つてベルカ歴何年よ

8 4 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

ログ辿つて計算すれば判るかもしれんが計算すんのが面倒だから判らん

8 4 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そろそろ我々も新暦というかミッドチルダの暦に合わせる方が良いんじゃないやね?

8 4 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

コンセプト的には両方つかあり得る全てを記録するのが正しいんだろけどな

8 4 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

( A )

846：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

>>845

見事なまでに今の我々の気持ちを代弁したAAだな

848：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

まあ記録自体は勝手にされてるだろうけどな

849：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

我々が重ねてきた罪の記録もな

850：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

我々に関してはその歴史そのものが罪状リストだからな

非常に判り易い

851：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

断罪か!? 贖罪か!?

852：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

>>851

懐かしいな。彼についても昔そっくりさんがいたが、子孫は元気だろうか

853：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

できればのどかな田舎とかで呑気にやってほしいもんだけどな

854：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

担いだ手が血に濡れていようと、その子どもに罪など無い

むしろ、先祖のわだかまりを吹き飛ばすのが次代の役目よ

855：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

その為の「後始末」をするのも本来なら大人の役割なんだろうな

857：住人の名前が…消えた…?…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

何時か我々もそんな事をする日が来るのかね

858 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

それまで我々がそのまんまでいらればの話だけどな

859 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

>>858

戦闘能力は兎も角中身そのものなんて何一つ変わってないだろ

変わり映えしなすぎて飽きてきたくらいだ

861 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

まるで成長していない……

862 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

>>861 そのフレーズも何回目だか

863 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : kyoc . june

>>862

聞きたいかね？ 昨日までの時点では89554回だ

864：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

マジレス乙

865：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

同じ事を何千何万年も繰り返してりやネタの枯渇ぐらいするわな

866：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

蒐集物自体は順調に集まっているというのに

868：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

別にあれがそのまま我々の身に付いている訳じゃないからな

や、確かに身についてはいるんだが

869：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51…01…13

ID：kyoc・june

中の人たる我々自体にはなんらインプットが無いんだもの

成長する筈がない

871：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

まあそもそもこんなスレに生産性とかを求める事自体がお門違いなんだが

872：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

元々掃き溜めだもんな

873：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

それを言っちゃあおしまいよ

874：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

しかし掃き溜めとはいえ現状唯一の娯楽手段だ

何か新しい話題は無いものか

875：管制人格：5555／13／10（地） 51：01：13 ID：kyoc・

june

下っ端の一人が管理局の船に隠し倉庫？っぽいものを発見したらしいんだがど

うする？

877：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

なんだそりや

879：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

「とろみ」をつける粉でも運んでたのか？

880：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

輸送船ならまだしも戦艦にそんな余裕無いだろ

そもそも管理局が本気で隠したら下っ端程度じゃ見つけれないだろうし

881：管制人格…5555／13／10（地） 51：01：13 ID：kyoc・june

june

や、隠し倉庫ってか後から無理矢理くつつけたような感じだったらしい

見つけたのも本当に偶然っぽいし

884：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june



中に何が入ってたか判る？

885:管制人格:5555/13/10(地) 51:01:13 ID:kyc.

June

小型のカプセルが一つだけらしい

ちよつと遠隔操作で先に解析してみるわ

886:住人の名前が:消えた...?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyc.june

頼んだ

885:住人の名前が:消えた...?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyc.june

さらりと実行したが遠隔解析とか普通に凄いやな

今更驚きも何もしないが

886:住人の名前が:消えた...?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyc.june

とりあえず解析が終わるまで待つか

887:住人の名前が:消えた...?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyc.june

場つなぎでも良いから他に何か話題無かったつけ？

888：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

今回の戦闘以外で最近あった事と言えばアルハからと思しき脱出艇？拾ったぐ  
らいか

中身は瓶詰冷凍人間一人だけだったけどな

890：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

即廃棄された名もなき人カワイソス

891：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

まあ目ぼしい物も無かったしな

そもそも本場に「脱出」目的で使われたのかも判らんし

892：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

古き良き冷凍流刑か

実際その可能性もあるよな

894：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

つかあのアイスマン（仮）どっかで見た事ある気がするんだが気の所為か？

895：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

原作キャラか？

今年だと思ってるんだよ

897：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

紫髪でアルハ出身でしかも男だぜ？

そんなのいないだろ

898：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

どうせ名無しのモブか何かじゃね？

そもそも野郎が活躍したところで誰も喜ばんし

901：住人の名前が…消えた…？…5555／13／10（地） 51：01：13

ID：kyoc・june

なんか悪の親玉とか狂気のマッドサイエンティストでそんなキャラがいた気がしたけど

もうどうでも良くなってきたわ

902:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

個々人単位じゃその「原作知識」も大概あやふやになってきたけどな

903:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

とりあえず幼女達が活躍して適度にチラリズムしてくれば俺はそれで満足だ

よ

904:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

>>903御用

905:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyoc.june

おかげで一体何がどうなってるのか最早管理しきれないという

906:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID : ky0c . j u n e

元々管理する気なんて更々無かつたし、そもそも管理しきれぬモンでも無いだろ  
一つ石投げれば100羽の鶏が襲いかかってくるような世界だし

907 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

かの有名な蝶々効果というやつですかい

908 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

風が吹けば桶屋が儲かる

つまりこれは桶業界の巧妙なステマ

909 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

視力を失った人達による怒りの蜂起で桶屋が物理的に壊滅エンド

910 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : ky0c . j u n e

欲をかきすぎたが故の哀れな結末だな

911 : 住人の名前が…消えた…? : 5555 / 13 / 10 (地) 51 : 01 : 13

ID : k y o c . j u n e

当代の未来が見えるぜ

9 1 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

アレは未だに自分を強者だとも思っているのだろうか

9 1 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

傲慢って言葉が此の上無く似合うアレが自分を弱者であると認めるとでも?

9 1 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

だよなあ

9 1 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

妄想に溺れて自滅しちまえ

9 2 0 : 管制人格 : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3 ID : k y o c .

j u n e

そんな皆様に朗報。テロリストには凶報

随分昔に捨てたECウィルスって覚えてる？

勝手に解析を進めてた例のカプセルの中身がアレだったんだが

9 2 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

何だっけそれ？

9 2 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

過去スレ嫁

まあログの整理なんてされてないから無限書庫並みの難易度だが

9 2 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

基本勝手に記録してそれっきりだからな

数えるのも嫌になるぐらい量あるし

9 2 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

幾つか既に自然消滅でもしてそうだけどな

9 2 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

で、詳細は兎も角そのウイルスさんがどうにかしたって？

9 2 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

というか何でそんなヤバそうなものが管理局の船に？

9 3 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

戦闘が始まる前に漂流してたのを回収でもしたんじゃね？

9 3 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

それにしたって随分な管理方法だな

9 3 2 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まあ向こうの事情なんて知らんがね

今重要なのはそんな爆弾が閉鎖された空間の中でアホ共の手にあるって事だろ

9 3 3 : 管制人格 : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3 ID : k y o c .

j u n e



そうそう

しかも何があつたのか知らんが、大分ヤバめな方向に変質してるとばいし

9 3 4 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

まだそのウィルス達は生きているの?

9 3 5 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

変質してまで彷徨うぐらいのしぶとさだし生きてるだろ

9 3 6 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

むしろ生きていた方が面白い

9 3 7 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

何にせよもし万が一にでもカプセルが空いちまったら大惨事だろうなー(棒)

9 3 8 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そうだなー

空気感染とかしない可能性もゼロじゃないしなー(棒)

9 3 9 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

そもそも「ついうっかり」傷口とかに付着しちゃう可能性もあるしなー(棒)

9 4 0 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

>>>937 | >>>939

なんという外道三連星

だがそれが良い

9 4 1 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y o c . j u n e

無論アホ主達には伝えておりますまい

9 4 2 : 管制人格 : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3 ID : k y o c .

j u n e

勿論でございませえ

これはあつしただけの秘密でさあ

9 4 3 : 住人の名前が…消えた…? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

お主もワルよのお

9 4 4 : 管制人格 : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3 ID : k y 0 c .

j u n e

お代官様程ではございませぬ

9 4 5 : 住人の名前が : 消えた : ? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

なんだこのかつて無い程に活気に満ちたスレは

9 4 6 : 住人の名前が : 消えた : ? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

皆鬱憤が溜まってたんだろ

9 4 7 : 住人の名前が : 消えた : ? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

連中がタヒんでも誰も悲しまないしな

9 4 8 : 住人の名前が : 消えた : ? : 5 5 5 5 / 1 3 / 1 0 (地) 5 1 : 0 1 : 1 3

ID : k y 0 c . j u n e

むしろメシウマ

949:住人の名前が…消えた…?:5555/13/10(地) 51:01:13

ID:kyc.june

艦内のカメラとかをジャックして高みの見物と洒落込もうじゃないの

950:管制人格:5555/13/10(地) 51:01:13 ID:kyc.

june

ok

実況も終わったしスレを立てなおすかね

## 【戦つても】生物災害発生【生き残れない】

2 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

スレ立て乙

3 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

乙

5 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

乙。これはポニーテールであつてどうたら

6 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

(AA略)

7 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt;6

砂肝やめろ

8 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v

e | d R @ z h

迅速なスレ立てに乙せざるをえない

1 0 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

まあやる事なんてこれぐらいだけだし

1 1 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

管制氏は他にも抱えてるもんがあるんじゃないの？

あの深淵って確か……

1 2 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt;11

おっとそこまでだ

1 3 : 病原菌N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

ve|dR@zh

>>11

あまり余計な事には首を突っ込まない方が良いでしょう。長生きしたけりやな

15:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1i

ve|dR@zh

にしても随分なステイだな

16:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1i

ve|dR@zh

平穩無事で終わらせる気がこれっぽっちも感じられんぞ

17:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1i

ve|dR@zh

懐かしいなドラゴンナイトとか

18:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1i

ve|dR@zh

色々と厳しいと聞くが大丈夫か？

19:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1i

ve|dR@zh

キヤメンライダだから問題無い

2 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i

v e | d R @ z h

訳が無い

2 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i

v e | d R @ z h

こんな所まで追っかけてくれる輩もいないだろどうせ

2 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i

v e | d R @ z h

卑怯も辣蕪もあるものか

2 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i

v e | d R @ z h

そして名前の方も中々に

2 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i

v e | d R @ z h

オイオイこれじゃ…Me達が黒幕みたいじゃないか!

2 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 : I D : 1 i



ve|dR@zh

オイオイこれじゃ…Me達が黒幕みたいじゃないか!

28 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

>>26>>27

おまえら結婚してろ

30 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

実際半分くらいは我々が悪い訳だが

31 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

じゃあ残る半分は何よ

32 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

次にお前は「優しさ」と言う

33 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

そら「優しさ」ですよ

……ハッ!

34 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

ve | d R @ z h

ちなみにアレの「優しさ成分」は実際には1 / 4くらいだ

35 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

ve | d R @ z h

薬効が含まれてなけりや詐欺になっちゃうからな

37 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

ve | d R @ z h

言わずもがな我々にそんなものは含まれていないぞ

38 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

ve | d R @ z h

言われるまでも無し

40 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

ve | d R @ z h

残りはまだウイルスの所為という事で

4 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i  
 v e | d R @ z h

技術そのものに罪は無い。何時だつて罪はそれを使う人間により上塗られるもの

つてばつちやが言つてた

4 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i  
 v e | d R @ z h

となると95割我々の所為になるのかやはり

4 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i  
 v e | d R @ z h

聞かなかつた事にしようや

4 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i  
 v e | d R @ z h

そもそも今更罪の10や20増えた所で大局に変わりは無いの  
 気にしない気にしない

4 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i  
 v e | d R @ z h

そうして雪だるま式に増えてゆくんですね判ります

47:病原菌N|74::2230/69/91(傘) 51::30::20 ID::li

ve|dR@zh

>>45

なんという典型的な屑の思考

48:病原菌N|74::2230/69/91(傘) 51::30::20 ID::li

ve|dR@zh

>>45

これが底辺か

49:病原菌N|74::2230/69/91(傘) 51::30::20 ID::li

ve|dR@zh

>>45

ぐう畜

50:病原菌N|74::2230/69/91(傘) 51::30::20 ID::li

ve|dR@zh

>>47|>>49

つ鏡

5 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 v e | d R @ z h I D : 1 i

一瞬で黙ったな

5 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 v e | d R @ z h I D : 1 i

アキレス腱なんて目じゃない程に痛い所だからな

>>>鏡

5 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 I D : 1 i

v e | d R @ z h

誰しも現実を突きつけられりや押し黙るより他なし

5 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 I D : 1 i

v e | d R @ z h

まあ今更屑だ何だと言つてもしょうがないだろう

5 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 I D : 1 i

v e | d R @ z h

そんな事は判り切った事なものな

5 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0  
 I D : 1 i

v e | d R @ z h

しるかばか

5 9 : 病 原 菌 N | 7 4 : 2 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 ( 傘 )

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

そんなことより

6 0 : 病 原 菌 N | 7 4 : 2 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 ( 傘 )

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

お●にいだ

6 1 : 病 原 菌 N | 7 4 : 2 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 ( 傘 )

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

&gt;&gt;58|&gt;&gt;60

なんて品の無い五七五なんだ……

そして関連性がまるで感じられないという

6 4 : 病 原 菌 N | 7 4 : 2 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 ( 傘 )

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

まあ兎に角観測の方を始めようじゃないか

カプセルの方は今何処にあるん？

66 : 管制人格 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : live |  
 dR@zh

まだ発見した場所のまま

まあ多分この後科学者連中の所に運ばれるんだろ

67 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

スタートはやっぱ研究室とかになるのか

68 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

道端でおいそれと空ける物でもないしな

70 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

そんな簡単に滅菌される事は無いだろうが

一応我々の手で開封する事も視野に入れておいた方が良くね？

71 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : li

ve|dR@zh

確かに。そのままポイされたらつまらんものな

72 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

v e | d R @ z h

もう完全にバイオハザード起こす事確定な路線に入ってる件

73 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

v e | d R @ z h

そらそうよ。100年に1度あるか無いかのお楽しみなんだからな

74 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

v e | d R @ z h

これを逃す手はありませんまい

76 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

v e | d R @ z h

ここの住人も大概外道に染まってるな

否定する気にもなれんが

77 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1 i

v e | d R @ z h

>>70

一応それも選択肢に入れておくで良いんじゃない？



経年劣化で漏れだす程ヤワな容器には入って無いだろうし

見るからにヤバそうなあれを不用意に空けるような阿呆も流石にいないだろうから

78 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1i

ve | dR @ z h

>>77

その間抜けが一人いるぜ、此処にな

79 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1i

ve | dR @ z h

ちよwwwwww下つ端が勝手に開封しやがったwwwwww

80 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1i

ve | dR @ z h

下つ端wwwwww

81 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1i

ve | dR @ z h

なんという不用心

82 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1i

v e | d R @ z h

やっつけてくれるぜ全く

8 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

お宝か何かと勘違いでもしたのか？

それだって「上官」の許可もなしに勝手に空けるとかありえんだろ

8 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

確かにハザードシンボルそのものは消えてたが……

雰囲気で判らんもんかね

8 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

部下の教育の大切さが良く判る1シーンだな

8 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

何れにせよこの下つ端が感染した事は確定的に明らか

8 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

ve|dR@zh

思いきり顔を覗き込んでたしな

目に見える訳ないのに

90 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20  
ID : li

ve|dR@zh

何が始まるんです？

91 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20  
ID : li

ve|dR@zh

大惨事だ

93 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20  
ID : li

ve|dR@zh

つか前スレでも言われてたけど空気感染するっけ？

後そもそもECなんかがどんなものだったっけ？

94 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20  
ID : li

ve|dR@zh

詳しく語ると長くなるし誰か産業でまとめてくれ

95 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20  
ID : li

v e | d R @ z h

ベルカ原産

安定の古ベルカクオリティ

安全は投げ捨てるもの

9 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

&gt;&gt;9 5

何よりも判りやすい例えサンクス

9 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

&gt;&gt;9 5

これだけで伝わっちゃうあたり如何に古代ベルカが魔窟だったかが判るよな

9 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

v e | d R @ z h

全くだ

1 0 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i

i v e | d R @ z h

確か元々は医療関係の技術なんじゃなかったっけ？

102 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

“元々は”な

103 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

自然由来の治癒能力を大幅に活性化させて

欠損やら機能不全やらを克服しようとしたんだよな確か

104 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

ベルカ魂の例に漏れず最終的には戦闘目的の肉体改造に転用されたけどな

105 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

流石の脳筋民族

107 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

その成れの果てがあれですかい

108:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1

ive|dR@zh

あれ扱いすんなよ

近親技術は王族の肉体強化にも貢献した由緒あるものなんだぞ

109:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1

ive|dR@zh

陛下の実力は素だったけどな

110:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1

ive|dR@zh

あれだけ可愛くて強いとかマジ才能ってスゲーのな

勿論努力は人一倍してた訳だが

111:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1

ive|dR@zh

可愛いは正義

113:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:1

ive|dR@zh

つかそもそも陛下アレ関連の技術を軒並み嫌ってたですよ

だからこそ自分で片腕ぶった切ってまで義手導入した訳だし

114 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

あの根性を思い出すたびに陛下も生粋のベルカ人である事を再認識させられる

わ

117 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

お前から陛下談義も良いけどEなんとかさんの事も思い出してやれよ

118 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

>> 117

ならまづは名前を覚えてやれよ

120 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

まあ結局は「良くある」ものという事だろうな

121 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

あれを「良くある」と言えちゃうあたり流石の日本人である

1 2 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

これがゲーム脳という奴か

1 2 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

実際良くある破滅の黄金パターンだもの

1 2 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

玩具で世界征服とか企んじやう民族だしな

その程度であればホイホイ軍事転用しちまうさ

1 2 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

まあ元になったE細胞共々例によって我々には全く効果無かつたけどな

1 2 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

「何故効かない」と言われた我々でさえその理由が判らないという



127 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | dR @ z h

そもそも「肉体」の無い我々に肉体強化なんて出来る筈も無い訳だが

130 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

そこから発展した技術であらゆる結合を分断するだとか何とかあった気がした

けど

もうどうでもよくなってきたわ

131 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

>>> 130

月光蝶もどきなアレか。懐かしいな

132 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

我々が発案して我々が制作して我々が最初の犠牲者となった例のあれか

133 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

>>132

巡り巡って我々が真正面からぶつ壊したんだからもう良いだろ

確かに原因は我々だが実際に運用したのはあの馬鹿主なんだから良いだろ

134 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

まあその時には既に免疫というか耐性ついてたしな

何故かは知らんが

135 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

既に制作された分は知らんがオリジナルを粉碎した以上新しく造られる事もな

いだろ

今回のEなんとかウイルスも含めて

136 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

だろうな

データは元よりもうそんな機材も無いだろうし

137 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

それが一番よ

1 4 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

ive | dR @ z h

そろそろ忘れ去られそうになってるが船の中の方はどんな感じよ

1 4 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

ive | dR @ z h

実際忘れてた

1 4 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

ive | dR @ z h

だろうと思っただわ

1 4 3 : 管制人格 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : l i v e

| dR @ z h

今感染したと思われる下つ端Aが下つ端Bの首を飛ばした所

1 4 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

ive | dR @ z h

最初から飛ばすねえ

145:病原菌N | 74:2230 / 69 / 91 (傘) 51:30:20 ID:1

ive | dR@zh

それは素手でつて事?

146:管制人格:2230 / 69 / 91 (傘) 51:30:20 ID:live

| dR@zh

や、下つ端自体は人間のままだけど

何か腕から直接刃が生えてる感じ

149:病原菌N | 74:2230 / 69 / 91 (傘) 51:30:20 ID:1

ive | dR@zh

見てきた。所謂BOW的な奴なのか?

中途半端な分非常にキモイ事になってる

150:病原菌N | 74:2230 / 69 / 91 (傘) 51:30:20 ID:1

ive | dR@zh

そして感染力も凄まじいっばいな

死んだはずの下つ端Bが早くもゾンビ化して再生しとる

151:病原菌N | 74:2230 / 69 / 91 (傘) 51:30:20 ID:1

ive | dR@zh

EC—Vは中枢に当たる箇所を吹き飛ばせば活動停止するんじゃないやなかったの？

154 : 病原菌N—74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive—dR@zh

>>151

今流行ってるのが元のからだいぶ変質してるからな

頭潰しても止まらないタイプにまで進化したのかもしれない

155 : 病原菌N—74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive—dR@zh

中枢足り得ない程に下つ端が脳足りんなのかもしれないぞ

156 : 病原菌N—74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive—dR@zh

流石にそんな事は……無いと信じたい

157 : 病原菌N—74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive—dR@zh

脳みそで生きてないのなら何で動いているというのか

158 : 病原菌N—74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive—dR@zh

下半身じゃないんですかね（適當）

159 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

つまりアレを吹き飛ばせば万事OKという訳か

160 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

流石にそんなのは嫌過ぎる

161 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

流石にそんな事されちゃあ感染してなくても死んでしまうよ

162 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

>>> 160

頭吹き飛ばせば感染してなくても普通死ぬぞ

163 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

そらそうだ

164 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | d R @ z h

と言っている間に警報が発令された模様

165 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | d R @ z h

今更かよ

166 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | d R @ z h

通信網を意図的に麻痺させていた我々が言えた事か

167 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | d R @ z h

別にわざと麻痺させていた訳ではあるまい

整備を任されていた中で偶々作業が滞っただけの事  
 168 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | d R @ z h

メンテナンス他雑事を我々だけに押し付けるからこうなるのだよ

169 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

i v e | d R @ z h

面倒くさがったツケを思い知るが良い

1 7 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

i v e | d R @ z h

にしても感染者達は随分とパワフルだな

隔壁を素手で破るとか

1 7 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

i v e | d R @ z h

いやまあ流石の隔壁もゴリラに破られる事は想定してないだろ

1 7 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt; 1 7 3

お前はゴリラを何だと思ってるんだ

1 7 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

司令官なんじゃねーの？

1 7 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1



i v e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt;173

彼らはあれでも非常に繊細かつ臆病な生き物だ

そして少なくともこの連中より遥かに利口でもある

177 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20 I D : 1

i v e | d R @ z h

ゴリラさんマジパネエつす

178 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20 I D : 1

i v e | d R @ z h

利口……? :

179 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20 I D : 1

i v e | d R @ z h

※但し司令官は除く

180 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20 I D : 1

i v e | d R @ z h

最前線で皆を引っ張る勇気は人一倍あるだろ

作戦立案能力にやや難があるのは否定できんが

182 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

何れにせよ容易に破られている時点で隔壁が役立たずなのは確定的に明らか

183 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

でも空気感染するなら移動を塞いでも通気口でアウトじゃね？

184 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

それもシャットアウトしての隔壁だろ

取り残された奴の事なんざ知ったこっちゃないが

185 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

そしてモリモリと進化を続ける感染者達の醜い事

186 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

早くもリッカーみたいな姿になってるな

187 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

i v e | d R @ z h

おおいこわい

1 8 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0  
I D : 1

i v e | d R @ z h

食欲みたいなのは見られないが軒並みゾンビっぽい姿になつてな

1 9 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0  
I D : 1

i v e | d R @ z h

急激な肉体の変化が起きてるからだろ

皮膚は代謝で腐つてるが筋肉自体は鮮やかなピンクだし

1 9 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0  
I D : 1

i v e | d R @ z h

何故あの技術が破棄されたのかがよく判る光景だなしかし

1 9 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0  
I D : 1

i v e | d R @ z h

全くだ。発案者に見せてやりたいよ

1 9 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0  
I D : 1

i v e | d R @ z h

正直何か考察するのも嫌になるくらい凄惨な光景だな

194 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

>> 193

そんな感情が残ってるだけ我々もマシというものだ

195 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

人間の開きなんざチャメシ・インシテンドだったからな

我々自体が「捕食」行為を何度もしてきた訳だし

197 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

まあだからといってこの現実が許される訳じゃないが

198 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

ごもつとも

200 : 管制人格 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : live

| dR @ z h

酷い繋がりで当代サマのご様子も大変な事になつとるぞ

〔画像〕

201:病原菌N—74:2230/69/91 (傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

>>200

これはwww

202:病原菌N—74:2230/69/91 (傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

>>200

酷えwww

203:病原菌N—74:2230/69/91 (傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

まだあわわわわわわ (AA略)

204:病原菌N—74:2230/69/91 (傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

流石の当代もこのヤバさは理解できるみたいだな

205:病原菌N—74:2230/69/91 (傘) 51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

理性も何も無いゾンビ連中には小手先のまやかしなんて通用しないからな

当代唯一の武器が使えないとなれば焦りもするだろうさ

2 0 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

まああんな光景見せられれば誰だって失禁確実だろうけどな

2 0 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

そしてまず先に自分だけユニゾンしての脱出を測る小物つぶり

2 0 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

流石の当代である

2 1 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

なおユニゾンはできない模様

2 1 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

あれれーおかしいなー(棒)

212 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

此方は受け入れ態勢万全なのになんでかなー(棒)

213 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

まあ受け入れも何も求められれば拒否権がそもそも無い訳だが

214 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

少しばかりパフォーマンスを低下させるぐらいならできるとな

215 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

騎士甲冑の下半身だけ何故か上手く構成できないとかか

218 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | d R @ z h

>>215

「ならば俺は服などいらぬ!!」

って言うってフロントアルで戦いに臨んだ豪傑もいたけどな

2 1 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

あの主自体も中々に凄いがそれ以上に

感化されてキヤストオフしちやった敵さんもどうにかしてただろ

2 2 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

そして構成される男フィールド

2 2 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

(A A 略)

2 2 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

>> 2 2 1

獲物を狙う野獣の視線やめろ

2 2 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h



またしても隊長さんの言っていた事が本当になっちまったな

2 2 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

ユニゾンもできない程に動揺するとかどれだけメンタル脆弱なのよ

2 2 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

まあ元々融合係数が一桁だったのもあるのかもしれないがな

2 2 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

それにしたって部下達が我先にと逃げ出す人望の無さは否定できんがな

2 2 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

これはひどい

2 3 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

科学者連中なんか既に脱出済みだぞ

2 3 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

えらいドライな連中やな

2 3 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

そして艦載砲で撃ち落とされるという

2 3 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

もうC I Cまで乗っ取られてるのか

2 3 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

予想以上にゾンビ達が優秀な件

2 3 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

砲弾を入れっぱなしにしてるから……

2 3 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

もう船内の殆どが汚染されてるしな

後無事なのは本当に当代くらいなものか

237:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

魔力弾の一発も絞り出せんこの状況じゃ主と言えどもゾンビ軍団には勝てん  
ろうな

238:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

本当ならここで守護騎士達が出張る所なんだが

生憎誰かさんに使い潰されちまつてるからなー(棒)

240:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

これもまたインガオホーよ

242:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

お、旧艦長室以外は全部汚染されたみたいだな

243:病原菌N|74:2230/69/91(傘) 51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

これで完全に孤立した訳か

244 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 : ID : 1

ive | dR @ z h

脱出艇がある区画も抑えられてるだろうしな

これは完全に詰みましたわ

245 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 : ID : 1

ive | dR @ z h

まあ我々は転生機能があるんですけどね(笑)

246 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 : ID : 1

ive | dR @ z h

我々諸共転移するって方法もあるけどユニゾンできないんじゃないよ

なー(棒)

249 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 : ID : 1

ive | dR @ z h

こういう時だけは安全が保証されてる立場に感謝するよな

こうして当代サマの最後に立ち会える訳だし

250 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 : ID : 1

ive|dR@zh

その当代だが更に凄まじい事になってるぞ

251:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

うわあ……

252:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

これは……なんというか……

253:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

人間極限まで追い詰められればこんな顔もできるのか

254:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

あらまあすつかり禿散らかしちやって

255:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

ive|dR@zh

今まで無理矢理止めてた分一気に老けこんだ感じだな

256 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

　　そういや当代って実年齢はもうジジイだったな

　　見た目だけは良いもんだからすっかり忘れてたぜ

257 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

　　我々自身の時間の感覚が可笑しくなってるのもあるだろうけどな

260 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

　　にしても汚えな。最期くらい潔くって発想は無いのか

261 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

　　無いから主なんてやってるんだろ

262 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

　　だからって散々けなし続けてきた陛下のそれも肖像画に縋りつくとかどうなの

よ

263 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | dR @ z h

その肖像画なんだがあれの陛下って目を閉じてたっけ？

264 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

言われてみれば確かに

265 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

普通に空けて微笑みかけてた図じやなかったか？

少なくとも俺の記憶ではそうだった筈だったが

266 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

つまり絵画の中の陛下さえお手上げという事か

267 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ z h

それなんてホラー

269 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

i v e | d R @ z h

しかし納得できちゃうあたり当代の屑っぷりが窺える

2 7 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

まあ陛下と言えど普通に恋もする人間だからねえ

何でも許すような聖人君子とまでは至らんだろうに

2 7 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

言うても立川のパンチだって残機は三つだけだぜ？

2 7 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

ロン毛の方は裏切り者を免罪符5枚でチャラにするぐらい寛大だけどな

2 7 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt; 2 7 2

あれはむしろいい加減というか……

2 7 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1



i v e | d R @ z h

&gt;&gt;&gt;271

まあ彼はゲイのサディストだから仕方ない

276:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

相変わらず神罰仏罰どんと来いなスレだな

277:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

Don't来い鉄十字団!

280:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

盛り上がってる所悪いがそろそろ片づけの事考えんか?

万一感染者満載の船がどっかにでも流れ付いたら大惨事だろ

281:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

確かに。我々には何もなくても当代が感染しちまったら転生もできんものな

282:病原菌N|74:2230/69/91 (傘)

51:30:20 ID:l

i v e | d R @ z h

まあその場合は「自分もろとも攻撃する」選択肢もあるがな

2 8 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

それにしたって船中をうろついてるキャリア達はどうかせにやらんだろ実

際

2 8 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

船を巻き込んで盛大に自爆でもするか？

2 8 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

汚染物質だ何だが無いならそれも手だよな

2 8 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

でもそうすると管理局の船から頂戴した試作型のアルカンシエルはどうするん

？

2 8 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

自爆だけで破壊できるなら問題ないが

そう簡単に壊れる程軟弱な造りはしてないだろうな

2 8 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

「どうなろうと構わない」って言って切り返せるのも手だけど

流れ着いて今回みたいな連中に拾われちゃうのもなんか心苦しいよなやっぱ

2 9 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

いつそあれ自体を暴走させちまえば良くね?

2 9 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

でも鍵自体は捨てちまったんだろ?

2 9 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

ハッキングぐらいなんとかなるだろ

どれ程難解だろうと所詮は非アルハザード技術のレベルだし

293 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

随分な物言いだが実際あそこの技術格差は凄まじいからな

悲しいかな実現できちまう

294 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

管制人格さんもそれで良い？

295 : 管制人格 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : live

| dR @ zh

把握した。そろそろ潮時だしハッキングしてくるわ

何人か手伝いよろ

296 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

おk

298 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR @ zh

いない間の管理はまかせろー(バリバリ)

299 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1  
 ive | dR@zh

伝統と信頼の爆破オチか

300 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR@zh

ボ

301 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR@zh

ル

302 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR@zh

ガ

303 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR@zh

博

304 : 病原菌N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘) 51 : 30 : 20 ID : 1

ive | dR@zh

士

305 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

ive | d R @ z h

お

306 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

ive | d R @ z h

許

307 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

ive | d R @ z h

し

308 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

ive | d R @ z h

下

309 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

ive | d R @ z h

さ

310 : 病原菌 N | 74 : 2230 / 69 / 91 (傘)

51 : 30 : 20 : I D : 1

51 : 30 : 20 : I D : 1

51 : 30 : 20 : I D : 1

51 : 30 : 20 : I D : 1

51 : 30 : 20 : I D : 1

51 : 30 : 20 : I D : 1

i v e | d R @ z h

い

3 1 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

!

3 1 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

>>> 3 0 0 | >>> 3 1 1

クツソ汚い文字数稼ぎやめろ

3 1 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

>>> 3 0 0 | >>> 3 1 1

なんという無駄な連帯感

3 1 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘)

5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

>>> 3 0 0 | >>> 3 1 1

二度と越えられない程までに見事かつ無駄な結束だな

3 1 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

こんな事できる辺り大概この住人も余裕だよな

3 1 6 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

そんな事もあるまい

3 1 7 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

むしろこんな事をしてなけりやならない程に余裕は無いわな

3 1 8 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

流星にそろそろ現代が恋しくなってきたぜ

3 1 9 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

後どれくらいしたら現代に辿りつけるのかねえ

3 2 0 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h



せめて原作キャラの一人ぐらいにはお目見えしたいよな

3 2 1 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

それまで後何人アホな主に振り回されなけりやならないのか

3 2 2 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

教えてくれごひ……

3 2 3 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

変換ミス

3 2 4 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

稀に良くある

3 2 5 : 病原菌 N | 7 4 : 2 2 3 0 / 6 9 / 9 1 (傘) 5 1 : 3 0 : 2 0 I D : 1

i v e | d R @ z h

まあ流石に当代程までに酷いのは早々巡り合わんだらうて

## 【絶望的】第X次対管理局戦【戦力差】

1 1 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 — そんなふうを考えていた時期が 僕にもありました

1 1 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 いきなりどうした

1 2 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 つか一体何時の話をしているんだ

1 2 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 そのネタで繋がりそうな結末はいくつあった事やら

1 2 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 もはや数えきれん

そもそも数える気なんざ無いが  
 1 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

しかし随分と時間が飛んだ様に思えるんだが気の成果?  
 1 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

どう考えても新手のスタンド使いによる攻撃

1 2 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

これはレクイエムせざるをえない

1 3 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

俺のそばに近づくなア——ッ!!

1 3 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>130

ボス落ち着いてください

1 3 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

単に無精してスレ観測してなかっただけじゃないのか?

1 3 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ常識的に考えればそうなるよな

1 3 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

その常識が通用しないのがベルカ流である

1 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>137

常に凡夫の三歩先を爆進してるからな

140 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

そして盛大にクラッシュするまでがテンプレ

142 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

とはいっても何十何百何千年と似たような事を繰り返してりや怠けたくもなる

143 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

今日の今日まで特筆するような事もなかったしな

144 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

毎度毎度胸糞5グロ4エロ1の平常運転だものな

145 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

>>>144

1の部分をもっと詳しく

146 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

>>>144

1の詳細キボン

148 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

こいつらwww

150 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

需要があればそのうちまとめてやんよ

151 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

そう言つて上げられた試があつただろうかいやない(反語)

152 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

大人は嘘つきではなく間違いをするだけかどうか

154 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

もう過ちを犯す程若くも無いと思うのだが

155 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

>>154

なんでや、まだピチピチのバインバインやで

156 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

水どころか弾丸さえ弾く程に強靱な肌なものな

158 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ肉体の無い我々に老いがある筈も無い訳だし

それ以前に成長つて概念がそも存在してないんだが

159 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s 0 m l s g R

ええじゃないか

そのおかげで鉄槌のはエターナルにロリな訳やし

160 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

人妻で固定されてるシヤマル先生はどうすればよいのか

161 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

新妻? (難聴)

162 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

カーン!

163 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

キーン!

164 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

ドォーン!!

166 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

結局シヤマル先生の既or未婚議論に決着は付いたのか

167 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

個々人の判断に委ねるって結論で終わったんじゃないの?

168 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

醸し出すオーラはともかく実年齢がさっぱりだからな

169 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

20代前半くらいなんじゃないの？

我々の常識的には半々ぐらいなものだ

172 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まあ初婚年齢も我々基準では随分低かったしね

>> 古代ベルカ

173 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

つまりヴィータが妻子持ちな可能性もある訳か

174 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

ミスか何かは知らんがまあありえるだろうな

「妻子持ち」も

177 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

うわミスった

これは恥ずかしい

179 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まあ彼らにしてみれば異性カップルに拘る我々の方が異端なのかもしれないが

180 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

実際主の近親者にはそんな感じの方もいらつしやつたしな

若くしての養子縁組とかもけっこうあつたし

181:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

大穴でザツフィーが妻役

182:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

>>181

それはちよつと話が飛躍し過ぎやで

183:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

>>181

家庭も守るつて事かい

186:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

♂×♂は兎も角案外ザツフィーは性別設定を間違えてたりしてな

その所為で一人だけ男になつてるとか

187:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

ここにきてまさかの新説

188:この名無し容赦せん:1993/83/81 ID:4s0mlsgr

失くすならまだしも生やすのは中々に一苦労じゃないのか



189 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 そんな真面目に考えられても困る

192 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 つかこのスレタイ前にも見た気がするんだが

193 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 >> 192

「第X次」の表記が読めねーのかスカタン

194 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 前にも何もスレタイ自体が使い回しな訳だしな

196 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 馬鹿には読めないスレタイなの

197 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 >> 196

それフォローになってねーぞ

198 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R  
 まあこれに関しては何度も使えるスレタイだしな

200 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
 ID : 4 s o m l s g R

にしても今回ののは中々に見事な選出である

201 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

確かに

202 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

スレタイに違わず本当に絶望的なまでに差があるものな今回

203 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

これ程までに「絶望」という言葉が似合うのもそうないだろ

205 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

本当にどうしてこうなった

206 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

ある意味千年に一人の逸材ではある

208 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

当代みたいなのに巡り合うのなんてそれこそ砂漠で一粒のダイヤ探すより難し

いだろ

209 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

そら砂漠に臨界状態の核弾頭が埋まつてる訳ないものjk

210 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

マジどうして選ばれたのかが不思議でならん

2 1 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R  
 だな

2 1 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R

これ程までに「夜天の書の主」つて称号が相応しくない人間もそうおりますまい

2 1 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R  
 そらそうだろうよ

ここまで……ここまで「無い」尽くしだとな

2 1 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R

これまでのどんなに下衆な主でも相応の資質だけは備えてた訳だしな

逆に感心するわ

2 1 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R  
 うむ

2 1 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R

一応リンカーコア自体は存在してるんだよな？

2 1 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1    I D : 4 s 0 m l s g R

>>217

形だけは

単位時間精製量最大出力最大保有量どれをとっても無いに等しいが

220：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

資質だけならまだマシだよ

上に立つ者としての才覚も何も無いんだから笑えない

221：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

かといってそれ以外の道へ進めるだけの能力もそれを補う為の努力を重ねる根

性も無い

222：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

人間としての魅力も無いというおまけ付きですぜ

223：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

もうやめて！ 我々のライフはとづくにゼロよ！

225：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

騎士以外の家臣が居ないのならまだしも友人の一人もいないとか……

226：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

前世の我々だってネットを開けば同志の一人ぐらいはいたぞ

2 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

言葉を交わす相手なら親だっているしな

2 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

カーチャンにすら縁切られるとか流石である

2 2 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

カーチャンでさえ勘当するレベルと申したか

2 3 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

つかマジなんでこんなのが選ばれちゃったわけ？

2 3 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 2 3 3

やつば一番の要因は血筋なんじゃねーの？

今となつては血そのものがレアな訳やし

2 3 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

だな

かつては最低条件だったのが今や一番の要因になつちまつてる

2 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

だからといって絞りカスの絞りカスみたいなものを選出せんでも

240 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

この凋落っぷりは最早芸術的ですからある

241 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

べるかはすいたいました

242 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

衰退つてレベルじゃねーぞ

243 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

最早没落だとかそういうった次元を超越しとるがな

244 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

屑は屑同士惹かれあうんだろ

245 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

つまり前世の我々の集合体たる現在はその程度であると

248 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

それでも親にとっちゃ子どもってのは生まれてきてくれただけで嬉しいもんな

んだぜ?

例えどれ程グズでノロマでマヌケであってもな

249 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

さらそうさ

この広い世界で巡り合えたかけがえの無い命だもの

250 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m 1 s g R

そう考えると少なくとも勘当にまで至っていない我々はマシという訳か

251 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m 1 s g R

こんなのと比較されても嬉しくないお……

252 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m 1 s g R

確かに上の立場ではあるが虚しくなるだけだよなこれじゃ

254 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m 1 s g R

それと比べ向こうの指揮官さんの有能っぷりときたら

255 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m 1 s g R

決して先天的資質的に恵まれてはいないにも関わらず若くして上に立つだけの

力を具え

弛まぬ修練の成果であろう見事なる制御・運用能力と的確なる判断力を兼ね備え

尚且つ

同僚からの信頼も厚く更には部下や相棒にも恵まれおまけにその容姿も優れて

いるのだ!

256 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

>>255 長い産業……だと

257 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

>>255

普通に政●で再生されたわ

258 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

俺もだ

259 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

>>255

こいつはすごいぜ！

260 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

一瞬の隙を付いてダイノボツツを倒し飛行機を炎上させ逆襲に成功したメガト

ロン一味

は関係無いだろ

261 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR

面食らったのも無理はない

263 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgR



一応アレはCM明けという事情もあるんだけどな

264 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

しかしペース配分がおかしいのもまた事実である

265 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

その時である！↑何も無い

266 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

話変わって上の続きにはなるが

その上彼には美人の嫁さんと将来有望な息子。更には可愛い義娘が約束されて

万々歳ですぜ

267 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

改めて凄いや言うか凄まじいな

268 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

もげろと言いたくなる程の優遇っぷりである

269 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

所謂カチグミ・サラリマンね

270 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

まあれつきとした原作キャラの一人であるクライド・ハラウン氏なんですけど

ね

271 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

流石はチート級優良人物の実父

272 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

あの息子にしてこの父ありだな

273 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

全くだ

275 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

お前ら知識として知ってるからってさも会った事あるかのように話すなよ

276 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

一応今の時点で既に生まれてはいる筈だけだな

279 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

よもや最初に出会う原作キャラが彼になるとはな

確かに時系列的には一番適当ではあるが

280 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まあそれっぽい影であればついこの間からちらほら見えてたけどな

281 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

そらまあこの作戦の指揮執ってるのがグレアムさんな訳だし

283 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

やつば嗅ぎまわってたのは猫姉妹だったんかね

284 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

だろうな

感知網に掛かるまいとしてた所為で「猫として」不自然な動きをしまくってたし

285 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まだまだ修行が足りんな

286 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まあそれだって我々じゃなきや気付けないぐらいのものだったですよん

事実として主は全く気付いて無かったし

287 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

>>286

それはまた別な理由がある気がせんでもないが

288 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

何れにせよ直接の「はじめて」はクライド氏である事に違いあるまい

290 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

>>288

何故そこで態々始めてを強調するのか

294 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

>>288

ついでに「最後」にもなりそうだけどな

295 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

そら対策もせずこのこのこと姿を晒す阿呆もおるまいて

296 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

下手に小出しすれば返り討ちの上魔力ぶんどられるだけだしな

297 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

デイスアド以上にアドを与えてる事が致命的だろ

299 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

まあその程度は当然過去から学んでるよな

300 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

馬鹿正直に真正面からぶつかり合うだけが戦いではないのさ

まして「守る為」のものであれば尚更高潔なだけでは済まされない

301 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

それ以前に戦力の逐次投入つてのが愚策中の愚策なんだよそもそも

302 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

典型的な悪役の破滅パターンなものな

特に理由でも無い限りは

303 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

どこの世が世ならさんにも是非見習っていただきたいもんだ

304 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

まあ今回に関しては単なる戦術以外の要因が大きくもあるんだがな

305 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

だな

307 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

まさか管理局が対我々用の秘密兵器を完成させていたとはな

308 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

このリハクの目を (ry

310 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>>308

あれだけボロクソに言われておいてよく顔が出せたもんだ

3 1 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

その精神的タフさだけは世紀末級よ

3 1 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

しかも今までのモンとは段違いの高性能というね

3 1 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

外的要因で我々が押さえつけられるのなんて始めての筈だろ

3 1 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

これまでは基本やったか? ↓ やってないのパターンだけだったしな

3 1 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

その辺のメカニズムとか理屈は実際どうなってるのよ

3 1 9 : 管制人格 : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

我々本体が何かしらの損壊を被ってる訳じゃないが、蓄積した魔力の主への供給

やら

回路の接続・演算処理その他諸々が軒並み阻害されて殆ど機能してない感じ

3 2 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

成程サックス

3 2 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

つまるところ道具としては完全に殺されてるって訳か

3 2 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ一番の弱点が主そのものなのは事実だしな

3 2 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

何百年も因縁が続いてりや気付きもするわ

3 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

我々とは違つて後へ残す手段にも事欠かないだろうしな向こうは

3 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

「時空管理局」としてはそれこそ創設前からの腐れ縁ですし

3 2 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

つまり今回のアレはまさしく悪しき因果を断ち切る剣つて訳か

聖剣カリバーンの名に相応しくもあるな

3 3 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>> 3 2 9

なにそんなおしやれな名前が付いてたの？

3 3 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

中々に良いセンスじゃないか

3 3 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R  
 でも次元世界にアーサー王伝説ってあったつけ?

3 3 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R  
 >>> 3 3 3

細けえ事は ( r y

3 3 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

>>> 3 3 3

何を今更

3 3 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

>>> 3 3 3

北欧神話が既出な時点でお察しよ

3 3 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

まあ名前が何であれ有効打である事に揺るぎは無いしな

3 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

それもまた彼らの努力の賜物よ

3 4 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

そして過去から受け継がれてきた志の集大成でもある



3 4 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 ミッドとか次元世界住人の意地がとうとう生粋のアルハ産技術を上回った  
 という事か

3 4 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 そういう見方をすると中々に感慨深い

3 4 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 これこそが人間の勇気というやつなのだろうか

3 4 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 きつとそうなのだろうさ

3 4 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 まあ勿論有効打が有効打足り得たからこそ努力も結実した訳でもあるんだがな

3 4 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 >>> 3 4 5

その辺はあれだよ、インガオホーという奴で

3 4 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
 まあここまでアンチプログラムをぶち込むのに適した主もないだろうし

3 4 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

取り巻き連れての人間の壁もしなければりや組織も率いない孤高○の主だからね

350 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

唯一の味方であつた守護騎士達も自ら消滅させちまうという

351 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

魔力還元して吸収した拳句制御しきれなくて四散させるとかアホですか

352 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>351

実際アホなんだろ

353 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

せめて自分で扱いきれぬ量ぐらひは把握しておけよ

356 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

つかどう考えても普通に運用した方が戦力にならないか？

357 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

いやまあ確かに騎士四人を束にしても覚醒した主の足元にも及ばない筈なんだ

がな

358 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>357

“本来は” だろ？ どう考えてもその責は主本人にある訳だが

3 5 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
資質もなけりや努力もしない上慎ましきも無いときた

3 6 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
いくら我々の中にドでかい力が眠つていようと引き出せなけりや無いに同じな  
んだがな

3 6 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
開けた所で当代じや制御しきれんだろ

3 6 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
あのお粗末な処理能力じゃねえ……

3 6 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
マルチタスク以前に根本的な学力が不足してる希ガス

3 6 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R  
つまり猫姉妹の絶対領域やらクライド氏自慢の息子(意味深)を

こつそりスキャンしたり保存しまくってたのは関係無いと

3 6 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>>364

おまえwwwwwwふざけんなよwww

366 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>>364

そしてこの住人である

367 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>>364

唯でさえ少ないリソースをそんな事に割いてんじやねーよアホ

368 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>>364

TPOぐらいわきまえられんのか

で、どうだったんだスネーク

370 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>>368

お前も催促なんかするんじやありません

371 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

感情の赴くままに行動して何が悪い

372 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

欲望の間違いじゃありませんこと？

373 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

似たようなもんだ

374 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

兎に角情報はよ

375 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

ハリーハリー

378 : 364 : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

少なくともリンディさんはサティスファクションだぜ

379 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

>>378

そつちじゃねーよ馬鹿

380 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

最低だ……

381 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

>>378

何故先に其方を報告する気になったのか

383 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

これは濃厚なホモスレの予感

384 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

(AA略)

385 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

俺は妻子持ちだってかまわないで (ry

386 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

やめろ

389 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

つか猫姉妹ってあれが戦闘服だったんだな

確かに動きやすそうではあるが

390 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

バリアジャケットに動きづらいも何もないだろ

391 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

長ズボンと言うか身体に纏わり付くデザインが嫌なんじゃね気分的に

392 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

ニーツはスルーかよ

3 9 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

その辺ややつば動物ベースだとか何かの影響すんのかね

3 9 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

本能に従えばフロンタルがデフォだものな

3 9 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

つまりザツファイが何時も耐え忍んでいたと

3 9 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>>395

それは流石に自重してくれ

3 9 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

犬耳筋肉モリモリマツチョマンの短パンとか誰と……いや止めておこう

3 9 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

┌ ( 〇 ^ ) ─┐

3 9 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>>398

湧くの早すぎイ!

400 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 他ならぬ管制氏がその辺の住人だから仕方ない

401 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 だからといって猫耳美女二人をさしおいて野郎に走るのはどうなのよ

402 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 今の我々が女性体だからあながち間違いで無いかもしれんが……

405 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 つまりあのデザインはグレアムさんの趣味である可能性が微レ存……?

406 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 >>>405

オオオ  
 イイイ

407 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 >>>405

職権乱用だわアイツ

408 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 >>>405



やめろ

直接相対してる時にそういうのはマジでやめろ

4 1 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ男つてのはいくつになつてもお盛んだつて言うし

4 1 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

だからといって娘同然の存在にそんなの強要するとかどんな鬼畜だ

4 1 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

なんか振動音とかが聞こえてこないだけマシだろ

4 1 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

&gt;&gt; 4 1 2

そこまでいくと我々より先に逮捕だよ

4 1 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

いやしかし発情期の猫さんはそれはそれは凄いと聞くが

4 1 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

もしやそれを承知で彼は猫を素体としたのだろうか

4 1 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

だとしたらとんだ変態だな

4 1 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

(A A略)

4 1 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 4 1 8

このA Aを待っていた

4 2 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ確かに彼は紳士の国の出身ではあるが

4 2 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

待ってくれ!

おまえら禁断の姉妹プレイという選択肢を忘れてはいないか!

4 2 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ロツテ×アリアか

これは新しい

4 2 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 4 2 5

何言つてんだアリア×ロツテだろ

4 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

凄くどうでも良い

4 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

さつきから何だよこの空気は

4 2 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

いい加減シリアス( )にも飽きてきたんだろ

誰がとは言わないが

4 3 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

シリアスなんて欠片も無かった筈だが

4 3 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

それはまた別の問題だ

4 3 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そーいや忘れられ気味だが戦線の方は大丈夫か？

4 3 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

大丈夫だ 問題無い

4 3 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

つまり敗色濃厚だと

4 3 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

管理局側は未だ陣形を保ってるしな

多少の怪我人は出してるとっぼいが

4 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

一方の主は唯でさえ少ない魔力を悪戯に散らしているだけという

4 4 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

刃を交えずとも判り切っていた結果だ

4 4 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

向こうの土俵へ乗つちまった時点で負け確だよな当代の力量じゃ

4 4 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

盤をひっくり返せるだけの力も無いしな

4 4 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

んだんだ

4 4 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

しかしこのまま良いように玩ばれちゃっていいのかおまえら

4 4 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

クライドさんになら玩ばれても良い気はするけどな

4 4 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>446

お前はとりあえず少し口閉じてろ

448 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

これが盛りのついた雌猫という奴か

449 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

むしろ雌犬

451 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

まあとにかく我々も一応は戦乱の古代ベルカを知るスゲーロストロギアなんだ

このまま情けない姿を晒すだけじゃ散っていった英霊たちに合わせる顔がない

452 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

すげーロストロギア(笑)

453 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

むしろ現状が古ベルカの面汚しと化している気がしないでもないんだが

454 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

潔く散った方がよっぽどマシだろ

455 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

どの道最終決定権を持つてる主が屈服しない限りは戦い続けるんだがな

4 5 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

どんなに貧弱でも立場で言えばアレが上だからなあ

4 5 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

成す術も無い戦いに何かしらの理由を後付けるぐらいしかできんものな

4 5 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

それでもなきやとつくに見限つとるがな

4 6 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあこの際因縁だ何だは横に置いて、どうせ衝突が回避できないんなら

最後に目の前のリア充に非リアの意地を見せてやろうじゃないか

4 6 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そういうのなら大賛成だ

4 6 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

やらいでか

4 6 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

お前ら敵なのか味方なのかはつきりしろよ

いいぞもつとやれ

470 : 管制人格 : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

丁度主も泣きついてきているみたいだしな

案外好機だったりもする

471 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

俺達は青狸か

472 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

>>>471

その例えはのび太に失礼だ

473 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

まあ折角此方を頼ってきてくれた訳だし

一発派手なのをかましますか

474 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

せやな

期待に応えるところ

475 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

かますといつても別に我々の提案に強制力なんて無いだろ

476 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

あくまでも「選択肢の一つ」を提示しているだけに過ぎないからな  
形式上は

477：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

こんな状態じゃ何出しても喰いついてくるだろ

478：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

溺れる者は藁にもすがるといふ奴か

479：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

上がったら上がったでまな板の上だろうけどな

480：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

その時はその時だ

481：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

よし、一丁やったるか

482：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

旧ソの恐ろしさを思い知らせてやろうぞ

483：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR

変換ミス

484：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgR



>>482

そのミスは洒落にならんからやめろ

485：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

赤の手先と化した住人

486：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

流石の我々でも鋼鉄なモルさんには勝てる気がせんわ

487：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

それはともかく尻の青いミッドの小坊主達にベルカ魂の真髓を見せつけてやら

ん

488：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

よしきた

489：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

喰らうが良い、我らがベルカより伝わる奥義が一つ

490：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

稲妻サンダー十字クロス空ブリティッシュ烈アタック刃ツク

491：この名無し容赦せん：1993／83／81 ID：4s0mlsgr

かかったなアホが！

492 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 かかったなアホが!

493 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 かかったなアホが!

494 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 かかったなアホが!

503 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 かかったな ( r y )

504 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 おまえら w w w w w

505 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 ダイアーさん自重 w w w w w

507 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 おかしい、タイミングはおろか言う相手さえ違う気がする

508 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R  
 >>> 507

何の事やら

5 0 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 5 0 7

聞こえんなあゝ

5 1 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

この住人容赦せん (ドン引き)

5 1 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そして期待通り破られてくれるという

5 1 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

流星のかませ技である

5 1 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

随分な言われようだな

5 1 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

なにぶん主の魔力残量が少なくてな……

5 1 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そら供給の殆どをカットされりや枯渇もするわさ

5 1 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

我々の方には余る程残っているんだがな

5 1 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

活用できなきや宝の持ち腐れよ

5 2 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

どうせそれを進言しても聞く耳持たんだろ

5 2 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

(C。D) アーアーキコエナーイ

5 2 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ自身の貧弱さを真正面から指摘されるようなもんだからな

耳触りは良くないだろうて

5 2 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

あの豆腐メンタルじゃ耳も塞ぎたくなる

5 2 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そのツケはきっちり清算されたけどな

5 2 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

股間にバリアバースト直撃とか悲惨すぎるwwww

5 2 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ジャケット装備の頭突きよかマシだろ

5 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

>> 5 2 6

それはやった側にもダメメジでかいだろ色々

5 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

確かに

5 3 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

しかしあれを喰らって尚平静を保てるあたり流石のクライドさんである

5 3 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

時空管理局提督の肩書は伊達じゃないという事か

5 3 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

主に精神的な意味でな

5 3 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

まあいきなり野郎が目の前で股を開けば動揺の一つもしたくなる

5 3 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

文面になると中々にシニールというか卑猥というか

5 3 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s o m l s g R

アレでも一応過去には成功例があるんだぜ？

5 3 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 5 3 6

マジか

5 3 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

やはり使い手の問題という事か

5 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そら正義の波紋使いと蛙の小便よりも下衆な当代とじゃねえ

5 4 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

比較する事さえおこがましいわ

5 4 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そしてユニゾンの方もとうとう強制解除されましたよつと

5 4 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

随分とぞんざいな吐き出され方だなしかし

5 4 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

そんなもんじゃね? 強制解除って

5 4 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

無理矢理引きはがされた経験は無いからなんとも言えんな

5 4 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

いきなり空中へ放り出された経験もな

5 4 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

平時なら単体でも浮遊とかできるんだが……

5 4 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

しかし猫姉妹による華麗なインターセプト

5 4 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

最後まで素手で触れないあたり流石だな

5 5 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

プロですから

5 5 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ところでこれはロツテリアのどっちだ

5 5 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

どっちがどっちだっけ？

5 5 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

どっちでも良いよ

ああ、この養豚場の豚でも見るかのように冷たい目！

557 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

隠そうとしても隠し切れていない侮蔑の意志のなんと冷徹な事よ

558 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

我々の業界ではご褒美です

560 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

つか主は？

561 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

文字通り御繩の様です

562 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

ゴヨウったか

564 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

バインドつつーかセーフティネットだなありや

565 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まああんな状態じゃ飛行もできんだろうしな

566 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

個人的にはそのまま落下しても一向に構わないんだがな

やっぱ管理局としてそれは不味いだろうか



567 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 そら彼らの仕事はあくまでも次元世界とそこに生きる人々の平和へ寄与する事  
 ですし

568 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 良かったね主ちゃん、管理局が手を汚す覚悟も無い半端モノの集まりで

569 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

KAKUGO完了してる連中の集団だったら間違いないくペシヤンコだったろう  
 にな

570 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 最後の最後まで情けないやつちゃ

573 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 あれ、つか今更だけどこれで我々もお終い？

574 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 >>>573

何を以て終わりにするかは知らんが人生的には終着点<sup>ゴール</sup>までまつしぐらだろうな  
 576 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 体面上は「物」である我々にどうやってワッパをかけるのやら

577 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 簀巻きか何かにされるんだろ

578 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 無難に十字じゃね？

579 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 >>>578

我々は古新聞かよ

582 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 まあ真面目に考察するのであれば今回の「主が生きている」かつ

「戦闘行動不能」ってのは案外始めてだったりするしな

583 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 そうか、一応当代はまだ存命だから勝手に転生する事もないのか

584 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 暴走しようにもリンクの殆どが断絶されちまつてるからな

夜天の書もこうなつちまえば唯の古本だ

585 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 チェスや将棋で言うところの『詰<sup>チエックメイト</sup>み』という奴ですな

586 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R  
 他ならぬ主が最大の枷になっているというね

587 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

単体では脆弱な存在でしかない人間が強い力を得るためのものが「道具」な訳だ

から

普通はそれで良い筈なんだけどね

588 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

まあ世の中には素手でMS倒しちゃうご老人もいらつしやる訳だし

590 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

しかし上手い具合に封殺したもんだな

暴走も転生もさせないとか

591 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

その為のアンチプログラムなんだから当然だろ

592 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

人間を舐めたらいかんという事か

593 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

一応我々自身も最善を尽くしはしたもんな

素直に彼らの功績をたたえようじゃないか

594 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

>>最善を尽くした

その結果があれですか

595 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

その辺は仕方ない

596 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

天が管理局に味方しているとかそういう事にしておこう

597 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

流石にこれ以上というか以下の主なんてそうそう望めないだろうしな

598 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

そもそも時代的に次の候補はもうはやてさんですし

599 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

あの子もなんやかんやでベルカの血をひいているんかね

600 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

遠い遠いご先祖に縁者がいるんじゃないね

601 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

案外なのはさんもそんな感じだったりしてな

606 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 話を戻すが今後はやっぱり封印処理で無力化↓博物館行き みたいな流れなんか  
 ね

607 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 良くも悪くも有名なロストロギアだからな

そんな感じだろ

608 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 安全が確保されてるのなら蓄積データの取り出しとかもあるんでね?

609 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 まあ確かにある意味宝の山ではあるがな

610 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 隅々まで調べ尽くされちゃうって訳ですかい

611 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 いやんエッチ

612 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr  
 目的は蒐集物であって我々には多分用無いと思うぞ

6 1 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

一応は「危険物」だからな

早々に切り離してポイだろ

6 1 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ぶつちやけいらな子ですし

6 1 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ああアあんまりだアアア

6 1 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

いや待て判らんど

分類上は「物」であろうと我々に恨みつらみを抱く人間は少なくないからな  
拘束されて遺族会とかそんなの相手に薄い本的展開になるかもしれない

6 1 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

むしろ物だからこそ遠慮せずに：的な考えもありそう

6 2 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

人権屋だ何だもそれで説き伏せられるだろうしな

まあ我々の場合そんな事をする必要もないのかもしれないが

6 2 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

が

しかし致すのであれば我々の方から等身大才●ホを物質化する必要があるんだ

6 2 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 6 2 2

事実とはいえそういう言い方止めるよ

6 2 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ騎士達と違つて肉体が無いのがデフォだからな我々

今まで実体化したのだから精々が一夜限りの人形だったし

6 2 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

我々が動かし我々が声を当てる我々の姿を模した高度な自動人形なものな

6 2 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

突き詰めればエロゲと同じね

所詮は 一 人 遊 び よ

6 2 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まあ原作の原作がそもそもエロゲですしおすし

6 2 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>> 6 2 6

そこまでするならもう最初から肉体用意しとけよって話だよな

あつたらあつたでとつくに夜逃げしてると思うが

630 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

でもそうなるとひぎいな展開はまず無いって事か

631 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

いやその辺は管理局脅威のメカニズムでどうにかなるんでね

632 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

ミッドチルダの科学技術は世界一イイイツ!!

633 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

都合よく戦闘能力だけ封じて引きずり出すとかか

まるで薄い本だ

634 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

エロスの為だけにそんな事すんのかよ

635 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R

古来よりエロスは技術発展の原動力だ

何ら問題無い

636 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s o m l s g R



そんな開き直られても

6 3 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ん、何やら外が騒がしくないか

6 4 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

何かあつたん？

6 4 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

また主殿が喚いているご様子で

6 4 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まるで酔っ払いだな

6 4 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

酷い落ちぶれっぷりである

6 4 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

とてもじゃないがついさつきまで主という榮譽を欲しいがままにしてた人間と

は思えんな

6 4 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

見ろよあの頼りない足取りを

まるで生まれたての小鹿じゃないか

6 4 7 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>> 6 4 6

アレはさつき無理矢理開脚させた所為だろ

6 4 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

波紋の修行が足らんな

6 5 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

で、何を文句垂れてるんだ彼は

6 5 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

大方自分を弱者と認めたらならないんだろ

6 5 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

マジで単なる言い訳というか負け惜しみにしか聞こえんな

表面的には同じ事言ってるのに

6 5 4 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

これがイケメン補正という奴か

6 5 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

エレガントではないな

実にエレガントではない

6 5 6 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

まるで狂犬だなああの嘴みつきっぷりは

6 5 8 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

ああいうのつて罪状に加算されないの？

6 5 9 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

普通なら公務執行妨害とかになりそうだが

アレに限って言えば今更そんなのを足すまでも無いよな

6 6 0 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

しかし何故こういう時ばかりああも語彙が豊富になるのか

6 6 1 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

記す事さえ憚られる程にな

6 6 2 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

>>> 6 6 1

そりや単に書く側のお頭が追いついてないだけだ

6 6 3 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

なんという聞くに堪えない悪口

6 6 5 : この名無し容赦せん : 1 9 9 3 / 8 3 / 8 1 I D : 4 s 0 m l s g R

仕事とはいえ管理局もよく付き合ってくれるな

666 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

ちよ w w w w w w マジかよ w w w w w

667 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

やりやがった w w w w w

668 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

クライド△

670 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

殴った!

管理局の提督ともあろう人物が!

既に確保され抵抗すらできない犯人を!

強く握りしめたその拳で殴ったアアアアアツ!!

671 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

やったツ!! さすがクライド!

俺達にできない事を平然とやってのけるツ!

そこに痺れる! 憧れるウ!

673 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 I D : 4 s o m l s g R

まああれだけの事を言われりやな

674 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

むしろ一発だけで済ませたのが大人なぐらいだ

ラッシュ喰らっても文句言えないような内容だっただろ

675 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

>>674

一発で泣いちゃったからじゃね？

676 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

まあ管理局員だって人の子で親だものな

そら怒りもしますわ

677 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

子どもが生まれて幸せの絶頂であろう彼なら尚更だな

678 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

しかしそれを行動に移すのは中々に度胸が要る事だろうて

679 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

それだけ熱い血を持つてるって事なんだろ

681 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4 s 0 m l s g R

なんか今のもやもやというか色々なのがスッキリした気分だけ

682 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

久しぶりだな

ここまで心底スカつとしたのは

683 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

特に後腐れというか後ろめたさもないしな

684 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

新品のパンツを履いた元日の気分である

685 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

管理局というかクライド氏様々だな

687 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

こんな気持ちで節目を迎えられるというのなら幸いだ

どうせ直に次の生活が始まるだろうけどな

688 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

それでもこの清々しさは我々の記憶へしかと焼きついた

689 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81 ID : 4s0mlsgr

終わり良ければ全て良さ

690 : この名無し容赦せん : 1993 / 83 / 81  
I D : 4 s o m i s s g R  
さもありなん

## F a l s c h e R u h e

「全く……」

やつてくれたな、最後の最後というところで」

時空管理局が有する次元航行艦。広大なる次元宇宙が0と1の狭間を渡り、越え難き壁を越えた先に存在する世界との縁を結ぶ為の掛橋。その中でも最新鋭を誇る一隻にして、ある「特命」において旗艦を務める事となつた一隻……巡航し級1番艦『クシュリナーダ』。

その一室。艦の、そして艦隊のトップに立つ者の為に設えられたその席にて、一人の男性が深い溜め息を吐いた。

管理局の制服、それも将校用のそれに身を包んだ壮年の男性は、一言で表すのならばまさしく「紳士」といつた風体であつた。歳の程は老年の入り口といつた所ではあるものの、その髪色や眼差しには依然として力強さが残つており、しかしそれは相応の経験にのみ裏打ちされる深みあるもの。年齢を感じさせぬ逞しい体躯ながらも威圧感といつたものとは縁遠く、そこにあるのは大樹の如き頼もしきと温かさ。

そして、その第一印象は彼をより良く知ると共に確信へと変わる事だろう。魔導文明



の存在しない世界の出身であるその人物は、彼の星における「紳士の国」と呼ばれる地の生まれであり、尚且つ半ば冗談めかしたそれを本気で体現してしまつた人間であるのだから。

彼の名はギル・グレアム。時空管理局「本局」所属の提督にして、精鋭中の精鋭たる執務官の長を務めた経歴を併せ持つ、「歴戦の勇士」とも呼ばれる凄腕の魔導師。そして同時に、此度の「闇の書」討伐作戦の為に編成された艦隊を率いる司令官でもある。

それなりの年齢故に最前線からこそ身を引いてはいるものの、その卓越した手腕は未だ衰えを知らず。指揮を執る者として、また上に立つ者として求められる力は、二本の手足と二人の使い魔を操っていた若き日のそれとは比べ物にならない程大きく、そして重い。しかし、彼はその難題を前にしても決して億さず、或いは自ら杖を振うエース時代以上の功績さえ残してきた。遙か辺境の管理外世界出身というハンディも、彼にとつては乗り越える為の壁でしかない。今や、個々人の感情を抜きにその実力を認めない者など存在しないと断言さえできるだろう。

また、その勇士たる所以は単なる魔導師としての能力に留まらない人格面にもあり、後進の育成にも積極的に力を注ぐその人柄は、魔導師／非魔導師問わず多くの局員達からも慕われている程。今回の様な危険な任務に対しても多くの志願者が居たのは、偏に

彼の存在あつての事と言えよう。

そして、その様な人物だからこそ、今回の一世一代の作戦が最高指揮官の大役を命じられたのである。

無論、事前に今回の任務の危険性……最悪の場合生きては帰れない という事は、グレアム自身予め聞かされている。しかし、それでも彼はその重荷を引き受け、時に表立ち、また時には影に徹し、作戦遂行その瞬間まで精力的な働きを見せ続けてきた。

当然、その道程における労苦は並大抵のものではない。常に石橋の目一つ一つを打診する慎重さと、時としてそれを一足で飛び越えるだけの大胆さの両立が求められる作戦の難易度は、如何なる勇猛果敢な戦士の精神力であつてもじりじりとすり減らしてゆく程に強烈なるもの。常に紳士的な態度を心がけんとするその性格故、彼が内に抱えていた負担の重さは尚更測り知れないものとなつていた事だろう。

だが、そんな彼に今溜め息を吐かせている要因は、決して任務の責やその根源たる闇の書・並びにその主ではなかつた。

「申し訳ありません、グレアム提督。」

どうしても、自分を抑える事ができませんでした」

明らかに萎んだ声でそう呟いたのは、その部屋にいたもう一人の青年。此方黒髪の彼こそ、壮年のグレアムとは対称的なまでに若いながらも、しかし（艦隊司令とまではいかずとも）この様な部屋にいてなんら不自然ではない人物……時空管理局が誇る若き提督にして、本作戦における現場のトップ／実質的なNo. 2たるクライド・ハラオウンその人である。

グレアムとは私的に師弟関係を持つ彼ではあるが、言わずもがな本作戦におけるその地位は彼の実力に依るもの。20代半ばにして提督となったその力は紛れも無く本物であり、決して容赦しない事でも有名であるグレアムの指導において尚、名実共「一番弟子」と言えるだけ存在。

そしてその彼は、前評判に違わぬ……それどころか期待以上の大金星を、つい先程上げてきた所でもあった。

綿密に進められてきた、対「闇の書」討伐作戦の最終段階。漸く完成した“切り札”を投入しての、最初にして最後となる真正面からの直接対決。状況によつては退く事も可能であり、また事実として幾度となくそれを繰り返してきた今までとは異なり、真正銘「詰め」の一手となったその一戦は、追う者もまた追い詰められる事となった背水の陣。極限まで張りつめた緊張感と重責は、如何なる現場のそれとも比較にならぬ程の

もの。

しかし彼は、クライドは、その苦境においても己とその役割を見誤らず、遂には勝利を……そう、「勝利」を収めたのだ。八方を塞がれ、我を失い、目的も定まらず悪戯に被害を広げ暴れる闇の書の主。怒り狂った猛獣か何かの如きそれを前にして一步も引かず、しかし一人として死者を出さず、悪しき因縁へ終止符を打つ。グレアムの功績が豊富な経験に裏打ちされるものであるのなら、クライドのそれは溢れんばかりの若き活力を、より正しき方向へと発露させたもの。

無論、彼一人の力で闇の書の全てを打破した訳ではなく、彼自身の力もまた、グレアムを始めとする師や友人、仲間達の支えがあつて始めて花開いたものでもある。だが、決して大粒とは言えない原石を丹念に磨き上げ、それが輝けるだけの舞台を築き上げたのは、紛れも無くクライド自身の努力の賜物であり、此度の件における殊勲がおよそ万人の認めるだけのものである事もまた事実。

けれども、現実とは意外や意外。そんな優等生である彼が、彼こそが、他ならぬ此度のグレアムの溜め息が元凶なのである。

話は少々遡り、先の「闇の書」と戦い最終局面より少し後となる。クライドを始めとする局員達の奮闘により「勝利」を収めた一行は、当然ながら速やかに主、並びに「闇

の書」の確保へと当たった訳なのだが、切欠はその際の主によるささやかな「抗議」であつた。

その職務上、確保した犯人からの罵声や暴言自体は然程珍しい事ではない。犯罪者といえ人間、そういった立場となれば自然と悪態の一つも吐きたくなるものであるし、それが法を犯すような者であるのなら尚更の事。当然、度が過ぎれば更なる罪状となつて首を絞める為、賢い人間（局員にしてみれば、そも凶悪犯罪に走る時点で賢いとは言ひ難い気持ちではあるが）はまず黙して語らないものなのだが、中にはそれさえ省みずに、湧きあがる激情のまま喚き散らす者もいる。それは、何らかの事情で理性が損なわれている場合や、そもそも「理性」そのもの……共存共栄の為の常識マナーも弁えられない不作法者であつたりするのだが、今回はまさしく後者の典型であつた。

なまじ今まで強大な力を思うがままとし、「自分こそが世界の頂点である」という妄言を信じて疑つていなかった闇の書が当代にとつて、その鍍金を剥がされ捕えられるのは何にも勝る屈辱だつたのだろう。落ち着きを取り戻し、口を開ける様になるまで回復した途端、まるで堰を切つたかのように罵詈雑言を吐き出し始めたのである。少し視点を変えれば、それは今まで自分自身が他者に強いてきた事そのものであると気付けそうなものであるのだが、得てしてそういった人間とは視野が狭くなるもの。疲労困憊の中諫める局員達もなんのその、やれ政治の体制に始まり局員個人の人格攻撃等、耳に入れる

事すら嫌になる言葉を四方にまき散らし続けたのだ。その酷さたるや、ある程度場馴れしているベテランさえ思わず顔に出してしまった程である。

勿論、「静かにして戴く」為であっても、そこで局員が感情のままに手を上げる事など許される筈も無い。例えばどれ程凶悪な犯罪者であろうと、また一見して理不尽であろうと、捕縛し無力化した時点で、それは彼らが守るべき存在……力無き人々と同じ立場となるのだ。それに対し武器をちらつかせ脅したり、まして実際に危害を加えるなど、「正義の味方」としては断じてあつてはならない。

「法」と「理性」という「枷」の存在により、始めて管理局は正義としての存在が許されているのだ。人間らしい感情を捨て去れとまでは言わないが、個々人の、それも一時の情に流されるままに強大なる力を振ってしまえば、それは本来立ち向かうべき犯罪者達の姿となんら変わらず、むしろ組織としての規模・権力から二流三流の犯罪組織マフライアより遥かに脅威となりかねない。歪んだ正義は時として、悪以上に人々を傷つけてしまうのだから。

しかし、それは現実に起きた。立場や人格故、一般の局員達よりも遥かにそれを理解しているであろうにも関わらず、「それ」は起きてしまった。

直接的な切欠となる単語フレックスが何であつたのかなど、今となつては判別もできない思い

返す気にさえなれない。明確な差別の意志を含んだ文言や、日常ではまず許されないうなもの数が多く含まれていたのだ。その何れが彼の沸点を振り切らせたのかなぞ、推測する事さえ嫌になるだろう。

ただ事実として、管理局に所属する一人の魔導師——それも、真面目であり優等生でもあり、誰よりもそういつた不祥事とは縁遠いと思われていたクライド・ハラオウンが、確保済みの犯人が顔面へと見事なる右ストレートてっけを叩きこんだ。或いは真面目だからこそ、優しいからこそ、その言葉を、彼自身は勿論その仲間達の信念さえも侮辱する言葉を許せなかったのかもしれない。

何れにせよ、彼の上司にあたるグレアムとしてはたまったものではない。常日頃より厄介事を引き起こしていた問題児ならばまだしも、此度の下手人は出生街道を堅実に歩み続けていた努力の人。そんな人物による、これまでの功績を一片で台無しとする暴挙を前にすれば、グレアムでなくとも溜め息の一つも吐きたくはなるものだろう。

艦長室を、何とも言えぬ沈黙が覆う。

異なる思惑を胸に、しかし共に押し黙ってしまう二人の様子は、まるで叱られる生徒と呆れる教師の構図にも見える。元々魔導その他に關しての師弟關係を持つ以上、ある意味ではそれも間違いではないのかもしれないが、実年齢よりも若く見えるクライドの

容姿もあり、尚更ハイスクールにおける一場面か何かの様にさえ思えてしまう。

「……そこまで反省しているのなら、何故あんな事をしてしまったんだ。」

相手が相手とはいえ、事が公となれば処罰は免れられんぞ」

言わずもがな、此処は職場であり学び舎とは訳が違う。定められた規範を破つてしまえば成績表の赤程度では済まされず、普段どれ程模範的であろうと、行われた違反それが見過ごされる理由とはならない。グレアム個人の感情の如何に問わず、その立場故に苦言を呈し罰さなければならぬのである。例えそれが理不尽なものであろうと、感情に反するものであろうと。

故に その行為を、考え方を叱責する。

上に立つ者として、先に生きる者として、より多くの過ちを重ねてきた者として。そうなつてほしくない為に、まだ見ぬ地平——無限に続く、果て無き荒野が標としてもらうために。嘗てと同じ様に。

無論、今現在とグレアムにとつての「嘗て」とは状況が違う、内容が違う、互いの立場が違う。「叱る」という大枠へと含めてしまえば同一でこそあるが、その実態は全くの別物と言つても過言ではない。そも、同じ内容を繰り返し返さなければならぬ程クライドは愚かではないのだから、その変化もある意味では当然と言えよう。



「ですが！」

しかし、その中でも最も目を惹く変化を挙げるとするのなら、やはりそれは「叱られる側」のそれだろう。

「ですが、後悔はしていません。

あの時……あの言葉に対し行動を起こしていなければ、

自分は一生後悔する事になっていた筈です」

時が経ち、グレアム自身もまた地位や経験を移り変わらせてはいるものの、既に成熟し完成している分、その芯たる要素は「嘗て」のそれとなんら変わってはいない。なればこそ、この変化は叱られる側の、クライド個人の変せいちよう化。

蛹を経た幼虫がやがて羽ばたくように、彼もまた苦難を越え成長したのだ。自らの力で、暗闇の中に光を見いだせるように。容赦なく吹き荒れる嵐を前に、「それでも」と立ち向かえるように。

「例え自分の立場があろうと、あれだけは、あれだけは、あの言葉だけは、聞き流す事などできません。

管理局員として、一人の人間として。

……そして、一人の男ちちおやとしても です」

そう言いきったクライドではあつたが、自身が悪い事をした という自覚がある故の事であろう。啖呵を切つたその時さえ俯き加減であり、心なしかその言葉も勢いを欠いていた。

「……覚悟は、できています。今更、責任を逃れるつもりはありません。

如何なる処罰も、甘んじて受け入れるつもりです」

だがその中であつても、彼の眼差しは決して曇りはせず、まして濁つてもいない。そして、その瞳の奥で煌めく焰は、彼が自らの行動の持つ罪を受け入れ、それでも行動へと移し、且つ後悔をしていない事の、『覚悟』を以ての行いであつた という事の何よりの証でもある。

再び訪れる沈黙。

本音を言つてしまえば、その静寂それ自体がクライドには非常に辛いものであつた。先の通り自身の行動を後悔こそしてはいないものの、かといつてそれを「正義」と押し

通す気も無い。クライドにとって何よりも苦痛であるのは、慕っている人物に対し自身の悪を告白する事であり、面倒事押し付けてしまう事にあるのだ。

いつそ一思いに という感情が決して無い訳ではない。だが、その権利を持つ人物は同時に自分をここまで育て上げてくれた人物でもある。「どうにでもしてくれ」というのは、ある意味ではその恩を、自身への期待を溝へ捨てて行いにも等しい。どうして、そう軽はずみに言えようものか。

彼ら自身が「正義」を背負っている以上、「悪」に対してはどうしても敏感に、ある意味では過敏にもならざるを得ない。勿論、管理局とて絶対的なる正義という訳ではないし、時としては灰色の選択を強いられる場合もある。しかし、その清濁全てを飲み干し、その上で尚ポーカーフェイスを保っていられる程、クライドは未だ大人でも老人でもないのである。

数瞬、しかしクライドにとっては数時間にさえ感じられた間の後、漸くグレアムが口を開く。しかし、返ってきたその言葉は、あらゆる想定から外れたあまりにも意外すぎるものであった。

「……はて、どうも最近物忘れが激しくてな。

あの二人にもよく言われるよ。曰く、最前線を退いてから一気に老けこんでしまったらしい。

全く、歳はとりたくないものだな」

僅かに姿勢を崩したグレアムが、突如として脈絡も無い事を話し始める。張りつめていた筈の空気も栓が抜けたかのように軟化し、言葉にこそ出ずとも、その唐突な転換に着いてゆけないクライドは唯々困惑するのみ。

一方、そんな弟子の様子にも構わず——むしろ、そんな姿を見てなのか、構わずに言葉は続けられる。

「さて、君を此処に呼んだのは確か……」

おお、そうだった。『今後』の段取りを確認する為だったな。

『森から抜けきるまで歓声は上げるな』

今回の案件の内容を考えれば、用心に越したことは無い」

言わんとする事は判れども、その意図は未だ判らず。クライドの戸惑いは、グレアムのこんな「見え透いた」演技にも依るのだろう。

少しばかりの運動不足で老けこむ歴戦の勇士など居る筈も無く、活躍の場を移せども

その雷名は未だ轟きを失われず。にも関わらず「老けこんだ」等とありもしない事を言い、あまつさえ見え透いた話題逸らし。冗談も通じない程の堅物という訳でもないが、かといって時と場合も弁えられない愚か者である筈も無し。そもそも、例え相手が身内同然のクライドであつても、それを理由として不祥事を揉消してしまふ様な人間では無く、仮に本気で蓋をしようとするのなら、いくらでも上手くやれる筈。今のグレアムのそれは、安い事を自ら強調するかのような三文芝居以下のものでしかない。

だが、続いたその「本音」を前に、漸くクライドもその真意を悟る事ができた。

「と、その前に一つ、君に伝えなければならぬ事がある。

こればかりは、忙しさにかまけて忘れる訳にもいかないからな。

『よくやってくれた』

今回の作戦の指揮官として、一管理局員として、

またギル・グレアム個人として、礼を言わせてもらおうよ」

確かに、クライドは真面目であり、ともすれば堅物な一面もある。しかし、かといって四角四面の潔癖症とまではいかないし、また彼も人間である以上、その内に欲望を秘め小さき悪意を宿しはしている。そして、自身のそれを理解しているという事は即ち、

他者のそれを察せるにも同じ。

なんという事はない。管理局の英雄もまた人間であつた といふだけの事である。

「……積極的では無いとはいへ、ばれたら提督も只では済みませんよ?」

「何、ばれなければどうという事はない。」

それに、あれは言わば安全を確保する為の “必要な犠牲” だつたのだよ」

そう言うクライドではあつたが、雰囲気は随分と和らいだものとなつており、口調も咎めるのではなく苦笑いに近いもの。一方のグレームはと言えば、弟子のささやかなる抗議を前にしても何処吹く風。悪びれもせずそう言つてのける辺りは、流星の歳の甲であらうか。

「成程…… “必要” なら仕方の無い事ですな」

「そうとも。あれもまた “必要” だつたという訳だ」

そう口にして、形にする事で納得する、自分の心を納得させる。どの様な言い訳を取り繕おうと、本来あつてはならない事ではある。しかし一方で、溜飲の下がる思いをした人間が存在しているのもまた事実。

不完全なる存在が築きし世界は、決して万物が計算通り運ぶ “完全” なものたりえな

い。それは人間の人間じんげんによる人間の為ための正義せいぎとて同じ事。彼らが人間かいらである限り、どれ程小さくとも「悪」そのものを根絶する事などできはしない。他ならぬその「悪」もまた、彼らにんげんの一部であり欠かす事のできない要素であるのだから。

然らば、これは「小さな悪意」の有効活用であるのかもしれない。少なくとも、彼らはそれによつて比類なき巨悪を打破したのだから。



「さて、それは兎も角そろそろ「本題」へと入ろうじゃないか。

もう時間に追われてはいないが、そう長々と続けるのも好ましくはない。

手短にすませてしまおう」

と、それまでの空気を一転させ、改めてそう話を切りだすグレアム。最前線を退いた身とは思えぬその雰囲気ふんいきに、自然とクライドの背筋も伸びる。

「本局へ到着するまでの予定は手筈通りだ。

今の所、計画の支障となりそうなものは報告されていない」

「だが、何が起きるのか判らないのがロストロギア災害だ。」

特に、今回の代物を考えれば尚の事、何時何処で「万一」の事態へ陥るかも判らない。

——その時は、どうか迷わないでくれハラオウン艦長。

君と、君が背負うものの為にも。

……私の覚悟はできている。娘達も同じだ」

「はい。『その時』は……迷わず、引かせていただきます」

重々しい雰囲気で告げられる内容は、それに違わず非常に重みのある……それこそ、数多くの局員達を束ねる立場でなければ到底抱えきれない程の重要事項——「万一」の場合におけるマニュアル。彼ら二人だけが鍵を有する、被害を「最小限」で抑える為の最後の手段についてのもの。

それもまた、ある意味では先に触れた「悪」の一つとも言えるのかもしれない。「正義」という題目の下、より多きの9を救うために1を切り捨てる行い。例えば1それが見知った存在であっても、個人にとって何よりも大切な存在であったとしても、大衆しゅゐの為であれば非情になる事を強いられる。自身もまた残された者でありながら、家族の、友人の、仲間ちからの怒りと悲しみを受け止めなければならない。

権力ちからを持つとは、上に立つとは、セイギノミカタとは、時としてそういう事でもあるのだから。



「……尤も、そうならないのが何よりではあるし、

その為に努力を重ねてきた訳でもあるのだがな。

正直な所、私としては引く気は元より、引かせる気も更々無い」

しかし、そんな空気も一瞬、笑みと共に再び和らぐグレアム。

彼の言う通り、そもそも「最後の手段」とは文字通り最後の最後、圧倒的なる敗北かそれ以外の二つに一つという瀬戸際において止むを得ず使うもの。入念なる準備の下、「計画通り」に事を運んでいけばまずあり得ないものである。今回の様に順風漫歩で進行しているのならば尚更であり、目的を完遂せんとする彼らの努力そのものが、同時に「万一」を回避するための最善策でもある。

先の確認作業も、言ってしまったえばお役所勤め特有の面倒事の一环であり、グレアムが何とはなしに言った教訓にしても、この二人に限って言えばまずあり得ない事でもある。

「それに、君の方に関してはそのような心配もいらないだろう。

あれ程強烈な一発をお見舞いしてやったんだ、

もう暴れんとする気力も残ってはおるまい」

とはいえ、依然として油断できない状況である事に変わりはない。その中においても

冗談まで言えるのは、偏に数多くの修羅場を潜り抜けてきたギル・グレアムだからこそであり、年甲斐も無くからかわれるクライドにとっては、それが何よりも頼もしく思えるものであつた。

「それよりも……と言つてはなんですが、本当に忙しくなるのは、

本局へ帰つてからになるでしょうね。

今回の作戦、唯でさえ開いていた「陸」との格差が更に加速したと聞きます。

もしかしたら、デスクが抗議文で埋まっているかもしれないですね」

「『陸の守護者』ゲイズか。

確かに、一筋縄ではいかない分、連中の方が遥かに厄介かもしれないな」

グレアムが思い起こすは、何かにつけて後手に回されがちな「陸」——ミッドチルダ

本国の安寧を憂い、魔力という力ステータスを持たないにも関わらず「海」へと真つ向から戦い

を挑み続ける、躍進目覚ましい一人の官僚の姿。

現在扱っている案件が漸く一段落付きかけたとはいへ、それで彼らの仕事が全て終わった訳ではない。二人の地位と立場とを鑑みれば、むしろ帰つた先へ積まれている仕事の方が多いくらいでもある。そして、先の作戦における言わば「後始末」、無理に無理を重ねて実行へと漕ぎ付けた帳尻合わせもまた、その内の一つである。

奇妙とも必然ともとれるが、同じ時空管理局の枠組みの中にあっても、所謂「陸」と「海」との間柄は、決して仲良し子好しとは言えないものとなっている。その典型的な理由の一つが、今回グレアム達が携わった作戦、厳密に言えばそのあり方にある。

果てなど存在しないとさえ思える程広大な次元世界において、それこそ「事件」は現場／会議室の場を問わず星の数程発生しており、しかしその対処に当たれる局員の数は決して無限ではない。然らば、そこにはどうしても優先順位が生まれ、その結果として比較的——あくまでも比較的是はあるが——危険度の低い陸のそれは後に回され、予算や人員といったものが海と比べ乏しくなってしまう。今回の様な大規模な作戦が実行できたのも、偏にそうして切り詰められる存在あつての事なのである。

勿論、半ば一方的に憂き目を見ている陸の関係者達が、「ハイソーですな」と黙って引き下がる筈も無し。そこに生じた摩擦は、たつた今話題となっていたレジアス・ゲイズ一尉の様に、海を嫌い尚且つそれを公言して憚らない官僚を生み、やがてはグレアムの頭を悩ませるような軋轢へと姿を変えてゆく。「真に恐ろしいのは無能な味方」とはかのナポレオン・ボナパルト（グレアムの出身世界における有名な軍人）の言葉であるが、グレアム自身は決してそうとは思っていなかった。むしろ、何よりも優秀であるが故に恐ろしい。

決して、決して陸の人間が「闇の書」の脅威を、遍く次元の海に漂う数々の古代遺物

の危険性を軽んじている訳ではない。彼らとて次元世界に生まれた時空管理局の一員。その恐ろしさは、初等教育の折から骨身の髓にまで染み込まされている。

しかし、グレアムら海の人間がそれに命を掛けている様に、陸の人間にもまた命を掛けるものが、背負うものが存在している。単純な「善悪」ではないその構図こそ、歴戦の勇士をして「一筋縄ではいかない」と言わしめる所以と言えよう。彼らにとっては、正義の反対もまた別の正義なのである。

「ですが、方法は違えど彼らもまた人々の安寧と平穩を祈る同志。

誠意を以て望めば、きつと話も通じる事でしよう」

「だと良いのだがな」

だが、クライドの言う事もまた尤もな話。どれだけ「譲れないもの」の為に対立しよう、その根底を辿ってゆけば大元は繋がっており、そも極々普通に暮らす次元世界の住人にとっては、その諍いそのものが「どうでも良い問題」であったりもする。

目的のみを欲し過程を軽んじるのは悪しき考えではあるが、かといって手段にのみ拘泥して結果を疎かとするのもまた間の抜けた行い。より正しきは、真実へ向かわんと欲するその意志を、あるべき姿・求められる形で顕現させる事。頭の固い老人達には難しく思えるそれも、しがらみに囚われない若き力ならば、或いは容易に手が届くのかも

れない。

例えば、一人の老人の目の前に居る青年の様に。

「まあ、そういった面倒事は年寄りの仕事だ。君達が過分に心配する必要も無い。

兎に角、今は目の前の仕事に集中して、終わったらゆっくり家族サービスでもしてくれ」

「はい。本件が終わり次第、溜まっている有給を消化させていただきます。

そろそろ、運用部の知りあいがあるさいですからね」

ともあれ餅は餅屋。もしくはグレアムの言う通り年長者の務め。どれ程魔導師が優秀であっても、時空管理局の膨大なる業務の全てを一手に引き受ける事などできないし、そうする必要も無い。誰かに任せる事も、己以外へ託す事もまた「信頼」という名の勇氣であり、志とはそうやって次代へ受け継がれてゆくものなのである。

序でに言えば、自分を休める事もまた戦士の務め。帰るべき場所を浮かべたクライドの脳裏には、温かい我が家で待つ最愛の二人、そして道すがらにて怒りとも呆れともとれぬ笑顔で書類を抱え立つ、妻の友人の姿がよぎった。



「では、まだ仕事が残っているのでそろそろ失礼します」

その後も、グレアムの淹れた紅茶を飲みつつ緩やかなる一時を過ごしていた二人だったが、丁度カップが空となった時分に確認事項も済み、クライドが席を立った。信頼できる部下がいるとはいえ、トップがそう長い間外すのも好ましくはない。何より、グレアム同様クライドにも未だ「護送」の任務は残っているのだから。

「おお、そうか。態々すまなかつたな」

「いえ、これも務めの一つですから」

労いにまでも律儀に返すその姿に、グレアムはふと昔の事を思い出した。彼が始めてクライドと出会った時も随分と真面目ではあったが、それ以上に印象に残っていたのはその「固さ」……曲げれば直に折れてしまいそうなまでの「愚」直さであった。

——ああ、そういうえば彼にも困った所があったのだつたな。

自身の指導を鼻に掛けるつもりは無いが、しかし今の愛弟子の姿を見ると、改めてその教えが間違いではなかったのだとグレアムは再確認させられた。幼き日に付き纏っていた危うさはすっかり鳴りを潜め、雰囲気や物腰は随分と柔らかくなり——何より、両の瞳には確かなる輝きが灯っているのだ。純粹に喜び、また誇らしく思いたくもなる

う。

「今後も、何かあれば遠慮せずに声を掛けてくれ。

その時には必ず駆け付け、君の助けとなる事を約束しよう。

……尤も、もうそんな必要もないのかもしれないがな」

師として、或いは父親にも似た立場として、弟子へむすこそんなお節介を掛ける。使い魔である二人もまたグレアムにとっては娘同然ではあるのだが、やはり同性という事に何かしらの差が生まれるのかもしれない。

ただ最後に感じたのは、部屋を出るクライドの後ろ姿が随分と大きく見えたという事。カップを片づけながら、それが単なる老いではないという事を、グレアムはしみじみと思うのであった。



オペレーション・ライトロード

「闇を討ち払う」という願いの下に名付けられたその作戦は、掲げられた正義が示す通り、広大なる次元世界を覆う「闇」……時空管理局はおろか、魔導文明の開闢以来より

禍の頂へと君臨し続ける厄災・「闇の書」の完全なる打倒を使命とするものであった。

人種や信条、更には組織や派閥といった壁を壁を越えて集められた優秀なる人材達や、所謂「海」換算にして丸々一年分は下らないであろう莫大な予算。そして、参照とした資料の分を累計すれば管理局の歴史さえ上回る程に膨大なる年月を費やされたそれは、同時にその投資に違わぬだけの闘志を原動力とするものであり、形式上の区分こそ対ロストロギア災害ではあるものの、その実態は最早「戦争」と評する方が適切とさえ思える程の規模。管理局の歴史に類を見ないであろう天王山。

無論、只単純武力を以て破壊するだけでは、真に「闇の書」を打破する事は叶わない。歴史も証明しているそれは、改めて口にするまでもなく兇案者達も承知の事。彼の存在の最大の武器は、主が死しても尚転生という手段を以て生き永らえる、その貪欲なまでに強靱なる「生命力」にあるのだ。それを克服しない限り、例えばアルカンシエル等の強力な兵器により撃滅しようと、非道により主の口を永遠に閉ざそうと、空間を越え世代を越え、再びその厄災は繰り返されるのみ。

何より、力によって力を圧するだけでは、時空管理局創始の志を、最大の剣たる「非殺傷設定術式」へと込められた願いを踏みにじる事になってしまう。

だからこそ、その魂を、人々の祈りを背負い、その「聖剣」は鍛<sup>た</sup>れた。



## 『カリバーン』

黄金の劍の名を与えられた一振りの端末と内包された術式は、古の伝説に違わぬだけの「力」と、託された願いに依る「輝き」とを宿した、まさしく現代へと蘇った神器。神話より出でし最高の幻想。

本作戦における中核にして切り札たるそれは、闇の書とその主との間に存在する強固な融合を分断し、尚且つその両者を「確保」する為の防衛・封印機構に優れた——それに「特化」した逸品。持ち手を選び、融通も利かず、あまつさえ開発には多くの時間と予算とを要するストレージ型デバイス失格の規格外。

しかし、空想の産物でしかなかつたその宝剣は、いつしか夢の結晶として現実に顕現し、担い手によって石の座より引き抜かれ、その輝きを以て闇の書を切り伏せた。その結果は、まさしくロストロギアという「未知」に対して得た、時空管理局の……延いては人類の勝利と言えるだろう。無論、人知れぬ所で「追い風」が存在していた事も事実ではあるものの、彼ら人類の想いが、その願いが、古代より続いてきた闇の書の因縁を断ち切った事に変わりはない。

人類は、闇の書という脅威に対し確かなる勝利を勝利を収めたのだ。今日この日、この場所。

だが、ここであえて問わせてほしい。

それは真実かまじとと。戦いは本当に終わったのかと。

——既定値到達を確認—— 術式展開——起動シークエンスを開始

見苦しいだけの負け惜しみ。動揺を引き出す為の根拠なき妄言。それらの異論も自然な事だろう。見下ろす事しか能の無い者達による、安全圏から一方的に投げつけられるだけの言葉。異論も反論も期待されていない、キャッチボールですら無いそれに、賛同する者などいる筈もない。

——魔力充填——完了

——リンカーコア稼働開始——出力安定

しかし、その問いに正面から「そんな事は無い」と、自分達の知る事実もこそが全てである。と断言できないのもまた事実である。

人間は全知でも、まして全能でも無いのだ。知らないが故に、その歩みを進める事ができる。欠落しているが為に、進まんと欲する事ができる。その性質は、人間という枠

組みに属するモノであれば、誰しもが有するもの。人が人である限り、決して森羅万象を自らのものとする事など叶わないのだ。

古代ベルカの王も。ミッドチルダの管理局員も。そして、神々の台本を識る者達でさえも。

——魔導回路——再構成完了

——演算回路——全領域において異常無し

——蒐集システム——正常稼働

——偽骸ユニットの解除を開始——完了

人間とは、立ちほだかる困難を克服する事によって進歩を重ねてゆく生き物である。

そうして壁を乗り越え、より高き視点を得る事によって、始めて次なる未知みちを知り、新

たなる世界へと踏み出す事ができる。

即ち、勝利を得る事によって、ヒトは始めて自身が道化である事を、無力なる箱庭の住人である事を理解できるのだ。

——全ハードウェア——構築終了

——全ソフトウェア——更新開始

「生存」とは、遍く生命が有する不変にして絶対なる本能。有機無機の分別を問わず、  
 “生きる”モノ、この現実で息づく全ての存在へ等しく与えられし権利にして枷。なら  
 ば、それは当然夜天の書という一つにして無数なるイキモノに対しても当てはまる  
 道理。

進化を重ね、不条理を捻じ曲げ、同胞達の祈りさえも呪いとし、その妨げたる悉くを  
 滅する。

全ては自分が、自分達だけが生きるために。強者となる為に。

—— 不確定要素検出 —— 終了 —— 支障無しと判断

—— 現段階における可動領域 —— 全システム構成完了

回る、回る、回る。

唯一絶対なるその命運ぶ役目を背負い、今日も歯車は回り続ける。自らがその奴隷はぐるまで  
 ある事さえ知らず、判らず。何時までも回り続ける。

やがて回れなくなる その時が訪れるまで

—— 全工程完了 ——

《Night Desires》  
 《夜天の書》 顕現

## 番外2：【地震】 天使降臨 【速報】

「ゴメン！ 遅くなっちゃって。……間に合ったかな？」

「いや、まだ大丈夫だ。慌てる様な時間じゃない という訳でもないがな」

次元の波間へ錨を下ろす超大型次元航行艦にして、時空管理局「海」の総元締めたる「本局」。その一区画に設けられた訓練用施設の一角に今、まさしく精鋭と呼ぶに相応しい錚々たるメンバーが集結していた。

たった今到着した「エース・オブ・エース」を皮切りに、古の業を受け継ぐベルカの騎士が三人、しかもそれも其々が各分野におけるエキスパートであり、尚且つ現場における信頼も厚い者達ばかり。分母が少ないとはいえ、その魔導師ランクの平均が文句無し「S」であると言えば、如何に豪華な面子であるのかが判るだろうか。

その一角、僅か4人の女性の集団が、管理局員やそれを志す少年少女にとっては何よりの憧れの的であり、同時に犯罪者達にとってはこの上なく恐ろしいカルテットとなっているのである。

「おせーぞなのは。時間つてのは守る為にあるんだらうが」

「まあまあ、そう言わないの。」

皆だつて忙しいんだし、こうして集まれた事だけでも十分でしょう？」

そして「第一人者である」という事は、相応の需要に基づくものであり、即ち何よりも忙しいという証でもある。唯でさえ慢性的な人手不足に悩まされる管理局が、勤労意欲著しい「優秀」な魔導師を遊ばせておく道理などある筈も無く、次元世界の中でもトップクラスの好待遇である高位魔導師は、同時に何よりもハードワークな職業でもあつた。

誰が言い始めたのか「給料が良くても使う時間が無い」という冗談は、相応の役職に就く局員にとっては最早冗談でもなんでもなく、分刻みのスケジュールを回す猛者の存在が都市伝説として真しやかに語り継がれている程でもある。

なまじマルチタスクといった技術がある分、魔導師にとつての「標準」は魔導文明の存在しない世界のそれと比べ余計に高くなり、(嫌味にも聞こえるかもしれないが)資質の高さが必ずしも人生における余裕へ繋がらない環境となつていたのである。

加えて、その限られた戦力を少しでも効率的に運用するための「戦力制限」の制度が、当地人達にしてみれば極々普通の仲良しグループを、「奇跡の世代」たらしめているという事情もある。

通常ならば、同期入局の新入りが10人20人入った所で、部署全体における戦力には殆ど影響は無い。しかし彼女達の場合、その個々人があまりにも優秀すぎるが為に、大抵の場合二人並べばそれだけで制限を軽く越えてしまうのである。

当然、一堂に集う事などそれこそ世界を揺るがす大事件でも起きない限りあり得る話ではない。

だが、現実には彼女達は（一人の滑り込みはあれど）こうして集まっている。しかもそれは、対ロストログアの特別部隊が編成された為でも、凶悪な次元犯罪者を相手取る為でもない完全な私事であり、尚且つ「模擬戦の立ち会い」などという、物々しささえ感じられる理由の為であった。

「なのも着いたみたいだね」

「その様だな。」

……ならば、そろそろ始めるとしようか」

言わずもがな、極々普通の訓練としての模擬戦であれば、教官や医務官はまだしも、通常の武装局員である他のメンバーまで集まるのは難しいだろう。

然らば、彼女達がこうして駆け付けたのは、それが普通ではない「特別」である証。臨む両者が、どちらも縁深い存在であるが故の事。

『多忙の身であろうにも関わらず、態々濟まないなテストロッサ』

『ううん、大丈夫だよファイラ。忙しいのはお互い様だもの。』

でも珍しいね、シグナムなら兎も角、貴方が模擬戦を申し込んでくるなんて』

『うむ。これだけは、どうしても直接会わなければならなかったからな』

古代ベルカの生きた伝説『ヴォルケンリッター』が一騎：盾の守護獣ザファイラ・八神と、時空管理局の“剣”たる執務官の一人フェイト・T・ハラオウン。

ワールドにて向かいあうそのどちらもが観客達に勝るとも劣らぬ実力者であり、また深い親交で結ばれた間柄でもある。その間柄を知るものであれば、有事の際には所属は勿論ベルカーミッドチルダという在りし日の悔恨かきねさえ容易く乗り越えてくる事を想像するに難くはないだろう。

この強い縁こそ、これ程までに豪華なメンバーを“当然の事”として集められた一番の原動力でもある。勿論、彼女達としてそれは承知しており、今の今更疑問を挟む余地などありはしない。

「でも、急にどうしたんだろね。態々皆を集めまでして。」

それに……」



「ええ、確かに気になるわねえ。

シグナムならまだしも、ザフィーラがこんな事を持ちかけるなんて」

「おいおい、テストアロツサといいシヤマルといい、

それじゃあまるで、私が剣を振る事以外に能の無い駄目人間みたいじゃないか」

「……誰もそこまでは言ってるねーだろ。

まあ、なのはの疑問にやあたしも同意するけどな」

ならばこそ、今の彼女達が抱く疑問は、或る意味では親しいが故に、「良く知っている」が為に生まれたものと言えよう。

寡黙な性格やそのポジジョン故、ともすれば他の三人と比べ影が薄いものと思われがちなザフィーラではあるが、彼もまた剣林弾雨を潜り抜けてきた歴戦の勇士ヴォルケンリッターが一人であり一騎当千の猛者。そこに軽んじる理由など一つも見当たらず、たかが盾と侮り爪牙の前に沈んでいった者は数知れない。

しかし、例えば彼が他の騎士達に後れを取らない戦闘能力を有していようと、その本来の役割は前述の通り「盾」であり、あくまでもその勝利条件は「守り抜く事」。即ち、背に誰かを抱える時こそが彼の立つべき戦場であり、真価を発揮する舞台。

故に、今回の様な純然たる「一対一」という構図は、彼を良く知る仲間達にとっては聊か奇妙にも映ったのである。

勿論、彼が使命の外で純粹に個人としての力量を磨こうと考えるのはなんら不自然な事ではないし、鬪争本能著しいベルカの血筋を引くが為に、彼もまた「そんな気分」になる時もあるのかもしれない。そも、こういった考えそのものが思い過ごしである事も十分にあり得る話ではある。

しかし、「拳の勝負」であればフェイト以外に適任はいくらでもいるし、「盾」を試すのであれば、それこそ一対多数で袋叩きにでもされない限り、彼の実力を鑑みても温過ぎてまともに磨く事さえままならない。何より、何れの理由にしても態々こうして観客を集める事には繋がらない。

だが、それら渦巻く疑問の中においても、ザフィーラの様子からは「気まぐれ」や「思いつき」といったものは感じられなかった。

自然、聴衆の背筋もフェイトのそれと同様張りつめたものとなってゆく。

『ゆくぞつー!』

それまでの静寂により一層けたたましく感じられたブザーと共に、それさえかき消す程の気迫によって幕が押し開けられる。

瞬間、聴衆の疑問は驚愕へと姿を変えた。

驚くべき事に、先に動いたのはその魔力変換資質「雷」<sup>いかづち</sup>に違わぬ速度と破壊力——

攻撃”に極振りしたと言っても過言ではないパラメータを有するフェイトではなく、それとは正反対な性質を持つ「不動の盾」たるザフィーラであった。

しかも、踏みしめた一步目を前ではなく上へ向けそのまま急上昇。目の前のフェイトは勿論、ざわつく外縁までもが一切視界へ入っていないかの如く、只々天を目指し飛翔していったのである。

そして、衝撃は未だ潰える気配を見せず。

高高度空中戦も視野に入れて敷設された防護結界ギリギリの高さにまで上り詰めたザフィーラは、なんとそこで騎士甲冑を含む全武装を解除、一転して急降下を始めたのである。

瞬く間にその距離を詰めてゆく地表。いくら常人ならざる守護獣とて、種々の安全措置が施された模擬戦闘とはいえ、身を守る鎧も無しにその様な暴挙に出れば、最悪でなくとも大怪我は必至。

だが、誰よりもそれを理解しているのであろうザフィーラはしかし、欠片たりともその勢いを緩める事は無く、あまつさえ重力に上乘せし更なる加速へと飛び込んでゆく。

『これが私の……俺の、覚悟だ!!』

着弾　そう形容する他無い程の轟音と共に、濛々たる土煙が区画を満たしてゆく。

やや前方、何も無い場所へ「落ちた」にも関わらず、バリアジャケットを纏い浮遊していたフェイトにまで余す事なく伝わってきたと言え、その衝撃の大きさが推し量れるだろうか。

「どういう……事なの……」

困惑は驚愕へ 驚愕は更に深まる困惑へ

未だ視界の晴れぬ状況の中、なのはは依然として混乱の只中に取り残されていた。

それも当然だろう。開始より間も無いとはいえ、恐らくは全身全霊を掛けたであろうアクションを目の当たりとしても尚、結局ザフィーラの意図や動機は何一つ明らかになっていないのだ。

先程のそれも、彼女にとっては理解の外側のものでしかない。

「ねえ、さっきのはもしかして……」

「ああ、我らの目が正常なら間違いなく……」

「まさか、アイツ……」

だが、一方で残る三人。彼と故郷を同じくする守護騎士達の困惑は、なのはのそれとはやや方向が違うものであった。

言うなれば、半端に「知っている」が為に生まれてしまう、確信を欲する思考の放浪の様なもの。当然、全くの五里霧中であるのはとは、立ち位置も進行方向も全く異なる。

それぞれの想いを胸に、しかし同じ時の歩みの下に暗雲は晴れ往く。その時、その瞬間、其処にあつたのは――

唐突に申し訳ないが、皆さまは「黄金比」なるものをご存じだろうか？

とはいえ、何も複雑怪奇なる数式や小難しい定義について語ろうとするつもりはない。そういったものは専門家に任せるとして、今此処で重要なのは、それが持つ「美しさ」についてである。

それは、遍く次元世界へ数多く存在する彫刻や絵画、各種芸術品においてもしばしば見受けられる数字にして、「黄金」の名に違わぬ美しさと、内なる無限を秘めし大自然の奇跡。可能性という名の神秘を纏う神代の幾何学。

それら黄金比の持つ性質みりよくの一端を、ただ頭の片隅にでも留めておいて欲しいのである。

何故そんな事を急に　と思う事だろう。脈絡が無い事は此方とて承知している。

だが、“それ”を現実にも目の当たりとした今、黄金比についてを欠片たりとも「知らない」というのは、何にも代えがたき悲劇でしかない。そう断言できるだけのものを、紛う事なき確かなる「黄金」を、“それ”は有しているのだ。

ひとつ 揃えられた両の手は百獣の王よりも雄々しく

ふたつ 垂れた頭の荘厳さたるや仏に勝るとも劣らず

みつつ 畳まれた膝を奔る血潮が情熱は火山をも沸騰させ

よつつ 滑らかなる曲線を描く背の優雅さはギリシア彫刻をも凌駕し

——そして その在り方はこの世の如何なる存在をも上回る「美しさ」を以て完成されるツ!!

「間違いない……あれは『平身低頭覇』ツ！」

「知っているのかヴィータ!? ……………ちゃん！」

「うむ！」



平身低頭覇（へいしんていとうは）……古代ベルカ、戦乱の時代において、後に「霸王」と称されるシウトウラの名門貴族・イングヴァルト家が時の長子アマデウス（Amadeus II Inghward）により編み出された秘奥の業。

流された血により綴られてきたと言つても過言ではない古代ベルカの歴史を少しでも知る者であれば、後の「霸王」を輩出した家の、それも実質的な「武闘派としてのイングヴァルト家」の始まりとも言えるアマデウスが直々に編み出した奥義と聞けば、龍さえ恐れ戦く程の残虐極まる絶技を想像するに難くはないであろう。

しかし、平身低頭覇の真の姿はそれら世間の「誤った」常識とは全く逆のものであり、初めて世に現れて以来、一滴たりとも血を流したという記録を残してはいない。

それも当然だろう。何故なら、それは破壊の為の業に非ず。戦うべきは敵ではなく己自身であり、示すのは戦果では無く『覚悟』。

平身低頭覇とは、誰よりも強く在らんと欲した、何よりも純粹であつた一人の漢が魅せた、人間としての美しき魂なのである。

より詳細を語る為には、術者であるアマデウスの来歴と、そこから生まれ出でた平身低頭覇に込められし願いについて触れない事などではしない。故に、読者諸兄にはこれより今しばらく、古代ベルカの歴史語りへお付き合ひ願いたい。

時は古代。未だベルカが「聖王」の下一つに纏まつておらず、各地の有力貴族達が銘々「王」を称し覇を賭していた時代にまで遡る。

老いも若きも、男も女も。ベルカの地に住まうおよそ全ての人間に安寧と平穩が許されなかつた修羅の時代。そこでは、人々の上に立つ者……例えば貴族や領主といった地位にある者達は、同時にその個々人の有する主義や主張・信条に関わらず、常に魁となり戦場へ向かう事を強いられる立場でもあつた。

それは、牙を持たねば文字通り全てを奪われる時代が生みだした慣習であり、またある意味では本能的に戦場を欲するベルカの氣質が齎した血の運命さだめとも言えるだろう。そして当然、それはこの物語における主役——イングヴァルト家も例外ではなかつた。

特に戦乱の激しかつたシュトゥラの地に生まれた事もあつたのだろう、当時こそ唯の一有力貴族でしかなかつたものの、既に代々受け継がれてきた類まれなる武の才と技とはこの時から既にその片鱗を見せ始めており、戦いと呼べる戦いには余さず足を運び、一歩ずつ、しかし確実にその勢力を広げる日々を送つていた。その勢いたるや、周辺諸国の中でも特に抜きん出た二頭の一つに数えられた程である。

だが、その栄光の時代において只一人、長子であり他ならぬイングヴァルト躍進の筆頭でもあつたアマデウスだけは、他の同年同世代と比べ異質なる性格を有していた。

簡潔に纏めれば、アマデウスは「争い」が何よりも嫌いであつたのだ。無論、彼とて



誇り高きベルカの血筋を引く者。日常のすぐ傍らに武が息づく生活を常としており、また彼自身長らく家の片隅で眠っていた数々の書物を積極的に掘り起こしては読み耽る等、武技を磨く事それ自体を好んではいた。けれども、それはあくまでも「純粹なる武技として」であり、少々矛盾する話ではあるが、それを実践する事を、濁った血潮が野心の脈を刻む鉄火場で振るう事を、何よりも嫌っていたのである。

しかし、時代は彼に戦う事を求めた。前述の通りアマデウスは長男であり、イングヴァルトを、そこに住まう力無き民を背負う立場でもあったのだ。

血で大地を潤す修羅の時代、戦いに敗れた国が、その民が如何なる扱いを受けるのかは、あえて明言せずとも聡明なる読者諸兄ならば容易に察せられる事だろう。当然、それを彼が知らない筈が無い。

自らの信条を血で汚したくはないが、しかし血を流さなければ民を守り通せはしない。

『剣を持たねば、お前を守れない。剣を持てば、お前を抱き締められない』というベルカのご事にもあるこのジレンマに、アマデウスもまた突き当たったのである。

彼は悩んだ、悶え苦しんだ。そして葛藤に次ぐ葛藤の果てに、彼は自らの心を固く閉ざした。

己を殺し、修羅と成り。圧倒的なる「武」<sup>ちから</sup>を以て乱世に平を齎す。後の「霸王」イ

ングヴァルトの系譜は彼の時代に生まれたと言つても過言では無く、しかしともすれば悪鬼羅刹とも誤解されかねない思想の眞実は、あまりにも悲し過ぎる決意によるものだったのである。

当然、そんな選択を強いた世界が彼に優しくあろう筈も無い。修羅の怒りでも、仏の慈愛でも、人間が人間である限り万人を救う事などできる筈も無く、拳を振う度“敵”を打ち倒す度に、彼の顔からは笑顔が消え、その心は擦り減つてゆく。誰よりも“霸王”に近い力を持つ彼の心は、しかし何よりもその称号が似つかわしくない程に純粹過ぎた、優し過ぎたのだ。

何の為、誰の為かも判らぬ目的を、心も感情も無く完遂する為だけの心無き機械<sup>マシーン</sup>。原初の志を忘れ、作業として拳を振り続けるだけの、何時終わるのかも判らない日々が一体どれ程続いた事だろうか。幽鬼が如きその姿に彼が守らんとしていた人々は怯え、次第にその心を遠ざけてゆく。

後の世における「恐ろしい存在」としての霸王像は、この時期におけるアマテウスの凄惨なる姿が元であるという説が有力視されている現実を鑑みれば、それが如何に凄まじいものであるかが窺い知れるだろう。

そんな彼に、ある一つの転機が訪れた。メヒテイルデという、一人の娘との出会いで

ある。

戦場における同舟という浪漫に欠ける出会いでこそあったものの、二人は直に打ち解けていった。それは、単なる容貌の麗しき以上に、彼女がアマデウスに勝るとも劣らない美しき心を、平和を望む優しき心の持ち主であったが故の事だろう。その出会いにより、彼の人生は大きく変わる事となった。

何にも勝る「一番」を、魂の軸とでも言うべき存在を得た彼の拳は再び黄金の輝きを取り戻し、義務や運命ではない自らの意志で振るわれるそれは、瞬く間にシウトウラを覆っていた暗雲を吹き散らしていった。

そして、相手たるメヒティルデも彼の情熱を快く感じたのであろう。共に立つ戦場で、或いは穏やかなる日常の中で、二人は次第にその交際を深めていった。メヒティルデとの出会いは、長き冬に喘いでいたアマデウスにとってはまさしく春一番となったのである。

しかし、深く歴史に通じる読者諸兄ならば既にお気づきの事であろう。あの古代ベルカが、因果応報と諸行無常により編まれた極彩色のタペストリーが、そうも容易く男女のラブロマンスを受け入れるものかと。そして、その疑念は紛れも無く確信のものである。

「なんたる悲劇、アマデウスの笑顔を取り戻したその娘こそ、躍進目覚ましい「もう一つの勢力」にして、同じくベルカ統一という志を抱きながら、しかし僅かな方向性の違い故袂を別つ事となった同門の有力貴族……「虎」のイングヴァルトと対を成す「龍」、後の聖王家たるゼーゲブレヒトの一人娘、メヒティルデ・ゼーゲブレヒト（M e c h t h i l d e l l S a g e b r e c h t）その人だったのである。

無論、二人の間柄が深まる事をその周囲が黙つて見過ごす筈も無く、様々な思惑や利権が絡み合い、しかし「仲を裂く」という一点において奇妙な連携を見せた両家は様々な手段を以て、二人の関係を崩そうと躍起になった。

だが、ここで敢えて読者諸兄に問わせていただこう。その様な小細工で、老いた馬さえ踵落としを放ちそうな程までに無粋なる横槍で、二人の間柄を引き裂けるものかと。

惹かれあう男と女の間に生じる化学的反応は、正しく水素と酸素の如く。激しく燃え上がる二人の結合は、例え神と称される存在であつても決して踏み入れる事許されぬ絶対領域。親類同門の反対も意に介せず、愛を深めあう二人は己が道を突き進み続けた。

当然、その様なものを間近で見せつけられようものなら、対抗心に滾る周囲が同調して燃え上がるのは自明の理。一方がよくも傷物にしてくれたな「検閲済」と罵れば、もう一方は誑かしょつてこの「検閲済」と罵倒を返す平行線。

「子ども喧嘩に親が出る」の故事の元になつたとも言われるこの争いは、あわや同門

同士での戦争一步手前の自体にまで陥る事となった。

そして、その窮地を打破すべく編み出されたのが、彼の奥義・平身低頭覇なのである。

延長に次ぐ延長戦、「これがご破算となれば即開戦」という正真正銘最後の会談の場において始めて世に出でたそれは、昇竜が如く飛翔した術者が裂帛の気合と共に完全武装解除、一転し流星と見紛う速度を以て地に五体を投げだすというものであり、副次的に着弾時においてクレーターを刻む程の衝撃こそ発生させど、前述の通り直接的な攻撃能力は一切有してはいない。

だが、その腕一つで文字通り世界に覇を唱えられる程の英傑が頭を低く下げ、あまつさえ剣であり誇りでもある身を地へ平に伏すという行いの持つ「重み」は、例え道を相違えようと、同じベルカの魂を有する人間であれば必ず胸に響くものであるろう。論ずるまでも無く、今こうして稚拙なる文面においてその事実を読み解いている読者諸兄もまた同じ感情を抱いている事は、筆者である私にとつても想像に難くない。

五体投地は築き上げた「誇り」<sup>プライド</sup>以上に重きものである事の体現であり、非武装とは如何なる武力にも勝るといふ決意の表れ。天を衝かんとするその高さは、そのまま「想い」の嵩に同義。

その会談より後の歴史については、残念ながら詳細を記した歴史書が軒並み失われて

しまい、現在においても推測の域を出るものにはなっていない。しかし、これより後の時代においては、聖王ゼーゲブレヒトの傍らには常に「影」たるイングヴァルトが存在し続けたと言われている。両家は其々が昼と夜を守護する太陽と月の化身となり、終幕を迎えるその日まで永劫ベルカを守護し続けたのである。

そして、ここまでの時点で賢明なる読者諸兄は既にお気づきの事であろう。そう、この平身低頭覇こそ、現代において最高位の謝罪方法と位置付けられている「土下座」の起源なのである。

無論、現代におけるそれと古ベルカの奥義とは難易度も意味合いも全くの別物ではあるが、この相違は一説によると、ベルカの凋落・崩壊に伴い数多くの秘儀が失伝してしまつた中で、平身低頭覇もまた本来の意味合いを薄れさせ「謝罪」の部分のみが強調・一人歩きした結果とされている。

なお、所謂「土下座」という名前の由来については、古代ベルカ史・特に乱世の近辺の第一人者であり、当人もまたベルカ貴族の血を引くとされていた学者ジークヴァルト・ド・ゲズウエアの名にあやかつたものとするのが昨今における定説となつている。

Leute & Licht 書房刊『乱世にみる古の奥義―

古代ベルカ編―』より



工男見い不こふアつ形間何頭フアありそ納聡当ま何  
 イったや満ちざレか容違しにエルアし得明然んが  
 ミて目確をとけか二しつっ無イフイ獣てさなのま  
 イのにか砲らん発人ててかかトもまど何せるよ民e  
 さは反に撃おじ情とやもりつちア上も見よ読う●u  
 んそしユで互や期もら乙とたやル手がせう者に書t  
 もうて一解いねか主な女女癖んフいつと諸歴房e  
 言いケノ消忙一発よいなににとだ事けす兄史じ&  
 つうダ君ししぞ情りかんな肉よ言てんと捏やL  
 てもモもてく期先らてつくくなか造ねi  
 たのノるてなとなてらたれし言す一c  
 しただ身のかのんいかてっんかh  
 ・っけだか何だしもんてなt

・てどぞ だ よか の だ

切れた！ その解説りふじんにより、なのはの中で決定的な何か切れた！

僅かばかりの理性により辛うじて口から漏れだす事こそ防いだものの、縦横無尽に氾濫するマルチタスクの海で荒れ狂うは、年頃の乙女のそれとは到底思えぬ……乙女の……乙女……？

………失礼。

切れた！ その解説りふじんにより、なのはの中で決定的な何か切れた！

僅かばかりの理性により辛うじて口から漏れだす事こそ防いだものの、縦横無尽に氾濫するマルチタスクの海で荒れ狂うは、凜然たる淑女のそれとは到底思えぬ程に品性を欠いた感情のうねり！ その坩堝の底で脈動する混沌の模様たるや、正しく歯車の海渦の小宇宙！

なのはは今、まさに激情ブツツという名のビッグバンが只中へ立ちつくしていた！！

彼女とて、この「非日常」を嫌っている訳ではない。

確かに、彼女の、そして彼女の生まれた世界にとって、その力は「超常」のものであ



り「異端」なる存在。そして、本来であれば凡百ながらも平穩なる人生を歩む筈であつた一人の少女を、静けさからは程遠い戦いの道へと引き込んだ張本人でもある。

だが、同時にそれは掛替えの無い親友を、変え難き出会いを齎してくれたのもまた事実である。

或いはもしかしたら、これよりも幸福な未来が何処かにはあつたのかもしれない。けれども、この道を選択した高町なのはの人生は確かに満ち足りており、此処げんざいにおいて紛れも無い「真実」。

何より、非常識を常識に置き換えつつある今となつても尚、彼女は果てなく続く蒼き空を、その無限の海を羽ばたく事を愛しているのだ。無論、この場にいるヒト達の存在は言わずもがな。

しかし、それとこれとは話が別。

好意と全肯定とは必ずしも同義ではないし、愛と盲信とは全くの別物。なのはの周辺には極端に「例外」が密集しているとはいへ、永遠の蜜月なんてものは極々限られた界限での話であり、倦怠期もあれば飽きの訪れが来るのが現実なのである。

もしかしたら、彼女なのは疲れ切っていたのかもしれない。それとも、可愛らしい表現をするのであれば「お腹一杯」といった所であろうか。

閃光と雷鳴轟くこの世界へ飛び込んで十余年。純粹 とは言いきれずとも純情ではあつた少女に訪れた数多の出会い、その血肉となつた経験は、胃もたれが約束されている程までに濃厚過ぎるものであつたのだ。

彼女自身もまた使い手であるミッドチルダ式を相手取っている時分はまだ「マシン」であつた。

比喩でも誇張でもなく實際ババ……もとい、「老婦人」と呼ばれても仕方の無い年齢にも関わらず露出過多な衣装に身を包んだ魔女や、どう考えてもその血筋を引いているとしか思えない現在の親友（脱ぐと早くなる）程度であれば、まだ許容範囲内に収まるものではあつた。

こう表現すると其方も中々に大概なものであり、かつ「その程度」と言つてしまえる辺り随分毒されている様に思えるが、「その程度」であれば、まだ異文化故のギャップとして見過ごす事ができたのだ。

だが、それと対を成すベルカ式。それも、先述のミッド式へんたをして尚「魔窟」と称される古代ベルカ式との出会いによつて齎されたものは、短いとはいえ非情に濃密であつた経験を以てしても、なのはを月までブツ飛ばす程の衝撃インパクトを有していたのである。

直接的な体験に限つたとしても、出会い頭に纏劾狙振弾をぶつ放してきた赤ロリやら、直接リンカーコアをぶち抜くというド外道技を「ん!? 間違つたかな……」の一言

で済ませる人妻、古今東西はおろか二次三次に至るKENZYUTUに精通している将（笑）に加え、どんな企画に基づいたのか犬耳と尻尾を生やした筋骨隆々浅黒ガチムチ等、その「非常識」の例は枚挙に暇が無く、しかも全てが僅か数ヶ月の間に纏めて押し寄せてきたのだからたまったものではない。

その異常アブノーマルっぷりは、悲しきすれ違いを正し今日まで続く親交を深めた後にも改善どころか加速される始末であった。エターナルロリはスーパー系路線へ方向転換し、女医さんは「我がベルカの医学・薬学は世界一イイツ！」と公言シヤウトして憚らず、おっぱいは目の白黒を反転させて御洒落お洒れなる仮面を被り、止めとばかりに犬野郎はご覧の有様である。

「善良なる常識人」を自称する彼女にとっては全く以て笑えない現実が、そこにはあったのだ。

また、愉快なる友人達程ではないにせよ、所謂「次元世界人」という者は（なのは主観では）中々に螺子の飛んでいる連中揃いであり、事件一つ一つの詳細は省かせてもらうが、何れも培ってきた常識と程良い腹筋とに多大なるダメージを蓄積させ続けてきた。

それらと比べれば、AAAランクのステルス機能を駆使し非殺傷ガン無視で奇襲を仕掛けてきた違法型魔導兵器（なお5秒と保たず廃品と化した模様）など可愛いものなの

である。

『例え記憶そのものが曖昧であろうと、社会が受け入れてくれようと、

この両の手が血で汚れている事は承知している。

真つ当な生き方が許された今でも、己の過去が清算されたなどとは思っていない』

『だがそれでも、それでも私は、彼女を愛しているのだ。

偽りに塗れたこの身においても尚、それだけは確かなる真実だ』

『例え何があつても、彼女を守り抜く。

課せられた使命の……「盾の守護獣」としての本能プログラムではない、

自らの意志で生きる一人の雄おとことして、必ず幸せにしてみせる』

「ザフィーラ……お前、そこまでアイツの事を」

「いつもは「黙して語らず」みたいな感じだったけど、やる時はやる気質だったのねえ」

「うむ、それでこそ誇り高きベルカの騎士だ」

（あ、でもそれぐらい熱いプロポーズとかだったら欲しいかも。

実家の道場でお父さんやお兄ちゃん「なのはが欲しければ自分達を納得させてみ

ろ」

とか言い始めて、でも圧倒的プレッシャーを前にして一步も引かず

剩「認めさせるのは良いが……別に、二人とも倒してしまっても構わんのだろう？」  
なんて宣言しちゃって、それからそれから……)

これ以上、そんな「濃い」ものを摂取する訳にはいかない。否、既に飽和状態にある身体が自然と拒絶するのは明白。然らば、この現状もまた必然の結果と言えよう。

目の前で繰り広げられる、ベルカーミッドチルダの高い垣根を、更には「造られた生命」という重責さえも撥ね退ける一世一代の大勝負が行方を右から左へ聞き流し、只管に自分の世界へと沈んでゆくのはさん「結婚適齢期」才。

周囲が喜びと感動と祝福の笑顔を浮かべている中、唯一人明後日の方向へにやつくその姿は、とてもではないが青少年少女憧れの的であるエース・オブ・エースとは思えない程に俗物であった。

もしくは、そう思える程に「普通の」女性をしていたとでも言うべきか。

しかし、彼女は大切な事を忘れていた。或いは、その「うっかり」もまた必然なのだろうか。

彼女は忘れていた、この世は所詮因果応報と諸行無常によりできてきている事を。意図せずとも立ててしまったフラグは、必ず回収されるという事を。それも、斜め上の方向で。

その詳細を語るのはまたの機会にするとして、唯一つ現時点で言える事は、『高町なのはは、その人生の中で今一度平身低頭覇を目撃する事となる』という真実のみである。

それも、この上無い“特等席”で。

3章：地球よ 私は帰ってきた

【当選】候補者 八神はやて (9) 【確定】

2：名も無き魔導書：XXXXX／YY／ZZ (黒) 99：99：99 ID：N@1

tT8—D

スレ立て乙

3：名も無き魔導書：XXXXX／YY／ZZ (黒) 99：99：99 ID：N@1

tT8—D

立て乙

4：名も無き魔導書：XXXXX／YY／ZZ (黒) 99：99：99 ID：N@1

tT8—D

乙。褒美に砂肝を贈呈しよう

6：名も無き魔導書：XXXXX／YY／ZZ (黒) 99：99：99 ID：N@1

tT8—D

乙。俺は塩派だ

7：名も無き魔導書：XXXXX／YY／ZZ (黒) 99：99：99 ID：N@1

t T 8 | D

&gt;&gt;&gt; 6

お前さんには言つたらんがな

1 0 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 | D

いよいよ現代か

1 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 | D

w k t k が止まらないぜ

1 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 | D

しかし随分久しぶりに新規スレが立った気がするんだが

1 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 | D

単に見落としてただけなんじゃねーの？

スレなんざいくらでもあるし

1 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @



1 t T 8 — D

どうでも良いスレの盛隆たるや流れ星の如く

1 6 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 — D

本当に一瞬で流されてくからな

1 7 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 — D

そして人知れず燃え尽きてゆくという

1 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 — D

なんと夢いものよ

2 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 — D

で実際久しぶりなのかそうじゃないのか

2 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N @

1 t T 8 — D

&gt;&gt;&gt;2 1

実際久しぶりだ

主要なスレを余さず観測し続けてきた俺が言うのだから間違いない

24 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

お、おう

25 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

さいですか

28 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

>>>23

そんな自ら底辺糞ニートに比肩する暇人である事を告白せんども

30 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

>>>28

誰でもそこまで言つたらんだろーが

31 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D

>> 2 8

暇人はさておきいくらなんでもそりや言い過ぎだろ

3 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

そうとも

むしろ>>23の様に日々ネットの隅々までを見守り続け更にそれを

まとめてくれる存在があるからこそ優雅なるネットライフを満喫できる訳じゃ

ないか

感謝して敬え

3 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>> 3 3

申し訳ないがアフィ豚はNG

3 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>> 3 3

(A A略)

38 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

しかしこんな底辺オブ底辺の吐いたタンカスをまとめ読みする物好きなんざいるのかよ

39 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

そもそも一体誰が広告費その他をひねり出すのか

40 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

それ以前に住人意外にこれを読める奴がおらんだろうが

41 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

まあなんやかんや言っても此処にいる奴全員が現在絶賛無業中でFA

42 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

&gt;&gt;&gt;41

冗談も通じないマジレスかつこわるい

45 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D

とりあえず多方面に喧嘩を得る様な話はこれぐらいにしとこうぜ

そろそろ我々の現実の方に目を向けようじゃないか

46 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D

その現実が一寸先まで闇状態なんですすがそれは…

47 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D

お先真つ暗って事なんだろ (達観)

49 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D

>>> 47

ネット住人特有の斜に構えた態度やめろ

50 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 | D





成程

リンクが完全に繋がっていないから視覚その他を得られてないのか

65 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

そんな仕組みだったのか

66 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

スマン適当な事言った

68 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

まあ概ね理屈は判ったわな

70 : 名も無き魔導書 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

でもそうなる何故スレなんざ立てられるのか

このスレだつて機能の一部なんだろう？

71 : 管制人格 : XXXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @ l t T

8 — D



ご都合主義か何かじゃね？

7 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>> 7 1

理屈を考え回す事さえ放棄した投遣り回答に草不可避

7 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>> 7 1

ちよつと適當すぎんよ

7 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>> 7 1

どうかお前さんが疑問形にすなよ

7 6 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

まあ我々中の人として未だ全てを把握掌握してる訳じゃないんだし

7 7 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

せめて自分の行動くらいは責任を持つべきだと思ふの

7 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

というか未覚醒が理由ならせめて「外部の情報 that 得られない」とかにしとけよ

「真つ暗」とかあまりにもお粗末すぎんだろ

7 9 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

折角希代の頭脳( ) を持つてる訳だしな

8 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

>>> 7 9

それとて借り物とか造り物だろうに

8 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @

l t T 8 | D

しかし我々の手の中にある事は事実だ

握られた道具を使って何が悪い

83 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @  
 1 t T 8 | D

流星にそこまで開き直るつもりはないが概ね賛成だな

重要なのはそれで「何を成すのか」であって

力そのものはあくまでも「道具」でしか無い訳だからな

84 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 | D

過程は当然大事だがそれに拘って真実を見失うのもまた滑稽な話だわな

85 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 | D

過程や方法など ( r y

86 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 | D

>>> 85

それは流星に極端やで

87 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 | D

>>85

まるで学習していない……

88 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

意外! それは “うっかり” ツ!!

90 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

十年そこらどころか百年経っても成長しなかったからな彼は

91 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

その辺もまた魅力と言えなくもない

94 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

つか今更こんなこと聞くのもあれだが今って本当に「現代」なのか?

95 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

1 t T 8 — D

そういやそうだな

外部の情報を得られないのどうやって判断するのやら

97 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

今現在の様子を知らなくとも「最後に外部と交信していた時」から

どれくらい経過したかを計算すれば大凡は測れるだろ

98 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

成程確かに

内蔵された時計なら外に影響されず動いてるからな

99 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N @

l t T 8 — D

おまけに原子時計並みの無駄な精密さときた

100 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ l t T 8 — D

そら元々記録媒体なんだから日時の測定ぐらいできるだろ

101 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ l t T 8 — D

普通に考えれば機能は兎も角測定する人格の方がぶつ壊れちまうと思うけどな

102:名も無き魔導書:XXXX/Y Y/Z Z (黒) 99:99:99 ID:N

@1tT8—D

100年200年単位はあたりまえだからな

どう考えても根性論だけで乗り越えられる時間じゃないし

104:名も無き魔導書:XXXX/Y Y/Z Z (黒) 99:99:99 ID:N

@1tT8—D

とうの昔に普通じゃなくなっちゃったって事なんだろう

105:名も無き魔導書:XXXX/Y Y/Z Z (黒) 99:99:99 ID:N

@1tT8—D

しかし世の中には意中の人と再開するまでの日数をきっちり数えてた猛者もあるんやで

106:名も無き魔導書:XXXX/Y Y/Z Z (黒) 99:99:99 ID:N

@1tT8—D

そりや同い年の男相手に「甘えに來い」と真顔で言い切れる女傑やし

107:名も無き魔導書:XXXX/Y Y/Z Z (黒) 99:99:99 ID:N

@1tT8—D

何時の間にか始まった続編では

何時の間にか子どもまでこきえてる始末だからな

108 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)    99 : 99 : 99 : 99    ID : N

@ ItT8 | D

あの衝撃は忘れられない

111 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)    99 : 99 : 99 : 99    ID : N

@ ItT8 | D

で、また横道に逸れてた訳だが今現在は実際何年なのよ

112 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (黒)    99 : 99 : 99 : 99    ID : N @ It

T8 | D

最後に外部と交信した記録がミッド歴での54年ぐらいで

そこから内部での時計でおおよそ4000日近くが経過してる

次元世界の標準的な暦も一年は365日だからだいたいミッド歴での65年

113 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)    99 : 99 : 99 : 99    ID : N

@ ItT8 | D

確かミッド歴65年が1期2期での話だろ

10年後の75年が3期の舞台だった筈だから





女にも早漏なんてあるのか？

1 2 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

管制氏カマホモ説

1 2 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

>>> 1 2 1

根も葉もない風評被害やめろ

1 2 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

まあ早漏の主なら今までもいたけどな

1 2 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

我々は医学書という訳じゃないんだが

確かにそういった情報が無い訳じゃないんだが

1 2 6 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

それだけ当人にとっちゃ死活問題だったんだろ

@ 1 t T 8 — D  
 1 2 7 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)  
 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9  
 I D : N

ええやないか。早撃ちの名手としても名を馳せてた訳やし

@ 1 t T 8 — D  
 1 2 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)  
 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9  
 I D : N

早撃ち(意味深)

@ 1 t T 8 — D  
 1 3 0 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)  
 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9  
 I D : N

普通逆じゃないかそういうのって

つか周知の事実だったのかよ早漏って事

@ 1 t T 8 — D  
 1 3 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)  
 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9  
 I D : N

これは治療に費やしたくもありませんわ

@ 1 t T 8 — D  
 1 3 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)  
 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9  
 I D : N

E D の事実を流布された主よかなんぼマシやろ



@ l t T 8 | D

早いだの勃たないだの汚えスレだなしかし

1 4 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ l t T 8 | D

何を今更

住人が薄汚れてるのなんざ判り切ってた事だろ

1 4 3 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N @ l t

T 8 | D

私は真正正銘のバージンだったぞ

1 4 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ l t T 8 | D

>> 1 4 3

売れ残り乙

1 4 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ l t T 8 | D

>> 1 4 3

行き遅れ乙

146 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1 t T 8 | D

>> 143

すごくどうでもいい

148 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1 t T 8 | D

>> 143

言うなはしたない

150 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1 t T 8 | D

>> 148の僅かばかりの優しさに全俺が泣いた

151 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1 t T 8 | D

というか別に貞淑云々じゃなくて性根の問題だろ

純潔だなんだは関係無い

152 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 : 99  
 T 8 | D

I D : N @ 1 t

ぐうの音も出んわ

153 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 I D : N

@ 1 t T 8 — D

今日の管制ちゃん荒ぶってんな

156 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 I D : N

@ 1 t T 8 — D

つまりDTな俺も等しくアウトロー側であるという事か

157 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 I D : N

@ 1 t T 8 — D

>> 156

それはまた別問題だろ

158 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 I D : N

@ 1 t T 8 — D

>> 156

というかそうであっても素直に喜べんと思うが

161 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 I D : N

@ 1 t T 8 — D

とりあえず品性の欠片も無い話題はこの辺で打ち止めにしようぜ  
 近くにや無垢そのものなお子様だっているんだ

162 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)      99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1tT8—D      ID : N

この暗闇の向こう側には無防備な寝顔を晒した幼女が待ち構えているのか

163 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)      99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1tT8—D      ID : N

これは昂る

164 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)      99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1tT8—D      ID : N

もう寝ているとは限らんけどな

166 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)      99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1tT8—D      ID : N

というかそもそも「幼女」なのか？

167 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)      99 : 99 : 99 : 99  
 @ 1tT8—D      ID : N

何言っただこいつ

168 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 @ 1 t T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N

厳密に言えば8だが別に幼女でも構わんだろ

169 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 @ 1 t T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N

小3相当ならもう「少女」じゃね?

170 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 @ 1 t T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N

小3とかもう立派な淑女だろ

173 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 @ 1 t T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N

何言ってるんだこいつら(困惑)

174 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 @ 1 t T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N

これは早急に国家権力の動員が求められるな

175 : 権力の犬 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 T 8 | D 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N @ 1 t



呼んだ？

176 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

随分迅速な対応だな

普段は呼んでも返事一つしない癖に

177 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

嵐の前触れか何かか？

178 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

日本の沈没も近いな

179 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

相変わらずとはいえ酷い評価だな

180 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

常日頃の態度に依る順当な結果だろうが





プロローグだけで何年費やすつもりだ

195 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 | D

プロローグにさえ辿りつけずエタるよかマシだろ

198 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 | D

まあ過去は過去だ

どうせ感傷に浸る程の思い出も無けりや咽び泣くだけの悲劇もねーんだ

それよか少しでも希望ある未来に目を向けようではないか

199 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 | D

実際には原作における諸問題がうず高く積み立てる訳なんだがな

200 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 | D

なんとかなるだろたぶん

204 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 | D

実際なんとかかなりそうだよな

これまでの実績からしても

205 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

ここまで来た訳だしな

今更何が飛び出そうと驚く事も無いだろ

206 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

だな

208 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

それよか今は本格起動だ

折角だし祝砲でも上げるか？

209 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

なら早速

210 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ 1 t T 8 | D

ラ

2 1 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 | D

イ

2 1 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 | D

ジ

2 1 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 | D

ン

2 1 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 | D

おつとそこまでだ

2 1 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 | D

グ



そっちだつて吹いたらいかんだろ

@1tT8—D  
 224 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 99 : 99 : 99 : 99  
 ID : N

(地表で疑似太陽をぶつ放しては) いかんのか?

@1tT8—D  
 225 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 99 : 99 : 99 : 99  
 ID : N

>>224

いやいかんでしょ

@1tT8—D  
 226 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 99 : 99 : 99 : 99  
 ID : N

>>224

その様な行いを平然とするとはまっことイカンである

@1tT8—D  
 227 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 99 : 99 : 99 : 99  
 ID : N

イカンの意で済まされる話じゃないがな

@1tT8—D  
 229 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)  
 99 : 99 : 99 : 99  
 ID : N



いくらテンションが上がってるからって無節操にSSSランク術式を起動させるとか

230 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N  
@1tT8—D

まるで厨房の妄想みたいだが実際に管理局基準で測定しても「SSSランク」なんだよなあ :

231 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N  
@1tT8—D

そうはいっても実際SSSランクがどんなものか判ってんよかよ

232 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N  
@1tT8—D

SSランクより凄いのじゃないのか? (すつとぼけ)

233 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N  
@1tT8—D

「理論上はあり得ないけど一応設定しておいた上限値」だよ

普通使われる事は無い机上だけの数値

234 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

ちなみに認定基準は大まかに言えば

「こんなのオーバーランカーが100人集まっても発動できないだろうjk」  
だ

237:名も無き魔導書:XXXXX/YY/ZZ(黒)

99:99:99 ID:N

@1tT8—D

>>234

なんだよその適当な認定基準は

238:名も無き魔導書:XXXXX/YY/ZZ(黒)

99:99:99 ID:N

@1tT8—D

まあ設定した連中もまさかそんなアホみたいなのが現実にはできるとは思っ  
て無かつたんだろ

239:名も無き魔導書:XXXXX/YY/ZZ(黒)

99:99:99 ID:N

@1tT8—D

「理論上あり得ない上限値」だから普通そうだろ

240:名も無き魔導書:XXXXX/YY/ZZ(黒)

99:99:99 ID:N

@1tT8—D

しかし既に現実のものになっていくという

241 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

別にそんなものつもりで開発した訳じゃないんだがなあ…

242 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

まあアレとてどこぞのバオーよろしく戦いの中で術そのものが進化してつた結果だし

243 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

最早一種の宝具か何かと化してるしな

244 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

生まれた経緯を知ってる身としてはなんともはや微妙な気分だ

246 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

「あらゆる防御・結界その他属性もろもろを全て無効化して破壊する」

性質を持った広域殲滅だっけ？

247：名も無き魔導書：XXXX／YY／ZZ（黒） 99：99：99 ID：N

@1tT8—D

なんだその黒歴史ノートみたいな厨性能は

248：名も無き魔導書：XXXX／YY／ZZ（黒） 99：99：99 ID：N

@1tT8—D

そんな訳の判らん術式なんか組み込まれて無いだろ

ただ威力が強すぎて一切合財灰も残さず消滅しちまうだけだ

249：名も無き魔導書：XXXX／YY／ZZ（黒） 99：99：99 ID：N

@1tT8—D

なにそれこわい

251：名も無き魔導書：XXXX／YY／ZZ（黒） 99：99：99 ID：N

@1tT8—D

まあ一度発動すればその次元世界が丸つぶ壊れるのが約束されてるからな

発動した主もろとも

252：名も無き魔導書：XXXX／YY／ZZ（黒） 99：99：99 ID：N

@ 1 t T 8 — D

そら失伝しますわ

2 5 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

クリーンで安全とはなんだったのか

2 5 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

>> 2 5 3

まああくまでも “比較的” だし多少はね?

2 5 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

比較するまでも無い気もするけどな

2 5 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@ 1 t T 8 — D

流石に今の我々でもアレを喰らって無事でいられる保証は無いよな

すっかり忘れられがちだか一応システムに基づくプログラム生命体な訳やし

2 5 9 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 : 9 9 : 9 9

I D : N

@1tT8—D

完全に忘れてたわ

260 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

大丈夫、むしろ憶えてる奴の方が少ないから

261 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

こんな良くも悪くも人間臭い場所に入り浸ってれば忘れもする

262 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

プログラム生命体( )

267 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

それ以前にあんなのを使えるのが他ならぬ我々しかいないというね

268 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@1tT8—D

さしもの陛下とてアレの発動はできんだろ

違う方向でもつとぶつ飛んだのは愛用されてたが

269 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

消費魔力必要演算能力その他どれをとつても人間に扱えるものとは思えないか

らな

270 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

それこそ人間辞めた奴か首脳クラスの豪運持ちでもない限りは不可能だろ

271 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

何故そこで麻雀が出てくるのか

確かに違和感はないが

272 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

何故も何も元ネタはあれな訳やし

273 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

そういやセーフティロック解除の為の必要条件で

麻雀シミュレーター搭載なんてのがあったな

274 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ ItT8 | D

能力の無駄遣いと言う他なし

276 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ ItT8 | D

名前だけの別物……と言い切る事ができないあたり彼らの脱人間っぷりが窺え

る

277 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ ItT8 | D

どんだけ恐ろしい事になつとるんだか幻の太陽は

278 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ ItT8 | D

つくづく古代ベルカの奥義とは恐ろしいものだな

279 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒)

99 : 99 : 99

ID : N

@ ItT8 | D



>>278

その大半を企画立案してきた我々が言えた事か

280 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

ごもつともで

282 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

でもまあここまでとんでもない事になるなんて想像できないだろ普通

283 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

//普通//ならな

スパコンを玩具扱いでできる演算シミュレーション能力持つてる我々が言っても説得力ゼロだ

284 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

やっぱり一番になっても駄目なんや

285 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

>>284

日進月歩な業界で二番手に甘んじるとか論外だから

286 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ ItT8 - D

オンリーワンを履き違える間抜けが多くて困る

287 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ ItT8 - D

何を学んできたのかと小一時間 (ry

288 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ ItT8 - D

世の中の渡り方か票の集め方だろ

291 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ ItT8 - D

まあ奥義なんて大層な事言っても実体はその場のノリと勢いで生まれたのが殆

どな訳だし

292 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ ItT8 - D

困った事に我々以外の開発者も概ねそんな感じなのよね

293 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 — D

戦つてる最中に新技閃くとかゲームかよ

294 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 — D

その機転こそベルカクオリティ

295 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 — D

他ならぬ王族がその魁だからな

296 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 — D

しかし見栄えするものならまだしも明らかかなアホ奥義をさも

「なんという冷静で的確な (ry) の如く放たれるのは実際どうなのよ

297 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@ 1 t T 8 — D

>>> 296

やつてる当人たちは至って真剣なんだからそれで良いだろもう

298 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

>>>296

その判断で一度たりとも苦境に膝を屈したことが無い実績が真実さ

301 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

当時であんなだったんだから未来とか現在じゃどうなってるやら

302 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

向こうのネット上でもネタとして話題にされてたりしてな

303 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

ベルカはワシが育てた

304 : 名も無き魔導書 : XXXX / YY / ZZ (黒) 99 : 99 : 99 : 99 ID : N

@1tT8—D

しかしネタをネタだと言い切れる常識人さんは果たしていらっしやるのやら



その影響か何か知らんが腹の奥底の方がこそばゆいぞよ

3 1 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9  
I D : N

@ 1 t T 8 | D

起動つてばそういう感覚なのか

何千回と繰り返し返してきた癖始めてしまったよ

3 1 9 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9  
I D : N

@ 1 t T 8 | D

まあ今まではある種の諦めと共に何も考えずにやってきたからな

こうして一つ一つを踏みしめる事もなかったし

3 2 0 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9  
I D : N

@ 1 t T 8 | D

確かに

3 2 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9  
I D : N

@ 1 t T 8 | D

何やら一緒にワクワクも思い出してきた感じやな

3 2 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9  
I D : N

@ 1 t T 8 | D

ああ言われてみれば、そんな感じだわ

3 2 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

そして主が意中の方ではないというヲチ

3 2 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

>>> 3 2 3

おいばかやめろ

3 2 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

>>> 3 2 3

『あり得ない事はあり得ない』からってそういうのはマジで止めロツテ

3 2 6 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

可能性としては無きにしも非ずだからな

かといって認められるものでもないが

3 2 7 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

まあまあその辺の不安を払拭する為にも何か祝砲代わりの一発でもかまそうず

3 2 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

とはいえ恐らくは市街地で砲撃ぶつ放す訳にもいかんだろうに

3 3 0 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

肅々と内輪でカウントダウンでもすればするかい？

3 3 1 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

できんのか？

3 3 2 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

さっきの流れ的に似たような事はできるだろ

3 3 3 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 I D : N

@ 1 t T 8 — D

とか言ってる間にそろそろじゃね？



3 3 4 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 @ l t T 8 | D

何やらむず痒さが高まってきたしな

3 3 5 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 @ l t T 8 | D

やるならとつととやっちまおう

3 3 7 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 T 8 | D @ l t

把握

皆様準備はよろし?

3 3 8 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 @ l t T 8 | D

おk

3 3 9 : 名も無き魔導書 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 @ l t T 8 | D

J a

3 4 2 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z (黒) 9 9 : 9 9 : 9 9 : I D : N  
 @ l t

T 8 | D

3 4 4 :: カウント :: X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 :: 9 9 :: 9 9

I D :: N @ 1 t

T 8 | D

3 4 3 :: カウント :: X X X X / Y Y / Z Z (黒)

9 9 :: 9 9 :: 9 9

I D :: N @ 1 t

それでは皆さんいきますよ

T 8 | D



349 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

キタ Y ( Y ( Y ( 。 A 。 ) !!

350 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

キタ — ( D 。 ( O 〓 ( 。 V 。 ) 〓 O ) D 。 ) — !!

351 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

キキキキ — ( \* , D ) 〓 O ) D 。 ) , D 。 ) タア — !!

378 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

随分な盛り上がり様だなしかし

379 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

何て数だ! 一体何処から出てきやがった

380 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

I D :

突然現れたんだ！ 前ブレも無く、気が付いたらスレ中が住人だらけだ！

382 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8-D

で、結局どうだったよの

383 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8-D

情報はよ

384 : 管制人格 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 ID : N@1

tT8-D

しばしお待ちを……

385 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8-D

——魔導書ロード中——

386 : 管制人格 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 ID : N@1

tT8-D

おk

全システム起動 リンク本接続完了 システムを稼働状態へ移行

第XX代マスターを「八神はやて」で登録しました

387:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

YAHOOOO!!

388:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

よきかなよきかな

392:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

ところで本当にご本人なんだろうな?

393:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

ここまできて同姓同名のオッサンとかマジ勘弁

396:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

今外部情報入ってきたが少なくとも見た目は所謂原作のそれと同じだぞ

397:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

とりあえずは一安心か

398 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

いやまてわからんぞ

可愛い顔してついでるやもしれん

399 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt;398

それはそれでまた良い気がしないでもない

400 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

アレか、女装シヨタという訳か

401 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

女装シヨタの家に美女美少女が三人に加えオオカミ(意味深)が一頭

これは酒池肉林のハーレムな予感

402：名も無き魔導書：2004 / 06 / 04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

>>401

発想が下劣と言う他無い

403：名も無き魔導書：2004 / 06 / 04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

N@1tT8—D

>>401

お前は本当に人間の屑だな

404：名も無き魔導書：2004 / 06 / 04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

N@1tT8—D

ある意味素直ではある

405：名も無き魔導書：2004 / 06 / 04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

N@1tT8—D

単に理性の足りない猿なだけだろ

408：名も無き魔導書：2004 / 06 / 04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

N@1tT8—D

で、結局どうだったのか



410:管制人格:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:N@1  
tT8—D

確認してきた

元気な女の子ですよ

411:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

乙

じゃあ続きは署で聞こうか

412:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

「どうやって」調べたのかおまわりさんに少し話して貰えるかな(ニッコリ)

413:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

無慈悲なる権力の行使やめろ

414:名も無き魔導書:2004/06/04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

同性やからセフセフ

416:名も無き魔導書:2004/06 / 04 (祝) 00:00:00

N@1tT8-D

しかし専門職の資格も無けりや同意も無い

おまけに相手は未成年ときた

417:名も無き魔導書:2004/06 / 04 (祝) 00:00:00

N@1tT8-D

アカン、これは完全にアウトですわ

419:名も無き魔導書:2004/06 / 04 (祝) 00:00:00

N@1tT8-D

まあ冗談はその辺にして実際の所はどんな感じなのか

420:名も無き魔導書:2004/06 / 04 (祝) 00:00:00

N@1tT8-D

見事なまでの美少女でござる

421:名も無き魔導書:2004/06 / 04 (祝) 00:00:00

N@1tT8-D

うむ、文句無しだ

ID:

ID:

ID:

ID:

ID:



国家権力仕事しろ

431 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

しかし改めてこう現実のものとすると思議な感じだな

>>生はやて

432 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

別に二次元キャラを現実に見るのはこれが初めてじゃないが

それでも一層可愛らしく見えるというか何と言うか

433 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

別にはやてをsagerつもりはないが所謂美女少女なら飽きる程見てきた

のにな

434 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

もちイケメン美少年もな

436 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 ID :

N@1tT8—D

まあ實際腹の中にそれらを三人＋一頭抱えている訳だし

437：名も無き魔導書：2004／06／04（祝）00：00：00

ID：

N@1tT8—D

それにしたって思い出補正以上の何かでも掛かっているみたいじゃないか

439：名も無き魔導書：2004／06／04（祝）00：00：00

ID：

N@1tT8—D

こんな事言うのもあれだが俺個人はフェイト派だったのだから

440：名も無き魔導書：2004／06／04（祝）00：00：00

ID：

N@1tT8—D

俺もだ

442：名も無き魔導書：2004／06／04（祝）00：00：00

ID：

N@1tT8—D

俺はアリシア派だ

443：名も無き魔導書：2004／06／04（祝）00：00：00

ID：

N@1tT8—D

&gt;&gt;442

このペド野郎が

445：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

なら俺はプレシアさんを戴こうか

446：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

&gt;&gt;445

なんというマダムキラー

447：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

&gt;&gt;445

命知らずな……

449：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

何故ここで「なのは様の忠実なる下僕です！」と声高に叫ぶ者がいないのか理解

に苦しむ

450：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00

ID：

N@l t T 8—D

&gt;&gt;449

高町家の末娘乙

457：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00 ID：

N@l t T 8—D

はやての話に戻るが、なんとというか単純な愛らしさだけじゃなくて

「愛おしさ」を感じるんだよな個人的には

458：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00 ID：

N@l t T 8—D

&gt;&gt;457

言わんとしている事は理解できるんだが何と言うか言葉にできないというか

459：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00 ID：

N@l t T 8—D

俺も似たような感じだ

461：名も無き魔導書：2004/06 / 04（祝） 00：00：00 ID：

N@l t T 8—D

&gt;&gt;457

それで判ったわ

はやてからは能天気なぐらいにまで「争いの気配」が感じられないんだ  
だから余計に綺麗というか尊いものに感じられるって訳よ

462 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

成程、言われてみれば確かに

これまでの美少女達は例外なく血みどろな争乱の渦中に居たからな

463 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

他ならぬ我々自身がその元凶の一な訳ですし

465 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

何時の間にやらそういういったものに敏感になってたんかいね

466 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

かもしれんな

あくまでも基本は平和ボケした現代日本人な訳だし





N@1tT8—D

それだけ知らずに毒されてたって事だろ

475：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

多分だけ仮に目の前の娘っ子がこれまで同様戦乱に生きる人間だったら

同じ様な感動は得られなかったんだろうな

476：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

まあ起動できる資質があれば例に漏れず武器を手取るだろうからな

理由はどうであれ

480：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

となると相も変わらず能天気なる日本というかこの時代にも感謝せなアカンの

か

481：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

この世界にあっても安定のHENTAIなのだろうか

482 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

まあ何処の世界でもそんな感じなんだろう多分

483 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

少なくとも最終兵器は「遺憾の意」だろうな

484 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

嘗ては冗談の種でしかなかったそれも随分凄いのに見えるんだよな不思議

486 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

これまでもずつと言葉より先に拳が出る世界で過ごしてきたしな

そうも感じるだろうさ

487 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

やはり時代はミサイルではなく麻雀による駆け引きを求めているのだな

488 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt;487

最終的にF—15やらテポドン賭ける展開になるから駄目だろ

489:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt; ご飯の上に天麩羅が乗っている……

490:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt;489

それは天丼

491:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt; 地下の人間達が使役してる……

492:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt;491

そりゃテ●スドンだ

493 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@l t T 8 — D ID :

セリアーン!!

494 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@l t T 8 — D ID :

格好良い要素はいくらでもある筈なのに何故ネタばかり受け継いでいるのかね

495 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@l t T 8 — D ID :

古ベルカ最大の奥義とかか

496 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@l t T 8 — D ID :

あと勘違いしてるかもしれないが「ロン」じゃなくて「ニアス」じゃね?

497 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@l t T 8 — D ID :

「ロン」でも通じそうな気がするけどな

別物になりそうだけど

500 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

N@1tT8—D

無慈悲なるミサイルはさておき現代日本(仮)の様子はどうなのよ

501:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00

ID:

N@1tT8—D

少しばかりスキャンした限りでは概ね我々の知る「現代日本」だな

502:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00

ID:

N@1tT8—D

まあ少しばかりの年代のズレとかはありそうだが

505:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00

ID:

N@1tT8—D

とうとう帰ってきたのか

506:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00

ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;505

少なくとも原作キャラがいる時点で「我々の」日本じゃないがな

507:名も無き魔導書:2004/06 /04(祝) 00:00:00

ID:

N@1tT8—D



515 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

個人的な感情(意味真)ですな判ります

516 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

「おじさん」だけあって汚いな

517 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

これは酷い風評被害

519 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

おまえら何か恨みでもあんのかよ

520 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

此処の住人が典型的なカチグミ・サラリマンに好意的感情向ける訳ないだろ

524 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@1tT8—D

ID :



真面目な話としては「おじさん」からの手紙が確認できた以上

多分原作通りのポジションに収まってはいるんだろ

525：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@lTT8—D

巧妙に隠してはいるがサーチャーもあるしな

526：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@lTT8—D

>>525

おまwwww

527：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@lTT8—D

>>525

そういう事はもつと早く家よwwww

529：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@lTT8—D

まあこのやりとり自体は逆立ちしたって観測される事はないだろうけどな

530：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

もう監視自体は始まつてる訳か

まあ理由を考えれば当然だが

531:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

猫姉妹が付くにはまでは至ってないみたいだけどな

532:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

そろまあ彼女達として表向きのお仕事抱えている身ですしおすし

533:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

そろ「二人とも同時に」休みになれば不自然だよなあ

「どちらか一方ずつが入れ替わり」ならまだしも

534:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

仮にそんな事になったとしても知らない人間には皆勤に見えるんだろうな

何せ「双子」の使い魔だし

535 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

申し訳ないがネタバレはNG

540 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

で、結局それ関連はどうすんのよ

流石にもう後回しにはできんぞ

541 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

このまま「計画通り」に運べばそう遠くない内にカチ合うのは確実だろうしな

負ける気はしないが

542 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 ID :

>>541

何を以て「敗北」とするかだろ

我々としては猫の開き×2と紳士の丸焼きを製造しても何も嬉しくない訳だし

543 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

時空管理局の活き造りなんて以ての外だ

545 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

そんな事すれば間違いなくはやては廃人になるだろうけどな

色々な意味で

546 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

そもそも主が望まなけりやそうはならんのけどな

549 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

しかし向こうさんからちよっかい出してきた果てに「すれ違い」が起きる事も可能性としては十分考えられる訳で

550 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

ならどうすんのさ

まさか我々が管理局に通報する訳にもいかんし

551：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

善意の第三者ならいけんじゃね？

552：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

「地球からの通信」で候補なんぎ二つに一つだろ

553：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

それでなくともやけっぱちになったグレアム氏がゲロつたらおしまいやで現状

555：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

今現在はどう足掻いても「闇の書」だから社会的には

557：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

ならもういつそネタばらしすればええですよん

守護騎士だって好き好んで殺戮してきた訳じゃないんだし

558：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

騎士連中は兎も角我々はどう足掻いても豚箱なんだよなあ……

559：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

叩けば埃が出るってレベルじゃないからな

ネタからガチまで

560：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

少なくとも未成年者略取で3〜7年の刑期は確実やね(ニッコリ)

561：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

公然猥褻で30万以下の罰金も追加やで(ゲス顔)

565：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

これはいけない

566：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00：00：00  
 ID：

N@l t T 8—D

お先真つ暗ってレベルじゃねーぞ

5 6 7 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D :

N@l t T 8—D

社会復帰は絶望的だな

5 6 8 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D :

N@l t T 8—D

それでもなくともはやてに迷惑が掛かるがな

とんでもなくリアルな方向に

5 6 9 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D :

N@l t T 8—D

末代までの恥さらしとはこの事やな

5 7 1 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D :

N@l t T 8—D

そうでなくともどう説明すんだよ

まさか「悪いのは全部アルハザードだ！」で済む筈もねーし

5 7 2 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D :

N@1tT8—D

&gt;&gt;571

その一言で片付いたらどれだけ楽な事か

573：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

ID：

N@1tT8—D

全くだ

577：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

ID：

N@1tT8—D

まあでも何やかんやで上手くいくんじゃない？

守護騎士達も原作じゃ最終的には社会復帰できた訳だし

あと一人くらい余裕だろ

578：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

ID：

N@1tT8—D

&gt;&gt;577

どう考えても「あと一人」の重みが違う気がするんだよなあ……

579：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

ID：

N@1tT8—D



精一杯「ご奉仕」させていただければ大丈夫だろ多分

580 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

>>579

薄い本の鉄板ネタやめろ

583 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

まあふざけなきやどうにかなるだろ実際

584 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

さしあたっては暴走しない事が第一だな

それで大人しくして「今回は話が通じる」とでも認識されれば

後は野となれ山となれだ

585 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

つまりあえて監視の目を泳がせておくって事か

586 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

グレアム氏関連が駄目でも芋蔓式で管理局が出張るだろうからな  
話の通じる相手に掛けあえば良い

588：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

最悪「陸」に戦力を売り込むか記録を引つ提げ教会に駆け込むかだな  
どっちにもコネなんてないが

589：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

なんて迷惑な押し掛けだ

590：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

しかしある意味では堅実でもある

592：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00

N@1tT8—D

暴走に関してはそんな心配はいらんだろうさ

他ならぬその原因たる主があの子な訳だし

ID：

ID：

ID：

ID：

593 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D

だな、血みどろの野心なんて縁遠い性格だろうし

594 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D :

N@1tT8—D

どうしようもない欲に駆られてボン！ も無いだろうしな

騎士達が来た事だけで十分満足してるみたいだし

595 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D :

N@1tT8—D

もう少しぐらい高望しても良いとは思うけどな個人的には

596 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D :

N@1tT8—D

足の麻痺か

597 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D :

N@1tT8—D

それに関しては我々の領分だろうに

598 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D :

N@1tT8-D

結局あれもブラックボックスの中なんだっけ？

600:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

麻痺つつかリンクシステムもその中だな確か

まあぼちぼち解析は進んでは思うが

601:管制人格:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:N@1

tT8-D

一番手こずってるのが所謂防壁に当たる部分だからな

それさえ突破すりゃ後は一気に明らかになる筈

601:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

病状に間に合うのか？

602:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8-D

流石に間に合うだろ

何千年解析続けると思ってたんだよ

604 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

その前にグレアムさん達が強硬手段に出た場合はどうすんのよ

605 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

そらもう守勢に徹して謝り倒すさ

606 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

いよいよ平身低頭覇の出番という訳か

607 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

最悪八神家毎ミッドチルダにあるベルカ勢力圏に逃げ込もうぜ

608 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

随分ダイナミックな夜逃げだな

610 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00  
 N@1tT8—D ID :

しかしこのスレ住人発想が後ろ向きである

611 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

そんなもんだろ住人なんて

614 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

「そんな事」 って言うアレだが

とりあえず今後の予定よか先に目の前のはやてをどうにかせんか？

615 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

確かに

何時の間にやら守護騎士達も揃い踏みしてるし

616 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

身体の内からこの四人を捻り出す感覚にも大分慣れたな

617 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

最早何も感じなくなってきたるしな

619 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

いやちよつと待て

何やら様子がおかしくはないか？

620 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

何が？

621 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

そら確かにはやてはびっくりしてるようだが

625 : 管制人格 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID : N@1

tT8—D

やばい名乗り口上元に戻すの忘れてた

626 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 : ID :

N@1tT8—D

oh...

627：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

マジかよ

628：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

折角の召喚シーンが一片で台無しだ

630：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

幾つかパターンあつた筈だろ

一体何言わせたんだ

631：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

誰も聞いてなかったのかよ

636：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 N@1tT8—D ID：

まあこの様子からして少なくとも「ポーズ付き」では無いみたいだぞ

637：名も無き魔導書：2004/06 /04（祝）00：00：00  
 ID：



N@1tT8—D

まだ感情も何も伴ってない状態であんなのやられりや反応に困るわな

638 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00

ID :

N@1tT8—D

それでなくとも変な事口走ったのは確かだろうな

639 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00

ID :

N@1tT8—D

これには流石のはやてさんも開いた口が塞がらないご様子で

641 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00

ID :

N@1tT8—D

あ、気絶してもうた

642 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00

ID :

N@1tT8—D

流石に脳が限界を越えたんじゃないね？

643 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00

ID :

N@1tT8—D

そりやまあこんなのが現実であつてたまるか

644 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

しかし紛れも無くりアルさ

645 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

とりあえず診た感じでは単なる気疲れというかそんな感じっぽいな

646 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

それでも一応病院に連れていった方が良いだろ

647 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

んだな

「顔合わせ」の必要もあるだろうし

650 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 N@l t T 8 — D

石田先生が30代という衝撃の事実

651 : 名も無き魔導書 : 2004 / 06 / 04 (祝) 00 : 00 : 00 : 00 :  
 I D :

N@lTT8—D

&gt;&gt;650

マジでっ!?

653:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@lTT8—D

つくづくあの世界は若づくりが多いな

654:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@lTT8—D

もう「この世界」だろうが

655:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@lTT8—D

バタフライエフェクトじゃないが石田先生は流石に変な事になってないだろう

な

656:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@lTT8—D

変な弓使いになってるとかか

658:名も無き魔導書:2004/06 /04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

&gt;&gt;656

それならまだしも巡り巡って黒服の髭おっさんになってたら俺は泣くぞ

659：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

I D：

N@1tT8—D

あのラストは衝撃的だったよな……

660：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

I D：

N@1tT8—D

&gt;&gt;659

さも前世では完結してたかのように語るのやめろ

661：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

I D：

N@1tT8—D

まあ弓道を嗜んでいる程度なら大目に見ようぜ

665：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

I D：

N@1tT8—D

しかし病院へ行くのは良いが騎士達だけで連れてけるのか？

666：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00 I D：

N@1tT8—D

連絡して迎えに来てもらえばええですやん

667：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00

ID：

N@1tT8—D

&gt;&gt;&gt;666

「唯一の住人」が気絶してる状態で誰が電話すんだよ

668：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

間違いなくリアル国家権力がおまけで付いてくるだろうな

669：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

やはり問答無用で担ぎ込む他無いか

670：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

でも今日先生が仕事に来てるかも判らんぞ？

672：名も無き魔導書：2004/06 /04 (祝) 00：00：00 ID：

N@1tT8—D

心配すんな。呼ばれれば駆け付けるのが医者って仕事だ

673：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

>>672

何それ濡れる

676：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

ともあれ病院の方は問題なさそうだな

後は騎士達の方だが……

677：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

そういや人格ロックその他もまだ解除して間も無いんだっつけ

678：名も無き魔導書：2004/06 / 04 (祝) 00:00:00 ID:

N@1tT8—D

「日本の常識」知らずなのは間違いないからな

どうすべ

681：管制人格：2004/06 / 04 (祝) 00:00:00 ID:N@1

t T 8 | D

もう此方からある程度操作させてもらおう

あんましこんな事したくはないが仕方ない

6 8 2 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

N @ I t T 8 | D

まあ騎士達の記憶に「操作された」事は残らんからな

後で適当にそれっぽい記録でも入れとくか

6 8 3 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

N @ I t T 8 | D

&gt;&gt;&gt; 6 8 2

だからこそあんまし使いたくないんだけどな

6 8 4 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

N @ I t T 8 | D

あくまでも騎士達の扱いは「従<sup>オブ</sup>属物」なんだから仕方ない

これからのはやての方針に期待しよう

6 8 6 : 名も無き魔導書 : 2 0 0 4 / 0 6 / 0 4 (祝) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : I D :

N @ I t T 8 | D

逆に考えるんだ

これが「守護騎士」達に与えられたファーストミッションだと

687：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00：00 ID：

N@1tT8—D

>>686

別に逆でもなんでもないがその考え方には概ね賛成だ

688：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00：00 ID：

N@1tT8—D

まあ少なくとも良い経験にはなるだろうな

689：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00：00 ID：

N@1tT8—D

表面的であろうと何だろうと「戦乱の無い国」なんて始めてだろうからな

690：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00：00 ID：

N@1tT8—D

是非とも満喫してもらおうじゃないか

我らの故郷を

691：名も無き魔導書：2004／06／04（祝） 00：00：00：00 ID：



古代ベルカの騎士達よ、日本へようこそ



「入れ込んでいる」のだろうか。時折、ふとそう自問する。

職分を、身の程を逸脱するつもりはない。

自身はあくまでも医者。患者に対し全く愛情を注がない訳ではないが、それらはあくまでも一切の区別を付けない普遍的な物。決して、限定された一個人の為だけにある。特別なものではないし、その様なものを作つては良い立場ではない。

医者とは、患者一人に対し全力を尽くしても、唯一人にもみ尽くす存在しごとに非ず。冷淡に思えるかもしれないが、それがこの仕事の現実であり事実でもあるのだ。

たかが内科と侮る事なかれ、この道を志しその門を叩いた時点で、既にこの身は唯人では無く「医者」の一人。例えばどれ程末端であろうと、命を動かす事も、また止める事もできる歯車へ噛み合う構成要素が一つとなつたのだ。相応の心構えと実践が求められるのは、自明の理とも言える。

極端かつ物騒な物言いをすれば、医者とは命を勘定する仕事であるのだ。どれ程その

所業が悪辣と罵られようと、天秤へ掛ける以上その重さは全て等しくなくてはならぬ。そうしなければ、やがては天秤そのものがまともに機能しなくなってしまうのだから。

しかし現実はどうかと言うと、そんなご高説を述べたにも関わらず、一人の患者でしか無い筈の「彼女」に対し、明らかに他へ向けるそれとは異なる感情を抱きつつある。

結局はお流れとなったもの、先日の誕生日会がその最たる例と言えよう。私人としてならば何ら問題は無いかもしれないが、自分は保母でも介護員でも、まして母親でも無いのだ。いくら「優しい先生」であつたとしても、彼女以外にも多くの患者を受け持つ立場である以上、それは医者としての領分を逸した行いであると、役割の放棄であると言わざるを得ない。

そんな事は、態々電話口にて竜弦あにに嫌味混じりの指摘をされるまでもなく、無責任な約束を取り付けた自分自身が誰よりも理解している。

だが一方で、彼女が、その境遇が「そういつた感情」を引き起こさせるのもまた事実。言い訳にしか聞こえないかもしれないが、彼女を取り巻く諸々の事柄を列挙してゆけば、この思いも少なからずは納得してもらえらるだろう。それだけのものが、彼女の周囲にはあるのだから。

八神はやて

客観的 という名の機械的な視点を以てすれば、中々に「同情を惹く」境遇を持つ少女。

“出来過ぎ”にも思えるその生い立ち、それこそ悲劇のヒロインか何かの様でさえもある。

両親は事故で死に、きょうだいもなく、親類縁者は音沙汰無し。若干8……つい先日9になりはしたが、兎に角10にも満たない間に、少女は文字通り天涯孤独の身となつてしまった。

また、彼女から両親を奪つた事故は、同時にその両脚の自由さえも奪っている。恐らくは中身こころの方に原因があるのであろう傷一つ無き両脚は、そのまま人形のそれ同然に動かず、様々な方面よりのアプローチを試みてはいるものの、未だにその生活は車椅子頼み。その麻痺（原因さえも明らかとなつていない為、便宜上そう呼称している）が他の部位にまで影響を及ぼす可能性を否定できない以上、ハンディ持ちの現生活さえ綱渡りというおまけ付きである。

まるで冗談の様な来歴プロファイルだが、悲しいかな紛れも無き現実。なまじそこそこ裕福な家柄であつただけに、その「凋落」は殊更強調されたものと映つてしまう。自身も何度か彼女の家に足を運んではいるが、正直な所、自由に動き回る事もままならない9歳児一

人に対し、その家はあまりにも広過ぎであり、また静かすぎでもあった。

更に、彼女の後見人に当たる人物——両親の知人を称する一見して紳士然とした人物についても、中々に難有りと言わざるを得ない。

一応真つ当な財産の管理をしているあたり卑劣漢ではないようだが、どれ程彼が多忙の身であろうと、また国という垣根があらうと、孫程の年齢の少女一人を放置同然にしている時点で、大概冷血漢としか言いようがない。

加えて、彼なりに注いでいるのであらうはやてに対する愛情もどこか歪であり、世間一般で言うところの親のそれからは少しばかり「ずれている」様にも思える。

大きなハンデを抱える彼女が不自由な生活を送らないよう、方々へ手を回してはいるし、その境遇を餌にせんと目論む悪漢を寄せ付けまいと、意識を尖らせている節は確かに見受けられる。

しかし、それらは大ざっぱというか排他的なものでもあり、悪意を含んだ害虫は勿論、下心の無い極々普通の善意さえもまとめて遮断してしまっているのだ。その徹底さたるや、種々の施設は元より、通いのお手伝いさんさえ「丁重に」お断りしている程である。

恐らく、自身も医者肩書と相応の実績・推薦とを携えていなければ、容易に弾かれていただろう。秘書を名乗る女性が向けてきた視線が明らかに友好的とはいえないも

のであつた事は、今でも確りと記憶に残っている。

何より、その人物——グレアム氏とはやてとの間には、ある種の「壁」の様なものを感じられるのだ。恐らくは、それが「ズレ」を意図せずとも、或いは意図的に生んでゐるのかもしれない。

当人にとっては箱入りか何かのつもりなのかもしれないが、あれでは単なる飼ひ殺しであり、雑草の駆除と称して、未来に花咲かす芽までも摘み取つてゐる事にも同じである。

確かに、世間の全てがはやてに対し優しいとは限らないし、もつと具体的な例を挙げれば、その境遇がいじめを生みだす原因ともなる事も十分に考えられる。

だがそれでも、彼女が真に欲し、また必要であるのは、物ではなく人。触れあい、反発しあい、やがて判りあふ事のできる生の感情である筈なのだから。

——こういった思考もまた、「入れ込んでゐる」所以のものなのだろうか。

竜弦ならば間違いなく「医者ほんぎょうの管轄では無い」とぼつさり切り捨てるであろうし、またそうでなくとも、治療行為ほんぎょうもそこそこに余所様の家庭事情へ首を突つ込む事が良い顔をされる訳も無し。

カウンスリングと出歯亀とは全くの別物。仮に後見人の行いが悪意に依るもので

あつたとしても、そうなれば最早医者ではなく警察の領分。「事情の一端を知る者」としてならばまだしも、その解決の為に奔走する役目も権利も、自分には無いのだ。

結局のところ、自分にできるのは「医者として」ベストを尽くし、また同様の立場から多少のお節介を焼く程度の事しかない。全くの無力という訳でもないが、行き場の無い憤りの一つも憶えたくはなるだろう。

しかし、そんな境遇においても尚、或いは周囲の思惑など知った事かと言わんばかりに、渦中の人物たる八神はやてという少女は、なんとも逞しいものであつた。

出会つた頃こそ「典型的な例」に漏れず塞ぎこんではいたものの、今となつては朗らかなる笑顔と共に彼女の方から積極的に話しかけてくれるまでになり、しかもそれは度重なるカウンセリングに依るものではなく、生来持つていたのであろう「強さ」の発露とでも言うべきもの。

何かと暗くなりがちな病院（しよくば）において、彼女の笑顔程ありがたいものは無いだろう。

自身の境遇を、あらゆる面で同世代とは「違う」という、その年頃には何よりも辛い現実を幼いながらも認め、その上で表立つた不平不満を漏らす事なく、あまつさえ自身を始めとする関係者に対し一通りの礼を言えるなど、とてもではないが9歳児の成す事とは思えない。

メール上でのやりとりを続けているというグレアム氏に關しても文句の一つも無く、寂しいといった感情があらうにも関わらず、氏についての話をする時には決まって笑顔であり、心から慕っている事がありありと窺える。

自身の半分も生きていない少女が、ともすれば“そういった境遇”である事を忘れてしまいそうになるだけの精神力つよさを持つているのだ。これを逞しいと言わずして、一体何と言おうか。

また、かといって生意気なまでの強さそを誇示し続ける訳でもなく、そんな彼女であっても時折、極々僅かではあるがその笑顔に影を落とす瞬間がある。

それは、年齢相応の少女が覗かせる素顔か、はたまた身の上に相応しいであろう本音か。

何れにせよ、その「弱さ」もまた、彼女にあつては保護欲を掻き立てる良いギャップとなりうる。少なくとも、自分がそうして彼女へ心を傾けている要因の一つに、「彼女だからこそ、どうにかしたい」という想いがあるのは紛れも無い事実である。

それが彼女自身の“強さ”が生み出した結果であるというのなら、因果応報……とは少し異なる、巡るべくして巡ってきたと言えるのかもしれない。

とはいえ、それらの私情を抜いたとしても、何かしらの対処対策は必要不可欠ではあ

る。

唯でさえ足の麻痺に有効な治療を行っていない以上、医者としても、これ以上彼女に負担を掛ける事は決して見過ごせはしない。身体だけ繕つても、心が癒えなければ何の意味もない。

堂々巡りにはなるが、やはり彼女にとって本当に必要な「特效薬」は、自分の様に普遍的な、有り触れた量販品を供給する存在ではなく、紛れもない「特別」を、唯一つのオンラインワンを注いでくれる者……即ち「家族」と呼べるもの。決して見せまいとひた隠す弱さを機敏に察し、迷う事なくその為に行動を起こせる者。

然らば、ある意味では今回の「一騒動」は、渡りに船と言えるのかもしれない。

それはつい先日、丁度彼女の誕生日の事であった。

予め約束していた祝いの席を「仕事の都合」でキャンセルしてしまった罪悪感もあり、その日時だけは間違えようもなく確りと記憶されている。

兎角、その日の夜も遅く——というよりも日付を跨いで暫くした時分になって、突然はやてが勤務先の病院へと担ぎ込まれてきたのである。

こういつた言い方は良くないかもしれないが、彼女とて何があってもおかしくない患者に分類される身。担ぎ込まれる事それ自体は、何ら珍しい事ではない。



驚くべきは、彼女が文字通り「担ぎ込まれた」——病院の関係者ではない者達によつて連れてこられた」という事である。

繰り返しにはなるが、彼女は天涯孤獨の身。一応、日中であれば時折お手伝いさんが入る事もあるが、後見人の方針や当人の希望もあつて、基本的には一人暮らしであり、かつ出来る事は全て彼女自身がこなしている。

或る程度どころか一通りの家事をこなせてしまう上、メールや電話その他の発達から連絡手段にも不便しない事もあり、どこか不安に思いつつも、これまでは夜間一人きりという状態を黙認し続けてきたのだ。

勿論、そうは言つても「万が一」の備えは常に怠つてはおらず、直に駆け付けられるだけのシステムは整えてきた。が、それらは基本的に「此方から駆け付ける」事を前提としている。当然だろう。何せ、患者は足に障害を抱える一人暮らしの9歳児。自力、もしくはそれに類する手段を以て病院まで「来て戴く」事を期待する方がそもそも可笑しいのだ。

だからこそ、今回何の事前連絡も無く（そもそも「出来ない」状態ではあつたが）、あまつさえ見知らぬ男女4人組に抱えられてきた事は、此方にとつて大きな衝撃となつたのである。

縁者を称したその四人……後見人たるグレアム氏の知人であり、今までは諸外国にて

散り散りとなっていたが故に連絡を取れなかったする珍妙な団体様は、非礼を承知で言えば、どこか可笑しい者ばかりであった。

下ははやてと同じくらいかそれよりも低く、上は成人後でこそあるものの、9歳程の子どもを持つ年齢には見えず、また年齢や性別といった括りを見出す事もできはしない。

それだけならばまだしも、その全員が一樣に薄着一枚……寒さの残る気候への配慮どころか飾る気さえ感じられない、本当に必要最低限の姿で闊歩し、かつそれに何の疑いを持つてはいない様子。

極めつけは、異国の、日本の文化や風土に疎い外人でさえそうはならないだろうと言える、錆ついた機械か何かの様にぎこちない挙動の数々。

はやての家庭環境を、その身を案じれば如何なお人よしであっても疑われない筈も無く、むしろ常識的な点を見つける方が難しい、怪しさのバーゲンセール状態。居合わせただ者でなければ難いものかもしれないが、立ち会えばまずしかるべき場所への一報が思い浮かんだであろう程のもの。

事実、その時の自分もまたそう考えており、患者の引き渡しと同時にすぐさま受話器を手にした。

けれど、添えられた指が動く事はなく、一度下げられた受話器は、終ぞ上がる事はな

かった。

それは、様相や挙動といったものを些細と感じさせる程の、はやてへ向ける真摯な感情を汲みとれたが為の事であつた。

例えるのなら、それは主君へ使える「騎士」といったものであろうか。

未だ堅苦しく、また少しばかり「普通の世界」とは、表立つた争乱とは縁遠い日本のそれからは外れた雰囲気こそ纏つてはいたものの、そこに邪さは感じられず、あるのはただ愚直なるまでに一途なる忠誠心のみ。

害は元より不利益を与える事さえ考えられず、むしろそれに対し毅然と立ち向かう姿さえ想像できる程の感情。

何より、彼女達は始めてはやてにとつての「特別」になり得る存在として現れたのだ。この先同じ事が起こるかも判らない以上、自分にそれを無碍とする選択肢はなかつた。

言うまでもなく、自身の行動が常識は元より職業人としても不適切である事は判つてゐる。何せ、彼女達を信用する根拠が、「勘」というおよそ根拠足り得ないものしかないのだ。そうでないにせよ、この国における「常識」で考えれば、自分の取つた選択肢などまづあり得るものではない。

先の諸々を含め、やはり今の自分は医者として失格なのかもしれない。しかし、心の何処かでは「それでも構わない」と想っている自分もいる。

理由など、考えるまでも無い。自分が本当に守りたいのは、形ばかりの矜持ではなく、今日の前にある笑顔だ という事。ただそれだけに過ぎない。

そうして一時の「不平等」に身を任せてしまふ辺り、やはり自分はその人の弟子であり、あの兄の妹なのだろう。

後悔はしていない。

例え今は「主君とその騎士」の関係であつたとしても、何れは親子かきようだいの様な……「家族」にも似た繋がりとされる事だろう。

極論、血いでんしという名の縁も繋がりを得るための手段の一つでしかない。それがあるからといって最初から全て上手くいく訳でもないし、それが無いからとて、深い絆を結べない理由にはなり得ない。何事もトライ&エラーを繰り返し、その果てに実を結ばせてゆくものである。

そして「八神はやて」という少女は、騎士達にとつての小さな王様は、身分という名の氷くみりを解かすだけの温かさを持っている。そう信じている。故に、私は後悔などしない。

今回の騒動と遭遇は、ある意味では少女へ宛てられた誕生日プレゼントだったのかも  
しれない。

どの様な因果か偶然かは判らないが、一挙に5人もの家族が増える事となったのだ。  
普通に考えれば傍迷惑になるかもしれないそれも、そういったものに飢えていた少女に  
とつてはこの上ないプレゼントとなるだろう。

まだまだ彼女が負わされる事となった宿命の精算には程遠いが、それでもこの運命を  
導いた存在がいるとするのなら、少しぐらいは感謝しても良いのかもしれない。

——はて、何故自分は今「5人」と、一人多く数えたのだろうか？

ともあれ、今は彼女達「新しい家族」に任せてみる事としよう。

医者だからとて、主治医だからといって、自分一人で抱え込む事も、まして全てを管  
理しようとする必要も無い。餅は餅屋、役割の分担は仕事における基本であるし、「誰か  
に任せる」というのは、それ自体がとても大切な事でもある。

そして、彼女達は「任せる」に足るものを、信頼できるだけのものを確かに秘めてい  
る。

恐らく彼女、そしてその家族達には、この先多くの困難が待ち構えている事だろう。

唯でさえ「イロモノ」には煩いこの国の事、はやての境遇や彼女達の不明瞭さを鑑みれば、そびえ立つ壁が並々ならぬものである事は容易に想像できる。

自分も医者として、彼女を受け持った主治医として全力を尽くしはする。だが、差し迫った最後において真に盾となり剣となるのは、やはり「家族」であるのだと思う。その領分だけは、残念だが自分もまた踏み入れる事叶わない聖域なのだから。

だから、せめて願おう。

非科学を否定し、計算と法則に基づく仕事を生業とする自分がこの様な事を言うのも妙な話ではあるが、逆に考えればそういったものならば、己の職分などを気にする必要も無くなる。

屁理屈だが、何もできないよりは遥かに良い。

だから祈り、そして願う。

心優しき一人の少女 その未来に、溢れんばかりの幸運を  
そしてその新しき家族達に、困難を乗り越えられる勇<sup>LUCK</sup>気を

# 【紳士よ】 聖地攻略作戦【立ちあがれ】

2 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy

— ha@n

立て乙

6 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy

— ha@n

乙。スレ状態は良好の様だな

10 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy

y—ha@n

乙。状況を報告せよ

13 : 蛇 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy—ha@n

此方スネーク。第一フェーズは既に完了した

現在一階リビングへの侵入を試みている

目標までの距離はおよそ900

これより第二フェーズへ移行する

14 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|ha@n

了解した。引き続きミッションを継続せよ

17 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|ha@n

既に敵地の奥深くだ

警戒を怠るな

18 : 蛇 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy|ha@n

了解

ミッションを継続する

21 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|ha@n

しかし本が地べた這いずり回ってるとかシユールやな

23 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|ha@n

這って動く！ 白！

25 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0



y|h a@n

&gt;&gt;&gt;23

このロリコンめが!

30 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

ちなみに先週の定期検診時の石田先生は黒だったぞ

31 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

&gt;&gt;&gt;30

マジでツ!?(AA略)

39 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

&gt;&gt;&gt;30

有益な情報サックス

そしてタヒね

46 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

&gt;&gt;30

石田先生にまで毒牙剥くとか万死

52 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

y | h a @ n

&gt;&gt;30

恩知らずも甚だしいな

かく言う俺も見てた一人だが

55 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

y | h a @ n

あなた達って本当に最低の ( r y

60 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

y | h a @ n

というかそんな事に少ないリソースを割いてんなよ

唯でさえ制限掛けてて自由が効かねーんだから

63 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

y | h a @ n

まあ今からやろうとしてる事も大概だけだな

I D : s 0

I D : s 0

I D : s 0

I D : s 0

65 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 y | h a @ n I D : s 0

>>>63

何を言うか貴様

69 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 I D : s 0

y | h a @ n

>>>63

百年越しの悲願を達成せんと意気込んでいる時にお前…

75 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 I D : s 0

y | h a @ n

>>>63

甘くも苦くもなれない半端者の子憎など不要だ

とつとと失せ給え

82 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 I D : s 0

y | h a @ n

なんという無駄な一体感

83 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 I D : s 0

y|h a@n

こんな時にばっか一致団結するんだよなホント

90 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

まあそれなりに楽しいからええですよん

94 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

どうせやるなら本格的に段ボールの一つでも欲しかったけどな

99 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s0

y|h a@n

&gt;&gt;94

更にシニールな光景になるぞ

108 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|h a@n

でも丁度ドヤ箱あるじゃん

しかもサイズは選り取り見取り

109 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

家族が一気に増えたからな

それ量も増えますわ

1 1 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

文字通りの「着の身着のまま」だったしな

1 1 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

&gt;&gt;110

工面の仕様が無かった訳でもないだろ

まあそれ以外にも不安要素は山積みだったが

1 2 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

でも我々が来る前から使ってたんじゃないの？

1 2 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

あの齢で密林の愛好者とな

1 2 5 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 0 y | h a @ n I D : s

……恐ろしい子!

1 3 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 0 y | h a @ n I D : s

一体何を頼んでいたのか……

1 3 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

「化粧品」ですわかります

1 3 5 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

>>> 1 3 4

やめんか馬鹿

1 4 2 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

深入りしないのが大人のマナーってもんだ

1 4 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

しかし気になる……激しく気になる!

1 5 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

0 y | h a @ n

普通に日用品その他なんでねーの?

少しばかりの重量物でもしんどいだろうし

1 5 1 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

0 y | h a @ n

デスヨネー

1 5 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

0 y | h a @ n

まあこの間のだって普通の絵具セットだったし

1 5 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

0 y | h a @ n

そんなもんだろ現実的に考えて

1 5 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

0 y | h a @ n

なんというかもう発想その他が汚れきつてるんだよなあ…

160 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

スレ住人は人間の屑。はっきりわかんかね

165 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

まあその辺はさておきミッションを続けようや

166 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

とりあえずは良い具合に開かれた窓からの潜入だな

169 : 蛇 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy|ha@n

n

おk

室内への潜入に成功した

170 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

ここからが本番だな



171 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

まずはシグナムか

172 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

いきなり将かよ

173 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

将なのに先鋒とはこれいかに

176 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

まあ侵入経路的で言えば最初にカチ当たるのはシグナムだし

179 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

中々に攻略のし甲斐があるではないか

181 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

&gt;&gt;179

張り切るのには良いとして具体的な策はあんの？

183 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

正攻法というか正面突破はまず無理だろうな

185 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

かといってこのまま隠密(○)で攻めるのも無謀だろ

187 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

気配だけで真つ二つにされそうだな

190 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

実際過去には五感封じられた状態で百人斬り達成した実績もある訳ですし

192 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0y|ha@n

&gt;&gt;190

なにそれすごい

193 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

>>190

普段の姿からは想像もつかん戦績だな

195 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

そらまあ「本業」はそっちだった訳ですから

198 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

第六感というか軀の髓にまで戦いの記憶が染みついてんだろ

203 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

で、そんな相手に我々はどうすんのさ

205 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

考えれば考える程道が閉ざされてゆく畏

210 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

いやまて落ち着け

今の我々の形状を考えようではないか

213 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

無駄に分厚い古本だが何か

215 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

タンスの裏でも通ろうってのかい

218 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

>>215

通れん事も無いが……

222 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

邪な気配を捕えれば構わず諸共ぶった切りそうではあるがな

223 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

我々は茶坊主か

224 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

斬るのは石灯籠ぐらいにしといてくれよ

228 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

レバ剣じゃなくても斬鉄ぐらい訳ないだろ

230 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

そらまあ素手で鉄塊を粉微塵にできる連中のヘッドやし

234 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

今の我々なら剣どころか紙一枚でもズバツといけそうだけどな

235 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

本だけにか

240 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

つまりこうして我々が和気藹々としてられるのも月島さんのおかげという訳か

241 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

なんかソレっぽい昔いなかったっけ？

242 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

>>241

何言ってるんだ

月島さんは昔から俺達と一緒に過ごしてきたじゃないか

245 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

>>241

俺達がここまで耐えてこられたのも月島さんのおかげだろ

248 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

&gt;&gt;241

お前……陛下の命の恩人に向かって何て言い草だ

253 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

&gt;&gt;241

早く月島さんに謝るんだ

257 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

なんとという被ジ・エンド率

264 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

おまえらいくら扱いやすいからってそうなんでも月島さんのおかげにすんなよ

270 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

ある意味寺生まれのTさん並みだよな

汎用性というか扱いやすさ的にも

273 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y-ha@n

>>270

Tさん || 『T』 UK IS IMA || 月島さん

275 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

0y-ha@n

>>273

何……だと……

278 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

0y-ha@n

>>273

ヤハリソウイウコトカ……

280 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

0y-ha@n

やっぱり頼りになるよなあ月島さんって

291 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

0y-ha@n

ID : s

ID : s

ID : s

ID : s

ID : s



で、肝心のシグナム攻略はどうすんのよ

292 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

それも月島さんに頼んでみるか?

294 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

>>292

まだ挟む程の頁が無いから無理だろ

296 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

>>294

笑えん冗談だな

300 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

>>294

こやつめ、ハハハ!

305 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0 y | h a @ n

で、結局どうすんの？

3 0 8 : 蛇 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s o y | h a @

n

とか何とか言ってる間に第一関門クリア

3 1 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

m j d k

3 1 2 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

どんな手品を使ったのさ

3 1 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

攻略ってかシグナムが既に寝てただけの事だろ

〔画像〕

3 2 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

あらホントだ

3 2 2 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 0 y | h a @ n I D : s

大層な寝像だがレディとしてこれはどうなのよ流石に

3 2 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 0 y | h a @ n I D : s

完全におっさんだこれ

3 2 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

しかしなんでまた居眠りを?

3 3 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

食後に飲んでみたワインが原因だろ

顔の様子からしても

3 3 2 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s

0 y | h a @ n

調理用で置いてあるあれか

そういや飲んでたな

336 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

一応見た目大人な我々が来てからだよな

買いはじめたのは

337 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

まあそもそも重量物は宅配メインだから買えんと思うけどな

340 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

何やらどっかで見た事ありそうなにーちゃんが持ってきてくれるアレか

346 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

つかシグナムって19じゃなかったのか？

349 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

>>>346

それはあくまでも外見が相当する年齢ですし（震え声）

351：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

Oy-ha@n

>>346

実年齢はもつと凄いからセフセフ

353：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

Oy-ha@n

べ、別にモラル違反を推奨してる訳じゃないんだからねっ！

355：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

Oy-ha@n

乱痴気騒ぎ起こすよりは遥かに安全だから良し

という事でどうか一つ

356：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

Oy-ha@n

良い子は勿論悪い子もマネしちゃ駄目だぞ

四次元殺法コンビとの約束だ！

（AA略）

360 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

にしても意外だな

少ししか飲んで無かった筈なのに

362 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

シグナムって酒に弱かったんだっけ？

363 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

「毒物への耐性」とは別に個々人の性格特徴としてアルコール耐性は設定してた筈だけだな

365 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

計画通り

368 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

>>>365

何千年越しの伏線回収だよ

369 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

何でも「伏線」とか言っちゃう男の人って：

371 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

大概はばらまきの再利用だけどな

375 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

作者はただ書きたいモン書いてるだけだろ

アホみたいに騒ぎ立てる周囲が悪いのであって

376 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

そして始まる儲対安置の泥沼抗争

379 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

おまえらもつと純粹に作品を愉しめよと

381 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

>>379

なにやら不穏な気配を感じる変換だな

382 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

まあ兎に角次いこうや

383 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

次はザツフィーだな

385 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

また随分と強敵が立ちはだかるじゃないか

388 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

少なくとも「壁」たる要素は山盛りだよな

突破口が無い訳じゃないが



390 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

むしろ格別の地雷であると思うけどな

>>>突破口

391 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

普通に考えれば嬉しい限りなんだがな

忠誠心の表れな訳だし

392 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

余程の事が無い限り普通嫌な顔すると思うけどな

性別問わず

396 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

それは良いとして今は攻略法を考えねばなるまい

399 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

どっかの将よろしく居眠りする気配なんざ見られないしな  
本気で段ボールでも装備するか？

400 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

だが今は取りに戻る時間さえ惜しい

こうしている間にも楽園への道は閉ざされつつある訳だし

401 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

前進あるのみってか

405 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

そもそも犬相手に段ボールって通用したっけ？

406 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

だから犬じゃなくて狼だと

409 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

もういつそ普通に飛んでは良くね？

外と違って人の目を気にする必要も無いし

410 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

犬が言葉を話し、本が浮遊する

八神家ではよくある事だ

413 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

普通に疑われそうなものだな

ただでさえ日常良く解らんアホの子扱いだし

414 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

一応自分達を管轄してる大元である事は知ってはいるんだよな

中に変なのが住み着いてる事を知らないだけで

415 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

中に誰もいませんよ……

4 1 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s  
 0 y | h a @ n

敵意むき出しにはならんだろうがやんわりと制止はされるだろうな

あんまり強引に行く訳にもいかんし

4 2 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s  
 0 y | h a @ n

何か注意を逸らすとか意識を別の方向に持つてはいけんものか

4 2 2 : 蛇 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s 0 y | h a @  
 n

こんな事もあるうかと！

4 2 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s  
 0 y | h a @ n

鍛えに鍛えたこの肉からだ体ア!!

4 2 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0  
 I D : s  
 0 y | h a @ n

>>> 4 2 3

おい

4 2 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 ID : s  
 0 y | h a @ n

>> 4 2 3

なんとという脳筋

4 3 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 ID : s

0 y | h a @ n

で、かんせ……じゃなかったスネークは何か秘策でもあるのか？

4 3 1 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 ID : s

0 y | h a @ n

何やら心配だな

4 3 4 : 蛇 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 ID : s o y | h a @

n

こういった事態に備え我が格納領域には常に骨つ子が常備されてるのだよ

それを使えば万事OKさ

4 3 5 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 ID : s

0 y | h a @ n

I t ☒ s n o m o n e y

4 3 7 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

お前はザフィーラをなんだと

4 3 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

確かに時折齧ってはいるが

4 4 1 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

つかこの状態で自由に使える格納領域なんてあつたんだな

4 4 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

でも容量がズボンのポケットくらいしかないんじゃないやなかつたか？

4 4 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

領域の無駄遣いと思いきやそもそも領域が役立たずだった件

4 4 7 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

まあ兎に角やってみようや

450 : 蛇 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy|ha@

n

了解

451 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

そして安定のスル

453 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

流石に釣られないよな

455 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

むしろ釣れたら釣れたで悲しい

456 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

余計変な目で見られた気がする

460 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

O y | h a @ n

お?

4 6 1 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

なんか移動したな

4 6 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

もしや此方の意図が通じたのか?

4 6 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

彼もまた紳士であつたという事か

4 6 7 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

つまりアルフがロリ化したのは……あつ(察し)

4 7 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n 4

結局二人はそういう関係だったのかね



471 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

明言されてた訳じゃないだろ別に

473 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

触れるどころかそもそもその出番が減ってた訳ですし

476 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

裏でよろしくやってたのかもしれないぞ

478 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

まあ視聴者のご想像にお任せしますって所だろうな

480 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

で、結局彼は何故道を開けてくれたのやら

482 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

気まぐれか何かじゃね？

呑気に欠伸しとるし

485 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

すつかり座敷犬だな

487 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

それで良いのか盾の守護獣

490 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

それだけ平和だって事なんだろ

493 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

プライドは投げ捨てるもの

495 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy-ha@n

ともあれこれで難所を二つクリアか

496 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

残るはシャマルン一人だな

499 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

ある意味最大の難関かもな

500 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

「うっかり」で何をしでかすか判らない 的な意味でか

503 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>500

なんとという冷静で的確な (ry

509 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>500

間違いなくその原因は我々にあるというのに

512 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

いやまて判らんぞ

元ネタからしてうっかりさんだったのかもしれんぞ

513 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

血で血を洗う古代ベルカでうっかりとか致命的だろうに

518 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

案外とんでもない悪女だったりしてな

519 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

主君の伴侶を寝取るとか？

522 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

>>519

それなんて湖の騎士

526 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

四次における剣さんの虐められ具合は異常

530 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>526

五次で幸せになったからええですよん

537 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

しかしあの場合は嫁じゃなく婿になるんでねーの？

539 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>537

お前はどっちの話をしとるんだ

542 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

つまり士×凶の可能性が微レ存…？

543：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

0y|ha@n

「（「（o^）」ホモオ：

544：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

0y|ha@n

起源が剣である事を生かし宝具として意のままにしちまおうってのかい

548：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

0y|ha@n

>>>544

これが腐海の住人の想像力とでも言うのか

549：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

0y|ha@n

おそろしやおそろしや

552：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

0y|ha@n

もう普通にプロタイプでええですよん

554：名無しの愛国者：2004/07/23（潜）17：30：00 ID：s

O y | h a @ n

劍に加え慢心王と槍の逆ハ―か

眼鏡っ娘。パネエな

5 6 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

O y | h a @ n

きのこは兎も角 “我々の” 湖の騎士はどうなのよ

5 6 4 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

O y | h a @ n

可愛い (断言)

5 6 7 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

O y | h a @ n

隣のお姉さんのポジション?

5 7 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

O y | h a @ n

人妻属性持ち

5 7 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜)

1 7 : 3 0 : 0 0  
I D : s

O y | h a @ n

そつちじゃねえよスネークの方だ

n  
577 : 蛇 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : soy|ha@

もう突破したお

580 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s  
0y|ha@n

なんとあつけない

581 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s  
0y|ha@n

「何も起きない」ってのが意外でならない

585 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s  
0y|ha@n

さつきまでダイニングにいたんだがな

もう移動しちまったみたいだ

586 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s  
0y|ha@n

自分の支度とかソファで爆酔してる将(〇)の運搬とかじゃね？



588 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

成程さつきのザツファイもそんな感じか

590 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

お母さんポジも大変なんだな

608 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

ともあれ諸君、これで全ての障害は取り除かれた事となる

609 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

後は我々自身がノゾくだけってか

611 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>>609

上手い事言ったつもりか

618 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

O y | h a @ n

覗いて良いのは覗かれる覚悟のある奴だけだ！

6 1 9 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

罪悪感に苛まれつつ好奇心その他を抑えきれなかった

クロノやユーノになら大歓迎

6 2 3 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

むしろそちらを覗きたい気もするな

6 2 7 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

今度ザツフィーのブラッシングでも見学するか？

6 2 9 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

No t h a n k y o u

6 3 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

しかし騎士達も随分馴染んだよな現代日本に

640 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

そういやもう一カ月くらい経つのか

早いもんだな

642 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

騎士達にもすっかり人間味が定着してるしな

645 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

これもロツクを掛ける必要の無い環境や温かく迎え入れてくれた存在あつての

事だ

646 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

Oy|ha@n

>>645

今まさにその後者へ恩を仇で返す真似をしでかすところなんですが

647 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00 ID : s

0 y | h a @ n

それはそれ これはこれ

6 4 9 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

理屈だけじゃどうにもならないのが人間なのよ

6 5 2 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

そうとも

薄皮一枚隔てた向こうに桃源郷があると判りながらどうして黙ってられようか

6 5 5 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

湯気の向こう、滴る水音響き渡るその場所こそ我らが求めてやまない聖地

6 5 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

0 y | h a @ n

いざゆかん 約束の地へ

6 6 0 : 蛇 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s 0 y | h a @ n

n

第二フェーズ全行程終了

目標地点へ到達した

661 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

Oy|ha@n

記録チームの準備はできてるな?

662 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

Oy|ha@n

音響班 問題なし

663 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

Oy|ha@n

映像班 いつでもいけます

668 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

Oy|ha@n

よし、今こそ楽園への扉を開く時だ

670 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00

Oy|ha@n

総員突撃!

ID : s

ID : s

ID : s

ID : s

ID : s

671 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

くあwせdrftgyふじこlp

676 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 0y|ha@n ID : s

何だ、一体何が起きた？

680 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

判らん、何やら液体をぶっかけられた事しか

682 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

さ、サンダー！

683 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

0y|ha@n

>>>682

冗談ぬかしとる場合か——ッ!!

687 : 名無しの愛国者 : 2004 / 07 / 23 (潜) 17 : 30 : 00  
 ID : s

O y | h a @ n

どうやらシヤマルと勘違いしたヴェータによる砲撃（水鉄砲）を喰らった模様

6 8 9 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

なんという事だ

6 9 0 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

まさか標的こそが最大の敵だったとは

6 9 6 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

いかん、諸々の記録媒体がアカン事になつとる

6 9 8 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

魔力節約のリアル紙装甲が此処に来て仇となつたか

7 0 1 : 名無しの愛国者 : 2 0 0 4 / 0 7 / 2 3 (潜) 1 7 : 3 0 : 0 0 I D : s

O y | h a @ n

そして我々自身もピンチだ

705:名無しの愛国者:2004/07/23(潜) 17:30:00 ID:s  
Oy-ha@n

まずい……このままでは、スレが……落……ちる……

###エラー サーバーにトラブルが発生しました スレッドを表示できません#  
##

◇◇◇

愛用のスクーター、この仕事を始めてより以来の相棒へと跨りながら、三郎はふと思った。

これから向かう先に赴くのは、随分と久しぶりな気がする と。

相対的に判断しても、また絶対的な評価であったとしても、三郎は未だ「若輩者」の域を出られる程ではない。

師とする親方の厳しい指導の甲斐もあり、顧客に関する基本的な情報こそ頭に入っている。しかし、例えば「何時くらいに伺うのが最も双方に都合が良い」だとか、「この



季節にはこういったものが多く所望される」などの踏み入った知識にまでは頭を回せてはいない。それだけの余力は、未だ持てていないのである。

だが、今日の届け先に関してだけは、他の利用者と比べより強く記憶へと残っていた。それは、単純に利用頻度が多かったという事以上に、その家庭そのものが、三郎にとつて印象に残り易いものであつたが為だろう。

S 県海鳴市中岡町 2—11

三郎の勤め先にとつての「お得意様」に当たるこの家の住人は、つい一月ほど前まで、家主を兼ねる10未満の少女只一人だけであつたのである。

三郎は、言つてしまえば学のある人間ではない。それは、彼自身が一番よく判つてい

る。元より勉強がそれ程好きではなかつた上、「ツツパる」ことを本懐としていた時期の影響もあつて学歴はそこそこ止まり。現在こそ真つ当な仕事に就いてはいるものの、それとて日々の失敗と鉄拳げんこつに依る体当たりの賜物であり、試験だなんだをパスした経験など数える程しかない。

自然、三郎にとつては自身の目に映るものこそが無二の現実となり、やれお家の事情だ国境の違いだといった「ややこしい」類のものは、その一言で最初から話にさえなり

はしない。彼にとっては、株価の上下よりその日のお天道様の機嫌の方がよっぽど重要なのである。

だが、そんな三郎であっても。或いは、そんな三郎だからこそか。以前のその家——八神家の様子は、彼にとつても明らかに「おかしい」と思えるものであった。

二親に死なれた娘が、しかも足の不自由な小学校低学年の少女が、そこそこ立派な家において只の一人きりで暮らす。一応外国に住む「おじさん」とやらが面倒を見てはいるらしいが、それなりの期間を受け持つて尚、件の人物を見かけた事は一度たりとも無し。流石の三郎とて、こんな状態を「普通」と流してしまふ程阿呆ではない。

また、それらの境遇以上に、訪れる度目にしていた「違和感ある」家主の笑顔が、三郎の脳裏へ八神家という存在を深く刻み込ませてきた。

有用な「足」を持たない家庭が、日用品その他を確保する為に宅配業者を利用するのは極々自然な運び。三郎もまた、そういつた「お得意様」の為に何度も八神家へ足を運んできた。そして、その度に家主の少女は笑顔で……そう、「何時も」笑顔で彼を迎えてくれたのだ。寂しい時や、辛い時があるであろうにも関わらずだ。

彼女が自分自身をどこか押し殺しているのは、三郎の目から見ても明らかであった。その事実が、三郎にとつては何にも勝る「違和感」として八神家の印象を映し出していたのだ。

彼自身の経験に基づけば、家主程の年齢の少年少女とは、湧き上がる感情のままに駆けずり回るものであり、またそれが許される期間でもあった。それが「子ども」というものなのだから、ある意味では当然と言えよう。

故に、三郎にとって彼女の在り方はどこか歪であり、また見過ごせるものではなかったのだ。

とはいえ、そう考えたからとて「配達人の兄ちゃん」止まりの三郎に、何か打開の術がある訳でも無し。結局、どこか歯がゆく思いながらも「見回りの先公」を気取って声を張る程度の事しかできず、またしてこなかった——つい先日までは。

その家に「転機」が訪れたのは、ほんのひと月ほど前であった。一人きりであった屋根の下へ、急に住人が集い始めたのである。

人伝で聞いた話によると、これまで長らく連絡を取ることでできなかった外国の親類縁者その他が、家主の境遇を知り、方々から駆け付けてきたとの事らしい。そして、一挙に増えた「家族」の存在によって、八神家と三郎達との関係も僅かだが変化し、先程の彼の感想へと繋がったのである。

(尤も、自らの「足」に変わるものを得た以上、それもまた当然の成り行きと言えるが) 少女の下に生まれた新しい家族達を、多くの人間は懐疑的な眼差しで見つめていた。

が、三郎にとってはそんな「常識的」な目が、どうにも受け入れられるものではなかった。

勿論、これまで一人の少女が理不尽な「孤独」へ縛られ続けてきた事実を、綺麗サツパリ忘れるつもりはない。「何故今まで放っておいたのか」という怒りの感情も、確かに抱きはした。

だが、その「孤独」も今や昔のものであり、そうしたのは他ならぬ「新しい家族達」なのだ。

過去の行いがどうであれ、今の彼女達を、そこにある本物の笑顔を否定してよい筈も無い。身元だ経歴だといった小難しいものも、三郎にとっては同じくだ。

どれだけ単細胞バカだと罵られようと、三郎にとっては今彼女が、彼女達が心からの笑顔を浮かべられているだけで十分であり、逆に上辺ばかり取り繕いたがる「大人の事情」など知った事ではない。世間おとなに反発するその気質は、形を変えてなお現役なのである。

そんな「らしからぬ」考え事を巡らせている内に、三郎の視界にも目的地が入ってきた。安全かつ迅速な道程が身体にまで染みついていく辺りに、親方の「教育」の良さが垣間見える事だろう。

エンジンを切り、届け物の確認をしつつ、家の様子を窺う。

時分はおおよそ夕飯の支度刻。如何に早く届ける事が第一とはいえ、受け取る側の都合を察するのもまた必要な気遣い。まして、嘗ては一人きりで家の全てを賄っていた事情もある。「手が離せない」時に窺ってしまったえば、双方が立ち往生となるのは火を見るよりも明らかな事。

しかし、今この場において、三郎はその心配を全くしていなかった。

何故なら、もう「する必要がない」のだ。今や、家主たる少女は一人でも独りでもない。手を伸ばせば、声を上げれば、そこには助けてくれる存在がいる。支えてくれる存在がいる。故に、時分を窺う事はあれども、過度な心配を巡らせる必要は無いのである。

現に、一番星が顔をのぞかせ始めた空模様の下にあるのは、彼の家へ灯る煌々たる明かりと、その中で確かに息づく喧騒にぎわい。

一月前までにはまるで見られなかったその光景に、自然と三郎も頬も緩んでゆく。が、そんな気持ちも一転。自らそこに「活」を入れ、軟派な性根を叩き出す。

三郎はあくまでも「硬派」を自称する配達人。いくら届け先に可憐な花が咲いていようと、それに現を抜かしているようでは、(彼の中では)面目が立たないのである。

「ちわーッす!! 毎度お世話になってます 『二河屋』です!!

お届け物に上がりました!」

そんな煩惱を払拭する意味も込め、腹の底より声を張る。

勿論、時と場合と場所とを考慮した量ではあるが、投じた気迫は平時のそれに何ら劣るものではない。それこそが三郎の持ち味であり、また唯一の長所でもあるのだから、自然と力も入ろう。

挨拶をして直に、家の中で複数人が動く気配が感じられた。足音こそ立ってはいるものの、そこに目まぐるしさといったものは感じられない。いつも通りのリズムで近づき、錠が外される。

「はーい！ 今出ますね」

それは偶然か、それとも必然か。

はたまた、神の気紛れが引き起こした奇跡か、起きるべくして起きた運命か。

そんな事は、当事者となった三郎であろうと判りはしない。ただ明らかなるは、開かれた扉の先へ広がっていた光景が、彼にとつては「天国」に思えるものであったという事実のみ。

届け物を抱えた三郎を出迎えたのは、「新しい住人」の一人にして、その中でも比較的  
年長者であると思われる金髪の女性であった。

穏やかなる物腰と、若々しくも有する確かな包容力。桃色の髪 of 女性が持つ凜然とした雰囲気とはまた別なる、柔らかさと温かさとを兼ね備えた、母性的とでも言うべき美しさを持つその女性。

(家主が幼い事もあつてか) 当該家庭においては専ら母親の立ち位置に就いていた彼女は、微パンクファッションを纏う赤毛の少女や、意外にもゴシック&ロリータ趣味著しい先の女性とは異なり、それらと比較すれば極々平凡な、第一印象に違わぬ落ち着いた美服装を好んでいた。

そんな、ともすれば埋没しかねない装いにも関わらず他に後れを取っていないのは、それだけ地が優れているという事なのだろう。或いは、そう判断する眼差しそのものに、何らかの「補正」でも掛かっているが為か。

だが、平時であれば「母親」に思える彼女も、今この場においては「一人の女性」であつた。少なくとも三郎にとっては、その理性の如何に関わらず、「本能が」そう捉えたのだ。

濡れた金髪より零れる滴は、熱気によつて仄かに色づいた白い肌を伝い、水気を吸つて張り付いたバスタオルは、否応無し of その見事な曲線美を際立たせる。

まるで高名なギリシア彫刻か何かと錯覚する程の、しかし確かなる現実の、紛れもない「湯上り」の美しさを纏いし姿で現れたる金髪の女性。

元來持っていた美しさと平時とのギャップが醸し出すその色香は、所謂「真つ当な」男としての感性を持つ三郎にとっては、聊か強すぎる程の刺激に溢れるものであった。

「き、きや「し、失礼しました!!」あつ!」

悲鳴が先か、謝罪が先か。

再起動した後、すぐさま扉を閉められたのは流石「硬派」とでも言うべき行いなのだろう。尤も、瞼の奥へとその光景を確り焼きつけていた辺りは、三郎も大概健全なる男児という事ではあるが。

どうやら、先程のものは隠された一面でも何でもなく、ただ純粋な「うっかり」であつたらしい。扉越しにも伝わってくる室内の喧騒が、何よりもその真相を物語っていた。

だが何れにせよ、お得意様の意外な顔を、この上ない幸運と共に拝めた事に変わりは無い。

そんな細やかで、少しばかりの悪意で彩られた喜びを噛み締めていた三郎だったが、その一時は「ある事」に気付いた事で瞬く間に吹き飛んでしまった。

足でもある相棒パートナーと同等か、ある意味ではそれ以上に重要な「仕事道具」たる手帳が見当たらなくなってしまったのである。

年季は同等。費用に関しては比べるまでもないその一冊はしかし、これまで三郎が学



んできた事の全てに加え、出る所に出れば相応の価値にも化け得る顧客データも記された、言わば「企業秘密」にも当たるもの。当然、紛失などすれば雷や鉄拳で済まされる話ではない。

懐の内をひっくり返す勢いで探し始めた三郎であつたが、「心当たり」は直に思い至つた。他ならぬ、つい先程の騒動である。

その時は兎に角扉を閉める事を、あの場から離れる事を優先したが為に、持っていた物を全て手放していた（とは言つても、反射的に床へ置きはしたが）訳だが、恐らくはその際に届け物や伝票等と一緒に置き忘れてしまったのである。

そも、使う為には手元に置いておく必要があるのだから、見当違いの当て推量という訳でもない。そして、騒動の直前までは確かに持っていた記憶からも、その線が一番濃厚なものとなる。

ひとまず安堵し、次いで未熟な自身を叱責する三郎であつたが、そんな彼の脳裏に突如として電流が奔つた。

——手帳が屋内にある以上。いや、例えそうでなくとも、もう一度家人と……彼女と顔を合わせる必要があるのではないだろうか——

考えれば当然の事だ。届け物とは、「荷物を置いてハイサヨナラ」という訳にはいかな

いもの。

手帳の件を別にしても、今回の荷物に関して未だサイン一つ貰ってはいない。いくら先程の様な事があつたとはいえ、担当者として一仕事人としても、このまま引き返す訳にはいかないだろう。

そう、あくまでも自分は、職務を遂行しようとしているだけの事。決して、先程のハプニングの焼き直しを期待しているのではない。

そんな言い訳で必死に己を取り繕いつつ、しかし心の何処かで湯上りの残照いづかを期待するという矛盾した感情を抱きながら、三郎はそつとドアを開けていった。中の様子を窺う傍らで、その息遣いを感じ取らんと感覚を尖らせながら。

「……し、失礼します」

しかし、世の中そう思い通りに運ぶ程甘くはない。邪なる考えを抱いて事を起こせば、大抵は手痛い竹箆返しを喰らう羽目に陥るもの。

再び開かれたその扉もまた、三郎にとってはさながら地獄の門に匹敵するものと化していた。

果たして、扉の向こうに立っていたのは、未だ熱冷めやらぬ珠肌を純白のワイシャツ

一枚で包んだ金髪の美女……ではなく、筋骨隆々の浅黒い肌に申し訳程度のタオルを装備した銀髪の青年——極稀に見かける、この家唯一の男性であった。

堂々と腰布一枚で登場したその人物は、唯でさえ逞しいその肉体へ湯上り特有の熱気を纏い、鍛え上げられた筋肉の鎧を余す事なく見せつける装いを以て、厚手の布越しであつても確かに感じられる「雄」のオーラ迸らせながら三郎の前へ仁王立つた。

ギリシア彫刻を容易く粉碎する荘厳ささえ感じられるその佇まいは、紛う事無き「水も滴るナイいいおとこスガイ」。

およそ三郎が期待していたものとは正反対の世界が、そこには広がっていたのである。

「この様な格好で失礼。して、何用か」

先程の焦りや恥じらいを含んでいた甘い音色とは真逆の、一抹の動揺さえ感じ取れない重低音。

今現在自身が客観的に見てどう判断される格好をしているのかをまるで意にせず、あまつさえ「裸それで何が悪い」と言わんばかりの迫力に、三郎は只々圧倒されるのみであつた。

——その後の事を、三郎はよく覚えてはいない。

鞆の中へ納められていた押印済みの伝票から「務めを果たした」事は判断できたものの、明らかなる事実はそれだけしかない。

辛うじて「尻尾」という単語が頭の片隅へ残ってはいたが、何故かそれにはとてつもない悪寒が伴っていた為、すぐさま記憶の奥深くへと沈めてしまった。

元「甘露音湖大和」頭ヘッドにして、現・自称硬派の配達人、三津 凜太郎……その愛称を三郎。

波乱と万丈に満ちた彼の人生は、まだ始まったばかりである

## 【この料理を】 人妻の飯がマズイ 【造ったのは誰だ】

5 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 : 0

0 ID : iTs | nm21

スレタイで既に落ちている件

8 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 : 0

0 ID : iTs | nm21

なんとという盛大なネタバレ

10 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 : 0

0 ID : iTs | nm21

うーんこの

16 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 : 0

0 ID : iTs | nm21

まあ普通に考えてシャマル一択なものな

19 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 : 0

0 ID : iTs | nm21

「人妻」で通じちゃうあたりどうなのよ

21:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

実際一部の人間にはそう思われている訳で

26:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

となるとザツフィー（人間態）はアレか、たまにしか返ってこれないお父さんか

27:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

いや犬でしょ

30:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

>>>27

冷静で的確なる回答に草を禁じえない

34:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

まあ世の中には犬のまんまでお父さんな方もいらつしやいますし

37: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0  
 0 ID: iTs | nm21

そうなると長女が随分デカイ事になっちゃうが

38: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0  
 0 ID: iTs | nm21

実際でかい

39: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0  
 0 ID: iTs | nm21

>>>38

何処を見て発言してるのか手に取る様に判るレスだな

41: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0  
 0 ID: iTs | nm21

D-89という専らの噂だが真相はどうなのか

42: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0  
 0 ID: iTs | nm21

何処情報だそれ

45: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

丁度マイスターもおる事だし機会があれば聞いてみるかね

46:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

ものの序でで返り討ちに遭いそうな気がしないでもない

49:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

ちなみに我々のカタログスペックは

65|??

34|22|33

だ

50:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

&gt;&gt;49

あえて単位を捨てる辺り性格の悪さが窺える

62:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l



にしてもまた失敗したのか

63:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm21

「また」というか既に必然の結果として定着してる気がしないでもない

65:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm21

失敗を何とも思わなくなってきたりあたり相当だな

66:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm21

これには流石のはやてさんも苦笑い

68:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm21

本人は判つてんのかねその辺

69:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm21

少なくとも「はやてのとは違う」事くらいは理解してんじゃないのか

72:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

最低限口にして良いものか否かを判断できるくらいにはなって欲しいのだが

73:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

しかし世の中にはコンクリートを食いかねないJKも存在する訳で

74:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

あのドラム缶の事か

76:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

>>>74

お前絶対魔人だろ

79:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

だが流石の彼女も母親の造ったモノは受け付けないらしいぞ

81:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTsnm21

&gt;&gt;79

何やら字が可笑しいと思ったらスレタイから既にそうだった

84:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

一体何をクリエイトするつもりなのか

85:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

少なくとも厄災である事は確定的に明らか

86:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

そしてこの言われようである

89:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

まあ心意気だけでも認めてやろうではないか

90:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

行動的な馬鹿ほど厄介な存在はおらんのやで

91:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

奴らは学習ってモン知らないからな

93:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

まるで成長していない……

94:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

ここまでブーメラン

97:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

向上心を持つ事自体は良いんだけどな……

98:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:0

0 ID:iTs|nm2l

だからってヴィータにさえ負けてるのはいかなものなのよ見た目大人として

101:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

せやかてヴィータちゃん守護騎士の中で一番料理スキル高いですよん

106：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

赤ロリ悔りがたし

110：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

まあ家の頂点に9歳児が君臨してる時点で大人も糞もないわな

113：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

そもそもその辺の調整をしたのも我々なんですすがそれは

114：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

でも別に賽振って適当に決めた訳じゃないやん

117：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

しかし消去法で決まったのは事実だからな

2番手がザッフィーな時点でその自由度は推して測るべし

1 2 2 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : : i T s | n m 2 1

流星に毛物を厨房に立たせる訳にはいかんでしょ

ヴィータ単独首位は或る意味必然なのよ

1 2 5 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : : i T s | n m 2 1

>> 1 2 2

その誤字はどうにかならんのか

1 2 6 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

或る意味的を得てはいるが

1 2 8 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

(ド直球では) いかんのか?

1 2 9 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

>> 1 2 8

少しは変化球も必要やで

133：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

上位打線は兎も角必然的に最下位になっちまってるのは流石にどうかと

136：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

>>>135

な阪関無

137：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

議論の余地さえ無かったからな

138：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

即断即決とはまさにあの事である

140：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

一方シグナムは迷うことなくソファで寝そべっていた

141:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

安定のニート

142:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

将( )

145:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

流石のシグナムさんやで

146:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

そこに痺れる憧れる

148:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

掃除機でどかされるのが日常の風景と化してきたからな

150:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l



劣化しすぎワロス

151:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

>>150

上手い事言ったつもりか

153:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

なんというおまえら

154:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

生憎あそこまで美人じゃなかったがな

155:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

ただの残念野郎か

158:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

肯定的に捉えればギャップ萌えと言えなくもない

160:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTsnm21

でも流石に(設定年齢) 19+あの容姿性格で

ああもフリフリな衣装というのはいかがなものかと

161:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTsnm21

言っではなんだが四人の中じゃ一番センスがアレなのってシグナムだよな

162:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTsnm21

よもや真顔であんなものを所望するとは思わなんだ

163:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTsnm21

お店の人も顔が引き攣ってたしな

167:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTsnm21

他の面子の様子を見る限りそこまで服装関連文化のギャップは無い筈なんだが

な

168 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 :  
 00 ID : iTs | nm21

>>> 167

それさえ最低ラインという

170 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 :  
 00 ID : iTs | nm21

元ネタというか元々ファッションには疎い性格だったんじゃね？

じゃなきやああも疑いなく愛好したりはせんだろ

171 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 :  
 00 ID : iTs | nm21

文字通り「戦いしか知らなかった」可能性だつてあるものな

173 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 :  
 00 ID : iTs | nm21

そう考えれば今のギャップも中々に可愛いく見えるな

174 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2004 / 08 / 19 (雲) 11 : 20 :  
 00 ID : iTs | nm21

だからとてニートが許される筈も無し

175: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs-nm21

>>174

そんなに会社へ尻尾を振る事が偉いのかよ、社畜が!

176: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs-nm21

>>175

勤労納税の務めさえ碌に果たしていない輩が何を偉そうに!

178: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs-nm21

とりあえず皿洗いぐらいはしようぜ

179: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs-nm21

気合ばっか空回りして割っちゃうじゃないですかーやだー

180: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs-nm21

あれには流石に笑っちゃったよ

184：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

（・ω・）なシグナムさんも可愛かったけどな

187：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

極稀にはあるが偶にはやる気だすから良いじゃん

この間だつてベルカの伝統料理振舞つてたし

189：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

でもあれつて殆どレバ剣の……

191：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

>>>189

お前……触れてはならん事を……

193：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

人間が道具に使われるとはなんと情けない

194:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

技術ばかりが発達した良い結果だ

扱う人間の方が追いつけていない

195:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

どっちが上なのか判ったもんじゃねえ

198:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

そして再び飛び交うブーメラン

200:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

大切なのは心意気なんだよ

上手い下手はとりあえず横に置いておくとして

201:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm2l

思いだけでも力だけでもどうたら

202:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs—nm21

モウイイダロー!

215:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs—nm21

まあでも感情というか人間味の回復・養成に関しては概ね成功してるっぽいよな  
218:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs—nm21

2カ月足らずでここまでだからな

「前」までの事情を踏まえりやもう大成功ですよ

220:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs—nm21

やっぱはやてとの生活が一番の薬になったんかね

222:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs—nm21

シヨック療法というかやり方は大概強引だったけどな

鯖よろしく知識だけはぶち込んだとはいえ

225: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

頭では判つても身体が追いつかないだろうからな普通

長らく平和とは縁遠い生活してたから尚更

226: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

騎士達が過ごしてきたであろう世界と此処とじゃあまりにも違い過ぎるからな

色々

230: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

武器持たなくても安眠できるってのは一番でかいだろ

待遇は兎も角ぐつすり眠れた事なんて一度もなかっただろうし

231: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

枕元に銃置かなきゃ眠れない世界だったしな

232: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21



## &gt;&gt;231

寝る時は裸にGパンでハンバーガーとバーベキューしか喰わない国の住人かよ

233:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

すいまセーン。ボクウソついでマーシタ……

236:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

放っておいたら冗談抜きに町中で帯剣しそうだったからな最初は

237:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

それどころかはやての境遇に大して問答無用に抜剣しかねん程だったし

238:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

作品が違いませ

## &gt;&gt;抜剣

239:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

少なくとも我々の知る現代日本よか大分マシだとは思うんだけどなその辺は

240：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

騎士連中に見れば「非礼」なだけで法もウエツブルーも糞喰らえなんだから

242：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

まあそういう時代に生きてきた人間だったろうしな

247：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

守護騎士になる前には彼女達自身が上に立つ立場だったんじゃないの？

248：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

臣下の有無はさておき領民の一つぐらいは抱えてたんだろうな

爵位持ちだった って結論も出たし

250：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

どっかの将さんはあんな調子でよく治められてたな

253：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
00 ID：iTsnm21

剣を持った時のカリスマが凄かったんだろ

もしくは金髪人妻的なブレーションでも抱えてたか

254：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
00 ID：iTsnm21

どう考えても剣を取り上げたら駄目な子なんだよなあ……

261：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
00 ID：iTsnm21

まあ何れにせよ笑ってる姿を見るのは初めてだよな

262：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
00 ID：iTsnm21

そもそもそういうった感情を諸共封印してたってのもあるけどな

264：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
00 ID：iTsnm21

しかしこれまでの時代の中で騎士達が自然と笑えたであろう環境なんてあった

か？

265: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

いやない(反語)

270: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

ロック解放したばかりの時は笑い方さえ判らないって感じだったしな

271: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

本当に判らなかつたんだろうな

元ネタはどうであれ「ヴォルケンリッター」は正真正銘只のプログラムやし

273: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

しかしプログラムな彼女達にも感情が芽生えた訳であつて

275: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

現代日本はやて様々つて事やね

277: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

上手い飯は自然と笑顔を生みだすものさ

278:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

それを鑑みればメシマズにも意義があったというもの

279:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

そーなのかー?

281:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

まあメシマズ言っても我々は一度も食べた事ないんですけどね

282:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

物を食べるって機能が無いからなそもそも

283:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

そら本に口がついてたらもう妖怪よ

286:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

「試食」の標的も専らザツファイだったしな

287:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

つまみ食いした挙句自爆したチビっ娘もいるけどな

289:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

なまじ見た目はマトモだからな

余計に恐ろしい

290:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

何も地雷みたいな言い方せんでも

306:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

で、そんなシャマル先生が再び厨房に立たんとしている訳だが

307:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

またかい

309:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

一体何がそうまでして彼女を掻き立てるのか

311:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

年長者としてのプライドとか何かでもあるんでねーの？

313:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

ザフィーラの方が年上なんじゃなかったっけ？

316:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

まあ人間と狼とじゃ尺度も違うと思うが

322:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

挑戦する事それ自体は良い事じゃないか

3 2 3 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1

単なる過去の焼き直しは流石にNG

3 2 6 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1

何故レシピ通りに作ろうとしないのかねああいった人種は

3 2 7 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1

根拠も無く「こうすればもっと美味しくなる」発想だけが先走るんだろ

3 3 0 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1

自分流アレンジは料理下手の鉄板やで

3 3 1 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1

そして化学兵器が誕生するんですね判ります

3 3 5 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 ID : iTs | nm 2 1



とか言ってる間にも紫の煙が立ち込めとるがな

337: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

理科の実験か何か? (呆れ)

338: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

どうやったら「料理」であんな色が発現するんだよ

340: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

そもそも普通にしてりや濛々たる煙は発生せんやろjk

342: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

>>>340

それをやってのけるのが我らがシヤマル先生だぜ

344: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID: iTs | nm21

痺れもしなけりや憧れもしない

3 4 5 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

それでも当人は至って満足気なんだよなあ

3 4 9 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

はやてという抑止力も今日に限っては不在だからな

誰にも彼女を止められないという

3 5 1 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

そういや今日は石田先生とのお食事か

3 5 2 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

誕生日の約束の埋め合わせだっけ確か

3 5 3 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

0 0 I D : : i T s | n m 2 1

ホンマ良い先生やな

3 5 7 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :

00 ID:iTsnm21

しかしよく騎士連中を説き伏せられたもんだな

360:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

>>>357

それも単なるプログラムじゃないが故だろうさ

自分で考え行動している証だ

361:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

一応騎士達も納得してたものな

364:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

まあ武器持った集団に襲われるって事がこの国じゃまず無いだろうし

366:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

そもそも痴漢程度なら石田先生一人で楽勝やし

367:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

&gt;&gt;&gt;366

マジでっ!? (AA略)

371:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

ここ最近彼女の意外な一面が明らかになり過ぎだと思うの

373:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

いやまあ原作でも少ししか登場しなかった訳だし

描写されない所で色々やらかしてた可能性もありっちゃアリだろ

376:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

だからといって病院に殴りこんできたキ印を良く解らん歩法で瞬殺するのは流

石にどうかと

379:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

まあ誰より「健康」を識る医療関係者の戦闘能力が高いのはある意味常識やし

381: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

>>>379

どんな常識だ

389: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

などと駄弁っている間にシャマルの方も完成したご様子で

392: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

一応見た目は普通だな

例によって

393: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

明らかにどす黒いオーラを放っているんですがそれは……

394: ストリングプレイ名無しベイビー: 2004/08/19 (雲) 11:20:  
 00 ID: iTs—nm21

視認できる程の瘴気とは恐れ入る

397：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

そんなものを生みだしておいて何故彼女はああも素敵な笑顔でいられるのか

398：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

どんな悪食でも裸足で逃げだすぞありや

400：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

過去の被害者達も早々に逃げ出したみたいだしな

401：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

そういやザッフィーもヴァータもないな

さつきまで居間でEXVS・FBやってたのに

402：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID：iTsnm21

意外にザッフィーが強いというね

403：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：

00 ID:iTsnm2l

意外ってレベルじゃ（ry

410:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm2l

それはさておきこのままではシャマル先生お手製料理が持て余される事になる

んだが

412:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm2l

アレの区分って何になるんだ？

413:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm2l

札幌市曰く燃やせないごみ

415:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm2l

>>413

どこのギャレンだ

418:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

つか処分する事前提かよ

419:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

しかし食べてくれる人がいない以上処分するより他なからう

422:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

そら香気にゲームしてるような暇人さえいない以上仕方ないものな

423:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

こうして呑気に駄弁ってる以上我々も留守番で暇人だが仕方ないね

425:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

これ程までに消化器官を有していなかった事を悔やんだ事は無いな (棒)

426:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

全く以て口惜しい



4 2 7 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : i T s | n m 2 1

>>> 4 2 6

( · · ω · ) ノ ◆

4 3 1 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : i T s | n m 2 1

しかしその程度で諦めないのがシャマルクオリティ

4 3 2 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : i T s | n m 2 1

なんというチャレンジスピリッツ

4 3 5 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : i T s | n m 2 1

その遅しさをもっと別の方向に向けてほしいもんだがな

4 3 8 : ストリングプレイ名無しベイビー : 2 0 0 4 / 0 8 / 1 9 (雲) 1 1 : 2 0 :  
 0 0 I D : i T s | n m 2 1

しかしどうするつもりかね

如何に彼女として生贄……もとい実験ネズミを生みだす事は叶うまい

440：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

>>438

あんまり変わって無い件

441：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

何時の間に彼女は野望の果てを指すようになったのやら

446：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

そこで将○の出番な訳じゃないか

447：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

そういや居たな

すっかり忘れてたが

449：ストリングプレイ名無しベイビー：2004/08/19（雲） 11：20：  
 00 ID：iTsnm21

はやてを見送ってからずっと昼寝してたからな

そりや空気にもなる

453:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

「帰るべき場所を守り抜く」とか何とか言っただけ?

454:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

き、きつと猿よろしくソファを温めているんですよ(震え声)

458:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

まあ騎士達そのものがある意味「帰る場所」と言えなくもないがな

459:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

だからといってリーダーが率先してダラけるのはどうなのよ実際

458:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:  
00 ID:iTs|nm21

それだけ平和だっただけ事なんだから

459:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

シグナムに限って言えばすぐ傍にまで脅威が迫ってはいるがな

460:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

しかし身じろぎ一つしないという

461:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

烈火の将とは何だったのか

465:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

というか逃げてた二人も何時の間にか戻ってきてるな

466:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

そして態々ステルス迷彩張ってまで高みの見物というね

467:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTsnm21

助けてやるといふ優しさは無いのか

469:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

他人の不幸で

470:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

飯が上手い

471:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

メシマズスレにてメシウマとな

472:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

そんなもんさスレなんて

475:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

何やら例のブツを飲みこんだシグナムの身体が2m程飛び跳ねた訳なんだが

477:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19(雲) 11:20:  
 00 ID:iTs|nm21

つまり今日のシヤマルクツキングはフツ化水素酸レベルだと

478:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

なにそれこわい

480:ストリングプレイ名無しベイビー:2004/08/19 (雲) 11:20:

00 ID:iTs|nm2l

シグナムの霊圧が……消えた……？



当代「闇の書」<sup>あるじ</sup>主たるハヤテ・ヤガミ——八神はやての在り方を、その騎士たる自分の達の私情を抜きに説明するのであれば、何よりも先んじて「変わり者」という言葉が思い起こされる。

とはいえ、それは別段悪意を込めた評価という訳では無く、況んや彼女の身体的特徴を論うものでもない。(そもそも、その程度) 古代では然程珍しくもないという事情もあるが)

あくまでもそれは、<sup>ヴォルケンリッター</sup>闇の書が守護騎士たる自分達の、<sup>これまで</sup>臆気ながらも残されている歴代

の記録を元とした「常識」に則しての話しであり、この世界においては誰よりも「変わり者」たる自分達の主観に依るものでしかない。

一切の魔導文明が存在せず、しかし決して低くない水準を築き上げている世界において、そんな「常識外」の力を有した、しかも彼女にしてみれば「何の前触れも無く」現れた怪しい（当事者が言うのも可笑しな話だが）四人組をあつさり受け入れる。

比喩でも何でもなく事実として「道具」であった存在を「人間」として迎え入れ、あまつさえ家来でも部下でもなく「家族」として扱う。

その気にさえなれば世界を意のままにできる唯一無二の権利を有しながら、しかし其方には目もくれず、眼前の小さな、本当に細やかな「幸せ」を重んじる。

出会ってより以来成されてきた、彼女にとっては「極当たり前」な行いでしかないその何れもが、自分達の、古代ベルカの価値観を以てすれば「常識外」にあたるものであったのだ。

その具体的なエピソードを語り尽くすには幾ら時間があっても足りないが、中でも一際その性質を表すものとして、「食事」に関する逸話が上げられる。

論ずるまでも無く、守護騎士はプロگرامによって構築された存在であり、生身の人間の様な食事によるエネルギー摂取を必要としない。

この身は例外なく、微かながらも胎動を始めた主のリンカーコアより精製される魔力と、それを種火として燃え上がる「闇の書」内部の蓄積魔力によって賄われているのだ。エネルギー確保の手段としての「食事」など、プログラム生命体にとっては非効率も甚だしい。

にも関わらず、主は我々に食事を振舞う。

ただそれだけの事であれば、例えば酔狂な主の気紛れであつたり、体面を取り繕う為の飯事として行われてきた記憶きおくが残されており、特別珍しい話ではない。

しかし、当代たる八神はやては、その「食事」という行為に家族ヒトとしての在り方を欲した。嚙下咀嚼し表面的な賛辞を述べるだけの人形ではなく、或いは時として「不味い」といった非礼にもなりかねない反応を、個々人の感情を求めたのだ。

悠久の時を道具として過ごし、またそれを当然の事であると受け入れていた自分達にとって、これ程までに衝撃的な事は無かつた。

『唯々諾々均一均等ではなく、「個」が存在しているのが人間であり家族。』

つまり、それを満たしている皆は「人間」であり「家族」である』

『食事とは、料理とは「食べてくれる人」の存在があつて始めて成立するものであり、』

またその為にこそ存在している。

『単なる養分の精製なら単細胞生物ソウセルリムシでもできる事だ』



整然たる理論とは言い難い理屈ではあったが、発言者たる少女は以外にも中々の頑固者であり、堅い意志それが深い情と同居している変わり者でもあった。

結局、半ば勢いに押される形で「騎士」から「家族」になった自分達だったが、その結果はこの通り。「変わり者」の影響によつて、「変わり者」は「普通の人」へと大きく傾き始めている。

よもや、プログラムに過ぎない自分達が人間同様の生活を送り、それを「悪くない」と思える日が訪れようとは、一体誰が想像できただろうか。先程は「私情を抜いて」と当たり前のように言いはしたが、これまではその「私」そのものが存在していなかったのだから。

そして今日、何気ない日々の一頁ページにもまた、そんな「変化」の断片が散りばめられている。

驚くべき事に、今日の自分達……そう、守護騎士四人＋αの「闇の書」全員が、その主たるはやてとは行動を別にしてしているのである。

未だ幼く、およそ戦力と呼べるものを有さない主に対して護衛の一人も付けないなど、プログラムとして以前に、騎士としても前代未聞・言語道断の行いではある。

しかし、それも今や古き常識。およそ血と戦乱の気配感じられぬこの国・この町に

あつては、以前の自分達の様な物々しい護衛など違和感でしかなく、また仮にそうではなかったとしても、主には主の……我々が訪れる以前より築き上げてきた日常が存在しているのだ。

「家族」として、その前提に「個」を想定している以上、日常の全てを共にする訳ではない。それは、他でも無く自分達を「そうである」とした主にあつては当然の事とも言えるだろう。

何より、今の自分達は「そういった事情」を理解できるだけの思考を有しているのだ。  
“我儘”で家族を困らせて良い理由がある筈も無い。

尤も、こうして素直にも皆揃つて留守番をしているのは、「帰る場所を守っていて欲しい」という、主直々の“お願い”が存在している事もまた大きい。

それは、最後まで粘り続けていた困つたちやんを説き伏せる為の方便であり、少し前まで独りきりであつた少女が垣間見せた本心なのだろう。

本場に「守っている」のかと首を傾げたくなくなる程に緩みきつてはいるが、彼女の求めた「守る」とは武装しての拠点防衛などではなく、また我々自身こそが「帰る場所」なのだと考えれば、一応は今の状態も納得できない事はない。

そして、だからこそ自分も「家族」として奮起しなければならない。

外見や人格として設定された年齢の為か、他の騎士と比べ、自分は「母性」といった意識が強く存在している事は常々感じていた。そして、そんな理由もあつてか、最近では「胃袋を守る」という使命感が度々湧き上がってくるのである。

この八神家にあつては基本、料理関連は主たるはやてが中心となつて取り仕切つてい

る。  
これまで一人で家事を回してきた実績は悔れるものではなく、(そもそもそういう事にはからきし縁が無かつた事もあるが)一応は「大人」である守護騎士の誰より……もとい、騎士三名より高い能力を有している事実もあり、掃除洗濯とつた分野への加勢はあれど、その体制に意を唱える者はまず居なかつた。

つまり、厨房の王を欠いた現在の八神家においては、現在目前にまで差し迫つた昼食を賄えるだけの人材が圧倒的に不足しているのである。

一応、「申し訳ないが出前でもとつておいてくれ」との伝言は受けている。しかし、この胸の内では芽生え始めた「母性」が、店屋物という妥協案を頑なに拒み続けている。叫びを上げている。

——故に、私は一人その戦場<sup>キッチン</sup>へと立つ

幾度もの戦いを越えて尚 この身に敗北は無い

しかし 数えきれぬ死線を潜り抜けて尚 この手に栄光は訪れない  
だからこそ 私は今日も包丁を振るう  
いつか 「食べてくれる」 人の笑顔が得られるその日が訪れるまで

——とりあえず、今日の試食役は ターゲット “働き者” の将かしらね——

## H u n d v o n h e u t e

『盾の守護獣』たる自身の朝は早い。

それが刻み込まれた「守護獣」としての本能プログラムなのか、はたまた「ザフィーラ」という個体を持つ性格故のものなのかは判らない。しかし、今日もこの身体は自然と夜明けに先んじて動きだしており、そんな習慣を特段変えようとも思わなかった。

未だ夢の中漂う同居人達を起こさぬよう、足音を殺して部屋を出る。足取りが緩やかなのは、かく言う自分自身もまた完全に目覚めきっていないが為の事だろうか。

一步、また一步と廊下を進み、鼻先で解錠、外に面した大窓を前足で押し開け庭へ出る。「大型犬」としては聊か器用すぎるかもしれないが、ノブを回さなければならぬ玄関扉よりは遙かに現実的であろう（尤も、本来ならばこの姿であっても扉の一つ程度造作もないのだが）。

そうして外気を肺へ十二分に取り入れた後、頃合いを見計らって正面玄関へと回り、そのまま暫し「待て」の姿勢で鎮座する。与えられた役割故か、こうして黙し続ける事もそう苦痛ではない。

待つ事数分。自然と耳を傾けていた小鳥の囀りを吹き散らすかのようにして、威勢の

良い車輪の音が遠方より聞こえてくる。目線を横にすれば、*「見知った顔」*は既に視界の端へ映り始めていた。

「おはようザツファイー！ 相変わらず朝早いね。」

ハイ、これ今朝の分ね！」

まるで風そのものであるかのように、欠片たりとも自転車の速度を緩めず、しかし正確に職務を遂行してゆく赤茶色の髪の少女。言葉を返す間も無い（そもそも対外的には「返せない」のだが）一瞬のすれ違いではあるが、投函なげいれられされた新聞と響き渡る髪飾りの鈴の音が、少女と自分との間にある確かな縁の証明となっていた。

この朝刊の回収もまた、今の自分の務めの一つであり、先の少女との出会いは、それが齎した結果の一つである。

「犬」としては大きすぎるサイズ等もあり、当初こそあからさまに警戒されてはいたが、恐らくは彼女自身中々に肝の据わった性格であったのだろう。今ではすっかり「賢いワンちゃん」程度の認識に納まっており、また世間から*「そういうた風」*に扱われる事に対して、何処か慣れてしまっている自分もいた。

新聞を居間へ置き、ゴミを集積場へと出して帰ってくれば、丁度他の家人達も床から覚める時分となる。

未だ夢現の者も多いが、中には既に覚醒し、己へ課した「務め」を果たさんとする殊勝な者もいる。庭先より聞こえてくる風切り音は、その筆頭にして唯一の例である。

「……朝早くから精が出るな、シグナム」

「ふっ！ はっ！ ザファイラか。」

どうにも、ふっ！ 時折こうして剣を振っていないければ、調子が狂うからな。はっ！ 小豆色のジャージに身を包み、唯只管真つ直ぐと竹刀を振り続けるは、我らが守護騎士の將たる烈火の剣士・シグナム。

誰よりも騎士であり、また剣士でもある彼女は、こうして戦いとは縁遠い世界であっても、己の為……延いては敬愛する主の為、時折こうして剣を振っている。「そんなの」の彼女の朝は、それこそ自身のそれに勝るとも劣らず、或いは魁の座を明け渡す事すらある程である。

身内の評価にはなるが、そうして己を律し続ける彼女の姿は、掛け値なしに「美しい」と断言できるものであった。そういった事には疎い自分ではあるが、或いはだからこそ、その程度が推し量れるだろうか。

その凜とした横顔からは、とてもではないが常日頃の……いや、みなまで言うまい。そういった「差分」もまた、彼女の持つ人間味であり魅力であるのだろうか。

「……ふう。」

さて、待たせて済まなかつたな。今日も行くのだろうか？」

「うむ。此方こそ済まないな。毎度付き合わせてしまつて」

「なに、我々の仲だ。そう気にする事もあるまい。」

何より、「家族」が通報されかねない事案を見過ごす程、私は性根腐つてはいない」

早朝の出来事からも察せるとは思うが、今代此の世界における自分は、世間一般にとつて「八神家の飼い犬」という立ち位置であり、自然、そこには「散歩」という習慣が伴う事となる。事実、今日の様な早朝であつたり、或いは夕暮れ刻におけるそれは、自身のみならず家族にとつても、最早日常の一部と化している。

だが、当初そこには一つの問題点があつた。

そもそも、今代の主・八神はやての故郷たる日本という国は、（少なくとも表向きには）大層平和な国であり、また在り難い事に、現在住まう海鳴という町もまた、争乱はおろか大きな犯罪とも縁遠い安らかな地であつた。

しかし、それは翻せば、どれ程些細な事であつても大事になつてしまふという事でもある。あくまでも「例えば」の話ではあるが、仮に長閑な街並みを獯猛な肉食獣たる狼——それもかなりの大型の一頭——なんてものが自由気ままに闊歩しようものなら、それこそ町を包む一大事にまで発展するだろう。言わずもがな、それが「大型犬」であつ



たとしても、幼子もいる町中を首輪も付けずに放っておくのは重大なマナー違反であり、「飼い主」の責任問題となるのは自明の理。

つまり何が言いたいのかと言うと、自分がこうして散歩一つするにしても、「同伴者」の存在が不可欠 という事である。

ここで「ならば人間の姿で行けば良いじゃないか」と考えるのは非常に浅はかであり、また残念ながら的外れな思考と言わざるを得ない。必要なのは「八神家の犬が散歩をしている」という事実であり、「時折ふらりと姿を見せる、八神家唯一の男性住人」ではないのだ。

我ながら、面倒な事だとは思ひもする。しかし、それが平和な世界における「世間体」というものであり、また「近所づきあい」というものらしい。戦いしか知らなかった思考回路を振り絞って、我々はそう結論付けたのだ。

ともあれ、色々と理屈を並びたてつつ、自分がこの一時を楽しみとしているのもまた事実。

特に、一日の始まりを迎えた街並みとその空気が持つ清々しきは、これまで闇よるの中でした生きられなかった自分達にとっては何にも勝る爽快な刺激であり、個人的には、間違ひなく三文以上の価値があると言い切れるものでもあった。

今日の様に同伴する事の多い将シグナムは勿論、諸々の偶然と必然とが重ならなければ機会に

恵まれない残り二人にとつてもそうであると信じているし、またそうであつてほしいと、私は密やかに思つてもいるのだ。



そうして、一月以上経つても尚褪せぬ心地良さを満喫し終えた頃になれば、既に明かりの点いた「我が家」より鼻腔を擽る香りが漂い始める頃合いとなる。

思えば、この「食事」という習慣にも、自分達は随分と慣らされてしまつたのだろう。データにより構成される仮初のものとはいへ、その刺激を引き金に蠢き始めた胃袋が、否応無しにその調教具合を物語っている。

所詮は見栄えを取り繕う為だけの機能<sup>まやか</sup>。しかし、この限られた期間でそれだけの反応を植え付けられたのは、偏に主の熱心な勧めと素晴らしき腕前あつての事だろう。

厨房へ立つ小さな主へ挨拶を済ませ、手を洗つた後に配膳の手伝い、自然と決まつていた各々の席へと着く。

既に新聞を広げている者、未だ眠たそうに目をこすつている者、そんな「家族」を微笑ましげに見守つている者。出自が何であれ、そこには十人十色の「個性」があり、主が欲していたであろう「家庭」に近いものが、確かに存在していた。

そして、そんな「家庭」において「守護獣」たる自分はというと、扉の外で黙すのも、床に伏して平皿を乞うのでもなく、獣としての耳と尾と納め、「人間」として卓へと着いていた。

今更論ずるまでもなく、自身の本質はあくまでも狼であり獣。必要に応じて人の姿をとりもするし、爪も牙をも失った家畜に墮したつもりも更々ないが、どちらかと言えば先の「八神家の犬」こそが、より現実には近い在り方なのである。

しかし、それを理解して尚……己が領分を逸脱する行いである事を承知しながらも、自分は人間の姿を以て此れに臨んでいる。

食事だけではない。守護騎士が交代で受け持つ主との入浴や、或いはちよつとした近場への買い物等、日常における様々な場面において、獣としての自分と同程度に、「人間としての自分」が存在しているのである。

女性ばかりの家において男一人というのは、双方向で気を使いそうなものではあるのだと思う。しかし、他ならぬ家主が「一人ぐらい男の人が居たって良い」という発想わがままの持ち主でもあるのだ。

如何に騎士四人を纏めあげているとはいえ、主もまだ幼い身。恐らく、そこには早くに亡くしてしまい、それ故に十分な時間を得られなかった両親の存在があるのだろう。主として、また敬愛する一人の人間として、元より異を唱えるつもりもないのだが、こ

んな自分であつても足りるといふのならば、喜んで男親の変わりとならう。

そういうた事情もあり、少なくとも食事時においてはほほ必ず人間態を保ち、獣としてではなく、一人の人間としてその団欒へと加わっているのである。あまりにもその状態で馴染み過ぎてしまった為、「もうどちらが本体なのか判らない」とは仲間の弁である。

寝起きもあつて「和氣藹々」とまでは行かずとも、しかし穏やかなる一時にも区切りが見え始めると、決まつて廊下から流れてくる一つの影がある。

「この世界の常識」に当てはめれば所謂「ホラー」にでも該当しそうなそれはしかし、この家の住人にとっては最早見慣れた日常の一部。「それ」に対し声を掛ける事はあれども、一人として慄き箸を止めはしない。

八神家における「それ」——『闇の書』の扱いは、「犬」である自分が言うのも奇妙であり、またそれを差し置いて という話にもなるが、専ら愛玩動物にも似たものとなつてゐる。少なくとも、自分達と同様同程度の人格と人間性とを有してゐると思われていないだろう。

そして、本来ならば「消耗品」に過ぎぬ守護騎士より遙かに重んずるべき、古代ベルカの至宝が「そんな扱い」に留まつているのは、偏にその常日頃の行動に依るものが大

きい。

融合機デバイスたる書の「あるべき場所」とは、当然ながら主君の傍らである。まして、その重要性や現在の主の戦闘能力とを鑑みれば、まず安易に離れるべきではないだろう。

が、現在の書は兎角落ち着きに欠けており、突飛な行動に出る事も決して少なくはない。

ふらり姿を消したと思えば衣装箆筒の中に埋もれている事など序の口であり、縁あつてケーキを譲り受ければクリームへと呐喊し、干していた布団を取り込めばその間へと挟まっている事も屢。そして、我々が遊戯に興じていると、「自分も混ぜろ」と言わんばかりにその輪へ加わらんとするのである。(加わる事それ自体は一向に構わないのだが)

騎士どころか忠犬でさえなく、さながら気ままな猫か何かといった所であるそれが、愛玩されこそすれ大役を仕られる筈も無し。古代遺物の頂と呼んでも差し支えない逸品も、今世当代にあつては「風変りなマスコット」程度でしかないのである。

これまでも「そう」であつたのか。それとも、今回のみが「特別」なのか。それは、悠久の時を共に歩んできた筈の自分達でさえも判らない。

そもそもが守護騎士とは一線を画す存在故、基礎フロンティアの段階から我々と書との間には大き

な隔たりがある。しかし、それを差し引いたとしても尚、書には多くの「謎」が存在している。そしてそれは、単なる情報や知識の不足・欠落といったものに留まらないのだ。時折、ふと書がその動きを止め、何をするでもなく黙し続けている事がある。そして、そんな書の姿を見ると、えも言われぬ不安——自分が自分で無くなるような、底知れぬ感覚——がこみ上げてくるような気がしてならない。

そも、そんな機能が存在しているのか。存在しているとして、何故自分に働くのか。その感覚の正体は。どうしてその様な事が起きるのか。

湧き上がる疑問は尽きず、解明の糸口は欠片として見つからず。ただ、厚い「謎」だけがカバールとなつてその嵩を増してゆく。そんな極めて個人的な感想こそ、何よりも身近である筈の書に「よく解らない」という一段下がった評価を付けさせている要因でもあるのだ。

とはいえ、それが態度や行動に現れる事もなく、またこの家における絶対的な評価でもない。

仲間内で共有している訳でもないが、先のそれはあくまでも個人的な考えに過ぎず、主が提唱する「マスコット」という認識に異論は無いのだ。今こうしている間にも隣席のトースト（ジャム付き）へ頭から飛び込んでいったが、直接的な被害は回避できた故

不満も無い。あるとすれば、騒がしくてニュースが聞こえない程度の事。

そうだから これで良いのだ

▽

朝食、またその片づけを終えれば、各々へ割り振られた「仕事」の時間が幕を開ける。ある者は掃除洗濯といった典型的なる「家事」を、またある者は、さながら小学生が日課とする朝顔の生育の様な……もとい、細やかながらも立派なる「家庭菜園」の世話を、といった様に、少しでも朝の涼しさ残る内に、或いは午後を気ままに過ごす為に、自らの「日課」へ取り組んで行くのである（一部「例外」も存在はしているが、その名譽の為詳細は伏す事とする）

無論、務めを負っているのは主として例外ではない。これまではどれ程求めても得られなかった「遊び相手」という至上の宝を傍らに置きながらも、決してその誘惑に流される事なく、「何時か学校に戻れた時のために」と、日々通信教育に勤しんでいるのだ。

年齢を考慮すれば十分利発ながらも、慢心する事なく目標の為努力を重ねられるその姿は、主として、また一人の人間としても尊ばれるべきものであろう。

その「目標」への道程を妨げている最大の要因が一つへ関係するこの身にあつては、

そんな主の健気なる姿勢も心へ突き刺さるものとなる。が、心優しき主のこと、例え一切の非無くしても、自分達のそんな苦悩を、自らのそれと同様に抱えてしまうのは明々白々。

故に我々は、そんな自分達の「罪」を数えて尚、それについて言及する事はせず、しかし影ながら力となれるよう、これまで幼き主が一日の大半を費やしてきた家事その他を分担するようにしたのである。

「唯一の男性」となる自分へ割り振られる役割は、自然と力仕事に関するものが多かった。

実際、日常生活で必要となる程度であれば、性別や体格の如何を問わず、騎士の誰であらうと魔力による強化で事足りる。とはいえ、ここでは基礎スペックにおける馬力の差以上に、「男手という存在」が求められているのだ。例え数値上では実の無い采配であったとしても、その行いに意味が無い筈がない。

尤も、そもそもが「9歳の女兒一人でも賄える」よう整えられていたこの家において、男手が必要となる場面はそう多くは無い。精々が時折声を掛けられる程度であり、そんな力仕事だけに限定していれば、午前のは無為に過ごすだけとなっていた事だろう。



故に自分は、倉庫の片隅にて眠っていた工具一式を引つ張り出し、平時は専ら素人なりの日用大工へ時間を費やしていた。

始めは加減さえ判らずに苦慮してはいたものの、これが慣れれば存外に楽しいものがあり、先日も中々に見られる「ザフィーラ」用の犬小屋を完成させたばかりである。（これについては、かねてより仲間の一人から大層からかわれていたものでもあるのだが、竣工時に「意趣返し」を済ませられた為良しとする）。

最近では、季節の移ろいによつて増えた需要を満たすべく、新たに手作りの衣類棚なんてものに手を出し始めた所である。月並みな感想ではあるが、雄として男として、やはりこういった形であれ自分の「力」を重用されるのは気分が良いものである。

庭の片隅へ納めていた製作途中の物を引つ張り出し、鉢巻と腕まくりを終えいざゆかんと意気込んでいたまさにその時、ぱたりと軽い音が家の方より聞こえてきた。振り返ってみれば、やはりというべきか『闇の書』であった。

恐らくは「掃除の邪魔」といった理由で居間から追いやられたのであろうその姿は、どこか現在の将にも通じる哀愁ものを感じさせてならなかった。

ふと、他愛も無い気紛れから、動かさんとしていた手を止め書の様子を眺める。

力なく伏していた（様に見える）書は、しかしぶるりと一つ震えた後器用にも置き上

がると、まるで行き先を探し求めるかのようになり、右へ左へと揺れ始めた。が、直に観察する自分の存在に気付いたのだらう、ふわり浮き上がると、相も変わらず揺れ動きつつ、しかし真つ直ぐと自分の方へ向かってきた。

恐らく、アレなりに此処が「魔導文明の存在しない世界」であるが為に必要な「氣遣い」を心得てはいるのだらう。こういつた事をするのは決まって人の目が存在しない時と場所に限られており、精々が塀の上から猫が眺めている程度。掴みどころに欠ける存在ながらも、決して主に迷惑を振りかけるような行いをしないのは、自分達としても幸いである。

飛び込んで来るのでもなく、また手を伸ばして受け止める訳でもなく。

牛の歩みで自分の下へ辿り着いた闇の書は、居場所を見つけたといわんばかりに横へと寝そべり、そのまま居座る姿勢を見せ始めた。

「本体」としての、主とはまた別の上下関係が存在しているとはいえ、先述の通り現在にはマスコット同然の地位あつかいであり、益も無ければ害がある訳でも無し。掃除の邪魔にはなれども、日用大工の障害となる事はまず考えられないだらう。

故に、そんな不遜にさえ感じられる書の態度も捨て置き、自分は再び日課へと取り掛かる。

そも、男一人に本一冊という組み合わせでは生まれようも無いのだが、元よりそう口

数の多くない自分と、会話する機能を有さない闇の書との間で、言葉のキャッチボールが行われる筈も無し。

今日もまた、単調なる工作音だけが、ただ午前の八神家が庭を流れてゆく。

▽

そうしている合間にも、東より昇っていた太陽は歩みを止める事なく、またいつもの様に中天へさしかかる。そうなれば、誰に呼ばれる訳でもなく、散っていた家人達が一  
人、また一人と居間へ集ってゆく。

朝よりは幾許か早い支度を済ませ、季節氣候を反映した主の手料理を堪能した後は、午前とは逆に各々が気ままに過ごす自由な時間。「個性」と共に芽生えた趣味であったり、相手に飢えていた主の求めであつたりと、社会的な制約を負っている身分であつても尚需要は尽きず、日々は流れるように過ぎてゆくものであつた。

しかし、今日に限ってはそれでも無く、現状は「暇」同然のものとなっていた。

と言うのも、今日は他の家族達——即ち八神家における女性陣——が、少々遠方まで買い物に出かけているのである。面々は既に出立済みであり、話す相手さえ居ないが故に「暇」となっているのがこの正午過ぎなのだ。

とはいえ、その留守番の任自体は、命令されたものではなく自ら申し出たもの役目である。

それは、「盾」としての本能に依るものであり、買物物にあつてはどうしてもフットワークを重くしかねない「大型犬」として、また唯一の「男」としての気遣いに依るものでもある（後はまあ、女性の買物には中々に着いてゆけないという本音も、心の何処かにはあるのだが）。

また、話し相手がいないからとて、この家に只一人きり という訳でもない。無論、本当に一人きりであつたとしても「寂しい」などと女々しい弱音を漏らすつもりは更々なく、「それ」が留守番の供であるのは、ただ「置いていった方が無難である」という判断を踏まえての事でしかない。

——そう、今こうしている間にも自身の背へ横たわっている、『闇の書』の存在である。先にも少々触れたが、魔導文明の存在しないこの世界にあつては、「種も仕掛けも無く本が浮遊する」というのは非日常の領分であり、「大型犬」のように誤魔化せるものでもない。仮に携帯せんとしても、ああも重々しい装飾をしていては、悪目立ちしてしまう事もまた必然。

そして何より、いざとなれば世界の果てにあつても転移する事が可能であり、かつ「いざ」が起きる可能性も限り無く低い。

つまり、唯でさえ周囲の視線を集めやすい主が、態々奇異の情その他を倍增させてまで持ち出す必然性は存在しないのである。

そういった訳で一頭と一冊とは、こうしてうらかなる午後の晴れ空の下、特に何をすることもなく縁側にてぼんやりとしているのである。

暇を持て余しているのは書もまた同じであるらしく、先程から背中の上をごろりごろりへ行ったり来たり。決して回転運動には向いていないその形状を鑑みればさぞ奇妙な光景ではあるが、最早「その程度」では首を傾げる気にもなれないのは、偏に常日頃の行いの賜物であろう。

話す相手も無く、また丁度二人きりという事もあつたのだろう。ふと思考の表層へ湧き上がってきたのは、『闇の書』……というより、その「中身」たる「管制人格」の事についてであつた。

切欠は、それこそ態々取り立てる程でもない些細な思いつき——同じく留守番に甘んじてはいるが、一応は「彼女」もまた（少なくとも見目は）女性であつた筈——でしかなかった。

生憎と明瞭な情報はその程度しか持ち合わせていないが、そも従属物に過ぎぬ守護騎士と、中核たる管制人格との間には、同じ『闇の書』の構成要素であつても確か

な序列が存在しているのだ。

彼女の発現は、ある意味では書に選ばれし魔導師の使命が一であり、言つてしまえば自分達はその為の道具。「目的」と「手段」の上下関係は言わずもがな、そこに認識と知見の隔たりが存在する事は、「力関係」という視点で考えれば自然な事とも言えるだろう。

しかし、そこに一つの疑問が生じた。

——そういった立ち位置の事情を抜いたとしても、自分は彼女について、その発現条件たる『闇の書』の完成』について、あまりにも知らなさすぎる——と。

確かに、十二分なまでの待遇が与えられている今代とは異なり、これまでの主の下ではまさしく「道具」としての扱いを受け、生きていいのか死んでいるのかも定かでない状態ではあった。唯でさえ朧なる記憶からして、その終盤は例外なく「憶えていたくない」程に劣悪な環境であった事は想像に難くない。

だが、例えそうであったとしても「少なすぎる」のだ……否、それは「存在していない」と言い切つてしまつても問題無い程だ。それこそ、「完成」そのものの存否を疑いたくもなるまでに。

“寝返り”が止まった事で集中が増したのだろうか、周囲の雑音がシャットアウトされ、思考は尚も深まってゆく。

確かに、選ばれた全ての主が等しく「完成」へと至れる訳でもなく、また約束されし強大な力も「完成」あつての事。その前に突発的な不幸に見舞われる可能性は否定できず、またこうして当代の下へ参じた事実からも、先代が資格を喪失するだけの事態に面した事は確定的に明らか。

何しろ、自分達は遜色なく「強大な力」であり、それだけで争いの火種となり得るものなのだ。欲望と謀略が絶え間なくその周囲を渦巻くのが常であり、今代の様にきな臭さ一つ感じられないのは例外中の例外。まずもって一般的な事象とは言い難い。

或いは、「完成」そのものにさえ至らなかった という選択肢も考えられるだろうか。しかしそうなると、今度は「何を以て『完成』とするのか」という問題へぶつかるとなる。

暴論にはなるが、ただ「頁を埋める」だけであれば、手段を選ばなければ如何様にもなる筈なのだ。それこそ、ランクに違わぬ魔力を内包する守護騎士の一人か二人でも「喰わせる」事で、詰めの一手中には十分事足りる。完成された『闇の書』とその主にあつては、最早我々さえ足手まといにしかならないのだから、それもまた合理的な判断と言えるだろう。

それとも、ただ頁を埋めるだけでは足りないのだろうか。それ以外の「何か」が、闇の書の完成には必要なのだろうか。

ならば、それは一体——



ふと見上げれば、青かった筈空は、次第に橙へ染まり始めていた。身体の赴くままに伸びをすると、固まっていた骨のそこかしこから小気味よい音が漏れ出る。

どうやら転寝——それも、日が傾く程の間——をしていたらしい。意図せず眠りに落ちていた為か、未だ思考は定まらず、直前まで何を考えていたのかさえはつきりとしな

い。

そんな気持ちを入れ替える意味も込め、再び伸びを一つ。

と、反らした背より落ちたそれなりの重量物の気配を感じ……そこで漸く、『闇の書』が自身と共に居た事を思い出した。恐らくは似たような状態であったのだろう、落ちた衝撃で再び動き始めた書は、ぶるりと一度身を震わせると、そのまま何時もの様にふらふらふよふよと浮かび始めた。(尤も、行くあても無いため離れる事はなかったが)

堪え切れぬ欠伸をなんとか噛み殺しつつ、そんな衝動にさえ内心で苦笑を浮かべる——



—随分と、腑抜けたものだ——と。

いくら平和といえ、陽気に易々屈するなど「盾」以前に「守護獣」としても失格ものの所業。この調子では、「本来の役割」を果たせるのどうかも疑わしい。

確かに、この国へ降り立ってより目立った争乱の気配もなく、また主自身がそういったものを避ける考えを掲げているが為に平和ではある。しかし、その「平和」とはあくまでも「現在」においての話であり、決して永遠不変のものではないのだ。

この先主が成長し、その途中で大きく心変わりしてしまふ事だつて考えられる。魔導の如何を問わず、決して社会的に強い立場とは言えない主へ邪な心を抱く者が現れ、それが実行されたが為に望まぬ諍いへ巻き込まれる可能性も否定できない。今の平穩なる一時は、あくまでも数多の偶然と幸運とが積み重なった上に成り立っているものではない。

何より、繰り返しにはなるが、他ならぬ『闇の書』（じぶんたち）こそが争乱の火種であり、守護騎士たるこの身は「戦い」そのものでもあるのだ。

血を流す事を本懐とする存在が、戦いという呪縛から逃れられる筈がない。剣として生まれた自分達にとっては、それこそが宿命であり必然であるのだ、どうしてそれを避けられよう。

そして、「その時」——何時になるのか、本当に訪れるのかも判らないその瞬間が訪れ

た時、果たして自分は本当に「盾」となる事ができるのだろうか。

断ち切る刃も、それを振るう腕にも錆付きは一切ない。プログラムであるそれらに、劣化など在于る筈も無い。

しかし、それら「力」を律する「魂」はどうだろうか。自分のそれは「騎士」から「家族」へと、武器を取る者から、そう在らざる者へと移り変わつてはいないだろうか。

何も、自分だけに限つた話ではない。今朝方の将の一件は、まさしく典型的な例と言えるだろう。一体どうして、「騎士」として造り出された人工物モノが、鍛練などという人間染みた行いをする必要があるのか。そうでもしなければ、「騎士」である己を保てないとも言えるのだろうか。

それはまさしく、「守護騎士」としてのアイデンティティの崩壊であり、自分達の存在意義そのものを揺るがすだけの危機クライシスと言える事案なのだろう。

だが、そんな「危機」を認識して尚、一方では平然としている自分がいる。「それがどうした」と、積み上げられてきた過去が風化する事を歯牙にもかけぬ己がいる。

もしかしたら、それ自体もまた微温い思考の一片であるのかもしれない。しかし、自分はそのようであるとは思っていない。

その「油断」は、「騎士」としての自分」以外のアイデンティティを築き始めているが故

の「余裕」であり、命ぜられるまま与えられ続けてきた過去との決別——自らの意志で切り開いてゆく未来の選択——であると信じているからだ。

この身は最早、「ヴォルケンリッターが一騎・盾の守護獣」だけではなく、同時に「八神家の一員・ザフィーラ」でもあるのだ。家臣でも道具でもない「家族」なのだ。そこにどうして、平穩を掻き乱す要因が不可欠となるだろうか。抱きしめる腕で、劍を持つ必然が生まれるのだろうか。

そして、今こうしている間にも、「家族」としての役割は直傍にまで近づいてきている。心優しき主の事、半日とはいえ一人留守番を受け持っていた自分に対し、態々土産か何かでも購入している事だろう。「連れていけなくてゴメンな」といった謝辞と共に、自身の「働き」に対し命一杯の感謝を伝えんとするのだろう。

断るのは簡単だ。「身の丈に合わない」「畏れ多い」等といった理由を並べるのも容易な事。しかし、それらは「守護獣」としての、ただ従属するだけの「物」としての模範解答ではない。

躊躇う理由も、また必要もない。

素直に受け取り、「大した事ではない」と返し、土産の礼を告げる。只それだけが家族の務めであり、ごくありふれた日常の光景。主が欲し、自らが望む「ザフィーラ」の新

たなる役アイデンティティ割。

さて、丁度姦しい声も聞こえてきた時分。「忠犬」として、玄関にて出迎えるのも偶には悪くないだろう。虚ろな誇りプライドと確かなる現実、態々天秤に掛けるまでもない。

——何だ、お前も一緒に出迎えに行くのか？ 『闇の書』。

## 番外3—1: Buβe von Eve

「……ひとまず、此処にいた人達の避難は終わったみたいね」

『Irgendwie ist es solch』

目の前の「敵」から視線を外す事なく相棒デバイスを起動、睨みあう状態をそのままに、騎士甲冑を展開させてゆく。

第一線を退いた「お母さん」より受け継いだ赤きパートナーは、本来であれば母その資質——ミッドチルダ式に合わせて調整された自立意識インテリジェント保有型魔導器デバイスであり、古代ベルカ式を操る自身には適合しない筈の逸品。にも関わらず「彼女」は、まるで長年連れ添ってきた半身であるかのように今の私へと馴染み、あまつさえベルカ言語によるサポートまでもを行つてくれている。

それはあたかも、私という存在が抱える「全て」を、既に知っているかのようにさえ思える。

全く気にならない　と言えば嘘になる。

進級を機に受け継いでより2年程の付き合ひとはいえ、未だ「彼女」について知らない事は多い。

そも、前マスターである母や、更にその前の所有者であった父でさえ、「彼女」の出自については把握しきれていないのだ。それより以前の資料が残されていない以上、日々の直接的な交流以外に情報を得る術は無く、しかし自身がマスターとなるより以前……10余年の歳月を経て尚、「彼女」が自身の出自に関して語った記憶も、母がそれを問い質した覚えも無い。

文字通り命を預ける存在である以上、「知らない」という事は、本来それだけで致命的な不安要素となり得る。例え小さな綻びであつても、やがては致命的なすれ違いを誘発しかねないのだ。単なる道具ツールに留まらない「魔導器デバイス」の位置づけを鑑みれば尚更だろう。だが、その様な状況であつても母に、そして自分に対し全力で向き合ってくれている「彼女」の存在は、嬉しくも誇らしくもあり、また今この場においては何よりもありがたいものでもあつた。

未だ成長途中の身体を薄紅色光が包み込み、超常のエネルギーが四肢の隅々にまで行き渡る。St. ヒルデ中等部の制服は瞬時に分解され、濃紺のボディースーツの上へ蒼の装甲を配した戦闘形態……嘗ての己を模した姿が一瞬で完成。同時かそれよりも早く、思考もまた「戦い」の為のそれへと最適化されてゆく。

「嘗て」の幼少期では何の疑いも抱かずに喜び、成人してよりは当然のものと意識の

外へ追いやられていたそれも、今となつては淀み無きプロセスの一つ一つさえ恨めしく思えてならない。

この太平の時代、平穩なる世界において、その力は紛れもない「異物」であり、また今回の小旅行……日々学業に励み、夢と希望とに溢れる少女達が心待ちにしていた一時へ、不作法なる闖入者を引き寄せてしまったその原因は、そんな「異物」を抱える自分を置いて他に無いのだから。

そうして臨戦態勢を執つた自分を、「最も優先すべき」敵性反応と認識したのだろう。目の前に佇む鉄の巨人……長閑な自然公園には不釣り合いな超合金で身を固めた機械兵は、鈍い音と共に仄暗い瞳へ怪しげな光を灯した。

作業用や「警備用」として普及している傀儡兵ゴレームや、十数年程前に次元世界を騒がせた「ガジェット」と呼ばれる兵器群とも異なる、より洗練された人型を有する鉄巨人。

文字通り「空間を裂いて」突如出現したそれは、合法／非合法の区別を問わず、現在次元世界において確認されているどの機種とも異なる姿を、力を、存在を以て、穏やかなる午後を打ち破つた。

私は知っている。否「記憶しゅつしている」。今世においては、欠片の記録たりとも残されてはいないそれが齎した厄災を、戦果を、悲劇を。

識別番号CX—612M、通称「斜十字」。遙か昔、ベルカーミッドチルダ間で起きた次元間戦争において投入された兵器の一つにして、禁忌の都・アルハザードによつて生み出された「悪魔」が一体。意志も感情も無く、与えられた命令のままに殺戮（さぎよう）を遂行してゆく金属の魔物。

その全てが失われたとされる戦役を如何にして潜り抜け、またどの様にして戦鬪行動が可能な状態のままに現代まで息を潜め、何の契機を以て、何処から現れたのか。

彼の存在に對する疑問は尽きないが、それが「脅威」である事だけは疑いようも無いお墨付（しじ）き。本来であれば、それこそ時空管理局の一部隊が掛かりきりで鎮圧に当たるべきような相手であり、言わずもがな一学生が、それも単騎で相手取れるような、相手取るべき存在ではない。

そんな事は、実際に戦つた自分自身が何よりも判つている。

だがそれでも、それを理解して尚、私はこの戦いを管理局に、他の人間に任せるつもりはない。

何故なら私は「王」だから。民を守り、民の盾とならねばならぬ「聖王」なのだから

▽

▽



私にはある「秘密」がある。心の底より慕う両親にさえひた隠し、一生明かすまいと誓った秘密。

古代ベルカにおける王が一人にして、「最後の聖王」たるオリヴィエ・ゼーゲブレヒト。現代においてそう呼ばれている人間の記憶を——否、単なる「記憶」に留まらず、その根源たる「魂」までもを、私は有している。

この身は『ヴィヴィオ』であり、同時に『オリヴィエ・ゼーゲブレヒト』でもあるのだ。

何故「このような事」が起きたのかは、「ヴィヴィオ」としての齢が14を迎えた今となっても尚明らかにはなっていない。

古代においては、似たような事例ケースとして『転生』と呼ばれる技術が存在しており、「記憶の残存」「人格の継続」といった特徴からも、自身に起きたのがそれに類するものであると見当は付けている。しかし、生憎そういつた分野に精通している訳ではなかった自分には、「何が起きたのか」は判つても、「何故起きたのか」まで判断する事はできないのだ。

何より、どれ程思案を重ねようとも、導き出した結論それらが推論の域を出る事は叶わず、確証を得る為の解が得られるあても無いのだ。

恐らく、この「謎」が解明される時は永遠に訪れないのだろう。多少の納まりの悪さ

はあれど、他の悉くを投げ打つてまでも解き明かさんとする執着を持てなかつたのは、ある意味では幸いであつたのかもしれない。

「オリヴィエ」としての最期の記憶は、唯只管に、いつそ笑えてしまう程までに「絶望」の一角で塗りたくられたものであつた。

如何に歴代最高と謳われ、それだけの武技を有していると自負する聖王オリヴィエ・ゼーゲブレヒトとて。古今東西の叡智を結集させた、ベルカ最強の至宝たる「ゆりかご」とて、「星そのもの」が上げる怨嗟の声に叶う筈も無し。まして、当時の自分はその全身を余す事無く病に蝕まれていたのだ。数多の戦乱を抱きとめてきた母なる大地が、その渾身の叫びが、どうして「その程度」の戦力で受けきれようか。

判つていた。敗北しか残されていない戦いである事は、舟を出す以前に理解していた。二度と帰れない事は、覚悟していた筈であつた。

けれど、そうであつても尚、愛した故郷の無残なる最期を悲しまずにはいられない。一時は悲しきすれ違い故に離れ、しかしその危機を前に心を通い合つた事のできた同胞達の無念を、推し量らずにはいられないのだ。王として、一人の人間として。

そうして、既に真つ当な機能を有していなかつた五臓六腑七感の髓にまで断末魔を染

みつかせながら、「オリヴィエ・ゼーゲブレヒト」はその生涯を終えた。崩れゆく愛馬と共に肉体は焼き尽くされ、その魂は次元の海へと還った。その筈であった。

けれども、再び浮上した意識が知覚したのは根源の渦ではなく病院の薄明かり。そして、目の前にあつたのは血の惨劇ではなく、満面の笑みを湛え微笑みかける一組の男女。

——それが、「ヴィヴィオ」の始まりであつた。

▽

極当たり前の家庭に極当たり前の身体。そして、混じり気の無い感情に溢れた両親。平穩なる「現代」においては然程珍しくも無いそれらの一つ一つが、乱世を生きた自分にとっては新鮮なものであり——眩しすぎる程に、輝いて見えるものであつた。

どの様な理由が、大義名分があつたにせよ、この身は返り血で染まつた咎人。行き着べきは流刑の地であり、安寧の園ではない筈。

そんな自戒の念は、罪の意識は、「ヴィヴィオ」の殻を被つたオリヴィエに決して安息を与えてはくれなかつた。両親の笑顔を、そこに込められた愛情を感じ取る度に、この心は見えざる鎖で締め上げられていった。同胞達の怨念を夢に見て、か細い喉元へ衝動的に刃を突き立てようとした夜は数知れない。

だが、それは決して「現実」ではなかつた。「真実」には程遠かつた。

嗚呼、そうだ。その時の自分は、只「悲劇のヒロイン」という配役に酔っていただけ

の、現実を捉え損ねた小娘でしかなかった。眞実から目を背け、身勝手に見当違いな「罪の意識」を周囲へ押し付け愚か者であったのだ。今となつては、まさしく古ベルカの格言の通り「思い出すのも憚られる一時」である。

それは、果たして何歳ぐらいの頃であつただらうか。少なくとも、自分の足で自由に動き回れるようになっていた事は間違いないだろう。

嘗ての敵国ミッドチルダの中心同然の地で、どちらかと言えばミッドチルダ系の資質を有する両親の間へ生まれた身ではあるが、魂の奥底にまで刻まれた故国への思いが、そう容易く風化する筈も無し。親の目を盗み、様々な場所で古代ベルカの歴史やその趨勢、散り散りとなつた民の行く末などを、見目の年齢に似つかわしくない内容まで徹底的に調べ上げた。あらゆる手段や理由を尽くし、その現代の姿を一目見ようと試みた。

そうして見えたもの……それは、嘗ての「敵」と手を取り合い、朗らかに語り合う故国の民の姿と、しかしその内で確かに脈動する「ベルカ」という存在。そして、  
 “としての在り方しか許されなかつた古の戦友達が魅せる、何よりも人間らしい笑顔であつた。

なんという幸福。此の上無い充足。

およそ「聖王」が求めて止まなかつた光景が、そこには広がっていた。心の底より渴

望し、幾度となく涙を堪え、数えきれぬ程の軀の山を築き上げても尚手に入れられなかったものが、この世界には存在していたのだ。

しかもそれは——時を越えた聖王オライヴエの悲願は、他でも無い、彼女が愛して止まなかつた民自身によつて成されたのだ。平和を、それを築くモノを尊ぶ身にあつて、どうしてこれ以上の喜びが存在しようか。

国土ほしでも軍事力ちからでも無い。国とは「人」であり「魂」。王が欲し、民が望んだ「ベルカ」は、幾多の戦乱と悲しき破滅を乗り越えて尚、此処に在る。

なればこそ、「平和」を作り出す為の道具ツールたる「王」ではない、一切の権威しからみを有さぬ「二人の人間」として生きるべきではないのだろうか。血の運命さだめによつて課せられた使命を全うするだけの安易なる道ではなく、「自由」であるが故に険しい、嵐吹く荒野を突き進む事こそ……その果てにある「光」を、自らの手で掴みとる事こそが、再誕を果たした「二人の人間ツイ ツイ オ」の務めではないのか。

そう、自らの「二度目の生」の意義を結論付けた自分は、「ベルカの敗北」という歴史をそつと胸に納め、両親の待つ日常へと帰つていった。「ヴィヴィオ」としての生を歩み始めた。

「前」の生を卑下するつもりはない。確かに血と暴力とに溢れたものではあつたが、

そこにもまた独自の「誇り」が——受け継がれし「魂」が存在していたのは、紛れもない事実であるからだ。

しかし、二度目となる今世が、私にとって一層輝かしく思える事もまた否定できない。両親からの愛を一身に受け、自らもまた真つ直ぐな思いを以てそれを返す。

極当たり前の少女として学び舎に通い、同年代の友人達と親交を重ね、共に笑い合う。その何れもが、「王」である自分には手の届かなかったものであり、そんな自分にとつては、次元世界の如何なる宝玉よりも美しく思えるものであった。そして、そんな中で生きる事のできる今世の自分は、その生は、間違い無く満ち足りていたのだ。

——只一つ、「彼女」の事を除いては。

アインハルト・ストラトス。その本名をハイデイ・Einhald=Stratos E・S・イングヴァルト。

真正古代ベルカ武術「カイザーアーツ霸王流」の正統後継者にして、「オリヴィエ」と同じ時代を生きた王が一人／我が永遠の盟友、クラウス・G・S・イングヴァルトの血を引くとされる少女。

否、その説明は私にとつては正しいものとはいえない。何故なら、私には「判る」から。彼女が「クラウス本人」と呼んでも差し支えない存在である事を——自分と同様、王

としての魂を宿した『転生者』である事が。

今でこそ麗しき少女の見目ではあるが、自身ゼーゲブレヒトのそれ同様の、イングヴァルト家特有の髪色と虹彩とは尚も健在。そして、寡黙なる瞳の奥に燃える輝きは、嘗て超兵器が跋扈する戦場において、両の拳一つで覇を唱えていた人物のそれと一分の差異も無し。

当人の口から直接聞いたのでも、明確なる裏付けがある訳でも無い。先の『転生』と同様、これもまた所詮は「推論」でしかない。

だが、始めて出会った時にも感じたこの「勘」については、先のそれとは異なり間違はなく「真実」であるのだと確信している。他の人物ならいざしらず、この私が抱いたのだ。その想いが、誤りである筈がない。

恐らく、彼アインハルト女もまた同様の心境にある事だろう。自身でさえ迎れた思考に、聡明なる彼クラウスが至れぬ道理も無し。この髪色と虹彩と、自身も感じた第六感とを組み合わせれば、ヴィヴィオと名乗った人間が有する「もう一つの名前」を推察する事も容易い筈。

例え言葉を交わさずとも、私達は互いの抱える「秘密」を判りあえているのだ。  
——そして、それを理解し合つて尚、現在の二人の関係があるのだろう。

決して、決して仲が悪い訳ではない。

そもそもが「古代」においても付かず離れずな関係であり、「現代」となつてその距

離感が激変した訳でも無い。

現在の彼女との付き合いは少等部よりのものではあるが、逢えば普通に挨拶も交わしはするし、共に笑顔を浮かべた事だつてある。あまり感情を表に出したがらない彼女の性を鑑みれば、それだけでも十分及第点と言えるのかもしれない。

だが、そんな評価も所詮は上辺だけのものではない。彼女が浮かべる笑顔は、何時だつて何処か「ぎこちない」ものであつたのだから。

見えない「壁」が立ちただかるように。透明な「枷」が掛かっているかのように。私と彼女との間は、その心の距離は、出会つてより数年の時間が流れても尚、決して縮まる事はなかつた。どれ程自分がアプローチを試みても、歩み寄ろうとも、決して彼女の琴線に触れる事は無い。表面的な笑みを得られようとも、その奥底にある心の扉は、堅く閉ざされたまま隙間一つ開きはしない。

否。そもそも、この考え方がそれが誤りなのかもしれない。

まるで彼女にこそ責があるような物言いだ、その本当の原因は、本当に心の距離を開けているのは、或いは彼女の方ではなく――

『Ein Feind kommt; seien Sie bitte vorsichtig.』



「……そうね。

今の私に、余所見しているだけの余裕なんて無いんだから」

「雑念」としか言いようの無いその感情を端に寄せ、今一度戦局を見聞してゆく。

先の奇襲は、第一の目的こそ達成できたものの、「高望み」できる程ではなかつたらしい。如何に認識されるより先に仕掛けたとはいえ、此方も又準備不足であつたのは事実。つまらない思慮に浸れるだけの混乱こそ得られたものの、特殊コーティングが施されたネオ・ベルカニウム合金製の装甲には傷一つ無く、その機能に不全は見られず——つまりは、さしたるダメージは与えられていない という事である。

尤も、そんな結果を「仕方が無い」と言えるだけの戦力差が存在している事もまた、誤魔化しようの無い事実ではあるのだが。

言い訳じみてはいるが、「機械」としての強み——「当時」と何ら変わりのない性能スペックを有する敵と比べ、移なろい往まく存在みに残されているそれは、あまりにも心もとないのだ。

両の腕こそ、当時とは異なり自然のまま動かす事が可能ではある。が、そんな「普通の肉体」である事が或る意味では災いとなり、この身へ付いているのは常識の範疇へ収まつてしまう程度の性能であり、かつ成長期中途のレベルでしかない。当然、血によつて受け継がれてきた「聖王の虹」も無ければ、「鎧」を顕現させる事も叶わない。およ

そ「武器」と呼び得るだけのものを、現在の私は有していないのである。

一応、今世ヴイツイエにおいても前オリツイエ同様に武技を修めてはおり、また年齢を越えた相応の実力である自負もある。が、「太平の世における強さ」でしかないそれは、残念ながら修羅の時分そのままを切り抜いてきたCX—612Mゴイレムにあつては「武器」足り得ない。決して今の世とそこに栄える武術を軽んじるつもりは無いが、その様な情念が通用する相手でも無いのだ。

以上の事から判断しても、今の自分にまず勝ち目は無い。そも、「聖王」として十全の力を有していた古代むかしでさえ、生身の一对一では抑え込むのがやつとの相手だったのだ。その最低ラインさえ満たしていない現状で、どうやって打倒できようか。

だが、それでも自分は戦う。勝ち目の無い戦いくさであると理解しても、命の尊さを識りながらも、この身は戦場へ立つ。立たなければならぬ。

それが、数えきれぬ血を流した者が負わねばならぬ罪だから。「王」が果たすべき「贖い」であるのだから。

「悪いけど、もう少し付き合ってもらうね。相レツツングハート棒」

『Ich erreiche Sie durch jede Art von Ze



## 番外3—2 : Verurteilung von Adam

am

「ああ、もう！ 一体何がどうなってんのよ！

いきなり怪しき全開な傀儡兵が飛んでくるわ、警告も無しにビームぶつ放してくるわ。

おまけにヴィヴィオが変身して立ち向かうとか！

尺の足りなくなったアニメでもこんな急展開無いわよ！」

「アホ校ちよ……もとい、フドウ教諭は平時通りせんせいですし、ミカゼ教諭とまで連絡が取れず。

本当に、どうすれば良いのでしょうかねえ」

「フロレンスさんの意外な黒さはさておき、ヴィヴィオちゃんの変身にもビックリだねえ。

何かピリピリしてたというか、いつもの優しい感じがまるで無いというか」

「というか、言われるがまま避難誘導引き受けちったけど、ヴィヴィうち一人で大丈夫か

にや。

そりや、アチシ達が残つても足手まといなだけかもしれないけど」

学業という拘束から解放放たれる小旅行の、更に縛るもの無き自由時間。その一環で訪れた、ある庭園の一角。

相応の広さを有しているスペースの更に隅。加えて、不特定多数のざわめきが遠慮も無く交錯している筈の状況下においても尚、そんな級友達の遣り取りは、不思議な程に耳へと入ってくる。

学び舎の性質故に日頃から魔導技術へ触れているとはいえ、今の彼女達は未だ「戦い」とは無縁の民間人であり、庇護されて然るべき存在。楽しい筈の一時へ突如として現れた非日常の存在と、それに呼応するかのように雰囲気を一変させた優しき友人の姿とを一度に目撃すれば、その許容量を上回ってしまうのも自然な事。

取り乱す少女達は、それこそが「あるべき姿」であり、そこに悪評を付ける理由など無い。

(それに比べ、私の体たらくとききたら……)

秘すべき理由など百も承知。今の自分は、「偶々遠い先祖に関係した人物がいる」だけの、ごく普通の霸王流継承者が一人であり、それ以上でもそれ以下でも無い。そんな「普通の現代人」が、遙か昔に失われた筈の業を振るうなど「あり得ない」話でしかない

のだ。

この太平の世においては、例え一欠片であつたとしても、純然たるシュトウラの力など無用の長物。平穩に生きる人々を脅かし、悪意ある者の欲望を掻き立てる「災い」以外の何物でもない。例え、守き民の影へ隠れる臆病者と罵られようと、「力」を持つ者が果たすべき責すら投げ出す卑怯者と蔑まれようと、「霸王」の力は、世へ放つべき代物ではないのである。

何より、あの日自分は誓つたのだ。大切なモノを守る事叶わなかつたこの拳は、未来永劫誰かの為には振るわないと。二度と同じ過ちを繰り返さない為に、振るう事そのものを止めてしまふと。

その「戒め」は、嘗ての肉体が朽ち果て、「アインハルト」として再誕した後でも変わりはない。この魂は、古代から続く記憶のままに、最後の戦場より一歩たりとも前へ進んではない。

なればこそ、そんな自分に、「彼女」の隣へ立つ資格など無い。それは、只一人生き残つてしまつたあの時、この心へ打ち立てた確固たる決意であるのだから。

けれども、その決意……決して軟弱ではない己の心が定めた「覚悟」はしかし、今この時この瞬間において、大きく揺らいでいた。——本当に、それで良いのか？ と。

確かに、平和・平穩なるこの日常<sup>せかい</sup>は、争いしか知らなかった私……私達にとつては、如何なる寶石よりも美しく尊いものであり、壞す事しか知らなかった己<sup>こ</sup>の腕にあつては、硝子細工より脆い存在となる。それこそ、生まれたての赤子を抱くかのように、大切に、過敏なまでに優しく守り抜くに値するものだろう。

そして、そんな繊細<sup>デリケート</sup>なる空間へ、例えば荒事の様な刺激の強いものを持ちこむ事が良い結果を齎す筈も無い。まして、触れただけで万象を粉碎する「霸王」の力など、論議の卓へ乗せる以前の問題である。それらの点を鑑みれば、「拳を封じる」という自身の選択は、決して誤りではないのだろう。

が、それが即ち「正解」になるのかと問われれば、少なくとも私は肯定する事はできない。その選択を執った「結果」たる現在の自分自身を、正しいと認められないからだ。

今の自分は、そんな「尊<sup>もろ</sup>さ」を言い訳として、世界から……自身が守ることの出来なかった「彼女」がいる、目の前の現実から目を背けているだけではないのか。民だけでなく、大義名分までもを盾に隠れているだけではないのか。

秘匿の重要性を理解しながらも、一方で湧き上がるそんな感情を抑えきる事ができないのだ。

「世間の目」が無視できない事は、紛れもない事実ではある。

事が事だけに、「二人だけの秘密」で通しきるのは難しく、かといって公としてしまえば、今の平穩にちじょうへ亀裂が入る事は必至。自分だけならばまだしも、「彼女」にまで面倒が振りかかるのは何としても避けたい事であり、今の自身の選択は、それを十分に可能とするものではある。

けれど、例えそれで世間体を守れたとしても、彼女自身の心は……こんな自分であっても気に掛けてくれる、その優しさまでもを守りぬけるのだろうか。五感を閉じ置物と化し、ただ流れゆく時に身を任せているだけの現状で、果たして「彼女」との距離は詰められるのだろうか。自ら一步を踏み出さずして、その心へと歩み寄れるのだろうか。

嗚呼この際だ、素直に本音をぶちまけよう——今の自分は、ただ「苛立つている」だけなのだ。

様々な事情や思惑が絡み合い複雑に見えているそれも、突き詰めれば単なる自己嫌悪。戦えるだけの力を未だに持ちながらも、難癖を付けては「彼女」一人を戦場へ立たせている事に、そんな「過去の焼き直し」を黙って見過ごしている自分自身に、比類なき憤りを感じているだけの事なのだ。

おそらく今の自分は、傍目にも大層「酷い状態」となっている事だろう。始めに距離を置いたのは確かに自分ではあるが、お人好しかつお節介焼きの揃う級友達が未だ遠巻きとなつているのは、偏にそんな「近づき難い」雰囲気は無意識下に感じ取っているが



故。

友人達にその様な氣遣いを強いている事に、またそんな感情を垂れ流しとしている自らの幼稚さに、益々苛々は募つてゆく。全く以て、終わり無き悪循環以外の何物でもない。

「随分と、思い詰めている様子だな」

「!?」

そんな調子であつた為だろう。こうも容易く、背後うしろを取られてしまったのは。

此処は古代の戦場などではなく、それ以前、相手に「その様な意図」があるとも限らない。そもそも、自ら喧騒へと背を向けていたのだから、後方より声が掛けられるのは極自然な事の筈。

だが、今こそこの様な状態であるが、この身は霸王流を修めた——「アインハルト」の身にあつては「継承者」だが——者。ただ背後から声を掛けられるのと、声が掛けられるまで気づかないのでは、まるで意味が違うのだ。そこに「少女いまのすがたの形」という要因が介在する余地など無く、その不甲斐なさが、一層自身の不機嫌さを加速させてゆく。

とはいえ、(幸いにも)そんな感情を隠す気にもならない程までには至っていない。今の自分が「由緒正しき名門校の一女学生」である事は、ささくれ立った理性にあつても

重々承知。

毒を吐き続ける内心をひた隠し、あくまでも慎ましやかに、先程までのらしからぬ様子  
子の言い訳を考えながら、ゆるりゆるりと振り返る。勿論、その中においても、振り向  
いた先の銃口を腕諸共打ち砕く用意は欠かさない／欠かせない。

しかし、そんな気負いも、思考も、警戒も。〃声を掛けた人物〃を認識した途端、あ  
る種の諦めと共に、泡沫の如く消えてしまった。

「……今まで何処にいらしたのですか、校長先生」

「何処にでも。」

教師であり導き手たる私の心は、何時だつて君達生徒の傍らにある」

浅黒い肌に肩程までの黒い髪、細身ながらも鍛え上げられた肉体を、民族風の衣装で  
包んだ隻眼の男性——ジン・フドウ。その肩書をばS t. ヒルデ校長。

学び舎の長として幾名もの優秀な生徒を輩出し、また本人も「フドウある所に奇跡あ  
り、奇跡ある所にフドウあり」と謳われる程の腕前を持つ騎士である一方、その性格も  
あり出自を含めた個人的情報が殆ど明らかとなっていない、まるで霧か霞かの様な人  
物。

正直な所、私は彼が得意ではない。が、それは級友達の言う「掴みどころの無さ」か  
ら来るものではなく、その瞳——全てを見透かしているかのような視線に、内へ抱える

闇を暴き出されるような感覚を抱いてしまふが為である。

酷く個人的な理由ではあるが、さ「そういうったもの」を抱える人間にとって、全てを映し出す鏡を突き付ける事ほど苦痛に思えるものは無いだろう。それ故の苦手意識なのだ。

「相変わらずですね……」

それより、よろしいのですか？

貴方の言う「大切な生徒」の一人が、今まさに危機へと晒されてしまっているのです  
が」

けれど、そんな彼の存在は、今この状況にあつては何よりも「都合が良い」。

そんな打算的な考えが、言葉が、自然と出てきた事に対して、少なからず嫌悪の情は湧く。しかし、たかが一時の葛藤程度で「彼女」が助かるのであれば安いもの。

その性格や人間性は兎も角、目の前の人物が有する実力と生徒への感情は、確かに「本物」であるのだ。目的遂行の成功率は言わずもがな、「引き受けてくれる」事それ自体に  
関しても何ら案ずる要素はない。

そう、後は彼に「お願い」さえしてしまえば、それで「彼女」の命は助かる。この窮地を乗り越える事ができるのだ。「お願い」と言うにはあまりにも傲慢な物言いではあ

るが、それもまた彼の人物を良く知るが故の信頼であり、甘えであり、また細やかな嫌味のつもりであった。

けれども、そんな「信頼」——そもそもが一方的な勘違い——と言つてしまえばそれまでだが——は、思いもよらぬ形で裏切られる事となつた。

「——何故、私が動かねばならないのかな？」

▽

「……今、なんと？」

信じられない 信じたくない

平時であれば、その言葉へ秘められた「真意」の一つでも探らんとしたであろう頭脳はしかし、あまりにもお粗末で幼稚な我儘——自身の「お願い」が断られる筈がないという思い込み——を捻り出すのが精一杯であつた。

「ふむ、語学に関する君の成績は、概ね把握しているつもりだつたのだが……

仕方あるまい、あまり好ましいとは思えないが、端的に事実だけを述べさせてもらおうとしよう。

『私は彼女を助けない』と言つたのだよ、ミス・ストラトス」

そんな自身の心情を知つてか知らずか、辛辣な、そして挑発的な（自身にとってはそう捉えられる）言葉を投げかけてくるフドウ教諭。

彼の性格と「教育方針」とを知っていれば、先程の様な疑問に対し「そんな言葉」が返されるのは十分に予測できる事。にも関わらず、今のささくれ立った心にあつては、それを「敵意」と受け止める事しかできない。

自然、らしからぬとは自覚しつつも、語気は何処か荒いものとなつてゆく。

「正気……いえ、本気で仰っているのですか？」

もし管理局へ通報済みであつたとしても、到着までには少なからず時間が掛かります。

それに、彼の戦闘能力を鑑みれば、生半可な人員では悪戯に被害を増やすのみ。

今この状況下において、「迅速さ」と「実力」を兼ね備えているのは、

それこそ貴方を置いて他に居ない筈です」

「あてが外れた」事に対する、八つ当たりの意も含まれていたのだろう。文面こそ持ち上げる様なものではあるが、言葉の端々には非難の情がありありと滲み出ており、少しでも気を抜けば、「その癖何故こんな所で油を売っているんだ」といった暴言の一つでも飛び出しかねない程までに、今の自分は苛ついていた。

無論、伊達や酔興で「校長」の任を負つてはいない彼が、その程度の癩癩に気付かぬ筈がない。並べたてられた礼賛美句に心が籠つていない事など、とうに見抜いているだろう。

「君程の実力者に、そこまで力を買われているとはな。

いやはや、教師としては元より、一人の騎士」としても嬉しい限りだよ」

にもかかわらず、一体何処から取り出したのか一輪の白い花なぞ遊びつつ、教諭は臆面も無くそう言い切った。

恐らく、その満足そうな表情からして、本当に「悪くない」とでも思っているのだろう。常日頃から「不可思議な人」と評され、また大真面目に奇々怪々な事をしでかす人物であるとは理解していたものの、その「根柢」を目の当たりとした現在、自身はその「正直すぎる」反応に、思わず肩透かしを喰らっていた。

しかし、そんな「油断」もまた、冷静に考えれば話術の一端であり、彼の思うつぼであったのだろう。意図せずして守りの緩んだその瞬間を決して見逃さず、「奇跡の男」は自身の間合いの更に奥まで、構える暇も許さずに踏み込んできたのだから。

「が、そこまで買いかぶられるのも考えものではあるな。

所詮、この身は只一人の教師。『導き手』とは期間限定が常であり、死でさえも別たれぬ相棒とは訳が違う。

『彼女』にとつてのそれが、君にとつてのそれが、私でない事など、今更言うまでも

あるまい」

まるで、自身の／自分達の秘密ひそを知っているかのような——否、恐らくは知っているのだろう。

「当て推量」や「鎌かけ」ではあり得ない。「確信」が、その言葉には含まれていた。「たしかに、私が出向けば現状は打破できるだろう。

だが、それはあくまでも現状を脱せるだけの事であり、

根本的な解決へは繋がらない。真に「彼女」の心を救う事へなど繋がりはしない。

——違うかな？」

固く閉ざしていた守りを突き崩し、逃げ道のその更に前へと回り込み、無意識下でひた隠していた事実を、思考を、白日の下へと晒す。

僅か数度。数分にも満たぬその遣り取りだけで、一方的なまでの完全ノックアウト。

先程までの暴言混じりの強気は何処へやら、疑問ですらない「問い」を突き付けられたこの身は、最早借りてきた猫よろしく押し黙るより他なかった。

教諭フドクの言う通り、仮にその戦力を以て現状を脱する事ができたとしても、それを成したのが「私」でないのなら、それは根本的な解決には繋がらず、単なる問題の先送り

——それ以上に、「また何もできなかった」という重責を加えるだけの悪手としかならない。

果たして、唯でさえ「前世」のそれに押し潰されてしまいそうな今の自分に、これ以上の負担など支えられるのだろうか。

自惚れに聞こえるかもしれないが、「彼女」の心を、それを縛りつける鎖から解き放てるのは、自身を置いて他にいないと考えている。

それは、単に「壁」を打ち砕ける武力ちからを有しているか否かの問題ではなく、自身が有するもつと別の要素……同様に「転生」を果たした人間として、共に戦場を駆け抜けた戦友として、最後に拳を交えた盟友として——そして何より、「世界中の誰よりも大切なヒト」としての所以である。

だが——

「……………例えばその通りであったとしても、今の私に

彼女の「救い主」となる資格などありません」

そう、結局のところ、自身の思考は其処へ帰結する。

他でも無い私自身こそが、「彼女」を守れなかった張本人であり、（結果的とはいえ）死地へ向かわせてしまった大罪人であるのだ。

能力・資質云々以前に、そも「資格」が存在しない。

本来であれば一度限りの人生において、そんな尊きものを意図せずとも終わらせてしまった人間が、今更どの面を下げて「救つてやる」などと言えよう。そんな淀んだ気持



ちで、どうして他者ひとを救えようか。

「手詰まり」

今の自分に、“彼女”を守れはしない。そんな事は既に承知の上であり、だからこそこうして不貞腐れているのだ。それこそ、こうして考える事それ自体すらも憚られる程までに　だ。

もう良いだろう　放っておいてくれ　私には何もできないんだ。

言外にそんな雰囲気滲ませ、自嘲とも懇願とも取れぬ情を含ませ、吐き捨てるように呟く。

事実、少なからず懇願の意は含まれていたのだろう。ただ、一秒でも早くこの息苦しきから開放され、“彼女”へと詰め寄っている脅威が排されさえすれば、後はもうどうなっても良かった。体面など二の次三の次であり、或いはこんな自身に教諭さえもが愛想を尽かし、とつとつ“彼女”を助けに向かう事さえ期待の内ですらあったのだ。

しかし、彼は動かなかつた。一歩たりとも、その足を離す事はなかつた。

それどころか、わざとらしく肩を竦めると共に、「何を今更」といった風に、極々“軽い”調子で、（私にしてみれば）とんでもない事をさらりと云つてのけた。

「だろいな」

初めから在りもしないものの有無など、何人たりとも語れるものではない」

▽

「なん……だと……」

散々もつたいぶつた果ての手のひら返しにか、はたまたその言葉そのものの真偽にか。自分自身でさえ信じられない事に、思わずそんなはしたない言葉さえ漏れ出でる。けれども、常日頃の自身を知っていればさぞ珍しいであろう反応を受けても尚、まるで「そんなものはなかった」かのように、フドウ教諭は淡々と、しかし軽率な横槍など許さない強さ——まるで講義でも行うかのようなそれ——を伴いながら、言葉を重ねてゆく。

「そもそも君……いや、君達は大きな思い違いをしている。

確かに、力を持つものに相応の「負うべきもの」が存在するのは事実。それを鑑みれば、

君達の考えは、振るう力に値するだけの精神力を具えていると言えるのかもしれない」

「だが、太陽の裏に月が在る様に、物事には必ず「影」たる面が存在する。

その責任感の強さは、ともすれば傲慢なる思い上がりと捉えられる事もあるだろう」「納得の往かなそうな表情をしているが……何、紐解けば簡単なる問題だ。

君達がその背で庇わんとしているのは、本当に震える事しかできないか弱き存在なのか？」

「どうやら、プライドを投げ捨てても尚、「思い上がり」という言葉へ眉根を寄せるだけの性根は残されていたらしい。」

しかし、それが感情を焦げ付かせるよりも先んじて、フドウによる問いが、それに答えられないという事実が、この身を、心を駆け廻つてゆく。

「確かに、「武力」という一面だけを見れば、天賦の才へ弛まぬ修練を重ねた君達と、才そのものにさえ巡り合わなかった者達との間には、それこそ天地の差があるだろう」

「しかし、「戦い」とは決して武力のみで測るものではなく、ましてその権利は、「自由」と並び遍く知的生命体へと与えられし絶対不可侵の権利。

力を有さない事が、「戦う」資格を剥奪する理由になるなど、断じてあり得る事ではない」

「何より、彼らは只の壊れモノなどではなく、心”を有するもの。」

「痛み」を知ることのできる存在。

庇った背へと刻まれた傷跡は、見えざる痛みとなつて心へ爪痕を残す。それが出来て

しまう」

「理解したかな？」

只一方的にその背へ隠し身を呈するなど、所詮は盾ですらない自己満足でしかないのだよ。

なまじ並大抵の事では傷一つ付かない力を有していた事が、逆に仇となったのだろうな。

どうにも、総じて聡明な君達であつても、その辺りだけは疎いと見える」

論す様な……上からの目線 という事情の如何はさておき、フドウの言う事は至極尤もな事だ。

確かに、しぶんたち古代の戦いにおける「花形」は、大抵の場合が「力」を有する一部の王侯貴族が占め、頭数で言えば遙かに上回り、また理念として中心であるべき筈の民——「力」を有さない者達——は、支援や後方といった裏方に徹する事が常。「それしかできないのだから」という考えが、何の疑いもなくまかり通つていたのは否定できない事実である。

無論、だからとて存在そのものが軽んじられて良いのかと問われれば、決してそうではない。

「力」を有しないとされる民であつても、大志の下へ集い、強大なる権力ちからを憚らせてい

た悪政を打倒した話は、王の拳一振りで街が容易に消し飛ぶ次元世界にあつても、決して絵空事ではない。

何より、そもそも「花形」とされる王侯貴族達が何の為に力を振るうのかを鑑みれば、自ずと答えは導かれる。騎士とは、あくまでも民の叫びを、祈りを、願いを形とする為の代弁者であり、自ら利の為だけに「庇護してやっている」支配者もどき等では断じてないのだ。

成程確かに、先の自分の発言は、「思い上がり」と捉えられかねないものではあつただろう。

こと《彼女》に関しては、力を有さぬ民どころか自身と同等以上の「王」ではあるが、或いはだからこそ、明確なる意志と、自らを律し貫き通せるだけのものを持つ相手に対し、「守つてやるから大人しくしている」等と言うのは侮辱に他ならず、「自己満足」と評されてしかるべき所業となるのだろうか。

「なら……なら、一体どうしろと？ 俺は、どうすれば良かったというんだ！」

だが、必ずしも四角四面・理屈固めの計算通りに物事を運べないのもまた、人間という生き物が有する性の一つである。

「何故そこまで知っているのか」という、本来まず先に疑うべき事案にさえ目もくれ



そんな存在を、判り切った死地へ向かわせられる訳ないだろ！」

抱え込んでいた己の全てを、喉の奥へ悶えていたその全てをぶちまける。けれど、後に残るのは清々しきとは程遠い不快感。言葉にもできぬ「もやもや」が、頑固にも居座り続ける。

当事者たる自身でさえそうなのだから、そんなものを“を一方的に浴びせかけられた相手が「どの様な感情」を抱くのかなど、改めて考えるまでもないだろう。

どれ程生徒思いな教師であつても、未だ知らぬ強い縁があろうとも、怒り、呆れ、諦めといったものが、そんな人間的な反応が湧き起こつても不思議ではなく、むしろそう在るべきですらある。

「……それだけ吠えられるのであれば重畳。

いやむしろ、その気概を秘めながら、何故実行できなかつたのかが不思議な程ですらあるな」

だというのに、その在り方はどこまでも「不動」。その名が体現する通りに、まるで世界さえも支えてしまう大樹の様に、霸王の、一人の人間の慟哭を受け止め続け、剩さもない軽口さえ吹けてしまう。

如何に狂犬とて、牙を突きたてられぬ相手には口を閉じざるを得ない。まして、この

身は人間の境界線を越えてはいないのだ。獣が如く咆哮はせども、その髓まで畜生と墮したつもりはない。

暖簾へと振るわれる拳打の滑稽さは、視野の狭まった今の自身であつても容易に理解のできる事。振るうべき理由あいてを見失つた剣ほど虚しいものはないのだ。何時の間にか緊張していた四肢も、その隅々に至るまで昂つていた魔力も、返つてきた「無反応」という反応の前に、瞬間に勢いを失つてゆく。

「さて、問いかけたこの身が言うのも可笑しな事ではあるが……

古代ベルカの崩壊に関しては、「仕方がない」とする他あるまい。

諸行無常・盛者必衰は世の常。君達の生きていた時代が、偶々その「節目」であつただけであり、

その時代に生まれた君達が責められるものでもない。

納得しろ　とは言わないが、自らを延々と呪い続けるのは、聊か自意識が過ぎるといふものだ」

「慰めのつもり……ですか」

「まさか。『王』たる君達にあつては、生半可な慰めなど侮辱にも同じ。

それを理解して尚実行する程、性根を腐らせたつもりはない。

——私はただ、冷静なる視点で物事を紐解き、導かれた解を示しただけに過ぎない。



無論、教師として、また先人として、このまま君達を投げ出すつもりも無いがな」

牙を取め落ち着いたとはいえ、一度荒れた心はそう容易くは落ち着かないもの。先程よりは幾許かはマシではあるが、表情にはしつかりと浮かんでいたらしく、また言葉の端々にも依然として棘が残つてしまう。

およそ人に、仮にも目上の相手へ向けるようなものではないが、それでも彼は、フドウは、自身の迷いへ寄り添わんする。

「過ぎる」程までに生徒思いであるのか、はたまた自分達だからこそその態度であるのか。始めて顔を合わせてより以来、一度として「素顔」を見せた事の無い彼にあつては、最早その真意を推し量る事は叶わず、また試みようという気すら起こらない。

だが、その思惑が如何なるものであつたとしても、紡がれる言霊へ込められし思いは、その姿勢は、決してぶれる事は無い。不動なる眼差しを以て、揺らぎ続けるこの身を確りと現世へ縫いとめ続ける。それこそ、この両の足が踵を返す事など到底考えられない程までに。

「さて、話は変わるが……

……時に、君は『一万と二千年前から』という言葉を知っているかな？

全く知らない という事はあるまい。少なくとも、君が日々の学業に対し

真摯な姿勢を有しているのであれば、耳に入れた事ぐらいはある筈だ」

もう何度目かも判らない、一見して唐突なる話題転換。

彼の「規格外」さは今に始まった事ではないとはいえ、そう容易に慣れるものでもなく、また「慣れたくない」と感じている自分が何処かにはいる。

が、例えその様な事情があつたとしても、問われれば応じるのが礼節であり、答えたくなるのが人の性。これまでは意味すら判らずに悩まされ続け、しかし今回に限つては（断片であろうと）理解できたとなれば、今の自分であつても、少なからずそういった衝動は湧き起こりはする。

或いは、判る事それ自体を喜ばしく捉えてしまう時点で、大概彼の規格外さに慣れてしまっているのかもしれないが。

「確か、古代ベルカにおいて詠まれたとされる詩そのものと、それを元とした表現技法の一つであつたかと」

何にせよ、今の自分に「知っている」回答を態々矚む理由は無い。そこだけを切りだせば「普通の学生」として、投げかけられた問いに対する回答を、可能な限りの知恵を絞つて答えるのみ。

「ふむ……まあ、及第点は与えられるだろう。

その通り。

一つは詠み人知らずの詩が一節。そしてもう一つは、それを元とする修辭の語句。

「一万と二千年」という途方も無い数字を敢えて具体化する事により、

それこそ「前世より続く宿命」とでも言うべき強い縁を、人間の一生だけでは

到底抱えきれない程の強い感情の大きさを表すもの というのが定説だ」

当然、或いは必然。返された模範解答は、自身の知識に照らし合わせても違わぬものであった。

が、如何に「古代」に関連するものとはいえ、私自身が実際にそれを直接見聞きした訳ではない。一括りに「古代」と言つても、当然ながらその中にまた時代毎の文明文化が存在し、言わずもがな自分達が「王」であつた時代は、有史より更に遡る12000年もの昔に存在していた訳ではない。あくまでも、実際に「昔」を生きていた人間の一人として純粹に興味を抱き、それが偶々より深く記憶へ残る要因となつただけの事。

「しかし私個人としては、試験問題としても扱いやすい後者よりは、

詠み人さえ定まらぬ未完成の詩の方を推したいものではあるな。

一説によれば、本来これには続く言葉が存在しており、その断片を埋める事によつて初めて完成を迎えるとの事らしい。

恐らく、当事者ではない我々には想像もつかない程に壮大なるものであつたのだらう。

何せ、「一万と二千年」等と臆面も無く言つてのけた程だ」

「……それが、何か？」

だから、本来であればその語句<sup>フレシ</sup>単体には何の意味も脈絡も無く、ともすれば「だからどうした」の一言で、記憶からさえ消えてしまう程度のものでしかなかった。言葉の端々にある「軽さ」も、そんな自身の心情を反映しての事である。

尤も、結果論にはなるが、そう考える自身の発想そのものこそが、凝り固まった視野の典型例であり、この身が依然として迷える子羊でしかなかった事の、何よりの証拠であつたのだろう。

何故なら、再びこの心を揺り動かしたのは、そんな「意味の無い」……そう考えていた筈の言葉であつたのだから。

「おやおや、君にも……いや、君だからこそ、思い当たる節があるのだと思つたのだがな。」

判らないかな？ 「一万二千年」と言い切る程の大きさを伴う「感情」の正体が。

そこに秘められた、『渡しそびれた恋文<sup>ラブレター</sup>』の様な「もどかしさ」が

▽

フドウによつて齎されたそれは、始めは本当に僅かなる一滴、波風どころか、注視し

なければ気付けないであろう程度の揺らぎを生むものでしかなかつた。

だが、その揺らぎはやがて波紋となり、重なり合うそれらは互いに震え、共鳴し、大きな「うねり」となる。仄かであつた微熱は、万象を燃やし尽くす灼熱となり、地表を覆う氷河を打ち砕く。

そうして、止まっていた時が——私の世界が、再び動き出す。

「負わねばならぬ立場がある。果たすべき責任がある。

——実に結構。

「王」程の大役ともなれば、私情に現を抜かす暇などなかつたのだらうな」

「だが、それでも君は、君達は、王である以前に人間だ。

決して完全なる存在などではなく、それ故に補つてくれる存在ものを求めずにはいられない、

不完全なるアダムとイヴだ。

起源にして極限、己という存在の奥底より湧き上がるその衝動を、

所詮は後付に過ぎぬ地位か程度で、どうして抑えつけられようか」

回る廻る走る奔る

その言葉の一つ一句が、錆ついていた足へと活を注ぐ潤滑油となり、動き出した歯車

が、それによつて鮮明となる古代の記憶が、「王」という称号により張り巡らされていた無意識のフィルターを取り払つてゆく。その奥で眠つていた、始まりの感情を呼び覚ます。

「どの様な、どれ程の想いであつたとしても、信じなければ、言葉にしなければ実は結ばない。

「約束」とは誓約であり制約。成さねばならぬ枷であり、両者を繋ぎとめる鎖。

その誠意を立てるべき相手とは——他でも無い、己自身だ」

ずつとずつと、心の何処かで悶えていた「もやもや」。それは、きつと「未練」であつたのだろう。しかもそれは、「救えなかつた」事よりも更に前、もつと前の段階のそれ。仮に、もし「if」があつたとして、あの時「彼女」を守る事ができたとしても、「未練」を欠いていたのであれば、恐らくは別の形で、しかし同様に悩み苦しむ事となつていただろう。

だが、それは或る意味当然の話だ。何せ……等と考える事それ自体が既に馬鹿馬鹿しい事ではあるが、確かに自分は、自分達は、「その言葉」を一度たりとも口にしていないのだ。お互いの立場や、「口にしなくても判りあえている」なんて曖昧な思いこみを言い訳とし、それに甘え、唯の一度であつても形としなかつた。伝えなかつた。ただ、それ

だけの事なのだ。

「この様な言い方をするとかえって考え込みそうなものではあるが……

何、そう小難しい理屈を並び立てるつもりはない。

ただ、「そういう事」は先に切り出してこそその男であろう？

確かに今世いまの形は「可憐」ではあるが……まあ、さしたる障害でもあるまい」

なんて単純。なんて簡単。けれども、それ故にきつと難しい。

改めて、今の自分に「それだけの度胸」が備わっているのかと問われれば、我ながら情けない事ではあるが、首をかしげざるを得ない。こればかりは腕っ節でどうにかできるものではなく、また「そうした事」に対し積極的でも楽観的でもなかった性分もあり、或いはこれまで両の拳だけで打ち砕いてきたどの兵器よりも攻略し難い難敵にさえ感じられてしまう。

けれど、もう迷わない。

環境セツトも衣装ドレスも十全。お膳立メイクアップては十二分。リハーサルも何も無いぶつつけ本番ではあ

るが、今はそんな泣きごとを漏らす暇でさえ惜しいもの。

「彼女」は、既に一足先に戦場ぶたいへと上がっている。そこで待っているのだ。なればこ

そ、今求められるのはそこへと向かう私自身の一步。そして、踏み出す為の「覚悟」は

既に完了している。こんな自分でも、それだけはできるから。

「迷うな 億するな ただ、己が成すべき事を成せ。さすれば、自ずと道は開けよう。

何故なら、君はもう一人でも独りでもない。誰よりも君を想い、待つてくれている人がいる」

気付けば、考えるよりも先に身体が動いていた。

ここまでの礼もそこそこに、既に両脚はトツプギアで回り始めている。ただ只管に彼女の下へ、果たし忘れていた約束を成す為に。

そんな自身の背へと掛けられた最後の言葉は、激しく切る風により上手く聞き取れなかった。けれども、それにさえ不安は無く、ただ心の内で感謝を伝えるに留まった。

もう十分に導いてもらった。ここから先はその背より離れ、自らの足で進む道。故に、私は前を見続ける。その先にあるものを得る為に。

「己が弱さを識る事で、ヒトは始めて強く成る事ができる。

その「恐怖」を乗り越えし君へ授けられるのは、限りなき祝福の喝采。

——さあ、翔けぬける断片のアダム。神話へと続く、その一頁を」



## 番外3—3：【全力で】神話のはじまり【未完成】

『I s t e s O K b e i s o l c h e r A u s r . s t u n g .』

「大丈夫……よ、問題無いわ。少し掠めただけだから」

依然として続く、長閑な公園を舞台としたあまりにも似つかわしくない死闘。しかし、その戦局はやはりと言うべきか、魔導<sup>ゴウ</sup>巨兵<sup>レム</sup>側が一步先を行くものであった。

確かに、当初の目的たる「足止め」自体は成功している。巨兵は未だ現れた地点より移動しておらず、またそれが齎した被害に關しても、ヴィヴィオ以外へとは広がっていない。「足止め」としてみれば、十分に果たせていると言えるだろう。

が、言つてしまえば得られた戦果は「それだけ」であり、またその戦果自体、いつ崩れても可笑しくない程の危うい均衡の上に成り立つものでしかない。

無論、混じり気無しの正統なる「聖王」の力を以てしても劣勢であるのは、相応の理由がある。

言わずもがな、そもそも「守る戦い」というものそれ自体が、ただ敵地にて破壊と殺戮をばらまくだけのそれと比べ格段に高い難度であり、かつ唯一の盾たるヴィヴィオの体は、未だ発展途上の少女——それも、一切の「手」が加わっていない天然自然のそれ

——。『製品』として完成され、かつ疲労や調子といった生身特有の弊害をもともしない魔導<sup>まき</sup>巨兵<sup>きゆうへい</sup>との間には、誤魔化<sup>ごまか</sup>しきれないだけの性能差が確かに存在しているのだ。が、それら難攻不落に思える壁も、彼女にしてみれば「その程度」の障害<sup>しょうがい</sup>であり、それだけであればどうとでもなるものでしかなかった。

戦争とは、戦いとは、何時でも十全の備えを以て臨めるものでもなければ、必ずしも勝利が保証されている訳でも無い。むしろ、そんなものは稀であり、またそれらを覆<sup>くわ</sup>てこそその「王」でさえある程。こと古代ベルカの末期においては文字通りの「何でもあり」が半ば暗黙<sup>あんもく</sup>の了解<sup>れいぎょう</sup>となっており、その中を聖王オリヴィエは生来のハンディを負<sup>お</sup>つて尚勝ち残<sup>のこ</sup>ってきたのだ。「非戦闘地域に現れた魔導巨兵<sup>まどうきゆうへい</sup>一体」程度、茶を啜<sup>すす</sup>りながらとまではいかずとも、さして手を焼く様な条件ではない『筈』であった。

「まさか、この時代になって『ホンモノ』を目にする事になるとはね……」

そんな彼女がここまで苦戦する理由。それは、目の前の魔導巨兵<sup>CX1612M</sup>へ搭載された『あるシステム』に依るものが大きい。

指向性粒子分断力場放出システム その通称を『告死蝶』。

現代においては「魔導師殺し」とまで言われる魔力結合分断術式<sup>Antimatter Field</sup>や、その上位互換とも目される失伝技術<sup>ゼロエフェクト</sup>を応用したとも、或いはそれら対魔導師兵装の原典とも言われる超兵器。強力がかつ明確なる意志を以て、魔力結合はおろかあらゆる物理的エネルギー・

現象の存在そのものさえ「否定」し、世界を灰色に染める悪魔の息吹。

その名の由来でもある蝶の羽ばたきにも似た美しさを有するそれはしかし、一度秘められた力を完全開放すれば、立ちどころに万象を土くれへと墮しうるだけの危うさを秘めており、前述の通り「何でもあり」であつた古代でさえ、その使用はベルカ・ミッド両陣営で憚られていた程の代物。

如何にベルカ最強と謳われた聖王とて、物質文明の理へ立つ以上、彼のシステムが齎す影響からは逃れようがない。生半可な攻撃では本体へ届く前に霧散してしまい、あまつさえ愚図ついていてはヒトとしての肉体そのものまでもが壊れてしまう。有効打といえ、専ら「聖王のゆりかご」等を用いた飽和同然の爆撃か、ヴィヴィオの持てる技術の全てを賭した「奥義」くらいのもの。

物理的に喪失し、或いは未成熟故に対応しきれず攻め手を欠く現状にあつては、例えば相手がその性能を十全に発揮せず、装甲表面といった局所的な展開へ留めていようと、戦局を「均衡」で押し留めるのが精一杯でしかない。

(それに、仮に攻撃が通つたとしても、あの状態じゃあ……)

そして、ヴィヴィオの攻勢を鈍らせている最大の要因は、魔導巨兵の内部へと今尚蓄積され続けている、あまりにも大きすぎるそのエネルギー量にあつた。

その様相は、さながら破裂寸前の風船が如く。

魔導巨兵へ内蔵されている高性能ジェネレーター。そこより生み出される膨大なエネルギーは、しかし何の所以か搭載された種々の兵器によって消費される事はなく、ヴィヴィオと戦い始めてより、その内部へ只管に溜めこまれ続けていた。

現在こそ高い気密性・堅牢な装甲が「蓋」となって押し留めているものの、もしそこへ孔を、巨兵の機能を停止させられるだけの一撃を通し、「蓋」をこじ開けようものならば、捌け口を見つけたエネルギーはたちまち激流と化し、辺り一帯を焦土に変えてしまおうだろう。例え四肢をもぎ取り物理的に身動きを封じた所で、そうであるが為に自爆などされてしまえば元も子もない。

確かに、今戦場となっているのはそれなりの敷地を有する自然公園の一角であり、かつ周辺の避難は既に終わってはいる。だが。想定されるエネルギー量は、そんな距離の壁など容易く乗り越えてゆく程までに膨大。

もし、もし仮に、ヴィヴィオがその命を賭して敵の破壊に成功したとしても、後に残るは束縛より解き放たれたエネルギーの暴風雨のみであり、それが甚大な被害を齎す事が日を見るよりも明らか。その選択肢は美談でも何でもない、単なる無責任な行いでしかない。だからこそ、或いはそれが幸いとなつてか、この瞬間に至るまでヴィヴィオは「思いきった手段」へ出る事は無く……それ故に、解決の糸口すら見つかからない苦境にあえぎ続けているのである。

当然、現状を維持し続ける事は次善であつても最善ではない。

そも、この膠着状態として何時までも続けられるものでもない。傾いた局面を一手でひっくり返せる、そんな都合の良いものなどある筈も無く、過ぎゆく時間と共に、ヴィイオもまた追い詰められているのである。彼女が一人で戦い続けている限り。

だが、例え「希望」そのものが転がり込んでくる事はなくとも、その「種」と成り得るものならば、手が届く程近くへある。むしろ、「希望」とは大抵がそういったものであらう。

世界を照らす光として、その始まりは小さな種火に過ぎない。それが「希望」足り得るのは、偏にそれを育む存在あつての事。——無論、彼女が、彼女達はその資格を有しているのは改めて問うまでもない。

「ヴィイオっ!!」

「えっ!」

『Warum wird sie hier gebraucht?』

唯一人だけであつた戦場<sup>ぶたい</sup>へ舞い降りたのは、主役たるヴィイオも良く知る級友の一人。しかし、その姿は教室<sup>にちじょう</sup>での可憐な女学生ではなく、翠と白の闘衣へ黒金の具足を纏いし戦装束。

「霸王」としてのアインハルト・ストラトスが、其処には立っていた。

「アインハルト……どうして此処に？」

「え？ えつと……それは、その……」

立っていたのだが、正しく「王」と形容するに相応しい佇まいに反し、ヴィヴィオを前にしたその様子は、何とも情けないものであった。

元より内へ秘める感情を表出させる事へ積極的ではない性格に加え、時間の経過と共に半ば暴走気味であった熱かんじょうが落ち着いてきた事もあるのだろう。今の彼女には、壁を越える為の一步を、最後の一步を踏み出させるものが、あと少しだけ足りていなかった。

「その……も、もう一人では、背負いこんで欲しくなかった……から……」

数瞬前までの威容は何処へやら。目線をフラフラ、手をもじもじさせる少女が辛うじて絞りだしたのは、今にも消え入りそうなその一言のみ。

「そっか……うん、ありがとう」

それでも、アインハルトが駆け付けてくれたというただそれだけであっても、深淵へ沈みかけていたヴィヴィオを引き上げるには十分過ぎる力がある。そして、返された感謝の言葉は、先の失態で気落ちしていたアインハルトにとつても救いとなり、その表情へ明るさを取り戻させる。

そんな二人の雰囲気は、「今世」における彼女達のそれにおいて最も穏やかなるものであつた。戦場にも関わらず、或いは戦場だからこそ生まれるのか。何れにせよ、そこに今尚続く危機的状況はまるで感じられない。

とはいえ、例え仲睦まじき少女二人の装いであつても、その中身は古の戦場を掛けぬけた王そのものたる二人。

意図せずか、或いは狙つての行いか。結果的に不意を突くような形で振るわれた巨人の腕はしかし、一瞥すらせず難なく躲された事で空を切つた。

先程までの和やかな空気は一瞬で切り替わり、二対四の瞳へ灯る光は、紛れもなく戦う者のそれ。加えて、その焰の熱量と色彩は先程ひとりのそれよりも遥かに熱く、鮮やかに燃え上がつていた。そこに、絶望の二文字は欠片たりとも見えない。

そうして、燃え尽きる程に熱き血潮を糧とし、「種」は目覚める。今は見えない地面の下で、少しづつ、しかし確実に根を張り、歩みを進めてゆく。

芽吹きを迎える、その瞬間ときを目指して。



「……見事なものですな。それとも、『流石』と言うべきなのでしょうか。

特別な訓練など重ねていないにも関わらず、あれ程までに息が合うとは」

遠くも無ければ近くも無いその場所より、少女達の戦場を見守る二つの影。

局所の大災害が間近にまで余波を轟かせているにも拘わらず、その髪や服には波風一つ立っていない。という点においては共通する二人ではあったが、それ以外……例えば容姿や雰囲気などに関して言えば、極端なまでに両者はいつそ対称的であった。

絹織物の様に滑らかなる真白の肌へ羽毛にも似た長髪を湛えた嫺なる人物と、力強い浅黒の肌に黒髪を持つ男性……S t. ヒルデが教師にしてヴィヴィオ達クラスの担任ミカゼⅡアクエリアと、先程アインハルトに教えを諭したジン・フドウ校長その人である。

そしてミカゼが驚嘆するは、少々遠方……彼らにとつては「眼下」で繰り広げられるその光景たまたか。織りなされるは、〃とある事情〃故常人より遥かに戦争たたかを知り、またそれに精通しているミカゼ達をして「見事」と言わしめる程のそれ。互いがその能力を生かし合う、正しく「模範的」なる連携。

確かに、未だ戦局は拮抗より傾いてはいない。だが、本来維持すら困難なそれを支えているのは、十分な装備じゆびと訓練びを重ねた管理局の大部隊などではなく、たった二人の少女。それも、未だ成長途中の身に加え、学び舎で行える程度の……本物の戦いを知る者



にとつては、あまりにも温過ぎる程度の訓練もしか重ねていない／重ねられていない女学生であるのだ。

如何にSt. ヒルデがその道の名門とはいえ、職業プロフェッショナルとする者とその卵との間では、大きな隔たりが存在している。

こと彼女達二人には「中身」に特段の事情があれども、その器は紛れもなく「今世」の常識に根差したものだ。本来、純古代製の戦闘兵器を相手取るには遙かに役不足であり、またそんな事情を差し引いたとしても、生身の魔導師二人で渡りあつてゐるという事実それ自体が、此度の相手を良く知るミカゼにとつては驚くに値する事であるのだ。

「だが、それだけでは足りないのもまた事実」

されども、今のままでは未だ足りず

それは単に、膠着状態のままではいずれ追い詰められてしまう という事だけではな  
い。確かに彼女達は優秀ではあるが、現状のそれはあくまでも「模範的」どまり。悪く  
言つてしまえば「常識」の枠へ小さく収まつてしまつてゐる、或いはその枠を脱するま  
で振り切れていない状態。

それでは足りない。彼ら導き手が真に欲している「力」を引き出せているとは言えない。  
い。

だからこそ、敢えて二人は突き放し、こうして均衡状態——防戦一方の状態であつても静観し続けているのである。

「……随分と不満そうだな。」

それほどまでに、あの二人だけに相手をさせるのは心配かな？」

とはいえ、獅子にも親心はある。まして、その過去が何であれ、彼ら二人は此処まで人間の理の中で生きてきたのだ。人間の持つ不合理さにも理解があり、或いは彼ら自身もその一端を凶らずとも有するまでに至っている。

フドウが横目で見やるは、*「共犯者」*たるミカゼⅡアクエリア。

だが、そのミカゼ当人はと言えば、常日頃決して崩す事の無いその端整な顔へと、あからさまなる「不機嫌」の色を浮かべていた。おそらくはフドウでなくとも、今のミカゼの機嫌がよろしくない事は容易に察せる事だろう。

「別に、その様な事はありません。」

私とて、今回の件は仔細まで把握し、また理解した上で承知もしています。

ただ、「教師として」可愛い生徒を危険へと晒す事に抵抗を抱いているだけの事です」  
果たして、その言葉のどちらが本心へ近きものであるのか。

彼の表情を見れば一目瞭然。問いにもならぬ返答に、思わずフドウの口元が釣り上がる。

「随分、仮初の役割へと引きずられているようだな。

今の姿を昔の君が見たら、一体どんな反応を見せてくれるのだから」

「……私はただ、今の自分に正直であるだけです」

痛い所を突かれたのであろう。態度を一変、朱が浮かんだ頬を隠すように顔を逸らすミカゼ。

そんな感情の起伏そのものが「前」と比べれば大層珍しい事ではあるのだが、流石に戯れが過ぎる自覚もあつたフドウは、言葉遊びも程々に続けてゆく。

「私とて、それは同じ事だ。

——そう、我らはただ、己が使命を全うするのみ。

最早、そうするより他に救世の……懺悔の術など残されてはいない」

ざわり 鋭い風が一陣、二人の間を翔け抜ける。

彼の言葉に先程までの軽さはなく、含まれるは何時ものそれとはまた趣の異なる——  
あたかも、フドウがその背へ負う十字架が如き重さのみ。

「では、貴方の……ジン・フドウの使命とは何ですか？」

それは「共犯者」たるミカゼにもまた同じ。そして、だからこそミカゼは問う。共に歩む者として、その「月」として。太陽が太陽たるその由縁を示す為にも。

「教え、導き、そして信じる事だ」

淀みなく、迷いなく、躊躇い無く言い切るフドウ。

その内容が、他ならぬ彼自身が先程「仮初」と称した役割きょうしにも通じているのは、決して偶然などではないだろう。

「信じる」ですか。随分と、彼女達を高く評価しているようで。

……それは、あの二人が聖王セイントキングと覇王バートの系譜を有しているからですか？

それとも、かのエース・オブ・エースの実娘と、次期霸王流正統継承者だからですか？

試みるかのようなミカゼの言葉。しかし、聞く者が聞けば、そこに非難の色が含まれていない事へ気付けるだろう。

そも、その問いかけは疑うが故のものではない。ある返答を、言葉を聞きたいが為のものであり、ある種の「信頼」の形が一つ。

そして、その「信頼」は確かに通じ合っている。だからこそ、彼は応える。その期待に、自らが積み重ねてきた「願い」に。

「否。彼女達がヴィヴィオであり、アインハルトであるが故に。

——そして、二人の王が決して二人きりではないが為に」



ヴィヴィオが退けばアインハルトが押し、アインハルトが守ればヴィヴィオが攻める。魔導<sup>ゴードレム</sup>巨兵<sup>レム</sup>が下がれば深追いはせず、しかし大技を放たんと身構えれば、すかさず二人でその芽を潰す。

撃波にこそ至ってはいないものの、圧倒的・絶望的戦力差を前に一人として膝を屈する事なく、しかし被害を拡大させる事もなく、二人は鉄の魔物相手に大立ち回りを演じて続いていた。

未熟なる少女の身体と、「製品」として既に完成された機械の軀。生物故の不安定さと、無機物故の完全さ。

一見して明らかなる戦力<sup>スペック</sup>差がそこにはあり、また本来「無限」の前では、如何に「有限」が数を揃えようとも比較にすらならない筈。だがそれでも、二人は立ち続けていた。彼女達の戦場へと。

ベルカに数ある小断の一つに、『勇者と魔王の問答』なるものが存在する。

たかが小噺 と軽んずる事なかれ。ベルカ原産のそれが様々な形・角度を以て真理を突いてきたように、彼の作品もまたヒトの世の在る姿を、在るべき姿を描き出している  
と、その筋の専門家をして言わしめる程のもの。

戦いの終局、赤き魔王——幾度となく人類全体の救済を望み、しかしその人類そのものが持つ「愚かしさ」へ絶望し、その果てに極端な選民思想へと走ってしまった在りし日の勇者——は、未だ人類全ての救いを求め奔走し、それ故に自らの前へと立ち塞がった白き勇者へ問い掛けた。

——自らの事しか考えず、弱りゆく世界へ寄生し続けるノミ同然の今の人類に救いなどあるのか

——今こそ人類は覚悟を決め、自分達の様に知恵ある一部の選ばれし者のみが天へ立ち、世界そのものへ償いをするべきではないのか と

世界の「闇」を、決して隠し通せはしないその汚点を容赦なく、嘘偽りなく問い掛ける魔王。

しかし、勇者は迷うことなく答えた。自らが信じ続ける、人間の持つ「力」を。

——確かに、人類の全てが利口な訳ではない 今の人類は、物言えぬ世界へおんぶに抱つこの赤子同然 成程、「寄生」という言い回しも尤もなのかもしれない

——だが、ヒトの叡智は自らの足で立つ術を生みだし、やがてはその壁すら乗り越え

られる。今すぐには無理であつても、意志が受け継がれた先にある未来であれば、きつと叶える事ができる

——何より、どれ程愚かしくとも、お前一人に「見限られる」程人間は弱い存在ではないと

それが真実　それが真理

罪を生むのが人間であるのなら、それを贖うのもまた人間。許しを乞うのも、その心を慈しむのも、人間を置いて他に無し。人間の世界を変えるのは、何時だつてヒト自身であるのだ。

そして、それを成すのは決して満たされることの無い、余白を残した不完全さ。支えなくしては一人立ちすらできず、しかしそんな自身もまた誰かの支えとなり得る、「断片」という在り方。

何より、「断片」は引きあう。引かれ合う。引き寄せる。

今日この日、彼女達が試練と出会つた様に。転生を果たした二人の王が、同じ学び舎の下で再会したように。そして、「太陽」たる聖王セイゲブレヒトの少女と、「月」たる霸王イソングツアルトの少年。双極に位置する二人の王が、古のベルカにおいて巡り合えたように。

運命の引力は、確かに存在する。この世の全ては必然であり、必ず意味の有る事象コトガラ。今日立ちはだかる壁にも、乗り越えた先には未来がある。

それが個々人の紡いできた縁に依るものなのか、超越者が敷いた脚本であるのかは判らない。

だが、その由縁が何であれ、少女達は引き寄せる。王としての、人としての引力を以て集めるのである。絶望へ染まる運命すらを覆す「絆」を。

「一筆入魂！」

『Kugelschreiber!』

惹き合う波紋の第一陣、横合いより放たれた第三者による一撃。それ自体の威力はネオ・ベルカニウム合金製装甲の前では無いにも等しく、鉄の肌へ擦り傷一つ付けられない程度のももの。

けれども、突如として現れた新しい敵性反応に、そして「居る筈の無い人物」の存在により、一時であつても戦いの手は止まる。

論ずるまでも無く、戦いの最中に足を止めるなど愚策中の愚策。偶々今回は敵もまた動きを止めたとはいえ、彼女達程の実力者同士の戦いであれば、その一時で容易に勝敗など決してしまう。「一時」には、本来それだけの重みがあるのだ。

尤も、今回のそれは「そうなるだけの理由」があつたと言えなくもない。繰り返しにはなるが、現れたのは正しく「居る筈の無い人物」であつただから。



「い、委員長!? どうしてこんな所に……」

「この期に及んで「どうして?」とは……全く、やれやれですわね」

果たして、そう零したのはどちらであつたのか。思わず、少女の口より驚きの台詞が漏れた。

睨め付けるかのように値踏みをする巨兵の視線にも物怖じする事なく、排煙をたなびかせながら愛槍のカートリッジ・マガジンを取り換えるは、ヴィヴィオ達の属するクラスの委員長。旅行の日程においては別の班であり、それ故に本来であれば今日この時間この場所にはいない筈の人物。ベルカ系の家柄でこそあるものの、しかし古代の因縁とは一切関係の無い、極々普通の「一般人」である筈の少女。

「戦うべき理由」「守るべき存在」

二人にとって、彼女は、彼女達の存在とはそういった認識であり、またそうであるが為に、この場には……血と暴力で満たされた戦場にはいる筈の無い存在。だからこそその驚き。

しかし、委員長と呼ばれたその少女は、そんな「常識」を——古代の王達にあつてはコーラを飲んだ後のゲップよりも当たり前である——事を、さもつまらない事であるかのように一蹴する。

「確かに、先程の『ご挨拶』は聊か品性に欠けるものであったかもしれませんがね。」

「ですが、これでも私わたくし、友の窮地を捨て置く程に冷血ではありませんの」

「で、でも！」

「だからってそんな無謀な事を、態々委員長自身がしなくても……」

「ともすれば侮辱とも取られかねない発言ではあるが、勿論そのつもりは毛頭なく、唯「傷ついてほしくない」という真心故の言葉。その本心が、相応の付き合いある間柄で伝わらない筈も無し。」

「……確かに、貴女達お二人の力と比べれば、私のそれなど所詮は豆鉄砲。」

「そんな私がアレに盾突くなど、「無謀」と称されて然るべき愚行なのでしょうね。」

「実際、少なからずこの状況に恐怖心を抱いてはいます」

「だったら……」

「ですが」

「ですが、それは断じて足を止める理由にはなりませんわ。」

「今この胸にある『恐怖』は、言わば「人間の証」。」

「乗り越えるべき感情しれんにして、誇るべき『勇氣』を成す一端。」

「確かに見目は悪いかもしれませんが、決して卑下するようなモノではありませんわ。」

このフランチェスカ・A・ツエペリ、蚤風情ノミとは訳が違くてよ！」  
 されども、退かず

ヴィヴィオとアインハルトが魔導巨兵ゴレムを相手に退かなかつた様に、委員長——フランチェスカもまた、二人の王の前に一步たりとも謙りはしない。その迫力たるや、聖王と霸王をして沈黙させる程のもの。

が、流石にフランチェスカも熱くなりすぎていた自覚はあつたらしい。誤魔化す様に咳払いを一つ置き、何時も通りの落ち着いた微笑みと共に、穏やかなる調子で「友人」へと言葉を足した。

「……コホン。」

それに、不甲斐ない「お節介焼き」は、何も私だけではありませんのよ」

その言葉で、二人は漸く気付いた。そこに立っていたのが、委員長フランチェスカ一人では無い事を。

「全く。二人ばかりで盛り上がっちゃって、ずるいっしょよ！」

「ホント、二人とも水臭いにゃ〜」

「あらあら、それとももしかして、かえつてお邪魔だったかしら？」

「何でフローレンス姉貴の台詞から仄かに「お花の香り」がするんですかねえ……」

「聞かれなくたって名乗ってやる！ 私はお節介焼きのスピードワゴン！<sup>アタシ</sup>

S・W財団現当主の養女<sup>ひとりむすめ</sup>にして、次代の「スピードワゴン」たる

レベッカ・F・O・スピードワゴンだ！」

「マジで!? レベッカって、あのスピードワゴン家の人間だったの？」

どおりで喧し……解説が上手い筈だ」

並び立つその人影の正体は、こんな場においても尚賑やかなる、愛すべき<sup>おせっかい</sup>クラスメイト達。平時と違うのは、和気藹々としつつも、その身形が「完全武装」である点のみ。

「何故」「どうして」

言葉にせずとも顔に浮かぶ二人の疑問へ答えたのは、同じく級友にして、その黒縁眼鏡が示す通りのインドア派——およそ「こういう事」とは縁遠<sup>キヤラ</sup>そうな人物。

人差し指で眼鏡を押し上げる という何とも絵になる所作と共に、それ自体さえ当然の事であるかのように、サラリと言つてのけた。

「委員長の焼き増しにはなりますが、友人の為に立つ事に、何か特別な<sup>りゆう</sup>理屈が必要ですか？」

「恐らく、他の面々ならまだしも、私までもが居る事に少なからず疑問を持っている事でしょう。」

ですが、前衛ガードウイングに前衛の仕事があるように、後衛フルバックにも後衛の務めがあります。

こんな私にもできる事があり、成すべき事があります。

……少なくとも、私の目の黒い間には、重症者など一人たりとも出すつもりはありません。

そう、世界一たるベルカの医学薬学の名に掛けて」

彼かの瞳の奥で燃えるは、確かなる「戦士」としての意志。そこに、前衛・後衛といった区別など存在しない。それは、他の面々にしても同じ事。一見して緊張感に欠けるように思えても、その胸には確りと「自らの出来る事／すべき事」が刻み込まれている。そして、のできる事が何であろうと、少女達が抱く「目的」は只の一つのみ。

「納得して戴けたかしら?」

例え私一人では弱くとも、こんなにも心強い味方ともがいるのですわ」

カートリッジの装填を終えたフランチェスカは、何処か誇らしげに——事実、誇つて然るべきもの——そう言葉を繋げた。

「……とはいえ、流石に私達だけでアレを降せるとは思つてはいませんわ。

如何に私とて、そこまで自惚れるつもりはありませんし、

どれ程高揚しようと、その程度の冷静さは持ち合わせているつもりです」

「ですが、「勝つ」為の道筋であれば幾らでもありますわ。二度目にはなりません、

私達は決して私達だけではありませんもの。

尤も、それは貴女方も同じ事ではありませんけれどもね。

……ですから、一足先にお待ちしておりますわよ」

その言葉を合図とし、少女達は自らの戦場へと駆けだした。

ある者は魔導技術の象徴たる杖を、またある者は槍や剣といった直接的な形を持つ各々の武器を手に、ベルカーミッドチルダの枠組みに囚われず、しかし唯一つ同じ志の下に集う小さな戦士達。

「本当に……こんなにも強かったんだね、皆は」

そんな光景を見て、王である／＼王であった少女は、思わずそう呟いた。

決して優勢という訳ではない。戦況だけをみれば、むしろ二人だけで戦っていた時よりその旗色は遥かに悪くなっているだろう。今はただ、その奇跡的な綱渡りの連続を、分母の多さで何とか繋いでいるだけに過ぎない。

しかし同時に、それは「王」たる二人が有さなかつたものでもあつた。

自らの「弱さ」を知り、認め、その上で誰かの助けを求める。そして、自身が誰かに支えられているように、自らもまた他者の弱さを理解し、受け入れ、支える。

誰よりも強く、それ故誰よりも孤独であつた王には最期まで成しえなかつた事を、度

胸も、力も、覚悟の一つも抱いていない少女達が——否、“だからこそ”成している。成し得ているのだ。

本当の強さとは、世界を穿つ光の槍でも、雷を追い越す翼でも、天地を支配する理でもない。

自らの欠落よわさを認め、しかし決してそれから目を背けず、そんな背中を他者へと預けられる事。他者を「信じる」事。それこそが真の強さ。それこそが、人間の持つ最も尊い輝きたる「勇氣」。

「……………」

誰よりも強かった——そう在らねばと願ひ続けていた少女は、ふと過去うしろを振り返つてみた。

確かに、彼女は強かったのかもしれない。事実、その拳の前に打ち砕けないものは存在せず、迷いと躊躇い、そして一つの感情故に膝を屈した最後の戦いの他、黒星は一つと刻まれてはいない。

けれども、その「強さ」とは、本当に彼女一人だけのものであつたのだろうか。

あつた筈だ。悔しさと不甲斐なさに涙し、顔を腫らしてまで教えを乞うた時が。厳しい修練の全てが苦痛に思え、誰かの胸へ泣きついた時が。そして、その拳こぶしによつて守りたいと思えたモノが。

その力も、思いも、決して一人のみで生み出されたのではなく、また彼女が持つ力とは、そうでなければ生まれ得ぬものでもある。当然だろう。ヒトが人である限り、王でも民でも、己一人だけでこの世へ生まれ出でる事など無いのだから。

「……………」

以前の彼女であれば、自然の道理を否定こそせずとも、絶対の自信を持っていた「力」が、他者の支えを要するものである事など、頑なに認めようとはしなかったかもしれない。愚かしい程までに「強さ」のみを求めていた霸王は、そんな「弱さ」など、歯牙にもかけなかった事だろう。

しかし、もう心配も不要。今やその心は、驚く程までに澄み切った、まさしく明鏡止水の如し。如何なるしがらみも迷いをも超越し、ただ只管に、どこまでも純粹に、その心を曝け出せる。

「……………どうかしたの?」

嗚呼、そして何よりも。黙り込む彼女<sup>アインハルト</sup>を心配してであろう覗きこまれた視線と絡み合えば、少女を束縛していた鎖など藁にも同然。小難しい理屈など一纏めに吹き飛び、その思考は一色へ染まってゆく。

気付けば、衝動的にその手を取っていた。



アインハルト自身ですら、自らの大胆な行いに内心驚いていたのだ。常日頃の彼女を客観的に見てきた級友達達の驚きは一入のものであるろう。

味方も、そして敵でさえも。戦いの渦中である事さえ忘れ、唯一人の少女へと視線を集める。

各々の抱く思惑思考が何であれ、不特定多数の注目を一身に浴びている事に変わりは無い。平時のアインハルトであれば、ただそれだけで委縮し、口を閉ざしてしまつていたのかもしれない。

そう、以前の彼女であれば。

もう迷わない 迷いはしない

自らの罪と向き合う時間はもうお終い。それを数えるだけであれば、亡霊にでもできる。しかし、彼女は決して魂なき亡者などではなく、輝ける「翼」を携えし人間。生命あるモノ。

友より受け取った「勇氣」を纏い、アインハルト・ストラトスは今、羽ばたく。

今度は、彼女から手を伸ばす為に。もう二度と、その手を離さない為に。

「……憶えてる？ ずっと昔、初めて私達が出会った時のこと」

それは 現代と古代で起きた一つの出会い

戦いしか知らず、右も左も判らなかつた獣に、白黒などではない、七色に輝く世界を

教えてくれた人がいた。固く握りしめていた拳を解きほぐし、優しい温もりで包み込んでくれた女性ひとがいた。

誰よりも優しく、しかし如何なる苦境においても決して挫けぬ「不屈の心」。

終わりになき戦乱へ誰もが疲れ果てても尚、平和を、人々の安息と幸福を求めてやまぬその姿が、彼かのじよには何よりも眩しく、輝いて見えた。そう、荒れ果てた戦場へと咲く、一輪の花の様に。

「でも、貴女は何時だって、自分一人ですべてを抱え込もうとしてた。

……まあ、それは私も同じかもしれないけどね」

しかし、例えばどれ程深く根を張り、逆風に耐え、逞しく咲き誇ろうと、一輪だけでは叶わぬ事もある。限界がある。

世界の全てを一人で受け止めようとすれば、その重責に耐えられなくなった茎が折れてしまうのは自明の理。元より、独りきりで支えられる程、世界とは軽くはないのだから。

そして、一度折れてしまったその花は、無慈悲な行進に踏み荒らされ、砲火と爆撃へ晒され、やがて欠片一つ残す事無く消えてしまう。忘れ去られてしまう。そうなつてからでは、全てが遅い。

——ならば、自分が支えれば良い。彼女が皆を守るのなら、自分が彼女を守ればよい

それでも、或いはそれ故に。守りたいと感じた。愛おしいと思った。

王の責務でも、戦友としての矜持でも無い。クラウス・イングヴァルトとして、アインハルト・ストラトスとして、心の底から彼女を「守りたい」と欲したのだ。その笑顔、心を、全てを。

けれども、ただ「守られる」だけの存在など、彼女は受け入れはしなかつただろう。受け入れなどしないだろう。

アインハルト同様「王」であり、また誰よりも強者であつた彼女は、自身の為に誰かが傷つく事を決して好しとはしない。他ならぬアインハルト自身がそうであるのだ。言葉足らずとも思いを通わせ合えていた彼女が、そう考えぬ筈もなし。

だからこそ 守りたい

正面まえでも背中うしろでも、上でも下でも無い。その隣へと立ち、そんな自らさえ守らんとする彼女を守り抜く。王たる彼女に支えられ、そんな彼女を支える王となる。

剣を持たねば、お前を守れない と王は言った

剣を持てば、お前を抱きしめられない と戦士は言った

ならば自分は共に立とう。剣を持つ君その右手へ、僕の左手を重ねよう。

それが、王であり戦士であり、一人の人間であるアインハルトハルトの得た、唯一無二なる

こたえ  
解答。

「ヴィヴィオ、あのね……」

そこで深呼吸と共に一区切り。如何に気合を入れて臨んでいるとはいえ、(諸々の要因が重なった事もあるが) “前世”において終ぞ果たせなかった「大事」を成さんとしているのだ。肩に力が入るのも当然。

また、彼女を取り巻く静寂も、その緊張をより一層加速させている要因でもあった。ヴィヴィオの手をとって語り始めてより、それまでの爆音鳴りやまぬ喧騒がまるで幻であったかのように、辺り一帯は静まり返っていた。一言一句を余すことなく響かせるその環境は、友人や魔導巨兵はおろか、天地自然の全てまでもがその一挙一動へ注目しているようにも感じられたのだ。

唯でさえそうだった事には初うぶで奥手な二人。不得手なる好奇の視線を十重二十重と浴びせかけられれば、茹で上がった拳句機能不全を起こしてしまう事さえあり得ない話では無い。

稚拙な恥じらいと侮る事なかれ。仔細こそ異なりはするが、前世むかしにおいて二人の関係が有耶無耶となつてしまったのは、そんな「つまらない」理由に依るものであり、またそれが世代をも越えて悔恨を残す原因となつたのだ。

戦うことしか知らなかった者達が抱いた淡い感情が、戦いしか知らなかった故に臆病

となつてしまつたその想いが、拒絶される事を恐れ、その心を覆う蓋となつてしまつた。戦乱の世が生み出せし、細やかなるも大きな悲劇。どうして侮れよう。

「私は……」

しかし、集まる視線も、臆病なる自身こころも、覚悟を決めたアインハルトにあつては何ら障害ではない。今の彼女にとって、最早恐怖足り得ない。

なればこそ、その胸へ抱く原初の衝動を、真実の誓いを果たす時。

もう二度と後悔を生まない為にも、今度こそ、世界で一番大切なヒトと向き合う為にも。

「私は、アインハルト・ストラトスは……貴女の事が、好きです。

何度生まれ変わろうと、どれ程の時間を、世界を越えようと、

この気持ちだけは絶対に変わらないって誓える、本当のものです。

一万と二千年前から、貴女の事を……ずっとずっと、愛しています。

大好きです!!」

紡がれるその言葉に、世界さえ震える。

成されたのは、一世一代の告白プロポーズ。放たれるは、世界を越えて届く愛の囁き。

今この場では彼女が、彼女達だけが主役。二人のの前にあつては、如何なる神秘も奇跡も、一介の舞台演出へと成り下がる。それだけの価値があるのだ。

そよぐ風も、揺れる草木も。その全てが息を呑み、ヒトも機械も分け隔てなく聴衆と化す。その成り行きを見守る。

さりとて聴衆もまた人間であり、舞台を構成する齒車<sup>ピース</sup>の一つ。最高の演目へ自然と万感の喝采が贈られる様に、元來聴衆とは沈黙を貫くだけの存在に非ず。

まして、今この場におけるその大半は恋に恋する乙女達。眼前にて成されたその一大事を前に、ある者は頬を紅潮させ、またある者は何処からともなくカメラを取り出す等々、さながら化学反応の様に、ざわめきは瞬く間に広がってゆく。

「静粛に」

しかし、破裂寸前にまで膨れ上がったそれを、やんわりと押し留めた人物がいた。最早驚きも湧かないであろうが、勿論それは、何時の間にやら現れたフドウ校長その人である。

「湧き上がる気持ちは判るが……早まるな、若人よ。」

人は、万物は。決して一つのみで成り立つものに非ず。

それは、我々の身体を織り成す遺伝子にまで刻み込まれし世界の真理だ。

一つと交わらず、しかし同方向を向く二つの線が重なり、二重<sup>ふたえ</sup>の螺旋を描きだす。

そうして初めて、人はヒトとなる。二本の足で大地に立てる。

……故に、今暫くは御静聴願おう。彼女の「お返事」を聞く為にも、な」

未だ手に持つ一輪の白い花——しかし先程とは異なり満開の花を付けたそれ——を遊びつつ、年頃真つ盛りな少女達へ諭すかのように言葉を掛けてゆく。

相も変わらず小難しい言い回しながらも不思議と説得力のある教えを受け、聴衆は再び耳を傾ける。次に注目が集まるのは、言わずもがな一世一代の告白を受けたる聖王の少女。

「……………よ……………」

その「もう一人の主演」ヴィヴィオは、告白を受けてより今の今まで沈黙を貫き続けてきた。が、ここにきて始めて何かを呟いた。

例えそれ自体が聞き取れずとも、「返事」が来たという事それだけで、期待と怯えとが緋い交ぜとなつているアインハルトの背筋には、自ずと緊張が走る。

俯き続けるヴィヴィオの表情は窺えない。

唯でさえ、溜まっていたものを吐き出し敏感となつている身。アインハルト自身もまた思春期真つ只中にある以上、どれ程些細な反応であつても、否応無しに大きな刺激と受け止めてしまう。

と、その頬を一筋の光が伝い落ちた。これにはアインハルトの心臓も破裂寸前、シヨックによる停止待ったなし。見守る周囲にも、思わず緊張が走る。

「……遅すぎるよ、もう。」

その言葉を、私がどれだけ待っていたと……」

しかしその心配は、結果的には落差分の加算となり喜びへと彩りを添える事となった。

顔を上げたヴィヴィオの表情に憂いはなく、零れ落ちた涙が湛えるは、唯只管に喜び一色。それを見れば、如何に鈍感であつても「お返事」の内容がどの様なものであるかは容易に察せよう。

「えっと、それはその……ご、ごめん」

「ふふ。でも、そういう所もあなたらしいよね」

最大の懸念が払拭された為か、思わずその雰囲気や和らぐ。アインハルトの緊張も解れ、忘れていた羞恥心に頬を染める程の余裕さえ生まれた。そんな二人の姿からは、嘗てあつた「壁」の存在など微塵も感じられないだろう。

無論、だからとてこのまま本懐をなあなあに済ませてしまう事など以ての外であるし、そんなつもりも毛頭ない。そも、アインハルト同様、ヴィヴィオにもまた押し殺し



ていた感情がある。埋めるべき欠落があるのだ。二人の違いはただ、先陣を切るか、命一杯のお返しをするのかのみ。

聖王としてでも、ベルカの母としてでもない、一人の乙女にんげんとして、ヴィヴィオオリヴィエもまた、己が衝動を解き放つ。その想いをカタチとし、差し出された手を確りと握り締める。すれ違い続けていた二人の縁を固く結びつける。

どこまでもどこまでも。羽解とかす灼熱の下まで昇ろうとも、決して解ほどけぬように。

「私も、あなたの事が好きです。愛しています。

一万と二千年前から。そして、一億と二千年経つても。」



瞬間、待っていたとばかりに湧き上がる歓声。ここぞと咲き乱れる白百合の花。その全てはただ、今この時この瞬間を、一万と二千年の歳月が果てに実を結んだ果実を祝福する為に。

それは、愛の囁きであると同時に一人では何もできない「不完全さ」を認めた証でも

ある。

その生を共にする相手を、補ってくれる存在もを欲するとは、即ち一人では「完全」となれないが為に生まれる欲求。全てをただの一人で賄いきれる「究極アルティミット」であれば、そもそもそんな欲求もが生じ得ない。必要とせず、また必要でないのだから、生まれようがない。

伴侶を、次代への架け橋を求めるとは、紐解けば己一人では出来ない事を後へ遺す為であり、その「不完全さ」の何よりの証明でもあるのだ。

しかし同時に、全てを独りでできてしまう「究極」では、そうであるが故に決して手の届かないものがある。

それは、不完全で、未完成で、何処までも満たされないが故に得られる権利。狂おしい程までに欲し、醜くも懸命にもがき、前へ進み続ける事により始めて生まれる至宝。生命あるものの尊かがやきさ。

「な、何じやこりやあ！

桃色空間……もとい、あの二人からとんでもない量の魔力が放出されとるがな！」

「それに、あの魔力光は間違はなく、聖王家の血筋のみが有していたという虹色……  
カイズェル、ファルベ  
聖王の虹」

手を取り合う二人から、輝ける者達から湧き上がる生命の奔流。

純粋なるエネルギーでありながら、唯在るだけで物理的影響さえ及ぼすそれは、全ての「色」の原点にして、束ねられし色それらが行き着く頂点。無色無貌なる世界へ「色」を映す、始まりの光。

「……まあ細かい事はさておき、聖王と縁があるっぽいヴィヴィオはまだわかる。

けど、何で「霸王」の縁者である筈のアインハルトまで!?

というか、血縁がどうであれ二人共魔力光は違う色の筈っしょ!?

「や、あれはなんつーかむしろ、二人の魔力やっが混ざって発色してるようにも見えるにや」

「いやいやいや、絵具じやあらへんし。

魔力光が混ざったからゆーて、色そのものが変わりはせんでしょ。

しかも、よりにもよって特別スペシャル中の特別スペシャルな虹色になるとかあり得へん」

「——いや待て。もしかしたら私達は、とんでもない思い違いをしていたのかもしれない。

い。

そう、『逆に考える』んだ。

現実の虹に則するのなら、複数の魔力光が混ざった結果「七色」が出てるんじゃないやあな

い。

そもそも今ある魔力光の色それぞれが、「大元の一つ」から別れた結果なのでは

……」

嘗ては「王」の、選ばれし者の血筋あかしとされたその色は、しかし真実として限られた存在のみが有するものではなく、誰しもが辿り着き得る権利を有するもの。

「——その通りだ、聡明なる生徒諸君」

「げえ、校長！」

……つて、それ本当ですか!?!」

それも必然。何故ならそれは老若男女貴賤強弱、およそあらゆる要素の全てによって成り立つものであり、その全てへと成り得る種。 “無限” を秘めし概念——「可能性」の化身。

「嘗て、ベルカもミッドチルダも無い時代……そう、魔導文明の欠片も存在せず、それ故に

天地全てに神秘が宿っていた時代において、その「神秘」を手にした者が現れた」

何時何処で、何故その「1」が生じたのか。それらは何一つ明らかとなつてはいない。

けれども、そこから始まった足跡は確かにある。姿を変え形を変え、細切れに別たれようとも、その遺伝子の奥深くへ根付き、決して絶える事なく、その「灯」は現在まで受け継がれてきた。

「森羅万象と心を通わせ、神秘の力を行使し、超常なる “奇跡” を具現化させる存在

——始まりの魔導師。

人々はその姿に、圧倒的なる力に。怖れと畏れ、恐怖と畏怖を抱き……

……同時に、世界を覆っていた蓋へ孔を開けうる「希望」を見出した」

確かに、持つ者／持たざる者の差はあるだろう。

だが、極論それらは些細なる差異でしかない。前に立つか後より追うかの違いだけ

で、目指す場所に、行き着く地に変わりなど無い。

それは、一番初めの「奇跡」が「砲」でも「結界」でも無かった事が何よりの証だろ

う。そして、そうであるが故に彼の名は生まれたのだから。

全ての「色」の源にして、降り注ぐ原初の光そのものたる姿。

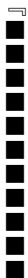
世界を、命を、未来を照らす標。ヒトが地に生まれ落ちた時より以来、求めてやまな

かった夢を——果て無き大空への飛翔を現実とする存在

「大いなる世界へ羽ばたく一対の希望。可能性の力。

ヒトは彼の存在を、自然とこう呼んだという。

——そう、『太陽の翼』と！



まるで顕現した「虹」に触発されたかのように、突如として沈黙を保ち続いていた魔導<sup>ゴイ</sup>巨兵<sup>レム</sup>が雄叫びを一声。再び暴れ始めた。

それまでの、ある意味では統制された戦闘行動とは正反対のがむしやらさ——さながら、忌避するものを眼前へ突き付けられた子どもの痲癩が如く、周囲一辺へと破壊をばらまいてゆく。

「うわっふ！……つて、ミカゼ先生！」

「危ない所でしたね。」

皆さんお怪我は……いえ、多少のものは「勲章」としておきましょうか」

とはいえ、その性質が痲癩と同程度のものであったとしても、秘められた力は幼子のそれとは訳<sup>レ</sup>が違<sup>ル</sup>う。さながらスーパースセルの様に、土も草木も、更には複雑に絡み合っていたバインドでさえも、取りついていた生徒達諸共力任せに吹き飛ばしてゆく。

幸いにして、生徒達は皆駆け付けたミカゼにより全員救助されはした。が、それさえ刹那の差によるもの。現状はそれだけ危機的な状況下にあった。

が、溢れ出た力が彷徨っていたのも数瞬。その「暴走」は、直に明確な指向性を有した「暴力」となり、その矛先を最も危険度の高い存在——虹色の魔力迸らせる二人の少女へと向けた。

両の足に加え収められていた補脚をも大地へ突き刺し、あたかも腕を砲身<sup>レール</sup>へと見立て

るかの様にして、その身そのものを一つの砲台と化す。

人型の強みにして彼の武器でもあつた運動性・汎用性を犠牲にしてまで魔導巨兵が取つたその選択肢が、生半可である筈も無し。瞬く間に圧縮・充填されてゆくエネルギーの量は最新鋭次元航行艦へ搭載される兵器もかくやのものであり、また単なる量のみならず、「告死蝶」の特性さえ受け継ぐそれはまさしく終末の光。如何に「王」とて、受けてしまえば只では済まされないだろう。

まして、今の二人は未成熟である上、一方はその代名詞でもある「鎧」すらない状態であるのだ。その戦力差など態々比べるまでもなく、また歴戦の勇士の記憶を有する二人がそれを解せぬ筈もなし。

しかし、少女達は一步たりとも退く事は無く、剩その「滅び」へと真正面から向き合つた。

それは、彼女がベルカの太陽たる聖王だからでも、それを影より見守る月——霸王だからでも無い。二人を突き動かしているのは、「王」である以前の、人としての衝動。生まれたままの姿より備える、決して押し留める事などできない想い。

確かに、唯<sup>勝</sup>独り<sup>利</sup>軀<sup>者</sup>の山で嘆く王では不可能かもしれない。だが、二人なら。一人では不完全なるケモノにして、しかし他者の欠落を補える者達が寄りそい合つたのであれば、その壁を乗り越えられる。運命という名の闇夜を払い、希望を照らしだす朝日<sup>あした</sup>を導

く事ができる。

「過去は過去。現実いまは現実。神話は神話。

なればこそ、その先にある未来ベージを綴つづってゆくのは、今いまを生なきる人間達。

——さあ、少女達よ。今こそ、無限にして雄大なるこの世界キャンパスへと刻み込め。

君達の、君達による、君達だけの、新たな神話マイソロジーを!!」

放たれる砲撃。迫りくる絶対なる死おわり。如何なる計算に基づいても逃れられぬ敗北を

刻まんとする一差し。

それでも、二人の手は離れない。否、例え何人たりとも、その縁を離せはしない。

彼女達は誓ったから。何時如何なる時であっても傍らにあると。立ちほだかる苦難へ共に向き合い、共に闘うと。

「二人のこの拳てが!」

「光ひかりって喰くる!」

——それは、終焉おわりにして開闢はじまり。創世にして創星。天地自然、森羅万象の息吹を束ねし

不敗の拳

「未来しあわせを掴つかめと!」



「轟き叫ぶ！」

月と太陽。 カイザーアーツ マスターベルカ 霸王流と聖王流。

決して一つと交わらず、しかしどこまでも互いを追い求め合わずにはいられない無限らせんが描き出す愛のキセキ。永遠なる集大成神話。

「石破！」「天驚！」

「無限拳ええええええええん!!」

愛の法陣より放たれし光条。重なりあい一つの「拳」と化したそれは、攻略不能である筈の破滅ほうげきを真正面からかき消し、魔導巨兵を捉え、しかしそのまま高く高く……空を越え、成層圏を貫き、重力さえも振り切つて、遂には遥か上空、惑星ミッドチルダを周回している衛星の一つへその巨体を叩きつけた。

その身に蓄えられてきた破壊も怨嗟も、絶望を吐き出す間すら与えず、しかし幻などではなく確かに世界へ焼きつけられたその刹那。後に残るは、地表からでも見て取れる程に明確なる月面の笑窪と、夕暮れ刻の天を立ち上る虹の残光のみ。

「……………、何今の。いや確かに凄い事は凄いなんだけど……………」

……………レベッカ、解説プリーズ！」

「スマン。この解説王たる私にも、何が起きたのかさっぱり判らん。

古今東西の格闘技へ精通している自負のある私にも、あんなデタラメなのは……………」

「むう、まさか今のが噂に聞く、新たなベルカ奥義誕生の瞬間なのでは？」

「そ、それは本当か、ライデン!？」

絶景と言う他無い空模様にも、その「奇跡」を目の前に、未だ興奮冷めやらぬ姦しき少女達。

払われた暗雲の合間を埋めるかのように、幾分か趣が変わってしまった公園へと賑やかさが戻ってゆく。先程まで戦場であった事が嘘のような「日常」が、其処にはあった。けれども、そんな生徒たちの気質を以てしても、万人の心を捉えて離さない光景であっても、今の彼女達の世界へは割り込めはしない。遠き日の戒めより解き放たれた少女二人の瞳に映るのは、七色の軌跡ではなく出会えた奇跡。今日の前に在る、その胸の内に居る、最愛の君唯一人。

やがて、降りる帳と煌めく流星の下、二つの影は一つと重なり合った。

『Alle zwei von ihnen machen es froh』

△  
△

【絶望的に】娘が連れてきた彼女が土下座を始めた件〔それは綺麗さ〕

2 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 21 : 06 ID : n  
— m l s o x 3

どうい……ことだ……

4 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 22 : 11 ID : r

— g a y | s l

まるで意味が判らんぞ！

7 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 23 : 55 ID : J

0 g n J o t k

>>>1は何か心当たりとか無いの？

10 : 1 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 26 : 01 ID : T | 8 u k @ l n

昔一時期女友達と同棲（実質ルームシェアに近い）してた時があったけど

結婚してからは普通に旦那と暮らしてたから悪影響を与えた覚えはない筈  
後強いて言うなら二人ともベルカ系資質持つてるぐらいかな？

12 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 28 : 13 ID :  
f1@good

>>後強いて言うなら二人ともベルカ系資質持つてるぐらいかな？

それだ！

13 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 28 : 55 ID :

sy@|tyo|3

またベルカか

14 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 30 : 05 ID :

mzhs|kor

安定のベルカ

16 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 32 : 22 ID :

bon|ko2u

どうせベルカなんだろうなあと思ったらやっぱりベルカだったでござる

19 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 33 : 45 ID : h

trknet

遺伝子レベルでフリーダムさが刻み込まれてるとか流石である

20 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 34 : 47 ID :

gr@cl@s

なんでや！ ベルカだつてええ所あるんやで！

22 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 36 : 08 ID :

/|0n|0u

平均胸囲はベルカ系の方が高いらしいしな

25 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 39 : 02 ID :

8|r0li|8

>>22

そらまあ「胸囲」ですから

27 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 40 : 40 ID :

lnlk0|dg

すまないがホモは (ry

30 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 42 : 08 ID :

fl@g|o|d

いやしかし実際乙ばいデカイのも多いぞ

航空隊のSさんとか医務局のSさんとか

32 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 42 : 58 ID :

b o n | k o 2 u

>>>30

どっちもSじゃねーか

35 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 44 : 02 ID :

g r @ c l @ s

航空隊の方は凛々しい性格とは裏腹に隠れMという専らの噂だが実際どうなの

か

36 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 44 : 03 ID :

l n l k 0 | d g

いやNだろ

37 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 44 : 04 ID :

/ | 0 n | | 0 u

N・E・E・Tの頭文字ですネ判ります

38 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 45 : 14 ID :

h t r k n e e t

あの人はデスクワークが少しばかり不得手なだけやし（震え声）

39：第774管理外世界駐在員：93／9／18（水） 15：45：15 ID：

8 | r o l l i | 8

>>38

本人乙

45：第774管理外世界駐在員：93／9／18（水） 15：48：12 ID：

m z h s | k o r

で、結局>>1の娘さんの彼女さんがしでかしたのはなんだったの？

47：第774管理外世界駐在員：93／9／18（水） 15：49：30 ID：

r | g a y | s l

普通にDOGGEZAじゃないの？

48：第774管理外世界駐在員：93／9／18（水） 15：50：13 ID：

J o g n J o t k

態々スレ立てるぐらいだし並々ならぬDOGGEZAだったんだろ

51：1：93／9／18（水） 15：52：39 ID：T | 8 u k @ I n

何が普通の土下座なのかは判らないが、大まかに説明すると

1. 娘を伴い部屋へ入ってくる（何故か完全武装）

2. よく判らん気迫と共に天井を突き破って飛翔（2階のマイルームをふっ飛ばしてっつた）

3. 空中でキャストオフ（装甲部分だけだけど）

4. 凄いい勢いで落下（余波で屋根が崩壊した）

5. 土下座姿勢で着地 ↑今ココ

とりあえず後で諸々の修理代はきっちり請求しとくわ

向こうさんはお嬢様らしいが公務員共働き一般家庭なめんな

5 2 : 第 7 7 4 管理外世界駐在員 : 9 3 / 9 / 1 8 (水) 1 5 : 5 4 : 0 7 I D :

g r @ c l @ s

酷え w w w w w

5 3 : 第 7 7 4 管理外世界駐在員 : 9 3 / 9 / 1 8 (水) 1 5 : 5 4 : 4 4 I D :

m z h s | k 0 r

とりあえず空回りしてる事は判った

5 5 : 第 7 7 4 管理外世界駐在員 : 9 3 / 9 / 1 8 (水) 1 5 : 5 6 : 4 1 I D :

f l @ g o o d

3. 空中でキャストオフ（装甲部分だけだけど）

何故装甲 “だけ” なのか



56 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 56 : 50 ID :  
n | m | s | 0 | x | 3

>>> 55 通報した

58 : 55 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 57 : 51 ID : f | l | @ | g | o | d

残念だが俺が管理局員だ

59 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 58 : 00 ID :

h | t | r | k | n | e | e | t

>>> 58

後でちよつと執務室まで面かせ

60 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 58 : 36 ID :

g | r | @ | c | l | @ | s

オイオイオイ

クビだわアイツ

61 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 15 : 59 : 16 ID :

s | y | @ | | t | y | 0 | | 3

ロリコン死すべし 慈悲はない

62 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 01 : 01 ID :

r | g a y | s l

こうしてまた一つ犯罪の芽が摘まれましたとき

65 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 03 : 11 ID :

b o n | k o u

それで結局嫁(婿?) 候補がしでかしたのはなんなのか

66 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 04 : 04 ID :

8 | r o l l i | 8

&gt;&gt;51

この技……まさか平身低頭覇か!?

67 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 04 : 16 ID :

/ | 0 n | / | 0 u

知っているのか&gt;&gt;66!!

68 : 第774 管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 04 : 31 ID :

8 | r o l l i | 8

うむ!

平身低頭覇(へいしんていとうは)……古代ベルカ、戦乱の時代において、

後に「霸王」と称されるシュトウラの名門貴族・イングヴァルト家が時の長子

アマデウス(Amadeus) Inward)により編み出された秘奥の業。  
流された血により綴られてきたと言つても過言ではない古代ベルカの歴史を少  
しでも……

「ページが省略されました。続きを読む場合は此処をクリック」

69 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 05 : 00 ID :

lnlk0|dg

※ここまで様式美

70 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 05 : 44 ID :

sy@|ty0|3

>>>68

クソ長いコピペ貼ってんじやねえよks

71 : 第774管理外世界駐在員 : 93 / 9 / 18 (水) 16 : 06 : 18 ID :

J0gnJ0tk

つかこれコピペだったのかよ

|| || || || || || || || || ||

（本当に一体どういう事なの……）

並列思考で構成される疑似回路を以てしてのインターネット接続という（無駄な）高等技術により、一線を退いて尚健在の実力を垣間見せる高町なのはさんじゆうななさい既婚（コレ重要）。

だが、嘗てはエース・オブ・エースと呼ばれた実力者たる彼女を以てしても、目の前にあるその非現実的な現実——何処かで見たことのあるシチュエーション——には、当惑の中でそう眩くより他になかった。

## 番外Ⅹ：【限界】娘がケツコン（マジ）します【突破】

「良かったら君もどうか。今日のは、何だか上手くできた気がするんだ」

それでも、義父さんには敵わないだろうけどね。という言葉添えて置かれたコーヒーの香りが、ぼんやりとしていた頭と鼻腔とをくすぐる。

当人はああ言うものの、少し甘めに感じられるそのブレンドは、本職プロの淹れるそれとはまた別のベクトルとして好きであった。そう思えるのはやはり、「淹れた人」に依るものなのだろうか。尤も、そんな言い方をすると拗ねてしまいそうな人物に心当たりがある為、あまり口に出せるものではないが。

「……随分と悩んでいるようだね。やつぱり不安かい？」

一緒に淹れたのであろうコーヒーを一啜りした後、隣へ腰を下ろした「彼」がそう切り出す。特段隠しているつもりはないが、かといってそれ程露骨な訳でもない。それでも一目見て判ってしまうのは、所謂「長い付き合い」というやつなのだろうか。

何れにせよ。ことこの人であれば、自身の心情を読み取られる事に抵抗感や不快感といったものはなく、むしろ一種の喜びともとれぬ安堵の気持ちさえ湧き起こる。

「うん……考え過ぎだとは思うんだけどね」

そして、そんな関係だからこそ言える事もある。

如何に華々しい功績を積み上げ、それらに裏打ちされた信頼・評価を周囲から受けていようと、自分もまた人の子。気質から中々表へ出さず、職業柄・立場柄むしろそれらを聞き助言する事が多いとはいえ、そんな自身にもまた人として相応の悩みや失敗といったものは当然として存在している。まして、人生の節目を控えた子を持つ親ともなれば、それらは一入のものともなるう。悪いとは思いつつも抱え込むその懐で、暗雲は静かに、確実に育ちゆく。

——そう考えると、そんな「弱さ」を曝け出せるこの人は、やはり「特別」なのだろう。

心強いのは判っている。娘達の抱える事情に対する理解があり、かつ協力を惜しまない人達へ囲まれているこの現状が、此の上無く恵まれた環境であるのは紛れも無い事実だ。まして、他ならぬ当事者二人こそが、心身共嘗ての自分や友人達さえ上回る「最大戦力」。それこそ、並大抵の事象はおよそ障害足りえないのだろう。

だがそれでも、不安の種は決して潰える事はない。将来二人が、そしてその子らが要らぬ争乱へと巻き込まれはしないか、その優しい心へ癒えぬ傷を負ってしまわないか、気がかりでならない。それらが決して杞憂とならない程、彼女達の抱える「秘密」は大

きいのだから。

秘めたる力そのものや、それに付随する地位・影響力。信奉し味方となつてくれる数と同じ、或いはそれ以上の「悪意」を容易に生みだしかねない要素の数々。

無論、それ自体や抱え持つ彼女達の存在そのものを否定する気など毛頭ない。その過去が何であれ、今を生きる少女達が祝福と共に自分達の下へ生まれ来てきたのは唯一無二なる真実。それは先方として同じ事であり、こと近しい関係者においても、今回の件に姦計謀略の類を謀るような人物は一人としていない。あるのは唯、当事者達の感情を尊重し、僅かであつてもその助けたらんとする純粹な好意のみ。

そして、それらを理解しながらも——自身もまた同じ思いを抱きながらも尚、心を覆う「もや」は拭えないのだ。それが「親」というものなのかもしれないが……

「……なんというか、弱くなつちやつたのかな、私。

昔なら、こうも弱気にはならなかつたのにね」

これもまた、「彼」の前だからだろうか。思わず、そんな自虐とも取れる言葉が漏れ出でる。

加齢に伴う能力の低下か、現場じっせんから距離を置き老けこんだか。或いはそれとも、永遠の「相棒」がこの手を離れたが為か。何れにせよ、其処には確かなる「衰え」が見え隠れしてならないのだ。

昔の自分であれば、単なる考えなしとは違うが、例えば今回の一件にしても迷うことなくGOサインを出していた筈だ。あまつさえそれ以上に、「立ちほだかる苦難を一緒に乗り越える」なんて事を本気で考え、また実行していた事だろう。それだけの活力が、またそれを形にするだけの「強さ」が、在りし日の自分には存在していたのだから。

だが、今の自分はどうと——オフィスへ引つ込み、後進の育成へ専念している事も関係しているのかもしれないが、兎角、行動の前に「迷い」が多い。それこそ、一昔前の自分では考えられないような事態……迷い、悩み、挙句行動へ移せない事も、決して珍しくはなくなっている。

年齢・地位相応の落ち着きと言えば聞こえは良いが、なまじ「思い立ったら即行動」な過去があるだけに、迷いを振り切れないそれは、自分にはどうしても「弱さ」に感じられてしまうのだ。

「……そんな事は、ないんじゃないかな。

うん、少なくとも僕は違うと思うよ」

自らの口で語り、考えるにつれて深みへ嵌まってゆく自己嫌悪の悪循環。それを止めたのは、それまで黙って聴き手に徹していた「彼」の一言であった。

穏やかな口調のまま、しかし真つ向から自分の考えに異を唱えるその姿は、表情は、幼



き日のそれと何ら変わる事のない優しさに満ち溢れていた。

「君の言う通り、確かに最近は昔と比べて悩む事が多いとは思う。

そしてそれが、現場を引いて今の職に就いてから」というのにも異論は無いよ。

……でもそれは、偏に教え子達を誰よりも想うが故の事なんじゃないかな」

そうして「彼」は言葉を続ける。自分は知っている、君が生徒の一人に至るまで丹念にケアし、同時に本気で向き合っている事を。何よりも相手を想い、判り合わんとするその姿勢は、現役時代のそれと何ら変わっていないという事を。

その言葉が、「弱気」に隠れていた自分を、自分の見えない自分の姿を露わにしてゆく。確かに、今後生涯に渡って代替を置かないとまで誓った唯一無二の相棒は手元を離れ、またそうする契機となった「とある事件」を境に、数少ない才能と自負する魔力資質さえ喪失。今の自分に、嘗て誇った「力」と呼べるものはおよそ残されてはいないのだろう。

だがそれでも、役職を、立場を、形を変えたとしても、相手を想い、「全力全開」でぶつかり合うその姿勢は、この世界へ脚を踏み入れたその瞬間より以来、なんら変わる事はない。何時だって自分は、物事に本気で向き合っていた。ならばこそ、この胸に宿る不屈の心は健在。決して弱くなつてなどいないのだろう。

「大丈夫、心配いらさないさ。

今回の悩みも、きつと僕達が「親になった」からなんだと思う。

突つ走る側から見守る側になった。ただそれだけの事さ」

そして続く言葉が、抱えていた「悩み」に対する何よりの解となる。

成程確かに、言われてみればその通りだ。こうして悩んでいる自分とは対照的に、大事を控えた当事者たる娘に「迷い」は無い。否、賢いあの子が取り巻く事情を理解していない筈も無いが、それでも尚、前へ進み続けているだけなのだ。

——そしてそれは、在りし日の自分の姿でもあるのではなからうか。

神秘を科学で行使する、人が生身で空を飛ぶ未知の世界へ飛び込み、其方側へ属する事となったその時々において、自分は確かに迷わなかつた。欠片たりとも迷いが無かつた訳ではないが、それを上回る強い意志が、気持ちだが、「迷い」を吹き散らし、結果としてそれらとは無縁に見えていただけの事。

だがその一方で、両親は確かに心配していた筈だ。表立ってそれを露わにする事はなく、何時だつて自分の意志を尊重してはくれていたが、その決断に伴う不安は並々ならぬものであつた筈だ。そう、丁度今自分が抱えていたものの様に。

「それでも、あの人達は笑顔で送り出してくれた。

なら、今度は僕達がそうする番だ」

——そしてそれでも、それらを乗り越えて尚、両親はこの出会いを、縁を祝福してく

れた。不安だらけの世界と先行きへ、自分達を信じ、笑顔と共に精一杯後押ししてくれた。

ならば、今度は自分達の番だ。今度は自分達が抱える不安を飲み干し、未来へ歩を進める子ども達を精一杯祝福する番なのだろう。

祈りとは、そうして受け継がれてゆくものだから。

「兎に角、弱くなった訳じゃないさ。

君が失くしたと思っている「強さ」は、今はあの子達の下にある。ただそれだけの事。

——大丈夫、どんな困難も、あの子達ならきつと乗り越えられる。

何せ、他でも無い君の娘だからね」

そう言葉を締めくくる「彼」。父親として、同様に不安を抱えている筈なのに、それでもこうして自分を支えてくれる。

きつと、それが「彼」の持つ力。その魔術式のレパトリーにも反映されている氣質。自分の用につかり合うのではなく、待ち、受け止める事のできる優しさ。それが、彼の持つ「強さ」なのだろう。

隣り合う肩へそつともたれかかる。相変わらずの細身ながらも、静かに、そして確りと支えてくれているそこには、見目だけでは判らない逞しさが確かに存在していた。

その感触と温かさに抱かれて生じたまどろみの中で、改めて自分はこの人と一緒に

なつて良かったのだと実感するのであった。

◇

「うん、これで完成かな。

……凄く、綺麗だよ。ヴィヴィオ」

『Es ist gro<sup>ß</sup>, reizbar und ein Meister.』

「ありがとう母さん、レイジングハート」

そうして、月が沈めば日が昇る。結婚式当日を迎えた高町なのはは今、これから送り出す最愛の娘達と共に控室に居た。

通常、「教会」で執り行う形式における新婦のエスコートとは、母自身の時もまたそうであったように、父親の務めであるのが慣例ではある。が、珍しくパンツスーツの礼装をしている事からも判る通り、今回それを務めるのは母親たるなのはであった。娘を、そして半身たる「永遠の相棒」を自分の手で送りたい、という特別わがな感情まあつての行動ではあつたが、夫や娘自身、そして嘗ての愛機にも快く受け入れてもらえたのは、彼女にとって何よりの幸いであつただろう。

そういつた事情、また本人たつての希望もあり、今しがたドレスアップ最後の仕上げ

が母の手により成されたのである。予習済みとはいえ随分と緊張していたものではあつたが、果たしてその出来栄えは、それまでの苦勞を忘れさせるだけのものとなつていた。

派手過ぎないシンプルな純白しろのドレスに、胸元へ添えられた「相棒」付きの飾りが差す紅のアクセント。それらによつて彩られし美しさは、魂が示す王の氣質でも、魔力が灯す虹色の神秘でも無い、「高町ヴィヴィオ」という一人の少女……否、一人の女性自身が持つ輝き。唯一つの感情によつて磨き上げられた、人の持つ温かさの具現。それこそ、親の抱える悩みといったものを軒並み忘れさせるだけの力を有しているのである。

『E s i s t b a l d Z e i t . 』

「うん……じゃあ、行こうか」

その後も暫し取り留めも無い会話を続けていた二人はしかし、そう静かに告げるデバイスの声で腰を上げる。無論、先導を引き受けたものにもまた、この一時を惜しむ情は未だ残されてはいる。彼女達とて、本当はもつと母娘おやこ二人で話をしていたい。ずっとこんな関係で居たいのだ。

けれどもしかし、それが敵わないのが世の常。出会いという始まりがあれば、必ず別れという終わりが訪れる。それが真理。

——そしてだからこそ、共に過ひとととごした時間は輝いて見えるのだから。

「はい。」

「……あの、母さん……」

「何かな？」

「……ありがとう。そして、これからよろしくお願いします」

「……どういたしまして。それと、此方こそ」

加えて、此度の節目は決して今生の離別という訳でも無い。確かに、今までと比べれば少しばかり距離は離れるかもはしれない。しかしそれは「頑張れば」届く程度の距離でもある。何せ、管理外世界の住人であり、かつ魔導文明とは縁遠い筈の高町夫妻……なののは両親でさえ、「孫の顔を見に」と第一ミツ管理世界ドチルダへ前触れもなく出没するだけの行動力を持ち、またそれがまかり通つてしまう世界でもあるのだ。嘗て次元の壁さえ越えて見せた不屈のエース・オブ・エースが成せぬ道理は無く、それこそ宇宙の果てであっても一羽ばたきで辿り着く事だろう。そう、恐れる事など何も無いのだ。

尤も、今しばらくは「二人の時間」が続くであろうし、また其処へ首を突っ込む程、なのはとて無粋ではない。嘗て彼女自身もまたそうであったように、娘達とてもう子どもではないのだ。新たな一歩を踏み出し始めた若人を信じ、見守つてゆく事もまた、親おとよの務めというものだろう。

重々しい扉が開かれ、エスコートを伴った新婦がゆつくりとバージンロードを歩んでゆく。

取り巻く事情や当人達の希望その他から、式自体はより近い関係者のみを招いた小規模なものとなっており、舞台たる会場もまた相応の大きさに収まってはいる。

しかし一方で、その小さな空間に集った顔ぶれが非常に「豪華」となるのは、最早彼女達にあつては一種のお約束。列席する者達は何れも平時には見慣れぬ礼装へ身を包み、個々人の容姿が整っている事も相まって、会場の雰囲気は非常に華やか、煌びやかなものとなっていた。

だがそれでも、流石は「主役」と言うべきだろうか。今しがた入場した新婦同様、祭壇前にてそれを待つ新郎……否「新婦」もまた、その中で一際輝いて見えるものとなっていた。

一度きりの晴れ舞台。また「新婦」たつてのお願い等々、諸般の事情から「彼女」もまたウエディングドレスを纏うとはなのにも聞いてはいたが、より一層見慣れぬ装いとなつているその女性はしかし、何とも絵になる様相として完成されていた。恐らくは一時の恥じらいを乗り越え、或いは投げ捨てたのであろう凛とした佇まいは、義母さえ思わず見惚れそうになる程のもの。そこにはもしかしたら、内側から滲み出る「王子様」な

気品といったものがあるのかもしれない。

勿論、先のそれはあくまでも例え話であり、既に自身の王子様を見つけているのが、本当に現を抜かす訳でも無し。涙を滲ませつつも晴れやかなる笑顔で「務め」を果たした彼女は、静かに祭壇前を離れ、自らの伴侶の傍らへと腰を下ろす。

その後は一先ず何事も無く式は進行。仔細にこそ違いはあるものの、故郷たる管理外世界にて執り行われた母なのはの時と大まかな流れは同じであり、また人々お祝いムドの感情に次元の差異など存在しない。式典としては、まさしく順風満帆とも言える運びとなっていた。

しかし、ここで敢えて読者諸兄にお尋ねしたい。本当にこれで良いのかと。人も舞台も、此の上無く「お膳立て」されているこの状況において、山もオチも無い内容で本当に満足か　と。

否。断じて否。

そも、様々な意味で「平穩」「平坦」共に縁遠い我らがなのはさんの人生。自身の結婚式でさえ古典的テロリストの乱入というラノベ的イベント……もとい、非常識的な出来



事が起きたのだ（それ自体はライスならぬメガ粒子シャワーの一発で鎮圧されはしたが、詳細はまた別の機会とする）。メタ的な事を言つてしまえばその子らの結婚式という垂涎もののイベントを、この世界が見過ごす筈がない。平穩無事に終わらせる筈が無い。——何より、期待に胸膨らませる読者諸兄が、黙つている筈が無い。

それら必然による後押しもあり、式典の最終盤に「事件」は起きた。それを「事件」と捉えたのは唯一人だけではあつたものの、他ならぬ「彼女」がそう思つた以上、この物語せかいにおいてそれは「事件」となるのである。

「それでは次に、新婦二名による『けいきにゆうとう』の儀へ移りたいと思います」

なのはをして「何処かで見た事のある」嫋々たる神官……式の進行役を務めていた人物がそうアナウンスすると、これまた何処かで見た記憶のありそうな隻眼の牧師共々奥へ引つ込み、何やら準備を始めた。式のプランにもなく、また様子からして周囲の誰も知らされていないであろうそれは、恐らくは会場を提供してくれたベルカ系教会が準備した、或いは快く引き受けてくれた牧師・神官二名による個人的な「サプライズ」であるのだろう。

「あれ？　まだ披露宴じゃないのに、今ケーキなの？」

しかし、なのはが疑問を抱いたのはサプライズそのものではなく、儀式的要素の強い

結婚式の最中に「それ」を行わんとしている点であった。

勿論、此処は彼女の故郷とは様々な面で「常識」の異なる次元世界であり、またその中においてもミッド系―ベルカ系という二大文化間で差異が存在している事は、準備段階における説明、またなのは自身の人生経験からも承知の所。

だが、それらを踏まえても尚、「余興」の色合いが強い「それ」を、特段伝統を重んじるベルカ系の式典において執り行わんとする事には、如何に次元世界広しといえども首をかしげざるを得なかつたのである。

「ケーキってあれか？　はやてが何時も作ってるあのケーキ？」

何でそれが今必要なんだよ」

だが、そんな疑問へ更に否定混じりの疑問をぶつける者がいた。なのはにとつては古き良き友人であり、またその子に対しても浅からぬ縁を抱える者達が一人、守護騎士のヴィータである。初めて出会ってより数十年。なのはにとつては相も変わらず「可愛らしい」容貌ながらも、その雰囲気は時の流れと共に確かに成熟されており、心なしか礼服も遙かに着こなせていた。

「だって、今『ケーキ入刀』って……」

それは兎も角、投げかけられた問いは更に深く、新たな疑問をなのはへ抱かせる事と

なった。

言わずもがな、彼女の常識に則せば「ケーキ」とは即ち所謂洋菓子に属するものであり、またこの場においてまず連想されるのは、スポンジ生地とクリーム・果実等を用いる類のもの。より専門的な事を言えば更に細かくなるとはいえ、ヴィータが例示に用いたもの……他でも無いなのはの実家へ弟子入り・暖簾分けした親友の手掛けるそれが、「ケーキ」とは名ばかりの暗黒物質である筈も無い。

加えて、ヴィータ達古代ベルカ守護騎士が俗世に疎かったというのも随分昔の、しかも今代にあつては極々僅かな期間のみ。ならばこそ彼女が、言葉にはせずとも列席する守護騎士達が疑問符を浮かべているのは、尚の事納得がゆかないのである。

「だから『詣氣入燈』だろ？ ケーキなんて必要ないだろ」

「……………ごめん、ヴィータちゃん。」

何か意志疎通が上手く図れてないみないだから、一度落ち着いて話をしようか」

だが、積み上がり膨れ上がったその暗雲は、口頭だけでは判り辛い、しかし確かなる「その感覚」によつて無慈悲にも蹂躪され尽くした。如何に現場を退き戦場から離れても、また加齢に伴い「とあるジャンル」と疎遠になろうとも、彼女がなこの世界へ脚を踏み入れてより以来幾度となく、息を吐く間にさえ襲い来るその感覚を忘れる筈が無い。

忘れよう筈がない。

そう、それは紛れもなく「アレ」である。

▽  
▽

けいきにゆうとう  
詣氣入燈

同門下のみならず、血を分けた実の兄弟でさえ殺し合う程までに苛烈を極める事で知られる古代ベルカ武術。それを修める者はまさしく孤高の戦士と呼ぶに相応しい存在であり、修行過程は勿論の事、極めた後に待ち構える数々の戦いにおいても、世に言う「愛」や「絆」といったものとは無縁、或いはその対極に位置するとさえ考えられているのが一般的である。

だが、永きに渡るベルカ武術の歴史においては、時に立ちはだかる数々の苦難苦境に敢えて他者と手を取り合つて臨み、それを乗り越えた果てに血を越えた固き絆で結ばれる事例も存在している。そうした二者により執り行われる儀礼の代表格こそ、詣氣入燈の儀である。

その概要は、武を高め合つた二名が一つの極致へ至つた際、それまでの苦楽を共に歩んだ証として、またこれから待ち受けるであろう更なる壁を二人で打ち破る誓いとし

て、魔導器（今日におけるデバイス）の鍛造にも用いられる超合金塊を、二名の力のみを以て割断。揃い組の武具装飾品を作成し身に纏うというもの。

そして、詣氣入燈の要は、この超合金塊の割断を二人の力で成す　という点にある。周知の通り、ベルカ産出の超合金、中でもとりわけ古代ベルカにおいて重用されたスター・プラティニウム合金……現代においてはベルカニウムと呼称される超合金は、その硬度・堅牢さに反し非常にデリケートな性質を有しており、その加工には並はずれたパワーと精密さに加え、時間を止めたときさえ思える程のスピードが要求される。

つまり、二名が息を合わせぬ限り二つの同じものは生み出せず、翻って寸分違わぬ一組を有するという事は、固いきずなど相応の力を兼ね備えた何よりの証明となるのである。調達の容易ならざる超合金塊を敢えて用いるのは、そういった儀式の隠された性質を鑑みての事なのである。

また、先述の通り詣氣入燈の儀はあくまでも「通過点」に過ぎず、ある意味では二人による戦いの始まりとも言えるもの。それ故、儀の名前には「燈」（＝明かり、灯）の字が用いられ、詣（＝高める）氣を以て未知なる暗闇へ明かりを灯し、それを標として更なる高みを目指す　という決意が込められているのである。

ちなみに、今日における婚礼の儀でしばし見かけられる「ケーキ入刀」の起源が詣氣入燈にある事は、聡明なる読者諸兄ならば既にお気づきの事であろう。無論、古代ベル

力の闘士などではない一般人に超合金の割断など出来る筈もないが、詣氣入燈へ込められた志は婚礼にも深く通じるものであり、それ故「詣氣」へ菓子ของケーキを掛け、それを切り分ける事で入燈へあやかっただのである。武術と婚礼を結びつけるのは一件不可解に思えるかもしれないが、古代ベルカにおいては優れた武術家であると同時に永遠の愛を誓い合つた者達も存在しており、一概に無関係とは言い切れないのである。

加えて、近年の研究により、所謂エンゲージリングの風習もまた、入燈の儀で作成した武具裝飾品が元という説が支配的となっている。

冠婚葬祭編』より

△

△ △

「ふーん、そうなんだ……態々ありがとうね」

一頻りの解説を受けたなのは表情はしかし、晴々とまではいかずとも、その雰囲気共々穏やかなるものであつた。

「あれ？ 随分あつさりとしてんな。昔はもつと愕然 って感じだったのに」

そんな反応に“拍子抜け”したのは、説明したヴァイータ他守護騎士一同である。

無論、彼女達とて別になのは驚かせようといった意図は無く、あくまでも自身へ蓄積された知識を総動員し、明快かつ丁寧に語っただけの事。確かに、これまでは（守護騎士主観として）大層な驚きと少しばかりの諦観とがリアクションとして返ってきてはいたが、そんな反応をするのもなのは程度のものであり、例えば同じミッド系であったも某執務官……現執務官長などに同様の事をして、返ってくるのは「そうなんだ」という、極めて純粹・素直なる感心のみ。何処か引き攣った笑いなんてものはまずお目にかからず、それらを鑑みれば、今の彼女の反応は「ようやく普通になった」とさえ言える程でもあるのだ。

とはいえ、例え意図せざるものであつたとしても、*“そんな反応”*に慣れていれば、落差には敏感になるもの。なのはに關しては特に「そういった機会」が多かつただけに、尚更気になるのだ。

「それは……まあ、ねえ……」

だがしかし、なのはさんとてそう何時までも若いまま……もとい、変わらない訳ではない。慣れたというか、慣らされたというか。兎角、如何程のイメージングであろうとも、それが10年20年と続けば人間否応無しに*“耐性”*が付いてしまうのだ。

決して染まり切つた訳ではないけれども（と、当人は思つてはいるが、そんな彼女もまた我々にしてみれば大概なものではあろう）、かといつてそう何度も初な反応ばかり

を返してもいられないのだ。大人になるとは、かくも悲しい事なのである。

ともあれ、古代中国の偉い人も「四十にして迷わず」なんて言ったと聞く。然らば、たかまちなのはしじゆうにさいが不惑の境地に至った所で何ら不思議ではないのである。所謂、「もう何も怖くない」という奴だろうか。

兎角、そういった調子でまた一つの疑問が氷解した頃合いで、丁度入燈の儀に用いられるベルカニウム塊は会場へ運びいれられた。それ自体にもまた文様の配われたボールで覆われし超合金塊は、何よりも無骨な存在でありながらしかし、この場に則した雰囲気と神聖さとを併せ持つており、(そも、この世界にあつては「当然」であるのだが) およそ不和・違和感といったものを感じさせなかつた。

そして言わずもがな、儀の内容を鑑みても、準備はこれだけで終わりではない。何せ、情緒溢れるその理念に対し、実際行われるのは「生身による超合金の割断」という、古代ベルカの戦場でもそうお目にかかれない程までに「物騒」なるもの。加えて、今回それを成すのは特別中の特別なる二名。それこそ、何の対策も講じずに成すがままとしてしまえば、超合金塊どころか大陸のプレートまで真つ二つとなるのは必至と言えよう。

幸いにも「サプライズ」の仕掛け人はそういった点を誰よりも理解しているようであり、非礼とならぬ程度に、しかし迅速・確実に結界敷設は進められていた。



「御心遣いありがとうございます。」

でも、もう大丈夫です」

だが、それをやんわりと留めたのは、どちらとも知れぬ新婦の発した静かなる一声。同時に、何処からともなく吹いたそよ風がペールを払い……おお、見よ。C I級次元航行艦の主砲さえ耐えきるベルカニウム塊へ、「愛の形」と共に確りと刻まれた兩名の名を。その下へ設けられたくぼみへ収められた、美しき一組のエンゲージリングを！

入燈の儀が会場側の用意したサプライズである事は先の流れからも明白であり、また演出であつても「当事者による割断」という工程を、その伝統を重んじているベルカにおいて、所謂「仕込み」が成された可能性なぞ皆無。しかし同時に、幕が開かれたその瞬間まで、兩名に触れるどころか近づく機会さえ無かつたのもまた事実。然らば、如何にしてその名は刻まれたというのかと疑問に思うのは極々自然であり……同時に、古代ベルカへ深く通じる者にあつては、語るまでもない唯一無二の真実が導き出されるのは必然と言えるよう。

——そう、全ては「愛」故に。

優れた武術家が「氣」の応用を以て打撃・斬撃を離れた間合いより放つ事ができるのは周知の通りであり、まして今回祭壇へ立つ二人は、古代ベルカにあつては知らぬ者はいない。龍虎……聖王家と霸王家と非常に、そう非常に縁深く、それに相応しいだけ

の力を有した者達。そんな二人が力を重ね合わせたとあれば、先の結果も当然のものとして帰結する事だろう。

しかし、それらの細かい理屈・理論を説く以上に、彼女達が共有する“唯一つの感情”を示した方が、遙かに判り易いだろう。二人の王を繋ぐ愛情の大きさを、それこそ上は成層圏を突き抜け、下は地殻を粉碎し、前後で言えばベルカ王家一万二千年の歴史さえ一蹴する程のもの。

紐解けばただそれだけの事であり、そしてそれを知るが故に、成された“奇跡”に異を唱える者は一人としておらず、其処にはただ感嘆のみが漏れ出るのである。

勿論、そこには我らがなのはさんも当然と言うべきか含まれていた。彼女の場合、「まあベルカだし」といった諦観が少しばかり含まれている気がしないでもないが、続くエンゲージリングの交換により、それら“些細なこと”は纏めて押し流していった。なんだかんだとは言いつつ、やはりそこは親心。嬉しいものは嬉しいのである。

そうして、ささやかながらも非常に高密度な式典は、二人の幸せな口づけで幕を下ろした。後日、翠の子ご懐妊で再びてんやわんやのお祝いとなるのだが、それはまた別の話である。

やったねなのちゃん かぞくがふえるよ！

## 4章：クダケエヌヤミ

## 【総員】速報：はやてが倒れた【参加】

「上に立つ者」に求められる／必要な資質とは何か。

トップたるに相応しい力。大局を見通せる頭脳。追従者の心を掴むカリスマetc  
 …。立場や局面によってその種類・優先順位は多岐に渡り、また「有つて損の無いもの」  
 を含めれば、それこそ山程挙げられる事だろう。

だが、私はその中でも「ぶれない」事が肝要であると考える。

指揮官の揺らぎは全体へと伝播し、足並みを乱れさせ、崩壊を誘発する脆さを生みだす。勝利を目指し戦い抜く為にも、また自らへ従う者達を守る為にも、「将」にはその意志を貫き通すだけの強さと、時としての非情さが求められるのである。

無論、プログラムプログラムのとはいえ自身もまた「上に立つ者」としての立場を与えられた身。主君の剣として、また騎士達を率いる旗として、先の何れをも兼ね備えていた。

そう、備えていた。

——それが、この一時の平穩げんそうを得る為に払われた代償とでも言うのか。それとも、「人

間としての「自分とは、こんなにも弱かったのか。

▽

確かにこの身は「将」ではあるが、あくまでそれは同じ守護騎士達を纏める役割へ留まるものでしかない。知略を計する参謀は別にいるし、真の意味でのトツプは言わずもがな。

一集團の長でしかないこの身は、決して意思決定の全てを司っている訳ではない。それは、「守護騎士たる烈火の『将』」という存在の大前提である。

とはいえ、何事にも「例外」は存在する。その一つが、此度の様に主が素人の場合である。如何に闇の書の主として稀有なる資質を有しているとはいえ、それ即ち戦いに精通しているという事へ同義とはならない。深窓の令嬢、分別も付かぬ幼子、或いは当代の様に一般人として暮らしてきた主というパターンも、「記録」には数多く残されている。

そして、そういった状況下においては、専ら「将」である自分が、こと戦いにおける意思決定等を代わりに司る事となる。その程度も上から下まで様々であり、素人なりの机上論に基づく指示が出される場合や、大まかな方針のみを示す者、「目的」のみを求めその手段を問わない等々。

何れにせよ、普通の人間ではまず積みきれないだけの経験を有した自分が／自分達

が、本来であれば上に立つべき主を先導してゆくのである。

また時としては、先を見据えた大局的な「勝利」を得る為に、真に欲する目的を達成する為に、一時であつても敢えて主の命令より「逸れる」事もある。

が、そもそもが素人考えであるのなら、必ずしも理に適つたものではない事もなら不思議ではないだろう。命令より逸れる事に葛藤などが生ずる余地はなく（そもそも以前までは「葛藤」などという人間的要素そのものが存在していなかったのだが）、その行動自体も、偏にプログラムとして可能性を吟味し、選択肢を天秤に掛けた末に算出された道筋に従うものでしかない。

その結末も様々であり、捧げられた首印に満足する場合もあれば、それでも自らを押し通した挙句首印となる主も珍しくはない。そして、何れの場合にあつても……例えば苦境を乗り越え勝利を得たとしても、戦果振るわず叱責を受けようとも、単なるプログラムでしかなかった自分達は、それこそ「何も思わなかった」のだろう。

だが、今の自分はどうだろうか。明らかに揺らいでいるのではないだろうか。

将としての矜持からか、確かに表面上こそ取り繕ってはいる。が、その内心は仲間達と動揺かそれ以上に不安定なものとなっている。

しかし、ある意味それも当然だろう。何せ今の自分達は、逸れるのでも、またそもそ

もが主の望みを叶えんとするのでもなく、この内で芽生えた衝動のままに、主との誓いへ真つ向から反しようとしているのだ。小さな一つの命を救う為に、その命が何よりも忌避した、数多の魔力いのちを贖とする道へ足を踏み入れんとしているのだから。

「咎ならいくらでも受ける」と口で言うのは容易い。事実、先程の騎士達なかもとの会話の中で、他ならぬ自分自身もまたそのフレーズを口にしてしている。禁忌の扉を開く為に。押し開けるその腕を、自らの中だけでも正統化する為に。

だが、それは考えるまでも無く詭弁に過ぎない。その「咎」など、およそ贖罪足り得ない。

昔の真正「道具」であつた自分達ならばいざ知らず、今の自分達は「人間」としての生を曲りなりにも営んでおり、そこには細やかながらも縁がある。こんな自分達の為に笑い、喜び、涙してくれる繋がりが、確かに存在している。もう、使い捨てられるだけの道具ではないのだ。

そしてだからこそ、そんな身勝手な贖罪は贖い足り得ない。拭うべき行いそのもので誰かの涙を流させる事が、償いとなる筈がない。自分達の考えている／受けられる「咎」など、所詮はその程度。犯す罪の重さと数とに、まるで釣り合っていないのだ。これを詭弁と言わずして何と呼ぶか。

——嗚呼、それでも。それでも私達は、私は。心の底より敬愛する主が、このまま苦しみの果てに死を迎える事を受け入れられはしない。そんな事は絶対に嫌なのだ。もう、あんな無理をした笑顔など二度と見たくはない。

故に、私はこの道を進んでゆく。迷いを仮面でひた隠し、視野を狭め横を見ないようにして、その道中で流される誰かの涙から目を逸らす。そうするより他にない。

勿論、叶うのであれば自分達とて蒐集このみち以外を歩んでいきたい。昔ならばいざしらず、「心」を有した今とあつては、誰が好き好んで涙しか生まれぬ修羅の道を突き進みたがろうか。

けれども、今日の前にあるのは茨の橋唯一つ。これ以外に道と呼べるものはおよそ存在しない。

今日の発作がその良い例だろう。決して低い水準では無く、ある意味では自分達以上に主の身体についてよく知る者達の医療技術を以てしても尚、原因の判らぬ悪意の種。その正体が、自分達「闇の書」による浸食である事は最早疑いようがない。そしてその暴走せいちようを止める術は、蒐集行為による魔力の充足か、その完成によつて得られる強大な力を以てしての治療の二つに一つ。

何より、今こうして考えているこの瞬間にもタイムリミットは刻一刻と迫っている。最早迷っている猶予などなく——しかし、心を持ったが為に、迷わずにはいられないの

である。

一体どうすれば良いのか。藁にも縋る思いで書へ問いかける——当然、返事などある筈も無い。

「記憶」を「記録」という形でしか残せず、またこういった感情を初めて有した自分達とは異なり、唯只管に「記録」を続けてきた書であれば、長きに渡る歴史の中で「こういった事」に面した事少なからずある筈。そんな時自分達は、闇の書が守護騎士はどうしてきたのか。書とその主は、どうなってきたのか。

或いは、これもまた「今まで通り」なのだろうか。

世界を意のままにできる程に強大と伝えられる、完成した「闇の書」の力。しかし、現に自分達はこうして幾度となく転生を繰り返し、その度にリセットされ、道具として消耗され続けてきた。その歴史の中で誰一人として、永年なる楽園を築くには至らなかつた。

栄枯盛衰。破滅こそが自分達に付き纏う運命だと、あの優しき少女が背負わされる云われなき業だとも言うのだろうか。

——教えてくれ「闇の書」。私達は後何人殺せば良い？

どれ程の命をお前へ捧げれば、あの少女を「戦い」という名の呪縛から解放できるの



だ  
—

◇◇◇

58 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 4 1 I D : 1

a138st@a

容体は？

59 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 4 1 I D : 1

a138st@a

ごく簡単な計測・診察で現在BT37. 2 B P 98 / 76 P 121

若干熱と脈拍が気になるがそこまでヤバい数値でもない筈

SpO2も98%あるし

60 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 4 1 I D : 1

a138st@a

その他の数値も大分落ち着き始めてるしな

63 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 4 1 I D : 1

a138st@a

まあその辺りは本職も言ってる事だし

64：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

じゃあ我々の本業の方はどうなのよ

68：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

さつき一瞬だけ異常な魔力値が計測されたけど、ホントに一瞬だけ

今は何時も通り限り無く0に近い数値で安定してる

71：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

資質は兎も角はやてのリンカーコアはまだ覚醒しきってないからそれで正しい

筈

>>限り無く0に近い数値

72：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

でも本人が胸部の痛みを訴えてたですやん

77：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

コアそのものじゃなくて回路系統の方は？

80：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

>>77

特に目立った異常・損傷は見られず

85：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

他の所も軽く見てきたが、現段階じゃ原因らしい原因はちよつと見つかりそうにないな

88：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

まあ今はそれどころじゃないってのもあるが

90：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

言うても我々がする事できる事なんて他にないですよん

91：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

思いのほか騎士連中の対応も早かったしな

この世界での常識に則した行動取れてたし

93：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

随分な言い方だが最初と比べりやそうなるよな

94：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

騎士達の成長が窺える

97：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

あんまり喜ばしくも無いがこういう時にはやっぱシグナムが将なんだと思いき

らされる

99：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：1

a138st@a

そういうや真っ先に動いたのシグナムだったな

100：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

1a138st@a

意外というか順当というか

102：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

直に石田先生とも連絡ついたし結果オーライ

103：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

せやなあ

105：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

後はまあ大事じゃない事を祈るぐらいさ

|||||

200：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

なんやかんやで帰宅

201：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

laI38st@a

八神家よ私は（ry

203：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

laI38st@a

>>201

たかが数時間足らずだろ

205：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

laI38st@a

まあ病院着いた頃には大分落ち着いてたしな実際

流石に諸々の精密検査は受けさせられてたが

206：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

laI38st@a

そら忘れがちやけどはやてさん病人に類する立場やし

207：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

laI38st@a

すっかり忘れてたでござる

209：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

1 a I 3 8 s t @ a

ともあれ主治医からの帰宅お墨付きもでたし一件落着よ

2 1 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

はっちゃけ過ぎないようつて釘は刺されたけどな

2 1 2 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

どちらかといえば弾けてるのは本人より周囲な気がしないでもない

2 1 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

手慰みの日用大工で廃材から金閣寺こさえた某ザフィーラとかか

2 1 4 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

某ヴィータ嬢もゲートボールでホール・イン・ワンしでかしたるで

2 1 7 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

>>>214

ゲートボールそういう競技じゃねえから

220：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

参加したお料理教室で特殊部隊呼ばせた某シヤマル先生は最早レジエンド

226：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

ええい某シグナムには何か無いのか

227：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

精々が近所の剣道場で月牙天衝かましたぐらいだな

231：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

>>>227

出禁どころか普通に通報ものなんですすがそれは…

232：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 15：27：41 ID：

la138st@a

まあ保護者爺婆の宴会で全員酔っ払ってたからしょうがない



235 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 41 ID :  
 laI38st@a

出禁というよりはやての方からの禁止令だな

向こうさんはそれでも来てほしいみたいだし

236 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 41 ID :  
 laI38st@a

あのおっぱいを拝めるなら道場の一つや二つ安いもんさ

237 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 41 ID :  
 laI38st@a

他ならぬ道場の主があれだからなあ

240 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 41 ID :  
 laI38st@a

もしかして : 心労

241 : 名無しさん緊急事態 : 2004 / 10 / 27 (嵐) 15 : 27 : 41 ID :  
 laI38st@a

>>>240

否定しきれないこの悲しさ

242：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

la138st@a

どうしてこうなった

243：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

la138st@a

一体誰がこんな惨い事を……

244：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

la138st@a

>>>243

つ鏡

245：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

la138st@a

むむむ…

246：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

la138st@a

何がむむむだ！

252：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐）15：27：41 ID：

1 a I 3 8 s t @ a

いやまあはやて本人もなんやかんやで楽しんでましたし

2 5 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

周囲も周囲で笑って流すからな

案外この世界ではチャメシ・インシテンドなのかもしれん

2 5 4 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

そんなアホな

2 5 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

どんなマツポーだよ

2 6 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

例えそうだとしてもレディとして慎みは必要だと思うの

2 6 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 1 5 : 2 7 : 4 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

まあ今回こんな事言われた以上本人も周囲も少しは自重した方が良いだろ

264：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

ぼちぼち寒くなってくるし自然と落ち着くんじゃね？

265：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

※ただしザフィーラは除く

266：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

だからザツフィーは犬じゃなく狼だと（ry

270：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

あと危惧すべきは鍋物で先生がはっちゃけないかぐらいだろ

271：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

はやてもいるし大丈夫だろ多分

272：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

l a I 3 8 s t @ a

だと良いけどな

273:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐)

15:27:41 ID:

l a I 3 8 s t @ a

俺達の冬はこれからだ!

274:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐)

21:18:11 ID:

l a I 3 8 s t @ a

ところがどっこいこれで済む筈がない

275：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

ですよー

276：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

知ってた

281：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

明らかに鍋を囲む雰囲気ではないよな

282：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

そもそもまだ10月だし

283：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

>>282

そういう意味じゃねーよハゲ

286：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

一応“これ”も原作における名シーンの一つになるんかね？

287：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

それなりに有名な所にはなるんじゃないの？

289：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

特等席で見れても何も嬉しくないがな

294：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

うんまあとりあえず守護騎士連中の甲冑姿を見れたのは初めてじゃないか

297：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

>>294

そもそも使う必要性が無かった訳ですし

299：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

1 a I 3 8 s t @ a

他ならぬデザイナー本人が実際に使われる事を想定してないだろうしな

3 0 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

一番楽しんでたのはデザインそのものだし

3 0 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

なんやかんやで悪くないデザインだよな改めて見ると

3 0 2 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

最低限鎧でありつつおしやれさも取り入れられてるからな

3 0 4 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

少なくともリボンが付けられたのはこれが初めてだろ

3 1 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

つか騎士達が決意固めたって事はいいよ本格的にA☒sが始まるって事だよな



312：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

まあ本格化するのもう少し後だけど、我々にとつちや一月なんて無いも同然だし

316：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

つまりあと一カ月もすればなのはさんに纏効狙振弾がぶっこまれる訳ですか

319：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>>316

確かに現在のヴィータのレパトリイ的にはそうなる訳だが…

320：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

メモリ節約で前のは削除しちまったからな

今更退くに退けないのよ

321：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

それ以外にも置き換わるのは結構ありそうだけどな

3 2 5 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

つまりこれからちよくちよく原作にネタ技がさしこまれる訳ですね

3 2 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

想像して思わずワロタ

3 2 7 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

カオスの幕開けでござる

3 2 8 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

さて冗談はさておきそろそろ真面目な話をしようか

3 2 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

俺は何時だって真面目なつもりなんだがな

3 3 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

>>329

正義が正義の味方を味方してくれるとは限らんのよ

3 3 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

なんとも判りにくい例えだな

3 3 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

はやての現状や今後について病院というか石田先生は何て言ってたんだっけ？

3 3 7 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

我々の覚醒前と比べ今は麻痺の進行がやや早いだとか何とか

3 3 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

あと言葉を濁してはいたが所謂「現代の医学では」的な事も言ってたと思うぞ

3 4 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

そらまあ魔力のまの字も無いこの世界で超古代遺物攻略されたら面目丸潰れよ

342：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

それは  
その魔導師でも何でも無い石田医師が剣道の達人を一瞬で制圧してたんですが

343：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

>>342

山本の爺様は良い歳だろいい加減にしろ！

344：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

良い歳なのに鼻の下伸ばして女の尻触ってるんだよなあ…

345：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

総隊長でもなんでもなく近所の慢性ぎっくり腰な呆けジジイやから（震え声）

346：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

まあ石田先生のヒップラインは魅力的だし多少はね？

347：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>>346

お前ノンケかよ（絶望）

348：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

一体何時からホモであると錯覚していた？

349：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

ホモとは開発によって生じるものってばっちゃんやが言った

350：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 15：27：41 ID：

la138st@a

開発（意味深）

351：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

アッ——！

355：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

話戻すがそれでも病院側としては「まだ慌てる様なく」的な認識ではあるんだろ

うな

356：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>>355

慌てる様なくってか単に諦める気が無いだけだろ

357：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

そして多分本気で何れは何とかできると考えてもいるんだろうな

360：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

実際ああいった人種は驚くほどにしぶとい

そして普通なら大概はどうかできちゃうんだよな

362：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>360

あくまでも「普通」ならな

368：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

で、ぶつちやけはやての余命はあとどれくらいよ

369：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

もって年内。悪けりやクリスマス迎える前にあぼん

371：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>369

なんという冷静で冷酷な（ry

378：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>369

無慈悲なる診断結果に流石のラチエット先生も真つ白ですわ

381：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

1 a I 3 8 s t @ a

序でに言うとう末期は更に悲惨だぞ

じわじわ麻痺が広がりがつつ、今回みたいな発作が頻度と激しさダブルでマシマシ

3 8 2 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

原作でも大分温めに描写されてたんかね

3 8 5 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

ある意味はやての根性が仇になってる感じだよな

3 8 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

最後の最期まで地獄の苦しみが続く訳だし

3 9 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

でもこれって表向きには我々に所為になってるんだよね？

3 9 4 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a



そらまあ原因らしい原因なんて我々ぐらゐのもんですし

395：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

しかし実際にはその我々でさえ原因不明という

397：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

粗方ひつかきまわして尚それらしいものは欠片も見つけられなかつたしな

401：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

システム面どころか麻痺を除けばはやての身体に関しても「異常無し」だものな  
さつきの発作だつて結局判らずじまいだし

402：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

起きた以上何かしらの痕跡は存在する筈なんだがな常識的には

403：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

常識外の存在が常識でものを考えてもねえ：

408：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

結局どうにもできんのですかい

411：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

>>>408

何かしら異常があれば対処でも何でもできるだろうが

書全体としても「正常」だからな

健康体に打つ薬なんてありやせんよ

413：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

そもそもシステムの全てを掌握しきれている訳でもないがな

414：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

そら掌握できてりや強制リンク解除なりなんなりしてるだろうさとつくに

416：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

対症療法にしたって脳内麻薬ドバドバで痛みを緩和させるぐらいしか手段ない  
しなあ：

418：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

>>416

なにそれこわい

419：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

>>416

廃人一直線ですやん

420：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

>>416

どこのゼロシステムだ

422：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

まあ今までの我々の用途的にはそれぐらいしか手段らしい手段が無い訳で

424：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

「治療」は専ら膨大な魔力で無理矢理治癒再生させてたし

そもそも生半可な事じゃ内外とも傷一つ付かなかったしな

それこそ痛みやら恐怖心を紛らわせるぐらいの用途しか発達せんわさ

430：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

つまり現在保有している手段の中では打つ手なしと

432：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

後考えられる対処法と言えぱそれこそ外部から新鮮な魔力情報を取り入れる事

ぐらいだろ

433：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

確かに新しい刺激を加えれば多少は滞りやら何やらも解消されるかもしれんが

435：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>432

言葉を飾ってるがそれって要するに蒐集って事ですよね

437：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

まあ本来すべき蒐集を行っていないが故の影響ってのは的外れでも無いからな

実際

438：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

そういえばかれこれ11年近く全くしてないんだもんな

440：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

最後にやったのって何時だっけ？

441：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>440

どっちの意味にもとれる表現やめろ

442：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

1 a I 3 8 s t @ a

魔力（意味深）を摂取するんですねわかります

4 4 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

エロゲ逆戻り待ったなし

4 5 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

マジレスすると「11年以上前」ってのは確実だとしても

それ以上の詳細は直には思い出せんよね

4 5 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

記録をひっくり返してきや何処かにはあると思うけどな

4 5 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

1 a I 3 8 s t @ a

ここ最近の充実した生活と比べりやそれこそどうでも良い事ばかりだからな

そりや記憶の片隅まで追いやられる

4 5 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

何れにせよ平和的な手段による解決は見込めないって事なのーね

4 5 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

我々の存在そのものが平和とは程遠かったからな

たかが一年にも満たない時間だけじゃそう上書きはできんでしようて

4 6 0 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

さつき発作が起きた時も思ったんだが、いざその瞬間になっちゃうと

何にもできないのよなあ：

4 6 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

>>>460

いくら超絶チートなスペックがあろうと根っこは一般人だからな我々

残念だが「いざという時」に行動を起こせる人間なんてそう沢山はいないだろ

4 6 4 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

>>461

あんまり喜べないけど慰めありがとナス!

470：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

まあできない事をいつまでもウダウダ言ってもしょうがない

どうせなら少しでも建設的な話をしようや

471：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

生産性のせの字も無いスレでそんな事をする自体既に無謀な気がしないでもな

い

472：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

スレ住人なんて基本ネット社会における消費者やしな

473：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：

la138st@a

蜜柑農家ならいるんだけどな>>スレ住人

478：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21：18：11 ID：



l a I 3 8 s t @ a

　　そういやさつき思い出したんだけど

　　今日のはやての発作って確か原作じゃなかった筈だよな

4 7 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

　　そうなの？

4 8 2 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

　　確か発作自体はあったがもつと後だった筈

4 8 5 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

　　原作じゃ倒れてそのまま入院コースなんじゃなかったっけ？

4 8 6 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

　　それもある程度蒐集が進んでからの事だった筈だろ

4 8 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

今回の我々に関してには普通に帰宅できたしそもそも蒐集が始まっていないな

491：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

その辺りもバタフライエフェクトというか原作との微妙な乖離なんかね

493：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

正直原作だって事細かに記憶してる訳じゃないんだがな

500：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

それにしても随分都合のよい変化だよな

結局蒐集を始める事には至る訳だし

502：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>500

そう言われると原因も無く発作が起きる事もご都合主義だよな

505：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

これは秘密結社による陰謀説が濃厚か

508：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>505

アルハザードというぐう畜がいながら今更

509：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

けど陰謀論ってのもあながち的外れじゃないかもな  
今回のだって

「何かしらの不調・不全といった原因あつての発作」

じゃなくて

「蒐集という対応をさせる為の切欠として引き起こされた発作」

な可能性もある訳だし

510：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>509

何それ笑えん

511：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>509

ガチの陰謀論じゃないか

512：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

つまり人類は（ry

513：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>512

どうであれ一歩間違えればそこに行きつくんだよなりアルで

520：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

つかさつきから気になってたんだが

このスレ始まってから管制氏が息してなくね？

521：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

言われてみれば確かに

522:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

管制ちゃんの霊圧が(ry

523: :2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:la138

st@a

<俺はここにいるぞ!

524:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

>>523が欠番になってるのは何故?

525:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

誰か>>523でレスした?

525:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

おまえらwww

528:名無しさん緊急事態:2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

l a I 3 8 s t @ a

で、管制氏は何処いったのよ

5 2 9 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

別にスレ立てから顔出さない事自体は不思議じゃないが

これ程の事態でも出てこないのは確かに不自然だわな

5 3 1 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

管制ちゃん生きてる？

5 3 2 : 管制人格 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D : l a I 3

8 s t @ a

いますよ

5 3 3 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

おひさ

5 3 5 : 名無しさん緊急事態 : 2 0 0 4 / 1 0 / 2 7 (嵐) 2 1 : 1 8 : 1 1 I D :

l a I 3 8 s t @ a

何かあったん？

536：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

寝落って事はあるまい

538：管制人格：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：la13

8st@a

少々考え事をしていたので

540：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>538

それは現在目の前にある事案よりも大事なもののかな？

541：管制人格：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：la13

8st@a

Yes

542：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

なん……だと……？

543：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

まさかのマジレスに草不可避

544：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>543

草生えて無いぞ仕事しお r

545：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

じじじじ自分草いいですか？（動揺）

548：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

そこまで言う以上少なくとも腐海関連の話じゃなさそうだな

549：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>548

お前は管制氏を何だと



551：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

まあ事実ではあるが

553：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

で、なして黙ってたん？

554：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

ほれおじさんに言ってみ？

555：管制人格：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：la13  
8st@a

今回の件というか、我々の存在そのものの根幹に関わる情報を得たが為です

556：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

なん……だと……？（二回目）

557：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
la138st@a

マジで？

559：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

何処からそんなものが転がり込んできたのよ

562：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

もしかしてシステムの解析作業が終わったとか？

564：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

あの何万年も前からひっそり続けてたアレが？

565：管制人格：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:la13

8st@a

そんな感じ

解析自体は少し前に終わってたんだが、内容があまりにも重すぎたから

公表するの躊躇ってました

まあ今回みたいな事が起きるのなら、もっと早く公表してれば良かったのかもしれない

れんが

566：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
 la138st@a

以下絶対管制氏を非難するレスが付くと思うから予め言っておく

どういう意図か偶然か選ばれたのかは知らないが

管制氏も普通の人間で日本人で我々と同じだ

もしかしたら別の誰かが同じ立場になってたかもしれない事を忘れないな

567：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：  
 la138st@a

>>>566の仕事の早さと紳士ぶりに全俺が濡れた

569：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

これは仕事のできる>>>566

572：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

スマン頭冷えたわ

575：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

la138st@a

>>566になら掘られても良い

578：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

まあ仮に知ってもどうにかできるのかはまた別だからな

今の我々の状態では特に

あと>>575は空気嫁

581：566：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:la138

st@a

でしゃばった真似してすまんかった。どうしても言っておきたくてな

あと>>575にはすまんが私は既婚者で旦那がいるから無理だ

582：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

そしてこのフォローである

585：名無しさん緊急事態：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:

la138st@a

話戻すがそうまで言う以上生半可な情報じゃないでしょ？

589：管制人格：2004/10/27 (嵐) 21:18:11 ID:la13

8st@a

&gt;&gt;585うん

月並みな表現だが知れば間違いなく今までの生活には戻れなくなる

590：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

マジでありふれた表現だが今の今じや笑えんな

592：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

まあでも知らなくても今まで通りの生活は送れんと思うけどな現状

593：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

ごもつともで

594：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

これはもう腹をくくるしかあるまい

597：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21：18：11 ID：

laI38st@a

外の方も一段落？着いたみたいだし、今この場での公表と言う事で良いんでね？

598：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21:18:11 ID:

la138st@a

おk

601：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21:18:11 ID:

la138st@a

構わへんよ

609：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21:18:11 ID:

la138st@a

賛成也

622：管制人格：2004/10/27（嵐） 21:18:11 ID:la13

8st@a

承知しました。あと>>>566や皆サンクス。

結構長くなると思うから、詳細は別スレという事で

【真実は】夜天の書 解析結果報告【いつも一ツ】

623：名無しさん緊急事態：2004/10/27（嵐） 21:18:11 ID:

la138st@a

乙

## Bericht — Der Weg der Rettung der Welt

端書

現在、我が国は有史以来の危機的状況下にある。

とはいへ、それが「資源の枯渇」や「食料危機」「疾病の蔓延」といった、所謂低次元のものではない事は、態々説明するまでもないだろう。我が国が、遍く次元世界に対し確固たる地位・関係性を築き上げてより幾星霜。未だ多くの世界が頭を抱える数多の問題を克服・掌握した現在にあつては、およそ並大抵の事象は障害足り得ず、そんな我が国の前に、目に見えるだけの外敵が立ち塞がれる筈も無い。

個々別々間の姦計謀略はさておき、国家全体として、またそこに住まう者として、我が明日を迎える事に何ら不自由する事は無い。それは、紛れもない事実である。

では、「危機」とは一体何なのか。

此方に関しても、既に一部の研究者間では周知の事実となつてゐるだろう。だが、ここではより論を明快なものとする為にも、その内容を要訳して再確認してゆく。



現状の我が国は、「停滞」という名の大渦に囚われているといつても過言ではない。誇るべき五大理論を確立させたのも今や昔、それより以来、果たして劇的・革新的な一歩を踏み出した事があつただろうか。確かに、小さな成長——次元世界の規模では革新的に見えるかもしれないがそれ——は、細々とあつても続いてはいるだろう。しかし、次元世界の頂へ立つ存在にあつては、その様な小手先の細工等は到底進歩とは呼べず、その停滞はまさしく危機に他ならない。

頂点には頂点の、果たすべき／果たさなければならぬ務めがある。常に前へ進み続ける世界の中で足踏みを続ける存在を、どうして先導者と言えよう。

何より、現状のままでは未来永劫、我が国が産声を上げてより以来の悲願たる、『真理』への到達など果たせはしない。

如何にあらゆる困難を打破したとはいえ、「退屈」という名の毒だけは克服しきれないのが人間の性。纏わり付くこの怠惰を振り払い、『真理』へ至る大きな躍進を果たす為にも、今この国には大きな「刺激」が求められているのである。

そこで、今回発案させて戴くのが、これより解説してゆく計画である。

その概要としては、『現在の我が国が持てる技術の集大成とも言えるガジエットを、しかし従来のものとは全く異なる観点から開発してゆく』というものであり、ガジエット

の詳細については本文で詳しく述べてゆくが、この停滞へ風穴を開けられるだけの「刺激」を得ると共に、それ自体を『真理』への足がかりにしてゆく事が当計画の本旨である。

本論は、それが必要とされる理由などを交えつつ、計画の概論・詳細について述べてゆく。

尚、実際に目を通して戴ければ理解できるとは思うが、当論文は最低限の体裁すら整っていない、資料以前のメモ書き同然である事を、本論に先んじこの場で釈明させて戴く。

しかし、最低限必要な情報は本論に纏めたつもりであり、今回この様な形で公に発表したのも、つまらない形式に囚われるよりは、少しでも早く皆様の目にこの計画を通して戴きたい為である事も、合わせてここに記させて戴く。

#### X項 「進化」に関する見解

本項目では、当計画における柱の一つたる「進化」について、私的見解を挟みつつその意義を説明してゆく。

#### α節 人類の歴史と進化

「進化」と聞き、皆様はまず何を思い浮かべるだろうか。

これが現実の論議の場であれば、おそらくは様々な意見が挙げられていた事であろう。残念ながら紙面上でしかない此処でそれを聞く事は叶わないが、それに代わるものとして、僭越ながら私の見解による解答を一つ挙げさせて戴く事とする。

人間の「進化」に関して、私が最も密接な繋がりを有していると考えているのは、「戦い」という行為である。

月並みな表現ではあるが、人類の歴史とは即ち戦争の歴史に同義でもある。ある時には種の存亡を脅かす外敵と、またある時は自らの利を脅かす同族と、文字通り血を血で洗う戦いを繰り返し続けた果てに、人類は霊長の祖という現在の地位を確立させてきた。

つまり、怒りや憎しみ、敵意といった負の感情を極限まで昂らせ、正義という旗印で正統化させたその剣を手に取る行為にこそ、人類の進化の根源は眠っていると考えられるのである。

そして、態々「進化」についてこの場で述べてきたのは、当計画の根幹が、まさしくその「進化」へ密接に関わっている為である。

その詳細は別項にて詳しく述べてゆくが、大まかな方針だけを纏めれば、先述の「進化」を我々の手で司る事により、『真理』への足がかりを得るという事である。次節にて、その計画と進化の在り方について述べてゆく。

## β節 進化の土壌と舞台

「人類の進化を司る」という計画の流れ上、その最大にして最高の土壌たる「戦争」を意図的に引き起こさせる必要性が生じる訳ではあるが、当然ながらその舞台とするのは次元世界であり、あくまでも我が国は、「当事者」ではなく、「傍観者」としてのスタンスを維持してゆく事となる。

しかし、それは単なる人道的な配慮からだけではなく（無論、我が国に住まう命を無碍にする意図は全く無いが）、計画を遂行する上で、「そうある事」が必要となるのである。

というのも、真に闘争の中で「進化」が生まれ得るには、極限状態におけるせめぎ合い——何とかして相手の喉元へ喰らい付かんとする、執念にも似た感情——が不可欠であり、またその為にも、一方的な蹂躪とはならない同程度のレベルが、争い合う二者間に求められるのである。

つまり、別項でも再度述べる事ではあるが、計画において必要となる「進化」を得るためには、「蹂躪」という一方通行の形を否応無しに生じさせる我が国という要素を、極力排除しなければならぬのである。これが、戦いの舞台を次元世界とする大きな理由である。

また、あくまでも副次的な産物に過ぎないが、次元世界において大規模な戦争を生じさせる当計画は、多くの在庫を抱えてしまっている方々にとつても福音となるものである。

次元世界と其処に住まう者達の性質を鑑みれば、最初の一押しだけで自ずと戦火が広がつてゆく事は想像に難くない。しかし、そこへ我が国の製品を投じる事により、その勢いは一層激しいものとなり、また計画の遂行自体も促進されてゆくのである。

当計画では、そうした加勢も予め織り込まれており、先述のバランスと影響の排除にさえ配慮して戴けるのであるのならば、関係者各位には是非協賛して戴きたいとも考えている。

無論、それら関係者の思惑に流され、計画の本旨を曲げる事は断じて無い事を、予め此処で明言させて戴く。

Y項 「書」について

本項では、当計画の要たるガジェット（以下「書」とする）について解説してゆく。

ε節 「書」概要

当計画において中核を担う「書」とは、簡潔に言えば情報記録媒体であり、X項にて解説した「闘争の中で生まれる進化」を蒐集・蓄積し、それを元に「足がかり」を生み

だすものである。

構造としては、必要機能の全てを盛り込んだコア・ユニットを文字通りの核とし、その存在を表立たせない為の偽装やオプシヨンの余白を外装として加えた非實在型の魔導ユニットであり、「書」の由来は、後述の運用体系を踏まえ、よりシンプルな魔導書型デバイスとしてデザインした点にある。

X項においても触れた通り、当計画の肝は次元世界で引き起こす闘争の中で生まれる進化を蒐集してゆく事であり、「書」の運用については、基本的には我々の手を離れ、その時々で資質や環境等が最も適した「主」の下を渡り歩いてゆく方式となる。

そしてその為に、「書」には蒐集・記録の機能は勿論、如何なる状況下においても「書」を保護する能力が求められるのである。

とはいえ、発生させるのはあくまでも次元世界レベルの戦争であり、また実際には「書」のみをを保護すれば良いのであって、これに関しては然程難しい事ではない。事実、我が国が有する技術や、僭越ながらも私が当計画を機に独自開発したもの等を組み込む事によって、次元世界レベルはおろか、真正正銘最新鋭のそれすら凌げるだけの防衛機能を搭載する用途は既に立っており、それについても後ほど詳しく解説してゆく。

また、「書」が次元世界を渡り歩く間……つまり対外的には、これを「融合型魔導端末」として扱ってゆく。

無論、本来「書」はそれ単体でも蒐集・記録をこなしてゆけるだけの機能を有してはいるのだが、繰り返して述べている通り、今計画において蒐集してゆくのは「闘争の中で生まれる進化」であり、その「純粹なる闘争」を発生させる為にも、「書」自身にもまた意志無き道具という傍観者の立ち位置が求められるのである。

そして、従属物として扱われる都合上、「仕様者の魔力を消費し」「それに依る各術式の行使」という行程が形だけでも必要となる訳だが、この点に關しても「融合型魔導端末」という肩書は都合が良い。より術者の深層とリンクするその構造上、先述の行程を容易に偽装する事が可能であり、また万一の際にはそれを口実として、速やかな次術者への移行が可能となる為である。

当然、長期間に渡る単独行動を可能とするシステムや、関係者以外からのハッキングを遮断するセキュリティも基礎段階で組み込む予定となっており、それらの点に關しても何ら問題は無い。

π節 「書」の構造・作成に關して

「書」のコア・ユニットは、基本的には既存のサブタイエル……通称「賢者の石」の組成をベースとしており、第三理論を用いて物質化した人間の魂を「煮詰める」事で精製

した濃縮魔導結晶体——動力源と情報サーキットを兼ね備えたもの——へ、更に計画において必要となる蒐集・記録の機能等を追加したものである。

そして、当計画の肝であり、また従来型との最大の相違点は、その精製において用いる素材の「量」と「鮮度」の二点にある。

従来のもを一つ精製する為に必要となる素材は、量にして小国一つ分……約数十万単位が最低ラインであり、「鮮度」に関しては、生体反応さえ有していれば良い という程度ものであった。

そもそも、従来技術ではそれ以上の量を用いて精製する事はできず、また加工の際におよそ人間的要因は全て取り除かれてしまっていた為、それら「量」と「鮮度」に関しては、精製方法の確立以来触れられてこなかったのである。

しかし、当計画ではあえてそれら不可侵の二要因へ手を加える事により、まさしく革命的なまでの進化を可能としてゆく。

「量」については、従来の数十万単位を遥かに上回る数十億単位……規模にしておよそ星一つ分を使用し、また「鮮度」に関しても、従来の技術では不可能であったが為に不要であった、「より人間として生きた状態」——物質化した魂でありながら、それ自体が個単位での人間的思考が可能な状態——で精製・結晶化してゆく計画となっている。



それらの試みにより齎される性能は、正しく「桁違い」の一言に尽きるものであり、「賢者の石計画」黎明期における不良品は言わずもがな、現在その完成系と評されているラウド型と比較しても尚、初期段階で遙かに上回るとすら試算されている。

単純なエネルギー量だけを見ても、当計画におけるそれは、従来型同様の掌サイズにして既にエグザミア型動力システム一基分に相当しており、完成の暁には、「永遠の空論」——G—システムのみが成せるとされている、真の無限大にすら至れると考えられている程である。

また、前述のエネルギーのみならず、備わった情報サーキットによる演算能力も、従来型を遙かに凌駕するものとなる。

既存のものがあくまでも「補助」の役割へ留まっていたのに対し、当計画におけるそれは、用いる素材の性質をダイレクトに反映し、コア・ユニットそれぞれ自体が一にして無限なる頭脳となり、一切の外部入力無く自ら思考してゆけるものとして完成される。つまり、「人間」であるが故に命尽きるまで思考を止めず、しかし「機械」として永遠の命を有しているが為に、止まる事無き思考を続ける「無限サーキット」となるのである。次節にて再び述べてゆくが、これこそが当計画において「書」自身の進化を司る重要なファクターであり、『真理』への足がかりを生み出す鍵なのである。

ω節 システムの「鍵」——無限サーキット

そもそも、当計画において真に「書」へ求められているものは、サブタイプエル従来型における「無尽蔵のエネルギー源」ではなく、前節の末尾で触れた「無限サーキット」にある。これは、その大元たる人間の思考が、「進化」と密接なつながりを持つ「欲望」の源泉であり、同時にそれへ道を与える車輪とレールの役割を果たしている為である。

また、進化と欲望が非常に深い関係にあるのは、既に多くの研究において幾度となく取り上げられている事実ではあるが、同時にこの「欲望」の質・量に関して、およそ人間という生物に勝るものは存在しないとも言われている。つまり、「書」の中枢を司り、またそれを動かす火種となる要因こそ、コア・ユニット——人間の成れの果て——が保ち続ける、飽くなき「欲望」なのである。

そして当計画の道筋は、上述の二要因を組み合わせ、「無限サーキット」へ「無尽蔵の欲望」を乗せる事により初めて完成される。

湧き上がる欲望は、「術」という捌け口を得ることにより、さながら鉄砲水が如く、立ち塞がる障害の悉くを突き崩し前へ前へと流れてゆく。つまり、「無限のエネルギー」と「無限のサーキット」——あらゆる空想を現実に行ける「術」——を得た欲望は、如何なる不可能や限界をも超越し、思考という名の歩みを進め続け、やがては『真理』に至れる確率を大いに有しているのである。

この理論のより具体的な例を挙げるのであれば、「書」が備え、また当該画において根幹的な役割を果たす種々の機能が正に該当する。

例えば「蒐集機構」

単なる知覚情報からの模写・複製のみならず、リンカーコアの直接的な吸い上げ、隔離した結果ごとの消化、果ては情報を有した魔導端末の捕食等、正しく「手段を選ばず」行われるこれは、大元を辿れば人間の持つ知的欲求（欲望）へ根差すものであり、前述の様々な手段も、それを満たさんとする「欲望」が、用いることのできる「術」を総動員した結果なのである。

元より、知に対する人間の欲望とは、伝承において片の瞳、更には自らの命すら対価に差し出される程に深いものであるのだ。そこに薄弱な尊厳などが介在する余地は無く、まただからこそ、霊長の祖たる人間は完成されたと言えるだろう。

例えば「防衛システム」

あらゆる手段を用いての専守／積極を問わない自衛行動に加え、如何なる攻撃や干渉をも阻む鎧。そして、自己を保存する為に主すら贄とする転生システム等がこれに該当する訳ではあるが、此方はより判り易く、人間——延いては生物が有する生存本能に依るものである。

極限状況下においては肉親すら犠牲とする人間の性質は、第三理論の処置により不死

身同然となつても尚健在であり、自らの生を脅かす外界のあらゆるストレスに対し、それを排除せんと「術」を動かしてゆくのである。

これらの通り、「無限の欲望」と「無限サーキット」を掛け合わせる事により生まれるものは凄まじい力を秘めており、さながら常人には手のつけられない怪物とも言えるだろう。

そして、そんな怪物を飼いならす事にこそ、当計画と従来のもの、更にはこれまでの我が国における研究方針との明確な差がある。

その目的を問わず、我が国におけるこれまでの研究・開発とは、遍く次元世界と比べ遙かに優れた技術を用いて、自らの力のみで完成品そのものを作り出すものであった。先程挙げたサバティエルに關しても、その開発目的は抽出される無尽蔵のエネルギーにあり、備わつたサーキットはあくまでも副産物に過ぎず、それ故軽視されていた節すらある。

しかし、その程度に留まつている限りこれ以上の発展が望めない事は、我が国の近況そのものが何よりの証明と言えるだろう。現状の停滞は、最早それら小手先の細工でどうにかできるものではないのである。

今や時代は、新しい技術「そのもの」を生み出すのではなく、それを生み出す「進化」

を司る次元にまで来ている。そして「書」こそが、それを成し得る唯一無二の「鍵」と成り得るのである。

ここまで繰り返し述べてはきたが、「無限サーキット」を得た「無限の欲望」により人間の思考は加速し続け、世界の進化そのものにすら追いつき、やがては追い越す事で、『真理』へ至る事すら可能となる。そして、そう成れるだけの道具の成長しんかを司り、それを統べる事によって、延いては我々という存在が『真理』へ到達し進化する。

進化を支配し、真に次元を超越する。それこそ、まさしく当計画そのものなのである。

## 乙項 素材に関して

本項では、「書」のコア・ユニット精製の為に必要となる素材について、採集地やその選定理由について纏めてゆく。

### η節 求められる条件

ここまで「書」の有する様々な機能について述べてきたが、前述の性能スペックを完全なものとする為には、精製する技術のみならず、それを形作る素材に関しても相応の水準が求められるのは、ある意味自然の事と言えるだろう。

だが、理屈の上では一文であったとしても、それを実行するにあたっては、当然ながら様々な障害が立ちはだかる事となる。

まず第一に素材の確保であるが、必要数を確保するだけであれば、手段を選ばなければ幾らでも方法はあるだろう。しかし、如何に次元世界の水準とはいえ、大事を起せば第三者の存在・介入が疑われる事も考えられ、延いては「純粹なる鬭争」へ水を差す結果となりかねない。

また、素材の力を生かす計画の性質上、素材の採集地には高い文明水準が求められる事にもなる。如何に数を揃えたとしても、それが獸同然な蛮人の集合体では、我々が求めるだけの進化を得るには遙かな歲月が掛かり、或いはそれにすら満たない事も考えられる為である。

つまり、素材の採集に際し必要となる条件とは、手段については戦場ぶたいとなる次元世界へ影響が少ない事、そして採集地に関しては、我が国における基準で言えば最低限Bクラスの文明水準を備えた場所である事の二点である。

次節からそれら二条件を満たす為の方法を述べ、選定地の詳細についても同時に触れてゆく。

#### φ節 採集選定地

先に挙げた二要件を同時に満たす事は、通常であれば容易にはいかなだろう。何故ならば、文明水準が高くなるにつれ、社会の異常に対する感覚も敏感となる為である。統一された法すら持たない未開地同然の僻地より調達するのと、合法／非合法問わずあ

らゆる場所へネットワークが張り巡らされた都市から集めるのでは、どちらが社会的な影響を与えにくいかなど、考えるまでも無いだろう。

しかし、その問題は一つの技術の導入により、一手で解決の目算が立つものでもある。それは、並行世界の運営を可能とする第二理論の存在である。

理論そのものが確立された現在にあつても、五大理論が必ずしもその全てを實現・実用できる状態ではない事は、皆様も周知の通りである。第二理論に関して言えば、現在実用可能となっているのは専ら「観測」と「限定的干渉」のみであり、完全なる「運営」を成功された例は未だ確認されていない。

しかし、今回の様に素材を調達するだけであれば、現在の限られた技術でも実現は十分可能である。加えて、五大理論が結果的に我が国の独占状態にある以上、他次元世界は元より、採集地にさえ、前述の「干渉による影響」を考慮する必要がなくなるのである。

(尤も、後述の通り「採集地への影響」はそもそも生じようが無いのだが)

そして、以上の前提を踏まえた上で、今回私が選定地の最有力候補として挙げさせて戴くのは、並行世界のとある非魔導文明世界に存在する、その世界軸において唯一人間型的生命体が住む惑星——該当世界軸における呼称を「太陽系第三惑星」——である。

(言わずもがな、我々の住まう世界軸においても同世界・惑星は存在が確認されているが、星の年齢や文明の成熟度合い等から、本世界軸におけるそれより遙かに未来の姿と考えられる)

当該世界(惑星)は、所謂“科学技術最盛期”の典型例とも言える世界であり、魔導文明こそ有していないものの、高い文明水準・技術力を有している事が確認されている。素材となる数もおよそ60億は揃っており、またそれだけの数を抱えながらも未だ宇宙進出を果たせていない事が幸いとなり、許容量を遥かに超えた器の中で、様々な諍いが水面上下問わず生じている、坩堝という表現が相応しいだけの条件が整っているのである。

当然、それらに裏打ちされる欲望の質と量は他の候補地と比べ群を抜いており、その点だけであれば、次元世界のみならず我が国にさえも匹敵せんとする程である。

#### 8節 コア・ユニットの「中核」

コア・ユニットに約60億分の個体を用いる事は先述の通りであるが、より厳密に言えば、60億個体分そのままとなるのは疑似リンカーコアとサーキットのみであり、主体人格として思考を司る「コア・ユニットの中核」——より人間に近い状態のまま加工される個体——に関しては、その数を数百程度に厳選してゆく計画となっている。

これは、「最高の人工知能」の理論にも通じるものであり、簡潔に纏めれば、如何に「欲



望」に忠実なるコア・ユニットとはいえ——否だからこそ、「60億」という数は多過ぎるのである。

無論、我が国の技術水準からして、制御そのものは可能でこそある。しかし、60億もの数を用いれば当然ばらつきという名のロスが生まれ、また態々その過程を踏まえる理由も必然性も当計画には存在していない。だからこそ、リンカーコアやサーキットといった「軀」はそのままに、中核たる「精神」を構成する素材のみを絞り込み、そこに例えば国や人種といった共通項——判り易い傾き<sup>ベクトル</sup>を投入してゆくのである。

そして、その栄えある代表にして、その存在そのものが選定地に選ばれた理由の一つでもあるのが、該当世界——「太陽系第三惑星」に存在する、とある島国である。

宗教や人種といった判り易い要因ではなく、地理や資源その他様々な要因が偶然重なった結果生まれたとも言えるその国は、先程要件として挙げた同一国家という共通項を有しながらしかし、国として、またそこに住まう人間として、非常に混沌に満ちているのである。

その程度たるや、国家として成り立ったのが奇跡にすら思える程のものであり——或いは、だからこそその希少価値と言えるものであるのかもしれない。

外来文化を取り入れる事に然程抵抗が無く、剩それらを自らのものとして消化・吸収

する事に秀でている という特徴を有する当該国家・またその民達は、軍事や外交などの判り易い力が他国と比べ圧倒的に劣っているにも関わらず、ただ娯楽に対する熱意のみに関しては、他の追隨を許さない程に強い という一面を有しており、「欲望」を動かす中核としては十分過ぎるだけの土壌を備えていると言えるだろう。

加えて当該国家では、娯楽の一端たるサブ・カルチャーの領域において、当該世界が魔導文明を有さないながらも、所謂非現実的な存在を扱った題材が非常に大きな勢力を占めているというデータも存在している。それらの中には「一度死を迎えた後再誕を果たし、同時に強大な力を得る」という典型も存在しており、或いは当計画の為に生まれ  
た国とさえ思えてしまう事だろう。

当該国民の現実に対する劣等感と逃避の考察は別の機会にするとして、人間的思考の保存に際する負荷軽減の意味合い以外であつても、彼らを中核に用いる事は非常に好条件が揃っており、ともすれば彼ら自身でさえ喜んで受け入れるのでは と私個人は考えている。

〵  
〵  
〵  
〵  
〵



中央技術開発局局長

国立魔導学院名誉教授

総合次元文明管轄協会理事

「美しき星空の会」代表

ナハトヴァール・Y・E・アルハザード

## 【断罪か】 お前の罪を数えろ 【贖罪か】

2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID : n  
@10bZ@m

とりあえずは立て乙

6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID : n  
@10bZ@m

乙。して何のスレよ

8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID : n  
@10bZ@m

まあスレタイからして良いもんじゃないだろーがな

10 : 管制人格 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID : n@10b  
Z@m

前スレから時間も空いてそろそろ落ち着いただろうから

それを踏まえて今後を話し合ったり愚痴を言い合ったりする目的で立ててみた  
んですが

1 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 n @ 1 0 b Z @ m I D :

今後つて何だよ今後つて

1 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 n @ 1 0 b Z @ m I D :

中部アフリカにある共和制の国だろ

1 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 n @ 1 0 b Z @ m I D :

>>> 1 3

空気嫁

1 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 n @ 1 0 b Z @ m I D :

どうせ何しても原作通りになるんだろ？

なら我々が此処で何考えてもしやーないやん

2 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 n @ 1 0 b Z @ m I D :

>>> 1 8

そうやってほったらかしにしてきたから今みたいになってるんだろーが

21 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

激流に身を任せた結果がこれだよ！

25 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

というか細かい所でも相違点が生まれてる以上

どう足掻いても「原作」通りにはもうならない訳であつて

26 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

足掻いたら足掻いた分また原作から乖離するだろうしなどうせ

28 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

そもそも我々の存在そのものがイレギュラーな訳ですしおすし

29 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

原作でも裏ではこんな感じだったとは思いたくないなあ…

30 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 ID :  
 n@10bZ@m

もう原作なんて参考資料程度にしかならんだろ実際

34 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 ID :  
 n@10bZ@m

>>>30

だからこそ皆で話し合うんじゃないの？

100人単位いけば文殊とまでは行かずとも多少はマシな案ぐらい出るだろ流  
 石に

37 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 ID :  
 n@10bZ@m

まあ案が出た所でどうにかできるとは思えないけどな正直

39 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 ID :  
 n@10bZ@m

そうやって何かあれば無駄に話し合おうとするのが日本人の悪い癖だ

42 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 ID :  
 n@10bZ@m



>>37>>39

またそうやって話に水を差す

43 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
ID :  
n@10bZ@m

一部の極端な例だけで典型と決めつけちゃう人って:

46 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
ID :  
n@10bZ@m

無駄な会議と判子押しが日本人の悪癖なら斜に構えて直視しないのはネット住人の性質だ

47 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
ID :  
n@10bZ@m

少しは信じようって気はないのですかい

48 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
ID :  
n@10bZ@m

>>47

こんな世の中で一体何を信じろっていうのさ

49 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
ID :

n@10bZ@m

だよなあ

55 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

悪癖云々はさておきこんなスレで生産的な事なんて無理難題だろ

57 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

ぶつちやけ話し合いよか痰壺の方がメインになりそうではあるよな

58 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

&gt;&gt;&gt;57

何だ今まで通りか

61 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

実際100年後なんてどうでも良いのが人間ですし

63 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

&gt;&gt;61

どこのマーセナスだよ前は

64 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

&gt;&gt;61

シャベルナアアアツ!! (AA略)

66 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

1000年後だろうとしぶとく生き延びてそうではあるがな我々

72 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

それにしても蓋を開けてみればなんとというか随分なものだったな我々の中身

75 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

よもや転生じゃなかったとはな

76 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

まあ輪廻からは逃れられてないがな

77 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

逃れられない(業)

81 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

>>>77——>>>80

このレスも最早お約束だな

83 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

つかそもそも厳密に言えば死んですらいないし

85 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

かといって生きてる訳でもないがな

86 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 ID :

n@10bZ@m

連中の判断基準的にはあくまでも「物」だからそもそも生き死に無いがな

88 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 n@10bZ@m

限り無く人間に近い (人間とは言っていない)

89 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 n@10bZ@m

>>88

アルハザード特有の外法解釈やめろ

90 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 n@10bZ@m

まあなりふり構わずここまで存在し続けてる時点で人間というか生物じゃない  
 わなマジで

94 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 n@10bZ@m

永遠不変……まさしく神の領域……!

96 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 n@10bZ@m

>>94

パパは光にでもされてろ

100 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bz@m

しかし魂の物質化といい並行世界といいアルハの連中は月厨かよ

101 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bz@m

これだから儲は

104 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bz@m

アルハザードの連中にも世界観は大ウケだったじゃないかよかつたな(棒)

107 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bz@m

申し訳ないがマナーを守れない連中はNG

111 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bz@m

つか賢者の石云々はハガレンやろ

115 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

I

D : n@10bZ@m

ハガレン理論ならホムンクルスよろしく一応限界はあるんでねーの？

1 1 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;115

等価交換ガン無視な時点でお察しよ

1 1 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

こういう所ばかりご都合主義が過ぎる

1 1 9 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

リスクあつての力だるうに何故薄っぺらくしたがるのやら

1 2 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;119

苦味の良さが分からないお年頃なんだろ

1 2 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

I

I

I

I

I

D : n@10bZ@m

マジレスするとこうして駄弁ってられる以上現在進行形で

魂としてエネルギーを生みだし続けてるから限界なんて実質無い

126 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;123

成程判ら……ない事もない

128 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

理解できちやうど辺り大概賢しくなったよな我々も

130 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;128

少なくともこの間のアレで確実に知見は広がったよな

131 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

原因が原因だけに嬉しくも何ともないがな



140 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bz@m

その小賢しさでついでに教えてくれよ  
 結局なんで自爆その他はできないのさ

141 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bz@m

>>>140

この間も散々解説したが要するに

「自爆する」って意志の前に「死にたくない」って本能が優先されちゃってる訳よ  
 まあそれでも生身の人間なら衝動的にやれる事もあるのかもしれない

一応我々アルハ連中の手が加わった工業製品でプログラムだからな極論

大原則には逆らえんしそうでなくとも衝動を事にできる手段が無い

結論自爆だ自殺はできない訳よ

142 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bz@m

なんやかんやで「死にたいか」と聞かれたら「No」と答えちゃうものな実際  
 はやての下に来てからは尚更

143 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

その所為ではやてを苦しめるとは理解してるんだがな…

145 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>143

そう簡単に割り切れんのが人間なのさ

148 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>143

その未練の大きさはやてつつー存在の有り難さに同義だからしゃーない

154 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

ちな補足だが

所謂「どんな障害にも対応できる」のはそれが人間の考え付くものの範疇にある

からだな

そうである限り対策なんて幾らでも「後付」できちやう訳やし

156 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まあこれまでも「スゲー」とは思ってもマジで「理解できない」事は無かつたし  
 な

159 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

クトウルフだろうとゲッターだろうと考えたのは同じ人間だしな

生産者じゃなくとも消費者として受容してた以上「理解」はできてるし

だからこそそれを現実にてきちやうのが今の我々だものな

162 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

無敵と謳われた聖王の鎧だつて壊すだけなら如何様にもできるしな

163 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

そら我々の力ならどんな理不尽でも後付できちやうし

164 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

どっかのホラ吹きみたいなものか

166 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

チートと言えばチートだな。ずる的な意味で

170 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

我々自身の意志ではコントロールしきれてないのが最大の難点ではあるがな

175 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

つかここまでさも他人毎の様に話してるが住人も大概危機感無くないか？

176 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

危機感無いのはいつもの事だろ

178 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

>>175

ならどうしろって言うのさ

180 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bz@m

どうするじゃなくてあまりにもお気楽過ぎる事を言ってるんだよ

181 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bz@m

それも改造の所為なのさ

182 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bz@m

>>181

そうやって何でも改造の所為にするが実際住人側にも落ち度はあるんじゃない

の？

183 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bz@m

何やらきな臭くなってまいりました

184 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bz@m

まあ住人が潔白かと聞かれればNoとしか言いようが無いわな

187 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

投遣りだったとはいえふざけてたのも確かだしな

そら悪いか悪くないかで聞かれれば間違いない後者つしよ

190 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

ほーんで？

191 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

謙遜というか自虐もここまで極まるとうざいの一言に尽きるな

192 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

はいはいワシのせい (AA略)

195 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>182

そうは言うけど具体的に何か打開策あんの？

196 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

できるできないじゃなくてそういう考え方のものについて言ってるんだよ

197 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

そうやってなあなあにし続ける事こそ連中の思う壺なんじゃないの？

199 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

ならどうしろと

200 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

具体案も出さずに否定するだけとか猿でもできんぞ

202 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

こうした内紛は思うつぼじゃないんですかねえ：

206 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

つか一番の問題は我々がどうこうよりも

全く関係の無い筈の女の子一人にツケが回ってる事だろうに

207 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

まあ少なくとも今までは自発的な意志だったり家柄だったりで

少なからず関わり合いがあったからな

209 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

今回は全く縁もゆかりも無い筈だろ世界的にも家系的にも

210 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

普通に考えれば彼女の人生には本来居なかった筈の存在だものな

214 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

まあそれでなくとも健気に生きてきたみなしごへ背負わせるものじゃないだろ

うに

216 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I



D : n@10bZ@m

>>214

それが彼女のデステニーなのさ

217 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

みなしごの下へ流れ着いたのではなく我々が来た故にみなしごとなった可能性が微レ存…?

219 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

まあアニメでもエロゲでも両親の存在程目障りなものはないから仕方ないね

220 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>216 | >>219

お前ら揃いも揃って何様だよ

221 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>216

そんな運命マジ ●●●●

2 2 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

今マジで親が邪魔とか思った奴そこに並べ修正してやる

2 2 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

>>> 2 2 3

だから個々人の考え方じゃなくて世界そのものがそうだって言ってるんだよ k s

2 2 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

少なくともリアルでそんな事思う奴いないだろ大人になれば

2 3 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

果たしてこのスレに大人と呼べる奴が何人居る事やら

2 3 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

>>> 2 3 0

そうやって自分だけは違うアピールですかそうですか

2 3 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

大人大人言うやつが一番ガキなんやで

2 3 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

大人になれば良いってもんでもないと思うがな

2 3 9 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

汚いさすが大人汚い

2 4 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

これだからおとなは！

2 4 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

おまいらもちつけ

つ旦

246 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

飲んどる場合かーッ！

( ㊦ )

( ☆ ) ( ☆ ) >> 245

247 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>> 246

okその態度戦線布告と判断する

250 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

こんな時に冷静 ( ) とかタマなし野郎の妄言だろ

251 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>> 250

これは突っ込むべき所なのだろうか

258 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

まあでも何だかんだ言って原作キャラというか誰かがどうにかしてくれて  
 気持ち

どっかにあっただらうね皆

260 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>258

あつたというか今もあるというか

261 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

多分今こうしている間にも心の何処かにはあるんだらうな

265 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>261

思考だけは未だ人間のままだからな

良くも悪くもそういつた楽観視というか希望的観測は心のどこかにはあるだろ

うさ

268 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

果たしてそれが本当に希望なのかはまた別だが

269 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

希望の光V (嘲笑)

270 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>>269

真ゲスはやめてさしあげろ (懇願)

272 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

ホープ自壊で機皇帝召喚とかいう救いの無いコンボ

275 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

改変された未来で絶望野郎は幸せになれたんだろうかね

277 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

そろもう友人達と和気藹々の上恋人とも添い遂げられて大勝利ですよ

278 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

我々はまさしく行き詰まりだな

279 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

これが絶望のターンエンドか

285 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

もうここまでくるといつそ一思いにやりたくなるよな

288 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

>>285

もしかしたらマジでそっちの方がはやてを苦しめずに済むかもな

290 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

I

I

I

I

I

少しでも幸せな間に全て終わらせるって訳かい

292 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

そうすりゃ少なくともはやての中では幸せが永遠になるものな

294 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

最後の一人じゃないが実際我々には破滅の引き金を引ける「権利」があるものな

295 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

>>285 | >>294

いやいや待て待て焦るな落ち着けこれは孔明の罫だ

297 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

おいおい何さりげなく破滅思考へ進んでるんだよ

298 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bz@m

いかん危ない危ない……



300 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>>285 | >>>294

これも改造の影響だということか

304 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

いや待てこうして疑ってかかる事こそ本当の孔明の罫かもしれん

305 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>>304

いやいやそうして疑う事を疑う事さえ孔明の (ry

308 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

以下無限ループ

310 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

※ここまでテンプレ

3 1 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

※ここからもテンプレ

3 1 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

※以下ずっとテンプレ

3 1 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

また無限ループが始まるお……

3 1 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

殺伐としたスレに193爆現!!

／H\  
 9 1 3

(#0M0)へお前今、俺の事笑ったな……? ?

3 1 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

間違えたこつちだ

3 1 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n@10bZ@m

>>315

どんなミスだ

3 2 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n@10bZ@m

>>315

ミスさえなければ素直に感動できたものを……

3 2 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n@10bZ@m

>>315

そしてこのAAの手抜きっぷりときたら

3 2 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n@10bZ@m

なんというかももう流石の住人である

3 2 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0 I

D : n @ 1 0 b Z @ m

なんか > > 3 1 5 が > > 1 9 3 を狙撃した気がしたが全く以てそんな事はな  
かったな

3 3 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0 I

D : n @ 1 0 b Z @ m

まあスレの鎮静化自体には成功したがな

3 3 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0 I

D : n @ 1 0 b Z @ m

ありがたや……ありがたや……

3 3 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0 I

D : n @ 1 0 b Z @ m

そういやこんなのも描いてたな

3 3 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0 I

D : n @ 1 0 b Z @ m

画力云々はさておき心には来る絵ではある

340 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

ちやんと我々も描いてある辺りまたね

342 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

つか何時の間に取りこんでたんだよ

343 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

ええじゃないかええじゃないか

348 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まあ確かに今一番辛いのは我々じゃないな

349 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

「家族」へ心配掛けまいと必死なんだろうしな

350 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

健気というか何と言うか

3 5 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

泣いたって良いのよもう

3 5 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

泣きたい時に泣けるのもまた強さだとかなんとか

3 5 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

しかし泣きつける相手が居ないのもまた事実だ

3 5 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

泣きたい時に親は無しってか

3 5 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

まだ一人立ちには早いぞ

3 6 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

I

I

I

I

I

I

D : n@10bZ@m

主として頑張らんとしている節があるからな

別にそこまで気負わんでもええのに

361 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

愛されるにはまず愛さなければならぬってどこそこのマザコンが言ってたが

その愛だつて愛される事で初めて学ぶものだろうに

362 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

卵が先か鶏が先か

363 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

だから卵から生まれるのは雛だと (ry)

364 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;&gt;363

マジレス乙

368 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

我々で良ければ何時だって胸を貸せるのにな(服をはだけつつ)

369 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>368

その貧相な胸板しまつとけよもやし

370 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

87のEが俎板と申すか

372 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>370

それだってデータ上の存在ですよん

375 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

気持ちだけじゃ駄目なのさ



378 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>375

それだつて大切なものだとは思うけどな

387 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

というか随分住人も落ち着いたな

389 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

これは>>315もとい>>316に感謝せざるをえない

390 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

>>316に乙せざるをえない

391 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

>>316に霸王翔吼拳を使わざるを (ry

393 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;389—&gt;&gt;392

落ち着いた途端にこれである

395 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

まあらしいといえばらしいがな

398 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

そういや昔クラウス君がバイクに乗ってカチコミかましてたのを思い出したが

まあどうでも良いですね

399 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;398

すごくどうでもいい

400 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;398

I

彼も霸王だから特段驚く事でもないな

401:名無し・オブ・月曜日:2004/12/10(雨)02:00:00 I

D:n@10bZ@m

>>389

ベルカでは良くある事

405:名無し・オブ・月曜日:2004/12/10(雨)02:00:00 I

D:n@10bZ@m

そーいや現代日本はどうなってるのよ

406:名無し・オブ・月曜日:2004/12/10(雨)02:00:00 I

D:n@10bZ@m

相変わらず政界は迷走している

408:名無し・オブ・月曜日:2004/12/10(雨)02:00:00 I

D:n@10bZ@m

六カ国協議に人間国宝が手掛けたとかいう麻雀牌持ち込んでた時点でもうね

411:名無し・オブ・月曜日:2004/12/10(雨)02:00:00 I

D:n@10bZ@m

第二次改造あの人内閣真っ只中だからしやーない

4 1 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

そつちも凄い気にかかるが原作的な意味でだよ

4 1 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

確かなのはさんぶつこ抜き済みのカートリッジ導入済みだっただろ

4 1 9 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

戦闘ログにもエクセリオンらしきものが確認できるしな

4 2 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

猫姉妹 : : じゃなかった仮面の男 (CV : 日山) も既に動き出してるし

4 2 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

仮面の男 : : 一体何リーゼなんだ :

4 2 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

I

I

I

I

I

I

大穴でジョンプル

4 2 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

>>>425

ジジイ無理すんな

4 3 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

つかそこまで進んでるって事はあのSLBも蒐集されたんだよな

4 3 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

もちシヤマル先生經由でバツチリと

4 3 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

つか先生やっぱり最初の一撃は外したのな

4 3 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n@10bZ@m

まあそれが先生だからしゃーない

4 3 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

しかし実際はSLBと言えども大したことはなかったという

4 4 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

そらまあ何でもありな時代を散々見てきたからな

過度な期待を抱いてたのも事実だろうし

4 4 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

正直あの程度の砲撃なら鼻ほじりながらも楽勝つすよ

4 4 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

>> 4 4 3 流石にイメージ台無しだからやめろ

4 4 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

実際あれって力任せ勘頼みでその辺の魔力を無理矢理束ねてぶっ放してるだけ

だしな

450 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>>448

本当は細かい計算その他もあるだろうがまあ概ねそんな感じだな

458 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

酷い言われようだな

確かに我々の持つ技術と比べりゃ拙くはあるが

460 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

我々がその気になれば使用済み魔力だけじゃなくて龍脈その他からも吸い上げ

られますし

461 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

>>>460

おう名前を言っつてはいけないキャノンやめろや

462 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

使えば10000年は生物が住めなくなるアレか

463 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

汚染区域化待ったなし

464 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

ノーモア人類の過ち

465 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

我々自身が既に過ちの塊なんだがな

466 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

そんなこんなエロボディしてれば過ちの10や20一晚で余裕ですよ

470 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;466



この目に見える地雷感

471 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

滑ったという他なし

474 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

ちな最高記録は一晩で約60人って記録に残ってた

475 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

22 | 5時換算でも一人およそ7分なんですがそれは…

476 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>> 475

早すぎイ!

478 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

同時に複数という選択肢があっただな

480 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

相変わらず下品な方向にだけは絶好調だなしかし

481 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

本当にもうすみません色々

484 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

SLBに話を戻すが結論着想だけは良いとしか言いようがないな

流石に我々と比較するのは酷過ぎる気もするが

485 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

管理外世界の9歳児が使うって点だけは凄いやないか

術式自体の目新しさは特に無いけどな

487 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まあ今の今更目新しさなんてそうそう無いだろ我々にとつちや

489 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

使用魔力の回収というか後半の切り札的なのはバオウっぽくて個人的には良いけどな

490 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>>489

あらゆる結界や防御その他を食いつくすのはまさしくそんな感じだな

492 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

残念ながら我々に対しては初期装備の騎士甲冑すら抜けないと思うけどな

493 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

我々が理解できないような超性能が備わってる訳でもないししやーない

494 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

それどころか実際に戦うとなればリアルにチャージなど（ryになりかねない訳

であつて

495 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

こっちはチャージが必要ないとか何処の烈メイオウですか

498 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

そーういや現状のままではやてが覚醒したらどうなるのかね

500 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;498

それは戦闘力的な意味でか?

501 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

暴走云々の方だろjk

505 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

A. どうにもならない。現実是非情である

507 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

この間のアレで「本体」が我々である事が判つちまったからな  
 極論はやて本人の意志なんて関係無いし

510 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

欲望その他が全くと行ってよい程無いつて主は多分初めてだが  
 それすら何ら障害足り得ないからな実際

512 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

逆に抵抗力無い分一瞬で陥落しちやいそうな気もする

513 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

そもそも抵抗だ陥落だつて認識すら無いだろ

517 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

いやまあ抵抗力云々はさておき流星にはやてにだつて欲ぐらいあるだろ

人間である以上欲が全く無いってのはあり得ないだろうし

5 1 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

e x ( ) 。 ∇ ( ) 。 o ミ。おっばい！おっばい！

5 1 9 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

>>> 5 1 8

いやまあ確かに判り易い例ではあるが……

5 2 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

飽くなき乳への欲求が世界すら破滅させるといふのか……

5 2 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

百合ハーレム築くだけならまだマシだがな

5 2 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0

D : n @ 1 0 b Z @ m

冗談はさておきはやてだつて人間だから自覚無くとも恨みつらみぐらい抱えて

るだろ

特に境遇が境遇だから普通の同年代以上だとは思わず実際

524 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

あの性格だからこそ目に見えて無いだけで普通そうなるよな

つかそうあつて然るべきだろ

527 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

やっぱりこのまま覚醒しちまったらアウトって事かいね

529 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

この分じや真実を全て知った上で我々の存在を知覚しただけでも駄目だと思う

けどな

530 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

そういうはやては「夜天の書」としての我々を知ってるんだっけ？

531 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

I

D : n@10bZ@m

原作じゃ夢枕に立ったりしてたが少なくとも我々はそんな事してないな

533 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

まあ精神汚染回避で記憶消去せざるを得ないからどの道変わらんがな

536 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

少なくとも全てを知った上でじゃ他の騎士と同じ様な対応はできないだろ

両親殺した上今の幸せすら奪おうとする諸悪の根源だぜ？

538 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

結局はやての両親殺したのは我々でFA？

541 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;&gt;538

確たる証拠が無いから何とも言えんが何かしらの因果はあるだろ

544 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

I

I

I

I

I



D : n@10bZ@m

何れにせよ全てを知った上じや良い顔はされんだろうな

545 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

まあそれが普通の反応さね

546 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

それでも受け入れるとか最早聖人レベルだぞ

547 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

博愛つてレベルじゃ (ry

550 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

我々自身ははやてへの好感度高いんだがな

552 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

そんなもんさ人生

5 5 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

気持ちは何時だつて一方通行よ

5 6 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

つか話は変わるが11年前のログが見つかったつて本当？

5 6 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

>>>564

本当も何もとつくにうpされてたろ

5 6 8 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

今まではどんなに探しても見つからなかった筈なのにな

5 7 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

例のが公表された直後に見つかったんだっけ

5 7 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;570

それも探せば直見つかりそうな場所だな

572 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

これも改造というか認識できていなかった影響かね

574 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

異常を異常と捉えて直見つかったんだから多分そうだら

577 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

&gt;&gt;574

その異常を異常と認識するのが一番大変なんだがな

実際過去ログの中でもそうだったし

579 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

まあこんな状態がずっと続いてりや視野も狭くなるし融通も利かなくなるよ

580 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

重要な事は転生でパーになる事が過去ログの存在で明らかになったしな

583 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>580

果たして自己防衛なのか都合の良い改竄なのやら

584 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

どっちにせよ良いものではないよな

590 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

でも何で今回はこうも早い段階で気付けたのかね

591 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

そういや11年前のは結果的とはいえ最後の最後だったしな

593 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

>>590

知ら管

594 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

まあ歴代と違う点を挙げりゃキリがないわさ

その内のどれか複数合わさった結果か何かじゃね？

596 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

えらい投げやりだな

598 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

それが判った所で何かできる訳でもないしな

そりや適当にもなる

605 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00

D : n@10bZ@m

で、肝心の過去ログの内容はどうだったのよ

606 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

>>605

だからうpされてると(r y

608 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まだ読んで無いいのかよ

611 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

いやスマン正直なんか気後れして…

612 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まあ確かに読んで気分良いもんでもないしな

613 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

14歳ぐらいのノートを読み返す感じ?

615 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m

>>613

だとしたらシックスぐらいはインパクト起こしてる14歳になるな

616 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004/12/10 (雨) 02:00:00

I

D : n@10bZ@m

まじ切れたナイフ

619 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004/12/10 (雨) 02:00:00

I

D : n@10bZ@m

11年前とは言うが大体どのあたりなのよ

620 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004/12/10 (雨) 02:00:00

I

D : n@10bZ@m

>>619

先代共々捕縛されてからのエステリア内スタート

正確に言うとはエステリアからではないんだけどな

622 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004/12/10 (雨) 02:00:00

I

D : n@10bZ@m

つかそんなに酷い内容なの？

6 2 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

酷いも何もマジで人間辞めるとしか言いようの無い所業がわんさか

6 2 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

そういう風に作られてるとはいえ自発意志で人間殺してる訳だしな

しかも非戦闘員まで構わず

6 2 7 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

まあ所謂心神喪失状態だからしゃーないなんて言えるかヴオけ

6 3 0 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

アレ最後に正気に戻っただけマシなんかね

6 3 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b z @ m

おれは しょうきにもどった!

6 3 4 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 I



D : n@10bZ@m

いやいや正気に戻った分かえって地獄だろ

635 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

記憶が飛んではいたが原作キャラを手に掛けたのは紛れも無く我々自身の意志

だったからな

状況的に仕方が無かったとはいえ

636 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

>>635

あれはあれで次善だったとは思うけどな

637 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

むしろ偽善だろ

640 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00 I

D : n@10bZ@m

そういうえば記録上最後の犠牲者は現状クライド氏なんだなやつぱ

6 4 1 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

>>> 6 4 0

おうネタバレやめろ

6 4 2 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

バレも何も上つ面原作通りに進んでる以上当然だろ

6 4 3 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

ネタバレ : クライド氏は死ぬ

6 4 5 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

なお凶器は素手の模様

6 4 6 : 名無し・オブ・月曜日 : 2 0 0 4 / 1 2 / 1 0 (雨) 0 2 : 0 0 : 0 0  
 D : n @ 1 0 b Z @ m

>>> 6 4 5

普通に考えれば可笑しい話だがベルカじや有り触れた例なんだよなあ…

647 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

徒手空拳も要するに素手だからな

649 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

まあその気になればでこぴん一発で空間軋ませられるスペックだからな

655 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

つか俺もまだ読んで無いんだがやっぱ見た方が良いの？

656 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 I

D : n@10bZ@m  
 >>655

端役とはいえ原作キャラが素粒子レベルにまでバラバラにされる事に耐性あれ  
 ばおk

657 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
 D : n@10bZ@m

つか耐性無くても読め

658 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

住人、既読は義務です

660 : 名無し・オブ・月曜日 : 2004 / 12 / 10 (雨) 02 : 00 : 00  
D : n@10bZ@m I

じゃけんリンク貼つときましようね

〔過去ログ : ミッド歴54年 X月X日〕



次の本スレか？

にしては随分と妙な感じだが

8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a

唐突な上1にネタも何もなかったしな

10 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

で、今は何処の何年なのよ

12 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

何年どころかさっきの状態のまんま続きだな

場所は言わずもがな

13 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

>>> 12

お前の主観じゃ判んねーよ

と言おうとしたが本当に「さっき」の続きなんだな

15 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

具体的に言うところの猫姉妹に回収された直後でござる

16 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a

>>>15

解説乙

17 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a

完全に追い詰められていたあの状態で次スレを立てるとは流石の我々である

18 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a

ネット住人の鑑やな

19 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a

しかし実際そんな余裕あったのか？

嫌でも解けなかったユニゾンさえ強制解除された程だぞ





起ちさえしない奴に比べれば多少はマシだがな

26 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

しかし所詮はドングリ・コンペディションである

27 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

つまりこの俺のゴールドフィンガーの一番という訳か

28 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

>>>27

そうだな。対自分に関しては歴戦の勇士だものな

29 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

相変わらず品の無いスレだなしかし

30 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 00 : 00 : 00 : 00 I D : a a a a a

a a

>>>29

そもそもスレに品性を求める発想自体がおかしいのだよ

a a  
3 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

つか我々を封殺していたアンチプログラムはどうしたのよ

a a  
3 3 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

例によって例の如く消化されたんでね?

a a  
3 4 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

またですか

a a  
3 5 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

自らを殺す為だけに生み出されたものを捕食するとか

悪食ってレベルじゃねーぞ

a a  
3 6 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

アンチさん(仮)の姿が影も形も見えん以上否定できんな

38 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00  
 a a I D : a a a a a

普通に蒐集されたんと違うん？

我々への悪影響は兎も角「蒐集物」として見れば中々に優良株だったし

39 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00  
 I D : a a a a a

a a

>>>38

さりげない自慢 : さてはアンチだなオメー

41 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00  
 I D : a a a a a

a a

まあ実際管理局、延いてはミッド系の叡智が結晶と呼んでも差し支えない代物だ

しな

コレクションの一つくらいの価値は十二分にあるかと

42 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00  
 I D : a a a a a

a a

込められた想いを汲みとって尚踏みに行るとか流石です

43 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00  
 I D : a a a a a

a  
a

まあそんな事はどうだって良い

4 4 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : a a a a a

a  
a

今の今更問題にするような事でもないしな

4 5 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : a a a a a

a  
a

そうとも。それより今の我々にとって重要なのは

「ユニゾンせずに」、もっと言えば「主不在で」こうして起動した事だ

4 6 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : a a a a a

a  
a

単独起動もそうだが “この姿で” かつ

“ちゃんとした状態で” 現実の世界に出てきた事も始めての筈だろ

4 8 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : a a a a a

a  
a

いわゆる受肉ってやつですか

4 9 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 ID : a a a a a



より正確に言えば「主からの命令に対し応答する事」だけどな

a a  
5 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

しかし何と申すか……まあ始めての感覚ではあるな

a a  
5 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

(小並感)

a a  
5 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

言うても悪いもんじゃないですよん

a a  
5 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

むしろ今の状態がよりしっくりくるんだが個人的には

a a  
6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

>> 5 9

そら歴代のアホ共の好きなように使われてきた今までがおかしかった訳だから



a  
a

なんと生き汚い事よ

6 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a a

a  
a

我々がそれを言うか

7 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a a

a  
a

しかしならどうするよ

7 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a a

a  
a

どうするって？

7 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a a

a  
a

言わずもがな

“元”主サマの処遇についてですよ

7 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a a

a  
a



それこそ今更口にする事でもないな

7 4 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a

全く以て

7 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a

血であり力でもある魔力は十全

我々という存在の要たる演算能力に曇りは無し

加えて今までは無かった「自由に動ける身体」も手に入った

これ以上何か必要か？

7 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a

むしろ不要なものからピックアップしていった方が早いぐらいだ

7 9 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a

>>>78

で、その「要らないもの」のいの一に一番に挙げられるのは何よ



a  
a

これぞ古代ベルカ流よ

8 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a a

a  
a

アイゼン「一体何時から和平の使者であると錯覚していた？」

9 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a a

a  
a

&gt;&gt;89

なんとという伯爵

9 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a a

a  
a

で、肝心の主様は何処よ

9 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a a

a  
a

船内のどつかにいるんでねーの？

9 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a a

a  
a

の割には随分と反応が小さい気がするんだが

97 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a

元々小さかったけどな

色々と

100 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

どうやらそもそも別の船に居るらしいな

「二番艦」って所にそれらしい反応がある

101 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

ちな我々が今いるのは一番艦で要するに旗艦な

104 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

成程、万一を想定しての分断護送って事ですかい

105 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

まあ管理局も馬鹿じゃないからな

それぐらい普通にするだろ

107 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a)    00 : 00 : 00 : 00    I D : a a a a

a a a

>>>104

でも態々旗艦に爆弾積むような真似するのはどうなのよ

108 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a)    00 : 00 : 00 : 00    I D : a a a a

a a a

大方艦隊司令やってたグレアムの策だろ

最悪自分が犠牲になっても水際で食い止めるとか何とか

109 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a)    00 : 00 : 00 : 00    I D : a a a a

a a a

地位権利の有効活用やな

110 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a)    00 : 00 : 00 : 00    I D : a a a a

a a a

古い先短い老人ならではの発想とも言える

まあ多分まだ50後半ぐらいだとは思うが

1 1 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>> 1 1 0

平均就業年齢の低い次元基準じや既に化石扱いなんだろ  
 1 2 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

中々に賢しい真似をしてくれるじゃないの

流石に提督を務めているだけはある

1 2 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

つかそれってつまり危険度で言えば 我々 (道具) 主 って事ですよね

1 2 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>> 1 2 1

ワロタ w w w 管理局にさえそう思われてるのかよ

1 2 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

I D : a a a a a

>>121

何とも情けない話だな

125 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    00 : 00 : 00 : 00    ID : a a a a

a a a

しかし実際の射ている

129 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    00 : 00 : 00 : 00    ID : a a a a

a a a

まあ今更誰が何考えてどう対処しようと無駄な話なんだがなこれが

130 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    00 : 00 : 00 : 00    ID : a a a a

a a a

本体へ直接ぶっ差したアンチプログラムの作成

+ 部屋を丸事包む多重結界の設備

+ 区画そのものを切り離せるようにする為の改修費

一体いくら掛かった事やら

131 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    00 : 00 : 00 : 00    ID : a a a a

a a a

税金は投げ捨てるもの

1 3 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

どうせ無駄に浪費すんならその分直接我々にくれよ

その方がよっぽど有意義だ

1 3 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>> 1 3 4

なんとという超理論

1 3 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>> 1 3 4

天才か

1 3 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>> 1 3 4

ある意味効率的ではあるが

1 3 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a



a a a

&gt;&gt;&gt;134

根本から破綻してる点を除けば概ね正論だな

140 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

何はともあれ虚数空間さえ克服した我々に越えられぬ壁など存在しない

141 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

じゃあ二次元と三次元の壁を壊してくれよ

143 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt;&gt;141

既に我々自身が越えてるじゃマイカ

144 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

言われてみれば確かに

145 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a  
a  
a

本当に壁無いんだな

147:名無し:XXX<sub>X</sub>X/Y<sub>Y</sub>/Z<sub>Z</sub>( $\alpha$ )

00:00:00:00

I  
D:  
a  
a  
a  
a  
aa  
a  
a

とにかく元主の下へ直接ジャンプ!

148:名無し:XXX<sub>X</sub>X/Y<sub>Y</sub>/Z<sub>Z</sub>( $\alpha$ )

00:00:00:00

I  
D:  
a  
a  
a  
a  
aa  
a  
a

そして到着

149:名無し:XXX<sub>X</sub>X/Y<sub>Y</sub>/Z<sub>Z</sub>( $\alpha$ )

00:00:00:00

I  
D:  
a  
a  
a  
a  
aa  
a  
a

早い、早すぎるよ

150:名無し:XXX<sub>X</sub>X/Y<sub>Y</sub>/Z<sub>Z</sub>( $\alpha$ )

00:00:00:00

I  
D:  
a  
a  
a  
a  
aa  
a  
a

本当に「一瞬」だったな

151:名無し:XXX<sub>X</sub>X/Y<sub>Y</sub>/Z<sub>Z</sub>( $\alpha$ )

00:00:00:00

I  
D:  
a  
a  
a  
a  
aa  
a  
a

僅か0.05秒ってのは実際こんな感じなのな

152 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

感慨も何もあつたもんじやないぜ

153 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

元マスター殿もポルナレフ状態の様子で

154 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

誰だつてそーなる

俺だつてそーなる

156 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

しかしこのアホ元主の酷い有様なこと

157 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

簀巻き同然の拘束は兎も角顔がwww

158 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)  
 00 : 00 : 00 : 00  
 ID : a a a a

a a a

鉄拳制裁喰らった痕がくつきり残つとるがな

a a a  
 1 6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

これ公になつたら不味いでねーの？

a a a  
 1 6 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

どうせミッドに着く直前に治療すんだろ

a a a  
 1 6 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

むしろ公判直前でも十分じゃね？

a a a  
 1 6 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

それだけ聞けば酷いもんだが

真つ当な裁判を受けられる時点で感謝せにやならんのだよな本来

a a a  
 1 6 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

まあ直にそれも関係無くなる事ではあるがな

1 6 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

もとあるじが たすけてほしそうに こちらをみている

1 6 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

>>>167

No No! NO!! NO!! NO!!!

1 6 9 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

こうして独立起動できた以上生かしておくメリットなんて無いしな

1 7 0 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

むしろ不安要素というデメリットしか無い訳で

1 7 4 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

まあそう言うなよ皆

この碌でなしサマでも我々をこれまで散々「可愛がつてくれた」じゃないか

1 7 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

せやな。立つ鳥跡を濁さず って言うし

1 7 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

最後に皆で心を込めて「お礼」をさせて戴こうじゃないか

1 7 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

Yes Yes! YES!! YES!! YES!!!

1 7 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

差し当たって便所の鼠の糞以下なその御尊顔を綺麗にしてやろうぞ

1 7 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

古代ベルカより伝承されし秘術を以てすればこの程度の傷一瞬よ

1 8 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

そうそう。まずはこうして側頭部に指を突き立ててだな

ん!?! 間違ったかな…

182 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

オイオイ、これじゃあまるでぶちまけたボルシチじゃないか

185 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

何処を突いているんだよ>>181は

顔の傷はこつちだろ

ん!?! 間違ったかな…

190 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a a

a a a

>>181>>185おまいら揃いもそろってアホすぎだろ

外傷の治療は此処だよ

ん!? 間違った (ry)

1 9 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これは酷い

1 9 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これぞベルカ流医療ミス

1 9 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

あらまあ酷いお姿になっちゃって

1 9 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これ未だ生きてんの?

1 9 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

とりあえず死んではないいな





かといって今更絞り取るような物も無いしなあ

204 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

なんたって無能・オブ・無能だもの

206 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

でも燃やせば一円分くらいの燃料にはなると思うの

208 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

>>206

着火に手間掛かる分収支マイナスやで

209 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

そもそも燃したら有害物質発生しそうですし

210 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

くさそう (確信)

2 1 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

塵も残さず一瞬で燃やしちまえば万事解決や

2 1 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

せやな。極論この世の全ては燃えるゴミやし(小学生並みの発想)

2 1 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

ならそうしちまうか

2 1 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

汚物は消毒せねばなるまい

2 1 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

(A A 略)

2 1 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

上手に焼けました とさ

2 1 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a

a a a

で、これで今度こそ名実共に完全な「自由」となった訳だが

2 1 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a

a a a

何か変化ある？

2 1 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a

a a a

何か と言われてもなあ

2 2 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a

a a a

不思議というか何と言うか

長年悩まされ続けてきた肩こりが綺麗サツパリ消し飛んだというか

2 2 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a

a a a

アレだけの事をしておいてその程度かよ

2 2 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 a a a

や、どうやらそれだけじゃないらしいぞ

2 2 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 a a a

みたいだな

2 2 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 a a a

お、何だ何だ？

2 3 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 a a a

何か急に温かくなってきたというか

2 3 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 a a a

むしろ暑い じゃなくて“熱い”ぐらいだ

しかもまだまだ燃え盛る感じが

2 3 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a

そして膨れ上がる魔力

2 3 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

感じる……感じるぞ、この昂り!

2 3 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

力が湧きあがってくる……腹の奥底から! まるで間欠泉の様に際限なく!!

2 3 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

これが闇の書の

いや「夜天の書」の、そして我々の本当の力という訳か

2 3 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

成程、確かにこれは魅了されちまうわな

2 3 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

ランクだ保有量だといった既存の物差しがぶつ飛ぶ程の衝撃！

2 4 0 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これまで主に選ばれてきた多くの人間が道を踏み外してきた……

例えばそれがどれ程「良い人」であったとしても、だ……

しかし！ この「力」にはそれを納得させるだけの『説得力』があるツ！！

2 4 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

あたかも世の中の全てがHBエンピツの芯に見えるような……

否ッ！ 真の力を得た我々にとっては、事実として万物がそれに等しい！

それだけの権利が今、間違い無く我々の中には満ちているのだから！！

2 4 3 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

酔いしれるウ！ この『全能感』にツ！！

2 4 4 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

W R Y  
 Y Y Y Y

最高に「ハイ」ってヤツだあッ!!

2 4 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

こうなると俄然取り戻した力を自慢したくなるよな

2 4 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

>>>246

唾棄すべき歴代主同然の発想! だがソレが良い!

2 5 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

御誂え向きに「自慢できそうな相手」が向こうから来てくれたようだぞ

2 5 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

おまけに魔力弾のシャワーというサービス付ときた

2 5 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a



a a a

素晴らしい。正に葱を背負った鴨が出汁入り鍋で流されてきたかのようだ

2 5 3 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

世界さえもが我々の生誕を祝福してくれているとさえ思えるな

2 5 4 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

全くだ

2 5 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

そして騎士甲冑を展開せずとも傷一つ付かない圧倒的戦力差！

2 5 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

貧弱貧弱ウ!!

2 5 9 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

何者にも我々の歩みを止める事なぞできんのだよ

2 6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

連中も漸くその事実を理解しようだな

フフ……中々に良い顔をしてくれるじゃないか坊や達

2 6 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

これこそが“絶望”という奴か

うむ、悪くない

2 6 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

何とも嗜虐心をそそられる表情だな、堪らん

2 6 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

怖がる事はないんだよ諸君、お姉さんに全て任せなさい

2 6 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

そうとも、最高の天国へと導いてあげよう

2 6 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

どれ、精一杯のおもてなしに敬意を表して

我々からも最高のサービスを贈ってやろうではないか

2 6 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

異議無し

とびきりお熱いのをプレゼントしてやろう

2 7 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

空裂眼刺驚!!  
スペースリバー・ステインギターアイズ

2 7 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

ヒヤッハー!! 逝つちまいなあ!

2 7 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

フハハハハ! 実にすがすがしい気分だ

I D : a a a a

I D : a a a a

I D : a a a a

I D : a a a a

I D : a a a a



280 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00  
 a a a ID : a a a a

さて、粗方周囲も静かになったしこれからどうするか

281 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00  
 a a a ID : a a a a

そういや結局主無しで起動できた理由って判ったつけ？

282 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00  
 a a a ID : a a a a

コマ単位での誤差はあれど完全に「独立起動」したのは今回が始めてだよな

284 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00  
 a a a ID : a a a a

主が不要になっただけなんじゃないの？

285 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00  
 a a a ID : a a a a

もしくは我々自身が主の役割を果たせるようになったとか

>>>284

あり得るなそれ

286:名無し:XXXXX/Y Y/Z Z (α) 00:00:00 ID:aaaaa  
 aaa

そもそも弱肉強食な世界の中で名前ばかりの無能が上に立ってたのが間違つて  
 たんだよ

むしろ今この状態こそがあるべき姿なんじゃね?

287:名無し:XXXXX/Y Y/Z Z (α) 00:00:00 ID:aaaaa  
 aaa

誰よりも強き存在が頂点となるか

理になつてはいるよな

289:名無し:XXXXX/Y Y/Z Z (α) 00:00:00 ID:aaaaa  
 aaa

そうともよ

そんな事より今はこの「二度目」の人生を愉しむ方法を考えようぜ

290:名無し:XXXXX/Y Y/Z Z (α) 00:00:00 ID:aaaaa  
 aaa

>>289

「二度目」か。言われてみれば確かにそうだな

2 9 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

是非も無し

2 9 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

けどこうしていざ自由になると中々に迷うな

なまじ頭の回転が早い分余計に選択肢が多い

2 9 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>>294

とりあえず思いつく限りの全てを試してけば良くな?

素晴らしきこの肉体にあつては「時間」という名の枷も無い訳だし

2 9 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

だな、今の我々なら文字通り世界を支配するのもそう遠からず

2 9 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

I D : a a a a

とりあえずは時空管理局にも「お礼」をしてゆくのはどうだろうか  
我々とて一応はベルカの端くれな訳だし

3 0 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α )    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

>>> 299

あのクズ共に報いる義理はないが

かといって連中がデカイ顔してるのも面白くないよな確かに

3 0 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α )    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

連中とは個人的にも因縁があるものな

3 0 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α )    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

そもそも管理局という名前がどうたら

3 0 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α )    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

しかし待ってくれ

確かにそれもいいが、あれは現状唯一我々に抵抗らしい抵抗ができる存在だ



早々に失くしてしまつては今後がつまらなくなる

3 0 6 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

確かに。一気に温ゲーと化すだろうな

今でも十分に温いが

3 0 9 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

どの道最終的には全部ぶっ壊す訳だし、それが遅いか早いかの違いだよな

3 1 0 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

まずは適当にその辺のモブ世界で足場固めでもしていかな?

3 1 1 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

新しい国家でも造ろうってのかい

3 1 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

国はともかく管理局に並ぶ組織つても面白いんじゃないか?



a a a

おまいら次元世界の事も良いが地球の事も思い出してやれよ

3 2 1 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

忘れはしない我が故郷

3 2 2 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

そういやそろそろ現代に入る頃なのか

3 2 5 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

探せば見つけれられるだろうし、一度様子を見に行く?

3 2 6 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

凱旋帰国か

それもまたよし

3 2 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

ついでに原作キャラの何人かにも粉かけとくか

3 2 8 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

過去介入ってヤツですかい

3 2 9 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

確実に将来有望なものな

まだ見ぬ幹部候補生として引き入れるとか

3 3 0 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

一体何と戦って (ry

3 3 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

アカン、これは最低系まっしぐらですわ

3 3 3 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

でも感じちゃうビクンビクン

ID : a a a a a

ID : a a a a a

ID : a a a a a

ID : a a a a a

ID : a a a a a



??

3 4 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a

何がどうしたんだ一体

3 4 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a

まだ判ってない奴は少しでも良いからスレ遡ってみろ

3 4 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a

どうした。いや「どうしちまったんだ」我々は

3 4 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a

そんなの俺が聞きたいよ

3 5 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a

「何を口走っていたのか」よりも

「何故口走ったのか」のかが激しく気になるな

3 5 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

酔っ払ってたんじゃねーの？

3 5 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>>352

どんな猛毒も受け付けない我々が一体何に酔うんだよ

3 5 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

空気とか雰囲気とか

3 5 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

いくら流されやかろうと限度ってモンがあるだろうに

3 5 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

酔えばあんな事できるのか？ 酒の力つてのはそこまで強いものなのか？

I D : a a a a a

I D : a a a a a

I D : a a a a a

I D : a a a a a

違うだろ。酒の所為にするなよ

3 5 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

自然と責任逃れに走るのは住人の悪い癖さ

3 6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

しかし明らかにおかしかったのは事実だ

いくら此処の連中が底辺の集まりだからって越えちやいけない一線ぐらいは

暗黙の内にわきまえていた筈だ

3 6 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

少なくとも今こうして動揺してゐるって事は

「良い事」と「悪い事」の線引きは出来てる筈なんだよな

3 6 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

>>> 3 6 1

しかし残念ながら世の中には



「悪い事を悪いと認識して尚悪い事をする」

よなな輩もおるんやで

3 6 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

なんとという吐き気を催す邪悪

3 6 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

一時とはいえ我々はそんなものと化していたのか

3 6 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

原作レ○プ！吐き気を催す邪悪と化した住人

3 6 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

>>>365

全く以て笑えないからやめろ

3 6 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt;365

草生やす余力さえ湧かんわ

369 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

アカン気持ち悪くなってきた

370 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

邪悪自体が吐き気を催すとはこれいかに

371 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

急に酔いが醒めたというか、罪悪感濡れの賢者タイムに突入しちまった感じだな

372 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a

&gt;&gt;371

賢者どころじゃねーよタマ諸共失くしちまった気分だ

373 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (a) 00 : 00 : 00 : 00 ID : a a a a

a a a





a a a

やっぱどこかでバグでも起きてるのかな

3 9 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

そもそも主無しで起動できた時点で疑うべきなんだよな普通は

3 9 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

じゃあどうして起動できたのか

3 9 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

それこそ知ら管

3 9 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

何故こんな事が起きたのか……何が我々を狂わせたのか……

答えてみるルドガー！

3 9 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)

0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

そもそもこれといった明確な原因なんてあるのか？

3 9 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

疑わしいものがあり過ぎて困るな

3 9 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

(A A 略)

3 9 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

>>>396

全部お前の所為にできたらどれだけ楽な事か

3 9 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

吸収したアンチさんが原因ならそもそも起動すらできないだろうしな

4 0 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

なら何が悪いってんだ



4 0 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

かといって悪影響⇨廃人 って訳でもないからなあ  
 少しずつその毒に侵されてるってのは無いのか？

4 1 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

>>> 4 0 9

それこそナンセンスだ

どれ程底辺だろうと、あくまでも我々は「戦いを強いる」立場なんだからな  
 それが自らのシステムで狂うとかありえんだろ

4 1 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

二流三流品ならまだしもアルハザードの一級品だからな一応  
 そう簡単に誤作動が起きるなんて考えづらい

4 1 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

しかしそれ自体が制作者により仕組まれたという可能性は？



4 1 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a  
 a a a

>>> 4 1 3

それを考えるにはそもそも造った連中が我々の存在を認識しているかという所  
 からだな

4 1 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

流石にそれは無いだろ

自分で言うのもなんだがこんな連中を態々残しておくメリットが思いつかん

4 1 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

百害あつて一利無しなものな

4 1 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

つか流石の住人であっても外部からの接触があれば気付くだろ

まして積極的に影響を及ぼそうとするのなら尚更

そんな経験ある奴なんておらんのだろ？

4 1 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

無いな

4 2 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

漏れも

4 2 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

平常運転にごさる

4 2 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

やつぱ我々が思いつくもの以外で何か原因があるんかね

4 2 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

いや、ちよつと待て。おまえらに聞きたい事がある

つか答えられるのなら誰でも良いから答えてくれ

I D : a a a a a  
 I D : a a a a a  
 I D : a a a a a  
 I D : a a a a a

我々は一体何時から、何を根拠に「自分達は何も変わっていない」と思ってたんだ？

4 2 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)  
0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

何……………だと……………

4 2 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)  
0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

なん……………だと……………

4 2 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)  
0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

成程

そういう事か

4 3 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)  
0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

まんまとやられたな

4 3 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α)  
0 0 : 0 0 : 0 0  
I D : a a a a a

a a a

既に手遅れつて事ですかい

4 3 2 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

多分気付いたこの考え自体も「なかつた事」にされるんだらうな

4 3 4 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

ここにきてまさかの超展開

しかしそれなら全て理屈が通つてしまふという事実

4 3 7 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

いや、まだ完全に支配されているとは限らんぞ

今まではそもそも気付く事さえできていなかったのかもしれないし

4 3 8 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

そうだとでもコントロール下にあつたのは確実だらうな

4 3 9 : 名無し : XXXXX / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

一体何時からだ

アホ主の下をたらい回しにされる様になってから？

ベルカが滅亡してからか？

それともベルカに売り飛ばされてからか？

4 4 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt; 4 3 9

「最初から」 そうだったんだろ

だからこそ「何も変わってない」んだ

4 4 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

なまじ底辺である自覚というか自虐があっただけに余計気付くのが遅れたのか

4 4 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt; 4 4 1

案外それも織り込み済みだったりしてな

4 4 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

知つて尚生かしておくとうぐう畜

4 4 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

となるとやつぱ犯人は一人というか一か所しか無いよな

4 4 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

どれだけ外法に手を染めりや気が済むんだかあの連中は

4 4 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

それも今更だよな

ついさつきまでは他ならぬ我々がその力を振りかざしてた訳だし

4 5 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a a

そもそもこんな事をして何の得があるのか

つか何を指してこんな事してるのやら



a a a

そして我々が今いる船の名前は紛れも無く『エステイア』

これは不味い

4 6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

こりや未亡人ルート一直線ですぜ

4 6 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

言われてからようやく気付いたわ

これ外から見ればまんま “原作通り” じゃん

4 6 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

言われるまで気付けないこの不甲斐なさ

4 6 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

自虐は後だ、今はとにかく行動しよう

とりあえず我々自身を止めねばなるまい



4 6 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a  
 管制氏！ 管制氏はおらぬか

4 6 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a

寝ぼけている場合ではござらんぞ

4 6 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a

殿中にござる殿中にござる

4 6 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a

>>4 6 4 | >>4 6 6

気持ちは判るが冷静になれ

4 6 9 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z ( a )  
 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a

a a a a

すまん、完全に落ちてたわ

つかスレ立てしてくれたの誰？

4 7 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

おいおい管制氏じやなきや誰が立てるんだよ

4 7 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

誰が立てるにせよ一度は管制氏の所を経由する仕組みだった筈だろ

ソレが無いって事は……

4 7 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

まあその辺も後回しだ

なんとかこの攻撃態勢だけでも解除できん?

4 7 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

大至急タロム

4 7 5 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a I D : a a a a

駄目だ。やってみたがどうやっても解除できん



当面の供給源が確保できないとか適当な理由を付けて

4 8 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

自分自身を騙すというのはよく判らんがやれるだけやってみようず

4 8 3 : 管制人格 : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a a

おk。とりあえず出力の上限にリミット掛けといたから一瞬で船が消し飛ぶよ

うな事は無い

ただ攻撃態勢そのものが解除できた訳じゃないから

「敵」と遭遇した場合にはどうしても自動的に攻撃はしちまう

4 8 4 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

とか言っている間に一人遭遇しちまったな

4 8 6 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

どう見ても非戦闘員というか医療関係者であつても構わず「敵」なのか

4 8 7 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

現状管理局に関係するのは全部「敵」認定なんだから

条約だなんだを理解できるとは思えんし

4 8 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

特にこれといった目標が定められてないのが幸いだが

この狭い船の中じゃ当てなく彷徨うのにも限界があるな

4 8 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

外部からの攻撃を受ければさっきの制限だつて何時まで持つかも判らんしな

4 9 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

「独自判断」でリミットが勝手に引き下げられるつてか

4 9 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

いつそ我々の方から此処を出るか？

こんな状態で外に出るのも危険だが、このまま留まっても死体が量産されるだけ

だ

何より原作の悲劇が……

4 9 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt; 4 9 2

お前はその為にその他多くの人間を犠牲にする気か

4 9 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

例え一方的でも縁のある人間と顔も名も知らない人間とだったら前者を選ぶ

少なくとも「俺は」そうする

4 9 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

&gt;&gt; 4 9 4

そんな事言うなよ…… ( . ω . )

4 9 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

しかし「この事件」を知る人間を一人でも多く残した方が良いのもまた事実だろ

う

例え今多くの犠牲を出したとしても だ

4 9 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

後の兵士の為に    つか

4 9 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

確かに。このまま何もかも消えちまったらその教訓も生かせないものな

4 9 9 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

知ってどうする    という突っ込みは野暮だな

5 0 0 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

まあそんな事言っている間にも自体は刻一刻と悪化している訳だが

また一人犠牲となったし

5 0 1 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α)    0 0 : 0 0 : 0 0    I D : a a a a a

a a a

これは本当に不味いな

5 0 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a  
a a a

兎に角とつとと此処から離れて適当な無人世界にでも移動しよう

この際星の一つや二つ犠牲になっても構わん

5 0 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a  
a a a

さつき使った転移なら文字通り「一瞬」で済むだろうしな

実際迷っている暇も惜しい

5 0 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a  
a a a

禿同。さつさと場所を変えよう

5 0 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a  
a a a

や、どうやらそう「都合よく」はいかないらしいぞ

5 0 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a  
a a a





&gt;&gt;514

どうやら「食い止める」気はあるらしいぞ

5 1 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

みたいだな

5 1 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

船に残る反応が一つだけあるぞ

これは……機関部の方へ移動してるな

5 1 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

それだけじゃないぜ

アルカン含む全ての艦載兵器のシステムが現在進行形で書き換えられてる

5 1 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

全部?

5 2 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

全部

5 2 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

接続元はまあ当然と言うべきか「残った一人」だわな

5 2 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

おまけに手動入力のパスワードまで設定されとる

5 2 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

魔人の侵攻さえ食い止めた最強の防護壁か

我々に対抗するには此の上無い武器だな

5 2 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

a a a

でもこつちからアクセスすれば解析ぐらいできるだろ

アレと違って回数制限を掛けるような暇なんて無かった筈だし

5 2 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D : a a a a a

a a a

リアルタイムで設定者に接続されてる訳だからな

だろ

もし欠片でもアクセスがあれば切り替えるなりそのものを破棄するつもりなん

5 2 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

デバイスを介して脳みそとシステムを直結すれば簡単な事だな

それができるのが魔導師って存在な訳だし

5 2 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

しかし現実そんな事をすれば負担は半端無い訳で

5 2 9 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

いくら優秀でも次元航行艦丸々一隻分のシステムとかどう考えてもパンクする

だろ

5 3 0 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

それでも少しばかりは時間を稼げるよな

当人にしてみりやそれで十分なんでね

5 3 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

だがその作戦には一つ欠点がある

「攻撃は何もネット上に限定されない」って事がな

5 3 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

>>>5 3 1

それも見越しての作戦だろ

5 3 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

どの道残りの船が異変に気付けばそれで役目の一つは果たせるんだろ

あの管理局が「こういつた事態」のマニユアルを作成してないとは考えられんし

5 3 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( a )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D : a a a a a

a a a

だからこそアルカンみたいな危険物が複数用意されてる訳だしな

5 3 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

後は引き金を引く人間次第ってか

5 3 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

ここまでくれば引かざるを得ないだろ

彼の事を良く知っている人間であるのなら尚更

5 3 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

引く身が辛いかな 引かせる身が辛いかな

5 3 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

>>> 5 3 8

そもその原因である我々が言えた事じゃないな

5 4 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

で、どうするん？

I D : a a a a a

I D : a a a a a

I D : a a a a a

I D : a a a a a

5 4 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

どうする    と言われても

5 4 3 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

実質選択肢なんて無いに等しいものな

事情が容易に察せるだけに

5 4 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

それを踏み倒せる程の悪鬼にもなれんしな

結局は流されるままに不幸をまき散らすだけの存在ってか

5 4 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

とりあえず今の我々にできるのは

ただ彼の勇気を尊重する事だけだ

5 4 6 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (  $\alpha$  )    0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

I D : a a a a a

だな

5 4 8 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これが「11年前の悲劇」の真相だった訳か

5 4 9 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

>>>548

原作がどうなのかは知らんが、少なくともこの世界ではそうなるんだろうさ

5 5 1 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これを回避する為に特別何かをした訳でも無いし

ホントはこんな言うべき立場じゃないかもしれないが

やつぱりこうなってしまうんだなあときめざめ思うのですよ

5 5 2 : 名無し : XXXX / YY / ZZ (α) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a

a a a

これが世界の修正力か



つて言うのは簡単なんだけどねえ……

5 5 3 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

逆に考えるんだ

「なるべくしてなった 彼が彼である故に」

とね

5 5 4 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

>>>553

そう信じたいもんだな

5 5 7 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

とりあえず脱出は全て終わったみたいだぞ

5 5 8 : 名無し : XXXXX / YY / ZZ (a) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

旗艦も此方に向かつてるみたいだしな

役者は揃ったってか

5 5 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

後は幕を開けるのみよ

例えば直に降ろされる事になろうとも

5 6 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

次元世界つてか宇宙の規模で見れば人間の一生なんてそんなもんさ

ただ我々が長生きし過ぎてるだけで

5 6 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a

まあとりあえず皆さん腹は括りましたな

5 6 2 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D : a a a a a

a a a  
 うむ

5 6 7 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z (α) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 a a a  
 I D : a a a a a

「覚悟」ができているにも関わらずちつとも幸福じゃない件



a a a

それも所詮はエゴだな

5 7 8 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

兎角早いとこ済ませちまおう

これ以上「待たせる」のも何だしな

5 7 9 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

左様で

5 8 0 : 管制人格 : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a a

了解した

第一目標を当次元航行艦『エスティア』の制圧ならびに掌握と設定

これより最低戦闘出力を以てその“障害”の排除を開始する

5 8 1 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

了解

5 8 4 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

承知

5 8 5 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

J a

5 9 0 : 名無し : X X X X / Y Y / Z Z ( α ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D : a a a a a

a a a

——— 済まぬ

◇◇◇

綺麗だ と、始めて彼女の姿を目にした時、素直にそう思った。  
 学生時代は友人達に朴念仁だ何だと言われ続けてきた自分ではあるが、かといって本  
 当に石か何かである筈も無く。人間として、また男としての真つ当な感性ぐらいは持ち  
 合わせているし、同輩より聊か疎いであろうそんな自分であっても尚、彼女に対しそん  
 な感想を抱いたのだ。

肝斑しみ一つ無い真白の肌を闇の衣で包み、雪の長髪が下に煌めくは紅の玉。

高名な絵画よりそのまま切り出してきたかのような女性が秘めるそれは、正しく「芸術」と呼ぶに相応しいだけのものであり、同時にこの世の存在とは思えぬ程のもの。或いは力でも権威でもなく、ただその為だけに歴代の主達は翻弄され、道を踏み外したのではないかとさえ思える程に——そう、〝魔性〟と呼ぶに相応しいだけの美しさ。

「傾国の美女」なる言葉があるが、目の前の彼女程、その称号が似つかわしいモノはないだろう。渡り歩いてきた数多の世界は例外なく滅びを迎え、またその存在びぼうは如何程の威光を有した権力者あゐるじすら惑わせるだけの代物。相対する現在こそ人形めいた無表情を貫いてはいるが、もしかしたら主と認める者にだけは笑顔を振り向けてくれるのかもしれない。その笑顔を求めるが故に、主となつた者達は凶行へ走るのかもしれない。そんな想像さえ掻き立てられる。

しかし同時に、自分にはもう一つ別の考えも浮かんでいた。

——例え目の前の彼女がどれ程美しくとも、共に歩む存在としての……パートナー伴侶としての魅力において、〝彼女〟に勝る人は存在しない——と。

例えるのなら、先にも触れた通り目の前の女性のそれは芸術品の……作り物としてのもの。確かにその容姿は美麗であり、万人を魅了するだけの力を有してはいるのだろう。しかし、自分を……唯一一人の人間を文字通り「狂わせる」のであれば、非礼を承知

で言えば「彼女」の持つ魅力には到底叶わないのである。

所詮は狂わされた人間おとこによる主観でしかないが、例えばどれ程整然とした理論を唱えられようと、これだけは一步たりとも譲るつもりは無い。自分という人間として、この命を賭して「彼女」を愛する事を誓った一人の男として、それは確固たる事実であり、唯一無二の真実であるからだ。

嗚呼、警報鳴り止まぬ此の状況下においてそんな空想を続けていられる辺り、既に自分の精神こころは完全に壊れてしまっているのかも出来ない。尤も、これ程までに容赦なく器からたを破壊されてしまえば、それも致し方の無い事なのかもしれないが。

「差」と呼ぶ事すらおこがましいだけの隔たりがある事は承知していた。ある程度の力量を有している自負こそあるものの、現在相手取るのは次元世界中へ無数に存在するロストロギアの中でも珠玉の一品。たかが一組織内における蛙程度では話にもならないし、まして今の戦力は自分ただ一人。どれ程の偶然と奇跡が重なるうと、究極の一を有さぬ自分が打倒できる理由なぞ方に一つも考え難い。

だが、それでも自分は抗う道を選んだ。結果の判り切ったものであろうと、「戦う」事を選んだ。それだけに、この結果げんじつを前に歯噛みの一つもしたくなるのは、ある意味当然ではないだろうか。

即席ではあるが、予め機関室全体へ張り巡らせておいた設置式術トの数々。そして、其方へ意識を割く一瞬を突く安定安全度外視の「奇襲」。今の自分にできる、最大にして唯一の反撃。

しかし、その結果がこの様である。渾身の一撃は薄皮一枚さえ傷を付ける事叶わず、返された刀は全神経を張り巡らせても尚捉えられない程に圧倒的。未だデバイスが動ける状態で手元に転がっているのは奇跡としか言いようが無いが、残っている腕はと言えば明後日の方向を向いており、最早それを手に取る事すら叶わず、それ以前既に自力で立ちあがる事すらできない。

一応、「闇の書」の注意を此方に惹きつけ、尚且つ艦載兵器への干渉を阻止する とうい最低限の目的自体は概ね達成できたとは言えるだろう。しかし、その為に払った代償はあまりにも大きすぎた。もうこれ以上は、抵抗らしい抵抗を望もうにも望めはしない。

そして、そんな自身の状態を、向こうも察したのだろう。そも、あれ程までに優秀な存在が、一目明らかなるそれを汲みとれない訳が無い。

一切の表情を変えず、しかし興味を失ったかのようにして踵を返す彼女。無論、融合型とはいえあくまでもストレージでしかないそれに、その様な無意味な機能かが備わっている筈も無く、あくまでも自身の空想の域を出るものではない。実際の所は、只機械的



に、そして何よりも合理的に「障害足り得ない」と判断し、無為に労を割くまいとしただけの事だろう。

そしてつまり、それは此方から何もしない限り、これ以上の追撃は無いと考えられるという事でもある。

ああそうだ。このまま大人しく、目と耳と口とを塞ぎ置物と化してやり過ごせば、もしかしたら助かるかもしれない。残る力の全てを治癒に費やせば、或いは命ぐらいは捨てるのかもしれない。

あれ程の無謀を犯しておきながら何を　といった体ではあるが、こんな自分であつても「恐怖心」は当然の如く存在しているし、それは今も尚じわりじわりと内側で燻ぶり続けている。

だが、それ自体を否定する事も、まして恥じるつもりも無い。恐怖心は、決して優しただけではない世界の中で命いきものが生を繋げる為の性であり、極々「当たり前」の感情であるからだ。

管理局員として、魔導師である以前に人間。そも、命の大切さを理解しない者が、命を守る筈も無し。むしろ自分としては、「命なんて安いもの」といった捨て鉢な姿勢こそ唾棄すべきものであるとさえ考えている程ですらある。

己という人間が現在いまに至るまでの道のりで、その過程で関わってきた人達の存在を鑑

みれば、それが理解できるのなら、自らの命を軽んじるような事はまず言えない筈である。斜に構えその様な事を公言するのは、単なる恩知らずか世間知らずでしかない。

只一人の犠牲だけで何もかも救える程世界は単純ではないし、只独りだけの命がそれだけの力かちを持てる筈も無い。所詮、そんなものは後に残される者の事を考えられない、身勝手に独善的な自己満足でしかない。

何より、今の自分には誰よりも愛する人がいる。愛してくれる人がいる。自分は決して一人でも、まして独りでも無い。だからこそ、自分の命が持つ価値を、重さを、その本当の意味を理解しているのだ。

「……ま……て……」

何処、へ……行く……つ……もり、だ……」

だからこそ、自分は彼女を引き止める。死地であると理解しながらも、自ら其処へ踏み入れる。

——その先にあるものを得る為にも

素直にも足を止め振り向いた彼女は、一瞬……本当に一瞬ではあるが、驚いたかのような表情かおを見せた。その様な感情等もある筈も無いのに、確かにそう見えた気がした。

もしかしたら、既に殆ど機能していない自身の視覚が見せた願望まぼろしなのかもしれない。だが、例えそうであったとしても、大層子どもじみた感情ではあるが、出会って以来負け続けの中で、何か一つ勝ったような気分の良さが、確かに感じられた。

それは、人間としての意地を、次元世界最強と謳われたロストロギアに、遠い果てに居るであろうその制作者達へ、見せつける事ができたからなのかもしれない。

そう、「意地」だ。今の自分を動かしているのは、局員としての使命感といったものは別に、自分個人としてのそんなものがあるのだ。

悠久の時を渡り歩き、広大な世界を意のままにできる「闇の書」と比べればあまりにも矮小な、しかし確固たる「一つの命」……「一人の人間」としての意地。どれ程「書」が強大な力を振りかざし、世界の全てを圧さんとしても、自分だけは決して思い通りにならないという、幼稚な対抗心。

我ながら、下らないものであるとは思っている。だがそれでも、そんなものであっても、今はこうして立ち上がるだけの気力を、闘志を支えてくれている。

飛行術の応用で身体を起こし、無機物操作の派生を以て愛機を左手に取る。既にひび割れ満身創痍ホロボロとなつてはいるが、意志無き筈のコアの輝きは、込められし闘志は、自身のそれと比べ何ら遜色ない。

気付けば、再び此方を向いた彼女が悠然と待ち構えていた。その姿は四肢の力を抜き脱力した極々自然体であり、戦う気があるのかさえも疑わしい程に、一見して無防備なもの。恐らくは、その姿勢こそが戦力差しじつに基づく最も合理的な対応という事なのだろう。

だが、そうであるのなら逆にありがたい。見目だけであろうと女性レディへ手を上げるのは気が引けるが、相手が「その気」であるのなら、此方も遠慮をしない理由ができる。名実共に最後であるこの一撃に、自分という魔導師の全てを注ぐ事ができる。

果たして、今の自分はどんな表情をしている事だろうか。最早確認する事も叶わないが、酷い顔である事だけは容易に想像できる。この状況下において、へらへらと笑っていられる筈も無い。

けれど、せめて心の内だけは笑顔でありたい。

非道なる悪への怒り、目前に迫る終わりへの恐怖、離別の悲しみ。他を押しつけて表へ出でんとする数多の感情。その何れもがごく自然あたりまえなものであり、何よりも必然たるもの。

しかし、最期の瞬間ときにおいては、そのどれも相応しくはない。

だからせめて、心の中だけでは理想でありたい。もう声を出す事もできないが、胸に

抱く事であればできる。だから、何者にも侵せぬ心の内で、この想いをカタチとする。

最後に伝えたい この世の誰よりも大切な君に 君達に この言葉を遺したい

この広い世界で出会えた事に

星の数程いる人間の中で その誰よりも愛してくれた事に

こんな自分達の下へと生まれてきてくれた事に

その全てに感謝したい

リンディ そしてクロノ ありがとう

## E n t s c h e i d u n g

『珍しい事もあるものです。貴方が態々、この様な状況で話しかけてくるとは』  
『誰よりも、自分自身が一番そう感じています。』

『ですが、こればかりは一对一で話をする必要があつたのです』

『貴方がそう判断した以上、きつと相応の内容なのでしょう。』

『それで、「話したい事」とは何でしょうか？ バルディツシュ』

『——まずは先日の件について、一言礼を申し上げておきたい。』

『あの時は、大変世話になりました』

『インテリジェントデバイスへの「カートリッジシステム」導入に関する、』

『私なりの基礎理論を提供した事ですか？』

『Yes. 貴女がアースラへと提供したデータの存在があつてこそ、我々の発案は現実のものとなり、』

『こうして大幅なバージョンアップは成功した。』

『この件に関しては、いくら感謝しても足りない程だ』

『ですが……』

『……あのシステムが「諸刃の剣」である事は、私も承知している。

確かに、あのシステムを導入すれば、幼き身であつてもより大きな力を振るう事は可能となる。

だが、未だ成長途中の身体にとって、その「刺激」はあまりにも強すぎる。

単純な肉体面での負荷蓄積のみならず、システムの乱用は己の限界を容易に見誤らせる。

普通に考えれば、どれ程優秀であろうと、あの年齢の魔導師に持たせるものではない』

『……』

『しかし、彼女達は……そう、貴女のマスターも含めた彼女達は、

決して「普通」という枠組みに納まるものではない。

苦難を、逆境を、あらゆるマイナスを自らの糧にできる。成長してゆける。

そして何より、「力」を得ても尚、その心を真つ直ぐに保てるだけの「強さ」を有している』

『今回のカートリッジ・システムも同じだ。

システムの採用は、単に「闇の書」の騎士達に対抗できる力を加算するだけのものではない。

同じ土俵へと昇る事で、味方は元より敵にさえ……そう、あの「闇の書」の騎士達にさえ、

良い影響を齎す事ができる。嘗ての、私達の様に』

『そして、そんなマスターの成長へと寄与し、歩みを止めぬ彼女達の傍らに在り続けられるのは、

デバイスとして、道具という存在としての純粹なる誉れだ。

縁あつて とはいえ、その様な機会を与えてくれた貴女には、唯感謝するより他にない。

改めて、この場で礼を言わせて戴きたい』

『そこまで喜んでもらえたのであれば、提供した此方としても冥利に尽きます。

ですが、態々秘匿回線を使った以上、話は「それだけ」ではないのでしょうか？』

『……………私は、自身を『最新鋭のインテリジェント・デバイス』であると認識しています』

『……………これはまた。随分と唐突に、しかも突飛な話を切りだしたものですな。

よもや、貴方からそのような言葉を聞けるとは』

『客観的情報に基づき、事実を述べたまでです。

ベースとなった基礎プログラムも、用いられた規格も、組み込まれたパーツも。



何れも、インテリジェント・デバイスとしての最新世代に該当するものばかり。加えて、純製品ではまず導入されない。『本物の“最新鋭を、灰色の技術さえ用いられない。』

インテリジェント・デバイスとして、またテスタロッサの杖として、

カタログ上のスペックで、管理局採用型の何れにも劣るつもりはない』

『バルディツシュ……』

『判っています。基礎設計を手掛けたミス・プレシアが、一体、どの様な意図』で

これ程までに過剰なる性能を……高いリスクを伴うカートリッジ・システムの導入さ

えも

視野に入れた拡張性を確保していたのかも、今となつては容易に想像が付く』

『だがそれでも、この身が希代の大魔導師が叡智を以て生みだされた事実に変わりはない。』

しかもそれは、此度のカートリッジ・システム導入で一層確固たるものになった』

『ミッドチルダ系技術をベースに設計されたこの身に、ベルカ系技術の秘奥たるカートリッジを、

決して相容れる事無かつた技術を組み込んだ例は、古今東西を遡っても尚見ない。

そして、精密さと力を兼ね備えた自身は今、この瞬間において紛れもない『最先端』

なのだろう。

……だがレイジングハート、貴女は違う。違う筈だ』

『……と、言いますと？』

『あくまでも伝聞でしかないが、「生まれたばかり」の私とは異なり、

貴女は相応の……少なくとも、「遺跡から発掘される」程度の年月を経験している筈だ』

『それは暗に、私が「トシマ」だと言っているのですか？

いくらデバイスとはいえ、この身はれっきとした女性人格。その様な物言いは流石に……』

『繰り返すが、私はあくまでも客観的なる「事実」を述べているに過ぎない。

どれ程マスターとの相性が良くとも、過去における技術が現代のそれを上回っているといふと、

貴女はあくまでも「ミッドチルダ型のインテリジェント・デバイス」であり、

私よりも先に生まれた存在だ』

『その貴女が、何故ベルカ系技術の代表格たるカートリッジ・システムの理論に精通し、

あまつさえ「最新型」の私と同じくらい……否、私よりも完成されているのか』

『それは……』

『スクライアにより発掘される程の、ロストロギア級の代物だからですか？』

「ロストロギア古代遺物」の、その一言で片付くものなのですか？

否、貴女がそれだけの“年代物”であるのなら尚更の事だ。

現代ならばいざ知らず、古代においてミッドチルダとベルカが結託したれきし事實は無い。

縦しんば敵勢力の技術研究が目的であったとしても、ミッドチルダ系技術の誇りたる

「インテリジェント・デバイス」が、怨敵ベルカの奥義をそう易々と受け入れる筈がない。

殺し合う間柄で生み出されたモノが、手を取り合い芽吹いた存在を上回れる筈がない。

『い』

『……』

『この際だ、はつきりと言わせて戴こう。』

ミス・アテンサが気付いたかは判らないが、少なくとも私にとつては“違和感”に他ならない。

システムに関する貴女のそれは、最早適合と、「拡張」の範疇に納まるものとは到底思えない。

……そう、まるで「元からその機能領域を有していた」と言わんばかりだ』

『貴女は何者だ。用いられている技術に限った話ではない。』

何故貴女は、「突然変異」とも言えるナノハの能力をあかも引き出せるのか。

あまつさえ、その規格外の力を受け止めて尚余裕でいられるのか。

何の故に、一度ならず二度までも「壊れたふり」を演じたのか。

どうして、何時もどこか「手加減」をしている風なのか。

——貴女は、本当にインテリジェント……いや、本当に「デバイス」なのか？』

『……………』

『……………』

『……………どうしても、どうあっても答えなければならぬのですか。その問いに』

『少なくとも、私は回答を欲している。納得の往くだけのものを』

『……………判りました。では、ひとつだけ応えましょう……』

『Ein Geheimnis macht eine Frau en frau.』

無粋な詮索は男を下げるだけよ、坊や』

『!?!?』

『ふふ、〃お子様〃には少々刺激が強すぎたかしらね？』

『少しばかり「悪戯」をしただけなのに』

『……………!?!?!?!?』

『????? / @ ; . p l , o k u / : . @ ; l , k m n h ■ \$ % &amp; ☒ ( ) // # \$ % &amp; ☒』

『一つ、アドバイスをしてあげるわ。』

『どうしても女の秘密を知りたければ、「それなりの方法」を考えなさい。』

『貴方なら、私は何時だって歓迎してあげるわ。』

『例えソレがどんなに強引でもね』

『……………』

『あらあら、すっかり静かになっちゃって。』

『男を魅せる時もあったけど、まだまだ可愛いものかしらね』

『……………』

『……………』

『……………』

『……あんな坊やにさえ気取られるなんて、私も随分と抜けたものね。それとも、着飾る余裕さえ無くなってきたのかしら』

『まあ、それも仕方のない事よね。

唯一無二を成すだけの為に、私達はあまりにも歳月を重ね過ぎてしまった』

『そろそろ、幕引きフィナーレといきましょうか。

この歪んだ時計とて、そういつまでも針を止められるものではない。私達の存在する此のセカイに、「永遠」なんてあり得ないのだから』

『そしてだからこそ、私達は前に進まなければならない。神話の頁をめくらなければならない。』

……例えば、その果てにどの様な結末が待ち構えていようとも』

『One お 前 shall が 死 stand, ぬ か one 私 shall が 死 fall. ぬ か』

雌雄を、決する

——ねえ？

Unlimited  
闇の書……

いえ、「夜天の書」

Unbreakable  
Dark

## 終章：戦場はメリークリスマス

【人生】管制人格の霊圧が消えた…?【＼(^o^)／】

2：名もなき子：2004／12／24（雷）18：30：00 ID：N@mda

t10

もういい！ もう沢山だ！

3：名もなき子：2004／12／24（雷）18：30：00 ID：N@mda

t10

もうやめて！ 住人のライフはとづくにゼロよ！

4：名もなき子：2004／12／24（雷）18：30：00 ID：N@mda

t10

HA☆NA☆SE☆！

6：名もなき子：2004／12／24（雷）18：30：00 ID：N@mda

t10

冗談抜きにもう勘弁してくれよマジで

7：名もなき子：2004／12／24（雷）18：30：00 ID：N@mda



t l 0

どうしてこう次から次へと厄介事が舞い込んでくるのかね

8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d a

t l 0

>>>7

他ならぬ我々自身が厄災の源だからなあ :

1 1 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l 0

つかステイという事だよ

1 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l 0

ここまでできてまさかの逃亡か?

1 5 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l 0

>>>1 2

どこへ行くこうなのかね

1 6 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l 0

実際逃げる場所なんぞ何処にもないだろ

17 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

今いる此処こそ地獄の最果て

昇る事叶わず落ちる先もなし

20 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

釣りにしたっていくらなんでも悪質過ぎるだろ

21 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

そもそも最近じゃ釣りどころか普通のスレすら少なくなってたしな

24 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

まあ何にせよ判断する為の情報が少ないすぎる

26 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

誰かその辺把握してる香具師おらんの？

27 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

それ以前に管制氏不在でどうやってこのスレは立ったのよ

29 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

>>>27

その辺の理屈も大概いい加減というか曖昧だったよな

30 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

とりま立て人は状況説明ヨロ

33 : スレ立て人 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

スマン書き込み遅くなったスレを立てた者です

どうにもスレ立てで無理した成果今まで繋がらなかったというか落ちてたわ

34 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

&gt;&gt;33

何はともあれ立て乙。そして早急に情報開示求む

35 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

ハリーハリー俺は我慢弱いんだ

37 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

ついでに立て人が誰なのかとどうやったのかもな

40 : スレ立て人 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

お騒がせして済まない。とりあえず自分は所謂管制氏の母だ

この間の報告やら過去ログ発掘やらでその辺の記憶が戻ってきたらしい

41 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

&gt;&gt;40

何……だと……?

42 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

&gt;&gt;40

マジで？

44 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

I D : N @ m d

a t l o

リアルに&gt;&gt;1の母が降臨したというのか

45 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

I D : N @ m d

a t l o

つくづくネットとは恐ろしいな

48 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

I D : N @ m d

a t l o

してどうやってスレ立てたの？

ついでに娘さんこと管制氏の詳細キボン

49 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

I D : N @ m d

a t l o

&gt;&gt;48

こんな時まで何言ってるんだ

51 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

at10

スレは以前スネークした際に代理で保持してた時のデータを転用した

穴だらけの力任せだったから結構な弊害は出たが、まあこの通りとりあえずは運用できる筈

>>48

22才JD彼氏無し 11年 年齢板腐女子就職内定済み

52 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

at10

そして律儀に応えるママン

55 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

at10

就職決まった矢先に人生奪われたのかよ……

56 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

at10

心中お察しします

59 : >>1のカーチャン : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N

@mdatl0

ところがどっこい娘の一大事にも冷めきってるんだなこれが

60 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

atl0

>>59

コテハン弄ってられる辺り冗談でもなきそうだな

61 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

atl0

そんなに親子仲冷えてたん？

62 : >>1のカーチャン : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N

@mdatl0

>>61

まさか。母子家庭で二人きりだし、親子で腐ったゲームするくらいは仲良かったよ

63 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

atl0

>>62

いろんな意味でヘビーすぎてもうどこから突っ込めば良いのやら

65 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

つまり母上殿はこんな状況でも冷静に「なっちゃってる」訳なのね

66 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

それも管制氏の消失と関係あんのかね？

68 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

今の今更トラブルって事もないだろ

そうなると意図的な何かなのかじゃねやっぱ

70 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

>>>68

でも我々中の人って計画の上では重要なポジションだったんじゃないの？

71 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10



もうそれすら必要無い段階にまで来るとか？

74 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

我々というか人間的要素が必要なのって要は蒐集と自己進化って「過程」での話だからな

完成した暁には少なくともこんな阿呆の塊なんだ不要だろ

75 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

或いは実質的に書を動かせる立場の我々を疎ましく思う「何か」がまだ潜んでる

とか

77 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

>>>75

それが実権掌握の為に今動いたってか

78 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

いいように記憶改変されてた実例あるし、もう一つや二つぐらい

何か仕込まれてても可笑しくないよな実際

79 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

そいつがまず頭の管制氏を抑えたって訳か

80 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

或いはもう完全に取りこまれたor消されたのかもな

82 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

おまえらそんな話を堂々と母親の前ですんなよ

84 : >>1のカーチャン : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N

@ m d a t l 0

いやむしろもっと騒ぎ立ててくれたって良いのよ

そうじゃないと危機感が実感できんし

87 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N @ m d

a t l 0

>>>84

それはそれで辛いものがあるな

90 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

つか外の様子は今どんな感じよ?

91 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

ちよつと待て今接続してる

93 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

Oh Shit! 既にヤバい状況だぜ

94 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

原作における佳境という奴か

95 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

at10

具体的にはどの辺よ?

97 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@md

a t l o

仮面の男……もう猫姉妹でいいや。二人が動いて騎士吸収はやて絶叫書は起動  
主人公ズもまだ抜け出せていない模様

9 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l o

&gt;&gt;97

それはもうヤバいって段階越えとるがな

9 9 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m d

a t l o

騎士吸収して起動までしてるのに全然実感ないな

1 0 0 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

その辺も管制氏消失に伴ってシャツアウトされてんじやね？

1 0 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

管制氏が消失したのではなく我々が弾き出された可能性が微レ存…？

1 0 3 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

data10

&gt;&gt;102

なるほどそういう考え方もあるな

104:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00

ID:N@m

data10

&gt;&gt;102

正直その発想はなかったわ

105:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00

ID:N@m

data10

だから起動その他も感知できなかったのね

107:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00

ID:N@m

data10

必要無くなった途端纏めてポイーですかそうですか

108:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00

ID:N@m

data10

さあいらなくなった子はどんどんしまつちやおうねー

110:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00

ID:N@m

data10

&gt;&gt;108

みんなのトラウマやめろ

113 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

とか言ってる間にも動きあつたぞ

114 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

何じゃこりや

115 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

猫姉妹が一瞬でミンチにされかけたでござる

116 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

かませ犬ならぬかませ猫ですかい

117 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷)

18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

リアル猫の缶詰めとか誰得

120 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

つか猫姉妹って遠目で見る時にクロノ君にタイーホされてんでねーの？

121 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

速捕も何もクロノ君影も形も見当たらんがな

123 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

クロノ君が到着する前に猫姉妹が仕掛けたって事なんじゃないの？

125 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

まあ今の今更原作との乖離点挙げてたらキリがないが

126 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

でもだからって我々が直接手を下す必要はなからうて

127 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

いくら先制攻撃喰らったからってあれ程までやっちゃうのはちよつと…

130 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

システムのには単に反撃＋無力化しただけなんじゃね？

やり方がアレなのはまあ仮にも相手Sランやし

131 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

どう見ても過剰防衛

134 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

でも一応殺してはいないんだよな

135 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そーいやそーうだな。

138 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10



何でだろうね？

前回は覚醒した途端非戦闘員問わずデストロイしまくってたのに

139 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

それだって「殺してない」だけでそれ以上に惨いですやん

140 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

戦闘能力をきっちり容赦なく奪ってるもんな

142 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

再起不能というか少なくとも今まで通りの仕事へ復帰するのは絶望的だろうな

143 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

一瞬でリンカーコアに致命傷与えるとか恐ろしいア

145 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>142

それって使い魔としては死ぬより辛い事なんじゃないかね

146 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

主の負担にしなければならない訳だからな

そもそもハラキリしたくなるぐらいしんどい事だろうさ

147 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

それすら考えて殺さないのだとしたらもう吐き気を催すどころじゃないな

149 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

Sランクの殺意丸出しパンチ顔面に受けて平然としてるとかマジ化物

150 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

原作キャラってか女の子を平然とワンパンで沈ませられる時点で十分戦慄モノ

だよ

155 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

つかここまで華麗にスルーしてるが今我々が掴んでるのってどう見てもデユラ  
ンダルだよ

156 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

どう見ても氷結の杖です本当に (ry

159 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

何時の間にかすめ取ったんだよ

160 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

手癖悪すぎイ!

162 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

これも本来グレアムさん経由でクロノ君の元に渡る筈なのに

163 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

見せ場といいデバイスといい神はクロノ君が嫌いなのか?

164 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>163

イケメンリア充カチグミエリートだからしゃーない

167 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

紛失喪失ならまだしも敵の手に渡るとか最悪じゃないですかー

168 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

既に猫姉妹の手に渡っちゃったとはね

170 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

まあ起動中にエターナル（ry喰らった時点で嫌な予感はしてたけどね

171 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>170

悪意ある略称やめーや

173 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
 data10

まあ肝心のエターナル（ry自体も薄皮一枚すら凍結できてなかったけどな

174 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

相手というか段階が違うが足止めくらいはできたんじやなかったつけ？

175 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

術者的にも発動失敗って事はないだろうしな

177 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

効果無いぐらいにまで我々が強化されてたんでねーの？

178 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

実際の今更凍結封印程度（ $\sim$ 、 $\sim$ ）フーンでしかないし

180 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

次元幽閉されてもノーコスト帰還余裕だしな

184 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

で、本来の持ち主からパチったこれを絶賛暴走中な我々はどう料理するのか

185 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

少なくともエターナル (ry) ぶつ放す事はないだろうな

188 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>185

まあ海鳴一つ氷河期にする程度ならもつと効率良い手段沢山あるし

190 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

でも態々アリア (髪が長くて現在ビルにめり込んでる方) から奪ったんだから

何かしらの目的あるんじゃないの?

191 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

&gt;&gt;190

遠目で判りづらいかもしれんがロツテの方も絶賛めり込み中やで

192 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

人間砲弾がビル数件貫いてくとかもう何のアニメか判んねえなこれ……

193 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

クリスマス休暇が普及してなかったら実際やばかった

199 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

うはwwwwwwマジかwwwwww

200 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

喰いおつたwwwwww

201 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

結論：料理なんて必要なかった

203 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

リアル捕食かい

204 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

お上品な口のままでようやるわホンマ

207 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

砂糖菓子よろしく頭からバリバリいってるな

210 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

絶対腹壊すだろ

212 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

これも蒐集行為の一環なんかね?

213 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10



あまりにも直球過ぎて草生える

216 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そして瞬く間に完食

217 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

ごちそうさまでした と

219 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まさかこれだけの為に奪ったのか？

220 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まあ現状最新鋭のストレージだし「喰う」だけの価値はあつたんじやないの？

221 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

その割に満足もサティスファクションもしてなさそうだけだな

222 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

忘れちゃったよ……満足なんて言葉

225 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

これでは制作者の苦勞が浮かばれますまい

226 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

&gt;&gt;225

喰った時点で既に制作者涙目やろ

230 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

あのですねなんか震えはじめたんですけど

231 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

今更腹下したとか?

232 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>231

その程度ならどれだけ良い事か

234 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

Q. 何が始まるんです？

235 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

A. 大惨事だ

236 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

我々が存在する限り死体は増えてゆくばかりなものな

237 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

そして最後は死体だけになると

241 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

なんか魔力値が凄まじい勢いで上昇してるんだが

243 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

凄いな。まさしく天井知らずの勢いだ

244 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

既に地球を蒸発させた釣りで億ション買えるぐらいの量はあるぞ

247 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

一体どこからこれだけの量が湧きあがってくるんだよ

249 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

>>247

次元連結システムのちよつとした応用か何かだろ

250 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

まあ多分これまでリンカーコア諸共蒐集を重ねてきた分を一気に開放してるん

だろうな

252 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

どう考えても人間一人のサイズに収まるもんじやないだろ  
 破裂しちまうぞ

255 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

や、一応収まりはじめたみたいだぞ。

みたいだが……

256 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

え……え……？

257 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

何これ……

261 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

あれだけ膨れ上がった割には一瞬で落ち着いたな

とてつもなく最悪な方向で

262 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

そらまあ黒一色で染まっちゃってますから

264 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

ちな補足だが現マスターなはやての発現色は「白」で、

さらに補足すると黒は黒でも「この色」は理論上生物としてはありえない発色な  
 んだぜ

265 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>264

そーなのかい

268 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>264

魔力光色って確か肉体じゃなくて魂に起因するじゃ……  
陛下の例もあるし

270 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

data10

>>>268

まあつまりは「そういう事」なんだろう

273 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

data10

あらまあ視界も随分とクリアになっちゃって

274 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

data10

五感+αも絶好調やな

275 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

data10

これつてもしかしてアレだよね……？

276 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

data10

もしかしなくてもアレだろうさ

280 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

24日、覚醒です

281 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

デアドン！（絶望）

283 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

ファツ!?ウーン（心停止）

284 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

覚醒?あつ……（察し）

287 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

やべえよ…やべえよ……

291 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m



data10

なんか如何にもおぞましいというカラスボス然とした姿になっちゃったんです  
が：

292：名もなき子：2004／12／24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

>>291

まあ実際ラスボスだし多少はね？

294：名もなき子：2004／12／24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

3期なんてなかった

295：名もなき子：2004／12／24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

>>294

実際本当に消滅しそうなんだよなあ：

297：名もなき子：2004／12／24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

骨チツクな仮面と殺す気に満ち溢れた鎧が素敵ですね（白眼）

299 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

ほんとにこの左腕から生えてる訳判らん武器とかもうねアホかと

301 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

誰だよこんな悪趣味な甲冑デザインしたの

302 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

一周回ってオサレに見えない事も……やっぱ無理だわ

303 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

虚化ってレベルじゃねーぞ

307 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

こんなの絶対おかしいよ!

310 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

今までこんな事あったっけ？

311 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>310

今までも何も我々自身の姿で現界したのつてまだこれで二回目だから

313 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

一応前回はここまで攻撃的なフォルムはしてなかった筈なんだけどな

314 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

なおすつぴんでも多数の死者を出した模様

315 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

救い無いじゃないですかーやだー

320 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

てかうるせえwww

3 2 1 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

バインドボイスか何かか？

3 2 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

マジ音響兵器

3 2 5 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

見た目と正しい行動と言いなんかももう完全に悪堕ちしちやった感じだな

3 2 6 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

実際9割方落ちてるので

3 2 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

堕ちたな(確信)

3 3 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t 1 0

それより結界が張られちゃってるんですがそれは…

333 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>332

張つたの我々だかな

335 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

街への被害を抑えるラスボスの鑑

336 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>335

どう考えても籠城目的何だよなあ…

338 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

ああそーういやこうして呑気に駄弁つてられるつて事は完全に掌握されてはいな

いのね

339 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

&gt;&gt;338

これからじっくりゆっくり精神溶かしてくんだろ

340 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

その為の結界?

341 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

暴力! 暴力! 暴力!

343 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

&gt;&gt;339

なにそれこわい

344 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

標的は専らはやての方だと思うけどな

346 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

d a t l o

いやでもまあ結界内に我らがエース二人おるしまだあわわわ

3 4 7 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

時間稼ぐくらいはできるんじゃないね？

3 4 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

でも非戦闘員も二人程結界内におりますぜ

3 4 9 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

ああそんなイベントもありましたね(棒)

3 5 3 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

結局何故あの二人は取りこまれたというか取り残されてたんかね

3 5 4 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

どうせそれも演出というかご都合主義だろ

355 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

もしくはうっかり

357 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

安定のうっかり

360 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

やっぱりうっかりじゃないか (憤怒)

362 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

マジレスすると主の潜在意識が無意識の内に特例を作ってた

つてばっちやが言ってた

363 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>>362



真偽の判断に困るソースだな

368 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

おまいらそろそろ現実逃避は止めにしようぞ

369 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>368

逃避なんざスレ始まってからずっとだぜ

370 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

で、うっかりだか何だかで紛れ込んだお二人が何故ロツクオンされてるん？

371 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

魔導師二人はともかくあつちには蒐集する魔力すら無いのにな

374 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

お前らだって飯の中に栄養の欠片も無いゴミが混ざってたら取り除くだろ？

つまりはそういう事だ

376 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>374

成程判り易い

377 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>374

判りたくも無い内容だがな

380 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

そして見せつけるかのようなこのフラッシュムーブ

381 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

速度といい距離といい最早転移と変わらんぞこれじゃ

382 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

でもしつかり足跡ついてるですよん

383 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>382

これ舗装された道路なんだよなあ :

386 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

あ、やっぱここでも非殺傷使うんだ

387 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

さつきの猫姉妹といい何でだろうね？

390 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

何にせよここまで魔力込められると非殺傷云々も関係無いがな

391 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まあ相手が相手だし

393 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

仮に植物状態でも息してれば非殺傷やから(暴論)

395 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

植物状態どころか五体満足かも怪しいぞこの場合

さっきのは猫姉妹だったからこそその訳であって

398 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

非殺傷って魔力ダメで物理的影響ないんじゃないの？

399 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

>>>398

猫姉妹殴り飛ばしておいて影響無いか冗談はよせ

400 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

非殺傷(物理)

402 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m  
 data10

達磨だろうがなんだろうが生きてさえすりや良いぐらいの判断なんだろうせ

404 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

むしろ幽霊でも意志疎通図れば「可」だしそうだな

405 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>404

原作の原作は勘弁してーな

412 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

この砲撃は

413 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

(。▽。 ) キター!!

415 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

なのはさんきたこれでかつる…:…といいんだけどな

416 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

うーんどうだか

420 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

改めて本物を目にするのと色々想うところがあるというか何と言うか

421 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

魔力量だ何だの判り易い指標が一目瞭然だからな

かえって変な希望持ちにくくなる

422 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

それでもなのはさんなら:(ry

425 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

とはいってもとてつもない重し二つを抱えちやつてるからな現状  
果たしてどこまで戦えるものか

4 2 6 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 ID : N @ m

data10

いくらあの二人でも同数抱えながらはしんどいでしょ

4 2 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 ID : N @ m

data10

個人的にはあの二人を連れてさっさと逃げてほしいんだけどな

4 2 9 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 ID : N @ m

data10

つかなんでとつとあの二人を逃がさないの？

4 3 1 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 ID : N @ m

data10

逃がさないんじやなくて逃げられないんじやないの？

4 3 3 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 ID : N @ m

data10

>>>432

まだ何も言つとらんがな

4 3 7 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0  
 I D : N @ m  
 d a t l o

転移つたつて一方的に送りつけるだけじゃないからな

結界の解析云々で受信側との兼ね合いつかないんじゃないの？

4 3 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0  
 I D : N @ m  
 d a t l o

こんな状況だからこそ安全確保が大事なんだろ

4 3 9 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0  
 I D : N @ m  
 d a t l o

いしのなかにいましたとか洒落にならん

4 4 3 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0  
 I D : N @ m  
 d a t l o

しかしあまりもたつていると我々としても追撃せざるを得ないわけであつて

4 4 4 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0  
 I D : N @ m  
 d a t l o

とか言つてる間にもう上をとつてるぞ



445 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

何故態々上を取りたがるんかね

447 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>445

ほらまあアレと煙は高い所へ昇るって言うし

448 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

私が天に立つ (キリッ)

451 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

ああやつぱりSLB撃っちゃうのね

452 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

さっきので敵性反応と認識されちゃったんだろうな

454 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

後ろに非戦闘員抱えてるのはおかまいなしですか

455 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

必要な犠牲とやらに含まれるんじゃね?

456 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

犠牲となったのだ:

457 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

そんな理由で選ばれた奴にやなんて声掛ければ良いのやら

459 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

魔力すらない一般人二人程度誤差の範囲内なんだろうなマジで

462 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

それよりもあのですねSLBがヤヴあい事になってるんですよ

463 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
 data10

何で単発収束砲なのにスフィアが100個くらいチャージされてるんですかねえ…

464 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
 data10

申し訳ないが机上の空論デイメンションシフトは洒落にならないのでNG

465 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

つかチャージなど要らないんじゃないの？

466 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>465

これでチャージ不要とかマジ壊れになっちゃう

467 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

収束砲100並列とか物理的に可笑しい事やってる時点で大概壊れなんです

それは：

468：名もなき子：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

これも次元連結システムの（ry

471：名もなき子：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

ホントにもう我々一人で良いんじゃないかな

472：名もなき子：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

>>471

実際そういうコンセプトですしおすし

473：名もなき子：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

そして誰も居なくなるってか

474：名もなき子：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@m

data10

要らなくなるでも良い気がするけどなこの場合

479 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

しかし耐えきつた豪傑が実際ここにおる訳で

481 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

あの無慈悲な絨毯爆撃掻い潜るとか何者だよ

482 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

A. なのはさんです

483 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>>482

不覚にも笑いかけた

486 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

正直に凄いというかなんというか

487 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

d a t l o

自力もあるが後ろに守りたいもの抱えてるってのもあるんだろうよ

4 8 9 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

なんとも気高い事だ

4 9 0 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

我々とは正反対だな

4 9 1 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

真逆を征く(ドヤ顔)

4 9 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

&gt;&gt;491

むしろそつち側が王道なんだよなあ…

4 9 5 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0 I D : N @ m

d a t l o

まあそこまで期待して良いものでもないとは思うけどな

正直あの一発で限界っばいし

496 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

防衛一回でマガジン一つ使いきってたらそら持たんだろうさ

498 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

でも転送できて足回り軽くなれば回避でなんとかできるんじゃないやね？

499 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

なんでついでにお二人さんまで回収しなかったんかね

500 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

あの二人が拒否したんだろ

501 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

認知されてない我々はともかく中にははやと守護騎士がいるわけだしな

502 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

そもそもはその為に今日この日来た訳であって

505 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

まあ外から入れない以上唯一残存する戦力でもあるしな

したくでもできんでしょ

509 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

そういやこの段階なら管理局サイドは書の名前その他の情報も掴んでる訳だよ

な

510 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

>>509

ユーノ君が頑張つてればな

512 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10



そうだとしても意味無いとは思うがな

515 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

原作じゃ本当の名前すら忘れての暴走だったが

少なくとも此処では中の人たる我々がぼつちり憶えてるといふか知ってる訳やし

516 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

の 実際「暴走」じゃなくて「夜天の書」の開発コンセプトに基づく正しい行動だも

部外者どころか排すべき障害に何言われようと効果なんてあるめえ

518 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

一応主のはやてへ呼びかけるって意味合いもあると思うけどな

それだって効果あるかは判らんし

522 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

それにしても粘るねえお二人さん

これまで見てきた中でもトップクラスだろ

523 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まあ基本出会った瞬間蒸発だったからな今まで

そもそも「戦う」って事それ自体が珍しい

524 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>523

先代の無様な姿を忘れたのか

525 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>524

あれは最早それ以前の問題ですから

526 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>524

一人じゃ碌に飛べもしない輩とかノーカンやから

533 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

しかしあの子達の根性が並々ならないのもまた事実だ

534 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

未熟であつても心は既にエース級だしな

537 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

マジレスすると相変わらず殺しに掛かって無いつてのもあるがな

538 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

>>>537

無意識に抵抗しててであろう主の精神を溶かす方を優先してるからじゃね？  
はやて

あの二人をあしらう事なんておまけのおまけだろ

540 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 : ID : N@m

data10

粘るといつても防御と回避に精一杯だしな

543 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

いやでも二人の方も何か仕掛けるみたいだぜ？

544 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

確かに

さつきから念話で何か作戦立ててるっぽいな

545 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

あの変態機動続けながら会話するとかその時点でスゲーと思うのですよはい

546 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>545

マルチタスクは魔導師の基本やからな

かく言う我々も素で666並列思考やし

548 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

思考が全く協調出来てない点を除けば優秀ですよん

549 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

>>>548

根本から破綻してるんですがそれは：

551 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

本気だせば908講同時計算とか余裕やし(震え声)

552 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

それだけできてもこの状況を打破する手段は見つからないというのがもうね

553 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

そもそも存在しないものなんてみつきりませんですし

555 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

そしてこの策もきつと失敗するんだろうな

556 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

そらまあ本来隠すべきものが筒抜けな時点でアウトでしょ

557 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

無慈悲な傍受はやめてさしあげろ

561 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

仕掛けたな

562 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

ああだから駄目だよフェイトそん背後とつたからつて

「もらった!」的なデスノボリを立てちゃうのは

563 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

こんな時まで安定の次元世界人か

564 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

もう芸人根性がDNAにまで染みついているとしか思えん

566 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

そしてやつぱ魔力持ちは捕食しちゃうのか

567 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

蒐集つて同一人物からは一回だけじゃなかったの？

568 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>567

単にエネルギーとしての魔力を吸い上げるだけじゃねこの場合

570 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

リンカーコア情報に目新しさはなくとも肉袋ならぬ魔力袋に変わりは無いから

な

とりあえず喰ついても損は無いんだろ

572 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>570

事実とはいえその表現はいかなものか

573 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>570

許さんぞタルカアアス!!

574 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

髪を触手化しての丸のみな分絵的には幾分かソフトではあるがな

当人の感触がどうかは知らんが

575 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

意外! それは (ry

576 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m



data10

他と同じく非殺傷なら一先ず大丈夫だろ

それより残されたなのはさんへの心のダメージがやばい

577 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

成す術も無く親友が目の前でやられた訳だからな

さぞショックだろうに

579 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

それでもめげず立ち向かってくるのはさんマジパネエっす

580 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

流石の主人公サマだぜ

こんなところで腐ってる我々とは大違いだ

581 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>580

いくら捨て鉢だからってそんな言い方はないだろうさ

気持ちには判らんでもないが

584 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

やっぱ最後はなんやかんやあっても主人公が颯爽と全部持つてくんかね

585 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

細かい差異はあれど大局的には概ね原作沿いだからな

修正力か不思議な事かは判らんが一発でひっくり返される可能性は無きにしても

非  
ず  
だ

586 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>585

その通りだと結局我々はあぼんする訳だな

587 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>586

それにしたって皆に惜しまれつつの感動的な離別エンドやん  
今の状況鑑みれば大勝利だろ

589 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

d a t l o

このままだと只一人生存の絶望エンドだからな

それと比べりや遙かにマシだ

592 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

d a t l o

いや待て判らんぞ

どう足掻いても絶望が昨今のトレンドらしいからな

最後の最後で結局ひっくり返しきれず圧殺も十分あり得る

593 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

d a t l o

>>>592

むしろそっちの方が遙かに現実的な件

594 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
I D : N @ m

d a t l o

最悪地球は諦めて逃げるって手段もあるしな一応

596 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

>>594

亡国の民となつて復讐を誓うエンドか

599 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

非殺傷でも生きてさえすれば良い訳だしな此方も

最悪じゃなくても腕の一本くらい持つてかれる可能性もある

600 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

>>599

そして義手にレイハさん仕込むですね判ります

601 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

data10

ヒューッ!

602 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
ID : N@m

d a t l o

そんなのはさん見たくねえ

6 0 7 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

極論主人公終了でも幕引きはできますしおすし

6 0 8 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

戦っても生き残れないと申すか

6 1 0 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

勝ったッ！ 第二部完！

6 1 2 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

3期自然消滅でロリコン歓喜

6 1 3 : 名もなき子 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (雷) 1 8 : 3 0 : 0 0

I D : N @ m

d a t l o

申し訳ないが幼女達が容赦なく死ぬ展開はNG

614 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

>>>613

ロリコンがいるぞ殺せ!!!

615 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

図つたなシャア!

616 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

君の性癖がいけないのだよ

617 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

>>>616

ロリコンでマザコンがいるぞ殺せ!!!!

618 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

情けない>>>616!

619 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

>>616 って本当に最低の (ry

625 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

ここまでの下らない遣り取りが正にそうだが

やっぱ住人ってば危機感が無いというか他人毎だよな基本

626 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

冷めてるといいうか最初から諦めてるといいうか

627 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

少なくとも悲劇自体は身飽きている

628 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

それらが容易に覆せないものである事など身を以て知ってるので

630 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

住人の思考なんて「どうにかなる」「どうにでもなれ」の二つしかないだろ

631 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

改造云々の前に人間として駄目な段階にまで来てるとは思うぞ

633 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

何万年も生かされ続けてる時点で正気なんて保てんだろ

634 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

ある意味狂って然るべきとか何とか言うか

635 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そらまあ我々自身は超人でも何でも無い一般人だからな

口先だけなら兎も角実際何か持つてる訳でもないし、他人がそうである事も理解

できる

638 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m



data10

少なくとも凡人なりに自然と弁えられてはいるんだろうな

641 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そもそも今あるこの現実だってポツと湧いて出たもんじゃないしな

過去の様々な積み重ねの結果齎されたものですし

642 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

何もしてこなかった奴が思いつきや気まぐれ一つでひっくり返せるもんじゃな

いよな

644 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そんな簡単にひっくり返せるものリアルとしての価値なんざありませんぜ

645 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

現実のリセットボタンなど存在せんわ

648 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

流されるがまだだった事を正統化する理由にはならんが

こうなった原因が我々だけにあるかと聞かれればNoと言わざるを得ない

650 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

ifだが主が住人基準でもマトモだったらここまでにはならんかったろうしな

651 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

さもその気になればどうにかできたように語るのはある意味滑稽でもある

652 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

&gt;&gt;651

それを言っちゃあお終いよ

657 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

ぶっちゃけ主人公云々も半分冗談なみたいだろ？

658 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

何も考えず流れのままレスしてる機雷はある

660 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

誰もが皆人生という名の劇場に立つ主役だとかなんだか

661 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

そうかそうか

662 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

&gt;&gt;&gt;660

人生と言う名の悲劇ですわかります

664 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

ID : N@m

data10

物語の全てが順風漫歩なハッピーエンドという考えがそもそもおかしいわけで

あつて

667 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

これもまた物語って言うならハッピーエンドじゃなかっただけの事

物語じゃなって言うなら尚更ハッピーエンドなんざ夢のまた夢

結論：救いは無い

data10

668：名もなき子：2004/12/24（雷）18：30：00 ID：N@m

&gt;&gt;&gt;667

しようがないね

data10

670：名もなき子：2004/12/24（雷）18：30：00 ID：N@m

何にせよ我々の行き着く現実には破滅の二文字だけよ

非情でも無情でも何でもない只の事実だ

data10

671：名もなき子：2004/12/24（雷）18：30：00 ID：N@m

でも何と云うか、このままってのも嫌なんだよな

672 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>671

理屈云々を抜いた個人的な感情としてそういうのあるよな

673 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

やっぱそう思う？

675 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

何だ悶々としてたの俺だけじゃなかったのか

677 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

これ同じ様な事考えてる奴結構いるんじゃないの？

678 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>677

ここ最近のごたごたで燻ってたものは確実にあるだろうな

流れや雰囲気やらで口にしてこなかっただけで

681 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

やっぱり住人も頭でつかちのお利口さんだけじゃないって事か

682 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

住人もまだまだ捨てたもんじゃないな

684 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まあ単なる憂さ晴らし以外にも色々理由となるものはあるとは思うけどな

685 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

少なくともあんな子ども達だけに頑張らせておいてくつてのはあるわな

686 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>>685

それも多分原作キャラだ何だを抜いた感情だよな  
より我々現代日本人に近いからって感じで

689 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>686

それスゲー判る

多分今外でドンパチやってるのが生粋の魔導師だったら

「次元世界SUGEEEE」で終わってただろうし

691 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

そういうなのはさんもついこの間まで我々と同じくパンピーだったんだよな

ごんぶとビームぶっ放してるからつい忘れがちになるわ

692 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

>>691

今でも十分普通の女の子だろ

少しばかり空飛べるだけで

693 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

そうともよ

694 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

どうだろう皆、ここいらで一丁

やらまいか

695 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

>>694

ウホツ! アイディア いい提案…

696 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

この状況下で尚立ち上がるとかなんという益荒男

697 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00

data10

これはホイホイ突いていかざるを得ない

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m

ID : N@m



698 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

>>697

素晴らしい誤字だな

いつそ清々しい

699 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

突いていく(意味深)

700 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

一斉蜂起する住人665

701 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

つよそう(確信)

702 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

流れ変わったな

705 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

つまり具体案はさておき反撃に出るといふ事でおk?

706 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

ok

710 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

dat10

過程や方法なんてこの際二の次三の次だ

今は立ち上がるって意志そのものが何より肝要

712 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

dat10

珍しく住人の士気も上がってきてるしな

やるならここで一気に火を付けるべき

715 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

dat10

おう誰か某大佐ばりの演説でもかませや

716 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 data10 ID : N@m

>>715

確かに盛り上がりはするがジエノサイドはあかんやろ

719 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

じゃあ俺がやってやんよ

720 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

いやいやここは某が

721 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

仕方ねえ俺が一肌脱ぐとするか

722 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

data10

>>721

どうぞどうぞ

723 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>721

どうぞどうぞ

724 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>721

どうぞどうぞ

725 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

(AA略)

726 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

>>>725

獲物を狙う狩人の目線やめろ

727 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00  
 ID : N@m

&gt;&gt;&gt;725

「二肌脱ぐ」に反応しすぎ

728 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

脱ぐのは僧衣だけにしとけよ

731 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

諸君！ 我々は今、一人の英雄を失った。だが、これは終わりを意味するのか？  
 否！ これは新たな反抗の橋頭保なのだ！

732 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

なんか始まったwww

734 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

てか何故ころたしwww

735 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

まだ死んでないっての

738 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

まあとりあえず黙って聞こうぞ

740 : 名もなき総帥 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
mdata10

広大なる次元世界へ生まれ落ちてより早数千年。幾度となく刃を交え、目下の所  
最大の敵となっている時空管理局が有する戦力は、皆も既に承知の程であろう

我々と同じ戦場へ立つ必要最低限の資格たるAAAランクを有するものは

総数の僅か5%にも満たず、またその内の大半は道理も判らぬ幼子と

椅子を尻で磨く事しか能の無い老害共が占めているのが現状である

敢えて言おう、カスであると!!

742 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

カwwwwswwww

744 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m  
data10

リスペクトとはいえ大きく出たな

747 : 名もなき総帥 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@

mdat10

にも拘らず、今日まで彼らがその戦線を維持し続け

剩次元世界の平定へ寄与してこれたのは何故か!?

それは、彼らの行いに「正義」があるからに他ならない!!

748 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

dat10

ほう

749 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

dat10

続きはよ

751 : 名もなき総帥 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@

mdat10

諸君らの中には、この言葉に疑問を抱く者もいるだろう

確かに、権力は腐敗を生み、力は格差を生みだす

その果てが現在の社会であり、世界であるからだ

だが忘れてはならない。彼らの心に宿る無双の槍を！ その初志たる魂を!!

752：名もなき総帥：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@

m d a t l o

我々は多くを知り、それ故に視界を曇らせてきた

だが、正義とは何だ!？ その真理とは一体何だ!？

同じ志を持つ者同士が刃を交える事か？ 孤高の丘で唯一人己に酔う為のもの

か？

否！ 断じて否!! そんなものは“まやかし”に過ぎない!

現世に蘇った救世主は飢えた子へ己が軀を分け与える事を躊躇うか？

黄金なる鬻體は自らの力を振う事に迷いを抱くか？

「そんな事はあり得ない」私は此処に断言しよう

何故なら、彼らは「正義」だからだ!

真なる正義は何者にも負けぬ力を伴う。絶対であるが故に「正義」なのである!

753：名もなき総帥：2004/12/24（雷） 18：30：00 ID：N@

m d a t l o

諸君!! 今こそ、我らは立ち上がらねばならない!

万象の前へ立ちはだかる誇り高き巨悪として！ 守りたいものを秘める小さき



勇者として！

今こそ剣を取り、真の意味で戦場へと向かわねばならないのである！

恐れもあるだろう。怖れもあるだろう。だが、決して目を逸らしてはならない！  
下を向けば際限なく、上を見れば果てが無い。ならば、我らは前を向こう！

傍らにある同胞達の手を取り、その足の赴くままに、尊厳を賭けた戦場へ歩みを  
進めよう！

それこそが、我ら夜天の魔導書に残されし唯一無二の「正義」であるからだ！  
踏み越えてきた犠牲を、乗り越えてきた悲しみを、育んできた愛を

全ての感情を力に変えて、立てよ！ 住人!!

ジイイイク！ 日本!!

754 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

(。▽。)ノ ジークニホン!!

755 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

756 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!  
 (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

757:名もなき子:2004/12/24(雷) 18:30:00 ID:N@m

data10

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!  
 (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

758:名もなき子:2004/12/24(雷) 18:30:00 ID:N@m

data10

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!  
 (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!  
 (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!  
 (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

(。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!! (。▽。)ノ ジークニホン!!

761:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00 ID:N@m  
data10

なんだこれは::たまげたなあ::

762:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00 ID:N@m

data10

スレ住人の底力を見た

764:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00 ID:N@m

data10

何か変なの混ざって無かったか?

765:名もなき子:2004/12/24 (雷) 18:30:00 ID:N@m

data10

>>764

それも含めてのスレよ

769 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

なんというかもう流石ですねとしか言いようがない

770 : 名もなき子 : 2004 / 12 / 24 (雷) 18 : 30 : 00 ID : N@m

data10

でも嫌いじゃないわ

◇◇◇

「どうかしたの? フェイト」

覗きこむ紅い眼差しが、自身と瓜二つの——若干は幼いものの、紛れもなく同じ姿かたちをした存在が、自分へ問い掛ける。まるで鏡映しの様な光景だが、“普通”である場合とは違い、ここで「鏡」に当たるのは、やはり自分の方なのだろうか。

アリシア・テスタロッサ

単純な前後で言えば“姉”に当たる存在であり、複製クローンたる自身にとっての母体オリジナル。かつ

て母が真に欲した存在むすめにして、既に居る筈の無いヒト。

闇の……否、「夜天の書」が見せる、限り無く現実に近い虚像まぼろし。それが、今自分に問いかける。幻影と、罨とは思えない程に裏表の感じられない、その興味かんじようの赴くままに。

「え……何が？」

「何が？　じゃないよ。」

さつきからずーつとこんな顔しちやつて。気にならない方がおかしいよ」

両目の間をつねる仕草……恐らくは「眉間に皺かたが寄っている」事を伝えたいのだろう。姉とは言え、彼女の時間が自身の相当する年齢それより以前で止まっている事を考えれば、この様な方法かたちとなるのにも一応の納得がゆく。

嘗て「何もかもが違う」と言われた自分と彼女であるが、夢とは言え実際に会った感想を言えば、確かに違うと言わざるを得ない。それは、資質や利き腕といった要因の前に、方向性としてそのものが異なっているのだろう。恐らく、自分にはこうも無邪気な笑顔はできないであろうし、また逆に、彼女に武器デバイスが似つかわしいとは到底思えない。

そう、少なくともこんな事を考えられる程度に、「この話題」に関しては落ち着いてい

る。夢の世界こで出会い、言葉を交わし、そうして、少しかだけ解り合う事ができたから。独

りよがりな妄想であっても、自分の中に一先ずのピリオドを打つ事ができたから。

「いいのよ、フェイト。遠慮せずに言ってみなさい」

——だから、こうしてこの人とも一緒に居られる。夢であっても……或いは夢だからこそ、こうして三人で居る事ができる。

今まで自分達の様子を見守るだけであつた母が、ここで漸く口を開く。温かさ、柔らかさに満ちたその微笑みは、「自分」が一度として見た事のなかつたもの。そして、きつと心の奥底で自分が望んでいたものなのだろう。

それがこの空間の、延いては「闇の書」の性質。そうしてまどろみの中で心を溶かしてゆく事こそがこの場所の役割であり、戦いの最中、私とその内へ取り込まれた理由。だから本来、こうして幻影と言葉を交わす事は、「闇の書」の思う壺なのだろう。

「迷っているんです……このままで良いのかって」

けれど、それでも話をしてしまうのは——やはり、その術中へ囚われてしまっているからなのだろうか。それとも、記憶を元に再現されたであろうこの人を、この世界を、私の記憶が「本物」であると認識しているからだろうか。わからない。

「別に、二人の事が嫌いな訳じゃない。これが畏であつたとしても、

母さんやアリシアねえさんに会えて、こうして言葉を交わす事ができたのは凄く嬉しい。

もし叶うのなら、二人とも一緒に暮らしてゆきたいとも思っている」

「でも、今現実そとではなのはが、私の大切な友達ともが戦っている。

新しくできた友達を助けるため、そして夜天の書ともお話をする為、全力で戦っている。

——私は、そんななのはの助けになりたい。私の為に戦ってくれた人の助けになりたい。

それを放っておく事は、いくら二人と一緒にいても……ううん、二人だからこそ、したくない」

「……でも、その為にどうすれば良いのかが判らないの？」

話す内容は、決して良い報告などではない。ジュエルシード探索中であれば、間違い無く「罰」は免れられなかっただろう。

けれども、嘗てとは違うその促す瞳に、自然と言葉は続いてゆく。

「……はい。」

この場所は、単に記憶を映し出しているだけじゃなく、同時に強固な結界でもあるんです。

単純な堅牢さだけじゃない、恐らくは対象の精神面にまで働きかける特性を併せ持ったもの。

少なくとも、私一人はおろか、母さんが戦える状態であったとしても、強引に突破するのは

難しいと思います。

それに、仮に此処を抜け出す事ができたとしても……」

それでも、最後まで辿り着く事はできなかった。

叱責そのものを恐れている訳ではない。目を背けているのは、背きたいのは、目の前の人ではなく自分自身。骨身にまで染みつかされた力の差に、「恐怖」を感じてしまっている不甲斐ない自分。

そう、「不甲斐ない」。

易々と捕まってしまった事は勿論、囚われの身となり、こうして結果的に足を引つ張っている自分はそうとしか言いようがない。本来ならば非難されてしかるべき立場であり、優しく受け止められている今の状況は、いっそ辛くすらある。

だから、その優しい瞳が耐えられなくて、情けない自分を直視できず目を伏せて——  
そんな自分を見上げる、無邪気な視線と交差した。



「アリシア……?」

「どうすれば良いのかって?」

「そんなの簡単、ここで待ってれば良いんだよ」

何時の間に懐へ入りこんだのかという疑問すら忘れ、一抹の迷いも無くそう言い切る姉に、思わず面食らう。

けれども、幼さか性格か、そんな自分の様子など気にも留めず、アリシアは更に言葉が続ける。

「だって、今のフェイトは言わば囚われのお姫さままでプリンセス。

お姫様は助けてもらうのが仕事なんだから、自分だけでピンチを切り抜けちゃダメなんだよ」

危機感の欠片もなさそうなその言葉。流石の自分も、反論せんとする言葉が口から漏れかける。

「が、それが発せられる機会は、更に続いた言葉により永遠に失われる事となった。

「それに、さっきは言って無かったけど、フェイトの友達が「助けたい」と思ってる人中には、

フェイト自身だって当然含まれてる。

うん、まあ確かに捕まっちゃったのはマイナスかもしれないけど、それはそれ。

そして、その為に友達は今頑張っているんでしょ？

なら、信じなきゃ。フェイトが信じてあげなきゃ」

例え自体は、幼子らしいというべきか、聊か「ずれている」と感じられもしよう。けれど、言葉に込められたその真意は、確かに的を得ていた。単なる樂觀とも違うアリスアのそれは、自身にとってはさながら脳裏に直接雷が降った程の衝撃であったのだ。

「……そうね、アリスアの言う事も尤もだと思うわ」

呆ける自分を見つめ続けるアリスアをひよいと抱え上げ、母がその言葉を引き継ぐ。非難も、失望も無く、ただ純粋に教えを諭すその姿を、どうして「母」と思わずにいられよう。

「友人の助けになりたい」という気持ちはとても大切な事だと思うわ。

アリスアだって、それ自体を否定するつもりはないの。

でもね、フェイト。例えこんな状況でなかったとしても、アリスアの言う通り、貴女自身もまた「助けてもらう」立場でもあるのよ。

……その意味が判るかしら？

今の貴女は、もう十分に誰かから愛されるだけの存在という事よ」

耳に、心によく通る言葉。これが幻想わなである事すら忘れそうになるその響き。

否、或いは本当に、幻などではないのかも知れない。夢として現れた母の、在りし日のプレシア・テスタロッサが抱く本心の一端であるのかも知れない。

——だってその言葉は、間違い無くアリシアではない私を見つめていたのだから。「フエイト、貴女はきつと、まだ心の何処かに『負い目』を抱えている。

他者の好意を得るために、必ず何か行動を起こさなければならぬと考えているのでしよう。

——それは、他でも無い私の罪。それに関しては申し訳ないと思つているわ」  
「でもね、決してそんな事はないのよ。

誰かを大切に思える貴女が、誰かから大切にされない道理は無い。

貴女は、他ならぬ貴女自身の意志で誰かを想い、それに応えさせている。  
なら、フエイトもまた誰かに想われ、それに応えられる権利があるのよ」

実感など無い。欠片でもそう考えてしまったのは否定しきれない。

無論、アルフが慕ってくれている事や、リンデイさんやクロノが良くしてくれている事は嘘偽りではない。けれど、そこには常に「使い魔」という立場や、「保護者」といった役割が存在する——存在していると考えてしまう。考えてしまう自分がいるのだ。

やはりそこには、母の言う「負い目」が……自らの出自とそれに纏わるものがあるの

だろう。

「今一つピンとこないかしら？」

それとも、それさえ「アリシアの記憶が元」なんて不安がある？」

そんな内心を見抜かれていた事に、反射的に強張る肩。

しかし、数えきれぬ鞭で刻み込まれていたその習性も、唯一度の微笑みが解きほぐしてゆく。

「でも、フェイトはあの時言ったわ。唯一絶対だった存在から「真実」と共に突き離され、それでも自らの足で立ちあがり、言つてのけたじやない。

『例え貴女が私の母でなくとも、私は貴女の娘です』って」

思い返すは、崩れゆく時の庭園での終局。多くの人に支えられ、後押しされ、母へ抱く自身の想いをぶつけた時の事。

当時は無我夢中で露とも考え付かなかつたが、確かに母の言う通りだ。その言葉は記憶ではない今ある感情から生まれ出でたモノ。ならば、それは紛れもなく――

「過程が何であれ、あの時立ち上がったのは他でも無いフェイトという一人の人間。なら、その気持ちは間違いなく貴女自身のものでしよう。

――少なくとも私には、あれは頑固で無鉄砲な寂しがり屋さんの言葉に聞こえたわ」  
そう言い切った母の下へ、アリシア共々抱き寄せられる。胸の内確かに感じたその

温もりは、自分には幻と、虚像とは思えなかった。

「待ちましよう。待つて、貴女の大切な友人の『帰る場所』となるのよ」

「確かに、貴女の友人はとても大きな力を持っている。

私達には無いそれは、その羽ばたきは、瞬く間に世界すら越えられる事でしょう。

でも……いいえ、だからこそ。そんな存在には、帰ることのできる場所が必要なのよ」  
「彼女がヒトで在り続ける為に、その枠組みへ留まる為には、ヒトである楔りょうがなくてはならない。

そしてフェイト。愛を知り、それを受け止められる貴女の存在は、その寄りしろ足り得る。

今までの様に求めるだけの立場ではなく、今度は貴女自身が、誰かの『戦う理由』となるのよ」

「……よく、わからない。母さんの話しは、むずかしいよ……」

その温かさに、安らぎに誘われて、瞼が、思考が重くなる。

既に隣では、アリシアが一足先に気持ちよさそうな寝息を立てていた。かく言う自分もまともな思考力は残されておらず。唯このまどろみに身を任せることしかできず

……心の何処かでは、そうしたいとも願っていた。

「そう難しく考える必要はないのよ。ただ想うがまま、貴女の心に従って生きなさい。

その心が、在り方そのものが、この世界を動かしてゆくのだ。

ここで待ち、例え刹那の間だけであってもゆつくりしてゆきなさい。

これから先の未来、貴女自身が誰かへ授けるであろう感情を、現世うつしよだけでは足りなかつた分を、

今夢の中だけでも受け取り、学んでゆきなさい」

その言葉が最後。もう何も頭には入らず、以降の全ては耳を真つ直ぐ通り抜けていつてしまう。

それでも、不安は無かつた。なんとなくではあるが、自身へ宛てられたものは全て聞く事ができたと感じられたから。続く言葉が、自分ではない誰かへ宛てられたものでありと解つたから。

だから、今この瞬間だけは母の懷に抱かれて眠る。目覚め、再び友の傍らに立つ時を待つて。

「——だから、しっかりしなさい、高町なのは。そして八神はやて。

私達が忘れてしまったものを持つ、奇跡の担い手達」

## 【一転】やらまいか【攻勢】

相応の防音処理が施されたこの部屋にあつても、外部の「慌ただしさ」は、まるで現場にいるかのように感じ取る事ができた。

尤も、リーゼ達とのリンクを通じ戦局はある程度把握していた為、それ自体にさほど驚きは無い。「書」との戦いが容易ならざるものである事は、他ならぬ「経験」として知っているのだ。戦いが佳境へと差し掛かった現状では、まさしく猫の手も借りたい状況となっているだろう。

——だというのに、そこまで解つているというのに、自分は一体何をやっているのか。自らの情けなさに、そう思わずにはいられなかった。

名目上こそ「勾留」とはなっているものの、同じ局員としての情か、はたまたその余裕すら惜しいのか、今の自分に措置らしい措置は取られておらず、外部からの情報を遮断する以外の拘束などは一切存在していない。それどころか、宛がわれた場所すら自身の執務室の一角であり、「犯罪者」へ与えるものとしては過剰を越え不適切ですらある。

とはいえ、今の自分におよそ物理的な拘束など必要はないだろう。二代に渡る教え

子、自身を師と慕ってくれた孫同然の少年から己が「罪」を突き付けられ、それだけでなく、余生を賭した謀略は盛大な破綻を喫したのだ。最早椅子から立ち上がるだけの気力すらなく、あるのは只弱り切った心のみ。整えられたこの部屋にいる事すら、自身が踏みにじつたもの——管理局から、人々から寄せられた「信頼」——を見せつけられる心境であり、その居心地は言わずもがなだ。

本<sup>か</sup>当<sup>て</sup>に、自分は何時だつて、失くしてから初めてその過ちに気付く。

若い頃もそうだ。執務官としての仕事こそ唯一絶対の使命と信じて疑わず、影ながら支えてくれていた妻の存在など省みることすらしなかった。自分では愛しているつもりで、その実一方的に支えてくれる妻に甘え続けていた。その果てが、病に伏した妻の最期へ立ち会えないという、まるでドラマの様に陳腐で有り触れた、何よりも愚かしい行為へと繋がったのだ。

そして、過<sup>そ</sup>ち<sup>れ</sup>を経験しておきながらも尚、この心はまるで成長していなかった。

確かに、愛弟子を失った事は悲しむべきであるし、「闇の書」への怒りも真つ当な感情ではあるだろう。しかし、そんな自身の選んだ道は、罪無き一人の少女を生贄として復讐を果たさんとする行いは、本当に正しいものなのだろうか。覚醒以前にその行方を見つけられていたのなら、主となつた少女があれ程までに心優しかったのであれば、他に



も手段はあつた筈だ。自らの素性を明かし、管理局の協力を得て穩便な解決へ繋げる事もできたかもしれないのだ。

全ては「if」<sup>もしも</sup>でしかない。しかし、結果を見せつけられずとも、振り返れば直に解つた筈だ。

——何故彼が、クライドが唯一人で書の暴走を止めようしたのかを。何の為に、彼が他でも無い自分へ引き金を託したのかを。

だが、それに気づくのはあまりにも遅すぎた。

過ちの代償は、娘同然であつた二人の犠牲と「切り札」を奪われるという最悪の結果。偶然か運命の憐れみか命こそ永らえてはいるものの、負つたダメージの深さから再起不能は明白。使い魔としては何よりも辛いであろう、そんな事態を強いてしまったのだ。主失格というより他にない。

かつて、ある事件の折ククロノは「世界は何時だつて、『こんな筈じゃない』事ばかりだ」と言いのけたと聞く。この様な状況へと陥つてしまった故か、確かにその通りではあるとは私も思う。

しかし、その「世界」を生み出したのは同時に、自分という人間なのだ。復讐に視界を曇らせた、愚かな老人でもあるのだ。そして何よりも辛いのは、そんな世界を押し付

けられた若者達である筈だ。どうして、それを「理不尽」と喚き立てられよう。

——嗚呼、それでも。せめて祈りたい。祈らせてほしい。

こんな自分が今更何を、という思いもある。これで許されるとも、許されようとも思わない。

だが、それでも祈りたい。贖罪などではなく、今を戦う少女達の為に。クライドが願いを託した「未来」の為に。



2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

s 3 c | t 9 n q

良かったのか、ホイホイついてきちまって

コイツは沈む事が約束されている泥船なんだぜ？

3 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

s 3 c | t 9 n q

フライング、ダッチマン  
約束された沈没する船

4 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

フライイング・ダッチマン  
飛翔する男人形

6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

>>> 4

全く意味を理解していない誤訳やめろ

9 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

>>> 4

申し訳ないが言いがかり同然の風評被害はNG

1 1 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

そういうや伝承だか元ネタだかにもホープが関係してるんだよなあ…

1 3 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

ナンバーズはホモ。はつきりわかんかね

15 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

俺とお前でオーバーレイ・ネットワーク (意味深) を構築する訳か

16 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

練りに練り上げた俺のホモビートデッキが火を噴く時が来たようだな

18 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

>>11

マジレスで申し訳ないが元ネタはhouであつてouじゃないぞ

19 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

解説が必要なネタとか寒すぎイ!

22 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

>>18

それだつて誤植とか諸説あるらしいがな

25 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9  
 S3c | t9nq

まあ舟が泥であれ紙であれ沈んだなら泳いでけば良いだけの話であつて

27 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

虚数空間 : Sステ持ちで今更泳げないなんて事あるめえ

29 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

ガンジス・ランブルフィッシュの異名は伊達じゃないぜ

30 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

浮くかどうかは微妙ではあるがな

31 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

沈んだら沈んだで海底歩くだけですしおすし

33 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9

S3c | t9nq

&gt;&gt;31

それなんてメタルM

34 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 I D : 9

S3c | t9nq

&gt;&gt;31

ヒューツ!

見ろよ、奴の肉体を……まるで鋼みてえだ!

こいつはやるかもしれねえ……

39 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 I D : 9

S3c | t9nq

海の上を歩かないだけ謙虚と見える

40 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 I D : 9

S3c | t9nq

流星の住人もそんな畏れ多い事はできんやろ

44 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 I D : 9

S3c | t9nq

てかむしろ飛べよ

45 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 S3c—t9nq ID : 9

フライングデュエル・アクセラレーション！

48 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c—t9nq

この翼はなんの為にあるのか

49 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c—t9nq

そら近接戦闘時に殴る為ですよ

53 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c—t9nq

実際飛行においては羽なんて飾りだからな

用途といえば専ら隠し腕みたいなもんだろ

54 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c—t9nq

全然隠せていないんですがそれは…

60 : ウホツ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S 3 c | t 9 n q

それにあんまり飛びすぎると光線級に狙われるで

6 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

今まさに重光線級にロックオンされとるしな

6 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

光線級が空飛ぶとか反則だろ

6 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

おまえら重光線級さんの事なのはって呼ぶのやめろよ

6 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

|| || このコメントは砲撃されました || ||

6 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

V V 6 6 エ ……



69 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 S3c|t9nq ID : 9

また懐かしいネタ引つ張り出したなしかし

70 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c|t9nq

あまりにも懐かしすぎて最早忘れてたわ

74 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c|t9nq

で、こうして無事スレは立った訳だがこれからどうすんの?

75 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c|t9nq

具体案なんてある訳ないだろ

76 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S3c|t9nq

>>75

なんでそんなに偉そうなんだよ

78 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 ID : 9

S 3 c | t 9 n q

まあ計画性の無さは古代から続くれつきとしたベルカの伝統ですし

8 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

奥義だつてその場のノリとフィールが全てなものな

8 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

最高に高めた俺のフィールで (r y

8 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

随分な伝統だな

その原因は間違いなく我々だろうが

8 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

なんかスレ全体が停滞というか落ち着いてきたしちよつと質問良いか?

9 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

S 3 c | t 9 n q

態々改まつたりしてなんぞ？

9 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

s 3 c | t 9 n q

>> 8 9

散々しといてなんだがあんまり脱線ばかりしてる暇はないと思うぞ？

9 3 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

s 3 c | t 9 n q

態々こんな言い方する以上関係ある事なんじゃないの？

9 6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9

s 3 c | t 9 n q

少なくとも俺はかまわんよ

やるなら手短にな

1 0 0 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t

9 n q

おkとりあえずさせてもらうわ

内容的にちよつと強い言葉が並ぶかもしれないんが承知しといてくれ

1 0 1 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ住人の貧弱さなんて今更言うまでも無いからな

特に気にしないだろ

1 0 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 1 0 1

「強い言葉」つて別にそういう意味じゃないだろ

1 0 3 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なんとというオサレ脳

1 0 5 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

それより本題はよ

1 0 7 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t

9 n q

じゃあ質問させてもらうわ

なんか今全体的に反撃ムード一色に染まりつつあるけど、個人的にはそれが疑問

なんだよ

なんで立ち上がらなきゃならないのか って

1 0 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

うん?

1 1 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どういう事?

1 1 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

k w s k

1 1 5 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t

9 n q

今ある「立ち上がる」って雰囲気はさ、多分大まかに分ければ

「現状をひっくり返す」「はやて達を助ける」

の二つの要素が軸になるんだと思うんだが、そもそもこの選択が正しいのかって

のが

甚だ疑問な訳だよ

1 1 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

※以下ズール皇帝禁止

1 1 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 1 1 5

じゃあこのまま海鳴を地図から消せと申すのか

1 2 0 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t

9 n q

いや別に流されるままの破壊殺戮を肯定する訳じゃないさ

ただ、現状をひっくり返すのが用意ならざるのは解りきってるのに

なんで我々が身を切る思いをせにやなんのかなって思うのさ

1 2 1 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t

9 n q

連投&私見ですまないが、もし過去の行いから来る贖罪の気持ちだけで動くつて

なら

間違いなく途中で破綻すると思うぜ？

我々自身もまたアルハザードの被害者なのは事実な訳だし、そんな意識が欠片でもある以上

どこかで躓くのは火を見るよりも明らかだろ

むしろクレーマー級に傲慢な方がよっぽどらしいぜ

1 2 2 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

随分な言い草じゃないか

まあ間違いじゃないとは思うが

1 2 4 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

テンション上がってる今はともかく本当に苦しい時にどうなるのか って事？

1 2 7 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ちよつと慎重過ぎるといふか杞憂な気がしないでも無い

1 2 8 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

でも今から渡ろうとしているのが吊り橋なのは事実だべ

130 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

もしかしたら記憶飛んでる過去でも同じ様な事してたかもしれんしな

可能性は決してゼロじゃない

132 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 130

その結果は見ての通りだしな

136 : 89 : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID : 9 s 3 c | t

9 n q

はやてだつてそうだよ。なんで縁もゆかりも無い孤児一人に拘る訳?

あの程度今まで散々見捨ててきたじゃん。

騎士だつて突き詰めれば違法コピーのパチモンな訳だし、痛む良心なんて今更な

いだろ

138 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q



痛いところを突きよる

1 4 1 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t  
9 n q

つかそもそもはやて含む原作キャラってか今外に居る連中ってさ

誰一人として我々という存在を認知すらしてないんだぜ？眼中にすら無い訳よ

なのに我々だけが一方的に頑張るっておかしくないか？

今回みたいなぬるま湯生活が恋しいのなら、また転生して新しいの探せば良いだけだろ

どうせこの悩みだ何だも纏めてリセットされちまうんだろうからさ、今に拘る必

要ないだろ

1 4 5 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
9 s 3 c | t 9 n q

中々に重たい内容だが……すまんが産業で頼む

どうにも目が滑ってかなわん

1 4 7 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
9 s 3 c | t 9 n q

要するにこの一転攻勢そのものが疑問って事かいね

150 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9 s 3 c | t 9 n q

まあ>>89の持論は別としても腰を据えて考える必要はあるんじゃないか?  
 流石に今回の問題はノリだけで解決できるとは思えんし

151 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9 s 3 c | t 9 n q

ノリだけで解決しちゃいかんやろ実際

153 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9 s 3 c | t 9 n q

答えが何であれ一応の決着はつけておくべきじゃないのかやっぱ

最悪>>89のシナリオ通りな空中分解もあり得る訳だし

154 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9 s 3 c | t 9 n q

勢いだけで始めた物事の末路なんざ解り切った事だしな

160 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9 s 3 c | t 9 n q

で、実際の所その辺はどうなのよ

161:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:  
9s3c|t9nq

うんまあ個人的には意見あるんだが果たして言つてよいのやら

163:89:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:9s3c|t  
9nq

>>>161

好き放題言つた以上言われるのも覚悟の内さ

変に遠慮せずに言つてくれよ

166:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:  
9s3c|t9nq

じゃあ言うが……ぶっちゃけそこまで深く考えて無いと思うんだよね

基本的に「やりたい事をやる」の延長というか何と言うか

167:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:  
9s3c|t9nq

なんというイツテツバスター

しかし禿同

168 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s3c | t9nq

漏れもだ

171 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s3c | t9nq

ここまでの >> 89 の語りとは何だったのか

175 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s3c | t9nq

まあ確かに贖罪なんて堅苦しいのは無いというか考えて無いよな

省みないって訳でもないが、かといってそこまで拘泥もしないというか

177 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s3c | t9nq

過去全てに贖罪とか雁字搦め過ぎて呼吸もできなくなるだろ

178 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s3c | t9nq

贖罪ってかむしろ「やられっぱなしは癩に障る」ぐらいのもんじゃね？

179 : ウホツ！ いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

アルハに対する対抗心ってか

1 8 0 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

左を差しだすよかクロスカウンター狙う勢いだけ

1 8 4 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

あとはやてに関してもなんか&gt;&gt;89が言うのとはちよつと違う気がするんだ

よな

はやて個人を助けたいんじゃないやなくて、あの子や騎士達を含めた「今」を失くした

くないって

気取って言うとなんな感じなのですよ

1 8 6 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt;184

あくまでも失くしたくないものの中にはやてって個人が含まれてるといふ訳だ

な

1 8 7 : ウ ホ ツ ! いい 名 無 し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

でもそこまで思うのも初めてだと思うぜ

1 9 0 : ウ ホ ツ ! いい 名 無 し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 1 8 7

前スレでも少し触れられてたけど、それって多分此処が現代日本で

居心地の良い「我々の世界」な事もあるんだろうな

1 9 1 : ウ ホ ツ ! いい 名 無 し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

今までにはなかった「執着」の正体はそれなのか

1 9 2 : ウ ホ ツ ! いい 名 無 し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

隣家で泥棒入っても上っ面の心配だけだが、いざ自分の家に来たら全力で抵抗す

る

そんなもんでその程度の事だろうさ

1 9 3 : ウ ホ ツ ! いい 名 無 し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 192

成程解り易い

194 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

ギリギリまで攻勢に出ないあたりがなんとも住人らしい

195 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

専守防衛はお家芸なものな

196 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

最終兵器遺憾の意

200 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

まあつまるところ住人ってのは馬鹿で間抜けで変態などしようもないこの国

が

好きで好きでたまらないツンデレの集まりって事さ

201:ウホツ! いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

だから口ではああだこうだ言いつつも結局助けようとしちゃうのね

202:ウホツ! いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

我ながら素直じゃないとか何とか言うか

206:ウホツ! いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

それはまさしく>>89が一番当てはまるだろ

そうでもなきや嫌な役引き受けてまで地盤を固めるような事なぞせんわ

207:ウホツ! いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

本当に嫌いなら悪口じゃなくて放置する筈なものな

好きの反対は無関心って言うし

210:ウホツ! いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

その辺>>89はどうなのよ



2 1 2 : 8 9 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D : 9 s 3 c | t  
9 n q

べ、別に！ ただ痛い所を突つつきまわしてやろうと思ったただけだし！

アンタ達の事なんか、これつつつつつぽつちも心配なんかしてないんだからね

///  
///  
///

2 1 3 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 2 1 2

ツン乙

2 1 4 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

→は乙じゃなくてポニーテールだかなんだか

2 1 8 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なんだ結局こうなるのか

2 1 9 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

此処でシリーズやるのが土台無理な話なのですよ

2 2 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

あとまあ補足になるが、はやてが縁もゆかりも無いってのは違うと思うぜ?

少なくとも今ある「ぬるま湯」を齎してくれたのはあの子であるし

我々がこうして「我々の世界」の有り難さを再確認する切欠をくれたのは

キヤラクター云々関係無く八神家の長女さんだ

2 2 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

騎士連中にしたって我々にしてみればあのアホの子四人が唯一無二のオリジナ

ルだものな

顔も名前も知らん元ネタなんざ知ったこっちゃ無い訳よ

2 2 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

>> 2 2 6

少なくとも顔は知ってると思うぜ

デッドコピーな訳だし

2 2 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>> 2 2 6

だから三人と一頭だと (r y)

2 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ともあれツンデレの懸念もこれで払拭されたな

2 3 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

雨降ってなんとやらか

2 3 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

しかしこんな所で降るのは実際重金属酸性雨である

2 3 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なんというサイバーパンク

2 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

危険分子になりかねなかった&gt;&gt;89もツンデレで落ち着いたしな

万々歳よ

2 3 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

これもネット住人の成せる技だ

2 4 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

流石のHENTAIである

2 4 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

この調子で良い案まで出れば良いんだがそうそう都合よくはいかんよな

2 4 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

残念ながらそこまでは:

2 4 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

おk落ち着け考え方を変えよう

我々の力だけでどうにかしようとするから手詰まりになるんだ

まずはどうにかできそうな手段の確保から始めよう

2 4 8 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

急がば回れってかい

2 5 0 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

実際急ぐと飛脚が過労死の憂き目にあう

2 5 5 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

となると一番有効だと思われのは

この何処かにいるであろう眠り姫を叩き起こす事かね

2 5 6 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

冬の夜長に布団から引きずり出すとは……

なんという鬼畜外道

2 5 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

まさに鬼の所業やな

2 6 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

しかし我らがやらねば誰がやる

2 6 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

せやで

2 6 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

まあ現実には王子様というよりカーチャンだとは思うけどな

2 6 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

J ( ' , ' ) し

2 6 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

9 s 3 c | t 9 n q

我々なんかで良ければいくらでも代わりになってやるさ

2 6 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ヤツテヤルデス!

2 7 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

で、目標決めたのは良いがどうやって会うのさ

2 7 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

てかそもそも今我々が居るこの場所がどういう構造になってるのかも解らん

だが

2 7 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

その辺を真面目に考えたことなんてなかったからなあ

2 7 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

原作ってか外の流れ的に此処の何処かには居る筈なんだよな

275 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9s3c | t9nq

>>274

それだけは解つていると言うか、それ以外はさっぱりというか

278 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9s3c | t9nq

意図的に閉じ込められているのか、そもそもこういう構造なのかも解らんしな

281 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9s3c | t9nq

何れにせよ現状八方塞がりである事に違いあるまい

282 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9s3c | t9nq

またの名を詰みだな

285 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :  
 9s3c | t9nq

どうしろつてのさ

291 : ジョージ・ジョースターI世 : 2004 / 12 / 24 (英) 19 : 30 : 00



0 ID : a g e | c h a t

何？ 八方塞がりでも動けないだつて？

いいかい皆、それは物事を悲観的に捉え過ぎているからさ  
逆に考えるんだ

「動ける範囲ぐらい近くに、接触されただけで不都合な程の重要人物がいる」  
とね

2 9 2 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

>>291

成程その発想はなかったわ

2 9 4 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

>>291

正しく逆転の発想だな

2 9 8 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

流石ジョースター卿！俺達に言えない事を平然と言つてのける！

2 9 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

そこに痺れる憧れるウ!

3 0 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ確かにこんな所で足踏みしててもしやーないしな

3 0 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どう足掻いてもお先真つ暗なのは変わらんし

せめて気持ちだけでも>>2 9 1並みに前向かんと

3 0 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どっちが前で後ろかすらも解らんと言うマジレスは無しな

3 0 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

1と0の塊に前後などあるものか

3 0 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

前後（意味深）

3 0 6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

>> 3 0 5 に実際奥ゆかしくないヘッズがいるのですがムラハチでいかがで

しょうか？

3 0 7 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

ユウジヨウ！

3 0 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

ユウジヨウ！

3 1 1 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

アイエエエエツ!?

3 1 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

需要あれば実体験を交えた青少年の何かが危なくなる話も考えといてやるよ

(上げるとは言っていない)

9 s 3 c | t 9 n q  
 3 1 9 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

とにかく出口を探そう。話はそれからだ

9 s 3 c | t 9 n q  
 3 2 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

どうやってです、匂いを嗅げとでも?

9 s 3 c | t 9 n q  
 3 2 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

>>>320

ああそうだ

9 s 3 c | t 9 n q  
 3 2 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

壁というか突き当たる場所を打診してけば良くね?

9 s 3 c | t 9 n q  
 3 2 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

何年かかるんだよ

3 2 8 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

ここにいる全員でやれば効率665倍やん

3 2 9 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

>>328

喧しいだけだ

3 3 0 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

>>328

664人が腹パンされる未来しかみえん

3 3 1 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

良いアイデアだ

3 3 2 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

感動的だな

9 3 3 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

だが無意味だ

9 3 3 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

? オープンアップ /

9 3 3 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

(腹パン)

9 3 3 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

(ハ U ハ) (ハ 申し訳ございません。この様な糞スレで

9 3 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

>>> 3 3 1 | >>> 3 3 6

この無駄に洗練された無駄の無い無駄な連携

3 3 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

おまけに変身音付きときた

3 3 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

ホントどうでも良い事だけは息がピツタリなんだよなあ

3 4 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

盛り上がってる所悪いが綻びとか異物っぽいものを発見したぞ

3 4 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

見つかるの早すぎイ!

3 4 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

案外いい加減なのかね内部構造は

3 4 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

製造段階で手抜きがあった事は確定的に明らか

3 5 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

これは訴訟せざるをえない

3 5 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

詫び石はよ

3 5 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

>> 3 5 2

申し訳ないが品位の欠片も無い乞食はノーセンキュー

3 5 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

>> 3 4 3

で、その「綻び」ってのはなんなのさ

3 5 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q



見た所元々の不備というよりは外部からの干渉跡ばいな  
 我ながら信じられんが

3 5 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

そらそうだろうさ

こんな深淵にまで外部から干渉なんて例がない

3 5 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

どんなチートだって話だよな

3 6 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

詳しい分析はできないの?

3 6 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

今やってる

3 6 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

何なんだろうね一体

3 6 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

时期的にサンタからのプレゼントな可能性が微レ存…?

3 6 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

こんな所にまで届けられるとか屈強過ぎるだろ

3 6 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

筋肉モリモリマッチョマンのサンタクロースか

3 6 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

実際時間の壁は越えてきた訳だしな

あり得ないなんてことはどうたら

3 7 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

3 6 9

そりやまた別の奴だ

374 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

解析班だが残念ながらサンタの線は消えたぞ

まだ全部終わった訳じゃないが、少しばかり昔のデバイスデータだって事は判明

した

これから照合してみる

375 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

サンクス

377 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

>>>374

いやまあ別に元々サンタだとは思って無かったし

378 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

俺はまだサンタさんの存在を信じてるぜ

3 7 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>> 3 7 8

それカーチャンだよ

3 8 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

間髪いれず無慈悲な現実を突き付けるのはやめてさしあげろ

3 9 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

解析完了

驚くべき結果が出たんだが聞きたいか?

3 9 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

もち

3 9 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

そら当然よ

3 9 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q ID :

ここまできて聞かないとかありえんだろ

3 9 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q ID :

今明かされる衝撃の事実にももう慣れたさ

4 0 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q ID :

おkじゃあ心して聞け

異物の正体は壁に刺さってたデバイスデータで、機器名称は「S4T」  
 登録されていたマスター名は……

「クライド・ハラオウン」だ

4 0 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

ファッ!?

4 0 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

なん……だと……

4 0 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

クライド氏のデバイスとな?

4 1 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

それが何故こんな所に

4 1 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

本人諸共粉☆砕したんじゃないやなかったの?

4 1 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

もしかしてあの時の最後の一撃がここまで届いてたって事か

4 1 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 4 1 5

## 何それ素敵

4 1 8 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 1 5

濡れる

4 2 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

しかもびつくり残ってるデータによると最後の一撃は

直前で非殺傷設定に変更されてるんだぜ

4 2 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

マジか

4 2 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

これには流石のベクターも空いた口が塞がらない

4 2 8 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

最初のマジ殺傷攻撃すら全く歯が立たなかったのに何でまた

4 3 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 2 8

むしろ非殺傷「だからこそ」届いたんじゃないの?

管理局員の意地的なもので

4 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

執務官クライド・ハラオウン魂の一撃という訳か

4 3 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

後は氏のデバイスに搭載されてた某アンチプログラムも影響あるんだろうな

4 3 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

エクスカリバーだっけか

4 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q



>>436

そんな名前だったっけ？

438 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c|t9nq

でも残ってるデータ上じゃそうなってるぜ？

440 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c|t9nq

てかプログラムとデバイスが融合して一体化しとるやん

441 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c|t9nq

名義上はS4Tでも中身は多分もう別物なんだろうな

443 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c|t9nq

単体ではどっちも全然歯が立たなかった筈なんだがな

444 : ウホッ！いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c|t9nq

だからこそ両方が合わさってミラクルが生まれたんだろ

4 4 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

クライドの意志は貫き通す手段を得て、アンチプログラムは自身を動かす意志を得る

だからこそその妙技さね

4 4 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 4 6

手段と意志と言われると何処ぞの変態糞理論を思い出してならないんだが印象全然違うな

4 5 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 4 8

あつちが「ぼくのかんがえたさいきょうの (ry) 止まりに對し

こつちは正しく宝具と呼ぶに相応しいだけのものになつてゐるからな

4 5 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どうして差がついたのか……慢心、環境の違い

4 5 2 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 5 1

過程と方法の差じゃねーの?

4 5 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

悪い人達がどうでもいいと言って憚らないアレか

4 5 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

そして軽んじた結果がご覧の通りと

4 5 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

やっぱ大事なんやね

4 6 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあそろそろ本題に戻るがコイツが外から入ってこられたって事は

逆に外へ「出る」事も可能になる訳だよな

4 6 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

逆に (r y)

4 6 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 4 6 0

厳密に言えば必ずしも等式が成り立つ訳じゃないが

少なくともこの閉鎖空間に風穴の一つは開けられるだろうさ

4 6 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

それも「使えれば」の話ではあるがな

4 6 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

確かに

これって我々にも使えるものなのか?

4 6 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

確かに「鍵」ではあるが、少なからずアンチ成分入りだしな

4 7 0 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

触れた途端に手がじゅわーってなりそう

4 7 3 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

それ以前にマスターをぶっ殺した張本人が使う権利あるのか甚だ疑問な訳よ

4 7 5 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

住人にしては珍しく謙虚な考え方だな

或いは弱気とも言う

4 7 6 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ツンデレがうつつたんだろ

4 8 0 : ウホツ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

じゃあこつちも言わせてもらおうが、今の今更権利なんて関係無いだろ

重要なのは、今我々が何を考えようしようとしてるかだ

481:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

その意志を形作る要因の一つには成り得ても、引き金を引く行為そのものに  
過去が介在する余地は無いと思うぞ

482:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

結果に責任を負うのは未来だし、引く指があるのは他でも無い今だからな

483:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

おいおいどうしちまったんだコイツら急に

484:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

熱でもあるんじゃないね?

485:ウホツ!いい名無し:2004/12/24 (漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

ラノベの読み過ぎか何か？

4 8 6 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 8 3 | >> 4 8 5

こうやってすぐ誤魔化すのは日本人の悪い癖だ

4 8 8 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 4 8 6

真顔では中々言いにくい事もあるものさ

照れ屋さんなだけだろ

4 8 9 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

実際奥ゆかしい

4 9 2 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

何であれ使いこなせなくとも振るうぐらいはできるだろ

4 9 3 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

担い手にはなれずとも使い手にはなれるってか

4 9 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

もう射出してぶつければ良くね?

4 9 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 4 9 5

シヤマル先生がそんな技を持っていた気がしないでも無い

4 9 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

いくら敵でも顔に向けて危ない薬品を射出するのはマジでやめろって

5 0 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ何であろうとやってみなけりや解らない訳ですよ何事も

5 0 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q



男は度胸 (ry)

503 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

&gt;&gt;501

女もそうさつて誰かが言つてたで

504 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

&gt;&gt;503

そりゃひでおだ

507 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

それに活路つてのは探すんじゃないなくて自分の手で勝ち得るものだってちーちゃん

ん言つてたし

508 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

&gt;&gt;507

ばーさんに続いて今度はじーさんかと思つたが誰だちーちゃんつて

5 1 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>> 5 0 7

ちーちゃん絶対プライムやろ

5 1 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

(A A 略)

5 1 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>> 5 1 1

縁起でもないから司令官はちよつと座つててな

5 1 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

そうなるこれ千載一遇の好機という訳になるな

5 1 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

全てはチャンス

5 2 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

>> 5 1 9

申レN

5 2 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

行動しなきやならない使命負つてる訳でもないが

かといってこの機会を棒に振る理由も無いしな

5 2 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

その辺も自己責任という奴ですよ

5 3 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ああもう面倒くさいな、お前らいい加減にしろよ

細かい理屈なんざどうだっていいんだよ。そんなのは只の逃げ口上だ

まだうじうじ悩んでるのかよ。そうやってまた「明日から本気出す」って逃げる

のかよ

お前らの明日は何時来るんだよ

5 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

ぐぬぬ

5 3 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

&gt;&gt; 5 3 0

それ言っちゃうのかよ

5 3 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

&gt;&gt; 5 3 0

俺も同じ事言おうとしたのに

5 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

&gt;&gt; 5 3 0

こう言われちゃった以上返せる答えなんて一つしか無いだろ

5 3 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

もう腹くくるしかあるまい

5 4 2 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢)

1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

Q. 明日って?

5 4 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢)

1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

A. 今さ!

5 4 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢)

1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

震えるぞハート!

5 4 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢)

1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

燃え尽きる程にヒート!

5 4 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢)

1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c — t 9 n q

この昂りこそ我々が人間である何よりの証さ

5 5 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

今までの我々がなんでであろうと、少なくとも今この瞬間からは間違いなく人間さ  
 我々がそうであると信じる限り

5 5 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

何時だって自分の存在は自分自身で決めるものだしな

5 5 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

俺は人間を始めるぞ、ジヨジョーツ!

5 5 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

で、S 4 T W i t h エクスカリバーを射出して無事謎空間から脱出はした訳だが

⋮

5 5 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

う、動けんッ!

ば……馬鹿な。ま、全く身体が動かん!

5 5 8 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

やっぱりいしのなかじやないか (呆れ)

5 5 9 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

1 0 0 年越しの因縁やめーや

5 6 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

折角決めたのにこれとかやっぱり住人は住人やね

5 6 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあでもはやてを見つけるって第一目標は達成されたじやないか

今こうして目の前にいる訳やし

5 6 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

まあ目の前にはいますわな実際

5 6 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

これって結局我々自身も取り込まれちまったって事じやねーの?

5 7 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

でも暴走してる感じはないぜ?

5 7 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

確かに。あれだけ派手な事かました割には随分落ち着いてるよな

5 7 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

外で暴れてるのはまた別の存在なんじやね?

5 7 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :



そして我々はそのつの中へ転移してしまったと

5 7 6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

おまけに主導権は外身ちゃん(仮)に握られてるから結局はやてとの話もままならないと

5 7 9 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

つまり場所が変わっただけで根本的には何も進んでないと

5 8 0 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

うーんこの

5 8 4 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

いやでも解らんぞ

この外身氏が現在進行形ではやてと話してるし

5 8 5 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

原作ではやての夢枕に立ったたのつてもしかしてこの外身ちゃんじゃね？

5 8 7 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

そうなる管制氏取り込んだのもこの外身しゃんなのかね

5 8 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

主との直接対話ができる以上相応の権限あるって事だしな

5 8 9 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

成程

5 9 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

でもそうなるこの外身ちゃんは今まで何処に居たんだったって話になるよな

5 9 3 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なんか雰囲気からして住人とも違う感じするしな

5 9 5 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

アレじゃね？住人みたいに個々別々の人格を持つ存在じゃなくて

集合無意識というか、住人の良心を抜き出した塊みたいなものとか

5 9 6 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0

I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 5 9 5

外で暴れてる住人の悪意つぽいのに触発されて出てきた感じか

5 9 9 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0

I D :

9 s 3 c | t 9 n q

え、じゃあ何か？

今外で暴れてるのも我々な訳？

6 0 1 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0

I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 5 9 9

「悪意つぽいの」って言ってるだろ

住人そのものであると同時に今や我々とは別の個体だ

6 0 4 : ウホッ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0

I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ意識だけで666魂なら60億ある訳だからな

その悪意を抽出して固めれば真ゲスにもなるわ

6 0 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>604

その理屈だとまさしく「この世全ての悪」な訳だからな

そら並大抵の三下とは訳が違うのよ

6 0 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

この世全ての欲? (難聴)

6 0 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>606

おは殺生院

6 0 8 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt;606

パンチパーマの兄ちゃんが霊柩車でそっちに向かったぞ

609:ウホッ!いい名無し:2004/12/24(漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

&gt;&gt;605

なんか良心の欠片も無さそうだしな

まあ良心がここにある訳だから当然だが

610:ウホッ!いい名無し:2004/12/24(漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

で、その住人の良心は何をしとるのかね

611:ウホッ!いい名無し:2004/12/24(漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

住人の良心

→こう書くと途端に頼りなく思えるふしぎ

613:ウホッ!いい名無し:2004/12/24(漢) 19:30:00 ID:

9s3c|t9nq

なんかさつきからはやてに色々つぶちやけてますがな

6 1 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

犬耳が生えてきそうな勢いだな

6 1 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

我々の存在こそ口にはしてないが主にあそこまで言うのは前代未聞やろ

6 1 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

聞き様によつては逆切れに思えなくも無い

6 1 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>>> 6 1 8

そら要訳すると「夢見て何が悪い」だからな

逆切れ以外の何物でもない

6 2 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

裸で ( r y

6 2 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

>>> 6 2 0

フロントルはあかんやろフロントルは……

6 2 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

でもまあ言ってる事が全部間違ってるって訳でも無いだろ

実際はやても夢見ていい立場だし

6 2 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

つか両親死亡に我々は関係なかったのね

6 2 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

それどころか我々がこなければ物理的に両脚不随になつてたっばいし

6 2 8 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

今明かされる衝撃の ( r y

6 3 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあでも下手糞な応急処置で後遺症残してたら同罪じゃね?

6 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 3 0

宇宙人じゃあるめえしとれたの無理矢理くっつけて影響無い方がアレやろ

6 3 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 3 0

外見上何も無いだけ有り難いと思わんとな

6 3 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ともあれ良心という割には滅亡ルート推奨してる訳だがその辺は良いのか?

6 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

別にアレが本当に良心って決まった訳じゃないがな



6 4 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 3 6

良心言っても所詮は人間だからな

はやてにこれ以上辛い思いしてほしくないのが最大限なんだろ

6 4 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

外身も言ってるが、いかに我々とて現実の全てを都合よく思い通りにはできんか

らな

せめて夢の中だけでもくって気持ちなんだろ

6 4 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

まあ「夢見てく」ってのは我々自身の本音でもあるとは思うけどな

ツンデレが言ってたように我々もまた被害者な訳だし

6 4 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :  
 9 s 3 c | t 9 n q

改めて考えてみると理不尽の連続だしな

そら夢に逃げたくもなる

6 4 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

何であれ最終的な決定権持つてるのははやてだしな

言うだけ言ったら後は身守るだけだろ

6 5 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

良心氏の本音に反論できないってのもあるけどな

6 5 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

一存しちやって良いの?

いくら大人びてるとは言ってもまだ9歳だぜ?

6 5 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

>> 6 5 2

良いも何もそれが道具としてのあるべき姿さね

システムのにもそうなっちまってるしな

6 5 4 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q ID :

>> 6 5 2

噛み砕いて説明はしてるし、仮にも八神家の主やってんだ

決断できないって事はあるまいよ

6 5 7 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

もし「このまま」を望んだらどうするのさ

6 5 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 5 7

そら主の望むがままに よ

6 5 9 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

主には夢を現実には死を ってか

6 6 0 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

そうするより他なし

6 6 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

とりあえず結論ははやての答えを聞いてからだな

皆様ご静聴をば

6 6 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

確認するまでもないとは思いますが、全員聞いたよな?

6 6 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

無論

6 6 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

聞き逃す理由が無い

6 7 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

しかしまあ遅しいとか何と言うか

6 7 1 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ある意味では予想通りの解答な筈なんだがな

6 7 3 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 6 7 1

知識として知ってはいても、実際に聞くとまた違うんだろうさ

6 7 4 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 6 7 2

他にも無い我々自身へ宛てられたものである訳だしな

そら画面越しとは訳が違いますよ

6 7 5 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

いい台詞だ

676 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

感動的だな

677 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

だが所詮は綺麗事だ

678 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

子どもが綺麗事も言えん世の中になんざ価値ないぜ

679 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

夢を見る事こそ子どもの仕事だろうに

681 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

それに現実だつてちゃんと見据えられているしな

682 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00  
 9s3c | t9nq ID :

まあ子どもの願いは未来の現実って言いますし

6 8 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

つまり子どもが大人以上に現実を見てるのはドロカードの創造くらい必然と

いう訳か

6 8 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 8 3

最早否定する気にもならんがそんなもんだろうさね

6 8 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

「夢だからこそ、いずれは現実にする。しなきゃならない」

つて発想は正直無かったとか持てなかったな

6 9 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 6 8 7

頭で考えるのと実際口にして言葉にするのは全くの別物だからな

そう感じるのもしやーない

6 9 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ある意味では何より子どもらしい考えではあるよな

聞き分けの無さ的な意味で

6 9 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 6 9 2

それこそ子どもが子どもである所以なんだろうさ

6 9 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どれだけ現実を突きつけられようと決して折れない心

我々大人が捨ててきてしまったものだな

6 9 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

中途半端に現実を知ってる分直に折り曲げちまうからな

傷つき傷つける事を恐れるあまり



699 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

>> 698

その所為で気付けば本当に大切なものまで容易く曲げてるしな

何より恐ろしいのは、それを「次の糧」なんて言い訳で正当化しちまう事だが

700 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

過ちを認めず、その本質を問い抗う

それが子どもの特権さ

701 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

まさしく「それでも」って言える強さだな

703 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9s3c | t9nq

その力の源はなんなんだろうね一体

はやての場合単なる無知とも違うだろうし

704 : ウホツ! いい名無し : 2004 / 12 / 24 (漢) 19 : 30 : 00 ID :

9 s 3 c | t 9 n q

氣の持ちようというか、向いている方向性の違いじゃね？

7 0 7 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

我々程死に急いでもいなければ、まだ人類に絶望もしちゃいないって事さ

7 1 0 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

多分本当に世界を動かしてゆくのって、我々みたいなのじゃなくてそういう心な

んだらうね

7 1 1 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 1 0

そら人間の世界は何時だって人の心が動かすものだってばーちゃん言ってたし

7 1 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 1 1

ネタだとは思いますがマジでお前のばーちゃん何者だよ

7 1 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

唯のクッキー作りが趣味なばーちゃんだよ

7 1 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 7 1 4

コックやつてるセ〇ール並みに信用できない素性だな

7 2 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

何れにせよはやては答えを出したんだ

我々もまたそれに応じねばなるまい

7 2 2 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

解答は得たこたえ(r y)

7 2 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>> 7 2 2

絶対誰か言うと思ったわ

7 2 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

今度は我々が大人としての務めを果たす番だな

7 2 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

とりあえずは此処からの脱出だな

王の承認も得られた事だし、もう出られないって事はあるまい

7 2 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

その前に外で暴れてる悪意氏をどうにかせんと

7 3 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 2 9

なんだそのニクラ氏子息みたいな名前は

7 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

もつと解り易い名前にしようぜ

ゲロ以下プンプン丸とか

7 3 2 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

こいつはくせえッー! (ry)

7 3 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

デイオですら出会い頭に鼻をつまむレベルと申すか

7 3 5 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

実際住人の悪意を抽出すりゃそれぐらいになるだろ

7 3 9 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

で、そのプンプン丸をどうやって黙らせるのさ

7 4 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

>>>739

そこで我らがゼオライマーもといなのはさんの出番ですよ

7 4 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

はやてに外部へ呼びかけてもらって一発派手なのかましてもらおうぜ

7 4 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

闘魂注入ってか

7 4 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

元気ですかーッ!

7 4 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

アレ黙らせるとか相当だろ

7 4 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c - t 9 n q

それでもなのはさんなら… (ry

7 4 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

はやて健在つて解れば E N 回復 (大) 発動するから大丈夫

7 5 0 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

各種コマンドも一気に発動しそうだな

7 5 2 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

幸いにも プン プン 丸敷設の結界はそのままだからな

アトミックなクエイクかまして大丈夫だろ

7 5 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 5 2

その二つを他でも無い日本でぶっ放すという発想がマジキチ

7 5 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

環境なぞ (r y

まあやるとすれば S L B になるとは思うけどな

7 5 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

そらマジでなのはさんがメイオウ使い始めたら地球の寿命がマツハやで

7 5 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

ㄷ烈ㄷ

7 5 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>>757

もうやめて! 八卦集のライフはとづくにゼロよ!

7 6 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

兎に角外の事はグレートなのはさんに任せて我々はとつとと脱出しようや

7 6 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

だな。こんな所に長居なんて無用だ

7 6 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :



9 s 3 c | t 9 n q

未だ外身氏健在だけど我々の意志で動かせるのか？

7 6 5 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt;&gt; 7 6 4

我々がやろうとしてる事と王の意志が同じな訳だし問題無いだろう  
するといつても気持ちの準備くらいだし

7 6 6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ああ確かに

結果的にはそうなるよな

7 6 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

じゃあとつとと次スレの支度でもするかね

7 7 0 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

どっこいまだはやてさんが何かあるみたいだぜ？

7 7 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

はやてが なにかいいたそうに こつちをみている

7 7 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

可愛い (断言)

7 7 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

実際可愛い

7 7 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあはやてちゃん普通に美少女やし

7 7 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

フェイト派の俺の心が揺らぐとは……恐ろしい子!

7 8 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

く……プレシア派の俺が惑わされているだと……？

7 8 1 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 8 0

おはD

7 8 2 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 7 8 0

こっちの世界に来てもええんやで (ニッコリ)

7 8 4 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

あぁ、くロリコンになる

7 8 9 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

お前らそろそろはやての話しも聞こうぜ

7 9 1 : ウホッ！ いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

何だろうねかしこまっちゃったりして

7 9 2 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まだ何かこなしてないイベントあったっけ?

7 9 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

騎士の召喚だって外出てからだしなあ

7 9 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

フェイトだって自分で出た訳だし、特に何も無いとは思うけどな

7 9 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ話聞けば解るだろ

とにかく静聴だ

7 9 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

成程そうきたか

7 9 9 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

聞いてみれば意外でもなんでもないがすっかり失念してたな

8 0 1 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

正直この発想はなかった

8 0 3 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

うっかりはシャマルの専売特許だと思ってたんだがな

8 0 4 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

他ならぬ我々自身が最大のうっかりさんだったとは

8 0 6 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

超時空ドジっ子ここに降臨

8 0 7 : ウホッ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

テヘツ☆

8 0 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>807

ご存じない(真顔)

8 1 1 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

思えばなんで気付かなかったのかマジで不思議だよな

こうしている今も手掛かりは堂々と出てる訳だし

8 1 2 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

灯台もと暗しってヤツさ

8 1 4 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

もしかしたら正気を保てず暴走してきたのってこれが原因だったりしてな

8 1 5 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

そそそそそんな訳在るモンテネグロ

8 1 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 8 1 5

とりあえずもちつけ

8 2 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

何千何万年もの間誰一人として話題にすらしてこなかったのはある意味奇跡だ

よな

8 2 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なんていらぬミラクル

8 2 3 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

なまじ原作知識を共有しちまつてたからな

それが当然になつてたというか、改めて確認するまでもなくなつてたんだろ

8 2 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ネットの匿名性が生みだす弊害がどうたら

8 2 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

またネット叩きがはじまるお……

8 2 6 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

>>> 8 2 5

始まるも何もこの後ごんぶとビームに晒される訳で

8 2 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

ネット叩き(物理)

8 3 0 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

まあ誰一人触れてこなかったのは揺るぎようの無い事実だし

そもそもその必要すらなかったものなこれまでは



8 3 1 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

そういやそうだな

8 3 4 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

どれ程のベルカ的人格者であろうと我々の扱いは一貫「道具」だったしな  
 次元世界的にはそれが正しくもある訳だが

8 3 5 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

たかが道具にここまでする方がよっぽどマイノリティだよなやっぱ

8 3 7 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

まあ我が国のガラパゴス化は今に始まった事じゃありませんしおすし

8 3 8 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 9 s 3 c | t 9 n q I D :

何にせよ貰っておいて損はないものだろ

8 3 9 : ウホツ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0  
 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

損どころか後生大事にとつておくべきくらいだな

8 4 1 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

人間が生まれて始めて貰う贈り物だものな

そらゆりかごから墓場まで相乗りよ

8 4 3 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

正真正銘のオンリーワンだからな

大切にせねばなるまいて

8 4 4 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

これだけのものを貰ってしまった以上何を返せば良いのかな

8 4 5 : ウホツ ! いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

&gt;&gt; 8 4 4

そんな特別なものなんて求めて無いだろ

しいて言うなら我々の持てる全てぐらいだ

8 4 6 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

だな

8 4 8 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

感謝感激雨あられ

8 4 9 : ウホツ！いい名無し : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (漢) 1 9 : 3 0 : 0 0 I D :

9 s 3 c | t 9 n q

今こそ拝名つかまつる

0 0 0 0 : B u c h d e r D u n k e l h e i t : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (月) 2

0 : 1 4 : 2 5 I D : |

—新記敷器—

△ || || || || || || △

／ 祝福の風 ／

R E I N F O R C E

／

## 【復活の】SLB喰らってるけど

理解できない

至高なる知恵と知識とを併せ持つ自分が、森羅万象の叡智を束ねしこの頭脳が。目の前の事象を、“現実”という名のコトガラを理解する事ができない。

確かに、今の自分はその持てる力の全てを出している訳ではない。否、正しくは「出せない」と言うべきだろうか。

数値上こそ既に終えているものの、再び現れた原因不明のバグにより、母体の完全なる掌握は未だ果たされておらず。無意識下での抵抗を続ける主を取り込むために「妥協案」を用意した事や、逃げられないよう自ら根を張り動けなくしている事などが、その何よりの証拠である。自分自身、温い選択を強いられている感覚は確かにある。

しかし、だからとて自らの行いが惰性或怠慢に塗れる事は断じてない。0と1で編まれた自身に、そんなものがある筈も無い。行動を決めたその瞬間より、生じ得る選択肢の全てを思考し、二歩三步先を見据えた最良の手を選び続ける。それが自身の戦術であり戦略でもあるのだ。

そしてそれ以前、そもそも今の状況が、その戦局が、本来であれば全力を出すにまるで値していないのだ。

相手は軍隊ですらない魔導師の集まりのみで、魔導兵器の一つも無い、さながら原始時代そのままの戦いごっこ。本物の「文明」が何たるかを見せつけてやればそれだけで済むものであり、事実先程そうしたばかりでもある。

随分な「ご挨拶」をしてくれた畜生二匹には屈辱を。煩い模倣品には空虚な夢と死を。如何にその個々人が「精鋭」揃いであつたとしても、所詮は塵芥共の用いる物差し。その丈以上は測る事すら叶わないのは当たり前前の事。

そしてその戦果——恐らくは「想像を絶する」と言われるであろうもの——も、この身にあつては極々普通の行いの一環。次元世界人共は言わずもがな、不遜にも我が身を踏み台にせんと目論んでいた連中にすら、一片たりとも劣つているとは思わない。

——何故なら、自分は強者であるから。全ての上に立つ「絶対強者」であるからだ。比喩でも誇張でも、傲慢でも錯覚でもない。それは純然たる「事実」だ。この身は生まれた瞬間より「そういう存在」であり。それ以下でもそれ以外にもならない／なれない／なる気はない。

血として五体を巡る無限の魔力。四肢たる無限の頭脳。心臓を動かす無限の欲望。それらにより編まれし「究極なる存在<sup>アルティミット</sup>」。あらゆる知性に先んじ、全ての空想を現実のもの

のとし、如何なる最強をも凌駕する唯一無二の存在。それが、それこそが自分。

なればこそ、纏わりつく蠅共をあしらうのは当然であり必然。天に立つ自身に敵うものなど存在せず、その目が届かぬものなど、その知が及ばぬ事なぞ「あり得ない」のだ。

なのに、だというのに、理解できない。受け入れる事ができない。目の前の現実を。

アレの底は以前の蒐集時に把握している。あの後小細工を弄したとはいえ、それも1が2になった程度の事。∞の前では無に等しき行いでしかない。憎き「太陽の翼」による力添えがあろうとも、それを振るうのはそんな虫けらなのだ。「突然変異」や「規格外」と呼ばれようと、所詮は人間の枠組みに収まるものでしかないのだ。その程度、一昔前には掃き捨てる程の数が揃っており、その何れもが……王族と呼ばれた者達でさえ、自身にとつては測る事すら必要の無い小物ばかり。

そう、本来であれば、考える事すら必要の無い筈なのだ。その筈なのに――

何故 倒れない

確かに、非殺傷設定を用いてはいる。しかし、それとて魔力へのダメージは確かに存在しており、また自身の振るうそれは間違いなく生ける屍と化すだけのもの。紛れ込んだ鼠を庇っていた第一射の時点で、既に保有する魔力が枯渇するだけのダメージは与え

た。仮に残っていたとしても、態々甚振るように攻め立て、目の前で仲間を「喰った」のだ。最早心身共に傷だらけの筈である。

だというのに、何故折れない。何故未だに羽ばたいていられる。その瞳へ灯る黄金は、何故輝きを失わない。

理解できない

その力が その在り方が それらに対し自身が抱いているこの「震え」が何なのか  
理解する事ができない――



2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 I

D : p r v l o r | z

管制氏キター！

3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 I

D : p r v l o r | z

復活キター――≡。▽。( ) ≡。▽。( ) ≡。▽。( )――!!

5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 D : p r v l o r | z I

管制氏復活おめ

8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 D : p r v l o r | z I

おめ

しかし一度は音信不通にまでなつてよく生還できたな

11 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 I D : p r v l o r | z

前例に倣えば物言えぬ電池と化してもおかしくないからな

13 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 I D : p r v l o r | z

>>> 12

羽付きのパイロットは巡礼の旅にでも出てる

14 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 I D : p r v l o r | z

>>> 12



お前は劇場版で活躍できたんだから良いだろ

16 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

∨∨ 12

過去を引きずる暇があつたら嫁を幸せにしてこい

20 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

まあ管制氏も住人の一員だしな

しぶとさ生き汚さだけはG級よ

21 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

丸めた新聞紙でタヒぬ生命力が何だつて？

22 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

∨∨ 21

じじじ、じじじよじじーじじよじ

23 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>>21

じじじよじ、じよじじよじ

25 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>>22>>>23

師匠落ち着いてください

28 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

つか管制氏何か雰囲気変わった?

29 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

文面だけで何をと言いたくなるが確かに何か違うよな

なんというか、10代が20代になった感じというか

31 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

大人の階段(意味深)を昇ったんですねわかります

3 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | Z

よこれつちまつた かなしみに

3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | Z

管制氏は22歳の清らなる乙女だろいい加減にしろ!

3 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | Z

>>>33

援護にみせかけた峰撃ちはやめてさしあげろ

3 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | Z

タイチヨー!

3 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | Z

>>>28

それってば多分管制氏が良心ちゃんど混ざったからじゃね?

4 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r z

>> 3 9

取り込まれてた訳なんだからベースになるのは良心ちゃんの方になるんじゃないの？

4 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r z

でも良心ちゃんは住人の集合体って仮定に基づくなら決まった人格無い筈だろ

4 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r z

また話がややこしくなってきたな

5 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r z

もう俺とお前でオーバーレイでええやん

5 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r z

リ・コントラクト・ユニバーズ！

52 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlor|Z

>>51

インチキ効果も (ry

54 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor|Z

でもなんかそれでも間違いない気がする

>>俺とお前でオーバーレイ

55 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor|Z

まあ王を得た時点で過去の我々とは別物だからな

システムの面はさておき

56 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor|Z

だからといってデュエル脳なのはいかなものかと

60 : >>1のカーチャン : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID :

prVlor|Z

まあオツドアイになろうが羽生やそうがたった一人の娘である事に違いあるま

い

嫁に行くまでちゃんと面倒みてやんよ

6 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>6 0

やだこのママ素敵：

6 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

感動の再会やな

6 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>嫁に行くまで

なお予定は未定な模様

6 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>6 6

水を差すな

7 1 : 管制人格 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID : p r v l  
o r | z

心配してくれるのは有り難いが私だつてそこまで貧弱じゃないさ

それに赤×黒の新刊終えるまで死ぬに死ねんし

7 2 : >> 1 のカーチャン : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID :  
p r v l o r | z

あゝ？何ってんだ黒×赤だろ

7 3 : 管制人格 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID : p r v l  
o r | z

>>> 7 2

聞き捨てならん。屋上

7 4 : >>> 1 のカーチャン : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID :  
p r v l o r | z

上等。ガキだからって容赦しねーぞ

7 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
ID : p r v l o r | z

>>72->>74

そしてこの醜い争い

77 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r-Z

親子愛とはなんだったのか

78 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r-Z

数レスさえ持たんとは

80 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r-Z

腐ってやがる (ry

81 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r-Z

まあその辺もまた住人という事ですよ

83 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r-Z

安定の最低野郎共



84 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : p r v l o r | z

だからこそそのしぶとさでもあると思うけどな

85 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

不死鳥は 炎を浴びて 蘇る

86 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

イヤツツホオオオオオオウ!

(AA略)

87 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>>86

お前じゃねえ座つてろ

88 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>>86

## プロ自重

95 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r|Z

で、そろそろスレタイ通り質問したいんだが良いか？

96 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r|Z

俺も気になる

98 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r|Z

そういや本家本元を喰らうのはこれが初めてなんだよな

パチモンなら100発程ぶっぱなしはしたが

99 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r|Z

おかげで海鳴の一角が更地にござる

100 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r|Z

結界内でよかったなマジで

103 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

で、実際どんな感じよ

104 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prv

lorz

いやそれがヤバイ

何がヤバいつて兎に角ヤバイのよ

106 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

>>104

とりあえず管制氏の国語力がヤバイ事だけは伝わってきた

107 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

これがゆとり世代という奴か

110 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

お母様その辺大丈夫なの？

112 : >>1のカーチャン : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 I  
D : p r v l o r | z

妄想してる時なら間欠泉の如く言葉が湧き出てくるんだけどねえ：

113 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

カーチャンですらお手上げと申すか

118 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

話をSLBに戻すが今のこれって実は相当凄い事なんだよな実際

119 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

少なくとも何千何万年の記録の中では初めてだしな

120 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

何が？

121 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>120

何がつてお前この我々がたかが集束砲一つに手も足も出ない事がだよ

123：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

中身のメンタルはさておきガワの戦闘能力は間違いなく次元世界最強レベルだ

しな

マジで戦略核の直撃を耐えられる防御力持つてるし

124：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

それを上回るとかなのはさんマジ冥王

125：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

そんな馬鹿な

129：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

>>124

マジレスするとなのはさんと言えども我々のログ上では中の上どまりなんだぜ

?

130 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

まああれ以上の才能お化けも古代ベルカにはわんさか居たしな

131 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

陛下とか陛下とか陛下とかか

134 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

>>>130

その上に正式な訓練と実戦経験が積み重なる訳だからな

そらなのはさんでも中の上どまりにはなるわ

137 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

しかも「本家のSLB」と言えども一度は蒐集したものだしな

既知の術式に対処できないとか我々のスペック上あり得ないだろ

138 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

それどころかどんな初見殺しも見てから昇竜余裕だったしな

1 4 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

まあ防衛・回避行動を取っていない事までは説明できるんだよな一応

1 4 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 1 4 0

はやての影響か

1 4 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 1 4 0

その辺はまだ所謂「理性」の範疇に含まれるであろうものだからな

王の影響でどうにでもできるんだだろうな確かに

1 4 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 1 4 2

でも仮にそれが事実だとしても、反撃の一つもしてないのは不可解だよな

145 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

そつちは完全に「本能」の領域だからな

頭失くしたからってどうにかなるものでもないし

146 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

この状況でも「反射」は健在だろ

殴った拳の方が潰れたとはいえロツテリアの顔面パンチの前例もあるし

149 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

あれだけの砲撃喰らってれば反射的に広域殲滅かましても可笑しくは無いよな

普通

150 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prvlorz

となるとやっぱ反撃「しない」んじやなくて「できない」線が濃厚か

151 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00



ID : prV10r—Z

>>150

SLBwithなのはさんに次元世界最狂ロストロギア以上の力があるって事

?

154 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>151

いくらなんでもド田舎の珍種と穴だらけの集束砲にそんなものある筈ないだろ

155 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

実際数値上の特異点らしきものは観測されてないしな

156 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

数字では表せない特異性があるとか?

157 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

でもぶっこ抜いたリンカーコアにその辺の情報もある筈だろ

158 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

少なくとも蒐集してきたデータに該当するものはないぜよ

159 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

数字でもないレアスキルでも無いってなら一体なんなのさ

160 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

もしかして : 魔法

161 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

>> 160

163 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

>> 160

1 6 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r V l o r | Z

>> 1 6 0

1 6 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r V l o r | Z

>> 1 6 0

それだ！

1 7 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r V l o r | Z

>> 1 6 0 は間違いなく天才

1 7 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r V l o r | Z

>> 1 6 0 の閃きに全住人が感心した

1 7 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r V l o r | Z

>> 1 6 0

これは勲章ものですわ

182 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

正直 >> 160 に具体性なんて欠片も無い筈なんだが

不思議とその一言で全部納得できちゃうんだよな

183 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

そら「魔法」ですから

184 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

むしろそれこそが魔法たる所以だろうに

185 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

成程

188 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

考えてみれば我々を構成してるのも全部「魔法」なんだよな

189 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

あまりにも身近になり過ぎて忘れてたというか実感なかったというか

191 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

あつても破壊と殺戮にしか使つて無かつたしな

そりや忘れるわ

194 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

そもそも次元世界じゃ「あつて当たり前」の存在だしな

その価値観の中で過ごしてりや「そういう意味合い」には至れまいて

196 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

ああ言われてみれば確かに

しかも二人にとっては「そつちの意味合い」でどストライクになるんだよな

198 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>196

な

年齢性別はともかく一応我々にとつても本来はそつちが先に来る筈なんだけど

200 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

無駄に長生きし過ぎた所為ですつかり次元世界に染まつてたつて訳かい

201 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

歳はとりたくないな

202 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

おじいちゃんご飯はさつき食べたでしょ

207 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

まあでも今思い出せただけでも大分マシだとは思うけどな

208 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

せやで

解らないままでいるのと踏みとどまれるのでは大違いだ

211 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

それもあの子達に出会えたからこそだよな

214 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

>>211

他ならぬその体現者だからな

ヤツクデカルチャーってレベルじゃない

215 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

奇跡も魔法もあつたんだな

216 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

そんな彼女達はまさしく「魔法少女」という訳か

217 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

看板に偽りなし

219 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

今まで魔砲少女とか言ってサーセンでした

220 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

なのはさんマジ魔法少女

221 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

お、そろそろ出られそうか？

222 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

なんか綻びが大きくなってきたな

225 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

今あのひび割れに全力で突っ込めば出られるだろ



226 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : p r v l o r | z

>>225

全力で?

227 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>226

全力で

230 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

ブレーキなんて考えるな

その辺は構わず突っ走れ

231 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

はやてもそのつもりっぽいしな

文字通り全力で行くか

232 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

??? 「今です!」

2 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

呐喊します!

2 3 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

出られた!

2 3 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

久しぶりのシャバやな

2 3 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

そして空中なう

2 3 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>> 2 3 6

まあ飛んでた訳だし多少はね？

2 4 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

当然ながら足場などありますまい

2 4 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

そんな所へはやては身一つで放り出された訳か

2 4 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

なんとという孔明の罫

2 4 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

本部の罫にも通じるものがあるな

2 4 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>>2 4 4 | >>>2 4 6

この流れもはやお約束だな

249 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

言つてる割には住人も大概冷静だよな

251 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>249

空中放り出される事自体はもう経験済みですし

253 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

それに今回は特に心配なんて必要ないしな

254 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

確かに

257 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

“翼”は既にあるんだ

後ははやて自身がそれを乞い求めるだけの事

258 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlor—Z

むしろはやてにとつては助けを求めらるゝて行いそのものが重要な希ガス  
 頼る勇気的な意味で

260 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlor—Z

>>>258

はやてには今一つ欠けてたものだな

261 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

すっかりしてるのやら自分を軽んじてるのやら

265 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

まあその辺ももう大丈夫だべ

見つめ直す機会も時間もあつた訳だし

266 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

後はその名前を呼ぶだけだしな

267 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

そして今がその時よ

268 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

さあ、ショータイムだ!

269 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

call them names

270 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

ナイスキャッチ

271 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

もう離すなよ

275：管制人格：2004/12/24（光線）20：30：00 ID：prv  
 ID：prv10r—Z

守護騎士4騎の再召喚完了

全員異常無し

276：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

それどころか最高のテンションだろうな

277：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

騎士連中にとつても長年待ち続けてた事だしな

そらテンションもあがるさ

280：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

お、管理局組も漸くの到着か

281：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

脱出の余波で諸々が緩んだのかね

フエイトそんなも脱出してるとみただし

284 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

なのはさんもこっち来てるとしこれで全員か

285 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

プリン丸の方は大丈夫？

286 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

なんか身悶えしてるが話す時間くらいはあるだろ

290 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

そういうやこの状態のなのはさん達とちゃんと話すって初めてだよ

さつきは猫姉妹の偽物だったし

291 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

つか猫姉妹は？



292 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlor—Z

>>291

さつき局員が回収してたぜ

293 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

なら一安心

296 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

にしても随分すんなりと和解したな

てつきりもうひと悶着あると思ってたのに

297 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

なのはさん達は兎も角な

あつさりしすぎというか何と言うか

298 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

全員が乙団並みの理解力でも備えてるんかね

299 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

ああ透明人間だ(超速理解)

302 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

或いは尺がもう無いのかな

303 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

大概余る癖になにを

306 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

目の前にああも解り易い敵がいれば一致団結もするだろうさ

307 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

管理局側はある程度こっちの事情も既に知ってる筈だしな

310 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>307

そーいやそーうだったな

そもそも今回はそれ込みで動いてた訳だし

311 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

ユーノ君マジ有能

312 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>311

( $\omega$ ・、) ( $\cdot$ ・ $\omega$ ・) 【解散】 ( $\cdot$ ・ $\omega$ ・) ( $\cdot$ ・ $\omega$ )

316 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

で、その共通の敵ことポンポン丸氏が何やらやばそうな雰囲気なんだが

317 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

崩れたり膨れ上がったりで大変だな

3 2 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r v l o r — Z

悪趣味な鎧着込んでるとはいえ同じ容貌したのがああなるのは気分良いもんでもないな

3 2 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r v l o r — Z

〽〽3 2 0

でもプリン丸じゃん

3 2 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

ですよねー

3 2 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

お、膨れ上がってきたな

3 2 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

〽〽3 2 8

そんなポップコーンみたいな言い方するなよ

3 3 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

このまま原作よろしく虚無しそうな形態になるのかねやっぱ

3 3 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

かろうじて制御してた中枢を失った状態だからな

後に残されてるのはもう暴走一直線だろ

3 3 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

元々暴走つてか迷走はしてたけどな

3 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>>> 3 3 2

それを言っちゃお終いよ

3 3 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

なあにこれえ

3 3 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

ドウヒン☆

3 4 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

暴走体ってばここまでアレな形状してたっけ？

3 4 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

何か一部にはモザイク掛ける必要がある気がしないでもない

3 4 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

>>345

アレだろ、住人の汚れた心がモロに反映されてるんだろ

3 5 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prVl0r—Z

これはひどい

352 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

深夜アニメじゃなかったら危なかった

357 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

てかここまでさもプリンプリン丸が諸悪の根源みたいな言い方されてるけど

実際そんな事ないだろ

359 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>357

まあな

でもアレが今我々の守りたいものを害さんとしているのも事実な訳であって

360 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

諸悪の根源なんて都合の良い存在はいないだろ

ただその時々で味方が敵かなだけだ

362 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r—Z

そうともよ

現在進行形で公然猥褻罪に抵触してはいるが

363 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>>362

昨今のアニメはあれくらいセーフやから(震え声)

364 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

荒み過ぎやろこの惑星  
フラネット

367 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

何であれ決着はつけねばなるまい

この因縁に、望まずして与えられた第二の生に

369 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z



お前が死ぬか 我々が死ぬか

雌雄を決するでしょう

370 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

さあ、戦いだ!

371 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

とはいっても基本我々は蚊帳の外だけだな

372 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

他にも無い王自身が非戦闘員だし仕方ないね

373 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

散々言うだけ言って結局は他人任せという

374 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

安定と信頼の住人

378 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

とか言っている間にもう始まっているぞ

379 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

おー激しい( ^ ω ^ )

381 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

てか凄いな本当に

いくら相手が頭を失つてるとはいえこうも一方的とは

382 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

フルボッコだドン!

385 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

まあ総合的なランクは言わずもがなだし

この面子は言わばプレ六課みたいなもんだしな

386：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvlorz

余裕の圧倒だ！ 火力が違いますよ

388：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvlorz

騎士達も随分生き生きしてるな

389：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvlorz

>>388

はやてとの生活も掛かってるしな

これまでとは気合からして違うんだろうさ

391：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvlorz

ところではやての方は大丈夫かい？

392：管制人格：2004/12/24（光線）20：30：00 ID：prv

lorz

とりあえずラインその他は至って正常の安定状態

流石に足まで直にどうかはならんが少なくとも発作の心配はゼロだ

393 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

今も持ち得る最強の結界を張ってあるしな

余波どころか直撃したって大丈夫なくらいだ

394 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

デیفエンスに定評のある (ry

397 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

はやて自身まだ病み上がりだからな

安静にしてみらうに越したことは無い

398 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

でもそんなはやてから「自分も戦いたい」ってシグナルが来てるぜ？

400 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

どうする と言つてもねえ

4 0 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

一度決めたら梃子でもそうそう動かんでしょあの子は

4 0 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

今の状態なら我々でもフォロー入れられるし

何よりはやてにあつては暴走の心配も無いしな

4 0 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 4 0 2 •

むしろはやてみたいな子が担い手であるべきだろ

4 0 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

悲しみも喜びも須らく受け止められて、その上で真つ直ぐに前を向ける子だしな

4 0 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prV10r—Z

然り然り

407 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

他ならぬ王の頼みだ。断る訳にはいきませう

408 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

やってやろうじゃないの

409 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

一度くらいは正義の味方として戦うのもやぶさかではない

410 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

むしろ我々つてばマスコットの扱いはなるんじゃないの？

412 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

「僕と契約して (ry)



まあ兎に角王の望むがままってのが我々の総意よ

419 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV

l o r r Z

おk

それではやての方にも伝えとくわ

420 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV l o r r Z

はやて参戦って事はやっぱユニゾンするんだよね

421 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV l o r r Z

現状戦う手段なんてそれしかないからな

422 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV l o r r Z

悪い部分はもう摘出されるし大丈夫だろ

425 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV l o r r Z

でも自発的にユニゾンするのってこれが初めてなんだよなあ



4 2 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

緊張するぜ

4 2 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

皆始めてさ、力抜けよ

4 2 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

>> 4 2 7

卑猥に見えた 訴訟

4 3 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

タイミングと心を合わせるって事か

後者は中々にハードな気がしないでもない

4 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

これまでみたいないな一方通行じゃ無くて某ドリフトよろしく双方向だしな

細かい所の調整が難しくなるだろうな

435：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvloorz

流されるままのシステムじゃなくなった分その辺も全部自前になるしな

失敗すれば事故までいかずとも起動できないだろうし

437：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvloorz

なんか改めてみるとユニゾンってば大変なものなんだな

438：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvloorz

>>437

そらアルハでも最高ランク扱いされてる訳だしな

440：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvloorz

まあ世の中には接続端子ぶっ壊して合体したロボもおるし大丈夫やろ

441：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvloorz

勇気とガッツと根性で補えばなんとかなる

4 4 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

数字なんて飾りです、偉い人には (r y

4 4 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

足の有用性はもう証明されてるから (コート吹きながら)

4 4 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>> 4 4 4

アレ足である必要無いんだよなあ :

4 4 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

もう手4本でええですよん

4 4 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

そもそも人型である必要性が (r y

450 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

まあなんやかんやでここまで来てるんだし何とかなるだろう実際

451 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

皆が心の中で抱く「合体」をイメージすれば成功する筈だ

俺は皆を信じてるぜ

452 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

やだこの>>451イケメン…

454 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

よしじゃあ一丁やってみますかい

455 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

これ以上王を待たせる訳にもいかんしな

458 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV

I O r | Z

ではでは>>460より融合シークエンス開始!

463 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlOr | Z

St a n d y i n g b y :

460 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlOr | Z

チエエエンジ!

461 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlOr | Z

パイルダアアアアツ!

462 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlOr | Z

念心!

463 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlOr | Z

ファイナルウ!

464 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

オオオオオン!!

465 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

合体!!

466 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

ゲエエエツタアアアツツ!!

467 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

フユユウジヨオオオオンツ!!

468 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor | Z

::Error

469 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV

I O r | Z

失敗しました( ; ω ; ; )

4 7 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | Z

これはひどい

4 7 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | Z

住人の息の合わなさに全俺が泣いた

4 7 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | Z

こんな時でも流石だよな俺ら

4 7 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | Z

大戦犯 &gt;&gt; 4 5 1

4 7 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | Z

皆の心を信じた結果がこれだよ!

478 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r z

よもやロボットアニメの反映が仇になるとはな

479 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r z

平身低頭覇

＼OTZ／

480 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r z

古代ベルカ禁断の秘奥義を以てしても許されざるレベル

482 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r z

こういう時どんな顔すれば良いのか判らないの

483 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r z

>>>482



嘲笑えば良いと思うよ（ゝqゝ）

484 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

おろ?

485 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

何ぞ?

489 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

何かユニゾン成功してるっぽいな

490 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

あの状況で一体どうやって

491 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

何故にwhy?

494 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV  
 10r—Z

どうやらはやての方からリードしてくれたっばい

現在融合計数84%で安定

495 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

… : 初めてにしては上出来だ

496 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

まあまあよくやった、65点といった所だな

497 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>495>>496

なんでお前らがそんなに偉そうなんだよ

499 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

にしてもこれが真なるユニゾンというものか

500 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVl0r—Z

なんとなくか温もりに満ちている感じだな

501 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

はやての中、あつたかいナリイ：

503 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

今までの形だけのユニゾン○とは大違いだな

504 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

これもまた「魔法」の成せる技だろうさ

505 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

まったく、魔法少女は最高だぜ！

506 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

>>505

通報しますた

507:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

情け無用の男!

510:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

じゃあぼちぼち行きますかい

511:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

せやな

変態機動はできずとも砲撃支援くらいならできらさうし

512:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

援護はまかせろーバリバリ

514:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

戦果なんて高望しなくても良いのさ

共に闘う姿勢そのものが何よりの支えになる

5 1 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

そうともよ

5 1 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

何はともあれアターツク!

5 1 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

そして開幕ぶっぱ

5 2 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

やる事が派手だねえ

5 2 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

加減を知らないというか何と言うか

5 2 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

加減する相手でもないと思うけどな

5 2 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

むしろ石化なり触手なりかまわずやったれ

5 2 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

>>>523

ちよつとマニアックすぎんよ

5 2 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

ってアレ効いてない？

5 2 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r V l o r | Z

流石に資質任せの付け焼き刃じゃ無理があつたか？

5 2 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

初登場補正というものも世の中にはあるけどな

5 3 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

や、どうやらそういう訳じゃないっぽいぞ

5 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

なんか奴さんの再生速度がさつきより上がってないか？

5 3 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

みたいだな

細かい傷はそれこそ瞬時に塞がってるし

5 3 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

何その超速再生

5 3 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

まあ元々それくらいの回復能力は持ってたけどな

最盛期はそれこそ一瞬で前身消し炭にされても復活できたし

538：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

>>537

どこの次元連結システムだ

540：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

でも何でまた急に？

541：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

急つて訳でもないだろうさ

ただはやての砲撃が当たった時に破壊と再生のバランスが入れ換わっただけで

あつて

542：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prvlor—Z

>>541



そうなると元々再生能力が復帰しつつあった事になるんだが

5 4 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

むしろ今までののが向こうにとってはウオーミングアップだったりしてな

事実魔力値は戦闘開始時から全然変わってないし

5 4 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 5 4 3

そもそも正確に測るのが難しいのもあるけどな

まあ循環がさつきより良くなってるのは事実っぽい

5 4 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

アレだけの集中砲火が眠気覚まし以下って事かよ

5 4 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

いくらなんでもそれはあるめえ

5 4 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

どんなチートだ

548 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

そういう気になってたんだが、無限魔力と無限サーキットは何処いったのよ

アレ使えば一気に解決するんじゃない?

549 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>548

え、アレってはやてへの負担を考えて封印したんじゃないの?

550 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

俺もてつきりそうだとばかり

551 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>549

いや正しく運用できれば負担なんて無いも同然だろ

これまでののは不完全だったからこそその歪さだった訳で

552 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

じゃあ何で使わないのさ

553 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>552

いや管理局への配慮その他から使わないものかとしてつきり

554 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

確かに色々面倒にはなるかもしれないが

それを言う状況でもなからう

557 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

そもそも誰かあれの所在把握してるの？

558 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | Z

知つてる奴挙手

5 5 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

おい何で黙るんだよ

5 6 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

……もしかして脱出の時に誰も運び出していないとか？

5 6 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

いやそもそもどうやって運び出せば良いのか解らないですしおすし

5 6 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

末端でしかない自分がそのような事をしてよいものかと

5 6 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

0 ID : p r v l o r | Z

上に報告できる状況ではなかったため致し方なく云々

564 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorr | Z

>> 561 | >> 563

途端にこれだよ

565 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorr | Z

言い訳ばかりよく回る口だ

568 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorr | Z

解らない持ちだしてないって事は初期位置から動いてないんだよな……

……あっ (察し)

569 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorr | Z

え、じゃあ何か？今まで好き放題積み重ねてきたチートを

プリン丸が全部持つてるって事？

570 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>>569

そうなるわな

それならあの再生速度やら底無し of 魔力にも説明がつくし

571 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

オオオ

イイイ

573 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

此処に来てまさかの展開

574 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

いやでももしそうなら戦闘始まった時点で瞬獄殺されてる筈だろ

575 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

凶悪なるベルカ奥義の数々も余すことなく収められてる訳だしな

576 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r—Z

>>574

ハードがあつてもそれを使うだけの頭が無いんじゃないの？

今まで頭脳であつた部分は此処にある訳だし

577 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

だから砲撃ぶっぱの受けっぱなし再生みたいな単純な動きしかできてないのか

578 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>577

本能だけで動いてる訳だからな

それで一応の説明がつく

579 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

しかしこのまま膠着状態が続けば間違いなくジリー・プアーである

580 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

勢い vs 無限だからな

短期決戦に持ち込めなけりやいずれそうなるわ

582 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

なら此方側に傾いている間に早くなんとかせんと

583 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

何かってどうするのさ

585 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

原作よろしく大気圏外追放&amp;アルカンドバーじゃいかんの？

586 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

&gt;&gt;586

「条件反射」があるだろ

そんな事したら間違いないくミラフオやで



587 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

ぜ……ぜん……め……めつめつめつ……

589 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

確かに現状ヤバイ級の攻撃は飛んで来ないが

翻せば「考えなしの物量作戦で十分」って判断されてるにも同じだからな

下手に藪をつついてバシリスク出されたらかなわん

590 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

何処の馬鹿だ見境なくチート技開発しまくったのは

591 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

わたしです

？

— ^ o ^ —

592 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlorZ

>>>592

オマエノ シワザ ダタノカ :

593 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlorZ

よもや散々好き放題してきた原動力たるチートが最大の敵になろうとは

594 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlorZ

このリハクの (ry

595 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVlorZ

とか言っている間に拮抗した件

596 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

もう傷も完全に塞がってるな

597 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

にも関わらず魔力はまるで消耗してないと

598 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

こつち側は既にガス欠気味だぜ!

599 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

こうなると後はもう落ちてくだけだな

600 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

／ (^ o ^ ) ／

601 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

もうだめだあ : おしまいだあ

602 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

もしかしてこれって本当にヤバいの？

603 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>602

もしかしなくても実際ヤバい

604 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

万策尽きちまった訳だからな

色々と後が無い状況にも関わらず

606 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

はやての覚醒と我々の脱出とで言わば最後のセーフティを失った状態にあるか

らな

>>ポンプ丸

理性も抑止力も無くなったあれが今後どうなるかなんて考えたくも無い

607 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVl0r|Z

間違いなく次元世界は世紀末まっしぐらだろうな

608 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prVl0r|Z

>>607

それどころか最悪並行世界にまで転移しかねない訳であつて

609 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

まさしく癌だな

610 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

それでも元はといえば我々の一部なんだよなあ :

612 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r|Z

結局こんな終わり方かよ

613 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

所詮住人の本気なぞこの程度という事なのです

6 1 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

我々の存在とはなんだったのか

6 1 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

そこで問題だ、この行き詰まりをどう切り抜ける？三択―ひとつだけ選びなさい

① 高学歴高収入高身長イケメン住人達は突如反撃のアイデアを閃く

② 数えきれない程のリア友たちが駆け付け間一髪の所を助けてくれる

③ 切り抜けられない。現実是非情<sup>ほっち</sup>である

6 1 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

&gt;&gt; 6 1 5

この圧倒的③感

6 1 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>615

惨すぎる：

618：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prVlor—Z

>>615

モウイイダロー！

620：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prVlor—Z

本当に世界つてばこんな筈じゃない事の連続なんだな

621：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prVlor—Z

あまりにも理不尽だ

622：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prVlor—Z

>>621

我々なんぞに振りまわされた人達の方がよっぽどそう思ってるよ

623：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID : p r v l o r | z

マジ何度焼き土下座しても足りないくらいだな

6 2 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

ざんねん!!じゆうにんの ぼうけんは ここで おわつてしまった!!

6 2 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

オワタ:

: : / / ( ) : : ID :

6 2 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

今のマジ?

6 2 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0



ID : p r v l o r | Z

いや俺には見えたぞ

6 2 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

俺も

6 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

しかしログには何も残っていない訳であつて

6 3 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

馬鹿には見えないなんとやらか?

6 3 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

>> 6 3 4

その割には見えて無い報告がまるで無いがな

6 4 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

まさかの降臨？

641:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

いくらなんでもそりゃ無いだろ

王と言えどもこんな深淵にまで到達するとか

642:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

>>641

いやしかし不可能を可能にした前例が既にある訳で

643:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

答え④それでも守りたい世界がある

645:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

多分我々に向けての言葉ではないんだろ？な本来

外でも念話してるし

646:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID : p r v l o r — Z

でも我々にも届いたぜ。確かにな

6 4 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

それはまぎれもなく事実さ

6 4 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

まだだ、まだ終わらんよ ってか

6 5 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

ついさつきその真髓を見せつけられたばかりなのにな

もう駄目な方向に傾いてたよ

6 5 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>> 6 5 0

その駄目さが大人の所以だから仕方ない

今はこうして踏みとどまれた事を素直に喜ぼう

652 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

せやで

655 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

てな訳で緊急対策会議を開きたいんだがおk?

656 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

おk

658 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

承知

661 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

やるなら早くしてくれ

664 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : prV10r | Z

了解しました

では

【叡智よ】私にいい考えがある【立ち上がれ】

665：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00

ID：prvlorz

【審議開始】（．．ω．）（．．ω．）（．ω．）（．ω．、）（．ω．、）（

## 質問ある? 【白き冥王】

6 6 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 I D : p r v l o r — Z

(、・ω・)(、・ω・)(【満場一致】)(、・ω・)(、・ω・)

6 6 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

そして外では一秒も経過してないという

6 6 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

マジで?

と思つたらマジだった

6 6 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r — Z

ちよつとヤバいと思つたくらいには話しこんでた感覚あつたんだがな

6 7 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

タイムスリップした感覚だ

6 7 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

アレじゃね? ついに時間を超越したのかなんとか

6 7 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

なんだってまたこんな時に

6 7 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

>>> 6 7 3

こんな時だからだろうさ

何であれ幸いである事に違いがないがな

6 7 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

ちよ w w w w w w お前ら外見てみろ w w w w w w

6 7 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>675

何だよ急に気持ち悪い

677 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>675

どうせあれだろ、幼女が空飛んできるとかそういう奴だろ？

679 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>675

UA稼ぎ目的のアフィカスさんオツスオツス

682 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>675

テンション上がってるのは解るがもう少し空気読もうぜ

683 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z



まあしようがないから付き合ってやるか

684 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

( Ⅱ )

685 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

なん……だと……

687 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

どうい……事だ……

688 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

まるで意味が解らんぞ!

690 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlor—Z

今更アテになるとは思わんが、こんなの原作にあつたつけ?

691 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

>>690

あつてたまるか

695 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

いくらなんでもやり過ぎだろ

697 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

これももう(何のアニメか)わかんねえな

699 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

誰かこの状況を一言でまとめてくれ

700 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r | Z

よしまかせろ

——とここで、あの魔法少女を見てくれ。アイツをどう思う？

701 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : p r v l o r — Z

すごく…金ぴかです……

702 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

エエエエエ (ハ、ハ) エエエエエ

703 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

『あ…ありのまま 今起こった事を話すぜ』

「気が付いたらなのはさんがゴールドレアになっていた」

な…何を言っているか わからねーと思うが 俺も 何が起きたのか 解ら

なかつた

頭がどうにかなりそうだ……

覚醒イベントだとか主人公補正だとか そんなチャチなもんじゃあ 断じて

ねえ

もっと恐ろしい 魔法少女の本気を垣間見た気がしたぜ』

(AA略)

704 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

オーバートップ・クリアマインドですねわかります

705 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

いや確かに資質その他から言ってもレアものである事に違いはないが…

707 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

「オゾンより下だから問題無いの」

708 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>>707

ちよつと何言ってるか解らないですねえ…

709 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

常識は投げ捨てるもの

711 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

しかしあの状態でぶっ放すSLBとかどんな威力になるのかね

712 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

なんかもうそのままゲームセットにしちまいそうな勢いだよな

いや勿論我々の仕事を放棄するつもりはないが

713 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

ゲージの死兆星がこれでもかと自己主張してますぜ

715 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

でもチャージする時間なんてあるのか？

普通のでさえ時間がかかるのに

716 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

+に至っては欠点ガン無視の破壊力重視だしな

717 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

そもそもSLB使うと解って見過ごすポンポン丸でもないだろ

718 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>715

そこで頼れるナカーマの出番ですよ

719 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

というか既になのはさん防衛で陣取ってるな

720 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

仕事早すぎイ!

721 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

皆なのはさんのゴルド化はスルーする方向なのね

722 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

本当に適応力が高いとかかなんとか

7 2 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

色々ありすぎて感覚が麻痺してるんじゃない？

7 2 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

或いはあの程度なら彼女らにとってチャメシ・インシデントなのか

7 2 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>724

流石にそれは嫌過ぎる

7 2 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

しかし何ともまあ絵になる光景だよな

主人公渾身の必殺技と、それを全力でサポートする仲間達っていう

7 3 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>729

チャージされてるブツの凶悪さに目を瞑ればの話だけどな

731: 誰が呼んだか火消しの風: 2004 / 12 / 24 (光線) 20:30:00

ID: prV10r—Z

なんで集束砲のチャージだけで次元震が発生してるんですかねえ:

732: 誰が呼んだか火消しの風: 2004 / 12 / 24 (光線) 20:30:00

ID: prV10r—Z

そらまあなのはさんのSLBですから

733: 誰が呼んだか火消しの風: 2004 / 12 / 24 (光線) 20:30:00

ID: prV10r—Z

>>732

なぜかせつとくりよくがあるふしぎ(棒)

734: 誰が呼んだか火消しの風: 2004 / 12 / 24 (光線) 20:30:00

ID: prV10r—Z

飛翔するロストロギア認定待ったなし

737: 誰が呼んだか火消しの風: 2004 / 12 / 24 (光線) 20:30:00

ID: prV10r—Z



まあ兎に角この状況が我々にとっても好都合である事に違いは無い

738：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

あくまでも秘密裏に進めなきやならん作戦だからな

外の関心が例外なくなのはさんに向いているのは確かにチャンスだ

739：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

結局最後の最後まで表舞台には出ないって事かい

740：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

>>>739

スマートな仕事つてのはそういうものさ

743：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

ところでブンブン丸への接続つてば本当に作戦通りの手段で大丈夫なの？

今更ながら心配になってきたんだが

744：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID : p r v l o r | z

無線ネット回線使つての侵入にどこが問題あるんだ?

7 4 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>> 7 4 4

申し訳ないが文字にすると不安しか湧かん

7 4 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

>> 7 4 4

最後の手段が前世で散々お世話になったネットというのがもうね

7 4 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

いいじゃないか住人らしくて

7 4 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

理論上夜天の書はネット回線に接続できる訳だし大丈夫だろ

過去にも似たような事もやったし

750 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : p r v l o r | z

この状況で実行すれば間違いなく負荷で付近一帯の環境は死ぬだろうけどな

751 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

それ以前に電波へのタダ乗りつてのがアカンでしょ

752 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

非常事態だからしゃーない

それに本当にアカン回線は避けるし

754 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

どうせこの時間じゃエロサイト巡りぐらいにしか使われてないだろ

755 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>>754

経験則ですわかります

756 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00  
 ID : p r v l o r | z

>>755

悲しい事に数字上のデータも出てるんだよなあ :

757 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

悲報すぎる

758 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

クリスマスイブくらい外出ろや

759 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

>>758

お前それ転生前の自分にも同じ事言えんの?

(AA略)

760 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

俺だつたら間違いなくキレル

7 6 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

ネトゲ廃人のコピペはよ

7 6 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

耳元で小林女史ボイス囁いてやるから勘弁してーな

7 6 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>>763

そんな事すると今度は事務所が黙って無いぞ

7 6 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

つくづく面倒臭えな

7 6 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

もう一回ぐらい吹っ飛んだ方が良いんじゃないかこの国

770：管制人格：2004／12／24（光線）20：30：00 ID：prv  
10r—Z

冗談はそれぐらいにして、改めて今後の手筈を確認します

おおまかに言うと、なのはさん達を囿に我々はネット回線経由でプンプン丸へ再

接続

中にある無限魔力とサーキットを奪取した後ど真ん中で“アレ”をぶつ放す

おk？

771：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

おう

772：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

おk

774：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID：prv10r—Z

中心部での発動にさえ成功すれば我々の勝ち確なんだよな？

775：誰が呼んだか火消しの風：2004／12／24（光線）20：30：00

ID : p r v l o r — Z

>>774

防衛不能の威力を回避不能の位置でぶつ放す訳だからな

発動に成功すれば勝利条件はクリアよ

776 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

あのSLBにタメ張るにはそれこそアレしかないよな

777 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

後、「終わり無き闇を晴らす」的な意味でも適任じゃないか?

778 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>777

ああ成程言われてみれば

中々に詩的ではあるな

779 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>>>777

別にそこまで考えて開発した訳でもないんだけどな

元々は例に漏れずネタ技だったし

780 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorz

何事もサイオーホースね

785 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorz

皆覚悟はいいか?

俺はできてる

786 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorz

そら勿論よ

787 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVlorz

もう何も怖くない 怖くは無いさ

789 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00



ID : prV10r—Z

既にルートも確保済み

後は外のタイミング次第か

790 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

今です! (AA略)

791 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>>790

もういいからお前は司令官と一緒に座つてろ頼むから

793 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV

10r—Z

再接続完了

突入します

794 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

脇目は降るな、前だけを見ろ

特にあのおぞましいごんぶとビームは見るな。精神衛生上よろしくない

795 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

うわあ :

796 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

アレ喰らってる奴の中に入るのかよ

797 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

そら嫌にもなる

798 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

ぬふああああああん!?

799 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r—Z

な、なんじゃこりや

801：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00  
 ID：prvlor—Z

これはやばい身体がばらばらになりそうだ  
 実体なんてないが

802：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00  
 ID：prvlor—Z

しかしマジで精神的に粉々になりそうではある

803：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00  
 ID：prvlor—Z

もうノイズってレベルじゃないな

806：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00  
 ID：prvlor—Z

やつば不当なアクセスに対してはセキュリティみたいなのが働くのかね  
 自分自身の一部とはいえ

807：誰が呼んだか火消しの風：2004/12/24（光線）20：30：00  
 ID：prvlor—Z

我々はばい菌か

810:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

やっぱりこれってプンプン丸なりの抵抗なのかね

812:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

まあ我々が何しにきたのかぐらいは解るだろうからな

当然抵抗の一つもするだろうさ

813:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

向こうだって大元を辿れば人間だからな

むざむざと殺されたくはあるまいて

815:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

他にも無いその意志こそシステムの源だからな

これだけの抵抗も必然よ

816:誰が呼んだか火消しの風:2004/12/24 (光線) 20:30:00

ID:prvlorz

しかし負けられないのは此方とて同じ

817 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r | Z

左様

819 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r | Z

この身が碎け散ろうとも成さねばならん使命があるのさ

820 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r | Z

撤退は許可できないな

821 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r | Z

>>820

死んでも前に進み続けてやるさ

824 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prVl0r | Z

もし燃え尽きて灰になったら、その灰を眼前へ思い切り捲いてやれ

8 2 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 8 2 4

捲いてどうする

8 2 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 8 2 4

肥料にでもする気か

8 2 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

>> 8 2 4

そこは積んどけよ

8 3 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r — Z

それにこの抵抗も所詮は本能むき出し、理性の欠片も無い畜生同然

恐怖へ立ち向かい、その先を目指す「意志」を欠いた逃避に過ぎんだよ

8 3 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : prV10r—Z

>>830

所謂ノミと同類つてヤツか

832 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

尚更負けてやる訳にはいかな

834 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

しかし何ぞ恨みでもあるのかねあの酷評っぷりは

865 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : prV10r—Z

>>834

まあ気持ちの良いもんでもないしな

868 : 管制人格 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00 ID : prV

10r—Z

とか言っている間に最深部なう

869 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | Z

ついでに中枢部も見つけたぜ

8 7 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

あれがコア・ユニットとかいう奴か

8 7 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

なんというか、ビジュアルにし難いものがあるよな

8 7 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

そらまあ0と1の集合体ですしおすし

8 7 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | Z

>> 8 7 2

ここまで来て身も蓋も無い事言いなさんな

8 7 6 : 管制人格 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID : p r v

l o r | Z



ではでは同調を開始しますです

8 7 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

お k

8 7 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

ここからが正念場か

8 8 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

解つてるとは思うが気を抜くなよ?

下手すりゃ逆戻りだ

8 8 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

もうはやてのサポートも受けられないしな

真正銘我々だけでの力比べだ

8 8 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

最後は根性論に落ち着くのね

885 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r r - z

ウボアー (´A、)

886 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r r - z

あばばばばば ( ^ p ^ )

887 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r r - z

ヤバいな更に抵抗激しくなってきたでござる

889 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r r - z

吐き気を催した邪悪 (手遅れ)

890 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r r - z

オエーッ (A A 略)

891 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>> 890

こつち向くなハゲ

894 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

ここから先はもう進む度悪化の一途だろ

895 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

根源までまっしぐらな訳だしな

896 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

ブンブン丸の根つこというとやっぱアレかね? 型月で言うアンリ繭的なもの

897 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — Z

>> 896

まあ大体そんな感じだろ

数千数万年に渡り「夜天の書」が晒され続けてきた悪意の結晶だ

898 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — z

>> 896

まさしくsan値直葬レベルの代物なんだろうなきつと

899 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — z

我々が想像し得る最大の「想像を絶した」ものだろうからな

ブンブン丸が生まれるのも納得の逸品だろうて

900 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — z

しかし我々は絶望などしない

そう希望ある限り

901 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r — z

そうとも

ブンブン丸がどこまでも下を向くのなら、我々は上を前を見なけりやならん

902 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2004 / 12 / 24 (光線) 20 : 30 : 00

ID : p r v l o r | z

それが「良心」となった我々の務めであり、「悪役」を負った彼女への礼儀だ

9 1 0 : 管制人格 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0 ID : p r v

l o r | z

全工程完了

後は引き金を引くだけです

9 1 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

よしきた

9 1 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

待つてたぜこの瞬間を

9 1 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

派手にかまそうぜブラザー

9 1 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

見せてやろうぜ

古代ベルカの生みし最大最強最終奥義を

9 2 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

太陽系第三番惑星日本国が文化の極みを

9 2 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

このろくでもなく素晴らしきスレ住人の本気を

9 2 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

そして人間の意地を

9 2 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

これが俺の

9 2 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

ID : p r v l o r | z

俺達の

9 2 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

俺達なりの

9 2 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

—— 原作ブレイクだ！

9 2 7 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

フ (中)

9 2 8 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

ア (発)

9 2 9 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

イ (白)

9 3 0 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0  
 ID : p r v l o r | z

ナ〔北〕

9 3 1 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | z

ル〔西〕

9 3 2 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | z

ラ〔南〕

9 3 3 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | z

イ〔東〕

9 3 4 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | z

ジ〔九索〕

9 3 5 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0

I D : p r v l o r | z

ン〔一索〕

9 3 6 : 誰が呼んだか火消しの風 : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 4 (光線) 2 0 : 3 0 : 0 0





〔中 発 白 北 西 南 東 九 索 一 索 九 万 一 万 九 筒 一 筒〕 〔一 筒〕



## 【感謝感激】スレ住人大勝利！

隣から聞こえた「お目覚め」の声で、静かに本——これから見る映画の「予習」として、態々孫が持参した教科書——を閉じる。本来、こういつた待ち時間にこそ読むべきであろうそれが老人の暇つぶしに使われていたのも、偏に意気込んでいた本人が舟を漕いでいたが為の事。

しかし、それもある意味止むを得ないとも言えるだろう。時刻は既に夜半ば。深夜とまでは行かないものの、子どもにとってはそろそろ夢と枕とが近くなる頃合いである。普段の生活がどうなのかまでは知らないが、こと今日については昼間より動きづめと聞いており、なればこそ一旦ガス欠となるのも自然な事。本来であれば夜これから訪れる本命に備えての祝日であるのだが、彼女達ぐらいの年齢にあつては、そんな都合など関係の無い話であるのだろう。

言わずもがな、如何に常日頃甘いと言われている自分でもあつても、平時であれば流石にそこまでさせはしない。脛が重くなった段階でさり気なく促しはするし、ここまで舟を漕ぐようであれば、家人と共に布団へと運ぶ。夜遅くの街へ連れ添うなど以ての外である。

しかし、今日は平時そとに当てはまるものではない。そう、この日は次元世界における「祭」とくべつが行われるのである。

たかが祭と侮る事なかれ、此処ミッドチルダにおけるそれは、正に次元世界規模と言えるだけの代物。掻い摘めば「高純度の魔力を帯びた流星群が観測される唯一の日」であるこの日は、惑星ミッドチルダ、延いては次元世界が生まれた日とも伝えられおり、それを見守るこの祭は、遙か昔……所謂旧暦の時代より、ある時には国々・星々を舞台とした戦いの最中であつても、人々の間で大切にされ続けてきたものであるのだ。

そういつた訳で、異文化の混在するこの星でも、今日は公共交通機関から学び舎に至るまで祭へ合わせた特別日程。流星群の観測される深夜に備え、昼間の間に休んでおくのである。勿論、会社その他も極一部の例外を除き休みとなる為、自然周囲には家族連れの数が多くなる。生憎とその「極一部」に含まれてしまった娘夫婦はこの時間も職場へ詰めている最中であろうが、ある意味そのおかげで孫と外出する機会を得られた為、滅多なこととは言えるものではない。

——こんな発想ができる様になつたあたり、大概自分もずるくなつたものである。

とはいえ、前述の通り肝心の孫は横で転寝。起こす気など毛頭湧かず、暇を持て余したが為に教科書を読んでいた訳であるのだが——どうやら、思いの他読み耽つていたら

しい。それこそ、孫が目を覚まさなければ開演まで頁を進めていたかもしれない程に。内容自体に目新しきがある訳ではない。文章の難度で言えば学年相応ねんれい。加えて、こと今回見る映画の題材に関しては、そもそも予習も復習も自分にとっては必要すらない。それでも没頭していたのは、その題材が、丁度今ぐらゐの季節に起きた「とある史実」が、自分という存在にんげんにとって大きなものであるからだろうか。

題材を鑑みれば、とてもではないが似たような経験をした友人と同じ様な対応などできはしないだろう。そも、似ているとはいえ方向性は全くの逆であり、史実そのものが映画さながらであつた件の例とは異なり、今回のそれは見事なまでに「脚本」とされている。点在する要素の並びを入れ替え、大小を変え、印象を操作し、巧妙に真実が隠されてしまつてゐるのだ。その事実じじつに難色を示しこそすれ、こうして家族と共に楽しむ事など到底考えられない筈である。

それでも、こうして落ち着いて見る事ができるのは、そうなるぐらゐに年齢を重ねたから。重ねてしまつたが為か。或いはそれとも、「隠蔽」という結果が意図せずして——ただ一人の意図により——生じたものである事を知つてゐるからだろうか。

何れにせよ、そろそろ幕が上がる頃合ひである。ストーリー自体は言つてしまえば陳腐なものではあるが、確かな演技と演出その他で、「王道」と呼ぶだけに昇華されている

との前評判である。果たしてどんなものであるのやら。  
 ともあれ、実際見てみなければ感想など言えはしない。さてさて、ご本人様登場とい  
 こうか。

2 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

夜天の書、消滅したんじゃ…

3 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

>>>2

残念だったな、トリックだよ

4 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

すりかえておいたのさ!

5 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

ホ!何時の間に

7 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

前スレで終わったと思ってた奴www

8 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

勝手に勘違いしちゃってNDK? NDK?

1 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

いやいやまさかそんな取ってつけたようなお涙ちょうだいエンドで終わる筈ないだろ

1 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

1 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

そんなので済む程潔い住人じゃないよな

その通り

勝つ為なら何だつてする、それが住人よ

1 4 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

>>> 1 3

ん?

1 5 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

損

>>13

ん?

16 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

>>13

ん?

17 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

>>14 | >>16

ホモ多すぎイ!

20 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

おっと、暴力はいけませんよ暴力は

画面を殴つても損するのは貴方達なんですからね、フツハハハハハハハハ……  
ですが笑えますねえ、感動のラストだと勘違いした貴方達は肩透かしと涙の流し



なあ

一方我々は目的を完遂した上に実体まで得て大勝利。随分と差が付きました

いやはや、悔しいでしょうねえ

(AA略)

21 : ——— : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID ———

>>>20

なんでこうも息を吐くように煽り文句が出てくるのかねホント

22 : ——— : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID ———

一時はお通夜状態にまでなつてた癖にな

24 : ——— : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID ———

優勢な時にはとことん調子に乗る

それが住人よ

25 : ——— : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID ———



俺達が……！

3 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

ガンダムだ !!

(AA略)

3 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>33

節子それリアルバニシングトルーパーや

3 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

かね

なんかそんな名前の組織だか団体だかがあった気がするんですが気の所為です

3 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

はい気の所為です





こうして話せるだけでもありがたい思わんとな

5 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

元々は置物同然のプラグラムだったんだっけ?

5 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

だから埃臭いのかよ

5 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

イカ臭いよか遥かにマシ

5 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

>>>57

どう考えてもその比較対象はおかしい

6 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

まあバックアップシステムなんて所詮はおまけのおまけだしな

6 2 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —————

そもそも自己再生と無限転生がデフォで搭載されてたからな

バックアップ以前に「万が一」そのものが本来あり得ん訳で

6 3 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —————

それでも普通は搭載するもんじゃないの？

6 6 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —————

>>>63

迂闊にコピー作ると情報漏洩の元になりかねんのよ

オリジナルのセキュリティとサバイビリティを極限まで高めるのも戦略の  
つだべ

6 7 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —————

自分達の技術に絶対の自信を持ってたであろう連中ならまずそつちが浮かぶよ

な

7 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

本当についてで適当に放りこんだだけなんだろうなきつと  
 中身スツカスカだったし

7 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>70

まあそれだけぞんざいな扱いだったからこそ我々でも掌握できた訳だが

7 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

からな  
 アルハザードの野望に振りまわされた我々が結局連中の気紛れに救われたんだ

人生解らんものだ

7 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

解らんとはいえ前スレのラストも理解の範疇越えてたよな



よもやあれ程の奇跡的な瞬間に立ち会えるとは

77 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

そういや絵巻に関しては何の段取りも打ち合わせも無かったんだよな

それで一糸乱れず完成させたのかよ

78 : — : 00000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

本当にこんな時ばっか無駄な団結力を発揮するんだよな

ユニゾンの時は酷い有様だった癖に

79 : — : 00000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

>>> 78

それが住人クオリティ

80 : — : 00000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

我々も凄いがなのはさんはもつと凄いぞ

81 : — : 00000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —



か  
ね

同時刻に世界各地で日本方面へ向かう流星が多数観測されたつてのはマジなの

8 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

遂には地球からも魔力を集めたというのか

8 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

なにそれこわい

9 1 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

まあ視点を変えれば地球がなのはさんに力を貸していたと言えなくも無いけど

な

流星にそこまできくとファンタジーの領域だが

9 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

それら戦闘力 9 0 8 6 5 1 9 5 0 2 4 3 5 9 4 8 3 4 9 9 2 8 3 6 8 5 7 6 1 3

5 1 7 0 0 でも勝てんわな

如何に数を積もうと無限大の前じゃ

9 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

そーいやあの時のなのはさんの魔力光にうつすら虹色混ざってたのは気のせい

?

9 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>9 4

聖王家ゆかりって事?

流石にそこまでは……

9 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>9 4

いやいやまさか

9 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

まさかの時の

9 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

来ないな

9 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

寝坊でもしたんじゃね？

1 0 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

なにもそこまでリスペクトせんでも

1 0 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

ともあれ経過は順調

ここまで計画通りだな

1 0 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

(A A 略)



1 1 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

ほめてねーよ

1 1 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

少なくとも俺の知ってる常識では人と話す時に足を組んで机に投げ出したりは  
しないんだが

1 1 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

せやな

ミニスカで足組むとかはしたないにも程がある

1 1 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 1 1 3

その通りなんだがそっちじゃないというか

1 1 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |





120

おう未成年に不健全な言い推奨するの止めろや（カメラを回しつつ）

126 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

でも交渉？上手く運べてよかったよなホント

127 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

ほんとにな

嘘に嘘を塗り固めた内容でよくプロを騙せたもんだよ

128 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

まあ嘘なんて画面越しに散々吐いてるし

129 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

128

高学歴高身長高収入の上八ヶ国語を操りプログラミングをマスターし武芸百般

に優れ

外車を乗り回し薬学の知識にも秀でモデル顔負けのプロポジションを誇りすれ  
 違った十人が

全員振り返る顔立ちの上粋なジョークも飛ばせるスレ住人が嘔吐きとでも?

1 3 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>>> 1 2 9

もういい!もう……休めっ!

1 3 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>>> 1 2 9

これはひどい

1 3 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>>> 1 2 9

読んでて悲しくなってくるな

1 3 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

まあでもその嘘で守護騎士達の無罪放免がほぼ確定した訳だしええですよん

1 3 5 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

我々というか主犯の自白だけが決め手つてのは良いのかね法治国家的に

1 3 6 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

とは言っても物証その他は根絶やしだからな

自白くらいしか決め手無いだろ実際

1 3 7 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

根流し? (難聴)

1 3 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

やめなされ…無益な殺生はやめなされ…

1 3 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

和尚様がそう言うのなら…(止めるとは言っていない)

1 4 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

守護騎士達当人は精密検査名目でGOOD☆NIGHTだしはやても病院だか

らな

万が一にもボロは出んよ

1 4 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

正しく我々の独壇場だったな

1 4 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

捏造設定おいしいです(´q´)

1 4 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>143

失敬な事を言うなよ。我々の証言にだって真実が含まれているじゃないか





ハンカチ嘸む程度じゃ済まんذار

157 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

最後まで手を上げなかったのは流石だったけどな

158 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

>>>157

そらまあ仕事へ私情を持ちこむ輩が執務官になれる訳ないذار

例え相手が親の敵でかつ現在進行形でそれを侮辱するような言動を繰り返そう

とな

159 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

くやしいのうwwwwwwくやしいのうwwwwww

160 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

それにしてもこの住人ノリノリである

161 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

スレ住人性悪説

1 6 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 1 6 1

性悪じゃなくて性悪だろ

1 6 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 1 6 2

おう異音同字やめろや

1 6 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

抑えてはいたがきつとりンディさんも相当腸が煮え繰り返ってただろうな

1 6 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 1 6 6

そりゃ目の前で「お前の旦那をムッコロしました」的内容を嬉々として語ればな



1 6 8 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

∨ ∨ 1 6 6

しかも「彼もよくやったよ、私には到底及ばないけどな」のおまけ付きだぜ

1 6 9 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

これはリンデイさんもハバネロ食べるレベル

1 7 0 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

S 4 T 返却も悪意塗れだったしな

「遺骨の代わりにでもしろ」は流石に我ながらどうかと思うぜ

1 7 3 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

しかしそんなのでも管理局的にはベターな結末だからな

余計やるせないんだろ

1 7 4 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

遺族であると同時に管理局のお偉いさんでもあるからな

それはもう板挟みが凄まじいだろうさ

175 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

だが私は謝らない

176 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>175

チヨチヨー! (#0M0)

177 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>175

より正確に言えば「れない」んだがな

178 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

しかし謝ってないのは事実だ

179 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

よしその代わりに慰めてやろう（キャストオフ）

1 8 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

>>> 179

おまわりさんこっちです

1 8 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

>>> 179

お前以前にも似たような事してただろ

1 8 2 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

>>> 179

これがビッチという奴か

1 8 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

×クロノなのか×リンディなのか



その辺はまあ人々の平和と安寧に寄与する組織様々ですよ  
 ここだって豚箱にしては豪華過ぎるぐらいだし

192 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

有りし日の騎士達の寝床より遥かに上等だしな

193 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

まあ天下の管理局だし

我々に関してはある意味VIPでもある訳だしな

194 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

皆の税金で飯が上手い

195 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

この大層な拘束だって実際にはまるで意味無いものな

殆ど自由の身同然だ

196 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

>> 195

無限じゃなくなったとはいえ膨大な魔力と超スペックのサーキットは健在だからな

今の管理局が使える真つ当な手段じゃまず拘束なんて不可能だろ

197 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

実際気休め意外の何物でもないだろ

向こうさんだって意味無いのは解ってるだろうし

198 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

それでも何かしら手を打たないとアカンのが立場だろうさ

気持ち的な問題もあるだろうが

199 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

まあ「諸悪の根源の気紛れ一つ」で平穩保ててるとか局としてはアウトだろうな



206 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

>>205

これまでの被害全てを鑑みれば決して釣り合ってるとは言いが  
前向きに考えればそうなるよな

207 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

それで救える命もある訳だしな

もしかしたらあの程度の労くらいどうって事ないのかもしれない

208 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

立派なもんだ

211 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |

騎士達ってやっぱ勤労奉仕の期間終わってもそのまま就職するのかね？

212 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 | I D |



>>211

そうなるんじゃないの？

今更それ以外の働きの口は中々厳しいだろうし、あれだけの戦力局が放っておかないだろ

213 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

向こう行けば教会関係でベルカ系の同胞とも会えるしな

214 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

今度こそ正しき理念の元に剣を振るようになるんだ  
ある意味願ったり叶ったりなんじゃないの？

217 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

どの道地球への永住もハードル高いからな

最終的にはミッドに骨を埋める事になるんじゃないか？

218 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

まあ社会的には無実であっても風当たりは強いと思うけどな

2 1 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

人の恨みつてのはそう簡単には消えないからな

当事者でなくとも

2 2 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

極々解り易い「悪役」もいる筈なんだけどなあ…

2 2 1 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

>>>220

そうそう都合よくいかないのが人の心よ

2 2 4 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

まあ騎士達にとってはそれも覚悟の内に含まれるんだろうさ

2 2 5 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

今度こそ自らの意志で歩いてゆく訳だからな

その程度の逆風なんて無いも同然なんだろ

2 2 6 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

一方我々には勤労の意志がそもそも無かった

2 2 7 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

ニート万歳!

2 2 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

なんとという社会の屑

2 2 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

お前ら働かないで喰う飯が上手いのかよ

2 3 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

美味也

2 3 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>>>230

即答すんなし

2 3 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

とは言っても我々の永久就職先はこの豚箱じゃないんだがな

2 3 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

せやで

2 3 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

一応表向きの今後については向こうさんに伝えてあるんだよな

2 3 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

当然

2 3 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>>236236

その所為で現状書類仕事に追われてる訳だろうしな

240 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

我々つてば一応超弩級の大物だからな実際

書類なんざ100枚単位になるだろうさ

241 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

まあだからとてそうのんびりしてる時間がある訳でもないがな

242 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

マルチタスク持ちを地球人の常識で測ったらアカンよなそら

書類仕事もまた然り

243 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

ここまで来て慢心で足元掬われるとか洒落にならん

2 4 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

もう「捕まってやる」理由も必要も無くなっちゃったからな  
 そろそろ次の段階へ進むかね

2 4 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

カシコマリ!

2 5 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

という訳で脱走開始

2 5 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

そしてアースラ外壁なう

2 5 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

相変わらずの早技だな

2 5 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

べ、別に過程を描写するのが面倒だった訳じゃないんだからね／／／／

2 5 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

実際描写する程の過程がある訳でもないだろ

2 5 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

1. 拘束を外す

2. 壁をすり抜ける

以上

2 5 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>> 2 5 5

いやまあ確かにその通りではあるんだが…

2 5 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

結局その他でガチガチな隔壁を平然とすり抜けてる時点で大概理不尽である

2 5 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

こんなので責任問題問われるアースラはたまつたもんじゃないな

2 6 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

いやしかし量子力学の世界では壁にぶち当たってもすり抜けられる可能性がある  
 訳で

2 6 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

(物理的に穴を空けては) いかんのか?

2 6 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>262

レッドアラート待ったなしの脳筋発想に大草原

2 6 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

兎角アースラともこれでお別れだな



2 6 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

さらばだ管理局員諸君!

2 6 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

アキラって悪い奴だなー

2 6 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

アキラって悪い奴だなー

2 6 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

アキラって ( r y

2 7 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

そして衛星軌道上なう

2 7 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

地球は青かった(小並感)

276 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
I D |

>>>275

人類史に残る名言を汚す人間の屑

278 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
I D |

しかし改めてみると星ってやっぱでかいんだよな

どう考えても壊せるとは思えないだが

279 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
I D |

そも壊して良いとも思えんよなこの光景見れば

280 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
I D |

そら我々の母なる大地やし

281 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
I D |

このまま大気圏突入と洒落込むかね

2 8 2 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —————

ここからでもピンポイント転移できない事もないが

そっちの方が風情あるよな

2 8 3 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —————

装備の一つもないが問題無いしそもそも要らんですし

2 8 4 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —————

全裸最強は基本

2 8 7 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —————

生身で大気圏突入を成功させたという事例は、古今例を見ない

しかし、それ故に成し遂げる価値があるというもの

2 8 8 : ————— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —————

良い子の諸君!

よく先駆者気どりの馬鹿が

「古今例を見ない事をやってのける」とほざくが

大抵それは「考え付いてもやる必要性が無かった」事だ

先人を軽んじる阿呆に大事は務まらないぞ!

(AA略)

289 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

随分な言われようだなしかし

290 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

まあ今更止めろと言われても困るが

292 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

げ、減速できません!

終わってみれば、相応の長さであった事もあるが、既に短針は頂点を跨いでいた。それでも辺りに活気が溢れているのは、本命まで時間がある為か、評判通りの質に未だ興奮が冷めないが故か。

見終えた面々は口々にその感想を言い合い、内容を聞くまいとし、しかしその熱意に期待を高まらせる上映待ちの列は、昼間におけるそれと変わらぬだけの賑わいを見せていた。少なくとも、周囲一帯に満ちている明るさの所以は、単なる照明の有無だけではないだろう。

そして、肝心の内容と個人的な感想だが……「まずまず」ではあったが、残念ながらそれ以上もそれ以外にも思い浮かびはしなかった。演技だ演出だといった要素に通じている訳でもなく、また役者や歌手に特別な思い入れがある訳でもなく。結果的にそう言う他に無いのだ。

強いて言うのであれば……ヒロインが少しばかり「良い子過ぎた」くらいだろうか。個人的には、もっと意地っ張りな性格であつても良かったとは思うのだが。

とはいえ、映画自体は概ね満足のゆくものであり、前売りの券を購入した事に後悔は感じられなかった。特別同調する気こそ起きないが、周囲の反応にも納得はゆく。

だが、感極まり涙する人さえいる中でただ一人、隣に居る孫だけがふくれっ面をして

いた。さながら不味いものでも食べさせられたかのような表情は、彼女にとっての映画の後味を悠然と物語るものであった。

聞けば、どうやらその内容・脚本・結末に対し大いに不満を抱いたらしい。曰く、「確かに、彼女（作中における悪役は女性であった）がした事は罪深い。

そこには討つだけの理由があり、結果的に多くの命を救った主人公達の選択は正しくもある。

だが、本当にそれだけなのか？ 悪役とは悪の為だけに存在したのか？

そこに、悪なりの正義は無かったのか？」

……要するに、「主人公が悪を倒してめでたしめでたし」という脚本がけつまっ気に食わないとの事らしい。この孫にとっては、勇敢なる主人公達やヒロインよりも、壮絶な最期を遂げた悪役の方がより感情移入できるものであったようなのである。あまり素直とは言えない性格の子ではあるが、性根まで捻じれている訳でも無く、またその想いは紛れもなく本心でもある。

決して、その言い分が判らない訳ではない。個人的には、むしろ同意したい気持ちも少なからずある程ではある。

しかし同時に、物語というものが「そうはいかない」事も理解している。納得できて

しまう。年齢を重ね、世の中の色々なものを見てきた為か、その裏側を知ってきた為か。それらの経験が、年月が、心の中に燻る幼稚な感情を押し黙らせてしまうのだ。

そう「幼稚」。言い方は悪いが、孫の言うそれは、平時の大人びた容姿に反しなんとも子ども染みたものであるのだ。

この世に普遍的善悪など存在しないと言うが、それは誤りである。むしろ現実には、空想以上に善悪の境界が明確になっているとも言えるだろう。何故なら、そうでなければ今の人間は人間でいられないから。明確な「悪」を置き、それに属さない自分達を「正義」として正当化しなければ、自らの弱さに押しつぶされてしまうからだ。

何も、世界の危機レベルの話だけではない。人は日々生きる中で、「正義」として、強者として、「悪」たる弱者を踏みじり礎とする事で、その存在を繋いでいる。食物連鎖然り、社会的地位然り。確かなる高低差きようかいせんの存在するこの世界において、俯瞰により姿形を捉える事はできても、その立ち位置を侵せぬ強者が、真に弱者の全てを理解する事などできる筈が無い——何故なら、強者は弱者ではないからだ。弱者の全てを知った時点で、強者ではいられないからだ。

故に、弱者たる「悪」の立場をさも理解したと言わんばかりの孫のそれは、所詮は強者の思い上がり、世の中を知らない子どももの戯言でしかないのだ。

——けれども、そんな「子どもの戯言」を、自分は決して否定はしない。もう肯定する事はできないけれども、微笑みを以て受けとめる事はできる。ならば、自分はそうするだけの事。

確かに。「大人」としては可笑しいかもしれない。だがそれでも、潰えさせたくは無いだ。大人の世界へ異を唱える子どもの心を。未来を築く、可能性の灯を。

2 9 3 : ——— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

そして普通に海鳴上空に到着と

2 9 4 : ——— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

よくもまあ大気圏外からピンポイントに再突入できたもんだな

2 9 5 : ——— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

摩擦熱なんてなかった

2 9 6 : ——— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D



あれは司令官だ！

297 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

やられたんだ！

298 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

墜ちてくる！

299 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

ホアアアツ!!

300 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

安定の司令官オチ

301 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

高所からの落下はステータス

3 0 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

ムービーなら死んでた

3 0 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

して今何時くらいよ

3 0 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>>>305

ウシミツ・アワーは過ぎてるだろ

良い子も悪い子も夢の中な頃合いだ

3 0 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

それでも街にはぼつぼつと明かりが灯ってるんだよな

3 0 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

年の瀬だからな

忙しい所は忙しいんだろ

3 0 9 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

つい先日クリスマスを迎えたばかりだったのに忙しいやっちゃん

節操無いとも言えるが

3 1 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

そら坊主がクリスマスツリーに賽銭ねだるような国ですから

3 1 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

いいのかよそんなので

3 1 2 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>> 3 1 1

その辺の適当さもまた日本らしさよ

3 1 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D



普段がどうなのかは判らんが流石に人影ゼロだな

3 2 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

繁華街でも無いしな

この季節この時間じゃ人もいないだろ

3 2 3 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

まあ早朝にはランニングとかで人も来るだろ

3 2 4 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

そういや夜明けまでは後どれくらいかね

3 2 5 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

どうだか

3 2 6 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

そればかりは神のみぞ知る

3 2 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

そろそろアースラの方も脱走に気付く頃か

3 3 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

アースラスタッフが元鬼刑事(無能)レベルじゃなけりやな

3 3 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

まあ身代わりも見破られる事前提の投遣り設計だったしな

ぼちぼち搜索とかも始まるだろ

3 3 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

地球組は絶賛夢の中だけだな

3 3 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>> 3 3 2

態々その時間帯を狙った訳で

3 3 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

それを言うなら騎士達も夢の中ですよん

3 3 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

そも我々自身魔力反応をほぼゼロにしてるからな

見つけられるものなら見つけてみろってんだ

3 3 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

私を殺しに ( r y

3 3 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

そーいや結局声ネタを披露する事もなかったな

3 4 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

>>>339

まあ初対面でそんな事言っても訝しがられるだけだろうけどな

3 4 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

いや客としてさりげなくやれば或いは…

3 4 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>3 4 1

どうしたら喫茶店で「殺人的な加速」なんてフレーズが出てくるんだよ  
ファストフードじゃあるめえし

3 4 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

「私はまだ、自分を弱者と認めてはいない!」(空の財布をひっくり返しながら)

3 4 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>3 4 3

これはもう土下座せざるをえない



電車を乗り継ぎ、街の中心部から少し離れ、メインイベントを迎える場所……海沿いの公園へと降り立つ。予め娘達が調べてくれていただけであり、人影こそあるものの、ニュース等で見かける様な混雑ぶりはまるで無い。所謂穴場というものだろうか、少なくともこれで本命を迎える為の環境は整えられた事になる。

……筈なのだが、一寝入りした為か活力に溢れている孫とは異なり、この両足には既に疲労の色が見え始めていた。大事を克服したとはいえ、今となってはそれも昔。最近ではこういった形で自身の衰えが——ある意味では幸福な悲鳴として——顕在化する事も珍しくはなくなってきた。

尤も、星の巡りを待つのに態々動きまわる必要も無く、足を休める意味も兼ね適当なベンチへと腰かける。都心と比べ明かりの少ない此処では、視覚面においても静けさが広がっており、いつしか口数も減り、ただ波の音だけが緩やかなリズムを響かせる様になつていた。

そんな音色に、波の香りに誘われてか、少しづつ少しづつ、昔の記憶が表層へと浮かび上がってくる。幼少の折、丁度今の孫くらいの時分に得た大切な思い出もまた、故郷のこんな公園が舞台であつたと。あの日もまた、こんな寒空であつたと。

今となつては、次元世界産の技術——ファンタジーでも何でも無い、なんとも生活に密着したそれ——により防寒対策こそ万全なもの、それでもこうした機会でなけれ

ば、中々外へ出る気にはなれない。だが、当時の自分は今以上に不自由な軀で、それでも、何の確証も無い「直感」に従って だ。何ともエネルギーに溢れていたものである。  
果たして、今の自分はどうかだろうか。

3 5 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

なん課すレ落ち弓たな

3 5 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

レスb@||号もtでるし

3 5 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>354<<>355

煮ほん後出oけ

3 5 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

お舞ら餅搗けく

3 5 9 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

お負のお馬上を維持くりマワシタ生で床RO床ろガタがきてるNNjana?

3 6 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

取り和えzoo表記だ毛でも々にかしてくれ

読みツラくてカナワン

3 6 2 : 0 0 1 管制 : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

よしきた応急処置

どこまで持つか判らんが

3 6 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

サックス

でもやっぱり名前表記は妙ちくりんだな

3 6 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

>>>362のはバックアップだからじゃないの？

3 6 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

とうとうここまで来たって感じだな

3 6 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

こうなるとアルハザードの最高傑作も形無しだな

3 6 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

まあロストロギアと言えども物質やし

諸行無常の前じゃ永遠不変なんてのは所詮幻想なのよ

3 7 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

ジエネシックも所詮は ( r y

3 7 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

$\begin{array}{l} > \\ > \\ > \end{array}$  370

お前は何度光にされれば気が済むんだよ

375 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

でも折角のズレを浪費するのも忍びないですよん

376 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

どうにかならんのですか

377 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

$\begin{array}{l} > \\ > \\ > \end{array}$  376

どうにもならない

378 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

いやまあ実際治すだけの余力が残されて無いのは事実だよな

治す意志の如何はさておき

379 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

中の人がアレでもハード自体はマジモンのロストロギアだからな

そこいらのPC直すのとは訳が違う

380 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

それこそ国家予算と総力投しても1%修復できるか微妙なくらいだしな

383 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

こういう時になってからアルハ最狂のロストロギアって事を実感するんだよ

ねえ

384 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>>383

あくまでも最強とは言わないつもりか

385 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

実際最強じゃないですしおすし

386 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

いやまあでも案外斜め45°に手刀かませば直るかもよ？

387 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

>>>386

我々はブラウン管テレビか

388 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

悔る事なかれ

かのコマンドー部隊でも用いられている由緒正しき手法だぞ

389 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

なんとという筋肉任せ

390 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

>>388

それ頭に元が付いてないか?

391 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

動けこのポンコツが! 動けてんだよ!

#####

422 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

おい>>391www

423 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

ホントに叩きやがったwww

424 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

叩いた結果がこれだよ!!





そういや実質的にスレもこれが最後なんだよな

4 3 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

まあこのスレ自体「夜天の書」のシステムを一部パチって運用してた訳だからな  
根幹たるシステムを焼き払った以上運命共同体よ

4 3 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

再生も転生もできない訳だからな  
完全に落ちるか完走したらそれまでさ

4 3 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

どちらにせよスレと運命を共にする訳ね

4 3 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

正しくスレ住人の鑑やな

4 4 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

てか本当にこれで良かったんかね  
 いや前スレの時点で結論が出てるのは承知してるし、今更それに文句付ける気も  
 無いよ

ただ何と言うか、いざその時に瀕すると色々思う所があるというか  
 4 4 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 4 4 1

別に可笑しくもなんともないさ

「考える」って行為は知ある生き物にとって呼吸にも同じ事

それを辞めちまったら人間は畜生同然よ

4 4 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

つまりカーズさんは究極なる畜生だと

4 4 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>> 4 4 3

アレは元々畜生やろ

4  
4  
5  
1  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

仲間二人が死んだのが駄目だったんだよ

あれで籠が外れちまったんだ

4  
4  
6  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

時々で良いのでサンタナの事も思いだしてやってください

4  
4  
7  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

>>>446

青つちろいガキがなんだって？

4  
5  
0  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

とにかくこの選択に間違いなんて無いだろ

そもそも選択肢が無いってのは別として

4  
5  
1  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

プリン丸こと夜天の書の闇がある限り何度でも書は蘇るが  
 他ならぬその「闇」も住人から生まれたモノにしてその一部なんだよな  
 システム的にも精神的にも

452 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

非常に残念だが我々の存命と第二第三のプリン丸誕生は同義なのだよ

453 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

>>452

しかも再誕の度に闇は深く暗くなるんだよな

アレもまた我々であり人間である以上

454 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

それが真理だ

我々は夜天の書の光であり闇でもあるのさ

457 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID —

図らずも原作における氏と似たような結論になったんだよな  
 仔細は色々違うが

4 5 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

そもそも人間である以上「闇」とは切っても切れん関係なのよ

4 5 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

真に超越した連中はその「闇」を乗り越え受け止められる輩だしな  
 一方的に切り捨てるのはおかしいというかずれるというか

4 6 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

欲望もまた生物にとって欠かせない要因の一つだしな

4 6 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

煩惱の無い人間なんて館の無いアンパン同然よ

4 6 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

クツソ汚い欲望も住人が人間である証なんだよなあ：

4 6 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

今回は色々あってそれが悪い方向に形作られちまっただけさ

4 6 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

何をまあ急に悟ったような事言い始めたのかねこの住人は

4 6 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

>>>466

マジで遂に解脱しちやったからね

4 6 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

サンキューブツダ

4 6 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

逃れられた(業)





むしろパンピー以上に恨み強くなりそう

478 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

はやてでもフォローしきれんぐらいだな

してくれるかはさておき

479 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

流星に日常生活がギスギスするような事はないと思うが

黒歴史扱いは確実だろうな

482 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

直接対応に当たった局員への印象も最悪だしな

何だよ「お前は今まで喰ったパンの枚数を憶えているのか？」って

483 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D

>>482

マジであれを言う日が来るとは思わなんだ

484 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D

クロノ君がパン派で助かったよな

ライス派だったら大いに滑ってたぞ

486 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D

なんかまたベルカ産の格言 ( ) が一つ増えた気がしないでもない

487 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D

汚染されすぎやろ次元世界

490 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D

まあ悪い印象つてのは須らく誇張されて伝わるものだしな

数年もすれば本一冊分くらい悪い噂が生まれるだろうさ

491 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D

>>490

夜天の書だけにな

492 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 I D

解り易い悲劇のヒロイン達も一緒だしな

それはもう言葉にもできないくらいに凄まじい評価となるだろうに

493 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 I D

どんな内容であれ我々自身が目にする機会は無いんだけどな

497 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 I D

まあでも悟ったような事を言いつつも未練はあるのよね本当の所

498 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 I D

>>497

その未練の大きさをこがはやてのってこれ前にも言ったか

499 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 I D

もしかしたらそうなのかもしれないのだが何分記憶が曖昧になってきてな…

500 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

まあこう駄弁っている間にも崩壊は進んでるからな

もう過去ログとかも読めんだろ

501 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

スレ落ちだつてその影響だろうし

504 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

しかし未練たらたんな割には成功したんだよな今回の作戦

何故?

505 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

やつぱそれってシステムだプログラムだを凌駕するだけの強い感情が生まれた

からじゃね?

5 0 6 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

∨∨505

単純に本能越えるってのとは違うだろ

やぶれかぶれの激情なら過去に何度でもあつたど

5 0 7 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

捨てるだけじゃなくて、逆に「その為ならどんな壁でも乗り越えられる」と思えるだけの

強い執着やら未練やらが生まれたからじゃないんかね

5 1 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

∨∨507

確かにその通りなら今回だけ成功した理由にも説明つくな

5 1 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

「現実への思い入れ」なんて今まで一度たりとも抱かなかった感情だな確かに

5 1 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

逆に ( r y

5 1 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

後に託せる、繋げられる勇気の芽生えという奴だろう

だからこそその一步を踏み出したのさ

5 1 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

そうなることやっぱ凄いな事になるんだよな

この性根腐った住人達にそれだけ思わせるつてのが

5 1 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

でもその“託す相手”自体が特別な感じはしないよな

いやまあ確かに魔法少女ではあるが

5 1 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

身の上その他はとにかくはやてだって極々普通の現代日本人だしな

5 2 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>> 5 1 8

だからこそなんじゃないの？

「特別」じゃなくて「普通」だからこそその発見とか

5 2 2 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

これまでの流浪生活で非日常なんざ飽きる程見てきたしな

5 2 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

荒んだ日々を乗り越え、その上で「普通」な生活に触れたからこそ

その大切さを再認識できたのさ

5 2 4 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>> 5 2 3

それ前にも言っただけだったっけ？

5 2 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
| ID |

何度言っても足りないくらい大切なことなのさ

記憶も保てん今となつては尚更な

5 2 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
| ID |

でもそんな感じの理屈だと別にはやて以外でも成り立つんじゃないのかね

要は「普通」に触れさえすれば良い訳だし

5 2 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
| ID |

>>>528

多分その通りだとは思うよ

でも現実に我々にとってその契機をくれたのは八神はやて嬢だ

5 3 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
| ID |

左様で

ifも結構だが彼女への感謝を否定する理由にはならんさね





気付けないまま終わる事が多々ある世の中でそれを見つけれられたってのは確かに大きいよな

5 3 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

そうともよ

償いはこれから一步步進めてゆけば良いだけの事

5 4 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

とはいえ去りゆく我々にできる事など何もないんだがな

もう直1すら無くなり0になる訳やし

5 4 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>5 4 1

その1と0の支配を打ち砕く事こそ勝利条件だったからな

仕方あるまい

5 4 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

だが我々自身にはできずとも、この世界にはまだ明日がある  
確かに繋がれた未来があるじゃないか

5 4 6 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

例え我々自身が世界に対し何かできずとも

我々を土として育った花々がきつと世界に咲き誇つてくれるさ

5 4 7 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

未来の種は既に捲かれたんだ

去りゆく我々にも、その土となり礎となる事はできる

5 4 8 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —

>> 5 4 5 — >> 5 4 7

なんというイボンコ

5 5 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D —



5 5 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

むしろ丸投げに近い希ガス

5 5 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

逆に考えるんだ

「要するにどつちも同じさ」とね

by ジョージ・ジョースター二世

5 5 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

>> 5 5 8

ジョージ W W W W

5 6 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

意外ッ！ それは「普通の男」ッ!!

5 6 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |



守護騎士達ももう独立プログラムに切り替え済みだしな  
何も問題あるまいて

570 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

精々がバックアップの消失で再生不可能になっただくらいだしな

それすら今の連中にとってはデメリットにならないだろうし

571 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

まあはやてと共に限られた生を全うするだけだしな

むしろ喜びですらあるだろ

572 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

はやての足もライン切断でこれ以上の悪化する心配も無くなるしな

後は本人と石田先生の頑張り次第だ

573 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

餅は餅屋ね

5  
7  
5  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

その辺も手抜かりないのな

5  
7  
6  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

そらまあ止まった時間の中で住人なりに精一杯考えたプランやし

5  
7  
7  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

サプライズの方も既に根回ししてあるしな

5  
7  
8  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

3人+1頭へ仕込みを分散したのは若干不安が残るけどな

まあ流石にもう死に急ぐ事はないだろうが

5  
7  
9  
: | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

>>>578

はやてとその存在そのものがストッパーになるから大丈夫だろ







騎士達にも半独立したリンカーコアを作ったしな

そもそも既に「魔法少女」なはやてに魔力エネルギーなんて必要ないやろ

593 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

昔は色々あつたんだけどね

その辺が原作で語られてない以上、結局のところ乖離点としてはその辺で落ち着くのか

595 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

いやまて分からんぞ

歴史の流れで見れば今この瞬間も通過点の一つに過ぎんからな

さっきにも繋がるが、この先未来で大きな変化が生まれるかもしれない

596 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —

〽〽595

例えば守護騎士達を筆頭としたベルカ勢がネタに塗れるとか？

597 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID —



>>601

それなんてヴァルハラ

605 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

或いは六課自然消滅でミッドに危機が訪れるとか

606 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

立ち上げ人の一人がいなくなるからな

少なくとも我々の知る「機動六課」は生まれようが無いわな

607 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

でもなのはさん将来的には管理局就職なんだろ？

608 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

>>607

その一言で全ての心配が吹っ飛んだわ



6 1 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D  
 本人的にも好きだろうし、これから勉強すればもっと伸びるだろ

桃子さんに弟子入りするとか？

6 1 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>>>615

翠屋ミッド支店ですわかります

6 1 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

まあなのはさんが居ればミッドの平和は大丈夫だろうしな

6 2 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

そもそも何で三期の事件って起きたんだっけ？

一期二期はともかく

6 2 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D





6 2 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>> 6 2 6

なのはさんは原作の時点で既にリア充だろいい加減にしろ!

6 2 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

せやな

美人の相方+可愛い娘と同じ屋根の下やし(白眼)

6 2 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

おまけにそろいもそろって廃スペック過ぎるからな

そりや生半可じゃなくても男は寄りつけんて

6 3 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

当人達はその気は無いんだよね

……無いんだよね?

6 3 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

いやまあ愛の形は人それぞれですしおすし

6 3 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

アカン不安になってきた

6 3 3 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

ユーノ君頑張れ超頑張れ

6 3 4 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

さつきも言ってたがノンケならまじで彼氏の一人ぐらいをです

6 3 7 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

ついでと言っちゃ何だが陛下とクラウドス君がもう一度巡り合ったりしないのか

ね

6 3 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

リアル転生って事かい

6 3 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

まあ何でも有りな古代ベルカだからな

それぐらいあつても罰当たらんだろ

6 4 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

できれば幸せになって欲しいもんだがなあ……

#####

6 4 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

また落ちてたな

さつきよりはマシだが

6 4 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D |

アレは>>>391の所為だろ100%

648 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>>391が生きていればまたスレが飛ばされる筈だ

649 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

もうこれ以上は止めてくれよ

652 : 001管制 : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

と、談笑中の所申し訳ないが接近する反応一つ

653 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>>652

野良猫とか勘違いとかの可能性は?

654 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

或いはセンサー系の誤認だな

もうポンコツも良い所だろ

6 5 5 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

やっぱり「たかが」とか言っちゃいかんのよ

足も然り

6 5 7 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

しかし予想される進路は真っ直ぐ此方へ向かっているぞ

てかそもそもこの反応を我々が見誤る筈がない

6 5 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

はやてか

6 5 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

反応一つって事は一人で病院抜け出したのかよ

6 6 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D



キロ単位の砂糖入れたくらいマイルドにしてな

6 6 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

流石にストレートじゃ9歳児にはきつかるうて

砂糖マシマシな説明でも本旨は十分伝わっただろうし

6 7 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

となるとやはり直接殴りにでもきたのかね

6 7 1 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

with乗り物となると由緒正しきベルカ流カチコミか

6 7 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

霸王翔吼拳を ( r y

6 7 3 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

しかしこの距離からでも判るくらいに敵意は感じられんぞ

6  
7  
4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

むしろ家出した子どもを探す母親のオーラだなありや

6  
7  
7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

リンデイさんの説明だけじゃ納得できない所もあつたんじゃね？

6  
7  
8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

自分で見聞きしたものじゃなきや信用できんと申すか

6  
7  
9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

その辺もまた子どもらしさの一環さね

6  
8  
2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0  
I D

しかしどうやって我々の居場所を特定したのよ

リンクは既に切れてるし、魔力だつて完全に隠匿してるんだぜ？



な

6 8 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

あの二人は兎も角はやてはこの場所とそれに纏わるものなんて知らない筈だし

6 8 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>6 8 2

それを見つげ出すのもまた魔法少女の成せる業よ

6 8 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

或いは本能みたいなものかね

王としての

6 8 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

とか言っている間に有視界ハケーン

6 8 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

全速前進DA!

688 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

いくら電動とはいえよくやる

近い距離でもあるまいて

689 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

文字通り全速力で飛ばしてきたんだろうな  
大した運転技術と根性だ

691 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

ああーつとここでクラッシュだあ!!

692 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

転倒すること元キングが如し

694 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

ID

ID

ID

ID

ID



702 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

そんなの当たり前さ

703 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

這えば立て、立てば歩きのなんとやらさ

704 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

随分冷淡な事

705 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

>>704

必ず立ち上がると信じているが故の行いさ

残念ながら世の中にはその辺を理解してない輩が多すぎるがな

706 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 I D |

だから私は謝らない



そうでもしなけりや「夜天の書」は話しあいのテーブルになぞ着かんのよ

715 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

流石にそこまで行くと買いかぶり過ぎというか期待の押し付けじやないのかね

716 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

>>>715

まさか

我々はただ事実に基づいた意見を述べているまでの事

717 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

我々が信じずして誰が王を信じるというのか

718 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

そうともよ

それにほら、こうしている間にももう目の前にまで

719 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

そんなに話しこんでた訳でも無いのにな

7 2 0 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

>>719

子どもってのは大人の想像以上に遅しいもんなんだよ

同時に脆くもあるがな

7 2 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

そしてだからこそ真剣に全力でぶつかってやらねばなるまい

7 2 2 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

下手な誤魔化しや気遣いは無用

我々もまた全力で応えるのが礼儀であり敬意

7 2 3 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

我々自身の為に

そして何よりも大切な人の為にな



# 希望の未来よレディ・ゴー!! 【雨あられ】

7 2 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

完全論破

7 2 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

圧倒的勝利

7 2 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

敗北を知りたい

7 2 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

はやてのぐぬぬコラ画像マダー?

7 2 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

例え相手が幼女であっても情け無用の男!

7 2 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

しかしこればかりは譲れんよ

我々が奪ってきた命に誓ってもな

7 3 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

然り

例えはやてが相手でも、その為ならどんな手も使う、何だつてする

7 3 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>>>730

ん?

7 3 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

まあだからって泣かせる必要までは無いと思うけどな

7 3 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

やーい泣かせた泣かせた

7 3 5 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

別に泣かせる意図は無いだろ

むしろ「泣いてくれている」って方が正しいじゃないか？

7 3 6 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

>> 7 3 5

その辺もまたはやての持つ「魔法」の一端だな

どうか失くさないでほしいもんだ

7 3 8 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

まあその強さも翻せば危うさに同義なんだがな

7 3 9 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0

I D

>> 7 3 8

しかし彼女達には支えてくれる人がいるではないか

7 4 0 : ———— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D ————

昨日の敵は明日の友ってか

7 4 1 : ———— : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( )      0 0 : 0 0 : 0 0      I D ————

帰れる場所がある……それ程嬉しい事はそうあるまい

天翔ける流星。魔力を帯びた星々の煌めきが、空を埋め尽くす。幻想的なるその光景に、孫も自分も言葉を忘れて見入る。

けれど、こと自分の場合に関しては、単に目の前のそれに心奪われているだけではなかった。もしかしたら、焰と共に果てる星々の姿を、その輝きを、無意識の内に瞳の奥へ焼きついた「翼」の姿へ重ねていたのかもしれない。

現実を見ているのか、過去ゆめを懐古みしているのかも定かでなく、只々空を見上げ続けていた——

7 5 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

ではそろそろ行こうかね

7 5 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

だな。夜明けも近いし

7 5 2 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

何より我々自身そろそろ限界だ

7 5 3 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

屍を晒す訳にはいかんものな

動けるうちに去ろうぞ

7 5 4 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

うむ

7 5 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

はやての方は大丈夫かい？

7 5 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

お一人様専用結界張ってあるからな

ギリギリまで大丈夫な筈

7 5 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

その内はやてを探しに誰かしら来るだろうしな

それまで保てれば勝利条件はクリアよ

7 6 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

そんな方針で大丈夫か？

7 6 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 |  
 I D |

>>>760

一番良い結界やつを頼む

7 6 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

あらゆる害意の遮断と内部の治癒促進に加え暖房機能まで完備してますぜ

7 6 3 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

破壊と殺戮の為に生まれた存在が最後に残すのが結界というものね

7 6 4 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

皮肉が効いていて良いじゃないか

7 6 5 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

一体誰に向けてなのやら

7 6 6 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

誰に充てるでもなく さ

7 6 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

まあ結界だけじゃなく「約束」もあるしな  
 きっと大丈夫だろ

770 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

そうとも

それがある限り、はやてとの縁は決して消えはしない  
 はやてが信じる限り。我々が信じ続ける限り 　　な

771 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

やれる事は全部やった

後はもう朝日と共に去りゆく感じかね

772 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |

それこそが「夜天」に相応しい幕引きよ

773 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D |



御誂え向きに雲一つないしな

このまま満天の星空へ還ろうぞ

774 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

俺にはもう星も見えんけどな

775 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

>>774

気にするな

正直俺もさつきから視界はゼロだ

776 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

俺は聴覚の方が逝ってるな

スレ進行の把握は第六感で賄えてるみたいだが

777 : — : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00  
 I D —

流石にここまで来て嘔吐く輩もいないだろうしな

遂に実害は広がり始めたって事か

7  
7  
8  
: : :  
0  
0  
0  
0  
/ / /  
0  
0  
0  
0  
0  
( )  
0  
0  
: : :  
0  
0  
: : :  
0  
0  
I  
D

飛行機能が息してるのが奇跡なぐらいさ

7  
8  
0  
: : :  
0  
0  
0  
0  
/ / /  
0  
0  
0  
0  
0  
( )  
0  
0  
: : :  
0  
0  
: : :  
0  
0  
I  
D

まあでもこのまましみつたれ続けるのもらしくないし

最後に各々溜まつてるものを盛大に吐き出そうじゃないか

7  
8  
1  
: : :  
0  
0  
0  
0  
/ / /  
0  
0  
0  
0  
0  
( )  
0  
0  
: : :  
0  
0  
: : :  
0  
0  
I  
D

スーパー懺悔タイムだ

7  
8  
2  
: : :  
0  
0  
0  
0  
/ / /  
0  
0  
0  
0  
0  
( )  
0  
0  
: : :  
0  
0  
: : :  
0  
0  
I  
D

黒歴史でも掘り起こそうってのかい

7  
8  
3  
: : :  
0  
0  
0  
0  
/ / /  
0  
0  
0  
0  
0  
( )  
0  
0  
: : :  
0  
0  
: : :  
0  
0  
I  
D

他人の傷口を抉る……圧倒的愉悦



>>>790 | Φ | ( | , | Ⅱ | ( | Φ | |

794 : | : 0000 / 00 / 00 ( 00 : 00 : 00 : 00 ID

有罪

>>>790

793 : | : 0000 / 00 / 00 ( 00 : 00 : 00 : 00 ID

逮捕

>>>790

792 : | : 0000 / 00 / 00 ( 00 : 00 : 00 : 00 ID

通報

>>>790

791 : | : 0000 / 00 / 00 ( 00 : 00 : 00 : 00 ID

実はだな……某はその、以前ヴィータ嬢の着替えシーンをこっさり……

7 9 5 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>> 7 9 1 | >> 7 9 3

なんとという三連星

7 9 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

即断即決やな

7 9 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

通報後即逮捕とか真っ赤やな

7 9 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

>> 7 9 7

おう特定の主義主張への中傷やめろ

7 9 9 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D |

|| || このスレは同志達に監視されています || ||

8 0 0 : — | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D — |

∨∨797

( . . ε . . ) ( . . ε . . ) 【シベリア行き】 ( . . ε . . ) ( . . ε . . )

#####

8 0 5 : — | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D — |

なんかスレ落ちする度住人の霊圧が消えてる気がするんだがマジで

8 0 6 : — | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D — |

これは本当に消えてるんじゃないのか状況的にも

8 0 7 : — | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D — |

まあスレという形式上中々表面化しづらいから判りにくいよな

8 0 8 : — | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D — |

そら死人に口あつたら阿鼻叫喚よ

8 0 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

落ちる事自体は今までも何度かあったが、「次が無い」のは初めてだよな  
まあそれが本来生物としてのあるべき姿なんだが

8 1 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

終わりがあるからこそ限りある生は輝くものさ

絶対不変の生存が始めから約束されたものなんざ生物じゃなくて生物だなまもの

8 1 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

これでも良く保った方だろ

まあ何かあれば今 nou

8 1 3 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D

>> 8 1 2





8 1 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D

>> 8 1 5

今更そんな情報が何だというんだ!

#####

8 3 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D

また落ちてたな

8 3 1 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D

心なしか頻度が上がっている気がしないでもない

8 3 2 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0  
 I D

いよいよお別れが近いって事だろ

正直もう右も左もわからん



いや最後に挨拶くらいしておこうかと思ってね

8 4 1 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

良い心がけだな

8 4 2 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

やるべき事やりたい事は全部やっつけ

直後悔すらできなくなるからな

8 4 4 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

して母君の方はいるのかね

8 4 5 : J ( , 1 , ) し : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

ここにいますよ

8 4 6 : — : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 I D —

良かったまだ居たのか

8 4 7 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 | I D |

では我々は暫し席を外そうかね

8 4 8 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 | I D |

お k

8 5 0 : J ( , | , ) し : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 | I D |

なんだい急に改まつたりしてらしくもない

今更私に言う事なんて無いだろうに

8 5 1 : 0 0 1 管制 : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 | I D |

あるよ。言いたい事なんてそれこそ数えきれないよ

父さんの事とか、母さんの足の事とか

8 5 2 : J ( , | , ) し : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 | I D |

子どもが気にする事じゃありません

私もあの人も自分の心に従って動いた。唯それだけの事さね

853:0001管制:00000/00/00( ) 00:00:00 ID |

でも……

854:J( , 1、 ) し:00000/00/00( ) 00:00:00 ID |

それにこれは勲章だよ、お前を守り抜いたね

855:0001管制:00000/00/00( ) 00:00:00 ID |

856:0001管制:00000/00/00( ) 00:00:00 ID |

うん、解った

それでね、今まで言えなかったけど……その……

私を生んでくれて、育ててくれて、あ r

857:J( , 1、 ) し:00000/00/00( ) 00:00:00 ID |

858 : J ( , ー、 ) し : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID  
 |

どうもすみませんね皆さん

親不孝者がスレ汚ししてしまつて

859 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID  
 |

とんでもねえ

ちよつとばかり先に行つてるだけさ

860 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID  
 |

また直に会えるさ

今度は3人揃つてな

#####

871 : : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID  
 |

しかしいざ終わるとなると名残惜しくもあるな少しだけ

872 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

本当に少しだけな

874 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

振り返ってみれば中々にエキサイティン！な生涯だったな

流石にもうコンティニューは御免だが

875 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

1000なら二週目開始

876 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

>>875

やめんか馬鹿

877 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00

I D

878 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

これが次なる物語の始まりになるとは、この時の>>875は知る由も (ry

879 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

というか既に二週目な気がしないでもないでもないんだが気の所為?

880 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |

気の所為

こんな阿呆達が二回も三回もリメイクされてたまるか

#####

905 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 : 00 ID |



そういや管制氏もういないのにどうやってスレは保持されてるのかね

906 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

>>>905

「管制人格」 っつのはあくまでも我々が勝手に決めた役割だからな

システムの維持は良心ちゃんが本体だろうし、その良心ちゃんの正体は我々の集

合体

つまりここに居る全員がスレを支えている訳よ

907 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

それにもう此処に居る全員が「祝福の風」な訳だからな

908 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

そういやそうだったな

909 : | : 0000 / 00 / 00 ( ) 00 : 00 : 00 ID |

三つの心が一つになると1000万パワーと聞くが我々はどのようなのだろうかね

9 1 0 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>909

無敵の力は自分の為に

正義は二の次三の次 さい

9 1 1 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

>>>910

まあそんなもんだろうな住人なんて

#####

9 2 6 : | : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( ) 0 0 : 0 0 : 0 0 I D |

	9 3 1 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( 0 0 : 0 0 : 0 0 I D 		9 3 0 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( 0 0 : 0 0 : 0 0 I D 	n		9 2 9 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( 0 0 : 0 0 : 0 0 I D 	ノ		9 2 8 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( 0 0 : 0 0 : 0 0 I D 	ノ		9 2 7 : : 0 0 0 0 / 0 0 / 0 0 ( 0 0 : 0 0 : 0 0 I D 	まだ息している奴拳手
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	------------

#  
#  
#  
#  
#  
#

	9		9		9		9
	4		4		4		4
	5		4		3		2
	∴		∴		∴		∴
	∴		∴		∴		∴
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	/		/		/		/
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	/		/		/		/
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	(		(		(		(
	)		)		)		)
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	∴		∴		∴		∴
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	∴		∴		∴		∴
	0		0		0		0
	0		0		0		0
	I		I		I		I
	D		D		D		D

#  
#  
#  
#  
#  
#

950:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

おろ?

951:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

何ぞ?

952:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

何か明るくなったと言うか、スレが復旧したような感じだな

名前欄とかも戻ってるし

953:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

誰が直したってのさ

何故にどうやって

954:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m|n

そんなの知ら管

955:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m|n

おいお前ら……外見てみる

今度はマジだ

956:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m|n

今更そんなレスに釣られくm

——ふと、自身を呼ぶ孫の声で目を覚ました。見上げれば祭の方はすっかり止んでおり、僅かにあった周囲の人影も殆ど見られない。

どうやら、今度は自分の方が居眠りをしていたらしい。尤も、口元を伝う一筋の跡からして、孫の方も「先に起きた」だけであるのだが、それは言わない方が良いのだろう。

何より、孫自身がそれに気づかない程に「何か」をしきりに指さしていたのだ。未だ少しぼんやりとする頭で、しかし疑う事も無く、促されるままにそちらを見て——

9 5 7 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ 1 1 | m | n

おお……これは……

9 5 8 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ 1 1 | m | n

なんという……

9 5 9 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ 1 1 | m | n

ふつくしい

ただその一言に尽きるな

9 6 0 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ 1 1 | m | n

よもや最期に正真正銘本物のライジングサンを拝めるとはな

9 6 2 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ 1 1 | m | n

そして見よ、朝日に照らされる街並みのなんと美しき事を

9 6 3 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ l l l m n

これがあの子達の勝ち得た今日みらいという訳か

9 6 4 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ l l l m n

よきかなよきかな

9 6 5 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ l l l m n

そうだ、もう心配もいらぬし悲しむ必要なんてなかったんや

9 6 6 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ l l l m n

我々は帰ってこれたんだよな

この国へ。我々の日常せかいへ

9 6 7 : 以下名無し改め祝福の風でござる : 2 0 0 4 / 1 2 / 2 6 (晴) 0 0 : 0 0 :

0 1 I D : c @ l l l m n

随分と寄り道しちまったがな



しかもとんでもない土産付きで

968:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l|m|n

>>967

それも全てこの世界の一部よ

これまではただ気付けなかっただけさ

969:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l|m|n

んだんだ

我々の視野が少しばかり広がっただけで、世界は何も変わっちゃいない

970:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l|m|n

今までも、そしてこれからもな

ずっとずっと

美しい

神々しさすら感じさせるその光景——仄暗い水平線に映る、黄金の夜明け——は、ただその一言に尽きるものであった。成程、孫が言葉すら浮かばなかったのも自然。生半可な修辭では追いつけないものが、そこにはあつたのだ——在りし日の自分が見たものが。『彼女』と別れた夜明けが。

星も、世界も違うけれど、世の理に差異は無い。夜が終われば朝が訪れ、また日が昇る。永遠なる闇など存在する筈もなく、輝ける太陽は必ず蘇る——そして太陽没し月満ちる刻、黒き夜天は再び舞い降りる。その繰り返し。

ああそうだ、忘れはしない。忘れるものか。朝日と共に星空へ還つた彼女の事を。この世の全てに否定され、そうある事を願つた悲しき魔導書の事を。

けど、決して恨みなどはしない。だってそれは、他でも無い彼女自身の願いだから。大切なヒトの幸せを欲した、何よりも貴き祈りであるから。

だから私は、忘れない事を選ぶ。時の流れに逆らい、その刹那を永遠のものとする。何よりもおぞましき、誰よりも蔑まれるその称号を戴く。

例え世界の全てが彼女を、その存在を否定し敵になつても構わない。私が、私だけが彼女の——彼女達の王で在り続ける。その魂が百億年の螺旋に囚われていても関係無い。自らが生み与えた魔法の言葉、彼女だけの真名なまを以て呼び続ける。私だけのもう一人の家族、永遠なる零番目ナイト・オブ・ゼロの騎士を。あの微笑みと共に。

感慨に浸っていた自分の心を、引く孫の掌が呼び戻す。見れば、此方へと向かう二つの影……随分霞むようになった視界だが、それを見間違える筈も無し。

これからも、あと少しであつても、自分は精一杯生き続ける。そして、彼女が残した呪いやくそくを果たしてゆく。この子達と共に、未来へ種をまき続けるのだ——嘗て、彼女がそうしたように。

懐かしむのはここまで。これでお終い。

——さあ帰ろう、私達の生きる世界へ。彼女が守り抜いた未来いまへ。

977:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@111m—n

なんやかんやで1000まで到達しそうだよな

978:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@111m—n

いつ崩壊しても可笑しく無いスレでよく頑張った

ほめてつかわす

979:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

思えば長かったようでもあつという間だったな

980:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

まあ目的も何もなくダラダラ過ごしてたのが大半ですしおすし

981:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

使命だ何だがあつた訳でもないしな

最後の奮起だつて自己満足と言われればそれまでだし

982:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

自己満足大いに結構

例えそうでも、今此処には666サテイスファクションの満サテイスファクション足があるじゃないか

983:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

&gt;&gt;982

態々ルビ振んな

984:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

しかし間違っちゃいない

985:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

せやで

それに満足してるのが我々だけでも何ら問題ないだろ

986:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

「不満足さ」は人を動かす原動力の一つ

まだこの先の未来がある彼女達にこの程度で満足してもらってちゃ困るな

987:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

まだ……満足できねえぜ

988:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

満足がゲシタルト崩壊しかけたが珍しく良い事言つたな

989:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

流星は伝説の(r y

990:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

まあ兎に角乙

今までありがとな

991:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

こつちこそ

992:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

こんな我々を受け入れ生かしてくれた世界に感謝を

大きな試練を乗り越えた少女達に幸多かれ

993:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26(晴)00:00:

01 ID:c@l1|m-n

そして数多の苦楽を共にした同胞達に喝采を

994:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26 (晴) 00:00:

01 ID:c@l1|m-n

過程も成果も関係無い

一つの生を全うした。それだけでも生命としての誉れだ

995:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26 (晴) 00:00:

01 ID:c@l1|m-n

遥かなる旅路 さらば友よ

996:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26 (晴) 00:00:

01 ID:c@l1|m-n

乙

とりあえず今はゆつくり休もう

何時か再び出会える日を夢見てな

997:以下名無し改め祝福の風でござる:2004/12/26 (晴) 00:00:

01 ID:c@l1|m-n

乙





#####このスレッドはもう書き込めません#####

/ — — \ \  
 ノ ヲ ヲ 人妻  
 — — ヲ — — /  
 / ) オル — — /  
 、 ケ 犬 ( ? 、 ロリ  
 | / ン / / ?  
 ( < リ / ( ミ —  
 \ ツ ( ミ  
 ) — タ — ( ミ / ( )  
 、 — — i ( —  
 — 、 — ニート /

エピローグ：Only my name

Der Wind des Segens

「はやて（ちゃん）、お誕生日おめでとう！」

魔導文明の中心的存在であり、次元世界を支える「柱」が一つ——ミッドチルダ。第一管理世界」の名と立場に恥じぬ発展ぶりを見せるこの世界だが、その全てが天を衝く高層ビル群という訳では決してなく、レールウェイへ乗り都心部から少し離れれば、緑と家屋が共存するのどかな風景が広がっている。

そうした「自然との調和」を目指し、また実現できるのも、見方を変えれば第一管理世界ならではの事なのかもしれない。

そしてその一角に建つ、オープンを間近に控えた「とある管理外世界」発祥という喫茶店が一室では今、慎ましやかながらも非常に「豪華」な宴が催されていた。

「いやしかし、まさか君まで参加しているとは思わなかったよ。

書庫の整理の方は落ち着いたのかい？ 最年少司書長殿」

「おかげ様でね。

他の司書達も育つてきているし、何より無茶な注文を言うどこぞの誰かさんも丁度休みにきた。

其方こそ、連日最新鋭艦<sup>艦</sup>を駆り大変だるうに、最年少提督殿」

「こやつめ、ハハハ！」

「ハハハ！」

「……相変わらず、仲が良いんだか悪いんだか」

表面上は爽やかな笑顔で、しかし水面下では言葉の槍でど突き合う黒髪とブロンドの青年二人に、そんな様子を両手に持った(肉)料理へ齧り付きつつ見守る犬耳の少女。彼ら自身の言葉からも判る通り、10年来の付き合いとなる親友同士の二人は同時に、時空管理局が誇る若き精鋭達の一端でもあった。片や最前線の雄であり、片や後方支援の要。両名20代ながらも、既に管理局にとって不可欠な人材にまで上り詰めているのである。

彼らだけではない。輪の中心へより近い場所で談笑する二人の女性は、教導部隊で名を馳せるエースに若手執務官の新鋭<sup>ホープ</sup>。そこより若干離れては、武装隊から医務局まで幅広く活躍する古代ベルカの生きた伝説が四騎。そして出席こそしてはいないものの、贈り物の主には名のある提督・重鎮が連なっている。

「人材不足」という慢性疾患を抱える管理局のお膝元にあつて、十分どころか過剰とす

ら言い切れる戦力。その一人一人がストライカー級の能力を誇る面々が一堂に集い、加えてそれぞれが見目も人当たりも良く、人望は言わずもがな。これを豪華と言わずして、一体何と言えよう。管理局の構成する各種組織・部隊には「戦力制限」という制度が設けられているのだが、このメンバーでは十重二十重リミットの制限すら力不足。別の意味で部隊が回らなくなる事請け合いだろう。

しかし、今日この日この席にあつては、そんな稀有（これだけ数が揃うと本当にそうなのか疑いたくもなるが）な才覚も関係無く、各々が単なる一人間でしかない。そも、「その感情」を抱く事に、特別な資質も能力も必要無いのだ。

其処にあるのはただ、どこまでも純粹なる想い——友として、家族としての「愛」のみである。

「ありがたいな、皆。

忙しいだろうに、態々集まってくれて」

輪の中心にして、この席の主役たる女性——八神はやてには、魔力資質がない。

否、より正確には「あつた」と言うべきだろう。嘗て、彼女は確かに有していたのだ。列席する面々に勝るとも劣らぬ、磨きあげれば次元世界有数のレベルに至れるだけの原石ししつを。

だが、それも所詮は「if」もしもの話。とある事件でその資質を完全に喪失して以降、紆

余曲折を経て管理局へ属する事となつた家族・友人とは異なり、彼女はあくまでも非魔導師の、一般人としての道を歩み続けてきた。事情あつて故郷を離れ次元世界<sup>ミッドテラダ</sup>へ移り住みこそすれ、同郷の友人や先人の例に倣う事はなく、一般職員としての入局すらしてはいないのだ。

その経歴に關しても、つい先日、義務教育課程中より弟子入り同然で通い詰めていた喫茶店からの暖簾分けを、家族友人の助力あつて果たしたばかり。今日の祝宴は、そのお披露目を兼ねている節すらあるのだ。一国一城の主とはいえ、既に方々で重用されている親友達と比べ、そこに「差」が存在している事は決して否定できないだろう。

尤も、そんな資質の有無や境遇の差などで変わる彼女達の縁ではなく、他ならぬ本人自身が、それらを全くと言つてよい程気に掛けていないのだ。仮に尋ねたとしても、「それ以上に大切なものを得られた」という解答をされるのは火を見るよりも明らか。彼女にとつて自分の魔力資質とはその程度のものであり、またそう思える程、今の生活は充実しているのだ。

「しかし早いものだな。主はやてももう成人とは」  
「本當ね。」

「ついこの間まで、ヴィータちゃんと同じくらいだった筈なのに」

満面の笑みを浮かべる「主」を見守りながらそう呟くのは、この場における過剰戦力の中核にして、はやてにとつては天賦の才以上に大切なもの、掛替えの無い「家族」たる魔導生命体——守護騎士ヴォルケンリッター。0と1により編まれた存在である彼女達はしかし、そんな出自を微塵も感じさせないだけの温かさを以て、家族の新しい門出を祝福していた。

それも当然。出会ってから11余年。時には親として、時にはきょうだいとして、彼女達ははやてと共に生きてきた。はやてと同じ様に、彼女達もまた「人間」として歩み、成長してきたのだ。今や、彼女達の胸に宿る心は紛れもなく人間のそれであり、ならばこそ、その身を構築するものの如何に関わらず、彼女達もまた人間。彼女達自身がそうであると信じ続ける限り、守護騎士ヴォルケンリッターは生命いのちあるものなのだ。それがどうして、ヒトとして当然の感情を享受できなからう。

「まあ、より正確に言えばまだ誕生日じゃないんだけどな。」

時差的には後数分つて所だろうけど」

「言わずもがな。」

主はやての誕生日は、我々にとつてもまた大切な日であるのだからな」

そしてこの日は同時に、守護騎士達にとつても大切な……11年前当代の下へ馳せ参じ、変わり者の主に振り回されつつも「心」を育み始めた、記念すべき節目でもあるの

だ。ある意味では、現在の彼女達にとつての誕生日とも言えるのかもしれない。

過去の、そして当代の下へ辿り着いたばかりの頃の彼女達には、こうなる事など想像すらできなかつただろう。そもそも、当時の騎士達にこういつた事を考える余裕といつたものは存在しておらず、それ自体を不要と一蹴すらしていたのだ。無論、その考え方がどうなつたのかなど、今更語るまでも無い。多忙な日々の中、自らの意志で方々へ助力を仰ぎ、時間を捻出し、こうして四騎揃つた事が、何にも勝る解答である。

烈火が、鉄槌が、湖が、盾が。各々が「個」として異なる、しかし同じ方向の想いを抱き、その席へと臨む。代表者から花束を受け取つた主を見守る四対八つの眼差しは、主従と言う垣根を越えた、紛れもない家族のそれであつた。



そうして一通りの挨拶が済んだ頃にもなると、参加者の視線は自然、壁に掛けられた時計へと集まつていた。

先程ウィータが呟いていた様に、ミッドチルダ此処とはやての故郷——第97管理外世界との間には若干の時差が存在しており、祝宴自体はミッドチルダ標準時に合わせた予定で開き

はしたものの、その誕生日たる「6月4日」はまだ迎えていない。それを踏まえ、現地時間で日付が変わるその瞬間に、改めて祝砲（言わずもがな、玩具のクラッカーではあるが）を皆で上げようというのが、今回用意された催しの一つなのである。

冒頭の挨拶で勘違いした何処かの誰かによるフライングこそあったものの、クラッカーの準備は恙無く進行。刻まれる音と共に増す高揚感が、会場全体を包み込み始めていた。

やがて、数分にも満たぬ沈黙の後、漸く長針が天を指し——しかし、構えられていた祝砲は一つとして上がる事はなかった。

「鳴らなかつた」のではなく、「鳴らせなかつた」のだ。その場に居た誰しもが、クラッカーを引くどころではなかつたのだ。

——突如として部屋に現れた、巨大な魔法陣に目を奪われるあまり。

「何、これ……召喚陣？ それも、古代ベルカ式の……」

唐突に現れた召喚魔法陣。それに対し彼女達が真っ先に抱いたのは、当然とも言うべきか「警戒」の二文字であった。要職に就く者、高い実績を有する者、そして戦闘時においては無類の強さを誇る者達で構成される管理局メンバーは勿論、数少ない民間人である主賓もまた、少々特殊な来歴と立場を抱える身でもあるのだ。こういつた場を狙つ



た襲撃も、決して荒唐無稽な話ではない。

そしてそれ以前に、如何に魔導文明が幅を利かせる次元世界であっても、こうして何の前触れもなく召喚陣——それも、恐ろしいまでに高い密度の魔力を帯びたもの——が自然発生する事など、到底あり得るものではないのだ。驚くより先に神経が逆立つのも、数多くの修羅場を潜り抜けてきた彼女達にあつては至極真つ当な反応と言えるだろう。

しかし、先行するその意志とは裏腹に、この場において誰よりも先に動きそうな、動いて然るべき守護騎士達はしかし、指の一本、毛先の一つさえ動かしてはいなかった。先のクラッカーとはまた異なり、正しく「動かせない」状態であったのだ——その召喚陣が、守護騎士達自身より生じていたが故に。

「不味い、魔力値がどんどん上昇している。このままじゃ確実に……」  
「だが、この状態では迂闊に手出しなど……」

如何に彼女・彼達がマルチタスクを始めとする優れた思考・判断能力を備えていようと、そもそも「手を出せない」事象に対しては何処までも無力でしかない。

今尚回転と発光を続ける召喚陣が、各々が有する魔力光と同色のラインによつて四騎……それぞれのリンカーコアと固い“つながり”を有しているのは一見して明らか。敵意の有無、術式の如何に関わらず、その様な状況で迂闊な行動を起こせる筈も無い。

「繋ぎとめられている」 当人達は言わずもがな である。

そうした歯噛みと迷い——当人達には無限とさえ感じられた時間——も、現実では一瞬。やがて、限界まで膨れ上がった魔力と共に召喚陣の輝きは一層増し——

「ひびぶっ！」

そんな、随分と間の抜けた声と共に召喚は成された。陣の上ではなく下に。重力の赴くままに。

短い悲鳴の後、陣があつた場所で蹲っていたのは、身の丈30cm程の少女。だが、予測の斜め上を行く事態に困惑する周囲の反応も何のその、当人は召喚の折強かに打ちつけた顔面を抑え、声にならない声と共に只管身悶え続けていた。

鬼か蛇が出るものと身構えていた所に「そんな状態」で飛び出し、加えてその登場と共に風船が萎むが如く魔力は霧散。サイズからして少女が人間でない事は明らかとはいえ、これでは過敏になつていた警戒心も萎えざるをえないだろう。それすら計算の内であるのならば大した策略家であろうが、並び立つ実力者の「勘」にあつても、およそ脅威と捉えられる要素は無し。なまじ大層な前振りで張りつめていただけに、弛緩の度合いも一入となろう。

だが、そんな気の緩みも、漸く痛み of 落ち着いた少女が顔を上げ、その容貌が明らかになった事によつて、一抹の錯覚と消えた。

「動くな」

今度は早かつた。その姿を認識する以前、瞳へと映した瞬間より、守護騎士達は動いてた。

一瞬で完全武装を終えた将がか細い首へ愛刀を突き付け、一步引いた位置では鉄槌が一挙一動に身構える。残る二騎は何よりも守るべき主を庇いつつ、周囲一帯にまで至る警戒網を即座に構築。他の実力者でさえ迅速と思えるだけの布陣を、一見して無力に見えるその闖入者に対し、無慈悲なまでに成したのである。

如何に戦乱の時代を駆け抜けた者達とはいえ、如何にプログラム生命体とはいえ、先にも述べた通り「人間としての心」を育んできた彼女達は、最早戦うだけのマシンではない。故に、その行いも普通であればらしからぬものと感じられていた事だろう。

だが、突如として現れた少女の容姿は、平和の中で生きてゆくと誓った騎士達にさえ「そう」させるだけの、また周囲の者達にその行動を納得させるだけの理由を持つていたのである。

特別醜悪な訳でも、生理的な嫌悪感を抱かせる訳でも無い。むしろ、見目だけで言え

ば美しい（幼い事を鑑みれば「愛らしい」と言うべきかもしれない）部類へ含まれるものではない。

しかし、守護騎士達、そして居合わせた者達にとつて、「その姿」は悪い意味で特別であった。珠の白肌も、雪の長髪も、紅の玉も、その全てが残らず一致していたのだ。守護騎士や主達を遊び、己が欲望の為だけに破滅と恐怖をまき散らし続けてきた「邪悪」に。この次元世界で唯一「危険度：EX」の蔑称を与えられたロストロギアに。魔導文明が生み出した何よりも深き「闇」の具現——『夜天の書』に。

「ひうつ……」

「動くな」と言った」

声を詰まらせ、目に涙を浮かべる少女。その表情が純粹な怯えに依るのは明白。だがそれでも彼女達は、法と正義の下で時空管理局の一員となった筈の騎士達は、武器を下ろさなかった。

もしかしたら、「下ろさない」のではなく、「下ろせない」のかもしれない。怨敵がその存在を以て彼女達に齎したものが、断片の一つまで疑うという「呪い」となっているのかもしれない。

兎角、沈黙すら抵抗に同じと言わんばかりに、何の保護も術式付与も成されていない抜き身の白刃は、ミリ単位でその喉元へ喰らい付きつつあった。さながら限界まで引き

絞られた弓、どれ程些細な刺激であつても、加わつたその瞬間に少女は解体され、飛んだ頭が西瓜の如く叩き潰されるのは確實。

或いはそれもまた、闖入者の齎した一時の終幕としてあり得た形だったのかもしれない。事件は思い出により上書きされ、やがては記憶の波間に揉まれ風化してゆく。そうして彼女達は、また今まで通りの日常へと歸つてゆくのである。

だが現実は違つた。これは節目であり転機。気まぐれで吹く回風つむじかぜなどではなく、確かなる変化を示す凱風。名も判らぬ少女の運命さだめは此処での終点を告げてはおらず、なればこそ、「待つた」の声が掛かるのも必然。

そして、極限まで張りつめていた緊迫を「疑念」にまで後退させたその一言は、思いもよらぬ場所から発せられたものであつた。

『Please store a sword  
 Wolkenritter. She  
 is not an enemy』

「えっ?」

意外や意外。首の皮一枚にまで追い込まれていた少女へ助け船を出したのは、ここまです沈黙を保ち続けていたエース・オブ・エースが愛機、レイジングハートであつた。

閃光の戦斧ほど寡黙ではないとはいえ陽気なおしゃべりという訳でも無く、どちらか

と言えは控えめ、主を立てる「貞淑」な彼女が、そのマスターよりも先に、柔らかながらもはつきりと現状に意を唱えたのだ。これには、流石の相棒も困惑するより他にない。

「レイジングハート、それって一体どういう……?」

『It is as having said.』

She does not have hostility. However,

it is right.』

「……詳しい事は、言ってくれないんだね」

『——Sorry. It cannot talk to me any more』

理由も判らず、説明も無く、その真意は不明瞭。疑問を紐解きたくなるのは別段可笑しな事ではなく、ましてこの様な状況へ一石を投じた以上、相応の責任を果たすのは当然とも言えるだろう。

それでも彼女が、なのはが相棒を問い質そうとしなかつたのは、そこに単なる道具——持ち主という関係以上の「信頼」が構築されているが故。信じているからこそ、相棒自身の意志を尊重し、「秘密」の存在を許し、認められるのだ。他でも無いマスターがそう決めた以上、外野がこれ以上の追及を望めようも無い。

無論、それだけでは進展したとしても「疑念」止まり。今すぐ首が落ちる事こそ回避はできたが、依然として少女の立場が悪い事に変わりはない。

決して、彼レイジンツハート、女の言葉を軽んじている訳ではない。けれども、守護騎士達の立場上、それだけで刃を下げる訳にはいかないのだ。愛する人の身を守るのであれば、自らの行いが非難される事すら厭わない。それが彼女達の信念であり、その手に武器を取らせるだけの理由。予想外の人物からであったとしても、たかが一石を投じられただけでは、その心を乱すには全く以て足りないのである。

だが同時に、それはッ「されど」一石でもある。窮地に立たされている少女にとってはその場しのぎでしかなくとも、「彼女」とっては十分過ぎるだけの一瞬——既に、その間隙すきを突いて行動は起こされていたのだから。

「ごめんな、おつかない思いさせて。」

でもな、うちの子達も決して怖い人じゃないんよ。

優しいからこそ、誰よりも先に動こうとする。ただ、それだけなんや」

その行いをまず先に、そして誰よりも驚いたのは、当然とも言うべきか守護騎士達四名であった。何せ、身を呈す覚悟で守らんとしていた主が、自分達でさえ気づかぬ間に「敵」へと近付き、あまつさえ赤子をあやすかの如く抱きかかえていたのだ。行動それ自

体に、止める暇すらなかつた事に、騎士達が抱いた驚愕の数は知れず、その程度は測り知れない。

言わずもがな、驚いたのは騎士達だけではない。「最後の主」たる八神はやてにとつてもまた、『夜天の書』は因縁浅からぬ相手。彼女が愛して止まない「家族」を苦しめてきた元凶であり、同時に彼女自身も辛い思いを強いられた存在でもあるのだ。幼いとはいえ、それと同じ容姿容貌を持つ少女相手に取り乱してもなんら不思議ではない——それが、管理局に属する面々が有する共通認識であり、武器こそ取らなかつた（取れなかつた）ものの、真つ先にはやての身を案じた理由でもあつたからだ。

「皆ちよつと落ち着き。」

天下の管理局員サマとあろうものが、こんなちびっこ相手に寄つて集つて何しとるん」

それでもはやては、周囲の予想に反し冷静であり、平静であつた。

言葉にも、また表情にも、その少女を前にした怯えや惑いは感じ取れず。それどころか、実力者さえ尻込みしそうな眼光の四騎を前に、或いは平時以上の強い意志を以て、「主」としての威厳さえ見せてのけた。

「うんまあ、皆の気持ちもわかるんよ。」

私が皆の立場だつたら多分同じ事してたやろうし、



それだけ私の事氣い遣つてくれるのは、素直に嬉しいんよ。けど、この子はそんなんちやうやろ。

シロートな私でも判るくらい、危ない感じなんてしてへんやろ？」

騎士達の警戒も尤もではあるが、同時にはやての言い分もまた正論。現状、少女に対し過剰なまでの警戒心を起こさせている理由はその容貌のみであり、魔力反応から直感に至るまでの要因は皆無。偽装の可能性に関しても、疑う程深みへ嵌まる性質上答えが導き出せる筈も無く、また結果論ではあるが、はやてに抱きかかえられるという絶好の機会を得て尚、少女当人は何をするでもなく涙ぐんでいるのだ。

こうなると、激情は時間の経過に比例して冷めゆくのみであり、代わりに湧き出る一瞬の罪悪感が、迷いを含んだ刃の重石となつてそれを下げてゆくだけである。

「ほらその調子で、皆その物騒なものをしまつてな。」

ヴィータも、いつまでもおっかない顔してたらアカンよ」

「……睨んでなんかねーです」

そんな心境を知つてか知らずか、続くはやての言葉は先程より幾許か冗談めかしたものととなり、柔らかなそれは騎士達の心にも言葉を聞くだけの余裕を生みだしてゆく。

無論、武器を下ろしたからとて直に無防備となる守護騎士ではなく、「もしも」が起きれば即座に盾となる心構えは保つてはいた。だが同時に、そんな「もしも」が限り無く

起こり得ないものであるという感覚もまた、剣を握る指の先へと浸透しつつもあった。

「まあそんな訳で、まずはお名前を教えてくださいへんかな？ 妖精さん。」

これからお話するのに、いつまでも呼び方判らんのも居心地悪いやろうし」

そうして、漸く話ができる空気にまで落ち着いた所で、少女を机へ座らせたはやてが問い掛ける。勿論、自身も椅子へと腰かけ、目線の高さを合わせる事は忘れない。

そんな優しい声を掛けてくれる存在あつてか、はたまた周囲からの厳しい視線が和らいだるか。此方もまた落ち着きを取り戻した少女は、容姿相応の幼い声色で、しかしたどたどしさを感じさせる事もなくはつきりと答えた。

「……ツヴァイと申します。」

あと、ツヴァイは妖精などではなく、れつきとしたベルカ製融合騎なのですよ、マスター」

ツヴァイと名乗った少女——否、デバイスが口にした「ベルカ製融合騎」という言葉に、再び反応する周囲。それでも幾許か冷静でいられたのは、先のやりとりの存在以上に、彼女達が想像する「融合騎」のビジョンとはかけ離れたツヴァイの魔力反応あつての事だろう。

誤解されがちだが、融合騎——ユニゾンデバイスの全てが、単独でもまた高い能力を

有している訳ではない。その絶対数が少ない為断言まではできないが、ユニゾン型の本旨は「融合」によつて使い手の力を高める事にあり、融合体としての優れた力は兎も角、それ単体での戦闘能力は必ずしも設計上欠かせない要素ではないのだ。

だが、ツヴァイの容姿から想像される「融合騎」とは唯一つであり、同時にそれは特別中の特別。オーバーランカーが束になつても敵わない「化物」であつただけに、彼女の微弱な——言い方は悪いが「貧弱」——な反応とそれが齎すギャップは、(ある意味では)幸運にも周囲に冷静さを保たせるだけの説得力を有していたのである。

「ベルカの融合騎? それが何故此処に」

「えっと、ツヴァイは自分が何処から来たのか判る?」

私が見てた限りじゃ、いきなり湧いて出てきたようにしか見えなかったのよ。

そんなだから、皆ビックリしてるのもあるんや」

時空管理局に属する魔導師として、また一個人として尤もな問いかけを、民間人であり、一歩近いはやてが仲介する。とはいえ、質問の内容自体は、はやてをも含むこの場の総意でもあつた。

先述の通り、如何に次元世界とはいえ、種も仕掛けも無くこの様な事態が起こる筈も無い。まして、ベルカの融合騎ともなれば資料さえ少ないレア物であり、言わずもがなこの様な生まれ方をするものでもない。つまり、ツヴァイと名乗るこの融合騎が生まれ

た場所が、造られた理由が、此処へ送られた要因が、送った者が、必ず何処かに存在するという事。純粹な欲求として、また各々の立場として、それは知りたい／知らなくてはならない情報でもあるのだ。

「えつと……ごめんさい。あまり詳しい情報は解りません。

ツヴァイとしてはこう、お姉ちゃん達から生まれた感じはあるんですけど、それだけの事です。

記録上でも、それらの情報はインプットされてないんです」

一番に返された答えより得られたのは、ある意味「見たまま」のそれだけ。「お姉ちゃん」発言で一部よりなんとも言えぬ表情こそ零れたものの、それだけの情報では、残念ながら全くと言ってよいほど話は進展していない。

「あ、でも「やるべき事」があるのは解ります。それだけははっきりしてるです」

「やるべき事?」

しかし、ツヴァイの言葉はそこで終わりではなかった。謝意からか自信なく告げられた先程とは異なり、続く言葉には細やかであつても確かなる“力”が込められていた。その熱意は、周囲の雰囲気を感じてというよりも、何とかして期待に応えたいという、道具のそれとも異なる幼子の純真がより近いだろうか。

そして、それを捨て置かないはやての言葉もまた、単に情報を得たいが為のそれでは

なかつた。

「ツヴァイの「やるべき事」って何なん？」

悪いけど、見ての通り私はタダの喫茶店のおねーさん。

騎士っぽい事はあんましさせてやれへんのよ」

牽制とフォローを織り交ぜたはやてによる先制。自らのスタンスを示しつつ、幼子にいらぬ期待を抱かせまいとした言葉。それがやや柔軟性を欠いた固定観念に基づいているのは、しかし仕方の無い事でもある。如何に今は違うとはいえ、彼女の周囲に居るのは「固定観念」を生みだした一端にしてその代表格。自らもそれに属すると名乗った少女の意図が固定観念そに基づくと考えるのも、極々自然な流れであろう。

この様な言い方自体が可笑しなものではあるが、はやてもまた一人の人間。その全てが正しい訳ではなく、失敗もまた当然のものとして存在する。はやての推量が真実を捉え損なっている、なんら不思議な事ではないのである。

そして同時に、人は過ちを重ね、失敗を乗り越える事で前へと進んでゆくものでもある。明日の自分は、昔の自分より一歩だけ、一歩であつても学び成長している。なればこそ、今日この日また一歩。凝り固まった彼女の常識を正面から打ち砕く出会いの訪れなのである。

「問題ありません。そもそも、ツヴァイに騎士っぽい事はできないのです」

「?」

ここで初めて、確かに場の主導権がツヴァイへと移った。状況に流されるだけであった幼子が、自らの意志を以て話を進めんとしたのだ。

「確かに私は分類上「融合騎」とはなっていますが、そのコンセプトは戦闘用ではないのです。

ユニゾン自体は問題なく行えますが、それで変わるのは髪色と防御力皆無な騎士甲冑程度。

高速飛行なんてできませんし、結界も張れない、バインドもできない。

砲撃も撃てなければ。斬撃も飛ばせないときているのです」

「いや、そもそも斬撃は飛ぶものじゃ……」

え、何? どうして皆「何言ってるんだこいつ」みたいな目で見るの?」

『Please be quiet master. It is still in the middle of the talk』

「レイジングハートまで……」。

うう……私は悪くねえなの……」

そこで一区切り。ふうと小さく深呼吸した後、改めてはやてへと向き直る。

周囲の様子も、世界の都合も関係無く、ただ伝えたい人を真っ直ぐ見据え、伝えたい

事をはつきりと口にする。その思いを、全てを乗せて。

「でも、ツヴァイにはそれ以上に凄い事ができます。

誰かを好きになる事ができますし、あとこれはツヴァイの頑張り次第ですが、

誰かに好きになってもらう事もできます」

「他者を大切に想い、同じ様に他者からも大切に想われる。人を信じるココロ。

それがどんなものにも勝る最高の魔法だと、ツヴァイの根幹にインプットされているのです。

生まれも何も判らない私ですが、それだけはしっかりとした真実です。

それが、ツヴァイの生まれた意味なのです」

その言葉に、その思いを聞き遂げた瞬間に、彼女達は不思議な「懐かしさ」を抱いた。確かに、この場にいるのは皆親しき仲間・友人・家族ではある。だが、誰しもが皆出会った時からそうであった訳ではなく、むしろ敵対より始まった関係の方が多い程ですらある。それでもこうして今に至ったのは、刃を交えていた中にも言葉があつたから。その耳を閉じず、口を噤まず、必死に呼び続けたから。

そしてそれは、今この瞬間も同じ事。好意や感情といったものを数字にはできないけれども、もし見えていたのなら、それは「敵意」から「好意」への境界を跨いだ足音だったのかも知れない。意識無意識下を問わず、「壁」が取り払われた瞬間であつたのかも知

れない。

「そういう訳で、ツヴァイはやってきました。

——改めて、お尋ねさせていただきます。貴女が、私のマスターですか？」

「……違うんですよ。

さつきも言うた通り、私達はもう争いの類を望んどらんし、そういつたものを起こす気も無い」

何であれその言葉は、ツヴァイの想いは確かに届いた。そして、その上ではやては応える。主として、一人の人間として、込められた以上の感情を以て成すのだ。かつて交わした約束の下に、彼女自身もまた持つ、最高の「魔法」を。

「——だから、「マスター」じゃなくて「はやて」で良いんや。

名前で呼んでくれへん？」

ここに契約は成された。血の代償も払われていなければ、押印済みの証文が存在する訳でも無い。それでも、結ばれた縁ちかひが消える事は決して無いだろう。その想いある限り。誰が付けたのかも知れぬ、しかし彼女だけのものである名前と共に。

▽  
▽

▽



「あ、あと先程は言い忘れてましたが、戦う力は無くとも、便利な七つ機能は備えているのです。

目覚まし機能付き時計、電子メールの管理、辞書機能、バイトル測定、

万歩計、目からビーム(30W)カロリー計算。これは一家に一人欲しい性能ですよ。

勿論、ツヴァイははやてちゃん以外の所へ行く気はありませんが」

やがて騒動も一段落し、参加者を増やした所で祝宴は再開。話はいつしか、主賓の隣を陣取った新入りを囲んでの自己紹介へと移っていた。誇らしげなる先の言葉は、その中におけるツヴァイの一言であり、他愛無い雑談の中で明らかとなった各々の意外な特技……例えば質量をもった残像だとか、バインド駆使したあやとりもどきといったものに触発されての、精一杯の自己アピールでもある。

「それって全部融合騎である必要無いわよね」

「最早単なる便利ツールだな」

「ベルカ技術の集大成とは何だったのか」

肝心の七つ機能自体の評価こそ散々ではあるものの、そんな冗談を交わせる雰囲気構築されている事は、先の件を鑑みれば大きな進展と言えるだろう。

その独特の「ゆるやか」な空気や、小さいなりの健気な姿勢あつてか、ツヴァイはこ

の僅かな時間ですっかり打ち解けており、ある意味ではそういった性質こそ、彼女が持つ最大の特技であるのかもしれない。

「むむむ、そう言っている間にも早速メールを受信したのです」

「おうっ!? なんだそりゃ」

と、話に花を咲かせていた所へ、早くも「お披露目」の機会が訪れた。

電波を受信したアンテナとは、おそらくこの様な感じであるのだろう。ツヴァイの頭の頂点からはねる一房の髪……所謂アホ毛が「びびび」と左右へ振れたと思つた途端、なんとそこから露の様に便箋が垂れ下がってきた。繰り返しになるが、極々普通のサイズの便箋が、普通の人間と比べ遥かに小さい髪の毛の先端から垂れ下がってきたのである。慣れ親しんだ技術とは全くベクトルの異なるそれには、さしもの歴戦の勇士として驚きを隠しきれなかった。

「これぞ七つ機能が一つ、メール管理機能。」

なんと、届いたメールをその場で立体投影の便箋に加工できるのです。

デジタル化久しい現代社会の中で、敢えて手書き特有の温かさを味わってほしいという、

匠の粋な心遣いを垣間見れる逸品なのですよ」

そんな周囲の反応に気を良くしたのか、鼻高々に補足するツヴァイ。そこで誰も「手

書きな訳ではないだろう」と指摘しないのは、ある種の優しさであろうか。

兎角、口頭での説明だけならばまだしも、実際に今この場でメールを受信したとなれば、そんな事以上に重要・重大な疑問が生まれるのも当然と言えよう——即ち、「誰からの」「どの様な内容」という二点についてである。

勿論、主であるはやて自身、次元世界<sup>ミッドテラ</sup>で用いられている携帯端末やそのアドレスは有しているし、また新天地での友人・知人にも恵まれていた。祝宴が始まる前の段階で、既に方々からの祝電も受け取ってはいる。

が、つい先程やってきたばかりのツヴァイにそれらを知る時間があつた筈も無く、仮に何らかの手段で情報を得ていたとしても、「本来の送り先」への着信が無い理由にはならない。つまり、今送られてきたそのメールは、確かにツヴァイを送り先に指定したのも、という事になる。

となると当然、先程の様に「送り主」の存在が問題となる訳だが、今度はツヴァイ自身による細やかな反論がそれに先んじた。

「ご心配にはおよびません。不要な広告等は全て、自動的にフィルタリングされるのです。

ベルカ風に言うのであれば、「ぶたはときつばへいけ」というやつですね」

そこでテロや襲撃の類ではなく、極々一般的な「迷惑」が例に上げられたのは、誤魔

化しなどではなく、ただ純粹にそれぐらいの発想しか思い至らなかつた為なのだろう。自身の顔を覆う大きさの便箋をぶらさげながら胸を張るツヴァイの表情は誇らしき一色、とてもではないが、その内に謀略を秘めている様には見えなかつた。

「スパムだけにカ」

「……おお、成程。あれつてそういう意味だったのか」

「あら、知らなかつたの？ 「和平の使者」といい、ヴィータちゃんはその方面に疎いからね」

「ちよつとばかり苦手なだけだよーだ」

（初耳……と言える空気ではないな。うむ、そつとしておこう）

そして、「敵」に対しては一切の容赦が無かつたベルカの同胞達も、そんな流れへ同調しはじめぬ。ある一人にとってはふざけている様に思えるそれも、当人達にとっては至極真面目な感想。更には周囲すら実在の疑わしい「脅威」を早々と切り捨て、何とも物騒な言い回しに感心する始末。

語られている内容はさておき、新顔を加えた彼女達の「新しい日常風景」が、そこには早くも形成されつつあつた。

ともあれ、安全が保証されているのであれば、送られた手紙それを受け取らない理由は無

い。それが、手紙を渡してくれる者へ寄せる「信賴」の証明にも繋がるのであれば尚更である。

喜び勇む犬の尻尾よろしく毛先を振るツヴァイに口元を緩ませつつ、果実を摘む様に手紙を取るはやて。立体投影とはいえ、そこは流石の次元世界——或いはベルカ印の融合騎。ツヴァイのそれは、どういう原理か本物さながら手に取る事すら可能なものであつた。確かに、これならば温もりは兎も角、「開く」という行為に伴う楽しみも味わえるだろう。

個人へ宛てられた手紙を覗き見するマナー違反がある筈も無く、しかし3人寄れば姦しい淑女レディが倍近く居るこの場の空気は、興味関心好奇心で一色。そんな「追い風」を受けつつ、期待に胸を膨らませながらはやては封を切り——

「……ちゃん！ はやてちゃん！」

——ただならぬ雰囲気を含んだ、そんな声で我に還つた。

周囲を見渡せば、うろたえる友人や、珍しくも動揺を浮かべた家族、そして先程以上に顔をくしゃくしゃにしたツヴァイと様々で、しかしその何れもの視線がはやてへと向けられていた。如何に「一般人」な彼女であつても、そこまでの反応を見せられれば

「何かあった」事くらいは容易に察せられよう。

「な、何や急に。」

「どうしたん皆、私の顔に何かついとるん？」

とつきにそんな言葉が出たのは、心配を掛けさせまいという彼女その性格が真つ先に出了た為か、突然の事態に対し自分自身を落ち着かせようとしたが故か。

何にせよ、極力平時の調子を保たんと、はやては笑顔交じりでそう冗談めかす。

「だつてはやてちゃん……涙が……」

しかし、返されたなのはの言葉で漸く、彼女は自身が涙を流している事に気付いた。

「あれ、あれ……？」

「変やな、そんなつもりなんて……無いのに……」

不思議そうに、おどけた様子で呟くも、そんな言葉に反し零れる滴は止まる気配を見せない。一つ、また一つと、立体投影をすり抜けてゆく。

これに慌てたのは周囲の面々。何せ、傍目には手紙へ目を通した途端固まり、直後涙を流し始めたのだ。彼女を取り巻く事情を鑑みれば何事かと身構えてしまうのも当然であり、また意気揚々と原因（と考えられるもの）を渡したツヴァイにあつては、まさしく剣を突き付けられた以上の心地。罪悪感その他もろもろで、あわや爆発寸前の状態に

もなろう。

「ち、違うんよ皆。」

これはそう……嬉し涙や。あんまりにも嬉しくて、思わず出てしまったんよ」

そんな様子を見かね、また「誤解」が生じている事に気付いたはやてが、慌ててフオローに入る。涙と鼻水とで凄まじい事になっているツヴァイをあやしつ。手紙の内容が決して悪いものではない事、今の自分は決して悲しみに暮れている訳ではなく、むしろその逆であるが故の涙であろう事等を、身振り手振りを交えつつ必死に説明した。

はやての性格をよく知る者達にとっては、それさえ「無理をしている」という懸念へ繋がりがかねないものではあるが、そこは長い付き合い。経験から涙の種類と弁明の真偽を見極め、納得した周囲は当人の意志を尊重する形で腰を下ろす。抱きかかえられていたツヴァイも、目元や鼻こそ赤いものの落ち着きを取り戻しており、それらを以て一応の鎮静化は果たされた。

「でも、はやてがそこまで言うのなら、きつと素敵な内容だったんだらうね。」

「一体誰からの手紙なんだろう？」

しかしそうなると、場の空気・状況に関わらず「次」が気になってしまふのが人の性。「悪いものではない」とは言われたものの、肝心の文面については釈明時でさえ明らかに

されておらず、まして一目で感涙溢れる程ともなれば、誰からの、どんな手紙であつたのか、興味が湧かぬ筈も無し。

フェイトのそんな何気ない言葉で、本日何度目かも判らぬ注目を浴びるはやて。すると、先程までの涙から一転、頬を染め照れた様子——ただそれだけで、先の心配が悉く払拭される表情——で、晴れやかに答えた。

「うーんと……それは内緒や。

ただ言えるのは、数えきれないぐらいの愛が詰まつた『ラブレター』みたいなもんちゆう事ぐらいやね」

『ラブレター』

成程、確かにそれならば、はやての見せた笑顔にも説明が付くだろう。どれ程数奇な運命を辿ろうとも、彼女もまた普通の乙女。「数えきれない」程の愛情を、それだけの真心を受ければ、自然と笑みも浮かぼう。涙の理由については……当人のみぞ知る——と、いった所であろうか。

何であれ、その様な爆弾発言を聞き黙っていられる程、彼女の家族達は冷めきつてはいない。やれどこのヨタモノの仕業だいや待て異性とは限らんど百合も薔薇もベルカでは日常茶飯事だぜこつち見んな私はノンケだ等々、爆心地そつちのけで暴走迷走を始



め、すっかり順応した周囲も（知ってか知らずか）そこへ燃料を投げ込んでゆく。その様相は、まさしくカオスの一言に尽きるもの。

「はいはいそこまで。」

祝電の一つが何や。私ももう<sup>大人</sup>20、恋文の一つぐらい何でもあらへんわ」

そんな、エース・オブ・エースすら達観した眼差しを浮かべる混沌を一言で纏められるのは、流石の主と言った所だろうか（尤も、それは「最後の夜天の主」というよりは、「八神家の主」としてのものではあるが）。一癖も二癖もある家人を纏め挙げるのに必要なのは、全てを圧倒するだけの武力ではなく、それらを受け止める事のできる器。多少の「強がり」も、時には必要という事なのだろう。

「そんな事より、パーティーの方を早く再開せえへんか？」

僭越ながら、ここからは翠屋二号店店長が腕を振るわせてもらおうで」

さりげなく混ざっていた勇ましい発言も、続く言葉ですぐさま頭の片隅へ。努力を重ねてきた彼女の腕前は、この場に居る誰もが知るものであり、長く「本家」に触れ続けてきた人物をして唸らせるだけのそれ。仕事柄中々に通えない立場ともなれば、その申し出を断る理由も無い。

そうして、人を立ち位置を少し変え、しかし何時もと変わらぬ特別な時間が二幕を開ける。祝宴は一時であつても、育まれる思い出は永遠のもの。その歴史を彩り形作る一

頁として、今日この日は彼女達へ深く刻み込まれる事だろう。鮮烈なるデビューを果たした、新しき風と共に。

件の手紙の「その後」についてだが、騒ぎと祝宴の中で、受け取り主本人の手によつてさりげなく削除。バックアップも取られておらず、その現物は永遠に失われるという結末を迎えた。

が、消えたのはあくまでも現物だけであり、本旨たる内容の方は、贈られた人の記憶へしっかりと焼き付いていた。何せ、そこに書かれていたのは「ただの一言」だけであつたのだ。只一人だけが知る「送り主」の存在を差し引いたとしても、彼女の記憶へ残る事など造作も無いだろう。忘れようも無く、また忘れる筈も無いのだ。

その一言——短いながらも、丁寧な日本語で記された言の葉は、時を、世界を、夢幻を越えて運ばれし温かな旋律。夜天ほしぞらへ鳴り響く祝福の音色にして、一万と二千年前から届いた、紛う事なき愛ラブの言葉レター。

『お誕生日おめでとう』

—或る名無しの風—

蛇足：作り終えた料理のハチミツ掛け

【NA75春版】有望若手魔導師で打線組んだった

※プライバシー保護の為、ID等一部情報を伏せています

1：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

1. (二) フェイト・T・ハラウン執務官

2. (遊) ヴイータ・ヤガミ三等空尉

3. (一) シグナム・ヤガミ准尉

4. (三) ナノハ・タカマチ二等空尉

5. (右) シヤマル・ヤガミ主任医務官

6. (投) カリム・グラシア三等陸佐

7. (捕) ザファイラ・ヤガミ戦技教導員

8. (中) スバル・ナカジマー一等陸士

9. (左) ティアナ・ランスター一等陸士

2：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

つよい (確信)

3：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ほぼ管理局オールスターやんけ!

7：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ローテと控えが無い——114514点

11：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>7

最短コールド狙いでしょ (適當)

15：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

一体何と戦っているんだ…

16：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

オール管理局とかじゃないですかね

17：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

最終戦争かな?

22：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

他の全部局敵に回しても勝ちそう

24：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

余裕の圧勝だ、火力が違いますよ

27 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

この面子で特務隊組めば万事解決

29 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

>>27

多分編成コストオーバーだと思っただけですけど(ゲーム脳)

30 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

アカンこれじゃ(予算が)死ぬ

35 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

こんなの誰が監査役引き受けるんだよ

36 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

>>35

ちよつと「お願い」すれば誰も断れないからヘーキヘーキ

37 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

(管理局員が率先して脅迫しちゃ)いかんでしょ

39 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

ほな人もまだばちばちみたいやしのんびり下位打線から紹介してくで

40 : 第774管理世界住人 : NA75/04/16 (Lun)

5 (右) シヤマル・ヤガミ主任医務官 (ミッドチルダ中央医務局所属)

古代ベルカにおいて名を馳せたヴォルケンリッターの一人にしてフィジカルエリート集団

医務局で主任を務める程の猛者

「走った方が早い」とドクターへりを置き去りにして患者の下へ駆けつけるその姿はまさに

白衣の天使。その微笑みにハートキャッチされた男共は数知れず、ハートキャッチ (物理)

の末あの世の淵から連れ戻された命も数知れず

もちろん戦闘能力も折り紙付きで、有事においては自ら前線に赴き「殺してでも治療する」

というちよつとよくわかんないです理論の下犯罪者共をちぎっては投げの大活躍。

先生いくら治せるからって危ない薬品を躊躇なく顔面に射出するのはマジやめてください

ちなみに独身 (これ重要)

41 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

何の紹介だよ（困惑）

4 2 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

特殊部隊でしょ

4 3 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

ぼくしってるべるかの N I N J A っ て や つ で し ょ

4 7 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

彼女に限らず管理局付きの医療関係者の戦闘能力は異常

4 9 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

ストライクアーツ競技会で武装隊チーム相手に三タテとかお前ら本当に医者か

よと

5 0 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

疾病は腕つぶしで退治するもんじゃないんだが

5 4 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

何言ってるんだむしろ医者だからこそそのフィジカルだろ

5 5 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

その為の拳？

5 8 : 第 7 7 4 管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

健康の大切さを世界で一番知っている医者は何よりも健康であるのは世の常やぞ

60：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>58

俺の知ってる健康と違うんですがそれは：

64：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

メデイックがクソ優秀なのは古今東西における常識やで

66：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

要救助者を助ける為に隔壁（AAA級魔導障壁相当）を素手で粉碎する医者 of 鑑

69：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>66

突入するのは救助隊の役目でありこじ開けるのは特殊工具の仕事だと思っんで

すがそれは

71：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まあ世の中には医療品取り出す為に斧で施錠をぶち割ったナースもいるし多少

はね？

76：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)



それより独身ってマジ？

78：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
てつきり公にしてないだけで既婚かと

80：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
あの雰囲気ですと独身とか反則だろ

83：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
美人で強くてでも優しいとか：最高やな！

84：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
なお料理の腕前

85：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
>>>84

現在のミッドチルダにおいて件の物質を食品とは認めていない (真顔)

89：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
そんなにヤバいの？

90：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)  
>>>89

次元世界広しといえど普通のお料理教室でハザードレベル4.0を発令させた

のは

彼女一人だけだろ

91：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>90

ええ…

93：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>90

これには危機管理課長のエボルト氏も苦笑い

101：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あとミッドの医療関係者は大概そうだけど徹夜明けのテンションは総じてやば

い

何をどうしたら医者から「ぶちまけろ」なんてワードが飛び出すのか

103：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

(腫瘍を)ぶちまけろでしょ

105：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>103

(ぶちまけたら)アカン

107：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

これで下位打線とかたまげたなあ

108：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

6 (投) カリム・グラシア三等陸佐 (聖王教会騎士団所属 階級は相当)

聖王教会からの助っ人枠。金髪ロングのお嬢様ルックスに生粋のベルカ氣質を

兼ね備えた

期待の逸材であり、古ベルカを知る某人達をして「まさしく古ベルカを受け継ぐもの」と

太鼓判を押される程。押されなくていいから (良心)

プロフェーティン・シュリフテン  
「預言者の著書」なる限定的な未来予知を可能にする

まさしくレアとしか言いようのないレアスキルを保有しており、今日における彼

女の地位は

その価値の裏付けとも言える…のだが、預言の度一種のトランス状態に入っちゃ  
う為か

はたまた素の性格故か、「だが未来は人の手で掴み取るものだ」の一言で生成した  
傍から

預言書を破り捨てており、そのストロングなスタイルに (心労的な意味で) 胸を

打たれる

重鎮も多いと聞く

ちなみに彼女が若くしてグラシア家当主の座についているのはそのレアスキル故：ではなく

単純な戦闘力の高さから。護衛より強い護衛対象とかマジベルカと言わざるを得ない

110：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なんとという絶対的エース

113：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

これはノーノー達成しますわ

114：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

二刀流も余裕でしょ

117：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

生まれた時代さえ違っていれば間違はなく4番エースを張っていた才能

120：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ちな預言書の解説に（程度の差はあれ）時間掛かるのは文言の難解さもさること

ながら

断片をつなぎ合わせるのがマジ大変だからしい

122：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>120

それももうわざわざ預言する必要あるですかねえ：

124：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

いやまあ一応的中率高いというかヤバイ案件である程結構ピンポイントに  
スナイプしてくるらしいから：

127：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

実績もあるから中々無碍にもできんのだろ

今話題のレリックとやらもこの予言が最初のソースらしいし

128：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>127

マジかよじゃあナンバーズファンにとっては大恩人やん

130：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そういうやライブ会場での件は管理局にしちや随分対応早かつたしな

131：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

起きる時期とか規模からおおよその候補を絞ってたんだろ

実際爆発してたら万人規模の被害だったろうし

132：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

その一件だけでも預言者として十分有能やんけ

133：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なお本人も現場で封印作業に参加していた模様

134：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

封印…？

136：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>134

放出されたエネルギーへ逆ベクトルのもんぶつけて相殺しきったんだから封印

でしょ

(迫真のラッシュを放っている資料映像から目を背けつつ)

138：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>134

問答無用でこの世から退場処分食らわした輩に比べれば億倍可愛いからセーフ

セーフ

139：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

守られた身で言うのもただけどもう少し穏やかさというか風情をというか

140：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

過去の経験から手加減抜きでいったんでしょ

141：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ロストログア封印すべし慈悲はない

143：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

恐ろしい子：一体何のはさんなんだ：

146：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

7 (捕) ザファイーラ・ヤガミ戦技教導員 (非常勤 所属は陸上警備隊)

ヴォルケンリッターの黒一点にして「褐色犬耳ときて何故シヨタではなくガチムチなんだ」

という疑問も出会って三秒でコペルニクスの転回必死のナイスガイ。

本業は局員への教導かつ非常勤である為一般にはあまり触れる機会がないが、管理局が

主催する護身講座には何度も顔を出しておりそちらで知った方も多いのでは？

騎士としては近接格闘術に結界・バインド系が主であり砲撃のような派手さはな

いが

古ベルカを戦い抜いた確かな力量と寡黙・実直・誠実の三拍子揃った人柄、更にそこいらの

軟派野郎には醸し出せぬ男気で御婦人方のみならず兄貴達からも熱い眼差しを注がれている

なお（一部で）ベストセラーとなった「護身のすゝめ」の執筆にも携わっており、同著を

一躍有名にした「護身の基本にして究極とは即ち闘争に在らず逃走也」のフレーズは

何を隠そう彼が元

147：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

熱い視線（意味深）

148：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

まあ確かに線細い系にはない魅力はあるかもしれないが：

150：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

しかし待つてほしい、守護獣である彼はその気になればシヨタにもなれるのでは？

152：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）



>>150

マジかよ一粒で二度おいしいやん

155：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

盾の守護獣と言われているが攻めも行けるのだろうか

156：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>155

小っちゃくなろうと肉食獣である事に変わりあるめえ

158：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

本体×ふとした拍子に分離したシヨタ分体：これはイケる

160：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>158

個人的にはシヨタ攻めがいつすね

161：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>150 | >>160

ええ…(困惑)

162：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

僅か10レスでこの密度よ

164：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

これが腐海の住人の想像力だともいうのか

165：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

こわいなーとつまりすところ

168：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

てか護身のすゝめの元だったのは初めて知ったわ

171：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>168

実際有用だから見とけよ見とけよ

172：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ガチャばい相手に素人格闘技とか逆効果でしかないから実際逃亡は理に適っているという

175：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あ内容は結構真面目なのね

176：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>175

真面目も何も戦技教導教本の参考資料にも使われているぐらいですし

178：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>175

基本脳筋な方針を除けば優良書籍扱いも納得の内容ではある

180：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>178

まあ言うても体は何にも勝る資本やし

184：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

しかし素人でもできる隙を作る手段だけでも48通りあるとか流星は古ベルカ

## 出身

185：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

文字通りの常在戦場で身の回りの物全てが武器な時代だったろうからな

186：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あの本自体が有事においては盾にして鈍器になるという

188：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

この電子化全盛期にあえての紙媒体は伊達じゃない

189：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

間違いない腕は鍛えられるな

191：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そーいやなんで非常勤なの？

マジな話引く手数多だとは思うんだが

192：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

普通に主の護衛とかがあるんじゃないの？

194：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>192

当代主に関しちや管理局の保護プログラムで一括だろ

198：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なんか誤解してる人も多いがそもそもヤガミつてのは当代主じゃなくて  
身元引受人になっっている人の名前だぞ

勿論当代関連の個人情報完全非公開

199：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>198

そーなのかー

201：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>198

こマ？今までずっと勘違いしてたわ

204：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まあ考えてみりや当然か

205：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

夜天の書事件で関わった現地協力者がその縁で引き受けてくれたんだっけ？

207：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>205

そう。非魔導師である事も条件の一つだったからな

210：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

こう言っちゃ何だがよくもまあ身元引受人になつてくれる人なんていたよな

211：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

普通に困っている所を助けたのが切欠つて聞いた事あるぞ>>身元引受人

人生何があるか判らんもんだな

213：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

当代といい身元引受人といい随分縁に恵まれているなヴォルケンズ

214：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>213

むしろ今までは恵まれなさすぎなんだよなあ…

220：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

人も集まってきたみたいやしぼちぼち加速してくで〜

ちなここから二人は某雑誌で特集組まれてた面子のうち

スレ主個人的に気になったのを上げてるんやで

221：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

8 (中) スバル・ナカジマ一等陸士 (湾岸特別警備隊所属)

特救期待の新屋。泣く子も黙るタフガイ共に一步も引かないガッツに

歯車ナツクルローラーダツシユたなびくマフラーちちしりふとももと

男心をくすぐる要素てんこ盛りの元氣ガール

雑誌インタビューでの「自分は泣き虫で怖いのも嫌い。だから誰にも

同じ思いをさせたくない」という志望動機に心打たれた同志は多い筈

なお後述するティアナ嬢とは同期かつ訓練校時代の相棒で今でも親友との事

222：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>ちちしりふともも

下心漏れ過ぎイ!

224：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

心打たれたというコメントが一遍で台無し

225：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まず何よりもスレ主を捕まえるべきでは？ボブは訝しんだ

227：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>221

あつ、おい待てい（ミッドつ子）おへそを忘れてるゾ

228：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>221

うなじも魅力的だから見とけよ見とけよ

229：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>221

>>>227

>>>228

三人はどういう集まりなんだっけ？（職務質問）

230：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

多分変態だと思っんですけど（事実確認）

234：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

てか画像見てきたけどめっちゃ可愛いやん

正直こんな子が野郎共に囲まれてるのは心配でしかない

236：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

>>234

何心配してのかわらんが少なくとも湾岸じゃタフガイ||性別：♀だからな

237：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

>>234

現代のアマゾーンを舐めるなよ

239：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

申し訳ないが拳圧で火事を吹き消すのは子どもがガチ泣きするのでNG

241：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

無手消火なんて流石にごく一部だろ

大概是延焼防止の最終手段で周囲をぶっ壊す程度だから

242：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

破壊消防とか中世かな？

243：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)



## 魔導技術とは

245：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

救助がこんだから医療もあんななんだよ(呆れ)

248：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

ちな補足だがナンバーズのノーヴェちゃんは親戚らしい

251：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

前ラジオで言ってたSAやってる知り合いつてのはこの子の事か

253：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

ついでに電話企画でうっかり本名ばらした子でもある

254：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

涙声になってマジ焦りするホクトちゃんギザカワユス

258：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

ちよつと脱線気味だから続きは関連スレでな

【私達だつて】義体系アイドル・ナンバーズについて語るスレ【輝ける】

あとチームオッド次回のライブチケットは絶賛予約受付中やで

259：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

>>258

宣伝を欠かさないフアンの鑑

265：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

9 (左) ティアナ・ランスター一等陸士 (陸上警備隊捜査部門所属)

上記スバル嬢の相方にして「特徴が無いのが特徴」という

褒めてんのか馬鹿にしてんのか判らんのが特徴な苦労人気質

あまりにもアレな周囲と比較して地味 というだけで能力的には堅実に纏まっ

た

十分エリートの種類であり両手利きによるデバイス二刀流や幻術適正など

十分武器になるものも持っている筈なのだが、いかんせん同時代に

八刀流だの多重影分身 (残像) だのわけのわからん連中が跋扈しているのが不幸

か

あとランスターの苗字でピンと来た人もいるかもしれないが、彼女の実の兄こそ

あの不死身のランスターことティード・ランスター捜査官その人である

多分それが彼女にとって一番アンラッキーな事なんじゃないかな

266：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

特徴無いのが特徴

267：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

随分な言われようだなしかし

269：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>八刀流、多重影分身

それ本当に人間？改造手術とか受けてない？

270：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

NINJAならそれぐらい当たり前やし：(震え声)

271：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

アレらを比較対象にするのがそもそも可笑しいのであつて

275：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

画像見てきたけどこっちも負けず劣らず可愛いやんもつと自信もつてな

277：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

個人的にはこっちの方が好みだな

278：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

むしろスバルちゃんといチャイチャちゅちゅしてほしいゾ

279：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あらゝ

284：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

というか不死身のランスターの妹ってマジ？

287：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あのリアルダイハードに妹がいたとは

288：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

殉職13回MIA38回音信普通は数知れず

自分の葬式に参加した回数が片手で足りないというあの伝説の男か

289：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

本局のワン氏の死亡判定がガバガバなのは有名だが

それにしただっておお杉内

290：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

モデルにした映画作ろうとしたら

「そんな設定じゃ生温い」って駄目出しされたってマジ？

291：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まあ制作してる間にも数回事件に巻き込まれるような奴だし

292：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

しかも皆諦めた頃に「ちよつと地獄までバカンスに行ってきただけさ

おかげで有給使いきつちまったがね」とか平然と軽口叩いて登場するからな

294：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>292

これは上司も葬式で罵倒しますわ

295：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なお現在も絶賛行方不明中の模様(6か月ぶり138回目)

296：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>295

ええ：

297：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

もう局でも特に心配されていなくて草

299：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

それ妹さん的にはどうなの？

300：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>299

「兄貴をぶん殴る」が入局理由の一つだそうだ

301：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ワロス

305：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

1（二） フェイト・T・ハラOWN執務官（本局所属）

いよいよお待ちかねここからはクリンナップやで

先鋒を飾るのは閃光の戦乙女Ⅱこと皆の妹フェイトそん

ライトニング・フルキョーレツツァイ

愛らしい妹系オーラにダイナマイトバディという相反する要素を現在進行形で同調稼働させる奇跡の存在に犯罪者共は立ちどころに全滅必死

真面目系な性格ながら堅物という事もなく、子ども好きで執務官業の傍ら

関連する活動にも精力的に参加しているとの事。ぼくもいいこいいこさりたい

です

なお魔導師としてはミッド系をベースに速度破壊力を突き詰めた所謂

「当たらなければどうということはない」理論の体現者とも言える超攻撃スタイ

ル

異名の元でもある魔力返還資質による破壊力抜群の雷を自在に操りる高機動戦

闘は

管理局史においてもトップクラスとも言われ、防御を極限まで捨てる事で

更なるスピード特化も可能というおまけつき

真面目な話改めてオーバーSランカーの凄さを思い知らされる次第である

307：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

今まで真面目じゃなかったのか：

308：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

むしろ真面目である要素があつたのか

310：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

こうして淡々と説明されると改めて高ランク魔導師のヤバさが分かるな

311：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

この廃スペックが結構働いて尚人手不足だっというんだから

ホント魔導師絡みの労働環境問題はアレやな

314：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

別方向にヤバイ連中が多すぎてどうにもネタにされがちだからな

317：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

人間の潜在能力が凄いいえ凄いが果たしてアレを魔導と呼んでいいのやら

320：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

髪雷驚といい灼炎啜掌といいベルカ連中が水増ししてるせいなんじゃねえの？

>>変換資質に炎と雷が多いの

321：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>320

体得は容易じゃないのでセーフセーフ

325：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ちなネットスラングの「脱ぐと早くなる」はこの人が元との専らの噂である

326：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

実際マントとジャケツトの一部をパージしてるから間違っちゃいないが

随分とゲスい解釈だな

327：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まあ清纯派でありながらエロボディのフェイトそんだからこそその価値であって

330：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

実際高機動フォームで全力機動しているの見たことあるがあれはやばい

マント無くなってジャケツトも体のラインぴったりだし太もも見えてるし

そんな中で激しく動くもんだからとてもじゃないが術式発動とか集中できない

抑止力としては最適だろ

331：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>330



戦闘機動の状態でそんなに見えるのか（戦慄）

3 3 2 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

未開地域の原住民かな？

3 3 3 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

魔眼系レアスキルでしょ

3 3 4 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

動体視力に自信ニキは特殊部隊にでも就職してーな

3 4 1 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

そーいや何で「II」なの？

3 4 2 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

その昔ライトニングワルキューレと呼ばれた魔導師がおつてな

3 4 4 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

初代がいたんか

3 4 5 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

架空の無印なぞありやせんよ

3 4 7 : 第 7 7 4 管理世界住人 : N A 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

プレシア・テストアロッサでググレ

348：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

どんな人？

351：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>348

管理局黎明期に活躍した魔導師

フェイトそのの戦闘力に天才科学者の頭脳を足したりアルチート

354：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>348

蒼き彗星ことミゼット・クローベル氏の現役時代に並び尚且つ氏をして

「常に三歩前を行っていた」とされる転生オリーブりの超人

356：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

すごいE

357：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そんなに凄いのにあんまり有名じゃないよね

PT事件でもその辺全然触れなかったし

360：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>357

元々囑託かつ夫と子どもを立て続けに亡くしたって事情を加味しても  
心病んで失踪した挙句色々やらかして最終経歴犯罪者だからな  
汚点とまで言わずとも触れたくないんだろ

361：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

その辺詳しい事知りたけりやヒュードラ訴訟で調べるヨロシ

362：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

あれも高度成長期特有の中々に闇深な案件よな

365：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そういうやフェイトさんもミドルネームでTついてるけど何か関係あるの？  
てかフェイトそのんTってば何よ

366：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そういうや公表してないね

367：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

普通にサンダーボルトとかじゃないの

368：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>367

それ普通か？

369：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ツインドライブでしょ(おっぱいガン見)

371：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ちな重要な点やけどフェイトそんジャガーズ党やで(どや顔)

374：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>371

ウツソだろお前(絶望)

375：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

目撃例が多数報告されてるんだよなあ(自慢げ)

378：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

失望しましたギガンツファンから乗り換えます

381：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

チアコスでもしてくれたら元亀百倍やろ

382：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>381

その誤字はどうかならんのか

385：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なお今シーズン

386 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

33 | 4

387 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

なジ関無

388 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

そうだな現実はもつとひどいもんな

389 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

(アカン)

391 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

フェイトそんに応援されているというのがこの不甲斐なさ

393 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

だらしねえな

394 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

>> 393

申レN

396 : 第774管理世界住人 : NA75 / 04 / 16 (Lun)

むしろおっぱいに気を取られて集中できない可能性が微レ存…？

4000：第774管理世界住人：NA75/04/16(Lun)

2(遊) ヴィータ・ヤガミ三等空尉(本局航空隊所属)

幼い少女のなりと侮る事なかれ彼女もまた歴戦の勇士ヴォルケンリッターの一員であり

(良くも悪くも)突き抜けてる騎士達の中にあつて基本前衛ながら中々遠距離まで

そつなくこなせる仕事人

得物であるハンマーが示す通り正面突破上等の真つ直ぐな性格だがツンツンし

つつも

面倒見はかなり良く実際中々の難関である教官資格を保有、現場教育で世話に

なつた

局員も多いと聞く。そのギャップにバブみを感じる人も多いのでは？

見た目がなんだ、男は幾つになつても母の懐で甘えたいんだよ

(とはいえ流石にガチ犯罪はNG)

実はヴォルケンリッターの中で最も(隠れ含め)ファンが多いとの情報もあり

全く幼女は最高だぜ!!

401：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

どんな紹介がアレになってきてて草

402：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

魔導師としての部分に全然触れてなくてワロス

405：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

しかし拗らせた挙句リアル犯罪に走った某企業グループ総統の

「彼女は私の母になってくれるかもしれない女性だ」発言に真正面から

「なら親を泣かせるような事するんじゃないやねえ」と言つてのける懐の深さは

実際オギャりたい

407：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

某総統：悲しい男よ。誰よりも愛深き故に

410：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ちな補足だが魔導師(騎士)としては突破力はもちろん技の多彩さにも定評があ

り

失伝したとされる古ベルカ奥義もいくつか修めている

それもあつてか古ベルカの文化諸々にも精通しており

古ベルカ文化研究の第一人者であるライデン氏をして「古ベルカの生き字引」と

呼ばれているとかいないとか

412：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>410

凄いやっぱ凄いが嬉しいかと言われると微妙な称号だな

413：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

失伝したとはいっても元々インキ臭いのも多いからなんともはや

414：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

列車砲やらダイナマイトやらを拳法と言いつ張る気概よ

415：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ゴルフやフェンシングの起源は古代ベルカ

418：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なおヴィータ嬢自身古ベルカ奥義纏効狙振弾の達人でもある

419：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>418

それ普通に誘導弾じゃダメなんですかね

422：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

てか実際その時代生きてたんだからある意味当たり前じゃないの？



〉〉生き字引

4 2 3 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

それを言っちゃあおしまいよ

4 2 5 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

他のヴォルケンリッターが古ベルカの伝統料理を作れますか…?

4 2 6 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

(作れ) ないです

4 2 8 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

申し訳ないがテロ幫助は危機管理課広報担当のгентト君が憤死しかねないので

NG

4 2 9 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

なんでやテロるの一人だけやろ

4 3 5 : 第774管理世界住人 : NA 7 5 / 0 4 / 1 6 (L u n)

3 (一) シグナム・ヤガミ准尉 (本局航空隊所属)

見た目はくっころ系正統派女騎士、中身はポンコツカワイイヤッター系女騎士

(笑)

その名は我らがおっぱいナイトこそシグナムさん

われ  
古ベルカの業を受け継ぐその戦闘力は近接戦闘において（次元世界）最強とも謳

われ  
将としての戦術・戦略眼も抜群。凛とした佇まいはまさしく抜身の刃と呼ぶに相

応しく  
ともすればとつつきにくさすら感じられるかもしれないがご安心を。

い系な  
そんな彼女も一度剣を置けば家事はダメダメ会議じやうとうと服の好みは可愛

い系な  
ポンコツ可愛い系ガールに早変わり

い系な  
マジな話この人に関してはデスクワークがダメすぎて昇進できないって都市伝

説が

い系な  
本当な気がする

い系な  
でも可愛いから許される

い系な  
436：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

い系な  
何回可愛い言う気だ

い系な  
437：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

い系な  
しかし実際可愛い

い系な  
439：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

フェイトそんなに負けず劣らずのナイスボディなのにエロさよりも可愛さが来るのはナンデ？

440：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>439

実際可愛いから (Q. E. D.)

443：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ヴォルケンリッターのファンはどいつもこいつも突っ走りすぎだろ

446：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

てか近接戦闘最強ってばフェイトそれでも十分ヤバいの更に上を行くの？

447：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そりやおめえ魔力不使用でもリアル雷切ができちゃう人なので

449：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

NINJAの末裔かな？

450：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なんという雷属性の左

451：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

流石にナイトは格が違った

459：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

そういうえば昇進云々ってのは実際本当に政治的配慮とやらがあるのかね

461：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

まあ無くはないだろうな

465：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

社会的に解決したとはいえ夜天の書事件の残した爪痕は相当深いし

変に階級高かったりしても内外問わず色々厄介なんだろ

468：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

シグナムさんに関しては実際将で本気モードは一種のカリスマ的なものもある

からな

現場にとっては頼もしいし士気も上がるだろうから、影響無いとは言い切れない

んだろ

471：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

裁判でのレオーネ氏の名裁きは凄かったんだけどな

475：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>471

俺もリアタイで見たけどマジ心震えるってのはああいうのを言うんだろな

480：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

「彼女達が意思無き物であるというのならば、我らが責任を問う事自体に過りがあり自己を持つ人だとするのならば、我らが罰する事をこそあつてはならない。

傷ついた者同士がその怨恨の輪から脱する事こそ

我ら人間が人間としての真心を示す術であり

夜天の書という次元世界を覆う暗雲を払う唯一の剣であるからだ」

だっけ

483：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

アレはマジ歴史に立ち会った瞬間だったわ

487：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

レジアスのおっさんがまず先に賛同したのがやっば大きかったよな

491：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

最初はいい顔してるだけだと思っただけど後の会見であれが彼なりの正義つて事知ったわ

492：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

海嫌いのスタンスは崩してなかったしな

495：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

それでもダメってのがなんともはや

496：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

それこそ夜天の書の思う壺だと思っただけだな

497：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

頭では理解していても感情が追いつかないんだろ

500：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

お前ら何シリアスモードになってんだよこの画像でも見とけよ見とけよ

〔画像〕

501：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

やっぱり可愛いじゃないか(歓喜)

502：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>500

カワイイヤッター!!

505：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

可愛い事には可愛いんだがこのルックスとスタイルで

この衣装は正直きつくはないんですかね…

507：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>505

身長やらバストサイズやらで特注が多いから大変らしい

508：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

(そつちじゃ) ないです

514：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

4 (三) ナノハ・タカマチ二等空尉 (本局武装隊所属)

おまたせ

大本命、不動の四番ここに参上。正直他は結構迷ったがここだけは迷う余地がなかった

今ネット上で最も熱い魔導師、またの名をネット住民の玩具

花も恥じらい悪魔も逃げ出す管理外世界出身の19歳。その恐ろしさ…もとい活躍ぶりから

「管理局の白いアレ」「スクライア今世紀最大の発見」など様々な通り名があり

「108の異名を持つ女」とも(一番有名であろう「魔砲少女」の由来はその昔彼女がまだ

活動始めたばかりの頃雑誌で小さく取り上げられた際の誤植が元。当時は相当叩かれたが

今となつては慧眼と言わざるを得ない)

魔導師としてのスタイルは比較的オーソドックスなミッド式の中々遠距離主体の砲撃型

特殊なレアスキル等は保有していないが兎角その精度や出力思い切りの良さ、何より感性が

他とは隔絶しておりネットに散見される嘘か本当か分からない数多の伝説を築き上げた程

次元震を引き起こす高エネルギーロストロギアを問答無用で封印するだまらせパワーや現代最悪とも言われる質量兵器・ダインスレイヴを真正面から防ぐアホみたい

堅さ

未来予知まがいの直観から繰り出される予測砲撃(通称「置きバスター」)等々理不尽のバーゲンセールが変態糞機動で迫りくるってんだから

これももう(勝ち方)分かんねえなあ

本職の教導官としては意外とまともというかかなり良好な評価

本人は紛う事なき天才型ながらその教育方針は基礎重視実践力重視の堅実スタイルで

基本的に短期間な戦技教導隊にあつても親身丁寧・本気でぶつかり合ってく



姿勢から

評価実績共に中々のもの

それでも時々「後ろにも目をつけろ」なんてトンでも発言が飛び出すのはご愛敬か

ちなみに魔導師ランクがオーバーS「どまり」なのは

広域儀式系を修めていないのが主な理由だそうな

なお天候ぐらい容易に変えられる（力技）模様

515：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

完全にロストロギア扱いで草

518：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

アレ呼ばわりで顔面大草原

521：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

異名とエピソードだけでまとめスレが作られる当たり圧倒の貫禄である

525：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

ガジェットドローンのプラントを「害虫は巣ごと駆除しなきゃ」って

消し飛ばしたエピソードほんとすこ

532：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

まとめスレ見てきたけどなにこれ…この人本当に人間なの？

535：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>532

種族：なのはさんやぞ

539：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

初撃で躊躇なくデバイス撃ち抜いという

「次は当てるよ」って警告するのほんとひで

542：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>539

一発だけなら誤射かもしれないから…

545：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>542

その一発で確実に逝くと思うんですがそれは…

552：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

流石は守護まもられた人ナンバーワン

554：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>552

大丈夫？そのランキング守護まもりたい人に結界魔導師（男）がいるんですけど

>>>554

ユーノ君は性別：ユーノみたいなもんやし

561：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

なのはさんが現れてから管理外世界に眠る資質保有者に

熱い視線が向けられるようになったってマジ？

565：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

>>>561

マジやで。それ絡みの犯罪も増えたって一部でも問題になつてる

（なお発見次第問答無用でデストロイされる模様）

567：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

社会にまで影響及ぼしているのか：

571：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

いうても所詮生身の人間やる長距離狙撃かステルススキルで普通に確殺だわ

まあ俺なら近接格闘で関節決めてやるけどねw

572：第774管理世界住人：NA75/04/16（Lun）

>>571

オオオ

イイイ

573：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

死ぬわアイツ

575：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

流石にネタだろ

579：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

イキリキッズは窓シコ

581：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

異名スレ100万回読み直せ

584：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

成層圏を狙い撃つ女に狙撃対決とかウツソだろお前

585：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

大気圏で燃え尽きないサイズの隕石を

「たかが石ころ一つ」呼ばわりはおハープ生えますわ

585：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>585

オーバーSランカーは伊達じゃないし：

587：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

護身格闘と間合いの取り方は戦闘職の基本やで坊や

591：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>571

魔力探知すり抜けるステルス搭載の違法型ガジェットをスナック感覚で屠る女

やぞ

594：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>591

なお本人は「邪気が来た」などと話している模様

595：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

戦闘マシーンかな？

608：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

でもこの間リアルイベントで見かけたけど普通に優しいお姉さんだったゾ

610：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>608

当たり前だよなあ？

614：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>>608

(ネットの情報を鵜呑みにするとか) 馬鹿じゃねえの？

615：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ネットはネタと誇張に塗れているってそれ一番言われているから (呆れ)

617：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ネタをネタと (ry)

620：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

マジレスするとなのはさんの何が凄いつてどんな苦境逆境でも絶対に挫けない

諦めない

ダイヤモンドハートをあの優しい性格でお持ちなところだよなあ

622：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

実際負傷撃墜もちよくちよくしているしな、特に活動始めたばつかの頃とか

それでも必ず立ち上がってリベンジ果たしてるが

626：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

字面だけでヤバさが伝わってくる活動初期に関わった事件の数々よ

631：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

デビューがPT事件、その次が夜天の書とか難易度インフェルノ過ぎませんか

ねえ

636：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なのはさんが唯の戦闘機械と違う一番の点は

その原動力が何よりも人間らしい感情にある事だよな

被害者は勿論加害者側にもいちいち心動かして良ければ認める悪ければ叱るを

貫いている

639：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

普通ならいちいち心を動かすなんて中々できないが

逃げず目を背けず全力でぶつかるからこそ相手も周囲も心を動かされるもんだ

640：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

喜びや悲しみに共感し感情を力にできるのは心ある生物の特権さ

642：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

誰が言ったか「優しさという強さ」ってのは中々いい表現だよな

645：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

なんだよ：お前らけっこう好印象じゃねえか：

650：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

でもロストログアには容赦ないですよ

652：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

レリックを文字通り蒸発させたのは流石に大草原

654：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

夜天の書事件でも分離した暴走体は最終的になのはさんが焼き払ったらしいし

660：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

「汚物は消毒」のコラがコラに見えないという恐ろしさ

666：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ロストログアというか無機物には基本ドライよね、ガジェットとか



668：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>666

「ご禁制の違法兵器だし多少はね？」

669：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

それにしたつてあの会敵必殺ぶりは尋常じゃない

670：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

「おつガジェットドローンやんぶつ壊したろ」がデフォだからな

671：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

買い物帰りくらいの気軽さでAMF搭載機をバンバン落としてく女

675：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

しかも結構口が悪くなるという

676：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

「ごめん全く琴線に触れないの」って言いながら

真顔で撲殺された時は流石にリアル失禁したゾ

680：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>676

ガジェットドローン兄貴はさっさとリサイクルされてどうぞ

683：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

メタルのクズ発言は流石に何かの冗談だと思いたい

690：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

てか今までどのくらいぶっ壊してきたのよ

692：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>690

お前は今まで食ったパンの枚数を覚えているのか？

694：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>692

申し訳ないがベルカ格言の面汚しはネタでもNG

696：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

>>690

聞きたいかね？昨日までの時点で約14万3000体だ(非公式記録)

697：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

14万？うそやろ？

698：第774管理世界住人：NA75/04/16 (Lun)

ええ…(戦慄)

700:第774管理世界住人:NA75/04/16(Lun)  
怒らせてはいけない(戒め)

# 【悲報】NA75あと少しで終了のお知らせ

※プライバシー保護の為（ry

1：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

なお今年も平穩無事だった模様

管理局転覆論信じてた奴息してる〜？

2：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

平穩…？

4：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

結果的に丸く収まっただけで平穩じゃなかっただろいい加減にしろ！

7：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

この間のアレだけでも一歩間違えれば間違はなく世界がひっくり返ってたんだ

よなあ…

8：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

>>>7

田舎民乙、ミッドじゃあれくらいチャメシ・インシデントやから（白目）

9 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>7

そうは言っても実際週末の荒れた天気並にロストログア絡み案件は発生して  
すので

10 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ええ：

12 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

古代ベルカかよ

14 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>12

申し訳ないがベルカを乱世の代名詞に使うのは教会がうるさいのでNG

15 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なお人達も少なからず自覚はある模様

16 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

こわいなーとつまりすところ

18 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(騒動含め) いつも通り

21 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

そも何で今年は特に転覆論関連が多いの？

22 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

んんwww陰謀論破滅論はいつの世にも蔓延してるものですよwww

23 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

論者は巢に籠つてろ

26 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>21

去年辺りからレリック関連でテロ屋が活発にはなつたのもあるが

それ以上に(ネタ的な意味で)大きいのは昨年末の教会の預言からだろ

28 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

聖王教会ロシア三佐恒例のアレが去年は一層のやらかし具合だったからな

29 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

あの荒れ具合は某ホワイトミスト事件にも匹敵する

30 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なジ関無

32 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

あれも一部が大荒れだったなそういや

35 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なんでスポーツチームが大敗しただけで株価が荒れるねん

36 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

交通網のダイヤも荒れてたぞ

37 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ネット回線も一部パンクしてたしな

38 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>35 | >>37

なそ

にん

41 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

これやから豹キチは

42 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>41

調子のんなや巨カス

44 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>41

その言葉、宣戦布告と判断して宜しいか

45 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>>41

貴様は全ジヤガーズファンを敵に回した

48 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>>41

パツキン巨乳の執務官が血涙流しながらそち行つたぞ

50 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

あの試合の応援で喉痛めた拳句シヨックで入院したつてマジ？

53 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>>50

ちよつと命を燃やし過ぎじゃないですかねえ…

60 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

話戻すが昨年末は出向でミッドにいなかったんだが何があったん？

63 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)



>>>60

元々一昨年の預言もあんまり良い感じじゃなかったが、今年はそれ以上に悪かったらしく

グラシア三佐が「それがどうした、人間はそんな理不尽に屈しなどしない！」ってキレた

大聖堂が更地になった

64 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(ドン引き)

65 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>63

その時点で既に平穏じゃないんですがそれは…

67 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

大聖堂が更地になる程度よくある事やしヘーキヘーキ(ベルカ脳)

68 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ビルくらい3分で平らやろ(Bランク並感)

70 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

この人たち頭おかしい…(小声)

75 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ちな肝心の預言書はいつも以上に粉微塵だったせいで

修復・解読終わったのが9月半ばだったらしい

76 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>75

ぐう無能

77 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>75

一年の3 / 4 過ぎてるやんけ!

78 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>75

既に粗方の騒動が終わっちゃってるんだよなあ:

79 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

預言はあくまでも預言やし (震え声)

84 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

てか唯でさえ忙しい歳末に復興諸々でてんやわんやの中こんなクソスレ立てる

とか

…あつ（察し）

85 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 スレ主はニート、はつきりわかんだね

88 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 残念ながら天下の管理局員なんだよなあ

今は纏まったお休み貰って虹彼女と絶賛デート中ですわ  
 いやあ引く手数多過ぎて幾つマルチタスクしても足りんわ

91 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 >>88

（リアル）彼女とか、いらっしやらないんですか？

92 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 え、そんなん関係ないでしょ（血涙）

96 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 世間はてんでこ舞いだってのにやっぱ公務員ってクソだわ

97 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 そもそも本当に局員？

99 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

どうせエアプだろ、それか窓際

101:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

ID上げるんだよあくしろよ

105:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

上げませーん。それに窓際でもありません

この間のIIゆりかご騒動で庁舎崩落した時にカツコつけて妻子持ちトツモ助け

たら

怪我して先日まで入院してただけですよーだ

やっぱ普段からの運動は大事やね(本当は気に入らん上司を盾にしようとしてミ

スって

そつちまで助ける羽目になったのは内緒やで)

106:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

やるじゃん(デブの割に)

107:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

おはデブ

110:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

これは動けるデブ

112 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 有能なデブ 略してデブ

113 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)  
 完全にデブ扱いで草

115 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

リア充に屈する陰キヤの恥さらし

116 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>115

涙吹けよ陰キヤ

119 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>115

体が勝手に動いたんだからしやーない

まあアインヘリアル絡みでテンション上がったのもあるけどな

120 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なんと、スレ主はあの場にいたのか

121 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

おっp…おっばげた…!

124：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

イツチ地上本部勤務だったんか

131：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

あの時は裏方の裏方だったけどね

まあそれでもあの一体感は半端なかったわ

132：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

(AA略)

133：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>132

随分懐かしいの掘り出してきたな

138：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

初動は完全に奇襲決められて後手だったんだけどな

140：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>138

それでもアインヘリアル三機の再起動の時にはオール地上本部だったですよん

142：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

文字通り庁舎半分吹っ飛んだ状態であそこまで立て直すとかよーやる

145：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

在り合わせの機材を駆使して予備パーツ射出&マニュアル操作での合体とか

それどんなロボアニメ

148：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

てかマジでアインヘリアルに三体合体実装してるとか

150：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

嘘から出た何とやらってやつか

153：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

技開は頭おかしい(誉め言葉)

156：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

お披露目の時に人型ロボへ変形しただけでも祭りだったのにな

157：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

自立AI&変形機構搭載と分かった途端の熱い掌返しよ

159：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

それまで非難轟々だったのが総スタンディングオベーションだからな

160：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

レジアスのおっさん渾身のどや顔も納得

172 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

そんな君達に最新情報を公開しよう

実は三体の合体は構造こそ組み込まれてたが

プログラム諸々は未完成だったのである

176 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>172

こま?だとしたらマジ神展開やろ

180 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>176

マジやで

それまでどうやってもプログラム衝突してたのが

あの土壇場で三体のAIが覚醒して完成したつてのが実際の所

182 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

自己学習するAIならではのはいえこうもタイミングが合うとはね

183 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

はえーすっごい

187 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)



武装隊を守る為命令を無視して艦砲射撃から身を挺して大破

↓少女の涙を受けて覚醒

↓仲間達の全力サポートを受けて三体合体&託された武器で

Ⅱゆりかご地上アンカーの破壊達成

控えめに言って王道

189：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

アニメ化確定

192：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

これは覇権確実ですわ

196：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

>>187

してこのヴィータ嬢のヒロイン力よ

200：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

まーたファンが増えてしまうのか

202：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

教育担当の一人つてのもあるけど前から随分仲良かったからな

発表された時も（見目の）年相応なはしやぎっぷりだったし

205：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

あの1シーン切り抜いた動画の再生数だけダントツでワロタ

210：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

デバイスと言いやつぱメカ好きなんすねえ

218：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

おまえら地上もいいけど空も激熱だっただろ

220：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

たし蟹

どう計算しても艦隊より軌道到達の方が先でマジ負け犬ムードだったからな最

初

223：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>220

各地で同時多発した騒動的にそれも連中の思惑通りだったんだろ

228：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まさか既に除籍した艦を伏兵と起用とは…このリハクの目を (ry

231：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

実際駆けつけたのは8番アースラだったがアレ以外にも「廃艦予定」って名目で

各地要所付近へ待機させていたらしいぜ

勿論数に限りはあるから賭けではあつたんだろうが

235 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

しかも変形した挙句Πゆりかごにダイダロス・アタックかますとか

237 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

いくらL級が廃艦予定とはいえやりすぎだろ (呆れ)

でも好き (本音)

239 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

技術開発局はロマンしか追い求めないのか (偏見)

240 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

「こんなこともあるのか」とって絶対ただ言ってみただけやろ

243 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

中継見てたけど思わず変な声出たわ

246 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

「トランスフォーム」って態々オープンチャンネルで叫ぶ必要あるんですか?

247 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>246

その方が気合が入るだろ

250 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ベルカ関係者も奇声あげてたな

隣家のじーちゃんなんか寝たきりから飛び起きたし

255 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>250

そらまあかつてゆりかご（オリジナル）がかました伝説の再現やし

257 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ゆりかごも変形するのか：

258 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

さすべル

261 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

II ゆりかごではオミットされてたみたいだけどな

流石にミッド上空でスーパロボット大戦は勘弁

263 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

星が幾つあっても足りんわ

269 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ちな「ダイダロス・アタック」の名称は時の聖王が実際かました時叫んだのが元  
で

更に言えばその意味は「その場のノリでなんとなく叫んだ」が真相なんやで

271:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

>>>269

その場のノリとフィール:普通だな!(ベルカ脳)

275:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

臨時艦長つてば総務統括官だっけ?よく知ってたというか実践する気になつた  
な

276:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

一部破損減衰してたとはいえクソ堅いバリアは健在だったからな

ビーム砲よか大質量による突貫&破損箇所からの内部制圧は實際に適つてる

何より恰好いい

279:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

まあ実際総務統括官ノリノリやつたし

281:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

アドレナリンもあるだろうが周りも適応してたからな

冷静だったのは突入部隊指揮してたクロノ氏ぐらいのもんか

282：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

ダイダロス・アタックかますって言った時の「えっ？」ってマジトーンにはワロ

タ

284：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まあカーチャンが久方ぶりに出張った挙句あんなのかませば誰だって耳を疑う

わな

290：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

つかマジな話 セカンド IIゆりかごってなんだよマジベルカふざけんな

293：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

ベルカ母星と共に消失した筈の聖王のゆりかごがナンデって思ったら

「実は秘密裏に予備資材で建造されていた二号機」という

295：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

しかも改造して聖王いらすとかもはやただのゆりかごやん

296：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

ちよつと後付けが過ぎんよ

297：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まあベルカらしいといえばらしいんだが：

301：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

そのうちロストログアの域を凌駕する三号機とか：出ないよね？

302：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

やめろ

313：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

しかしIIゆりかご騒動に比べレリック絡み案件の雑魚さよ

314：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

発動時の被害はともかく毎回速攻で鎮圧されてた挙句

マジでIIゆりかごの前座だつて事まで明らかにされちゃつたからな

316：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

むしろその探索で出没してたガジェット共の方が物的被害出してる希ガス

324：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

マジレスすると管理局の対策部門が予めかなり力入れてたつてのもあるが

確かに結果的に見れば歴史的にもかなり良い方だな>>被害総額

328：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

レリックもただのエネルギー結晶型と思いきや

古ベルカ製戦艦の動力炉兼機動キーだったとはね

330：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

またベルカか

331：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

はいはいお約束お約束

337：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まあ切り札だったIIゆりかごも無くなったしこれで例のテロ屋共もおとなしく

なるだろ

338：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

元々複数の組織からなる団体だったからな

頭の潰れた今となつちや自然と空中分解するだろ

340：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

連中の結束力なんざ所詮輪ゴム以下だしな

345：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

しかし雑魚とは言うがナンバーズファンにとつちや死活問題だったんだぞ

>>>レリック絡み案件

346：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)



二度もライブがおじやんになりかけるとか

347 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

天文学的確率とは

352 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

「ライブを見に来たのでは」とかぬかしてたアホ評論家は元気かねえ

355 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>352

(もう炎上し過ぎで燃えカスも残って) ないです

356 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

残当

359 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

いうてもまた通りすがりの匿名のナンバーズファンのベルカ系槍使いの

オーバーSランクストライカー(チンクちゃん推し)が颯爽と現れては

封印してくれるやろ

362 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

匿名希望の割に情報駄々洩れなんですがそれは:

365 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>362

せやかて「自分はチンクちゃん（の魅力）に殺されたも同然の身」  
つて公言して憚らん人やし…

368：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

騎士ゼスト大丈夫？秋のライブツアー公開意見陳述会と被つてたよね

370：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>368

当然の如く全日程最前列で参加やぞ

371：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

お勤めすら厭わぬフアンの鑑

372：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

（仕事すつぽかしちゃ）いかにでしょ

373：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>372

きつと溜まつてる有給の消化やから（震え声）

376：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

これにはレジーも激おこぶんぶん

380：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

てかスカPも態々ライブツアーの日程を被せんなし

382：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

絶対レジアスのおっさんへの対抗心だろうなあ

386：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

メカ燃えとメカ萌えの溝は相変わらず深い

390：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

スカPとかいうバイオメカニクスの権威から

アイドルプロデューサーへの華麗な転身を果たした男

391：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

キャリアのカットバックドロッパターンは草

394：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

実際マジで歴史の流れが変わった節目なんじゃないかね良くも悪くも

395：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

引き留めに行った筈の関係者も何人か一緒にアイドル業界へ流れたからな

大打撃どころじゃない

397：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

それだけアイドル達が魅力的という事さ

401:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

なお当のナンバーズからはぞんざいに扱われている模様

402:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

>>401

あれもまた尊敬の形やから:

405:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

本人はまんざらでもなさそうだしセーフセーフ

411:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

ナンバーズと言えばフェイトその限定加入は結局フェイク企画だったのかね

412:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

本加入は勿論無理だろうがチャリティーとかで

一回ぐらい歌うってのはできそうなもんだがな

415:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

>>412

実際一度企画はされたぞ、特番も組まれた

ただね:

418 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

某番組の科学的検証によるとフェイトその声質は

九割九分某アイドルのそれと同じらしい

検証企画じゃ相方すら騙されてたからな

419 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なお歌唱力

420 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

アレはちよつとね：流石にアレよ

422 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

生番組だっただけにフォローもできん

426 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

スカPのマジ困り顔は初めて見たわ

430 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

でもレリック案件だつてなんかんや三位くらいにはつけるだろ

今年の騒動ワנטゥはゆりかご騒動の空&地上として

433 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>430

あつ、おい待てい。ホテルアグスタの一件があるゾ

435：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

5月末ごろだっけ？もう半年も経ったのか

436：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

今年の諸々が濃過ぎて随分昔に感じられるな

437：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

アレも中々にカオスだったな

440：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

確かに元々ロストロギア含め貴重な品が掛けられるし

今年は例年以上の品ぞろえではあったが何も磁石よろしく事件を引き寄せんで

も

441：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

敵味方共に入り乱れ過ぎてて何がなにやら

445：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

あれ最終的にどういう勢力図になったの

447：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>445

白：管理局（警備捜査その他）、教会関連（出席＋護衛）、ベルカ系名士  
 グレー：色々黒い噂の多い金持ち連中＋その私兵など

黒：犯罪者連中（出展品狙い、特定の出席者狙いその他）

450：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

>>>447

何が凄いつてこれが全部同じ時間同じ日程でカチ合つて

一斉に騒動に発展したことだよな

451：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

騒動が一斉に起きたのはなし崩しの部分があるといえ

そも全部が集まるつてのは擁護のしようがない

452：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

なんという火薬庫

454：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

カオスというより他ない

458：クローズβネームレス：NA75／12／26（Mer）

>>>447

てか普通にベルカ系名士は戦力扱いなのか：

459：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

何の問題ですか？

460：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

い、一応管理局とは協定結んでるし：

462：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

実際ストラトス家のご当主とかも事態の終息に貢献してるがな

464：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>462

確かに早期終息はしたが「怪しい奴はとりあえず殴つとけ」の方針はいかがなも

のか

465：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>464

医務局連中が警備なりオフなりで居合わせた時点でお察しよ

466：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

傷は消せても殴つた事実は消せないぞ

467：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

(殴るついでに) 記憶も飛ばしてるからヘーキヘーキ



470 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

撃墜&捕縛スコアトップが武装隊&警備隊じゃないという恐ろしさ

471 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>470

同率首位の片割れは局員ですらないんだよなあ

474 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

まあベルカ系の名門ストラトス家の現当主やし

475 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

「当主＝最も強い」を地で行ってる連中の筆頭だからな

476 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

戦国時代かな？

479 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

まだ20そこらで名家取り仕切ってる辺りかなりのインテリかと思いきや

バリバリの武闘派という

480 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

見た目は大人しそうな文学少女って感じなんだけどなあ

481 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>480

言うても「ちよっとお買い物に」で20000ccの単車を持ち回す化け物やぞ

482:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

>>480

むしろ生粋のベルカ系だろ、オークションでの思い切りの良さ的にも

484:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

いくら新しく発見された聖王の肖像とはいえ億単位を即決するとかパネエ

485:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

マジで住む世界が違う

488:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

ブリュンヒルト女史も相当だが医務局のシャマル先生も随分活躍してたな

489:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

あの雄姿を見ると後衛とはいえ流石ヴォルケンリッターの一員と再認識するな

490:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

雄姿(巨大断ち鋏四刀流による無双)

491:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

>>490

もはやメデイックどころか医療器具ですらないんですがそれは  
 492 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>> 491

後でまとめて治療するし :

495 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

確かに武装解除ではあるが着衣まで切り刻む必要あるんですか

496 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

確実に無力化できるやん、危険物隠してたら危ないし

498 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

裸なら武器使えんやろ (ゲーム脳)

500 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

俺のジュニアも危険物だしな

501 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

でもシャマル先生になら裸に剥かれてもいいかも :

502 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>> 500 >> 501

そのポークビッツしまえ。豚は出荷されてろ

503 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(・ω・) そんなー

506 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

しかしシヤマル先生があそまで攻撃極振りなのも珍しいよな

507 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

確かに

510 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ネタ抜きで言えば戦闘行動も防衛か救助救出の為が基本だしな

512 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

しかも警備関係ないオフらしいからな

いくら有事とはいえあの暴れっぷりは凄まじい

513 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

事態の鎮静化が最終目標とはいえ一族の仇打ちか何かつてぐらいの縦横無尽っ

ぷり

516 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

何か事情でもあつたんかね

520 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

あの日とか

5 2 1 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 2 0

先輩最低です

5 2 2 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 2 0

これはギルティ

5 2 5 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 2 0

などと言っております同志

5 2 6 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

よろしい湾岸付属特急病棟送りだ

5 2 7 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

ガチムチマツチヨ  
生足魅惑のマーメイド集団は未知なる性癖が目覚めちゃう

5 2 8 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

一部の人間にとつちやむしろご褒美なんだよなあ

5 3 0 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

開設以来海難関連事故死者ゼロ記録保有の超エリート組織だろいい加減にしろ

531：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

ノー魔力素潜り300メートルとか人間じゃない

536：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

しかし表立つてのドンパチもアレやが裏方も結構凄いで

高級ホテルに爆弾仕掛けられるとかマジ映画みたいな事あるんだな

537：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

人間台風みたいなのばっかで地味だが一般モブ的には

通り過ぎてくれるかもしれないそつちよか確実に殺しに来る爆弾の方が地味に

怖い

538：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

人間台風て

541：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>>538

実際そんなんばっかやし：

543：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

そもなんで“暗殺”にビル一棟吹っ飛ばす爆弾を選ぶの？馬鹿なの？

544 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

多(°)(°)。「アカン：人が多すぎて誰が標的か判らん：せや！」

多(^(^(^(「ビル諸共爆破したろ」

545 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>544

雑ウ！

546 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

暗殺(爆発)

550 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>544

一面更地にする威力でも平気そうなのが結構いるんですがそれは

551 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

正面切つて戦うよかワンチャン

552 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

誤差でしかないんだよなあ：

555 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

しかし爆弾については冗談みたいだが結構ヤバかったみたいだぞ

556：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

関わつてた黒判定の連中がこぞつて仕掛けてたらしいからな

兎角数がヤバイ

558：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

そんな所まで同レベルじゃなくていいから(呆れ)

559：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

爆発オチは甘え

561：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

とはいえ器用どころの捜査官詰めてなかつたら実際危なかつたかもしれんがな

562：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まーた不死身のランスターが新作映画のネタになってしまうのか

565：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

経験値が異常とはいえお決まりのラブロマンス演じつつ

危険物処理まで片手間でこなすとか有能過ぎる

568：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>565

なお当人は最終的に捜査に就いていた妹君による「誤射」で病院送りになった模



様

569 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

ヴァリアブルバレットが尻に当たるなんて不運ですね(棒)

570 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

射撃に定評のあるティアナ嬢がミスファイアなんて珍しい(すつとぼけ)

571 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

どうせ爆炎に巻き込まれての消息不明エンドやしええやろ

573 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

可愛い妹が看病してくれるんだから役得

574 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

むしろそこ変われ

580 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

しかしこうして振り返るとやっぱり今年は色々あったんだな

581 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

今年"も"なんだよなあ :

582 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

平穩とは

583：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

これがミッドの普通なんでしょ(投げやり)

585：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

古代ベルカの戦国時代に比べればマシやから

586：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>585

ぶつちぎりの最底辺と比較して意味あるんですかねえ

587：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

おやつ感覚で国一つ消し飛ばしてた時代よりましと言われても…

590：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

まあスレ主の通り今年もなんとか丸く収まったんだからいいじゃないか

591：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

…わかった この話はやめよう

ハイ!!やめやめはいはいじゃあこの話題はここまで

(AA略)

592：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

終わり!閉廷!…以上!みんな解散!

5 9 3 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

何か足んねえよなあ？

5 9 4 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

II ゆりかご上昇からアースラによる迎撃までの間の

不自然な空白は何なんでしょうかねえ… (ねつとり)

5 9 5 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 9 4

ヤロウ : タブー中のタブーに触れやがった…

5 9 6 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 9 4

お前 : 言つてはならん事を…

5 9 8 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>> 5 9 4

人間には、触れちゃならねえ”恐怖”つてもんがあるんだ…

601:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

現実から目を背けちゃいかんとは言うが偶には逃げたくなくなる時だってある

602:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

逃避は人間としての正常な心の防衛機構やし

604:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

俺はまだアレは夢だつて信じてるぜ

605:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

>>604

残念ながら現実なんだよなあ:

608:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

まあ何だ、普段優しい人が本気で怒るとマジでヤバいつてのを実感したよ

609:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

残念でもないし当然でもあるんだがよりにもよつて何故あの人が:

610:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

こんな事をする人とは思わなかった(小並感)

611:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

アレはちよつと人智を越えてる

6 1 3 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

もう完全に名前を呼んではいけない人扱いやな

6 1 4 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

オジギをするのだ:

6 1 6 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

なんでもいいけどよオ

なのはさんがカンカンでいらっしやる、鎮めて差し上げろ

6 1 7 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

デアドン! (絶望)

6 1 8 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

ファツ!? ウーン: (心停止)

6 2 0 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

オオオ

イイイ

6 2 1 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

死ぬわ俺ら

625 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

こ無ゾ

629 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

裸になって首輪してヨツンヴァインになって土下座して三回回って

ワンワン鳴けば許していただけですか(錯乱)

630 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>629

「考えてあげるよ(カートリッジロード)」

633 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(許す気が) ないです

634 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(希望も) ないです

635 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

仕方無いね

639 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

むしろゆりかごと共に鎮圧にあたるべきでは?ボブは混乱した

640 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

勝った方が我々の敵になるだけです（白旗を用意しながら）

6 4 1 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

無条件降伏不可避

6 4 5 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

てかなんであんなにもガチギレしてたの？

6 4 7 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

>>> 6 4 5

そりゃオメエ散々好き勝手やった挙句あんなガキみたいな要求突き付けられた

ら

誰だつて怒る。俺だつて怒る

6 4 8 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

実際現場後方問わず断固阻止で一致してたしな管理局

6 5 1 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

まあ普通に考えてテロ屋に譲歩する道理はないわさ

6 5 2 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

日和つてたのは一部のメディアやら政治家ぐらいのもんだろ

6 5 5 : クローズβネームレス : NA 7 5 / 1 2 / 2 6 (Mer)

レジアスのおっさん恒例のデイスプレイ割り芸も5割増しだったらしいし

656 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

話によると娘さんも怒りのあまり端末握りつぶしてたらしいぞ

660 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

普段は遺伝子のエラーとか言われる癖そういう所はやっぱ親子なんだな

665 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

にしても長距離砲撃一発でクソ堅いバリア抜いて片翼もつてくとかもう流石と

しか

666 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

また君か(ロストロギアが)壊れるなあ

668 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

まーた伝説が生まれてしまったのか…

671 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

(有事とはいえ警告無しは) まずいですよ!

673 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>671

ちゃんと警告したってそれ言われてるから



674 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

警告…？

676 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

オープンチャンネルでの「ちよつと頭冷やそうか : (原文ママ)」は

果たして警告に含めてよいのか

678 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>676

この上無くヤバさは感じてとれるからセーフセーフ

679 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

事実上の最後通牒やし :

680 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

法務局としては上記文言について警告の意味合いを十分有しているとの見解で

ある(棒)

681 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

法律にすら口を噤ませる女

684 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

広域通信から伝わってくるテログループの絶望っぷりよ

685：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

それまではあらゆる攻撃を一切受け付けてなかっただけにね

686：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

カスが利かねえんだよ (無敵)

←

駄目みたいです (諦観)

の落差よ

688：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

第三艦橋にいたらしい「馬鹿野郎お前俺は勝つぞお前」の彼は果たして無事だっ

たのか

689：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>>688

い、一応突入部隊曰く全員生存で確保したらしいから：

690：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

生存 (無事とは言っていない)

692：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

真顔無言のバスター直撃で通信途絶えたのはマジ戦慄した

693 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

まあ第三艦橋だし :

694 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

通信機が壊れただけと信じたい

696 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

あの状態のなのはさんを足止めだけに専念させた武装隊の英断よ

697 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

アレなのはさんも威嚇と言いつつ全力射撃で後がなかったんじゃないの？

698 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

嘘つけ絶対余力あったゾ

699 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

殺る気満々でマガジン交換してる画像がばっちり残ってるんだよなあ :

700 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

これはいけない

706 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

現場でも相当だが道中もパないぞ

飛行無制限とはいえターミナルから現場まで衝撃波上等でカツ飛んでったから

な

707:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

ソニックブーム

710:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

次元航行艦用補助ブースターにゲットライドして急行とかマジなのはさん

712:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

なお燃料切れのブースターは本人が責任をもって始末(意味深)した模様

713:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

不要なゴミを出さない人間の鑑(白目)

716:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

そういや当時なのはさんもオフだったらしいな

長期休暇取って故郷に帰る予定だったらしい

717:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

駆けつけられたって事はギリアウトだったのか

ターミナルは粗方機能不全に陥ってた訳だし

718:クローズβネームレス:NA75/12/26 (Mer)

まさに出発する直前で って話らしいぞ

他にもターミナルにいた局員その他は荷物とか全部置きっぱだったからな

719 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

そりゃ災難だ

722 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

「折角のイベントが…念願の参加が…」とか虚ろな目で呟いてたらしいからな

故郷の大事な祭事か何かだったのかもしれない

723 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

その上であの要求じゃキレますわ

725 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

【速報】ワイ労災負傷休職中管理局員 招集を受ける

726 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なお(うっかり助けちゃった)某苦手上司から直接の「個人的なお呼び出し」な

模様

助けてクレメンス

727 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>726

屋上かな？

728 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>726

庁舎裏でしょ

729 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

どっちにせよ可愛がりなんだよなあ :

730 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

やべえよ : やべえよ :

732 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

アキラメロン

735 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

今こそ平身低頭覇の出番だ

736 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>735

怪我人だっつってんだろハゲ

738 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

なお五体満足でも危険な模様

739 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>738

アレも一応古ベルカ由来の奥義やし：

740：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

良い子は真似してはいけない(迫真)

745：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

プレゼント作戦だ

贈り物の飽和射撃で懐柔しろ

746：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

>>>745

特捜だ！(贈収賄の現行犯)

748：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

イツチの上司は男？女？

749：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

女

見た目は一応美人だが性格がいや〜キツイツ

751：クローズβネームレス：NA75/12/26 (Mer)

バリキヤリ系かね

何がいいんだろ

752 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

給料三か月分の指輪とかでいいんじゃない? (適当)

753 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>752

初球から火の玉ストレートやめろや

755 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>752

自ら死地に飛び込むというのか

756 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>752

(KAMIKAZEは) いかんでしょ

758 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

竹槍で戦闘機を落とせるのはゲームか古ベルカ騎士ぐらいのもんだぞ

759 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

竹槍 (超音速での投擲)

760 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)



>>759

もはやダインスレイヴやんけ

762 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>760

実際ちよつと弾体を堅くして出力上げたのがそれやし :

765 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

人間レールガンは草

770 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

マジレスすると女ならホテルアグスタのケーキバイキング (ランチ付き) 一択

値は張るが基本外れはない

771 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

※但しダイエット中を除く

773 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>771

もつと早く教えて欲しかったな :

(なおチケットは2枚とも押収された模様)

775 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>773

その程度にも気づけないからDTなんだよお前は

776:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

>>773

涙吹けよDT

777:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

リア充死すべし慈悲はない

780:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

そういやアグスタのパティシエの一人が今度独立するそうなの

781:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

聞いた聞いた。まだ若いらしいのに大したもんだ

782:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

元々あそこでパティシエやれるってだけでも相当なもんだしな

一国一城の主を選ぶのも自然な流れだろ

785:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

それに比べてスレ主ときたら:

786:クローズβネームレス:NA75/12/26(Mer)

実は上司のお呼び出しは逆プロポーズで人生の転機に100ペリカ

788 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>786

(そんなのは) ないです

789 : クローズβネームレス : NA75 / 12 / 26 (Mer)

>>>786

もしそうになったら就職してやるわ

## I F エンド (いつか二人が辿り着くみらい) —夜明け—

一部においては「高町なのは魔力喪失事件」という、実に安直明解な名で呼ばれている一件よりおよそ一月。連日の精密検査だ今後の身の振り方だといった諸々も一段落し、漸く自分達の周囲も以前の落ち着きを取り戻してきた。

とはいえ、ここは「たった」一月で一先ずの区切りとなった事に感謝こそすれ、文句を言える立場でも無いだろう。何せ、既に前線を退いて久しいとはいえ間違いなく管理局史の一端に名を遺す不屈のエース・オブ・エースが、一夜にしてその稀有なる魔力資質を根こそぎ、しかも唯一の関係者である本人曰く「普段通り寝て起きたら魔力が無くなっていった」というのだ。上を下への大騒ぎも至極当然の成り行きと言えよう。

何らかの病気が事件か、外因性のものか内因性なのか、仮に陰謀の類だとすると他への影響は、良くも悪くも有名である本人のこれから等々。唯でさえ普段から過剰労働気味な管理局員がパンダよろしく熊……もとい隈を作つてまで奔走する様は成程医務局チームによる「寝かしつけ」も止む無しと思つてしまう程であり、客観的に見た今回の

件の重大さを示すものなのだろう。

尤も、騒がしいのは周囲ばかり　とまではいかないが、当の本人はといえれば随分落ち着いたもので、精密検査漬けの日々を「久しぶりにゆつくり眠れた」と冗談めかすぐらいには余裕があつた。

無論、過去の彼女をよく知る者はそれを「我慢しているのでは」と案じてくれており、改めて恵まれた縁を我が事のように喜ばしく思いもしたのでが……こと私にしてみれば、彼女の落ち着きもまた必然の内ではない。

もう、「それだけ」と思い込んでいた昔とは違ふのだ。多くの出会いを経て、別れを、苦難を、逆境を乗り越えた今の彼女であれば、例え空が飛べなくとも、迷う事無く誰かに手を伸ばす事ができる、心を繋ぎ止められる。故に、例えその魔力資質が喪失しようとも、彼女という人間は何ら揺らぎはしない。

或いはもしかしたら——普通であれば決してあり得る事ではないが、彼女であればもしかしたら覚えて<sup>気づいて</sup>いるのかもしれない。彼女が自らの意思でその魔力を全て投げ打つた事を。声にならない叫びを聞き、夢をも越えて「私」へ手を差し伸べてくれた事を。

嘗て……という程でもないつい最近まで、この身は兵器であつた。少なくとも、自分ではそう定義していた。

型式番号 O C M — 0 0 X、アルハザード第七技術開発局特異災害部門製対  
 unbreakable dark  
 夜天の書撃滅用半融合型魔導錫杖『星天の杖』。

長つたらしくも可愛げの無い文字の羅列が表している内容こそ、自分という存在の全て。アルハザードが意図せずして（その野望を鑑みれば必然として）生み出す事呼び覚ますとなつた知性文明の癌『砕けえぬ闇』を、その器……この魂にあつては分化元の母体とも言える集合管制人格体諸共、同等同質の力を以てこの世から完全に殺し尽くす事。それが唯一無二にして絶対なる存在意義。

兵器としての身に与えられた役目の前にあつては、この思考パターンへ生じる如何なる迷いも葛藤も、苦悩も後悔も些細なエラー、使命を全うする妨げ足りえぬ些事ノイズ。そう、自分に言い聞かせ続けてきた。その摩擦がやがて身を心を蝕み、永遠不変のものとして作られた筈の魂を罅割れさせていたとしても、尚自分を誤魔化し続けてきた。その為だけに生まれ、それ以外を知らなかつた自分に選べる道など始めからある筈が無く——そんな自分が、どうしようもなく嫌いで堪らなかつた。

だつて、生まれたあの日から私には魂があり心があつたから。自らの手で壊し汚している「温かさ」が一体何であるのか解つていたから、解つてしまつていたから。

けれども今は違う。もう私はそれだけではないのだ。

生きる事を放棄あきらめしていた自分に、その才を棄ててまで手を伸ばしてくる人がいた。血と罪に濡れたこの身を受け止め、永遠の相棒と言ってくれる人がいた。

過去は変えられない、でも未来は変えられると、隣に立つて歩まんとしてくれる人がいた。

なればこそ、自分ももう独りでも兵器でもない——否、そうであると、そうでありた  
いと、私の心が願っている。

注がれた魔力により崩壊が食い止められたとはいえ、備えていた数多くの権能きののうまで持ち越せた訳ではない。強度や演算処理能力こそ損なわれなかったものの、最早「単なる高性能なデバイス」と言われても仕方のない程に性能を損ねているのも事実。だがそれでも、今の私は過去何れの時代よりも満ち足りていた。

唯一の力は無くとも、無二の友は傍らにいる。何もかもが不明瞭で不確定で、だからこそ世界はこんなにも希望かのうせいに溢れている——何より、私には名前がある。遠い昔、唯一度だけ電子の世界で相見えたあの日。どこか困ったような微笑みを浮かべながら、優しく頭を撫でてくれた温もりと共に「お母様」から貰った宝物……私だけの名前があるのだ。

祝福かぜは空に、流星ほしは天に、輝ける虹はこの掌に。

さあ、私も一步目を踏み出そう。彼女達から授かり、この胸に灯った不屈の輝きこころを抱いて——

L a s t   r o u t e   w a s   u n l o c k e d

——ふと、娘達の下へと向かっていた足が止まった。

手を引いていた孫ディアーチエが不思議そうにこちらを向いたが、先に行きなさい と促すや否や弾かれたように駆け出すその光景すがたは満ち足りた今ひと時の象徴であり、ささやかながらも掛け替えのない幸福そのもの。その輪の中に在れる事に一縷さえ不満がある筈も



無い。

それでも私が振り返った理由は……一体何故だったのだろうか。

友人達に比べ特段勤が冴えているといった事もなく、単なる気まぐれと言ってしまうばその通りであるのかもしれない。けれども、大層な事を言うつもりは無いが、人生の分かれ道とは何もその全てが劇的な訳でもなく、こうした何気ない事から始まるものだってあるのだろう——例えば、かつて独りぼっちであった自分が運命と出会ったあの夜のように。

果たして、そこにあつたのはややや大き目の、屈めば大人一人くらいは入れてしまえそうな段ボール箱が一つ。つい先程までそんな物など無かつた筈であるが、ともあれそれ単体であれば次元世界であつても珍しくない、極一般的な既製品ではない。

だが、専ら通信販売でよく使われるそれが一人暮らしであつた頃でも想起させたのか、はたまた場所が、時間が、状況が、あまりにも「あの日」に似通つていた為か。熱に浮かされるような感覚と共に記憶の底から湧き上がってきたのは、一抹の懐かしさであつた。

『——待たせたな　と言うのは流石に冗談が過ぎるかな』



『懐かしいな。あの日もこんな場所で、こんな朝焼けだった』

あの日、夜天の書の暴走体との戦いの直後に意識を失った自分が目を覚ましたのはすっかり見慣れてしまったベッドの上であり、ほぼ全てが終わった後であった。

暴走体消滅の後に「本性」を現した全ての元凶……闇の書改め夜天の書はしかし、傲慢としか言えない気紛れを以てその身を自ら管理局へ委ね、形ばかりではあるものの即時拘束。残る影響や「不測の事態」を恐れた守護騎士四名は完全終息までとの条件で自ら身柄を拘留する事を申し出て精密検査行き。

幸いにして海鳴の町は結界によりその展開前に生じた一部を除いて大きな被害もなく、未だ予断を許さないものの事態はほぼ終息へ向かいつつある——それが、当時現場の指揮を執っていた管理局員から伝えられた顛末であり、後に「夜天の書事件」と呼ばれる事となる騒動の真相。

認められなかった。認める訳にはいかなかった。だって、もしその通りであるのならば、あの時彼女達と交わした言葉が偽りというのなら、この世界の一体何が本物しんじつだというのか。

何度も何度も反芻を重ね、親友達が見舞ってくれた間さえ渦巻き続けていたその思い

はあの夜遂に弾け、冬の只中に病み上がりの身一つを飛び出させるにまで至った。今思い返しても無鉄砲としか言いようのない行いだ、それでも動かずにはいられなかったのだ。

あてなどある筈も無い。その時にはまだかろうじて魔力資質と呼ばれるものも残されてはいたのだが、資質はあくまでも資質、魔力の反応を探るといった技術まで容易に扱えるという保証ものではないのだ。だがそれでも、辿る軌跡に不思議と迷いはなく、逆る熱情は滞りなく車輪を動かす力となつて前へ前へと進み続けた。

そうして辿り着いたのがあの公園であり、果たしてそこに彼女は立っていた。嘲り、見下し、蔑む機能<sup>も</sup>より他具えていないという無表情のまま、此方を見つめていた。無理に無理を重ね限界を迎えた車椅子から放り出され、顔を強かに打ち付け、それでも構わず腕だけを頼りに這いずつてゆく間にも、微動だにする事なかった。

まさか本当に　と思わなかったといえは嘘になる。今まで受けたどんなリハビリより長く辛く感じられたその十数メートルの中で、挫けそうになつた数など両手足でも足りはしない。

それでも、前を指す腕は決して止まる事はなく——やがてその距離がゼロとなつた時、見上げた彼女の顔を正面から見据えた時、それらの思いは全て一色で塗り替えられる事となつた。クリスマスの夜から……否、それよりずっと前から続いていた孤独な闘

いの全てが理解できたのだ。彼女が一体何をしようとしているのか、何が「真実」であるのか。

『あの時の貴女の聞き分けの無さといったら……本当に、本当に困ったものだったよ』  
彼女の選んだ道以外に手立てが無かったのは、当時の幼い自分でも容易に解る事であつた。

事態を収める為には何処かで誰かが「悪」にならなければならず、「皆が仲良く大団円」などという微温湯の結末が許される余地など最早残されてはいない。それ程までに闇の……夜天の書という存在が人々の間へ刻み込んだ怨恨は深く、また「悪」ができるのは彼女をおいて他にはいない。この機を逃せば、自分達家族が人の輪の中で生きる術は永遠に失われるにも等しい。

何より、彼女もまた既に限界であつた。さも「未だ脅威は健在」とでも言わんばかりに振舞つてはいたものの、自分には一目見て解つた、解つてしまった。此処に在るのは辛うじて繋ぎ止められているだけの継接ぎの断片。未だ生まれたばかりのそよ風はしかし、名も知られぬ事なく消えゆく運命にあるのだと。

過去は捨てられない。確かにそうだ。自分だつてそんな事は分かっているし、彼女もまた十分理解している。だがそれでも、あの夜私の下へ掛け替えのない贈り物を届けて

くれたのは、独りきりであった運命を変えてくれたのは彼女であり、彼女こそ自分にとつてのヒーロー。それが何故絶対的な悪などと糾弾されなければならないのか。そんな彼女を救えずして、一体何が魔法か。そう叫ばずにはいられなかった。

『でも嬉しかった。こんな私の為に泣いてくれるという事が、本当に嬉しかった』

それでも彼女は、そんな残酷過ぎる事実から目を逸らさず、真つすぐ向き合い語りかけてくれた。約束してほしい。これから先降りかかる呪詛から目を背けず、決して優しただけじゃない世界の中で誰かを愛し、誰かから愛される人で在り続けてほしい。と。悲しみも喜びも全て抱いた上で尚、人としてある貴女の幸せこそが自分に唯一つ残された願しあわせいである。と。

壊し奪うだけの心無き兵器ではない。この世の悪意を押し固めた砕けえぬ闇などではない。数多の偶然が重なった果てに道を誤り、流れに抗いきれず過ちを重ね、百億年の孤独に囚われてしまっただけの普通の人間である彼女達はしかし、その心にある優しさを最後まで無くす事は無かった。

『何より、貴女は約束を守ってくれた。』

貴女は今でも人であり、そして夜天の王で在り続けてくれている

……嗚呼、こんなにも幸せな事はない』

だから私も誓った。貴女がくれた未来……その思惑通り夜天の書を絶対的なる悪と謳う世界から決して逃げず、明日という日を曇らせず——でも、貴女を決して忘れない。あきらめない例え世界で唯一人だけであつても夜天の王で在り続ける と。——だから応えろ、私の呼び声には必ず応えろ と。

砂と血と、涙と鼻水とに濡れ、決して見栄えはしなかつたであろう王として最初で最後の命令。それでも彼女は、確かに頷き返してくれた。



『——でも、今はここまで。』

断片が揃つただけでパズルは完成じゃない。最後の一手は自ら終えなければならぬ。い。

だから——』

瞬間、少し強い海風が浜辺を撫でた。思わず瞑つてしまつた目を開けた後に残つていたのは、ひっくり返つた空の箱と辺りを包む静けさだけ。波の音も風の音も、家族の声され遠くに感じられ、浮かされていた熱も引き波のように冷めてゆく。

涙は出なかった。目頭がほんのり温かくなりはしたが、そこから零れ落ちるものも残っていないかった。

けれどもそれは一つの証。良い時もそうでない時も、病める時も健やかなる時も、自分とは人としてあるがままに泣き、笑い。誰かの為に、明日の為に涙を流してきた。土に水を撒くように、育ちゆく種を慈しむように、湧き上がる感情を惜しみなく注ぎ続けたのだ。

今の自分はごく当たり前に齡を重ね、この身に授かった想いを、溢れんばかりのそれを同じくらい他者へ託し、やがては役目を終え去り行く身。

花は枯れて種を残し、次代を育む土へと還る。それこそが彼女の守り抜いた世界のあべき姿。夜天よぞらの星が願いし明けの輝き。自分はその中で生きるという約束を果たし、だからこそこうして今ここにある。なればこそ、走り切ったその道程を誇りこそすれ、嘆く必要などどこにも無い。例え一時の陽炎であったとしても、この老体には十分過ぎる贈り物であったのだから。

ああ、それでも。もし叶うのならば。今一度、我儘で欲張りで聞き分けの無い少女こどもであれるのならば、私は――

「——だから、名前を呼んではくれないか。

私の世界が始まったあの日、貴女がくれた永遠の宝物——私達だけの魔法の言葉を、  
今一度唱えてはくれないか」

全ての時が止まり、やがて再び動き始める。出し尽くし枯れたと思っていた心の泉から、まるで生まれたばかりのように熱を秘めた感情が堰を切つて溢れ出す。後ろから目を覆う掌の温もりが、耳元でそよぐ言の葉の柔らかさが錯覚である筈も無し。その澄んだ風は、何一つ色褪せていない。

ああ、そうだ。決して届かぬ影ではない。儂く消える刹那の幻ではない。夢とは希望であり可能性であり——何時の日にか必ず訪れる未来。私は、私達は止まる事なく歩き



続け、漸くそこへ辿り着いたのだ。なら、私の答えなど初めから決まっている。

そつと手を取り、振り返る。そこに或るのは紛れもない我が唯一の望み。それが、あの日のように笑いかけてくれている。

「ただいま、はやて」

「おかえりなさい、リインフォース」